

# 旭中央病院 2023 年年報

## 第23号

**Asahi General Hospital**

2023 Annual Report

Vol.23



地方独立行政法人

**総合病院 国保旭中央病院**

千葉県旭市イ 1326 番地

**Asahi General Hospital**

I -1326, Asahi City, Chiba, Japan

**2024 年発行**

# 基本理念

## すべては患者さんのために

私たちは地域の皆さまの健康を守るために、常に研鑽に努め、  
医学的にも経済的にも社会的にも適正な  
模範的医療を提供します。

# 基本方針

## 信頼され選ばれる病院へ

患者さんの権利と尊厳を尊重し、満足と信頼が得られる病院をめざします  
常に安全に配慮した医療環境の維持向上に努めます

## 地域とともに歩む

地域の皆さまの健康を守り、地域医療の向上に努めます  
すべての救急医療をいつでも提供できるよう努めます  
保健・医療・介護・福祉の連携の核となる病院になります

## 未来へ向かって

時代の要請に応じた最高水準の先進的な医療を提供する病院をめざします  
地方独立行政法人として、自主性・公共性・透明性の高い病院運営を行います  
職員の教育・研修の充実を図り、働きやすく、やりがいの持てる環境づくりを推進します

2001年1月(制定) 2017年4月(改訂)

## 目 次

## 病院の概要

病院概要（病院完成への道）	2
組織図	6
幹部名簿	7
収支状況表	10
科別請求額前年比	11
市町村別レセプト請求件数	12
診療実績	13
講演会などへの講師派遣一覧	14
健康づくり支援委員会出前講座実施一覧	21

## 医療統計

医療実績（クリニカルインディケーター）	24
科別退院患者数の動向	25
地区別退院患者数の動向（2次保健医療圏）	29
退院患者平均在院日数の動向	30
退院患者科別平均在院日数	31
入院患者数	33
退院患者数	35
科別・年齢別・性別退院患者数	37

## 疾病分類別統計

全科疾病分類別集計	40
全科疾病分類別上位頻度表	41

## 悪性新生物統計

部位別退院患者件数	48
年齢別患者件数	49
部位順位表 性別・年齢	50
悪性新生物による死亡患者数	54

## 死亡患者統計

科別死亡率	56
死亡患者数	57
死亡患者数の割合	58
年齢別死亡患者数	59
死亡患者における疾病順位表 性別・年齢	60

## DPC統計

全科MDC2別退院患者数（神経精神科除く）	64
全診療科 MDC2別上位疾患	65
診療科別 診断群分類別（MDC6）上位頻度疾患	71

## クリニカル・パスの統計

クリニカル・パスの使用率	80
診療科別クリニカル・パスの使用率	81
クリニカル・パス使用件数	85

## 臨床指標

全体臨床指標	94
科別臨床指標	95

## 診療局

内科	116
消化器内科	116
循環器内科	117
血液内科	118
腎臓内科	121
呼吸器内科	123
糖尿病代謝内科	124
神経内科	125
総合診療内科	126
アレルギー・膠原病内科	127
化学療法センター	130
透析センター	131
外科	132
呼吸器外科	134
乳腺センター	136
小児科	137
新生児科	139
心臓外科	139
整形外科	141
リハビリテーション科	144
脳神経外科	154
形成外科	155
産婦人科	156
眼科	158
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	160
皮膚科	161
歯科・歯科口腔外科	162

麻酔科・中央手術室	165
泌尿器科	169
神経精神科	171
救命救急センター	173
緩和ケアセンター	175
PET画像診断センター・核医学科	177
集中治療科	178
臨床病理科	179
遠隔病理診断センター	183
遺伝子診療科	184

## 看護局

看護局	186
スキンケア相談室	194
訪問看護室	198
中央洗浄滅菌室	200

## 薬剤局

薬剤局	202
-----	-----

## 診療技術局

中央検査科	210
放射線科	213
臨床工学室	214
神経精神科	216
臨床栄養科	221
医療連携福祉相談室	223

## センター等

予防医学研究センター	234
入院・手術サポートセンター	242

## 診療支援・企画情報局

経営企画室	246
医療情報室	247
診療支援室	249

## 事務局

総務人事課	252
経理課	252

医事課 .....	253
施設課 .....	253
契約課 .....	255
広報患者相談課 .....	255

## 医療安全管理推進室

医療安全管理推進室 .....	258
-----------------	-----

## TQMセンター

TQMセンター.....	264
--------------	-----

## 内部監査室

内部監査室 .....	274
-------------	-----

## 地域医療支援センター

地域医療支援センター .....	276
------------------	-----

## 附属施設・併設施設

旭中央病院附属飯岡診療所 .....	284
旭中央病院附属病理診断科診療所 .....	284
旭中央病院附属看護専門学校 .....	284
介護老人保健施設シルバーケアセンター .....	291
ケアハウス東総園 .....	296
訪問看護ステーション 旭こころとくらしのケアセンター (AKK) .....	298



病院の概要

# ●病院概要 (病院完成への道)

——国保旭中央病院のあゆみとめざすもの——

## 【沿革】

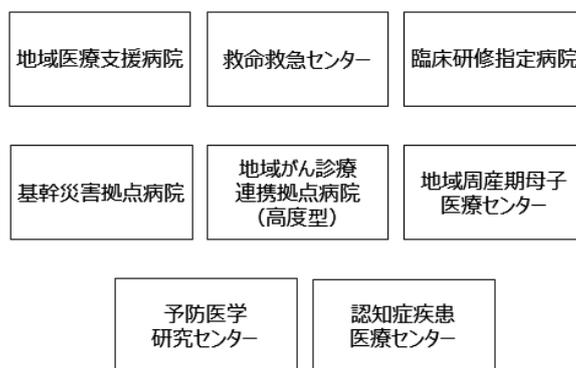
地域住民の健康を自らの手で守り、国の皆保険制度実現に協力するため、旭町他 8ヶ町村（現旭市）は 1953（昭和 28）年 3 月 1 日、国保旭中央病院を開院した。2005 年 7 月 1 日の旭市・飯岡町・海上町・干潟町の合併により旭市立病院となった。2016 年 4 月 1 日に地方独立行政法人へ移行した。

開院当時は、病床数 113 床（一般 35 / 結核 78）、診療科目 4 科（内科 / 外科 / 産婦人科 / 小児科）、全職員 45 名、うち医師 8 名、敷地面積 6,600㎡、建物面積 2,375㎡であった。

その後、増改築工事を重ね、平成以後では 1993 年 9 月、各病棟・外来棟の大改造、1996 年 11 月、救命救急センター（現 3 号館）増築、1999 年 3 月、1 号館完成、11 月、基幹災害医療研修センター完成、2002 年 3 月、附属飯岡診療所移転新築、2004 年 10 月、PET 画像診断センターの新築を行ってきた。

こうした拡張の結果、①患者動線悪化 ②老朽建物の増加 ③耐震性の確保の問題が生じ、新本館の建設を含む再整備事業（2006～2012 年度）に着手した。2009 年 12 月には、放射線治療棟がオープンした。2011 年 3 月に、地上 12 階建ての免震構造による待望の新本館が完成した。2012 年 3 月には、地域医療再生計画に基づき、地域医療支援センターが開設された。2021 年 6 月には、病理診断の充実を図るため、東京に附属病理診断科診療所を開設した。また、職員の住環境の改善を図るため 2015 年 2 月に医師マンション A（104 戸）、2020 年 4 月に新看護師宿舎（166 戸・保育所併設）を整備した。

## 【役割】



## 【特色】

- 地域医療支援病院である。
- 24 時間対応の救命救急センターを併設している。  
ウォークイン救急患者が多く、救急受診者数は 2020 年度 :33,966 人、2021 年度 :38,154 人、2022 年度 :44,365 人、2023 年度 :45,584 人であり、地域医療の核となっている。
- 診療圏が広く、千葉県北東部、茨城県南東部を含む病院を中心とした半径 30km 以内、診療圏人口 90 万人。
- 高度先進医療を含む地域で一番の高品質な医療を提供している。
- 地域における 5 疾病 4 事業の拠点病院である。
- 基幹災害拠点病院として災害時に中心的役割を果たしている（2011 年 3 月の東日本大震災で実証済み）
- 1981 年に臨床教育病院に指定されており、“教育のない病院に発展性はない” というスローガンのもと、研修医、専攻医をはじめ医療従事者の教育研修に力を入れている。
- 2017 年に当院が学会長をつとめた全国自治体病院学会幕張大会でテーマに掲げた「医療がつくる地方創生」を

実現するために、地域の病院、診療所、行政機関、施設等と連携を密にし、病院がまちづくりのコアメンバーとして参画している。

- 病院の敷地が広い：193,080㎡ (58,407 坪)。
- 職員宿舎が完備されている (医師 288 名、看護師等 441 名、看護学生 96 名)
- 初代病院長 諸橋芳夫先生の言葉【病気は治って喜ばれ、不幸にして亡くなられてもそのご家族から良い病院を選んだと感謝される病院、更に死後剖検をさせていただき死因を究明し、医学医術の進歩に寄与し、医師の反省、研修の糧にさせていただく。また、ご家族に死因を正しくお伝えし満足していただく病院でありたい】を大切に、剖検に力を入れている。

【地域医療に対するビジョン】

- 医学的に正しく、早く、安く、親切に治療する。
- 医師をはじめとする病院職員は患者さんのため、国民のためにあるのであって、病院及び職員のために患者さんがあるのではない。
- 医師をはじめとする病院職員は健康な人を一層健康にし、病気の早期発見に努め、病気やけがを一日も早く治し社会復帰させてあげること生きがいを感ずる。
- 公的医療機関は民間医療の対応できない高度・不採算医療、土日祝日、年末年始をはじめ、24 時間無休の救急医療等を受け持つことは当然。
- 地域の人に喜ばれ、且つ職員の働きがいのある病院にする。
- 働き方改革をすすめ職員の満足度を向上させる。
- 財政基盤の安定なくしては持続可能な病院経営は不可能である。

【概要】

(2023 年 4 月 1 日現在)

所在地	千葉県旭市イの 1326 番地
病床数 (許可) 989 床 (稼働) 819 床	<input type="checkbox"/> 一般 763 床 (内、救命救急センター 30 床・ICU 4 床・HCU 4 床・SCU 3 床・NICU 9 床 ・GCU 21 床・小児入院医療管理病棟 (2) 45 床・緩和ケア病棟 20 床) <input type="checkbox"/> 精神 220 床 (稼働 精神科救急病棟 50 床) <input type="checkbox"/> 感染 6 床 (第二種感染症指定医療機関)
診療科目 40 科	<input type="checkbox"/> 内科 <input type="checkbox"/> 消化器内科 <input type="checkbox"/> 循環器内科 <input type="checkbox"/> 呼吸器内科 <input type="checkbox"/> 血液内科 <input type="checkbox"/> 腎臓内科 <input type="checkbox"/> 糖尿病代謝内科 <input type="checkbox"/> 神経内科 <input type="checkbox"/> 感染症内科 <input type="checkbox"/> 化学療法内科 <input type="checkbox"/> 人工透析内科 <input type="checkbox"/> アレルギー科 <input type="checkbox"/> リウマチ科 <input type="checkbox"/> 緩和ケア内科 <input type="checkbox"/> 消化器内視鏡内科 <input type="checkbox"/> 小児科 <input type="checkbox"/> 新生児内科 <input type="checkbox"/> 外科 <input type="checkbox"/> 血管外科 <input type="checkbox"/> 乳腺外科 <input type="checkbox"/> 呼吸器外科 <input type="checkbox"/> 消化器外科 <input type="checkbox"/> 心臓外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> 脳神経外科 <input type="checkbox"/> 形成外科 <input type="checkbox"/> 産婦人科 <input type="checkbox"/> 泌尿器科 <input type="checkbox"/> 眼科 <input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 <input type="checkbox"/> 皮膚科 <input type="checkbox"/> リハビリテーション科 <input type="checkbox"/> 麻酔科 <input type="checkbox"/> 歯科 <input type="checkbox"/> 歯科口腔外科 <input type="checkbox"/> 神経精神科 <input type="checkbox"/> 放射線科 <input type="checkbox"/> 救急科 <input type="checkbox"/> 臨床検査科 <input type="checkbox"/> 病理診断科
職員数 (常勤)	2,237 名 (内、医師 293 名 (研修医を含む) / 看護師 986 名 / 薬剤師 47 名 / 臨床検査技師 72 名 / 診療放射線技師 41 名 / 理学療法士 49 名 / 作業療法士 23 名 / 言語聴覚士 8 名 / 臨床工学技士 38 名 / 管理栄養士・栄養士 13 名 / 視能訓練士 10 名 / 公認心理師 7 名 / 社会福祉士 17 名 / 精神保健福祉士 7 名 / 歯科衛生士 10 名 / 歯科技工士 3 名 / 事務職員 302 名)
附属施設	<input type="checkbox"/> 旭中央病院附属飯岡診療所 <input type="checkbox"/> 旭中央病院附属病理診断科診療所 (東京都文京区) <input type="checkbox"/> 旭中央病院附属看護専門学校 (3 年制・定員 180 名) <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設シルバーケアセンター (定員 100 名) <input type="checkbox"/> 養護老人ホーム東総園 (定員 50 名) <input type="checkbox"/> 特別養護老人ホーム東総園 (定員 50 名) <input type="checkbox"/> ケアハウス東総園 (定員 40 名) <input type="checkbox"/> 訪問看護ステーション旭こころとくらしのケアセンター

施設面積	敷地面積：193,080㎡
	建築面積：42,323㎡（本館 8,581㎡、1号館 2,095㎡、2号館 2,766㎡、3号館 1,965㎡、その他 26,916㎡）
	延床面積：174,922㎡（本館 54,534㎡、1号館 12,331㎡、2号館 11,153㎡、3号館 9,355㎡、その他 87,549㎡）
駐車場	来院者用 1,154 台（歩行困難者用 14 台含む）

【診療実績】

【2023 年度実績】

	外 来	入 院
1 日平均患者数	2,430 名	734 名
新患者数	96,707 名	19,532 名
	一 般（763 床）・感染（6 床）	精 神（50 床）
平均在院日数	12.3 日	66.0 日
（除外有）	13.1 日	75.7 日
稼動病床利用率	91.2%	78.5%

【2023 年度実績】

- 救命救急センター 受診者数：45,584 人（内、即時入院 6,993 人、救急車搬送 9,403 件、紹介依頼 2,895 件）
- 中央手術室 手術件数（中央手術室 15 室）：7,898 件
- 放射線科 治療人数：11,757 人     外来化学療法件数：13,131 件
- 分娩件数：666 件     剖検数：69 件（剖検率：5.9%）

【指定・認定施設、第三者評価、主な学会認定（専門医の教育病院等）】

（2023 年 4 月 1 日現在）

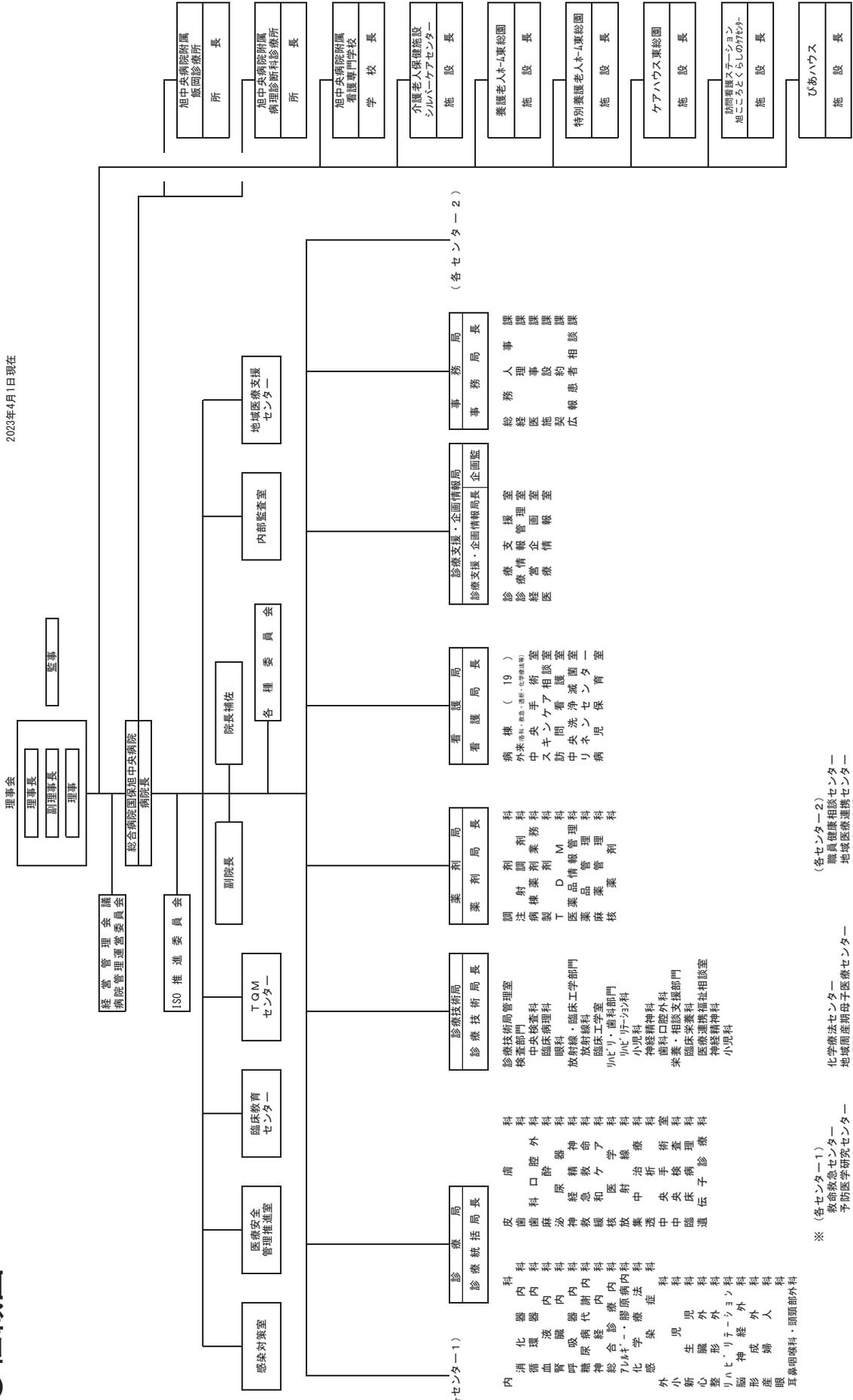
<input type="checkbox"/> 生活保護法指定医療機関	<input type="checkbox"/> 原子爆弾被爆者一般疾病医療機関	<input type="checkbox"/> 結核予防法指定医療機関
<input type="checkbox"/> 精神科措置入院指定病院	<input type="checkbox"/> 救急告示病院	<input type="checkbox"/> 臨床研修指定病院
<input type="checkbox"/> 救命救急センター（S ランク）		
<input type="checkbox"/> 未熟児養育医療担当機関	<input type="checkbox"/> 外国医師・歯科医師の臨床修練指定病院	<input type="checkbox"/> 精神科応急入院指定病院
<input type="checkbox"/> エイズ治療拠点病院	<input type="checkbox"/> 基幹災害拠点病院（基幹災害医療センター）	<input type="checkbox"/> 地域周産期母子医療センター
<input type="checkbox"/> 第二種感染症指定医療機関	<input type="checkbox"/> 歯科臨床研修指定施設	<input type="checkbox"/> 精神科救急医療施設（基幹病院・措置輪番病院・輪番病院）
<input type="checkbox"/> 小児救急医療拠点病院	<input type="checkbox"/> 地域リハビリテーション広域支援センター	<input type="checkbox"/> 臨床研修協力施設
<input type="checkbox"/> 難病患者指定医療機関	<input type="checkbox"/> 地域難病相談支援センター	<input type="checkbox"/> 精神科指定通院医療機関
<input type="checkbox"/> DMAT 指定医療機関	<input type="checkbox"/> 協力型臨床研修指定病院	<input type="checkbox"/> DMAT 指定医療機関
<input type="checkbox"/> 地域がん診療連携拠点病院	<input type="checkbox"/> 千葉県肝炎治療特別促進事業指定医療機関	
<input type="checkbox"/> 千葉県特定不妊治療実施医療機関	<input type="checkbox"/> 千葉県肝疾患専門医療機関	<input type="checkbox"/> 指定小児慢性特定疾病医療機関
<input type="checkbox"/> 母体保護法指定医師研修機関	<input type="checkbox"/> 認知症疾患医療センター	<input type="checkbox"/> 地域包括医療・ケア認定施設
<input type="checkbox"/> 千葉県精神障害者地域移行・地域定着協力病院	<input type="checkbox"/> 地域医療支援病院	
<input type="checkbox"/> 身体疾患合併症対応協力病院「対応協力病院I群」	<input type="checkbox"/> 難病医療協力病院	
<input type="checkbox"/> 千葉県肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関	<input type="checkbox"/> 千葉県アレルギー疾患地域基幹病院	
<input type="checkbox"/> 高次脳機能障害支援普及事業地域支援拠点機関		
<input type="checkbox"/> 日本医療機能評価機構認定（3rdG:ver.1.1）	<input type="checkbox"/> 日本医療機能評価機構付加機能（救急医療機能 Ver2.0）	
<input type="checkbox"/> 人間ドック健診施設機能評価（Ver4.0）		
<input type="checkbox"/> JIS Q9001:2015（ISO9001:2015）	<input type="checkbox"/> ISO15189:2012（英語対訳版）	
<input type="checkbox"/> 日本内科学会	<input type="checkbox"/> 日本外科学会	<input type="checkbox"/> 日本整形外科学会
<input type="checkbox"/> 日本リハビリテーション医学会	<input type="checkbox"/> 日本形成外科学会	
<input type="checkbox"/> 日本脳神経外科学会	<input type="checkbox"/> 日本皮膚科学会	<input type="checkbox"/> 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
<input type="checkbox"/> 日本泌尿器科学会		
<input type="checkbox"/> 日本産科婦人科学会	<input type="checkbox"/> 日本精神神経科学会	<input type="checkbox"/> 日本小児科学会
<input type="checkbox"/> 日本周産期・新生児医学会		
<input type="checkbox"/> 日本眼科学会	<input type="checkbox"/> 日本救急医学会	<input type="checkbox"/> 日本集中治療医学会
<input type="checkbox"/> 日本麻酔科学会	<input type="checkbox"/> 日本ペインクリニック学会	
<input type="checkbox"/> 日本医学放射線学会	<input type="checkbox"/> 日本核医学会	<input type="checkbox"/> 日本病理学会（A ランク）
<input type="checkbox"/> 日本臨床細胞学会		
<input type="checkbox"/> 日本病院総合診療医学会	<input type="checkbox"/> 日本がん治療認定医機構	<input type="checkbox"/> 日本人間ドック学会
<input type="checkbox"/> 日本女性医学学会		
<input type="checkbox"/> 日本消化器病学会	<input type="checkbox"/> 日本消化器外科学会	<input type="checkbox"/> 日本消化器内視鏡学会
<input type="checkbox"/> 日本消化管学会		

- JCOG (日本臨床腫瘍研究グループ)  日本肝胆膵外科学会  日本肝臓学会  日本胆道学会  日本膵臓学会  
 日本循環器学会  日本心血管インターベンション治療学会  3学会構成心臓血管外科専門医認定機構  
 日本脈管学会  経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会  日本ステントグラフト実施基準管理委員会  
 浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会  日本不整脈心電学会  日本心臓リハビリテーション学会  
 日本超音波医学会  日本呼吸器学会  呼吸器外科専門医合同委員会  日本腎臓学会  日本透析医学会  
 日本血液学会  日本骨髄バンク  日本造血・免疫細胞療法学会  JALSG (成人白血病治療共同研究機構)  
 日本糖尿病学会  日本内分泌学会  日本内分泌外科学会専門医制度  日本乳癌学会  
 日本乳がん検診精度管理中央機構  日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会  日本神経学会  
 日本脊椎脊髄病学会  日本脳卒中学会  日本脳卒中の外科学会  日本脳神経外傷学会  
 てんかん支援ネットワーク施設  日本認知症学会  日本リウマチ学会  日本アレルギー学会  日本 IVR 学会  
 日本急性血液浄化学会  日本口腔外科学会  日本有病者歯科医療学会  日本顎顔面インプラント学会  
 日本静脈経腸栄養学会  日本臨床栄養代謝学会  日本専門医機構 等

# 組織図

## 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院

2023年4月1日現在



※ (各センター1) 救命救急センター 予防医学研究センター ころの医療センター 透析センター 選別センター PET画像診断センター (各センター2) 化学療法センター 職員健康相談センター 地域産婦人科医療センター 循環器センター 緩和ケアセンター 緩和・看護センター 遠隔病理診断センター

## ●幹部名簿

2023年4月1日現在

### 役員

役職	氏名	備考
理事長	吉田 象二	
副理事長	野村 幸博	病院長
理事	齊藤 陽久	特任医師
理事	渡邊 三郎	特任医師
理事	塩尻 俊明	副院長
理事	川副 泰成	特任医師
理事	紫村 治久	副院長
理事	伊藤 由紀恵	看護局長
理事	菅谷 敏之史	事務局長
理事(非常勤)	高林 克日己	千葉大学名誉教授
理事(非常勤)	加瀬 寿一	元旭市副市長
監事	向後 剛	弁護士
監事	高根 雅人	税理士

### 病院幹部 (部長相当職以上)

役職	氏名
病院長 兼診療統括局長	野村 幸博
副院長 兼内科主任部長 兼総合診療内科部長 兼教育研修部長 兼臨床教育センター長 兼訪問看護室長	塩尻 俊明
副院長 兼泌尿器科主任部長 兼感染対策室長 兼中央手術室長 兼総合患者支援センター長 兼入院・手術サポートセンター長	中津 裕臣
副院長 兼消化器内科主任部長 兼救命救急センター部長	志村 謙次
副院長 兼救急救命科主任部長 兼救命救急センター長	高橋 功
副院長 兼消化器画像診断部長 兼医療安全管理推進室長	糸林 詠
副院長 兼消化器内視鏡部長 兼医療連携福祉相談室長 兼飯岡診療所長 兼予防医学研究センター参与	紫村 治久
副院長 兼腎臓内科部長 兼透析センター部長	宮内 義浩
院長補佐 兼乳腺外科部長 兼乳腺センター長	平野 稔
院長補佐 兼小児科主任部長	北澤 克彦
院長補佐 兼化学療法科部長 兼化学療法センター長 兼感染症科部長 兼新型コロナウイルス特命担当部長 兼救命救急センター部長	中村 朗
院長補佐 兼透析科部長 兼透析センター長	渡邊 隆
院長補佐 兼産婦人科主任部長 兼地域周産期母子医療センター長	小林 康祐
院長補佐 兼外科主任部長	永井 元樹

役 職	氏 名
院長補佐 兼神経精神科主任部長 兼びあハウス施設長	青 木 勉
院長補佐 兼整形外科主任部長 兼救命救急センター部長	杉 山 宏
院長補佐 兼新生児科主任部長 兼地域周産期母子医療センター部長	松 本 弘
院長補佐 兼放射線科（診断部門）主任部長	磯 貝 純
消化器内科部長	窪 田 学
消化器内科部長	樋 口 正 美
消化器内科部長	宮 川 明 祐
循環器内科主任部長 兼循環器センター部長	櫛 田 俊 一
循環器内科部長	宮 地 浩太郎
循環器内科部長 兼 EVT センター長	早 川 直 樹
血液内科部長	田 中 宏 明
糖尿病代謝内科部長	荻 野 淳
神経内科部長	小 林 誠
アレルギー・膠原病内科部長 兼アレルギー・リウマチセンター長 兼臨床教育副センター長	加々美 新一郎
アレルギー・膠原病内科部長心得 兼アレルギー・リウマチセンター部長心得	松 浦 功
感染症科部長 兼脳神経外科部長	福 井 崇 人
外科部長	富 樫 順 一
外科部長	宮 田 陽 一
血管外科部長	赤 井 隆 文
呼吸器外科部長	桑 野 秀 規
心臓外科部長	山 本 哲 史
整形外科部長	新 羽 正 明
整形外科部長	川 村 剛 以
整形外科部長	山 内 友 規
リハビリテーション科部長	太 田 禎 久
脳神経外科主任部長	持 田 英 俊
脳神経外科部長	山 本 邦 厚
脳神経外科部長	鈴 木 孝 典
脳神経外科部長心得	森 脇 拓 也
皮膚科部長	中 野 倫 代
耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長心得	麻 植 章 弘
泌尿器科部長	鈴 木 規 之
泌尿器科部長	島 敬 之
泌尿器科部長	網 谷 兆 康
産婦人科部長 兼地域周産期母子医療センター部長	大 藏 慶 憲
神経精神科部長	大 塚 祐 司
神経精神科部長	磯 野 友 厚
神経精神科部長心得	菊 田 恵 義
小児科部長	仙 田 昌 義
小児科部長	小 林 宏 伸
新生児科部長 兼地域周産期母子医療センター部長	高 山 達
眼科部長	野 本 洋 平
麻酔科主任部長 兼中央手術室副室長	平 林 和 也

役 職	氏 名
麻酔科部長 兼集中治療科部長 兼救命救急センター部長	大 江 恭 司
麻酔科部長	青 野 光 夫
放射線科（治療部門）部長	太 田 さや子
放射線科（治療部門）部長	原 田 直 樹
歯科口腔外科参与	秋 葉 正 一
歯科口腔外科部長	中 田 康 一
緩和ケア科部長心得	崎 元 雄 彦
救急救命科主任部長代理 兼救命救急センター副センター長	伊 藤 史 生
救急救命科部長 兼救命救急センター副センター長	糟 谷 美有紀
救急救命科部長 兼救命救急センター副センター長	小 山 知 秀
中央検査科部長 兼輸血部部長	石 井 昭 広
予防医学研究センター長	橋 本 尚 武
PET 画像診断センター長 兼核医学科部長	鳥井原 彰
遠隔病理診断センター長	深 山 正 久
遠隔病理診断センター部長 兼旭中央病院附属病理診断科診療所長	山 内 直 子
名誉院長 兼介護老人保健シルバーケアセンター施設長 兼ケアハウス施設長	村 上 信 乃
附属看護専門学校長 兼内科顧問 兼透析センター顧問 兼診療報酬担当顧問	伊良部 徳 次
老人ホーム東総園施設長	浅 田 学
特任医師 兼呼吸器内科主任部長 兼診療支援・企画情報局長 兼医療情報室長 兼診療情報管理室長 兼 TQM センター長	齊 藤 陽 久
特任医師 兼臨床研究支援センター長	渡 邊 三 郎
特任医師	岡 龍 弘
特任医師 兼特命担当（働き方改革プロジェクト担当） （職員健康相談担当）	川 副 泰 成
特任医師	本 多 昭 仁
特任医師 兼感染症センター長	古 川 恵 一
特任医師	本 田 亮 一
特任医師 兼スキルセンター長	古 屋 隆 俊
特任医師	大 屋 滋
特任医師 兼臨床病理科部長	鈴 木 良 夫
特任医師	小 錢 健 二
看護局長	伊 藤 由紀恵
診療技術局長	浅 井 秀 樹
薬剤局長	川 島 美智子
事務局長	菅 谷 敏之史
訪問看護ステーション旭こころとくらしのケアセンター施設長	河 口 成 富

# 収支状況表 (2023年度)

(単位：千円)

(税抜き処理)

	A) 2022年度決算	B) 2023年度予算	C) 2023年度決算	執行率 C/(B)	E) C)2023年度決算 -A)2022年度決算	F) C)2023年度決算 -B)2023年度予算
総営業収入	42,857,987	43,679,432	41,130,987	94.2%	▲1,727,000	▲2,548,445
営業収入	42,346,059	43,213,617	40,650,436	94.1%	▲1,695,623	▲2,563,181
業収入	36,981,018	39,254,608	37,263,987	94.9%	▲2,82,969	▲1,990,621
入院収入	21,126,749	22,010,591	21,423,129	97.3%	▲296,380	▲587,462
外来収入	15,141,169	16,565,280	15,215,627	91.9%	▲74,458	▲1,349,653
その他医療事業収入	898,735	876,065	857,878	97.9%	▲40,857	▲18,187
介護療養事業収入	▲185,635	▲197,328	▲232,647	-	▲47,012	▲35,319
介護保険事業収入	18,956	20,300	18,875	-	▲81	▲1,425
運営費負担金収入(営業)	2,023,235	2,021,200	2,006,953	99.3%	▲16,282	▲14,247
運営費交付金収入(営業)	0	0	0	-	0	0
補助金等収入(営業)	2,256,903	940,544	432,927	46.0%	▲1,823,976	▲507,617
児童発達支援収入	118,593	116,463	124,788	107.1%	6,195	8,325
寄附金収入(営業)	0	0	0	-	0	0
看護学校事業収入	152,465	159,326	148,197	93.0%	▲4,268	▲11,129
看護老人ホーム事業収入	531,711	558,329	541,701	97.0%	9,990	▲16,628
看護老人ホーム事業収入	25,349	0	0	-	▲25,349	0
特別養護老人ホーム事業収入	132,824	34,047	8,752	25.7%	▲124,072	▲25,295
ケアハウス事業収入	63,674	62,490	62,397	99.9%	▲1,277	▲93
訪問看護ステーション事業収入	41,331	46,310	41,858	90.4%	527	▲4,452
ケア・リフォーム事業収入	0	0	0	-	0	0
営業外収入	506,152	465,815	480,550	103.2%	▲25,602	14,735
運営費負担金収入(営業外)	191,233	191,139	162,661	85.1%	▲28,572	▲28,478
寄附金収入(営業外)	188	0	1,375	-	1,187	1,375
財務	1,157	1,655	1,953	118.0%	796	298
その他営業外収入	313,575	273,021	314,561	115.2%	986	41,540
臨時利益	5,777	0	0	-	▲5,777	0
資産見返収入	175	0	0	-	▲175	0
引当金戻収入	5,147	0	0	-	▲5,147	0
過年度損益修正	0	0	0	-	0	0
その他臨時利益	455	0	0	-	▲455	0

営業損益	715,836	▲703,611	▲1,386,166	-	▲2,102,002	▲682,555
医療損益	483,871	866,867	56,236	6.5%	▲427,635	▲810,631

	A) 2022年度決算	B) 2023年度予算	C) 2023年度決算	執行率 C/(B)	E) C)2023年度決算 -A)2022年度決算	F) C)2023年度決算 -B)2023年度予算
資本的収入	490,498	833,750	835,994	100.3%	345,496	2,244
長期借入金	450,000	831,000	831,000	100.0%	381,000	0
その他資本的収入	0	0	0	-	0	0
補助	40,498	2,750	4,994	181.6%	▲35,504	2,244
資本的支出	2,882,085	4,837,441	4,227,685	87.4%	▲1,345,600	▲609,756
工事	0	0	0	-	0	0
施設改良	1,145,287	3,092,000	2,495,850	80.7%	▲1,350,563	▲596,150
建設	47,775	300,000	117,093	39.0%	▲69,318	▲182,907
構築物	2,800	82,000	0	0.0%	▲2,800	▲82,000
器具備品	852,583	2,160,000	2,048,929	94.9%	▲1,196,346	▲111,071
車両運搬具	12,897	10,000	2,353	23.5%	▲10,544	7,647
開発費(ソフトウェア)	229,232	540,000	323,885	60.0%	▲94,653	▲216,115
その他	0	0	0	-	0	0
繰上金	1,730,879	1,719,461	1,719,460	100.0%	▲11,419	▲1
移行前地方債償還金	1,329,611	1,227,850	1,227,850	100.0%	▲101,761	0
長期借入金償還	401,268	491,610	491,610	100.0%	90,342	▲1
その他資本的支出	5,919	25,980	12,375	47.6%	6,456	▲13,605
リ・県補助金返還金	5,919	25,980	12,375	47.6%	6,456	▲13,605

# ●科別請求額前年比 (2023年度)

(単位=千円)

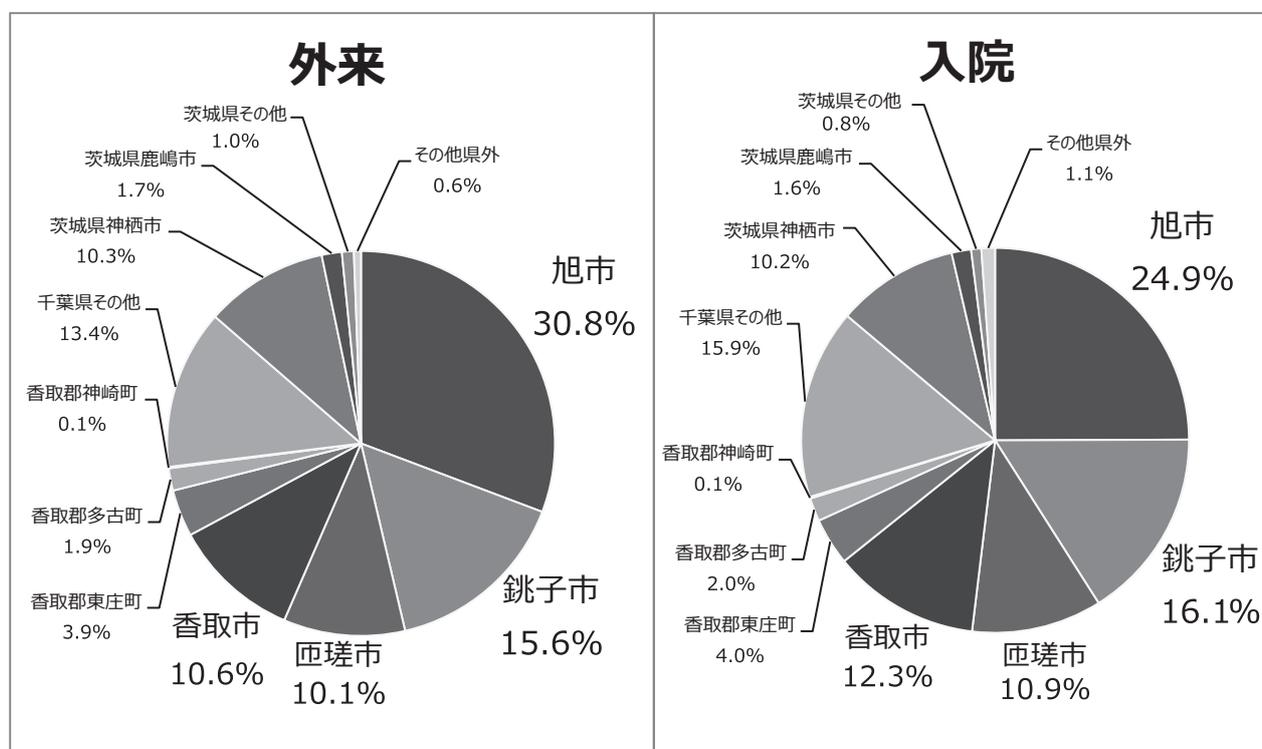
科別	外・入別	2022年度	2023年度	%	科別	外・入別	2022年度	2023年度	%
内科	外来件数	147,101	144,274	98.1	新生児科	外来件数	0	0	
	入院件数	11,539	12,723	110.3		入院件数	575	522	90.8
	外来金額	8,080,590	8,262,477	102.3		外来金額	0	0	
	入院金額	9,955,206	10,674,904	107.2		入院金額	474,785	409,462	86.2
	合計金額	18,035,796	18,937,381	105.0		合計金額	474,785	409,462	86.2
外科	外来件数	20,152	20,046	99.5	脳神経外科	外来件数	8,508	7,919	93.1
	入院件数	2,949	3,065	103.9		入院件数	1,384	1,430	103.3
	外来金額	994,554	1,090,144	109.6		外来金額	171,450	163,896	95.6
	入院金額	2,555,945	2,630,558	102.9		入院金額	1,407,241	1,351,700	96.1
	合計金額	3,550,499	3,720,703	104.8		合計金額	1,578,692	1,515,596	96.0
産婦人科 分娩件数	外来件数	26,759	25,369	94.8	麻酔科	外来件数	1,578	1,545	97.9
	入院件数	(713件)3,164	(666件)3,011	95.2		入院件数	0	0	
	外来金額	369,204	375,537	101.7		外来金額	13,702	12,052	88.0
	入院金額	1,044,199	1,000,274	95.8		入院金額	0	0	
	合計金額	1,413,403	1,375,812	97.3		合計金額	13,702	12,052	88.0
眼科	外来件数	18,072	10,976	60.7	心臓外科	外来件数	1,799	1,835	102.0
	入院件数	1,000	559	55.9		入院件数	193	235	121.8
	外来金額	544,637	305,282	56.1		外来金額	37,800	37,991	100.5
	入院金額	390,759	201,359	51.5		入院金額	617,906	667,530	108.0
	合計金額	935,395	506,641	54.2		合計金額	655,706	705,522	107.6
皮膚科	外来件数	10,970	11,193	102.0	形成外科	外来件数	6,530	6,149	94.2
	入院件数	284	392	138.0		入院件数	409	444	108.6
	外来金額	204,187	260,574	127.6		外来金額	92,292	83,065	90.0
	入院金額	121,907	183,594	150.6		入院金額	255,286	273,072	107.0
	合計金額	326,094	444,168	136.2		合計金額	347,579	356,137	102.5
耳鼻咽喉科	外来件数	14,345	14,723	102.6	リハビリ科	外来件数	2,586	2,692	104.1
	入院件数	652	735	112.7		入院件数	1	0	
	外来金額	292,278	356,753	122.1		外来金額	92,784	97,174	104.7
	入院金額	385,124	462,666	120.1		入院金額	12	0	
	合計金額	677,402	819,418	121.0		合計金額	92,795	97,174	104.7
整形外科	外来件数	18,171	18,770	103.3	歯科	外来件数	21,068	20,674	98.1
	入院件数	1,496	1,665	111.3		入院件数	136	130	95.6
	外来金額	306,937	315,811	102.9		外来金額	253,505	242,009	95.5
	入院金額	1,486,453	1,623,234	109.2		入院金額	61,790	64,159	103.8
	合計金額	1,793,390	1,939,045	108.1		合計金額	315,295	306,168	97.1
精神科	外来件数	19,673	19,111	97.1	合計	外来件数	367,413	356,087	96.9
	入院件数	545	611	112.1		入院件数	28,228	29,563	104.7
	外来金額	280,396	278,803	99.4		外来金額	15,457,741	15,434,007	99.8
	入院金額	341,478	367,088	107.5		入院金額	21,109,116	21,905,094	103.8
	合計金額	621,874	645,891	103.9		合計金額	36,566,857	37,339,100	102.1
泌尿器科	外来件数	18,234	17,892	98.1	※放射線科 (※再掲)	外来件数	3,675	3,216	87.5
	入院件数	2,092	2,049	97.9		外来金額	385,142	372,043	96.6
	外来金額	1,437,006	1,360,754	94.7	診療所	外来件数	3,581	3,298	92.1
	入院金額	1,012,940	957,554	94.5		外来金額	20,135	18,523	92.0
	合計金額	2,449,947	2,318,307	94.6		その他	差額室料	513,201	520,898
透析	外来件数	4,800	4,741	98.8	その他外		223,389	224,586	100.5
	入院件数	796	790	99.2		0	0		
	外来金額	1,622,444	1,589,930	98.0	総合計		37,323,581	38,103,107	102.09
	入院金額	562,582	541,026	96.2					
	合計金額	2,185,026	2,130,957	97.5					
小児科	外来件数	27,067	28,178	104.1					
	入院件数	1,013	1,202	118.7					
	外来金額	663,977	601,752	90.6					
	入院金額	435,501	496,915	114.1					
	合計金額	1,099,478	1,098,667	99.9					

※外来・入院件数は、レセプト請求件数(実患者数)です。

2024.4.16 医事課

## ●市町村別レセプト請求件数（2023年度）

市町村	外来		入院	
	件数	割合	件数	割合
旭市	104,011	30.8%	6,892	24.9%
銚子市	52,549	15.6%	4,447	16.1%
匝瑳市	34,256	10.1%	3,003	10.9%
香取市	35,941	10.6%	3,398	12.3%
香取郡東庄町	13,312	3.9%	1,094	4.0%
香取郡多古町	6,337	1.9%	539	2.0%
香取郡神崎町	400	0.1%	39	0.1%
千葉県その他	45,234	13.4%	4,407	15.9%
茨城県神栖市	34,801	10.3%	2,818	10.2%
茨城県鹿嶋市	5,666	1.7%	449	1.6%
茨城県その他	3,351	1.0%	234	0.8%
その他県外	1,985	0.6%	313	1.1%
全体	337,843	100.0%	27,633	100.0%



# ● 診療実績 (2023年度)

科別	外 来						入 院							
	1日平均		1年延数		1日平均		1年延数		1年延数		救命救急 各科内訳	緩和ケア 各科内訳		
	診療 日数	2022年度	診療 日数	2023年度	2022年度	2023年度	診療 日数	2022年度	診療 日数	2023年度			2022年度	2023年度
内科	243	712	243	706	173,029	171,516	365	345	366	340	125,931	124,527	3,986	3,966
感 染							365	0	366	0	0	0	0	0
心臓外科	107	22	116	21	2,316	2,402	365	8	366	11	3,038	3,975	1,201	0
麻 酔 科	227	14	197	16	3,194	3,230	365	0	366	0	0	0	0	0
外 科	243	123	243	122	29,989	29,568	365	80	366	77	29,253	28,245	792	904
形成外科	243	45	243	42	10,924	10,092	365	11	366	12	3,946	4,483	73	0
脳神経外科	243	42	243	38	10,289	9,163	365	48	366	45	17,412	16,476	386	130
整形外科	243	115	243	116	27,952	28,231	365	57	366	59	20,651	21,476	533	0
産婦人科	243	140	243	131	33,963	31,752	365	33	366	32	11,982	11,856	30	650
耳鼻咽喉科	243	89	243	89	21,723	21,636	365	14	366	18	5,012	6,461	110	424
皮 膚 科	243	93	243	90	22,550	21,936	365	6	366	9	2,266	3,448	34	13
泌尿器科	243	108	243	105	26,193	25,593	365	38	366	35	13,729	12,846	124	333
眼 科	243	135	243	78	32,719	18,986	365	12	366	6	4,204	2,098	0	0
歯 口 科	243	127	243	112	30,899	27,297	365	3	366	2	920	846	15	60
小 児 科	243	96	243	102	23,294	24,781	365	17	366	20	6,293	7,178	15	0
透 析	312	184	313	184	57,385	57,450	365	28	366	23	10,189	8,298	116	0
周産期医療 センター							365	14	366	12	5,189	4,445		
救命救急 センター	365	122	366	125	44,365	45,584	365	(22)	366	(20)	(7,995)	(7,424)		
緩和ケア							365	(19)	366	(18)	(6,974)	(6,480)		
リハビリ科	243	32	243	35	7,880	8,505	365	(243)	366	(217)	(88,850)	(79,279)		
人間ドック	243	11	243	11	2,591	2,616								
放射線科	243	70	243	66	17,122	16,040								
P E T	243	1	243	1	234	227								
訪問診療	243	1	243	1	298	247								
一 般 計		2,282		2,191	578,909	556,852	365	714	366	701	260,015	256,658	7,415	6,480
前年度比				96.0%		96.2%				98.2%		98.7%		
神経精神科	243	148	243	146	35,931	35,374	365	32	366	33	11,662	12,060		
前年度比				98.6%		98.4%				103.1%		103.4%		
合 計		2,430		2,337	614,840	592,226		746	366	734	271,677	268,718	7,415	6,480
前年度比				96.2%		96.3%				98.4%		98.9%		
ドック(外泊)							243	7	243	7	1,773	1,776		
飯岡診療所	149	25	98	35	3,655	3,459								
シルバーケア	241	17	266	15	4,084	3,991	365	91	366	91	33,112	33,244		
養護老人 ホーム							365	9	366	0	3,392	0		
特別養護老人 ホーム							365	29	366	1	10,736	535		
ケアハウス							365	40	366	40	14,600	14,625		

		2022年度	2023年度			2022年度	2023年度			2022年度	2023年度		
外 来 患 者 数	一 般	新患者数	98,517	96,168	救急患者数	総数	44,365	45,584	放射線科 治療人数	12,538	11,757		
		(新患者数※)	29,402	27,063		即時入院	6,782	6,993		検査人数	178,325	180,672	
		最高患者数	2,679	2,438		救急車搬送	8,904	9,403			PET検査総件数	1,492	1,506
		最低患者数	1,520	1,516		死亡数	1,223	1,177			検査科 検査件数	6,149,599	6,275,156
	精神	新患者数	590	539	剖 検	剖検数	72	69	中央手術室手術件数	8,330	7,898		
最高患者数	235	348	剖検率	5.9%		5.9%	透 析 件 数	57,187	57,051				
最低患者数	84	75	稼働病床 利用率	一般病床		92.6%	91.2%	分 娩 件 数	713	666			
新患者数	18,952	19,351		精神病床		76.1%	78.5%	外来化学療法件数	13,026	13,131			
(1日平均)	51.9	52.9		平均在院 日数(一般)	除外(無)	12.7	12.3	ドクターカー件数(NICU)	55	55			
最高患者数	773	783		除外(有)	14.0	13.1	ドクターカー件数(救急)	139	105				
入 院 患 者 数	一 般	新患者数	182	181	平均在院 日数(精神)	除外(無)	64.0	66.0	レセプト件数 (一般)	外来 390,056	378,896		
		最高患者数	39	39		レセプト件数 (精神)	入院 25,927	25,896					
		最低患者数	21	26		紹介患者数	18,574	18,462	紹介率	63.2%	68.2%		
		逆紹介患者数	28,058	26,579		逆紹介率	95.4%	98.2%	レセプト件数 (精神)	入院 536	549		

※ 平均在院日数 除外(有)

2018年度より短期滞在手術基本料3に該当・緩和ケア・NICU・GCU・精神科救急入院料・自費・労災の患者を除く

※ 稼働病床利用率 … 稼働病床内訳 平成26年4月～(一般763床、感染6床、精神42床)

※ 病床利用率=月延患者数÷(稼働病床数×月日数) 一般病床利用率には感染6床を含む

※ (新患者数※)…初診料算定の患者数

2024/4/11 総務人事課

## ●講演会などへの講師派遣一覧（2023年度）

派遣日	依頼元	講師名	依頼内容(演題等)	場所	対象者
4月24日	千葉県健康福祉部 児童家庭課	仙田 昌義 医師	一宮町家庭等における 虐待防止連絡協議会 代表者会議 講演	一宮町 保健センター 3階会議室	一宮町家庭等における 虐待防止連絡協議会 代表者
5月11日	国際医療福祉大学 保健医療学部 放射線・情報科学科	藤田 圭一 診療放射線技師	診療放射線特論 臨時講義 「医療の現場から」	国際医療福祉 大学 大田原キャンパス F棟 401教場	同大学学生117名 教員1名
5月13日～ 14日	The 40th Live Demonstration in KOKURA 実行委員会	早川 直樹 医師	EVTコース 今年も"朝スベ!" 「これがSuperaの生きる道」	オンライン開催 小倉記念病院	同学会参加者
5月16日	千葉科学大学	香取 良美 看護師	看護学部講義 成人急性期看護援助論I 「手術室の看護」	千葉科学大学	同大学 看護学部2年生
5月19日	長野医療生活協同組合 長野中央病院	坂本 壮 医師	オンライン救急セミナー 講師	オンライン (Zoom)	研修医・指導医
5月24日	千葉県立保健医療大学	今野 和成 作業療法士	地域作業療法学 特別講義「地域ケア会議での 連携を理解する」	千葉県立保健医 療大学 東校舎棟第3講 義室	同大学 作業療法学専攻 3年 25名
5月25日	東京都立大塚病院	坂本 壮 医師	令和5年度東京都立大塚病院 特別レクチャー「院内急変 BEST approach」の実施	オンライン方式 (ZOOM利用)	臨床研修医・参加を希望する 職員 計40名程度
5月26日	地方独立行政法人 東京都立病院機構総務部 連携調整担当部	坂本 壮 医師	回診による指導及び 講演会講師	都立広尾病院	同病院職員、他都立病院職員
5月27日	豊田市・藤田医科大学 連携地域医療学寄附講座	坂本 壮 医師	総合診療プログラム勉強会 「ERで大切なHi-Phy-Vi」	公益財団法人 豊田地域医療 センター	同勉強会参加者
5月29日	茨城県立医療大学	古川 恵一 医師	同大学講義「病態生理学」	オンライン	同大学講義受講者
5月31日	千葉県立保健医療大学	今野 和成 作業療法士	地域作業療法学 特別講義「災害時の地域作業 療法を学ぶ」	千葉県立保健医 療大学 東校舎棟第3講 義室	同大学 作業療法学専攻 3年 25名
5月31日	公益社団法人 地域医療振興協会	小山 知秀 医師	日本ATOM第24回 自治医科大学コース インストラクター	自治医科大学 先端医療技術 開発センター	コース受講者、助手参加者、 運営スタッフ等 約40名
6月3日	一般社団法人 日本神経学会	持田 英俊 医師	第10回日本神経学会メディカル スタッフ教育セミナー セミナー1:「認知症の基礎知識」 講師 「治療可能な認知症」	幕張メッセ 国際会議場3F 会議室302	同セミナー参加者
6月6日 6月13日 10月31日 11月14日	千葉県立飯高 特別支援学校	宇井 円 言語聴覚士	自立活動(認知・コミュニケーション) の指導	千葉県立飯高 特別支援学校	同校 職員
6月13日	公益社団法人 日本看護協会 看護研修学校	坂本 壮 医師	「フィジカルアセスメント:基礎」	本校での対面授 業、またはWeb	同校認定看護師教育課程授業 参加者
6月16日	掛川市・袋井市病院 企業団立中東遠 総合医療センター	坂本 壮 医師	指導医向け講演会 講師	掛川市・袋井市 病院企業団立 中東遠総合 医療センター	研修医、指導医ほか

派遣日	依頼元	講師名	依頼内容(演題等)	場所	対象者
6月21日	済生会横浜市東部病院 人材開発センター	仙田 昌義 医師	2023年度認定看護師教育課程 「子どもと家族の理解」 講師	済生会横浜市 東部病院 認定看護師教育 課程 講義室	本課程小児プライマリケア分野 3期生9名
6月21日	神栖市立神栖第一中学校	山崎 千尋 看護師	「職業人に聞く会」 講師	神栖第一中学校 (Zoom)	中学2年生 62名
6月22日 9月14日 10月5日 10月30日 11月14日 2024年 1月30日	千葉県立 銚子特別支援学校	遠藤 響 理学療法士	児童生徒の指導場面の視察と 指導助言	同校 自立活動室	同校 職員
6月23日	協立総合病院	坂本 壮 医師	「救急医療について」 講師	協立総合病院	同講演参加者
6月26日	茨城県立医療大学	古川 恵一 医師	臨床薬理学 講師	オンライン	同学校 受講者
6月30日	地方独立行政法人 東京都立病院機構	坂本 壮 医師	回診による指導及び講演会 講師	都立広尾病院	広尾病院職員、他都立病院職員
7月2日	第14回日本子ども虐待 医学会学術集会	仙田 昌義 医師	シンポジウム3 座長2	尼崎市総合文化 センター	学会参加者
7月4日	銚子市立第一中学校	中津 裕臣 医師	令和5年度健康教室 (性感染症予防指導、がん教育 を含む)	銚子市立 第一中学校 体育館	3学年生徒(人数52名)
7月5日	香取おみがわ医療センター 附属看護専門学校	河口 成富 看護師	精神看護援助論演習 訪問看護の実際	香取おみがわ 医療センター 附属看護専門学校	看護学生 (准看護師免許を有する進学課 程) 2年生24名
7月7日	海匝保健所管内栄養士会	荻野 淳 医師	第1回研修会講演「糖尿病につ いて」	あさひ市民セン ター ホール	海匝保健所管内栄養士会 約50名
7月7日～ 9日	臨床研修プログラム研究会	坂本 壮 医師	ER アップデート2023 in 沖縄	Royal Hotel 沖縄残波岬	全国の臨床研修医130名
7月11日	東庄町立東庄中学校	中津 裕臣 医師	性教育(思春期の心と体の成 長・性感染症等) 講師	同校 体育館	3年生
7月14日	静岡市立静岡病院	坂本 壮 医師	救急外来たぐいま診断中 in 静岡 ver.8	Web配信	研修医・救急業務に携わる 看護師等 約50名
①7月18日 ②9月19日 ③10月26日 ④12月12日	海匝保健所	中津 裕臣 医師	青少年に対するエイズ等性感染 症対策講習会 「知っている?性感染症 わたしたちにできること」	①東総工業高等 学校 ②銚子商業高等 学校(定時制) ③市立銚子高等 学校 ④匝瑳高等学校 (定時制)	①1年生 150名 ②1-4年生 25名 ③1年生 270名 ④1-4年生 27名
7月21日	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	坂本 壮 医師	初期研修医・専攻医を対象に した講演会	社会医療法人 かりゆし会 ハートライフ病院 2階講堂	初期研修医・専攻医
7月21日	千葉県健康福祉部 児童家庭課	仙田 昌義 医師	乳幼児健診と健診の精度管理 について	千葉県 健康福祉部 児童家庭課内 (ZOOMによる オンライン開催)	市町村母子保健事業担当者、市 町村子育て支援担当者、健康福 祉センター職員、児童相談所職 員、千葉県助産師会会員(保健 師・助産師・保育士等)
7月22日～ 8月25日 8月26日	特定非営利活動法人 言語発達障害研究会	宇井 円 言語聴覚士	<S-S法> 言語発達遅滞検査 講習会	自宅または中小 企業会館(オン デマンド配信・ Zoomによるライ ブ配信)	同講習会参加者

派遣日	依頼元	講師名	依頼内容(演題等)	場所	対象者
7月26日 8月1日	千葉県海匝保健所	宮本 頼子 看護師	講演「保育所(園)の感染予防 対策について」	総合病院国保 旭中央病院 研修棟 5階 大講堂	海匝保健所管内の保育所・ 園職員・管内各市母子保健 担当者等
7月29日	長野医療生活協同組合 長野中央病院	坂本 壮 医師	救急セミナー	長野中央病院 研修ホール	研修医・指導医
7月31日	社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター	仙田 昌義 医師	地域母子保健研修会4「母子 保健活動における子ども虐待防 止 応用編」「子ども虐待早期 発見と対応、地域と医療の機関 連携、多職種連携」	社会福祉法人 恩賜財団 母子愛育会 4階研修室	母子保健に従事する保健師・ 助産師等の指導的立場 (管理職や中堅保健師)にある 専門職100名
2023年 8月～ 2024年 3月	一般社団法人 日本家族計画協会	仙田 昌義 医師	困難なケースへの初期対応、 虐待・DVの疑いケースへの 初期対応	一般社団法人 日本家族計画 協会	保健師、助産師、医師、ソーシャ ルワーカー、子育て世代包括支援セ ンター担当者、保育士等
8月4日	公益社団法人 全国自治体病院協議会	菅谷 敏之史 事務局長	2023年度 事務管理者研修会 「コロナ禍においても将来を見据 えて取り組んだ事例について」	全国都市会館 3階(第1会議室)	事務部門の長、管理職員、 中堅職員等
8月10日	公益社団法人 日本看護協会 看護研修学校	高橋 功 医師	「講義 主要病態とケア」	本校での対面授 業、またはWebに よる遠隔授業	看護師
8月11日～ 12日	隠岐広域連立立隠岐病院 島の医療人育成センター	坂本 壮 医師	オキフェス2023 医学生や研修医の知識の向上 と、地域医療の発展	卵敷保養センター (島根県隠岐郡 隠岐の島町卵敷)	医学生・研修医
8月23日	千葉科学大学	鈴木 良夫 医師	細胞診断学特別実習I 危機管理学部 保健医療学科 細胞検査士養成プログラム	千葉科学大学 マリーナキャンパス 危機管理学部棟 2階 4202	千葉科学大学学生
8月23日	地方独立行政法人 東京都立病院機構	坂本 壮 医師	回診による指導及び 講演会講師	都立広尾病院	広尾病院職員、他都立病院職員
8月25日	島根県立中央病院	坂本 壮 医師	総合診療セミナー	島根県立中央病院 研修棟3階 シミュレーター室 (WEB形式による)	県内で総合医を目指す医師等
9月2日	銚子市歯科医師会	小島 佑貴 歯科医師	銚子市歯科医師会学術講演会	犬吠埼ホテル	同講演会参加者
9月8日	千葉県海匝保健所	中村 朗 医師	「外国人労働者に多い結核を早 期発見し、安心して治療を受けて もらうために知ってほしいこと」	総合病院国保 旭中央病院 研修棟5階 大講堂	技能実習生を管理している監視 団体及び雇用している事業主等
9月12日	香取市立佐原中学校	中津 裕臣 医師	エイズを含めた性感染症の予防	香取市立 佐原中学校 体育館	中学3年生192名 (他 職員12名程度)
9月12日 10月4日	公益社団法人 日本看護協会 看護研修学校	加瀬 昌子 皮膚・排泄ケア 特定行為看護師	「講義 ストーマの管理」 「講義及び演習支援 創傷管 理関連<創傷の管理の実際>」 評価および質問対応がある場合 はそれを含む	本校での対面授 業、またはWebに よる遠隔授業	看護学生
9月13日	旭市地域自立支援協議会	櫻井孝二、 新澤なつみ 精神保健福祉士	障害とともに暮らす発表活動 発表活動の振り返り	旭市多世代交流 施設 おひさまテラス パーティールーム	同協議会関係者
9月15日	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	坂本 壮 医師	敗血症	社会医療法人 かりゆし会 ハートライフ病院 2階講堂	初期研修医・専攻医

派遣日	依頼元	講師名	依頼内容(演題等)	場所	対象者
9月20日	植草学園大学	川島 康平 理学療法士	「客観的臨床能力試験の外部評価」	植草学園大学 L棟 運動療法室	保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻4年次生 41名
9月22日	飯田市立病院	坂本 壮 医師	症例検討及びウェブ講演	オンライン	研修医
9月22日	神栖市	東 修智 医師	神栖市熱傷・薬傷症例検討会 講師	神栖市内施設	関係医療機関・企業・行政
10月4日～ 5日	千葉県健康福祉部 医療整備課	伊藤 史生 医師 寺嶋 一成 看護師 赤沢 雄耶 看護師 飯笹 亜希子 看護師	千葉県地域災害派遣医療チーム (CLDMAT)養成研修	千葉県赤十字 会館 (日本赤十字社 千葉県支部)	同講習会参加者
10月7日	福井大学医学部附属 総合診療・総合内科 センター	坂本 壮 医師	GGGセミナー1007 「けいれんを前にビクビクしない ために」	福井大学医学部 附属 総合診療・総合 内科センター	研修医・指導医
10月17日	千葉県立佐原病院	向後 徹生 薬剤師 (ファシリテーター: チームSTEPPS- やってみようTeam STEPPS-] ワーキングメン バー4名)	「チームで取り組む医療安全 -やってみようTeam STEPPS-」	千葉県立 佐原病院 本館5階 メイン会議室	医療スタッフ (主にリスクマネジャー)30名程度
10月18日	学校法人旭鈴木学園 認定こども園 あさひこひつじ幼稚園	仙田 昌義 医師	「安心して地域で子育てをするた めに～これって虐待?誰にでもあ る育児の悩み～」	あさひこひつじ 幼稚園	幼稚園園児の保護者 就園前児の保護者
10月20日	静岡赤十字病院	坂本 壮 医師	若手医師向け救急セミナー	Web開催 (Zoom利用)	静岡赤十字病院 研修医・若手医師
10月21日	千葉県保育協議会 海匝支会	中村 朗 医師	「感染症の正しい理解と その対応について」	いいおかコート ピアセンター	保育士70名程度
①2023年 10月22日 ②2024年 2月3日	一般社団法人 日本家族計画協会	仙田 昌義 医師	児童虐待とその防止のための 連携	①神戸国際会館 セミナーハウス大 会場 ②日本教育会館 第一会議室	保健師、助産師、医師、ソーシャル ワーカー、行政の子育て世代包 括支援センター担当者、保育士 等
10月24日	公益社団法人 日本看護協会 看護研修学校	坂本 壮 医師	「講義 フィジカルアセスメント: 基礎」	本校での対面授 業、または Webによる遠隔 授業	同講義参加者
10月27日	日本赤十字社 愛知医療センター 名古屋第二病院	坂本 壮 医師	「意識障害」	日本赤十字社 愛知医療センター 名古屋第二病院 3病棟1階 研修ホール	同病院職員
11月2日	独立行政法人 労働者健康安全機構 中国労災病院	仙田 昌義 医師	児童虐待について(仮)	中国労災病院 8階 多目的ホール	初期臨床研修医 17名及び 当院職員 約80名
11月10日	長野医療生活協同組合 長野中央病院	坂本 壮 医師	救急セミナー「痙攣(仮)」	オンラインセミナー (zoom)	研修医・指導医
11月11日	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	坂本 壮 医師	未定:病院説明会と講演会	エリスリーナ西原 ヒルズガーデン 2F デンファレ	医学生・初期研修医・専攻医

派遣日	依頼元	講師名	依頼内容(演題等)	場所	対象者
11月11日	一般社団法人 日本血液製剤機構 東日本統括部	小林 宏伸 医師	「第16回千葉小児救命 集中治療研究会/世話人会」 (ハイブリッド開催)	TKPガーデン シティ千葉 4階世研人会 「ラルゴ」・研究会 「カノン」	第16回千葉小児救命集中治療 研究会・世話人(ハイブリッド開 催)世話人会19名・研究会60名
11月15日	千葉県海匠保健所	畠山 悠輝 理学療法士	講演「神経筋難病患者のリハビリ・リラクゼーションについて」	総合病院 国保 旭中央病院 3階 しおさいホール	神経筋系難病患者および その家族と支援者 20名程度
11月16日	一般社団法人 香取匠磋歯科医師会	小島 佑貴 歯科医師	令和5年度 香取匠磋歯科医師会 学術講演会	香取匠磋 歯科医師会 「歯科センター」	同講演会参加者
11月16日	香取市	仙田 昌義 医師	「どうする支援者 ～児童虐待 の告知ロールプレイ～」 (虐待を告知するための具体的 な対応方法)	香取市役所 本庁舎 5階 大会議室	香取市要保護児童対策地域協 議会の構成員・小中学校教職員・ 幼稚園、保育所(園)職員・その他 関係機関等
11月21日	旭市地域自立支援協議会	櫻井 孝二、 新澤 なつみ 精神保健福祉士	発表活動の振り返り 次回の発 表活動 旭市地域自立支援協 議会の広報について	旭市役所1階市 民ホール	同協議会関係者
11月21日	千葉県海匠保健所	高橋 健太 医師	講演「子宮頸がん検診とHPVワ クチン接種に関する最新知識に ついて」	総合病院国保 旭中央病院 研修棟 5階 大講堂	香取・海匠保健所管内の食生活 改善推進員、保健推進員、市町 職員(保健師・栄養士等)、管内 各学校(小学校・中学校・高等学 校・特別支援学校)養護教諭及 び関係職員、保健所保健師等
11月24日	静岡市立静岡病院	坂本 壮 医師	救急外来たぐいま診断中 in静岡 ver.8	Web配信による 開催	研修医・救急業務に携わる 看護師等 約50名予定
11月28日	千葉県こども病院	櫛田 俊一 医師	第1回千葉県こども病院 Team-STEPPS <sup>®</sup> 研修会	千葉県 こども病院 第一会議室	同研修会参加者
11月28日	千葉科学大学	河口 成富 看護師	「精神看護援助論II」講演	千葉科学大学	同看護学部看護学科2年生
11月30日	一般社団法人 しまね地域医療支援センター	坂本 壮 医師	アンガーマネジメント	WEB会議 (Zoom会議)	県内の医師40名予定
12月上旬	八街市立八街南中学校	窪木 峻馬 看護師	「職業について」の講和	リモートによる 実施	本校 2学年
12月1日	地方独立行政法人 東京都立病院機構	坂本 壮 医師	回診による指導及び 講演会講師	都立広尾病院	広尾病院職員、他都立病院職員
12月1日～ 31日	一般社団法人 千葉県臨床工学技士会	多田 淳之助 臨床工学技士	「アフエーシスの基礎」に ついて	オンデマンド配信	臨床工学技士経験3年未満の 若手技師
12月5日	千葉県健康福祉部 医療整備課	伊藤 史生 医師 赤沢 雄耶 看護師 飯笹 亜希子 看護師	令和5年度第1回CLDMAT 技能維持研修	千葉県総合 救急災害医療 センター 防災棟	同研修参加者
12月8日	松江赤十字病院救急部	坂本 壮 医師	松江市、島根県における初期研 修医・若手研修医への救急学、 総合内科学の啓蒙	松江赤十字病院 会議室1	初期研修医・若手研修医
12月8日	京都第二赤十字病院	早川 直樹 医師	四肢の血管拡張術・血栓 除去術	京都第二赤十字 病院	当院医師
12月10日	特定非営利活動法人 千葉医師研修支援ネット ワーク	坂本 壮 医師	第8回Chiba Clinical Skills Boot Camp 2023	ペリエホール (ペリエ千葉7階)	初期臨床研修医40名

派遣日	依頼元	講師名	依頼内容(演題等)	場所	対象者
12月11日	千葉県立旭農業高等学校	仙田 昌義 医師	「発達障害とその支援について」	千葉県立旭農業高等学校会議室	教職員
2023年12月11日 2024年1月23日	一般社団法人千葉県高齢者福祉施設協会	持田 英俊 医師	「認知症の専門知識」(認知症の医学的知識)	Zoomによるオンライン研修 実施スタジオ: オークラ千葉ホテル2階アゼリア	同研修会参加者
12月12日	千葉県香取保健所	中津 裕臣 医師	講演「性感染症の予防」	学校法人早稲田学園 わせがく高等学校 多古本校 ホール	全学年生徒63名及び職員数名
12月15日	千葉県こども病院	古賀 千悠 医師	講演: 性被害確認診察の取り組み	成田赤十字病院 研修棟	同講演参加者
12月16日 ~17日	福井大学医学部付属病院	坂本 壮 医師	令和5年度福井大学医学部 附属病院卒後臨床研修指導医 講習会	福井大学医学部 付属病院 臨床教育研修 センター2階 白翁会ホール、 セミナー室1、2	臨床研修及び地域医療に携わる 医師で2日間を通して参加できる者 40名程度
12月22日	公立大学法人 福島県立医科大学	坂本 壮 医師	講演「救急医療入門」	会津医療センター・WEB同時 配信	学生・研修医
1月9日~ 19日 1月22日~ 2月5日	千葉県臨床細胞学会	磯部 良徳 臨床検査技師	WebによるWSI(バーチャルスライド)を用いた症例検討会 各症例における細胞判定の ポイントを学ぶ	Web開催	研修会参加者
1月10日	医療法人社団筑波記念会 筑波記念病院	坂本 壮 医師	講演:第8回筑波記念病院学術 集会	筑波記念病院 S棟2階 大会議室	同病院臨床研修医、医局員
1月11日	千葉県健康福祉部 児童家庭課 八街市要保護児童対策 地域協議会	仙田 昌義 医師	性的虐待について	八街市総合保健 福祉センター3階 大会議室	代表者会議出席者
1月16日	千葉県消防学校	中津 裕臣 医師	救急業務及び救急医学の基礎 「解剖生理」(泌尿器系) 応急処置の総論「観察」 (泌尿器系疾患)	千葉県消防学校	救急科第54期 93名
1月17日	千葉県消防学校	櫛田 俊一 医師	救急業務及び救急医学の基礎 「解剖生理」(循環器系)	千葉県消防学校	救急科第54期 93名
1月17日	名古屋掖済会病院	坂本 壮 医師	演題「アナフィラキシー」	名古屋 掖済会病院 講堂 (ZOOM開催)	初期臨床研修医
1月18日	旭市立矢指小学校	仙田 昌義 医師	校内研修会 同校児童に関する情報交換	旭市立 矢指小学校	同校教職員
1月20日	一般社団法人 千葉県臨床検査技師会	岩井 利恵 臨床検査技師	令和5年度銚子地区技師長会・ 研修会「入職時の新人研修に ついて(仮)」	国際医療福祉大学 成田保健医療学 部EA棟 8階会議室	同研修会 参加者
1月22日	順天堂大学大学院 医療看護学研究科	中村 朗 医師	感染看護学特論V (感染症制御システム論) 地域活動における感染予防対策 の連携「在宅・地域における感染 防御と連携」	Zoomによる リアルオンライン 型授業	医療看護学研究科 博士前期課程1年 2名

派遣日	依頼元	講師名	依頼内容(演題等)	場所	対象者
1月24日	飯田市立病院	坂本 壮 医師	オンラインによる症例検討及びウェブ講演	オンライン	研修医
1月26日	南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター	坂本 壮 医師	第10回レジデントデイ 「救急医療」についての勉強会	南奈良総合医療 センター(WEB)	同病院研修医
1月28日	国立病院機構 岡山医療センター	仙田 昌義 医師	児童虐待の早期発見と防止の ための児童虐待対応プログラム BEAMS講習会	岡山大学病院内 マスカットキューブ 3F	医師、歯科医師、児童相談所 職員、看護師、保健師、助産師、 MSWなど
1月30日	日本弁護士連合会	仙田 昌義 医師	シンポジウム「AHTの現場を知 ろう～子どもと保護者のための 「虐待による乳幼児頭部外傷 (AHT)/乳幼児揺さぶられ症 候群(SBS)」」講師	Zoomウェビナー によるオンライン 配信	日本弁護士連合会員
2月1日	千葉県消防学校	伊藤 史生 医師	病態別応急処置「心肺停止」	千葉県消防学校	救急科第54期 93名
2月2日	地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立 こども医療センター	仙田 昌義 医師	「在宅における医療ケア児に 対するネグレクト」	神奈川県立 こども医療センター 本館2階 講堂 (ハイブリッドも含 む)	神奈川県内で小児の在宅生活を 支援されている方 在宅医を始め、訪問看護ステー ション、医療機関、学校・保育園、 療育センターに在籍する、看護 師・保育士・SW・PT・OTの方々
2月3日～ 4日	臨床研修プログラム研究会	坂本 壮 医師	「ER アップデート2024 in 東京ベイ」講師	東京ベイ 舞浜ホテル ファーストリゾート	全国の臨床研修医110名
2月14日	公益社団法人 日本看護協会 看護研修学校	加瀬 昌子 皮膚・排泄ケア特 定行為看護師	2023年度特定行為研修 「演習支援 創傷管理関連 〈創傷の管理の実際〉」	同校での対面授 業、またはWebに よる遠隔授業	同研修参加者
2月16日	静岡赤十字病院	坂本 壮 医師	若手医師向け救急セミナー	Web開催 (Zoom利用)	同病院研修医・若手医師
2月17日	長野医療生活協同組合 長野中央病院	坂本 壮 医師	救急セミナー 「マイナーエマージェンシー(仮)」	長野中央病院 研修ホール	研修医・専攻医・指導医
2月17日	千葉県内視鏡実技研究会	志村 謙次 医師	第29回 千葉県内視鏡実技研究会 ～胆膵分野～ 司会	ホテルスプリングス 幕張 本館3階 クリスタル	千葉県内視鏡実技研究生
2月21日	公益社団法人 全国自治体病院協議会	川副 泰成 医師	2023年度精神保健指定医 研修会	東京「砂防会館 別館」 利根	受講後3年以内に精神保健指定 医の申請を行う者 約270名
2月25日	一般社団法人 日本家族計画協会	仙田 昌義 医師	児童虐待とその防止のための 連携	ホルトホール 大分 大会議室	保健師、助産師、医師、ソーシャル ワーカー、行政の子育て世代包 括支援センター担当者、保育士 等
2月27日	多古町立多古中学校	中津 裕臣 医師	エイズ・性感染症予防と 命の大切さ	多古町立 多古中学校 第一集会室	3年生 104名
2月29日	公益社団法人 千葉県国民健康保険直営 診療施設協会	荻野 淳 医師	仮題「最近の糖尿病事情」	Web会議システム (ZOOM)による オンライン方式	県下会員病院栄養担当職員
3月2日	Clinical Dental Anesthesiologist Club	小島 佑貴 歯科医師	「エコーを利用した三叉神経痛 ブロック(仮)」	ZOOMを用いた Web講演	CDACに所属する歯科麻酔科医
3月15日	千葉県健康福祉部 障害者福祉推進課	仙田 昌義 医師	「発達・精神障害のある方への 相談対応等について」(課題)	千葉市文化セン ター5階 セミナー室	広域専門指導員及び障害者 条例事務を担当する職員

## ●健康づくり支援委員会出前講座実施一覧（2023年度）

開催日	講師	依頼者	演題	人数	場所
2023年 4月25日	救急救命科主任部長代理 伊藤 史生 医師	年金友の会三栄支部	家庭で出来る応急処置について	30	新町よし野
7月2日	リハビリテーション科 藤瀬 恵美 作業療法士	広原地区社会福祉協議会	認知症予防について	80	広原南区集会所
10月8日	リハビリテーション科 藤瀬 恵美 作業療法士	袋ことぶき会	認知症予防について	37	にわ国道店
10月25日	リハビリテーション科 林 真也 作業療法士	飯岡地区社会福祉協議会	認知症予防について	25	永井岡区民館
11月11日	リハビリテーション科 大槻 真史 作業療法士	西部ふれあい会	認知症予防について	33	銚子市クリーンセンター
11月15日	リハビリテーション科 長谷川 類 作業療法士	飯岡地区社会福祉協議会	認知症予防について	17	飯岡大崎町区民館
11月22日	リハビリテーション科 今野 和成 作業療法士	飯岡地区社会福祉協議会	認知症予防について	21	飯岡社会福祉センター研修室
2024年 2月28日	神経精神科 精神科認定看護師 鈴木 恵 看護師	成田デジタルキャリア	こころの健康	35	旭市二





医療統計

## ●医療実績(クリニカルインディケーター)

項目		2022年度	2023年度	計算方式
退院患者数		19,217人	19,478人	
1日平均在院患者数		745人	737人	$\frac{\text{在院患者延べ数}}{365}$
平均在院日数	一般	13.7日	13.3日	$\frac{\text{在院患者延べ数}}{\text{退院患者数}}$
	精神	64.1日	68.9日	$\frac{\text{在院患者延べ数}}{\text{退院患者数}}$
院内粗死亡率		5.9%	5.5%	$\frac{\text{死亡患者数}}{\text{退院患者数}} \times 100$
院内精死亡率		5.0%	4.7%	$\frac{\text{入院48時間以後死亡数}}{\text{退院患者数}} \times 100$
剖検率		6.4%	6.3%	$\frac{\text{剖検数}}{\text{死亡患者数}} \times 100$
新生児死亡率		1.4‰	0‰	$\frac{\text{新生児死亡数}}{\text{出生数}} \times 1000$
帝王切開率		29.2%	25.8%	$\frac{\text{帝切件数}}{\text{分娩件数}} \times 100$

### 分類及び集計方法

- 1.対象期間は2023/04/01～2024/03/31とする。
- 2.国際疾病分類(International Classification of Diseases 略号:ICD-10)は、厚生省大臣官房統計情報部編「疾病、傷害および死因統計分類提要」を使用した。
- 3.病名に関する統計は、筆頭主病名を対象とした。
- 4.手術分類(International Classification of Diseases, 9th Revision, Clinical Modification, Volume3, Procedures, fifth-edition 略号:ICD-9-CM)を使用した。
- 5.内科詳細科の分類は、診療実績を把握するため主治医で判断する。  
内科で救急救命科医師が主治医の場合、救急救命科として表記する。  
内科以外の診療科で救急救命医が主治医の場合は、( )で表示する。
- 6.退院患者と病名に関する統計件数の誤差は、産科を省いたために生じたもの。

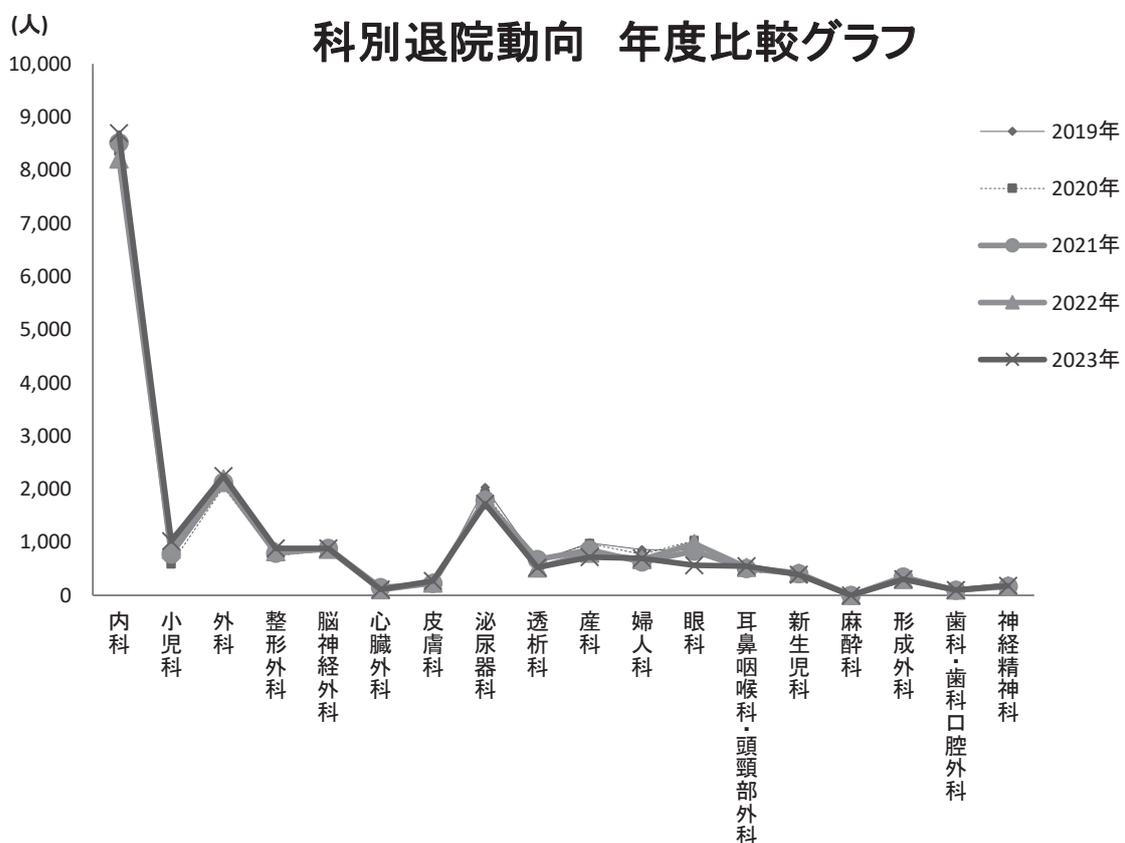
### 統計表の見方

#### 転科を行った場合

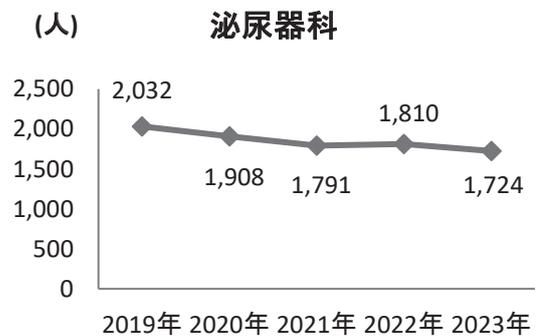
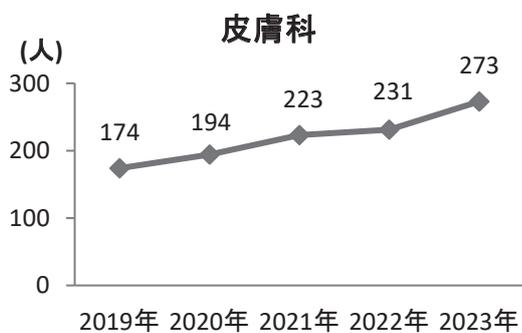
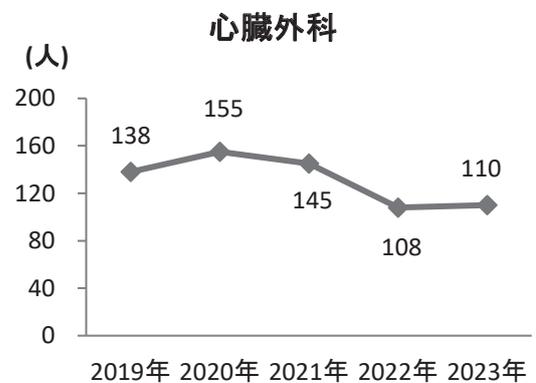
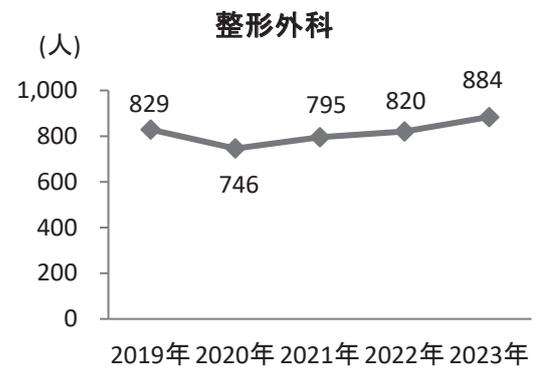
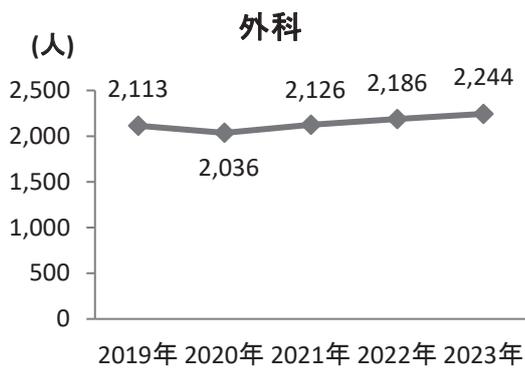
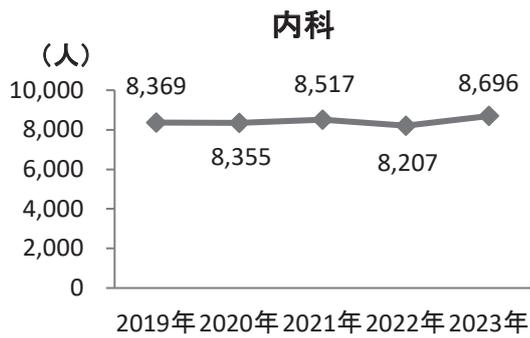
- 1.退院患者に関する統計  
診療科が関係する統計表では、各々の診療科で集計(延べ人数)  
診療科が関係しない統計表では、1件として集計(実人数)
- 2.病名に関する統計  
各々の診療科で集計(延べ数)

## ●科別退院患者数の動向

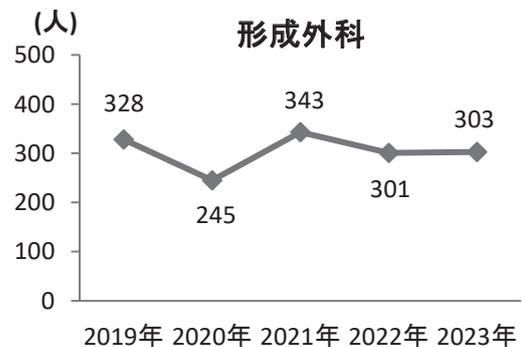
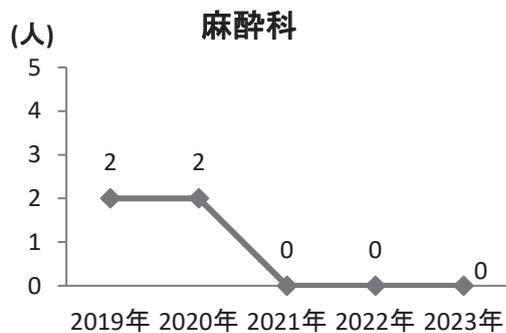
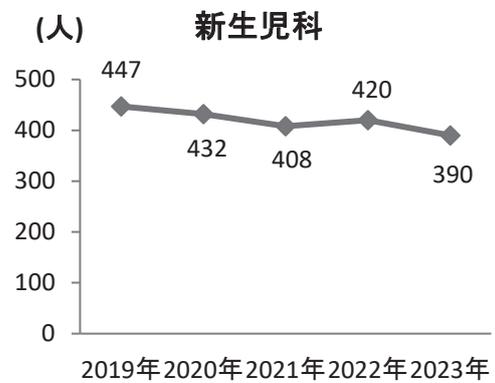
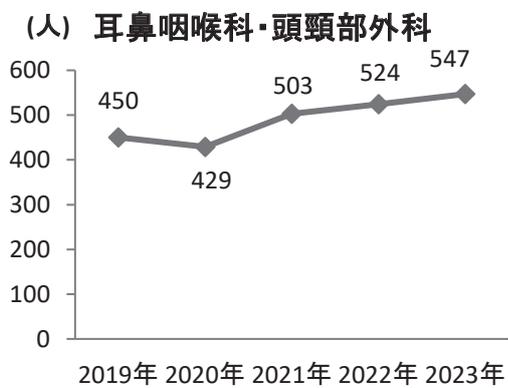
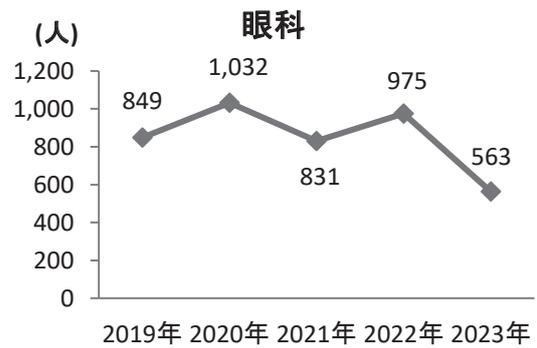
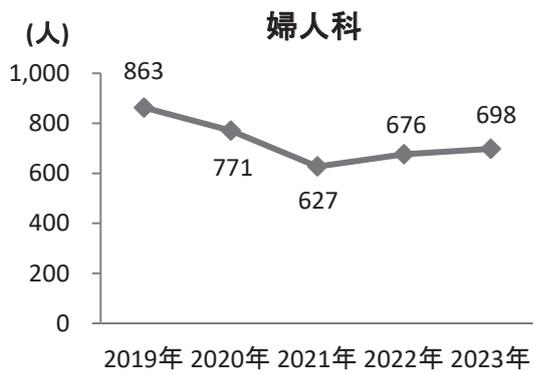
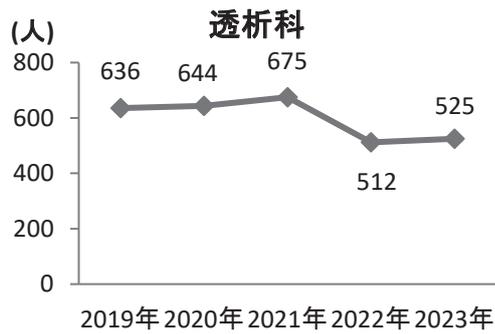
科名 \ 年度	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
内科	8,369	8,355	8,517	8,207	8,696
小児科	1,111	587	777	867	1,022
外科	2,113	2,036	2,126	2,186	2,244
整形外科	829	746	795	820	884
脳神経外科	830	839	885	868	881
心臓外科	138	155	145	108	110
皮膚科	174	194	223	231	273
泌尿器科	2,032	1,908	1,791	1,810	1,724
透析科	636	644	675	512	525
産科	983	976	854	791	721
婦人科	863	771	627	676	698
眼科	849	1,032	831	975	563
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	450	429	503	524	547
新生児科	447	432	408	420	390
麻酔科	2	2	0	0	0
形成外科	328	245	343	301	303
歯科・歯科口腔外科	133	127	97	101	102
神経精神科	237	198	169	177	179
合計	20,524	19,676	19,766	19,574	19,862



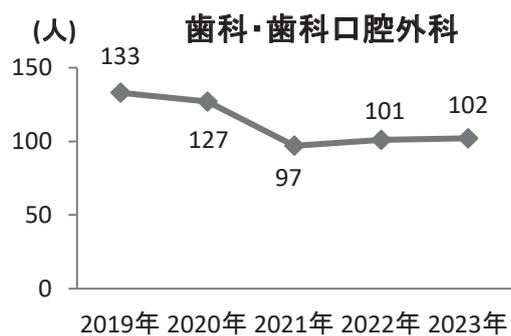
# 科別退院患者数 年度比較グラフ



# 科別退院患者数 年度比較グラフ



## 科別退院患者数 年度比較グラフ



## ●地区別退院患者数の動向 (2次保健医療圏) (2023年度)

性別		地区	香取海匝	山武長生 夷隅	鹿行	その他 (診療圏外)	印旛	千葉	東葛南部	東葛北部
男女 計	(人)		13,522	2,875	2,504	221	164	66	51	27
	%		69.4	14.8	12.9	1.1	0.8	0.3	0.3	0.1
男	(人)		7,600	1,682	1,370	100	92	23	21	14
	%		69.5	15.4	12.5	0.9	0.8	0.2	0.2	0.1
女	(人)		5,922	1,193	1,134	121	72	43	30	13
	%		69.3	14.0	13.3	1.4	0.8	0.5	0.4	0.2

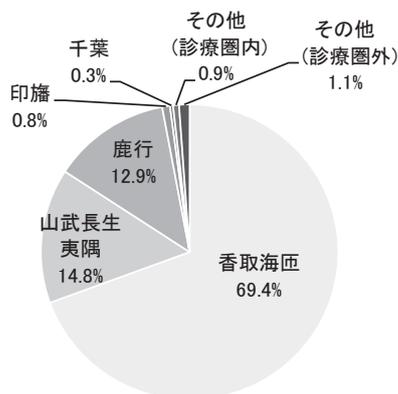
性別		地区	取手・ 竜ヶ崎	君津	常陸太田・ ひたちなか	安房	水戸	つくば	市原	日立
男女 計	(人)		24	8	7	4	2	2	1	0
	%		0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男	(人)		17	6	5	2	2	0	0	0
	%		0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女	(人)		7	2	2	2	0	2	1	0
	%		0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

性別		地区	土浦	筑西・ 下妻	古河・ 坂東	不明	合計
男女 計	(人)		0	0	0	0	19,478
	%		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
男	(人)		0	0	0	0	10,934
	%		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
女	(人)		0	0	0	0	8,544
	%		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

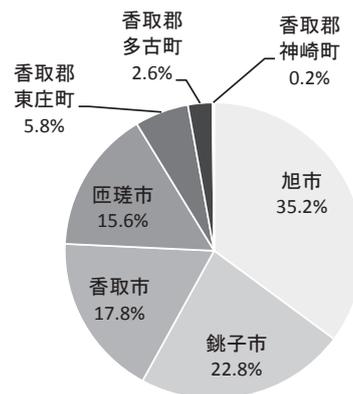
### 香取海匝地区詳細

性別		地区	旭市	銚子市	香取市	匝瑳市	香取郡 東庄町	香取郡 多古町	香取郡 神崎町	合計
男女 計	(人)		4,755	3,082	2,405	2,109	790	357	24	13,522
	%		35.2	22.8	17.8	15.6	5.8	2.6	0.2	100.0
男	(人)		2,606	1,740	1,382	1,200	469	192	11	7,600
	%		34.3	22.9	18.2	15.8	6.2	2.5	0.1	100.0
女	(人)		2,149	1,342	1,023	909	321	165	13	5,922
	%		36.3	22.7	17.3	15.3	5.4	2.8	0.2	100.0

地区別患者退院割合



香取海匝地区退院患者割合

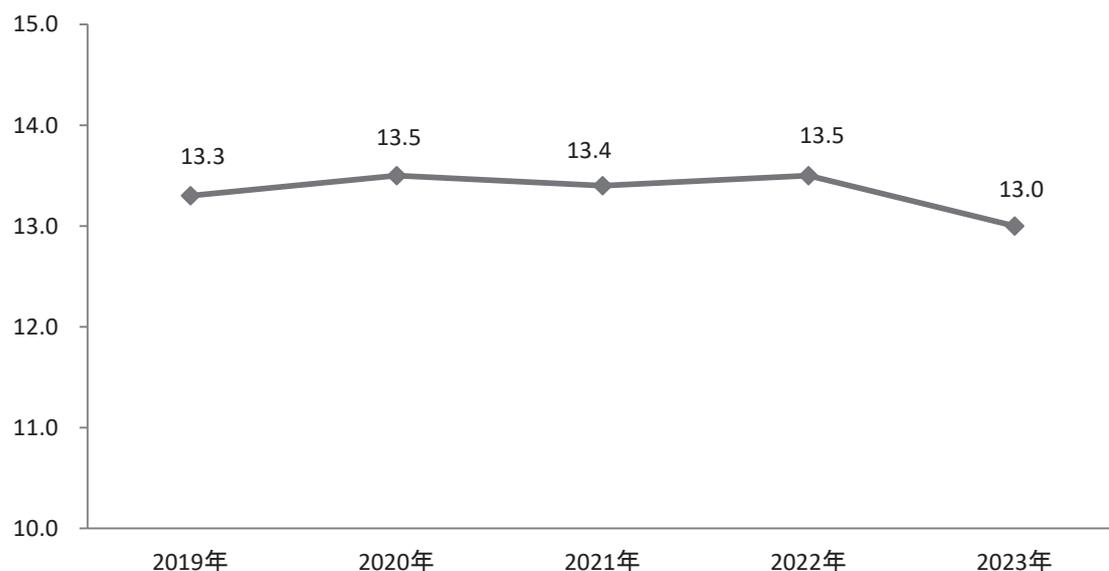


## ●退院患者平均在院日数の動向

期間		年度				
		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
0-8日	件数	11,650	10,952	11,059	11,125	11,370
	%	57.4	56.2	56.4	57.4	57.8
9-15日	件数	3,924	3,845	3,897	3,769	3,818
	%	19.3	19.7	19.9	19.4	19.4
16-22日	件数	1,573	1,653	1,635	1,516	1,487
	%	7.8	8.5	8.3	7.8	7.6
23-31日	件数	1,165	1,193	1,149	1,019	1,126
	%	5.7	6.1	5.9	5.3	5.7
32-61日	件数	1,461	1,336	1,399	1,400	1,390
	%	7.2	6.9	7.1	7.2	7.1
62-91日	件数	332	306	319	349	308
	%	1.6	1.6	1.6	1.8	1.6
3-6ヶ月	件数	157	169	120	194	167
	%	0.8	0.9	0.6	1.0	0.8
6ヶ月-1年	件数	21	15	14	22	15
	%	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
1-2年	件数	3	7	4	2	1
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2年-	件数	1	2	1	1	1
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計		20,287	19,478	19,597	19,397	19,683
平均在院日数		13.3	13.5	13.4	13.5	13.0

(日)

### 平均在院日数の年次推移

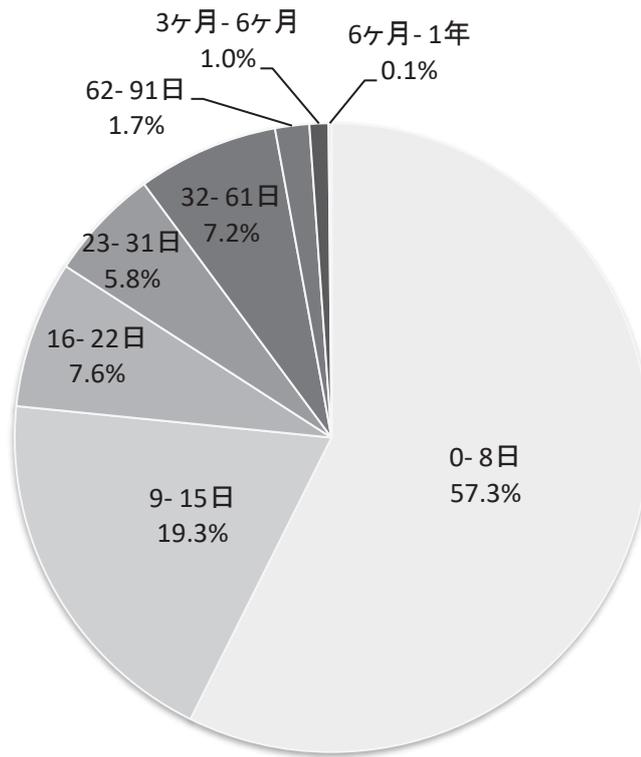


\*一般科のみの表記とする

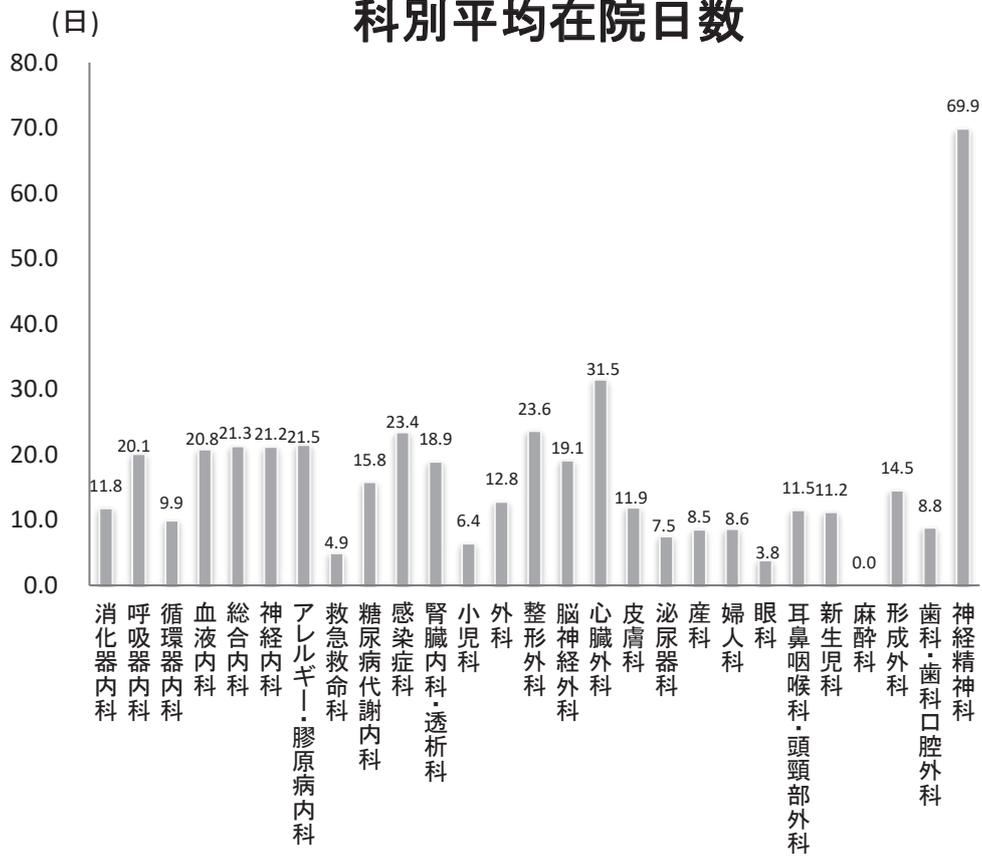
## ●退院患者科別平均在院日数（2023年度）

科名	0-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3ヶ月-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-	合計	平均在院日数
消化器内科	1,688	632	181	126	142	25	21	2	-	-	2,817	11.8
呼吸器内科	333	208	116	91	128	31	16	1	-	-	924	20.1
循環器内科	1,780	453	162	97	125	19	10	2	-	-	2,648	9.9
血液内科	295	117	80	78	81	16	25	2	-	-	694	20.8
総合内科	235	177	91	101	121	21	13	1	-	-	760	21.3
神経内科	63	97	57	43	42	10	5	-	-	-	317	21.2
アレルギー・膠原病内科	85	84	39	36	37	13	5	-	-	-	299	21.5
救急救命科	119	8	2	2	3	-	-	-	-	-	134	4.9
糖尿病代謝内科	23	49	10	5	7	2	-	-	-	-	96	15.8
感染症科	3	2	-	1	-	-	1	-	-	-	7	23.4
腎臓内科・透析科	261	88	64	37	59	9	4	1	1	1	525	18.9
小児科	864	103	20	15	13	6	1	-	-	-	1,022	6.4
外科	1,047	694	206	120	142	17	17	1	-	-	2,244	12.8
整形外科	206	130	161	171	174	31	11	-	-	-	884	23.6
脳神経外科	425	138	72	64	128	38	14	2	-	-	881	19.1
心臓外科	9	20	30	19	19	8	5	-	-	-	110	31.5
皮膚科	188	34	13	9	20	6	3	-	-	-	273	11.9
泌尿器科	1,312	249	68	35	42	16	1	1	-	-	1,724	7.5
産科	523	162	8	12	12	3	1	-	-	-	721	8.5
婦人科	478	156	24	11	17	8	3	1	-	-	698	8.6
眼科	503	49	10	1	-	-	-	-	-	-	563	3.8
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	407	61	21	16	27	10	4	1	-	-	547	11.5
新生児科	269	50	28	18	14	6	5	-	-	-	390	11.2
麻酔科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0
形成外科	178	45	20	15	30	13	2	-	-	-	303	14.5
歯科・歯科口腔外科	76	12	4	3	7	-	-	-	-	-	102	8.8
神経精神科	20	6	17	17	43	38	28	7	3	-	179	69.9
合計	11,390	3,824	1,504	1,143	1,433	346	193	24	4	1	19,862	13.5
構成比(%)	57.3	19.3	7.6	5.8	7.2	1.7	1.0	0.1	0.0	0.0	100.0	0

## 在院日数分布



## 科別平均在院日数



## ●入院患者数（2023年度）

科名	月					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消化器内科	219 1	227 2	240 1	226 (1) -	251 (1) 1	220 2
呼吸器内科	73 -	68 2	77 -	74 1	86 -	66 2
循環器内科	205 (1) 2	230 (2) 2	235 3	208 (1) 3	227 (2) 5	196 2
血液内科	34 (1) 1	47 -	54 1	57 -	62 1	56 1
総合内科	52 2	65 -	70 (1) 1	74 1	85 3	48 1
神経内科	23 -	31 -	20 -	27 -	32 -	34 -
アレルギー・膠原病内科	23 -	18 1	19 2	23 -	33 -	23 (1) -
救急救命科	18 (17) -	13 (12) -	7 (8) 1	13 (12) -	14 (14) -	8 (8) -
糖尿病代謝内科	7 -	4 -	10 3	7 1	5 1	6 -
感染症科	- -	1 -	1 -	1 -	1 -	1 -
腎臓内科・透析科	38 2	46 2	52 (2) 1	40 (2) 4	37 1	37 (1) 1
小児科	62 1	99 -	129 -	117 1	106 -	67 -
外科	165 (3) 9	185 10	191 (3) 7	196 (2) 4	177 (2) 6	170 (3) 8
整形外科	76 (1) 1	64 (2) 1	69 (3) 1	60 (1) 2	66 2	66 (1) 3
脳神経外科	75 (1) -	60 2	65 (3) 1	62 (3) 1	71 4	65 (1) 3
心臓外科	11 4	8 2	7 2	14 -	6 2	8 2
皮膚科	21 -	22 -	20 -	24 -	25 (1) -	25 -
泌尿器科	130 2	140 -	152 1	159 1	144 5	156 3
産科	67 -	56 -	76 -	54 -	62 -	52 -
婦人科	50 -	52 -	60 1	53 2	57 1	56 1
眼科	43 -	44 -	50 -	58 -	63 -	54 -
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	37 -	34 -	38 (2) -	43 1	51 (1) 1	49 1
新生児科	38 -	27 -	42 -	36 -	40 -	31 -
麻酔科	- -	- -	- -	- -	- -	- -
形成外科	15 (1) 2	22 -	23 (1) 2	27 (1) 1	28 -	29 -
歯科・歯科口腔外科	13 -	6 -	6 -	9 -	13 -	8 -
神経精神科	11 2	15 3	15 2	16 3	15 1	10 2
*正常新生児	64 -	45 -	59 -	37 -	57 (1) -	46 -
入院患者数	1,506 (25)	1,584 (16)	1,728 (23)	1,678 (23)	1,757 (21)	1,541 (15)
転科入院数	29	27	30	26	34	32
合計	1,535 (25)	1,611 (16)	1,758 (23)	1,704 (23)	1,791 (21)	1,573 (15)

(注) 上段は入院患者数、下段は転科入院患者数

\*1 内科は救急救命医が主治医の場合、救急救命内科として表記する

内科以外の科は救急救命医が主治医の場合、( ) に表記する

\*2 正常出生児は入院患者数、転科入院数及び%に含めず

科名	月						合計	構成比 (%)
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
消化器内科	255 (1)	242	217	260	227	236 (1)	2,820 (4)	14.5
	1	6	3	-	2	1	20	5.2
呼吸器内科	75	72	80	85	74	77	907	4.7
	3	-	-	1	-	1	10	2.6
循環器内科	202 (1)	223	202 (1)	232 (2)	210 (1)	234 (1)	2,604 (12)	13.4
	4	3	5	5	1	3	38	9.9
血液内科	59	65 (1)	55 (2)	71 (2)	65	71 (2)	696 (8)	3.6
	2	-	2	2	1	1	12	3.1
総合内科	57	70	59	57	55	55	747 (1)	3.8
	-	2	-	-	-	1	11	2.9
神経内科	20	23	26	27	28	33	324	1.7
	-	2	-	-	-	-	2	0.5
アレルギー・膠原病内科	23	19	30	30 (1)	23	30	294 (2)	1.5
	1	-	-	1	-	1	6	1.6
救急救命科	4 (4)	9 (9)	10 (9)	12 (12)	14 (13)	12 (11)	134 (129)	0.7
	-	-	-	-	-	-	1	0.3
糖尿病代謝内科	5	12	4	10	11	10	91	0.5
	-	-	1	-	-	-	6	1.6
感染症科	1	-	-	-	-	-	6	0.0
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
腎臓内科・透析科	41	52 (3)	35 (2)	34 (2)	35 (2)	42 (1)	489 (15)	2.5
	1	2	3	2	5	4	28	7.3
小児科	77	72	54	89	64	80	1,016	5.2
	-	-	-	-	1	-	3	0.8
外科	184 (3)	185	191 (3)	167 (4)	170 (3)	154 (4)	2,135 (30)	10.9
	9	10	6	8	8	13	98	25.6
整形外科	78 (2)	83 (4)	77 (4)	75 (1)	63	95 (4)	872 (23)	4.5
	1	3	2	4	-	-	20	5.2
脳神経外科	77	69 (1)	89 (3)	77	74	80 (3)	864 (15)	4.4
	2	-	-	2	2	4	21	5.5
心臓外科	10	12	8	4	3	5	96	0.5
	1	-	5	-	1	1	20	5.2
皮膚科	28	22	20	27	23	23	280 (1)	1.4
	-	-	-	1	-	1	2	0.5
泌尿器科	157	140	130	133 (1)	132	125 (1)	1,698 (2)	8.7
	2	-	3	1	-	3	21	5.5
産科	64	60	61	50	59	55	716	3.7
	-	-	-	-	1	-	1	0.3
婦人科	71	54 (1)	50	54	63	55	675 (1)	3.5
	2	4	1	-	1	1	14	3.7
眼科	51	43	43	45	55	12	561	2.9
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	53 (1)	45 (1)	48 (3)	49 (1)	52 (2)	38 (1)	537 (12)	2.8
	2	2	1	-	2	-	10	2.6
新生児科	27	29	36	24	26	30	386	2.0
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
麻酔科	-	-	-	-	-	-	0	0.0
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
形成外科	18	22 (2)	25 (3)	31	28 (1)	28	296 (9)	1.5
	-	1	-	-	3	4	13	3.4
歯科・歯科口腔外科	9	4	11 (1)	6	7	8	100 (1)	0.5
	1	-	-	-	-	-	1	0.3
神経精神科	15	14	10	13	10	12	156	0.8
	3	3	2	1	1	2	25	6.5
*正常新生児	56	50	60	47	42	49	612 (1)	3.1
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
入院患者数	1,661 (12)	1,641 (22)	1,571 (31)	1,662 (26)	1,571 (22)	1,600 (29)	19,500 (265)	100.0
転科入院数	35	38	34	28	29	41	383	100.0
合計	1,696 (12)	1,679 (22)	1,605 (31)	1,690 (26)	1,600 (22)	1,641 (29)	19,883 (265)	-

(注) 上段は入院患者数、下段は転科入院患者数

\*1 内科は救急救命医が主治医の場合、救急救命内科として表記する  
内科以外の科は救急救命医が主治医の場合、( ) に表記する

\*2 正常出生児は入院患者数、転科入院数及び%に含めず

## ●退院患者数（2023年度）

科名	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消化器内科	211 6	210 7	231 6	219 (1) 2	229 5	220 6
呼吸器内科	68 1	72 1	76 -	69 -	91 -	74 2
循環器内科	217 (1) 5	217 5	230 (2) 2	214 (1) 5	216 (1) 5	214 (1) 3
血液内科	38 (1) 1	47 -	46 1	63 1	56 -	57 -
総合内科	55 4	59 2	66 (1) -	66 2	84 3	53 2
神経内科	22 -	28 -	20 -	23 1	31 1	23 1
アレルギー・膠原病内科	20 -	19 -	22 1	24 -	31 1	23 (1) 1
救急救命科	18 (18) -	12 (12) 1	6 (7) 2	12 (13) 2	10 (11) 1	10 (11) 1
糖尿病代謝内科	6 -	2 -	13 -	8 1	4 2	5 -
感染症科	1 -	1 -	1 -	- -	1 -	2 -
腎臓内科・透析科	46 (3) 2	40 1	48 (1) 3	43 1	36 (2) 3	40 3
小児科	58 1	85 1	132 -	125 -	101 -	78 -
外科	167 (2) 2	190 (2) 3	202 (3) 1	200 (2) 1	190 (1) 1	168 (2) 4
整形外科	74 (2) 1	64 (1) 1	79 (3) 4	56 1	69 (1) -	60 (2) 3
脳神経外科	57 2	73 (1) 1	64 (3) 1	66 (1) 1	71 (2) 3	69 (1) 2
心臓外科	6 1	9 1	10 3	9 1	12 2	4 1
皮膚科	16 -	21 -	19 1	18 -	28 (1) 2	25 -
泌尿器科	131 1	141 -	151 1	157 4	157 -	152 -
産科	68 -	53 -	70 1	58 -	67 -	48 -
婦人科	57 -	55 1	50 -	56 1	60 -	53 2
眼科	37 -	48 -	49 1	57 -	62 -	57 -
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	41 -	31 -	33 (1) -	46 (1) -	50 (1) 1	49 -
新生児科	29 -	30 -	41 -	33 -	47 -	35 -
麻酔科	- -	- -	- -	- -	- -	- -
形成外科	8 (1) 2	17 1	24 (1) 1	28 (1) 1	31 4	27 1
歯科・歯科口腔外科	11 -	8 -	7 -	10 -	9 -	11 -
神経精神科	13 1	19 1	15 1	13 1	16 -	20 -
*正常新生児	61 -	48 -	52 -	46 -	52 (1) -	43 -
退院患者数	1,475 (28)	1,551 (16)	1,705 (22)	1,673 (20)	1,759 (20)	1,577 (18)
転科退院数	30	27	30	26	34	32
合計	1,505 (28)	1,578 (16)	1,735 (22)	1,699 (20)	1,793 (20)	1,609 (18)

(注) 上段は退院患者数、下段は転科退院患者数

\*1 内科は救急救命医が主治医の場合、救急救命内科として表記する  
内科以外の科は救急救命医が主治医の場合、( ) に表記する

\*2 正常出生児は退院患者数、転科退院数及び%に含めず

科名	月						合計	構成比 (%)
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
消化器内科	249 (1)	245 (1)	249	214	221	241 (1)	2,739 (4)	14.1
	6	6	6	9	7	12	78	20.3
呼吸器内科	77	67	89	72	77	81	913	4.7
	1	1	1	1	2	1	11	2.9
循環器内科	190	227 (1)	225 (1)	205 (1)	214 (2)	233 (1)	2,602 (12)	13.4
	2	4	5	2	3	5	46	12.0
血液内科	62	60	62 (3)	61	64	72 (3)	688 (7)	3.5
	-	1	-	-	-	2	6	1.6
総合内科	69	58	75	51	56	39	731 (1)	3.8
	4	2	2	3	3	2	29	7.6
神経内科	31	30	22	25	20	35	310	1.6
	2	-	-	-	1	1	7	1.8
アレルギー・膠原病内科	21	23	31	25	21	34 (1)	294 (2)	1.5
	-	1	-	-	1	-	5	1.3
救急救命科	2 (3)	6 (8)	8 (11)	10 (10)	12 (12)	12 (12)	118 (128)	0.6
	1	2	4	-	1	1	16	4.2
糖尿病代謝内科	5	8	10	2	15	8	86	0.4
	-	3	-	-	1	3	10	2.6
感染症科	-	-	-	-	-	-	6	0.0
	1	-	-	-	-	-	1	0.3
腎臓内科・透析科	40 (2)	44 (3)	45	38 (5)	40 (1)	42 (1)	502 (18)	2.6
	3	3	-	2	1	1	23	6.0
小児科	73	71	54	92	66	84	1,019	5.2
	-	-	-	-	-	1	3	0.8
外科	183 (4)	189 (1)	203 (2)	167 (5)	168 (3)	183 (3)	2,210 (30)	11.3
	3	6	5	1	1	6	34	8.9
整形外科	65	73 (6)	105 (3)	59 (1)	64 (1)	97 (4)	865 (24)	4.4
	2	2	1	2	2	-	19	4.9
脳神経外科	76	55 (1)	88 (2)	76	77 (1)	87 (2)	859 (14)	4.4
	3	2	2	2	2	1	22	5.7
心臓外科	8	12	6	9	7	3	95	0.5
	2	-	2	2	-	-	15	3.9
皮膚科	28	22	18	26	24	23	268 (1)	1.4
	-	-	-	-	-	2	5	1.3
泌尿器科	155	143	145	109	133 (1)	132 (1)	1,706 (2)	8.8
	2	2	2	4	1	1	18	4.7
産科	64	57	72	50	58	55	720	3.7
	-	-	-	-	-	-	1	0.3
婦人科	76	50 (1)	63	52	59	59	690 (1)	3.5
	2	1	-	-	1	-	8	2.1
眼科	48	42	50	39	59	14	562	2.9
	-	-	-	-	-	-	1	0.3
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	49 (1)	50 (1)	56 (3)	40 (1)	49 (1)	48 (1)	542 (11)	2.8
	-	-	3	-	1	-	5	1.3
新生児科	27	24	40	24	34	26	390	2.0
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
麻酔科	-	-	-	-	-	-	0	0.0
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
形成外科	18	22 (2)	26 (3)	22	27 (1)	37	287 (9)	1.5
	1	1	1	-	1	2	16	4.2
歯科・歯科口腔外科	7	6	10 (1)	6	5	11	101 (1)	0.5
	-	1	-	-	-	-	1	0.3
神経精神科	16	15	11	13	10	14	175	0.9
	-	-	-	-	-	-	4	1.0
*正常新生児	58	46	67	48	42	50	613 (1)	3.1
	-	-	-	-	-	-	0	0.0
退院患者数	1,639 (11)	1,599 (25)	1,763 (29)	1,487 (23)	1,580 (23)	1,670 (30)	19,478 (265)	100.0
転科退院数	35	38	34	28	29	41	384	100.0
合計	1,674 (11)	1,637 (25)	1,797 (29)	1,515 (23)	1,609 (23)	1,711 (30)	19,862 (265)	-

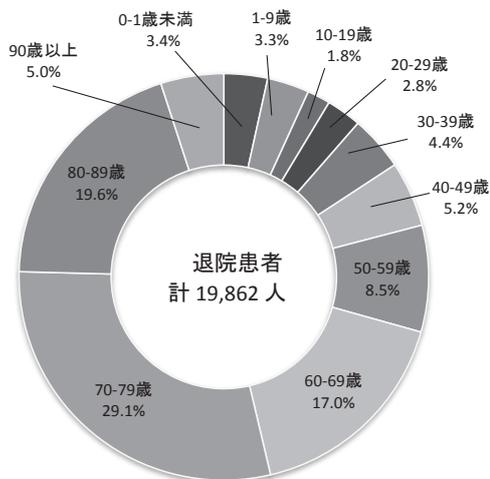
(注) 上段は退院患者数、下段は転科退院患者数  
\*1 内科は救急救命医が主治医の場合、救急救命内科として表記する  
内科以外の科は救急救命医が主治医の場合、( ) に表記する  
\*2 正常出生児は退院患者数、転科退院数及び%に含めず

## ●科別・年齢別・性別退院患者数（2023年度）

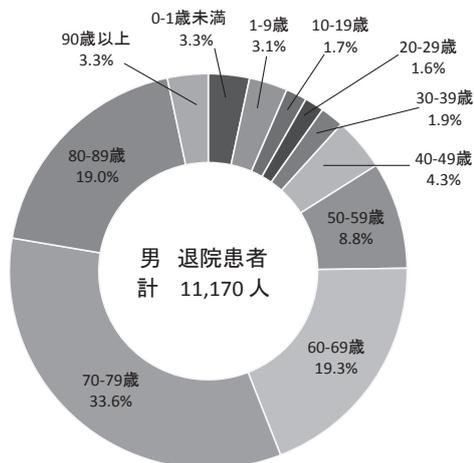
年齢階層 科・性別		0-1歳	1-9歳	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79
		未満	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
合計（人）	計	684	660	362	551	864	1,031	1,683	3,368	5,775
	男	373	349	191	176	213	485	979	2,157	3,754
	女	311	311	171	375	651	546	704	1,211	2,021
構成比（%）	計	3.4	3.3	1.8	2.8	4.4	5.2	8.5	17.0	29.1
	男	3.3	3.1	1.7	1.6	1.9	4.3	8.8	19.3	33.6
	女	3.6	3.6	2.0	4.3	7.5	6.3	8.1	13.9	23.3
消化器内科	男	-	-	3	17	18	62	145	354	654
	女	-	-	2	9	16	31	75	162	351
呼吸器内科	男	-	-	1	1	3	13	29	86	267
	女	-	-	-	-	4	7	14	44	85
循環器内科	男	-	-	2	3	15	53	184	377	634
	女	-	-	1	2	10	27	56	130	259
血液内科	男	-	-	-	2	4	14	37	115	139
	女	-	-	1	3	7	15	28	70	100
総合内科	男	-	-	-	9	12	24	42	67	114
	女	-	-	2	4	7	11	26	34	73
神経内科	男	-	-	1	2	7	8	13	50	58
	女	-	-	2	1	1	3	7	12	34
アレルギー・膠原病内科	男	-	-	1	4	-	8	6	26	36
	女	-	-	1	8	5	9	21	36	50
救急救命科	男	-	-	1	5	6	9	4	13	18
	女	-	-	6	6	5	4	11	10	13
糖尿病代謝内科	男	-	-	1	3	1	6	4	7	15
	女	-	-	3	3	5	12	4	15	6
感染症科	男	-	-	-	-	1	-	2	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	1
腎臓内科・透析科	男	-	-	-	5	14	28	39	72	123
	女	-	-	2	3	6	10	13	29	63
小児科	男	161	296	73	7	4	-	-	-	-
	女	132	269	73	2	2	3	-	-	-
外科	男	-	2	27	34	24	68	139	290	509
	女	-	7	14	18	27	73	112	158	276
整形外科	男	-	11	30	15	9	37	39	70	112
	女	-	11	7	3	7	16	24	74	125
脳神経外科	男	-	1	3	4	9	18	57	92	149
	女	-	4	2	4	4	19	42	58	111
心臓外科	男	-	-	-	1	-	2	3	25	28
	女	-	-	-	-	-	2	3	10	20
皮膚科	男	-	-	3	5	4	7	13	22	38
	女	-	-	-	-	2	12	6	17	29
泌尿器科	男	-	6	6	4	20	59	103	329	616
	女	-	-	1	2	5	11	45	80	81
産科	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	5	242	415	59	-	-	-
婦人科	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	5	26	83	160	119	126	123
眼科	男	-	3	2	1	5	8	25	50	103
	女	-	1	3	1	1	6	24	65	139
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	男	-	17	13	27	34	32	39	63	91
	女	-	6	9	27	17	24	32	39	32
新生児科	男	211	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	179	-	-	-	-	-	-	-	-
麻酔科	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
形成外科	男	1	10	17	12	8	12	30	27	31
	女	-	12	9	3	9	8	18	20	31
歯科・歯科口腔外科	男	-	3	4	11	10	5	5	2	11
	女	-	1	7	6	3	6	4	6	6
神経精神科	男	-	-	3	4	5	12	21	20	8
	女	-	-	16	2	10	18	20	16	13

年齢階層		80-89歳	90歳以上	合計	平均年齢
科・性別	計	3,896	988	19,862	63.3
	男	2,124	369	11,170	64.7
	女	1,772	619	8,692	61.5
構成比 (%)	計	19.6	5.0	100.0	0.0
	男	19.0	3.3	100.0	0.0
	女	20.4	7.1	100.0	0.0
消化器内科	男	388	73	1,714	71.6
	女	326	131	1,103	74.9
呼吸器内科	男	182	49	631	75.7
	女	86	53	293	77.2
循環器内科	男	381	66	1,715	71.6
	女	326	122	933	76.7
血液内科	男	71	12	394	70.3
	女	57	19	300	70.6
総合内科	男	116	26	410	71.0
	女	118	75	350	77.1
神経内科	男	39	8	186	69.9
	女	51	20	131	77.1
アレルギー・膠原病内科	男	30	8	119	70.7
	女	47	3	180	67.4
救急救命科	男	12	3	71	62.3
	女	7	1	63	55.8
糖尿病代謝内科	男	5	-	42	62.2
	女	6	-	54	54.4
感染症科	男	1	2	6	68.2
	女	-	-	1	76.0
腎臓内科・透析科	男	63	8	352	67.7
	女	39	8	173	70.0
小児科	男	-	-	541	4.1
	女	-	-	481	4.5
外科	男	243	31	1,367	67.8
	女	172	20	877	66.3
整形外科	男	65	11	399	61.1
	女	153	65	485	73.5
脳神経外科	男	138	25	496	71.7
	女	107	34	385	72.0
心臓外科	男	10	-	69	69.5
	女	6	-	41	70.1
皮膚科	男	36	14	142	69.3
	女	32	33	131	76.1
泌尿器科	男	235	26	1,404	70.2
	女	73	22	320	70.5
産科	男	-	-	0	0.0
	女	-	-	721	31.9
婦人科	男	-	-	0	0.0
	女	53	3	698	56.1
眼科	男	52	1	250	69.2
	女	71	2	313	71.7
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	男	23	4	343	54.6
	女	17	1	204	52.0
新生児科	男	-	-	211	0.0
	女	-	-	179	0.0
麻酔科	男	-	-	0	0.0
	女	-	-	0	0.0
形成外科	男	20	-	168	52.4
	女	21	4	135	56.5
歯科・歯科口腔外科	男	7	1	59	47.7
	女	2	2	43	47.7
神経精神科	男	7	1	81	55.7
	女	2	1	98	49.1

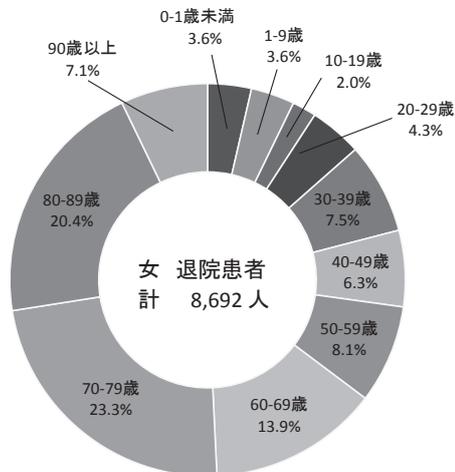
退院患者年齢分布(男女計)



退院患者年齢分布(男)



退院患者年齢分布(女)





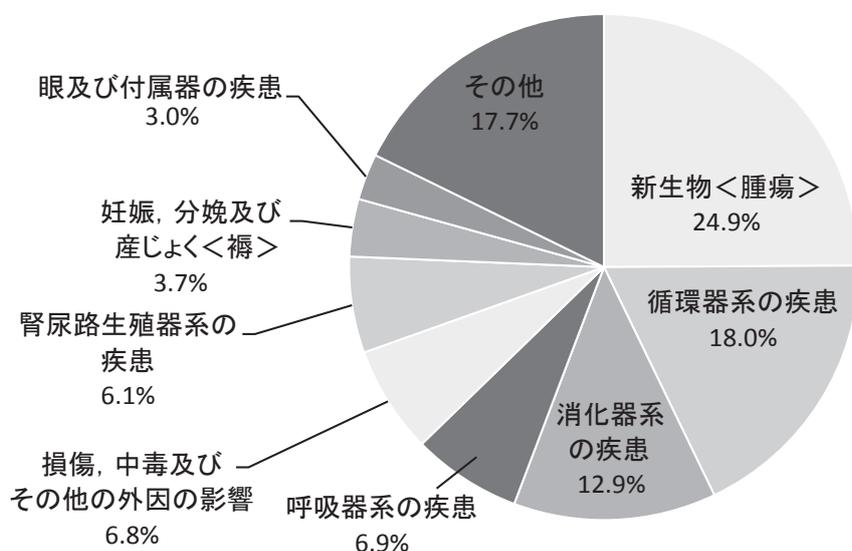
# 疾病分類別統計



## ●全科疾病分類別集計（2023年度）

コード	分類名	件数	構成比(%)	平均在院日数
I	感染症及び寄生虫症	388	2.0	15.3
II	新生物<腫瘍>	4,946	24.9	13.7
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	120	0.6	18.7
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	331	1.7	14.2
V	精神及び行動の障害	193	1.0	63.7
VI	神経系の疾患	321	1.6	18.7
VII	眼及び付属器の疾患	586	3.0	3.7
VIII	耳及び乳様突起の疾患	81	0.4	7.0
IX	循環器系の疾患	3,569	18.0	13.7
X	呼吸器系の疾患	1,379	6.9	14.8
X I	消化器系の疾患	2,554	12.9	10.1
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	247	1.2	21.4
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	462	2.3	22.9
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	1,221	6.1	13.5
X V	妊娠、分娩及び産じょく<褥>	730	3.7	8.6
X VI	周産期に発生した病態	401	2.0	10.3
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	98	0.5	6.2
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	209	1.1	8.7
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,360	6.8	16.6
X X	傷病及び死亡の外因	0	0.0	0.0
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	466	2.3	3.9
X X II	エマージェンシーコード（COVID-19）	200	1.0	14.5
合計		19,862	100.0	13.6

### 全科疾病別割合



# ● 全科疾病分類別上位頻度表 (2023年度)

I 感染症及び寄生虫症		コード	件数	構成比 (%)
1	その他の敗血症	A41	84	21.6
2	部位不明の細菌感染症	A49	48	12.4
3	その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの	A09	46	11.9
4	部位不明のウイルス感染症	B34	43	11.1
5	帯状疱疹 [帯状ヘルペス]	B02	25	6.4
6	ウイルス性及びその他の明示された腸管感染症	A08	18	4.6
7	その他の細菌性腸管感染症	A04	16	4.1
8	その他の細菌性疾患, 他に分類されないもの	A48	11	2.8
9	その他の非結核性抗酸菌による感染症	A31	10	2.6
9	連鎖球菌性敗血症	A40	10	2.6
11	その他		77	19.8
合計			388	100.0

II 新生物		コード	件数	構成比 (%)
1	大腸の悪性新生物	C18-C20	473	9.6
2	気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	C34	414	8.4
3	胃の悪性新生物<腫瘍>	C16	387	7.8
4	前立腺の悪性新生物<腫瘍>	C61	379	7.7
5	脾の悪性新生物<腫瘍>	C25	252	5.1
6	非ろ<濾>胞性リンパ腫	C83	232	4.7
7	膀胱の悪性新生物<腫瘍>	C67	193	3.9
8	乳房の悪性新生物<腫瘍>	C50	146	3.0
9	結腸, 直腸, 肛門及び肛門管の良性新生物<腫瘍>	D12	143	2.9
10	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	C22	135	2.7
11	その他		2,192	44.3
合計			4,946	100.0

III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害		コード	件数	構成比 (%)
1	無顆粒球症	D70	37	30.8
2	紫斑病及びその他の出血性病態	D69	21	17.5
3	鉄欠乏性貧血	D50	18	15.0
4	サルコイドーシス	D86	12	10.0
5	その他の無形成性貧血	D61	8	6.7
6	その他の貧血	D64	6	5.0
7	その他の免疫機構の障害, 他に分類されないもの	D89	3	2.5
8	葉酸欠乏性貧血	D52	2	1.7
8	その他の栄養性貧血	D53	2	1.7
8	後天性溶血性貧血	D59	2	1.7
11	その他		9	7.5
合計			120	100.0

IV 内分泌, 栄養および代謝疾患		コード	件数	構成比 (%)
1	2型<インスリン>非依存性<糖尿病<NIDDM>	E11	98	29.6
2	その他の体液, 電解質及び酸塩基平衡障害	E87	46	13.9
3	下垂体機能低下症及びその他の下垂体障害	E23	32	9.7
4	1型<インスリン>依存性<糖尿病<IDDM>	E10	26	7.9
5	その他の膵内分泌障害	E16	19	5.7
6	甲状腺中毒症 [甲状腺機能亢進症]	E05	15	4.5
7	その他の副腎障害	E27	14	4.2
7	体液量減少(症)	E86	14	4.2
9	その他の非中毒性甲状腺腫	E04	12	3.6
10	アミロイドーシス<アミロイド症>	E85	10	3.0
11	その他		45	13.6
合計			331	100.0

V 精神および行動の障害				構成比 (%)
コード	件数	構成比 (%)		
1 統合失調症	62	32.1		
2 双極性感情障害<躁うつ病>	38	19.7		
3 うつ病エピソード	24	12.4		
4 アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害	10	5.2		
4 解離性〔転換性〕障害	10	5.2		
6 摂食障害	8	4.1		
7 統合失調感情障害	7	3.6		
8 重度的知的障害<精神遅滞>	5	2.6		
9 脳の損傷及び機能不全ならびに身体疾患によるその他の精神障害	3	1.6		
9 反復性うつ病性障害	3	1.6		
11 その他	23	11.9		
合計				100.0

VII 眼および付属器の疾患				構成比 (%)
コード	件数	構成比 (%)		
1 老人性白内障	393	67.1		
2 緑内障	55	9.4		
3 その他の網膜障害	43	7.3		
4 眼瞼のその他の障害	41	7.0		
5 網膜剥離及び裂孔	15	2.6		
6 硝子体の障害	10	1.7		
7 その他の斜視	7	1.2		
8 その他の白内障	5	0.9		
9 眼球の障害	4	0.7		
9 麻痺性斜視	4	0.7		
11 その他	9	1.5		
合計				100.0

VI 神経系の疾患				構成比 (%)
コード	件数	構成比 (%)		
1 てんかん	78	24.3		
2 水頭症	31	9.7		
3 顔面神経障害	29	9.0		
4 一過性脳虚血発作及び関連症候群	26	8.1		
5 睡眠障害	25	7.8		
6 パーキンソン<Parkinson>病	14	4.4		
7 脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	11	3.4		
7 炎症性多発(性)ニューロパチ<シ>-	11	3.4		
9 てんかん重積(状態)	8	2.5		
9 三叉神経障害	8	2.5		
11 その他	80	24.9		
合計				100.0

VIII 耳および乳様突起の疾患				構成比 (%)
コード	件数	構成比 (%)		
1 前庭機能障害	22	27.2		
2 その他の難聴	21	25.9		
3 化膿性及び詳細不明の中耳炎	13	16.0		
4 中耳真珠腫	10	12.3		
5 非化膿性中耳炎	5	6.2		
5 伝音及び感音難聴	5	6.2		
7 その他の内耳疾患	3	3.7		
8 その他の外耳障害	1	1.2		
8 乳(様)突(起)炎及び関連病態	1	1.2		
合計				100.0

IX 循環器系の疾患				構成比 (%)
コード	件数	構成比 (%)		
1 狭心症	I20	508	14.2	
2 脳梗塞	I63	453	12.7	
3 心不全	I50	385	10.8	
4 アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	I70	349	9.8	
5 心房細動及び粗動	I48	324	9.1	
6 急性心筋梗塞	I21	271	7.6	
7 脳内出血	I61	191	5.4	
8 非リウマチ性大動脈弁障害	I35	145	4.1	
9 大動脈瘤及び解離	I71	122	3.4	
10 くも膜下出血	I60	74	2.1	
11 その他		747	20.9	
合計			3,569	100.0

XI 消化器系の疾患				構成比 (%)
コード	件数	構成比 (%)		
1 胆石症	K80	812	31.8	
2 そけい<鼠径>ヘルニア	K40	247	9.7	
3 腸の憩室性疾患	K57	166	6.5	
4 消化器系の処置後障害, 他に分類されないもの	K91	152	6.0	
5 急性虫垂炎	K35	134	5.2	
6 麻痺性イレウス及び腸閉塞, ヘルニアを伴わないもの	K56	89	3.5	
7 急性膵炎	K85	77	3.0	
8 胆道のその他の疾患	K83	74	2.9	
9 胃潰瘍	K25	64	2.5	
10 十二指腸潰瘍	K26	49	1.9	
11 その他		690	27.0	
合計			2,554	100.0

X 呼吸器系の疾患				構成比 (%)
コード	件数	構成比 (%)		
1 細菌性肺炎, 他に分類されないもの	J15	186	13.5	
2 固形物及び液状物による肺炎	J69	166	12.0	
3 肺炎, 病原体不詳	J18	101	7.3	
4 その他の間質性肺疾患	J84	93	6.7	
5 その他の慢性閉塞性肺疾患	J44	73	5.3	
6 気胸	J93	67	4.9	
7 急性細気管支炎	J21	66	4.8	
8 慢性副鼻腔炎	J32	64	4.6	
9 喘息発作重積状態	J46	57	4.1	
10 喘息	J45	53	3.8	
11 その他		453	32.8	
合計			1,379	100.0

XII 皮膚および皮下組織の疾患				構成比 (%)
コード	件数	構成比 (%)		
1 蜂巣炎<蜂窩織炎>	L03	100	40.5	
2 類天疱瘡	L12	16	6.5	
3 じょく<瘡>瘡性潰瘍及び圧迫領域	L89	15	6.1	
3 下肢の潰瘍, 他に分類されないもの	L97	15	6.1	
5 皮膚膿瘍, せつ<フルンケル>及びよう<カルブンケル>	L02	14	5.7	
6 急性リンパ節炎	L04	12	4.9	
6 摂取物質による皮膚炎	L27	12	4.9	
8 円形脱毛症	L63	8	3.2	
9 天疱瘡	L10	7	2.8	
9 皮膚及び皮下組織の毛包のう<囊>胞	L72	7	2.8	
11 その他		41	16.6	
合計			247	100.0

X Ⅲ 筋骨格系および結合組織の疾患		コード	件数	構成比 (%)
1	その他の脊椎障害	M48	51	11.0
2	膝関節症 [膝の関節症]	M17	47	10.2
3	結節性多発(性)動脈炎及び関連病態	M30	39	8.4
4	その他のえく壊> 死性血管障害	M31	35	7.6
5	股関節症 [股関節部の関節症]	M16	30	6.5
6	骨髄炎	M86	29	6.3
7	脊椎症	M47	25	5.4
8	その他の関節リウマチ	M06	20	4.3
8	その他の炎症性脊椎障害	M46	20	4.3
10	その他の椎間板障害	M51	14	3.0
11	その他		152	32.9
合計			462	100.0

X Ⅳ 泌尿器系の疾患		コード	件数	構成比 (%)
1	腎結石及び尿管結石	N20	240	19.7
2	急性尿管細管間質性腎炎	N10	211	17.3
3	慢性腎不全	N18	204	16.7
4	泌尿系その他の障害	N39	80	6.6
5	前立腺肥大(症)	N40	60	4.9
6	急性腎不全	N17	52	4.3
7	下部尿路結石	N21	36	2.9
8	反復性及び持続性血尿	N02	35	2.9
9	子宮内膜症	N80	28	2.3
10	ネフローゼ症候群	N04	26	2.1
11	その他		249	20.4
合計			1,221	100.0

X Ⅴ 妊娠、分娩および産じよく(褥)		コード	件数	構成比 (%)
1	分娩における会陰裂傷<laceration>	O70	175	24.0
2	前期破水	O42	120	16.4
3	既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア	O34	71	9.7
4	娩出力の異常	O62	67	9.2
5	既知の胎位異常又はその疑いのための母体ケア	O32	28	3.8
6	子かん<痲>前症	O14	24	3.3
7	切迫早産及び早産	O60	23	3.2
8	多胎妊娠	O30	20	2.7
8	胎児ストレス [仮死<ジストレス>] を合併する分娩	O68	20	2.7
10	その他の産科的外傷	O71	18	2.5
11	その他		164	22.5
合計			730	100.0

X Ⅵ 周産期に発生した病態		コード	件数	構成比 (%)
1	新生児の呼吸窮<促>迫	P22	122	30.4
2	妊娠期間短縮及び低出生体重に関連する障害, 他に分類されないもの	P07	78	19.5
3	その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸	P59	73	18.2
4	胎児及び新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	P70	23	5.7
5	その他の分娩合併症により影響を受けた胎児及び新生児	P03	22	5.5
6	周産期に発生したその他の呼吸器病態	P28	18	4.5
7	新生児の哺乳上の問題	P92	17	4.2
8	新生児のその他の体温調節機能障害	P81	12	3.0
9	胎児及び新生児の溶血性疾患	P55	8	2.0
10	出生時仮死	P21	7	1.7
11	その他		21	5.2
合計			401	100.0

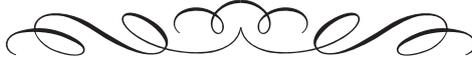
X VII 先天性奇形、変形および染色体異常		コード	件数	構成比 (%)
1	喉頭の先天奇形	Q31	29	29.6
2	顔面及び頸部のその他の先天奇形	Q18	6	6.1
3	循環器系のその他の先天奇形	Q28	5	5.1
4	耳のその他の先天奇形	Q17	4	4.1
4	心(臓)中隔の先天奇形	Q21	4	4.1
4	唇裂を伴う口蓋裂	Q37	4	4.1
4	腸のその他の先天奇形	Q43	4	4.1
4	皮膚のその他の先天奇形	Q82	4	4.1
9	末梢血管系のその他の先天奇形	Q27	3	3.1
9	卵巣、卵管及び広間膜の先天奇形	Q50	3	3.1
11	その他		32	32.7
合計			98	100.0

X VIII 症状、徴候および異常臨床所見		コード	件数	構成比 (%)
1	けいれん<痙攣>，他に分類されないもの	R56	79	37.8
2	悪心及び嘔吐	R11	23	11.0
3	その他の原因による熱及び不明熱	R50	21	10.0
4	傾眠，昏迷及び昏睡	R40	20	9.6
5	食物及び水分摂取に関する症状及び徴候	R63	12	5.7
6	失神及び虚脱	R55	9	4.3
7	気道からの出血	R04	5	2.4
7	身体標準発育不足	R62	5	2.4
9	腹痛及び骨盤痛	R10	4	1.9
10	えくぼ>痘，他に分類されないもの	R02	3	1.4
11	その他		28	13.4
合計			209	100.0

X IX 損傷、中毒およびその他の外因の影響		コード	件数	構成比 (%)
1	頭蓋内損傷	S06	271	19.9
2	大腿骨骨折	S72	255	18.8
3	下腿の骨折，足首を含む	S82	91	6.7
4	有害作用，他に分類されないもの	T78	68	5.0
5	処置の合併症，他に分類されないもの	T81	64	4.7
6	心臓及び血管のプロステシス，挿入物及び移植片の合併症	T82	59	4.3
7	肩及び上腕の骨折	S42	50	3.7
8	頭蓋骨及び顔面骨の骨折	S02	39	2.9
9	腰椎及び骨盤の骨折	S32	38	2.8
10	前腕の骨折	S52	36	2.6
11	その他		389	28.6
合計			1,360	100.0

X X I 健康に影響をおよぼす要因および健康サービスの利用		コード	件数	構成比 (%)
1	疾病及び病態の疑いに対する医学的観察及び評価	Z03	312	67.0
2	移植された器具の調整及び管理	Z45	60	12.9
3	その他の整形外科的経過観察<フォローアップ>ケア	Z47	47	10.1
4	人工開口部に対する手当て	Z43	36	7.7
5	臓器及び組織の提供者<ドナー>	Z52	7	1.5
6	形成手術後の経過観察<フォローアップ>ケア	Z42	2	0.4
6	特定の処置のための保健サービスの利用者，未施行	Z53	2	0.4
合計			466	100.0

X X II 特殊目的用コード		コード	件数	構成比 (%)
1	イメージインジックコード(COVID-19)	U07	200	100.0
合計			200	100.0



# 悪性新生物統計



## ●部位別退院患者件数（2023年度）

※再入院患者の場合も含む

男女計	順位	疾病部位	件数	構成比 (%)
	1	大腸	473	10.7
	2	気管支及び肺	414	9.4
	3	胃	387	8.8
	4	前立腺	379	8.6
	5	膵	252	5.7
	6	非ろく濾> 胞性リンパ腫	232	5.3
	7	膀胱	193	4.4
	8	乳房	146	3.3
	9	肝及び肝内胆管	135	3.1
	10	子宮体部	124	2.8
	11	その他	1,673	38.0
合 計			4,408	100.0

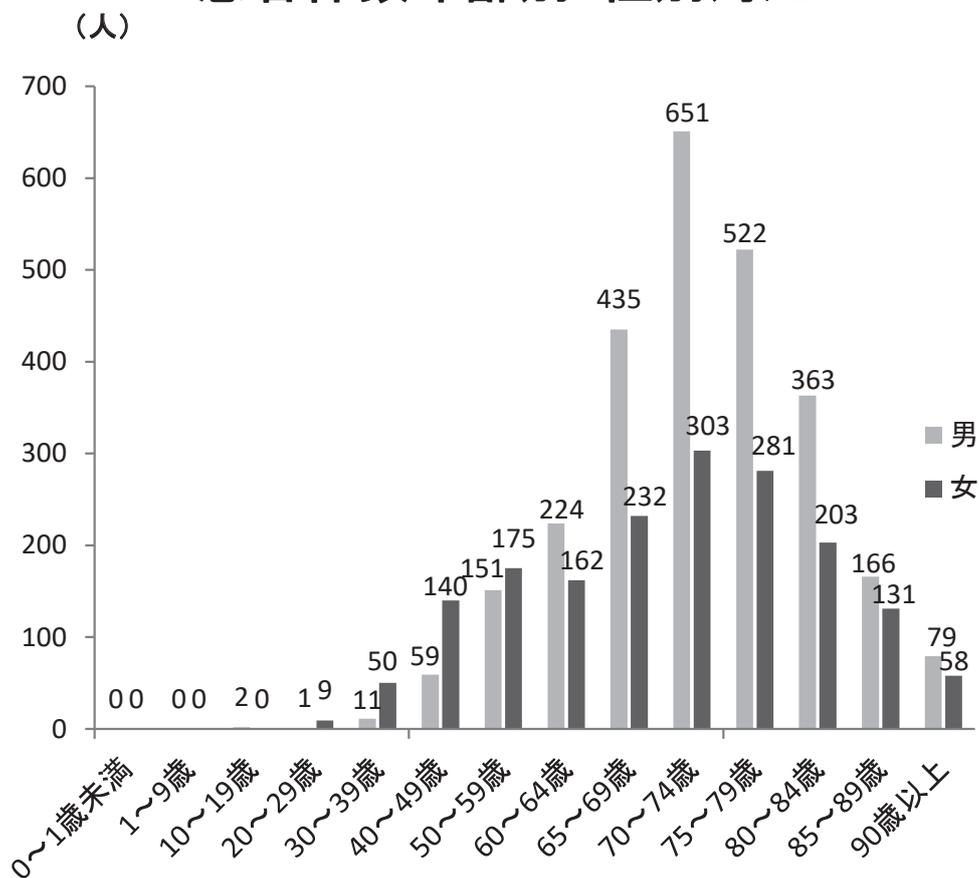
男	順位	疾病部位	件数	構成比 (%)
	1	前立腺	379	14.2
	2	大腸	293	11.0
	3	胃	292	11.0
	4	気管支及び肺	289	10.8
	5	膀胱	162	6.1
	6	非ろく濾> 胞性リンパ腫	121	4.5
	7	膵	114	4.3
	8	肝及び肝内胆管	103	3.9
	9	食道	92	3.5
	10	その他及び部位不明の胆道	83	3.1
11	その他	736	27.6	
合 計			2,664	100.0

女	順位	疾病部位	件数	構成比 (%)
	1	大腸	180	10.3
	2	乳房	145	8.3
	3	膵	138	7.9
	4	気管支及び肺	125	7.2
	5	子宮体部	124	7.1
	6	卵巣	111	6.4
	7	非ろく濾> 胞性リンパ腫	111	6.4
	8	子宮頸部	105	6.0
	9	胃	95	5.4
	10	皮膚のその他	53	3.0
11	その他	557	31.9	
合 計			1,744	100.0

## ●年齢別患者件数（2023年度）

年齢区分	性別		男女計
	男	女	
0～1歳未満	0	0	0
1～9歳	0	0	0
10～19歳	2	0	2
20～29歳	1	9	10
30～39歳	11	50	61
40～49歳	59	140	199
50～59歳	151	175	326
60～64歳	224	162	386
65～69歳	435	232	667
70～74歳	651	303	954
75～79歳	522	281	803
80～84歳	363	203	566
85～89歳	166	131	297
90歳以上	79	58	137
合計	2,664	1,744	4,408

### 患者件数年齢別・性別対比



# ●部位順位表 性別・年齢（2023年度）

性別	年齢階層	患者数	順位	1	2	3	4	5				
男 計 2,664	0～1歳未満	0	-	0	-	0	-	0				
	1～9歳	0	-	0	-	0	-	0				
	10～19歳	2	脳	2	-	0	-	0				
	20～29歳	1	舌のその他及び 部位不明	1	-	0	-	0				
	30～39歳	11	舌のその他及び 部位不明	2	小腸	2	リンパ性白血病	2	舌根<基底>部	1	胃	1
	40～49歳	59	大腸	19	胃	5	膀胱	5	ホジキン<Hodgkin> >病	4	腎盂を除く腎	3
	50～59歳	151	大腸	23	胃	19	気管支及び肺	12	前立腺	12	非ろ<濾>胞性リンパ 腫	11
	60～64歳	224	大腸	32	前立腺	29	気管支及び肺	22	肝及び肝内胆管	17	胃	16
	65～69歳	435	前立腺	66	気管支及び肺	47	大腸	46	胃	37	肝及び肝内胆管	25
	70～74歳	651	前立腺	107	気管支及び肺	76	胃	71	大腸	59	膀胱	41
	75～79歳	522	前立腺	89	気管支及び肺	71	胃	58	大腸	56	脾	31
	80～84歳	363	胃	52	前立腺	49	気管支及び肺	41	膀胱	31	大腸	24
	85～89歳	166	胃	29	大腸	23	前立腺	20	気管支及び肺	15	膀胱	15
	90歳以上	79	大腸	11	その他及び 部位不明の胆道	9	皮膚のその他	9	脾	7	前立腺	6
女 計 1,744	0～1歳未満	0	-	0	-	0	-	0				
	1～9歳	0	-	0	-	0	-	0				
	10～19歳	0	-	0	-	0	-	0				
	20～29歳	9	卵巣	6	子宮頸(部)の上皮内 癌	2	脳	1	-	0	-	0
	30～39歳	50	子宮頸部	17	乳房	10	子宮頸(部)の上皮内 癌	10	子宮体部	4	非ろ<濾>胞性リンパ 腫	4
	40～49歳	140	卵巣	29	子宮体部	18	乳房	16	子宮頸(部)の上皮内 癌	13	非ろ<濾>胞性リンパ 腫	10
	50～59歳	175	大腸	28	乳房	25	子宮頸部	23	子宮体部	20	卵巣	12
	60～64歳	162	子宮体部	20	気管支及び肺	19	乳房	15	子宮頸部	14	呼吸器及び 消化器の続発性	14
	65～69歳	232	脾	29	乳房	24	大腸	22	卵巣	18	多発性骨髄腫及び 悪性形質細胞性新生 物	12
	70～74歳	303	大腸	41	脾	35	気管支及び肺	30	胃	26	非ろ<濾>胞性リンパ 腫	26
	75～79歳	281	大腸	36	脾	27	胃	23	気管支及び肺	22	卵巣	21
	80～84歳	203	大腸	22	気管支及び肺	19	子宮体部	17	非ろ<濾>胞性 リンパ腫	16	胃	14
	85～89歳	131	気管支及び肺	14	大腸	13	非ろ<濾>胞性 リンパ腫	11	脾	10	皮膚のその他	9
90歳以上	58	皮膚のその他	19	大腸	5	脾	5	骨髄性白血病	5	気管支及び肺	4	

性別	年齢階層	6	7	8	9	10	11						
男	0～1歳未満	-	0	0	0	0	0						
	1～9歳	-	0	0	0	0	0						
	10～19歳	-	0	0	0	0	0						
	20～29歳	-	0	0	0	0	0						
	30～39歳	気管支及び肺	1	精巣<睾丸>	1	骨髄性白血病	1	0					
	40～49歳	肝及び肝内胆管	2	気管支及び肺	2	皮膚のその他	2	甲状腺	2	呼吸器及び消化器の続発性	2	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	2
	50～59歳	腎盂を除く腎	8	膀胱	7	骨髄性白血病	7	脾	6	リンパ性白血病	6	呼吸器及び消化器の続発性	5
	60～64歳	食道	15	脾	13	膀胱	13	骨髄性白血病	12	非ろ<濾>胞性リンパ腫	12	その他及び部位不明の上皮内癌	7
	65～69歳	非ろ<濾>胞性リンパ腫	25	骨髄異形成症候群	24	脾	19	腎盂を除く腎	16	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	16	膀胱	13
	70～74歳	食道	37	呼吸器及び消化器の続発性	29	その他及び部位不明の胆道	23	脾	22	非ろ<濾>胞性リンパ腫	22	肝及び肝内胆管	19
	75～79歳	膀胱	31	非ろ<濾>胞性リンパ腫	28	その他及び部位不明の胆道	23	食道	14	肝及び肝内胆管	14	その他及び部位不明の上皮内癌	12
	80～84歳	食道	15	その他及び部位不明の胆道	15	非ろ<濾>胞性リンパ腫	15	皮膚のその他	14	肝及び肝内胆管	11	骨髄異形成症候群	11
	85～89歳	肝及び肝内胆管	12	皮膚のその他	7	脾	6	非ろ<濾>胞性リンパ腫	6	骨髄異形成症候群	6	その他及び部位不明の胆道	5
	90歳以上	膀胱	6	胃	4	食道	3	非ろ<濾>胞性リンパ腫	3	その他及び部位不明の上皮内癌	3	下咽頭	2
女	0～1歳未満	-	0	0	0	0	0						
	1～9歳	-	0	0	0	0	0						
	10～19歳	-	0	0	0	0	0						
	20～29歳	-	0	0	0	0	0						
	30～39歳	甲状腺	2	リンパ性白血病	2	皮膚のその他	1	-	0	-	0	0	
	40～49歳	子宮頸部	9	脾	7	大腸	5	乳房の上皮内癌	5	食道	4	胃	3
	50～59歳	非ろ<濾>胞性リンパ腫	11	食道	5	胃	5	脾	5	腎盂を除く腎	5	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	4
	60～64歳	非ろ<濾>胞性リンパ腫	11	卵巣	9	大腸	8	胃	7	脾	7	腎盂	5
	65～69歳	気管支及び肺	11	食道	8	外陰(部)	8	リンパ性白血病	8	胃	7	子宮体部	7
	70～74歳	子宮体部	20	乳房	18	子宮頸部	14	膀胱	13	肝及び肝内胆管	9	皮膚のその他	9
	75～79歳	乳房	19	非ろ<濾>胞性リンパ腫	18	子宮体部	15	骨髄異形成症候群	13	子宮頸部	11	皮膚のその他	8
	80～84歳	その他及び部位不明の胆道	14	脾	13	乳房	10	腎盂	8	肝及び肝内胆管	7	胆のう<嚢>	7
	85～89歳	乳房	8	胃	7	その他及び部位不明の胆道	7	膀胱	7	胆のう<嚢>	5	子宮頸部	5
	90歳以上	胃	3	その他及び部位不明の胆道	3	膀胱	2	非ろ<濾>胞性リンパ腫	2	単球性白血病	2	食道	1

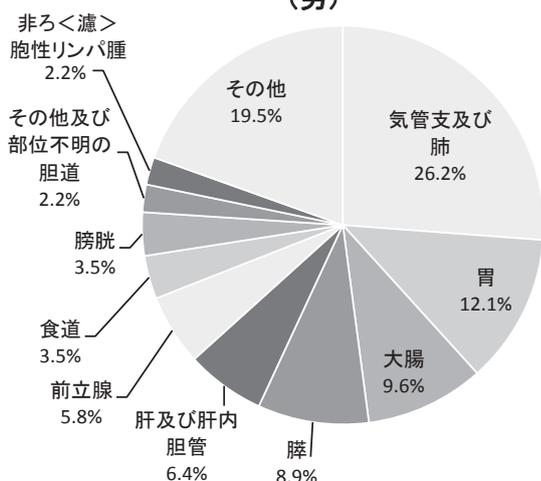
性別	年齢階層	12	13	14	15	16	17	
男	0～1歳未満	-	0	0	0	0	0	
	1～9歳	-	0	0	0	0	0	
	10～19歳	-	0	0	0	0	0	
	20～29歳	-	0	0	0	0	0	
	30～39歳	-	0	0	0	0	0	
	40～49歳	歯肉	1	痔	1 その他の結合組織及び軟部組織	1 前立腺	1 精巣<睾丸>	1 その他の部位及び部位不明の続発性
	50～59歳	ホジキン<Hodgkin>病	5	腎盂	4 その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	4 食道	3 精巣<睾丸>	3 舌のその他及び部位不明
	60～64歳	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	4	皮膚のその他	3 腎盂を除く腎	3 呼吸器及び消化器の続発性	3 リンパ性白血病	3 その他及び部位不明の消化器の上皮内癌
	65～69歳	腎盂	11	単球性白血病	10 その他及び部位不明の胆道	7 尿管	7 呼吸器及び消化器の続発性	7 脳
	70～74歳	骨髄異形成症候群	16	骨髄性白血病	15 腎盂を除く腎	11 中咽頭	10 皮膚のその他	10 下咽頭
	75～79歳	腎盂を除く腎	11	呼吸器及び消化器の続発性	10 その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	9 皮膚のその他	8 腎盂	7 下咽頭
	80～84歳	骨髄性白血病	10	痔	9 呼吸器及び消化器の続発性	9 その他及び部位不明の上皮内癌	8 尿管	6 腎盂
	85～89歳	胆のう<嚢>	4	骨髄性白血病	3 歯肉	2 その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	2 その他及び部位不明の上皮内癌	2 舌のその他及び部位不明
	90歳以上	肝及び肝内胆管	2	気管支及び肺	2 脳	2 多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	2 骨髄異形成症候群	2 歯肉
女	0～1歳未満	-	0	0	0	0	0	
	1～9歳	-	0	0	0	0	0	
	10～19歳	-	0	0	0	0	0	
	20～29歳	-	0	0	0	0	0	
	30～39歳	-	0	0	0	0	0	
	40～49歳	気管支及び肺	3	脳	3 腎盂	2 甲状腺	2 呼吸器及び消化器の続発性	2 非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型
	50～59歳	子宮頸(部)の上皮内癌	4	気管支及び肺	3 呼吸器及び消化器の続発性	3 その他の部位及び部位不明の続発性	3 その他及び部位不明の上皮内癌	3 その他及び部位不明の胆道
	60～64歳	ろく濾>胞性リンパ腫	5	子宮頸(部)の上皮内癌	5 多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	4 骨髄性白血病	4 甲状腺	3 中咽頭
	65～69歳	骨髄異形成症候群	7	子宮頸部	6 腎盂を除く腎	6 尿管	6 骨髄性白血病	6 肝及び肝内胆管
	70～74歳	卵巣	8	呼吸器及び消化器の続発性	6 中咽頭	4 乳房の上皮内癌	4 骨髄異形成症候群	4 その他及び部位不明の胆道
	75～79歳	呼吸器及び消化器の続発性	7	食道	6 その他及び部位不明の胆道	6 肝及び肝内胆管	5 その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	5 胆のう<嚢>
	80～84歳	子宮頸部	6	卵巣	6 膀胱	5 皮膚のその他	4 呼吸器及び消化器の続発性	4 ろく濾>胞性リンパ腫
	85～89歳	舌のその他及び部位不明	3	肝及び肝内胆管	3 尿管	3 骨髄性白血病	3 皮膚の上皮内癌	3 子宮体部
	90歳以上	肝及び肝内胆管	1	子宮体部	1 腎盂	1 その他の部位及び部位不明の続発性	1 部位が明示されていないもの	1 皮膚の上皮内癌

性別	年齢階層	18	19	20	21				
男	0～1歳未満	-	0	0	0	0			
	1～9歳	-	0	0	0	0			
	10～19歳	-	0	0	0	0			
	20～29歳	-	0	0	0	0			
	30～39歳	-	0	0	0	0			
	40～49歳	非ろく濾> 胞性リンパ腫	1	非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	1	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	1	その他	2
	50～59歳	その他の部位及び部位不明の続発性	2	ろく濾> 胞性リンパ腫	2	その他及び部位不明の上皮内癌	2	その他	8
	60～64歳	下咽頭	2	喉頭	2	脳	2	その他	13
	65～69歳	食道	5	喉頭	5	その他及び部位不明の上皮内癌	5	その他	40
	70～74歳	非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	7	中皮腫	6	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型	6	その他	56
	75～79歳	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	5	骨髄異形成症候群	5	小腸	4	その他	30
	80～84歳	リンパ節の続発性及び部位不明	5	舌のその他及び部位不明	4	悪性免疫増殖性疾患	4	その他	25
	85～89歳	腎盂を除く腎	1	腎盂	1	尿管	1	その他	5
90歳以上	喉頭	1	皮膚の悪性黒色腫	1	リンパ節の続発性及び部位不明	1	その他	2	
女	0～1歳未満	-	0	0	0	0			
	1～9歳	-	0	0	0	0			
	10～19歳	-	0	0	0	0			
	20～29歳	-	0	0	0	0			
	30～39歳	-	0	0	0	0			
	40～49歳	舌のその他及び部位不明	1	小腸	1	皮膚のその他	1	その他	4
	50～59歳	その他の結合組織及び軟部組織	2	ろく濾> 胞性リンパ腫	2	悪性免疫増殖性疾患	2	その他	8
	60～64歳	腎盂を除く腎	2	その他及び部位不明の口腔	1	鼻<上> 咽頭	1	その他	6
	65～69歳	腎盂	5	呼吸器及び消化器の続発性	5	後腹膜及び腹膜	4	その他	28
	70～74歳	腎盂を除く腎	3	ホジキン<Hodgkin>病	3	肛門及び肛門管	2	その他	25
	75～79歳	尿管	3	甲状腺	3	リンパ節の続発性及び部位不明	3	その他	27
	80～84歳	尿管	3	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	3	皮膚の上皮内癌	3	その他	18
	85～89歳	卵巣	2	ろく濾> 胞性リンパ腫	2	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	2	その他	12
90歳以上	骨髄異形成症候群	1	-	0	-	0	0		

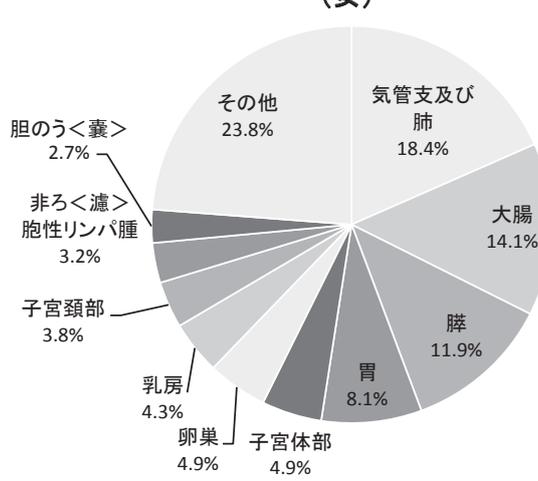
## ●悪性新生物による死亡患者数（2023年度）

男			女			男女計		
順位	部位	件数	順位	部位	件数	順位	部位	件数
1	気管支及び肺	82	1	気管支及び肺	34	1	気管支及び肺	116
2	胃	38	2	大腸	26	2	大腸	56
3	大腸	30	3	膵	22	3	胃	53
4	膵	28	4	胃	15	4	膵	50
5	肝及び肝内胆管	20	5	子宮体部	9	5	肝及び肝内胆管	24
6	前立腺	18	6	卵巣	9	6	前立腺	18
7	食道	11	7	乳房	8	7	膀胱	14
8	膀胱	11	8	子宮頸部	7	8	食道	13
9	その他及び部位不明の胆道	7	9	非ろく濾>胞性リンパ腫	6	9	非ろく濾>胞性リンパ腫	13
10	非ろく濾>胞性リンパ腫	7	10	胆のう<嚢>	5	10	その他及び部位不明の胆道	12
11	その他	61	11	その他	44	11	その他	129
合計		313	合計		185	合計		498

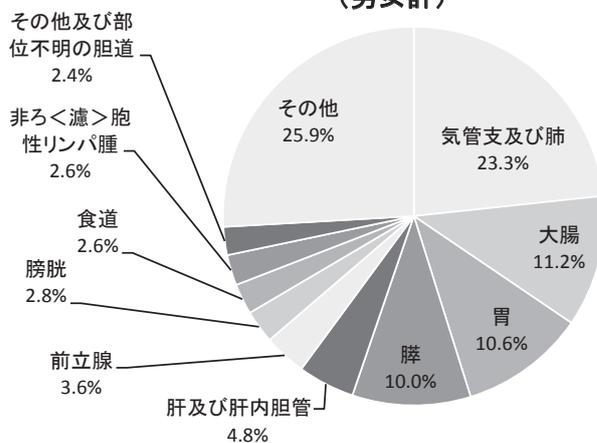
悪性新生物による死亡患者割合  
(男)

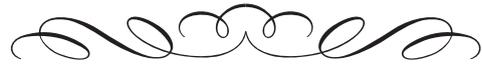


悪性新生物による死亡患者割合  
(女)

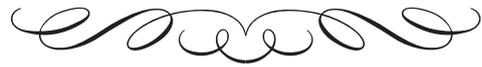


悪性新生物による死亡患者割合  
(男女計)





# 死亡患者統計



## ●科別死亡率（2023年度）

科	患者数			退院患者数			死亡患者数			死亡率 (%)	平均年齢 (歳)	
	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計			
消化器内科	1,653	1,086	2,739	134	(117)	251	89	(78)	223	(195)	8.1	74.8
呼吸器内科	622	291	913	164	(144)	308	75	(65)	239	(209)	26.2	78.6
循環器内科	1,688	914	2,602	54	(42)	96	40	(34)	94	(76)	3.6	81.8
血液内科	390	298	688	35	(32)	67	21	(19)	56	(51)	8.1	76.3
総合内科	395	336	731	27	(20)	47	30	(25)	57	(45)	7.8	82.3
神経内科	180	130	310	8	(8)	16	9	(9)	17	(17)	5.5	81.8
アレルギー・膠原病内科	119	175	294	7	(7)	14	5	(5)	12	(12)	4.1	78.1
救急救命科	62	56	118	16	(8)	24	10	(5)	26	(13)	22.0	74.5
糖尿病代謝内科	37	49	86	0	(0)	0	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0
感染症科	5	1	6	0	(0)	0	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0
腎臓内科・透析科	339	163	502	22	(20)	42	13	(11)	35	(31)	7.0	77.9
小児科	540	479	1,019	1	(0)	1	0	(0)	1	(0)	0.1	3.0
外科	1,344	866	2,210	48	(42)	90	35	(30)	83	(72)	3.8	76.0
整形外科	387	478	865	13	(12)	25	6	(5)	19	(17)	2.2	86.4
脳神経外科	484	375	859	54	(35)	89	38	(27)	92	(62)	10.7	75.7
心臓外科	58	37	95	6	(6)	12	5	(4)	11	(10)	11.6	71.5
皮膚科	140	128	268	3	(3)	6	1	(0)	4	(3)	1.5	74.0
泌尿器科	1,394	312	1,706	40	(32)	72	10	(10)	50	(42)	2.9	78.4
産科	0	720	720	0	(0)	0	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0
婦人科	0	690	690	0	(0)	0	30	(27)	30	(27)	4.3	69.3
眼科	250	312	562	0	(0)	0	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	339	203	542	16	(16)	32	3	(3)	19	(19)	3.5	73.6
新生児科	211	179	390	0	(0)	0	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0
麻酔科	0	0	0	0	(0)	0	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0
形成外科	159	128	287	0	(0)	0	1	(1)	1	(1)	0.3	76.0
歯科・歯科口腔外科	59	42	101	4	(3)	7	3	(3)	7	(6)	6.9	84.9
神経精神科	79	96	175	0	(0)	0	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0
合計	10,934	8,544	19,478	652	(547)	1,199	424	(361)	1,076	(908)	5.5	77.3

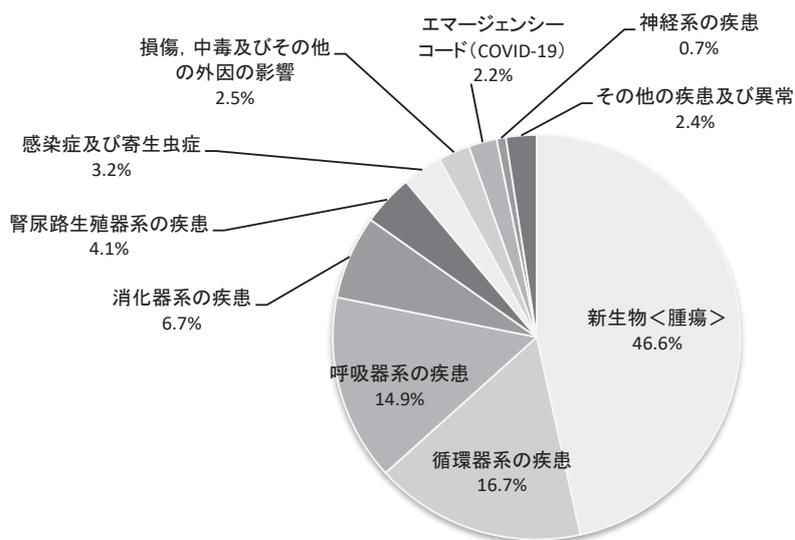
(注) ・ ( ) 内は精死亡数を表す。精死亡とは入院後48時間以降の死亡をいう  
 ・ 転科の場合は、退院時の科で集計

## ●死亡患者数（2023年度）

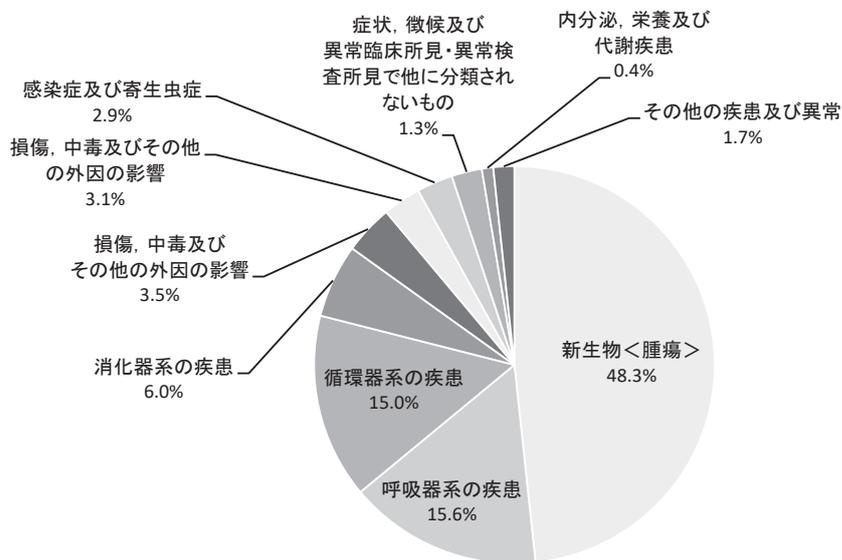
疾病大分類		死亡患者数			
		男	女	男女計	構成比 (%)
I	感染症及び寄生虫症	19	15	34	3.2
II	新生物〈腫瘍〉	315	186	501	46.6
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2	4	6	0.6
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	1	3	4	0.4
V	精神及び行動の障害	0	0	0	0.0
VI	神経系の疾患	6	2	8	0.7
VII	眼及び付属器の疾患	0	0	0	0.0
VIII	耳及び乳様突起の疾患	0	0	0	0.0
IX	循環器系の疾患	98	82	180	16.7
X	呼吸器系の疾患	102	58	160	14.9
X I	消化器系の疾患	39	33	72	6.7
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	2	4	6	0.6
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	3	1	4	0.4
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	26	18	44	4.1
X V	妊娠、分娩及び産じょく〈褥〉	0	0	0	0.0
X VI	周産期に発生した病態	0	0	0	0.0
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	0	0	0	0.0
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3	3	6	0.6
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	20	7	27	2.5
X X	傷病及び死亡の外因	0	0	0	0.0
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0	0	0.0
X X II	エマージェンシーコード（COVID-19）	16	8	24	2.2
合計		652	424	1,076	100.0

## ●死亡患者数の割合（2023年度）

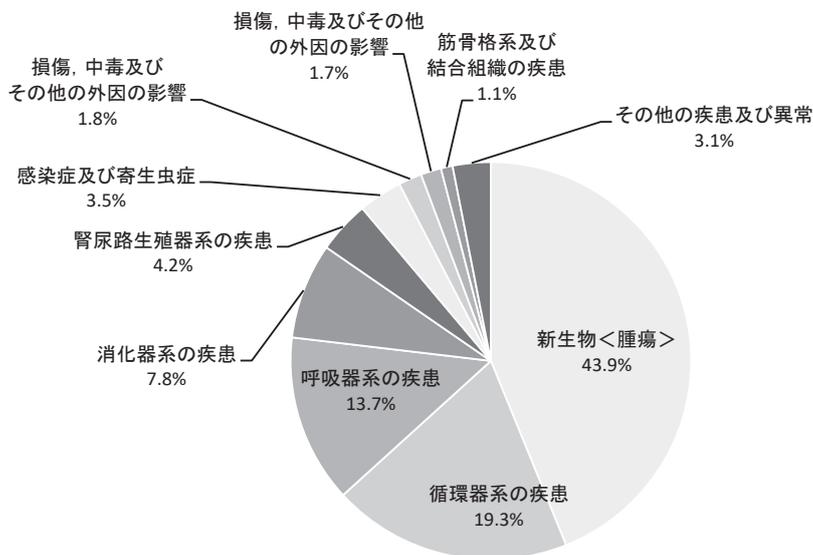
疾病別割合  
(男女計)



疾病別割合  
(男)

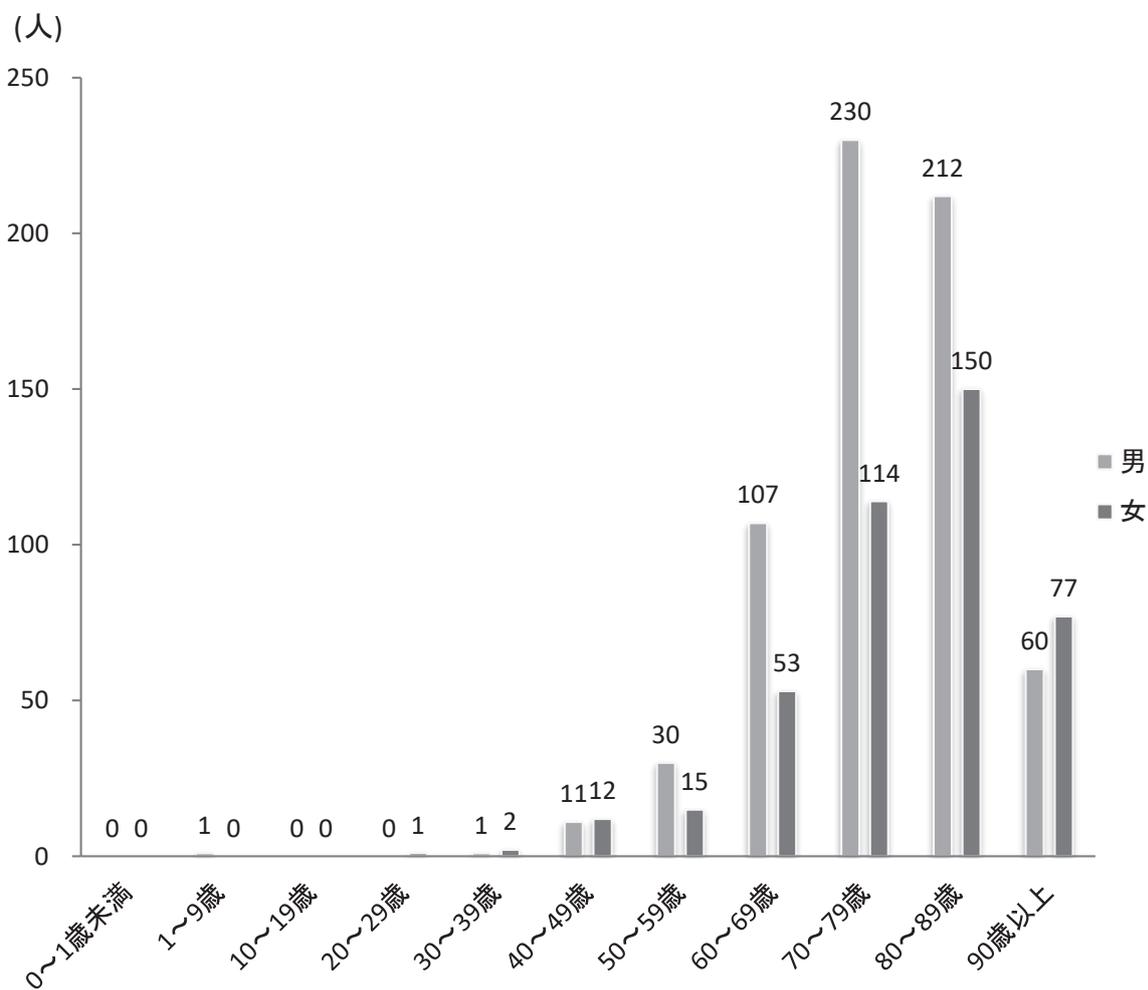


疾病別割合  
(女)



## ●年齢別死亡患者数（2023年度）

年齢階層	性別		男女計
	男	女	
0～1歳未満	0	0	0
1～9歳	1	0	1
10～19歳	0	0	0
20～29歳	0	1	1
30～39歳	1	2	3
40～49歳	11	12	23
50～59歳	30	15	45
60～69歳	107	53	160
70～79歳	230	114	344
80～89歳	212	150	362
90歳以上	60	77	137
合計	652	424	1,076

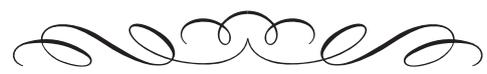


## ●死亡患者における疾病順位表 性別・年齢

性別	年齢階層	順位		1	2	3	4		
		患者数							
男 計 652	0～1歳未満	0	-	0	-	0	-	0	
	1～9歳	1	循環器系の疾患	1	-	0	-	0	
	10～19歳	0	-	0	-	0	-	0	
	20～29歳	0	-	0	-	0	-	0	
	30～39歳	1	循環器系の疾患	1	-	0	-	0	
	40～49歳	11	新生物	6	呼吸器系の疾患	1	消化器系の疾患	1	腎尿路生殖器系の疾患
	50～59歳	30	新生物	18	循環器系の疾患	4	呼吸器系の疾患	2	消化器系の疾患
	60～69歳	107	新生物	65	循環器系の疾患	16	感染症及び寄生虫症	6	消化器系の疾患
	70～79歳	230	新生物	132	呼吸器系の疾患	39	循環器系の疾患	17	消化器系の疾患
	80～89歳	212	新生物	78	循環器系の疾患	49	呼吸器系の疾患	35	消化器系の疾患
90歳以上	60	呼吸器系の疾患	20	新生物	16	循環器系の疾患	10	消化器系の疾患	
女 計 424	0～1歳未満	0	-	0	-	0	-	0	
	1～9歳	0	-	0	-	0	-	0	
	10～19歳	0	-	0	-	0	-	0	
	20～29歳	1	新生物	1	-	0	-	0	
	30～39歳	2	新生物	2	-	0	-	0	
	40～49歳	12	新生物	9	循環器系の疾患	1	消化器系の疾患	1	筋骨格系及び結合組織の疾患
	50～59歳	15	新生物	9	消化器系の疾患	3	感染症及び寄生虫症	1	循環器系の疾患
	60～69歳	53	新生物	36	循環器系の疾患	7	消化器系の疾患	4	呼吸器系の疾患
	70～79歳	114	新生物	60	循環器系の疾患	18	呼吸器系の疾患	13	腎尿路生殖器系の疾患
	80～89歳	150	新生物	58	循環器系の疾患	32	呼吸器系の疾患	26	消化器系の疾患
90歳以上	77	循環器系の疾患	23	呼吸器系の疾患	16	新生物	11	消化器系の疾患	

性別	年齢階層	5	6	7	8				
男	0～1歳未満	-	0	-	0	-	0		
	1～9歳	-	0	-	0	-	0		
	10～19歳	-	0	-	0	-	0		
	20～29歳	-	0	-	0	-	0		
	30～39歳	-	0	-	0	-	0		
	40～49歳	損傷、中毒及びその他の外因の影響	1	エマジェンシーコード	1	-	0	0	
	50～59歳	腎尿路生殖器系の疾患	2	損傷、中毒及びその他の外因の影響	1	エマジェンシーコード	1	-	0
	60～69歳	呼吸器系の疾患	5	損傷、中毒及びその他の外因の影響	4	神経系の疾患	2	その他	3
	70～79歳	腎尿路生殖器系の疾患	9	感染症及び寄生虫症	6	エマジェンシーコード	6	その他	11
	80～89歳	腎尿路生殖器系の疾患	11	損傷、中毒及びその他の外因の影響	8	感染症及び寄生虫症	5	その他	11
	90歳以上	腎尿路生殖器系の疾患	3	感染症及び寄生虫症	2	エマジェンシーコード	2	その他	2
女	0～1歳未満	-	0	-	0	-	0		
	1～9歳	-	0	-	0	-	0		
	10～19歳	-	0	-	0	-	0		
	20～29歳	-	0	-	0	-	0		
	30～39歳	-	0	-	0	-	0		
	40～49歳	-	0	-	0	-	0		
	50～59歳	呼吸器系の疾患	1	-	0	-	0	-	0
	60～69歳	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1	腎尿路生殖器系の疾患	1	損傷、中毒及びその他の外因の影響	1	エマジェンシーコード	1
	70～79歳	消化器系の疾患	5	感染症及び寄生虫症	3	皮膚及び皮下組織の疾患	3	その他	6
	80～89歳	感染症及び寄生虫症	9	腎尿路生殖器系の疾患	6	損傷、中毒及びその他の外因の影響	3	その他	6
	90歳以上	腎尿路生殖器系の疾患	5	特殊目的用コード	3	感染症及び寄生虫症	2	その他	7





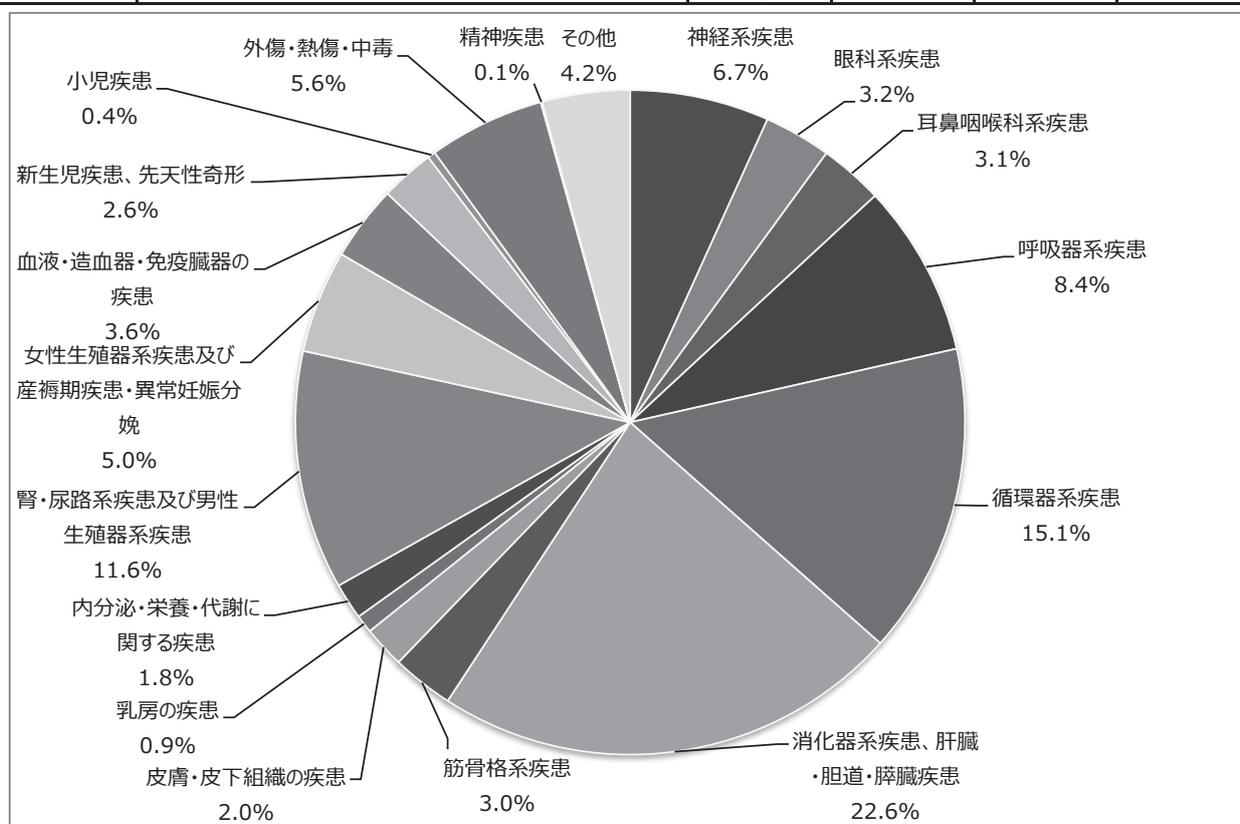
D P C 統計



## ●全科MDC2別退院患者数（神経精神科除く）（2023年度）

対象：2023年4月1日～2024年3月31日退院患者（自費患者を除く）

MDC番号	分類名	件数	割合	平均在院日数	DPC期間Ⅱ以内率
MDC01	神経系疾患	1,266	6.7%	23.0日	57.8%
MDC02	眼科系疾患	611	3.2%	3.8日	69.7%
MDC03	耳鼻咽喉科系疾患	581	3.1%	10.5日	74.0%
MDC04	呼吸器系疾患	1,578	8.4%	17.6日	61.8%
MDC05	循環器系疾患	2,849	15.1%	10.2日	79.6%
MDC06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	4,254	22.6%	11.9日	65.8%
MDC07	筋骨格系疾患	562	3.0%	22.6日	57.3%
MDC08	皮膚・皮下組織の疾患	381	2.0%	12.6日	70.6%
MDC09	乳房の疾患	165	0.9%	8.9日	92.1%
MDC10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	332	1.8%	14.5日	56.9%
MDC11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	2,188	11.6%	9.4日	79.8%
MDC12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	940	5.0%	9.0日	81.6%
MDC13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	686	3.6%	20.3日	66.8%
MDC14	新生児疾患、先天性奇形	491	2.6%	9.8日	78.6%
MDC15	小児疾患	71	0.4%	9.3日	38.0%
MDC16	外傷・熱傷・中毒	1,057	5.6%	17.1日	59.8%
MDC17	精神疾患	13	0.1%	10.0日	46.2%
MDC18	その他	798	4.2%	19.2日	81.5%
	総件数	18,823	100.0%	13.3日	70.3%



## ●全診療科 MDC2別上位疾患（2023年度）

対象：2023年4月1日～2024年3月31日退院患者（自費を除く）

### MDC01：神経系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	010060	脳梗塞	465	36.5%	24.1日	53.1%
2	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	203	15.9%	27.4日	48.8%
3	010230	てんかん	105	8.2%	14.8日	46.7%
4	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	84	6.6%	28.8日	79.8%
5	010070	脳血管障害	77	6.0%	11.0日	80.5%
6	010030	未破裂脳動脈瘤	71	5.6%	6.7日	84.5%
7	010010	脳腫瘍	64	5.0%	37.4日	53.1%
8	010080	脳脊髄の感染を伴う炎症	40	3.1%	25.9日	47.5%
9	010200	水頭症	38	3.0%	18.8日	78.9%
10	010061	一過性脳虚血発作	20	1.6%	5.0日	60.0%
		その他	108	8.5%		
		合計	1,275	100.0%	23.4日	58.0%

### MDC02：眼科系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	020110	白内障、水晶体の疾患	397	65.0%	2.2日	81.1%
2	020220	緑内障	56	9.2%	6.2日	57.1%
3	020200	黄斑、後極変性	38	6.2%	8.1日	10.5%
4	020230	眼瞼下垂	32	5.2%	2.3日	93.8%
5	020160	網膜剥離	14	2.3%	12.7日	0.0%
5	020320	眼瞼、涙器、眼窩の疾患	12	2.0%	4.3日	91.7%
7	020240	硝子体疾患	12	2.0%	6.5日	33.3%
8	020180	糖尿病性増殖性網膜症	12	2.0%	7.7日	41.7%
9	020150	斜視(外傷性・癒着性を除く)	11	1.8%	5.8日	72.7%
10	020350	脈絡膜の疾患	6	1.0%	9.2日	16.7%
10	02001x	角膜・眼及び付属器の悪性腫瘍	6	1.0%	6.5日	66.7%
		その他	15	2.5%		
		合計	611	100.0%	3.8日	69.7%

### MDC03：耳鼻咽喉科系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	03001x	頭頸部悪性腫瘍	98	16.9%	30.2日	46.9%
2	030240	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎	85	14.6%	9.3日	56.5%
3	030350	慢性副鼻腔炎	80	13.8%	4.6日	97.5%
4	030230	扁桃、アデノイドの慢性疾患	52	9.0%	7.6日	94.2%
5	030150	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍	45	7.7%	5.6日	95.6%
6	030270	上気道炎	37	6.4%	5.1日	51.4%
7	030390	顔面神経障害	29	5.0%	8.8日	93.1%
8	030440	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫	26	4.5%	6.9日	80.8%
9	030428	突発性難聴	24	4.1%	6.9日	100.0%
10	030250	睡眠時無呼吸	23	4.0%	2.0日	100.0%
		その他	82	14.1%		
		合計	581	100.0%	10.5日	74.0%

### MDC04 : 呼吸器系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	040040	肺の悪性腫瘍	415	26.3%	16.1日	66.5%
2	040080	肺炎等	364	23.0%	15.7日	64.0%
3	040081	誤嚥性肺炎	184	11.6%	28.6日	58.2%
4	040110	間質性肺炎	117	7.4%	23.7日	46.2%
5	040100	喘息	92	5.8%	8.7日	54.3%
6	040200	気胸	69	4.4%	16.5日	39.1%
7	040120	慢性閉塞性肺疾患	62	3.9%	13.9日	72.6%
8	040150	肺・縦隔の感染、膿瘍形成	58	3.7%	33.2日	37.9%
9	040070	インフルエンザ、ウイルス性肺炎	56	3.5%	6.5日	82.1%
10	040090	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他)	36	2.3%	5.4日	66.7%
		その他	127	8.0%		
		合計	1,580	100.0%	17.6日	61.8%

### MDC05 : 循環器系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	587	20.6%	5.1日	83.5%
2	050070	頻脈性不整脈	439	15.4%	6.7日	85.4%
3	050170	閉塞性動脈疾患	407	14.3%	10.2日	81.8%
4	050030	急性心筋梗塞(続発性合併症を含む)、再発性心筋梗塞	296	10.4%	12.3日	77.0%
4	050210	徐脈性不整脈	296	10.4%	6.0日	79.7%
6	050130	心不全	275	9.6%	17.8日	71.3%
7	050080	弁膜症(連合弁膜症を含む)	221	7.8%	12.7日	81.9%
8	050163	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤	74	2.6%	11.7日	93.2%
9	050161	大動脈解離	68	2.4%	29.6日	52.9%
10	050340	その他の循環器の障害	48	1.7%	7.4日	83.3%
		その他	139	4.9%		
		合計	2,850	100.0%	10.2日	79.6%

### MDC06 : 消化器系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	060340	胆管(肝内外)結石、胆管炎	629	14.8%	8.5日	74.6%
2	060020	胃の悪性腫瘍	356	8.4%	12.6日	73.9%
3	060335	胆嚢炎等	331	7.8%	10.8日	75.5%
4	060035	結腸(虫垂を含む)の悪性腫瘍	280	6.6%	15.1日	47.9%
5	060160	鼠径ヘルニア	244	5.7%	2.7日	94.3%
6	06007x	膵臓、脾臓の腫瘍	234	5.5%	16.2日	70.9%
7	060100	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む)	210	4.9%	6.3日	8.6%
8	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	210	4.9%	12.1日	66.2%
9	060040	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍	205	4.8%	23.3日	50.7%
10	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む)	147	3.5%	10.7日	72.8%
		その他	1,408	33.1%		
		合計	4,254	100.0%	11.9日	65.8%

### MDC07 : 筋骨格系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	070560	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患	118	21.0%	26.3日	61.0%
2	070010	骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く)	49	8.7%	4.9日	55.1%
3	070230	膝関節症(変形性を含む)	47	8.4%	20.2日	57.4%
4	07040x	股関節骨頭壊死、股関節症(変形性を含む)	46	8.2%	22.1日	50.0%
5	070343	脊柱管狭窄(脊椎症を含む) 腰部骨盤、不安定椎	40	7.1%	20.4日	60.0%
6	070341	脊柱管狭窄(脊椎症を含む) 頸部	35	6.2%	22.7日	65.7%
7	070071	骨髄炎(上肢以外)	33	5.9%	33.8日	51.5%
8	070470	関節リウマチ	28	5.0%	12.9日	89.3%
9	070330	脊椎感染(感染を含む)	23	4.1%	52.3日	52.2%
10	070395	壊死性筋膜炎	21	3.7%	42.2日	38.1%
		その他	122	21.7%		
		合計	562	100.0%	22.6日	57.3%

### MDC08 : 皮膚・皮下組織の疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	080010	膿皮症	106	27.8%	17.1日	47.2%
2	080006	皮膚の悪性腫瘍(黒色腫以外)	105	27.6%	5.4日	87.6%
3	080270	食物アレルギー	51	13.4%	1.0日	96.1%
4	080110	水疱症	24	6.3%	48.1日	54.2%
5	080020	帯状疱疹	23	6.0%	9.4日	78.3%
6	080007	皮膚の良性新生物	15	3.9%	5.2日	60.0%
7	080250	褥瘡潰瘍	11	2.9%	45.9日	54.5%
8	080100	薬疹、中毒疹	10	2.6%	16.9日	30.0%
9	080190	脱毛症	8	2.1%	3.0日	100.0%
10	080090	紅斑症	5	1.3%	10.6日	40.0%
10	080180	母斑、母斑症	5	1.3%	2.8日	100.0%
		その他	18	4.7%		
		合計	381	100.0%	12.6日	70.6%

### MDC09 : 乳房の疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	090010	乳房の悪性腫瘍	160	97.0%	9.1日	91.9%
2	090020	乳房の良性腫瘍	4	2.4%	3.0日	100.0%
3	090040	乳房の形態異常、女性化乳房、乳腺症など	1	0.6%	3.0日	100.0%
		合計	165	100.0%	8.9日	92.1%

### MDC10 : 内分泌・栄養・代謝に関する疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	10007x	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)	43	12.8%	15.7日	46.5%
2	100250	下垂体機能低下症	40	11.9%	4.8日	30.0%
3	100393	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害	36	10.7%	14.9日	55.6%
4	100040	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡	25	7.4%	15.1日	44.0%
5	100020	甲状腺の悪性腫瘍	20	5.9%	11.4日	60.0%
6	100130	甲状腺の良性結節	15	4.5%	5.7日	93.3%
7	100100	糖尿病足病変	14	4.2%	61.1日	35.7%
7	100210	低血糖症	14	4.2%	12.6日	78.6%
7	100140	甲状腺機能亢進症	14	4.2%	8.7日	71.4%
7	100391	低カリウム血症	14	4.2%	9.8日	71.4%
7	100202	その他の副腎皮質機能低下症	14	4.2%	6.9日	71.4%
		その他	88	26.1%		
		合計	337	100.0%	15.3日	57.6%

**MDC11：腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患**

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	110080	前立腺の悪性腫瘍	608	27.8%	4.3日	94.9%
2	110310	腎臓又は尿路の感染症	308	14.1%	15.8日	62.0%
3	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	286	13.1%	16.4日	69.6%
4	110070	膀胱腫瘍	263	12.0%	8.3日	78.3%
5	11012x	上部尿路疾患	227	10.4%	3.9日	89.4%
6	110060	腎盂・尿管の悪性腫瘍	113	5.2%	9.4日	71.7%
7	11001x	腎腫瘍	74	3.4%	8.9日	85.1%
8	11013x	下部尿路疾患	64	2.9%	5.3日	85.9%
9	110290	急性腎不全	61	2.8%	18.8日	59.0%
10	110200	前立腺肥大症等	60	2.7%	6.8日	90.0%
		その他	125	5.7%		
		合計	2,189	100.0%	9.5日	79.8%

**MDC12：女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩**

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	12002x	子宮頸・体部の悪性腫瘍	272	28.9%	7.4日	85.7%
2	120180	胎児及び胎児付属物の異常	114	12.1%	9.3日	88.6%
3	120010	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍	102	10.9%	10.0日	77.5%
4	120260	分娩の異常	86	9.1%	7.6日	82.6%
5	120060	子宮の良性腫瘍	85	9.0%	7.5日	91.8%
6	120070	卵巣の良性腫瘍	73	7.8%	8.2日	87.7%
7	120170	早産、切迫早産	43	4.6%	22.5日	53.5%
8	120160	妊娠高血圧症候群関連疾患	31	3.3%	10.4日	64.5%
9	120090	生殖器脱出症	25	2.7%	7.4日	96.0%
10	120100	子宮内膜症	16	1.7%	10.3日	43.8%
		その他	93	9.9%		
		合計	940	100.0%	9.0日	81.6%

**MDC13：血液・造血器・免疫臓器の疾患**

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	130030	非ホジキンリンパ腫	303	44.1%	18.0日	68.6%
2	130060	骨髄異形成症候群	111	16.2%	10.2日	85.6%
3	130010	急性白血病	107	15.6%	29.3日	57.9%
4	130040	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物	60	8.7%	29.8日	55.0%
5	130090	貧血(その他)	35	5.1%	9.7日	62.9%
6	130020	ホジキン病	16	2.3%	17.8日	68.8%
7	130110	出血性疾患(その他)	13	1.9%	30.6日	61.5%
8	130080	再生不良性貧血	9	1.3%	55.1日	44.4%
9	130070	白血球疾患(その他)	8	1.2%	15.1日	75.0%
10	130111	アレルギー性紫斑病	6	0.9%	21.7日	33.3%
10	130050	骨髄増殖性腫瘍	6	0.9%	29.3日	16.7%
10	130130	凝固異常(その他)	6	0.9%	54.2日	33.3%
		その他	7	1.0%		
		合計	687	100.0%	20.3日	66.8%

### MDC14 : 新生児疾患・先天性奇形

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	390	79.4%	11.0日	78.5%
2	140230	喉頭の疾患(その他)	25	5.1%	2.7日	92.0%
3	140420	腸重積	12	2.4%	3.4日	66.7%
4	140110	鼻の先天異常	9	1.8%	5.0日	77.8%
5	140210	先天性耳瘻孔、副耳	7	1.4%	2.9日	100.0%
5	140490	手足先天性疾患	7	1.4%	3.4日	100.0%
7	140080	脳、脊髄の先天異常	6	1.2%	10.2日	83.3%
8	14029x	動脈管開存症、心房中隔欠損症	4	0.8%	6.8日	75.0%
8	140170	正中頸嚢胞・側頸嚢胞	4	0.8%	5.8日	75.0%
8	140600	女性性器の先天性異常	4	0.8%	9.8日	0.0%
8	140140	口蓋・口唇先天性疾患	4	0.8%	5.8日	100.0%
8	140430	腸管の先天異常	4	0.8%	5.3日	100.0%
		その他	15	3.1%		
		合計	491	100.0%	9.8日	78.6%

### MDC15 : 小児疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	150040	熱性けいれん	34	47.9%	4.4日	58.8%
2	150070	川崎病	32	45.1%	15.3日	6.3%
3	150100	虐待症候群	3	4.2%	4.3日	100.0%
4	150120	脳性麻痺	2	2.8%	2.0日	100.0%
		合計	71	100.0%	9.3日	38.0%

### MDC16 : 外傷・熱傷・中毒

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	160100	頭蓋・頭蓋内損傷	251	23.5%	8.8日	81.7%
2	160800	股関節・大腿近位の骨折	235	22.0%	31.2日	28.5%
3	161070	薬物中毒(その他の中毒)	82	7.7%	8.8日	78.0%
4	160835	下腿足関節周辺の骨折	42	3.9%	20.4日	45.2%
5	160850	足関節・足部の骨折・脱臼	39	3.7%	22.3日	61.5%
6	160740	肘関節周辺の骨折・脱臼	36	3.4%	6.0日	72.2%
7	160200	顔面損傷(口腔、咽頭損傷を含む)	33	3.1%	3.8日	84.8%
7	160820	膝関節周辺の骨折・脱臼	33	3.1%	18.1日	60.6%
9	161060	詳細不明の損傷等	32	3.0%	6.6日	65.6%
10	160870	頸椎頸髄損傷	31	2.9%	33.8日	38.7%
		その他	254	23.8%		
		合計	1,068	100.0%	17.4日	60.1%

### MDC17 : 精神疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	170030	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	63	40.1%	103.4日	-
2	170040	気分[感情]障害	54	34.4%	54.4日	-
3	170060	その他の精神及び行動の障害	16	10.2%	57.9日	-
4	170050	神経性障害,ストレス関連障害及び身体表現性障害	13	8.3%	15.3日	-
5	170020	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	11	7.0%	34.9日	-
		合計	157	100.0%	69.8日	-

**MDC18 : その他**

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	180030	その他の感染症(真菌を除く)	512	64.1%	14.3日	93.0%
2	180010	敗血症	170	21.3%	35.1日	54.1%
3	180040	手術・処置等の合併症	79	9.9%	16.3日	74.7%
4	180060	その他の新生物	17	2.1%	5.6日	70.6%
5	180050	その他の悪性腫瘍	12	1.5%	16.4日	75.0%
6	180035	その他の真菌感染症	6	0.8%	69.7日	16.7%
7	180020	性感染症	2	0.3%	12.0日	50.0%
8	180041	移植臓器及び組織の不全及び拒絶反応	1	0.1%	7.0日	100.0%
		合計	799	100.0%	19.2日	81.5%

## ●診療科別 診断群分類別(MDC6)上位頻度疾患 (2023年度)

対象：2023年4月1日から2024年3月31日退院患者（自費を除く）

### 診療科：内科 消化器系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	060340	胆管(肝内外)結石、胆管炎	616	23.4%	8.1日	75.0%
2	060020	胃の悪性腫瘍	258	9.8%	11.2日	74.8%
3	060100	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む)	201	7.6%	6.1日	7.5%
4	06007x	膵臓、脾臓の腫瘍	182	6.9%	14.8日	69.2%
5	060035	結腸(虫垂を含む)の悪性腫瘍	139	5.3%	11.7日	25.9%
6	060102	穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患	123	4.7%	6.9日	77.2%
7	060335	胆嚢炎等	116	4.4%	18.6日	59.5%
8	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む)	115	4.4%	9.3日	78.3%
9	060060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	101	3.8%	11.6日	74.3%
10	060140	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄(穿孔を伴わないもの)	94	3.6%	9.9日	70.2%
		その他	683	26.0%		
		合計	2,628	100.0%	11.4日	61.6%

### 診療科：内科 循環器系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	575	22.2%	4.4日	84.3%
2	050070	頻脈性不整脈	436	16.8%	6.1日	85.6%
3	050170	閉塞性動脈疾患	384	14.8%	8.9日	82.8%
4	050210	徐脈性不整脈	290	11.2%	5.6日	80.0%
5	050030	急性心筋梗塞(続発性合併症を含む)、再発性心筋梗塞	289	11.1%	11.6日	77.5%
6	050130	心不全	242	9.3%	18.4日	69.4%
7	050080	弁膜症(連合弁膜症を含む)	183	7.1%	9.3日	85.8%
8	050340	その他の循環器の障害	46	1.8%	7.3日	84.8%
9	050161	大動脈解離	43	1.7%	23.9日	58.1%
10	050060	心筋症(拡張型心筋症を含む)	38	1.5%	6.2日	84.2%
		その他	69	2.7%		
		合計	2,595	100.0%	8.9日	80.5%

### 診療科：内科 呼吸器疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	040040	肺の悪性腫瘍	279	26.5%	18.0日	72.4%
2	040080	肺炎等	270	25.7%	17.7日	66.7%
3	040081	誤嚥性肺炎	152	14.4%	25.0日	58.6%
4	040110	間質性肺炎	114	10.8%	23.8日	46.5%
5	040120	慢性閉塞性肺疾患	61	5.8%	14.0日	73.8%
6	040150	肺・縦隔の感染、膿瘍形成	46	4.4%	33.2日	39.1%
7	040100	喘息	29	2.8%	13.5日	37.9%
8	040200	気胸	25	2.4%	22.6日	28.0%
9	04026x	肺高血圧性疾患	17	1.6%	6.4日	82.4%
10	040190	胸水、胸膜の疾患(その他)	7	0.7%	15.3日	71.4%
10	040170	抗酸菌関連疾患(肺結核以外)	7	0.7%	11.0日	57.1%
10	040160	呼吸器の結核	7	0.7%	32.9日	100.0%
		その他	38	3.6%		
		合計	1,052	100.0%	19.8日	62.5%

診療科：内科 神経系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	010060	脳梗塞	398	65.0%	22.3日	54.5%
2	010230	てんかん	64	10.5%	19.6日	28.1%
3	010080	脳脊髄の感染を伴う炎症	28	4.6%	24.5日	50.0%
4	010061	一過性脳虚血発作	19	3.1%	5.1日	57.9%
5	010160	パーキンソン病	16	2.6%	36.0日	37.5%
6	010110	免疫介在性・炎症性ニューロパチー	10	1.6%	26.3日	30.0%
7	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	8	1.3%	10.0日	100.0%
8	010310	脳の障害(その他)	7	1.1%	25.9日	42.9%
8	010155	運動ニューロン疾患等	7	1.1%	42.0日	71.4%
10	010010	脳腫瘍	6	1.0%	73.3日	16.7%
10	010070	脳血管障害	6	1.0%	18.8日	33.3%
		その他	43	7.0%		
		合計	612	100.0%	22.4日	50.8%

診療科：内科 血液系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	130030	非ホジキンリンパ腫	292	45.4%	18.0日	69.9%
2	130060	骨髄異形成症候群	111	17.3%	10.2日	85.6%
3	130010	急性白血病	107	16.6%	29.3日	57.9%
4	130040	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物	60	9.3%	29.8日	55.0%
5	130090	貧血(その他)	16	2.5%	15.9日	31.3%
6	130020	ホジキン病	15	2.3%	18.9日	66.7%
7	130110	出血性疾患(その他)	10	1.6%	38.0日	60.0%
8	130080	再生不良性貧血	9	1.4%	55.1日	44.4%
9	130050	骨髄増殖性腫瘍	6	0.9%	29.3日	16.7%
9	130130	凝固異常(その他)	6	0.9%	54.2日	33.3%
		その他	11	1.7%		
		合計	643	100.0%	21.1日	66.4%

診療科：内科 筋骨格系疾患

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	070560	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患	113	57.4%	26.7日	59.3%
2	070470	関節リウマチ	25	12.7%	11.8日	96.0%
3	070330	脊椎感染(感染を含む)	17	8.6%	52.5日	52.9%
4	070510	痛風、関節の障害(その他)	8	4.1%	19.8日	37.5%
5	070071	骨髄炎(上肢以外)	7	3.6%	45.0日	14.3%
5	070040	骨の悪性腫瘍(脊椎を除く)	7	3.6%	18.7日	71.4%
7	070480	脊椎関節炎	4	2.0%	8.3日	100.0%
8	07034x	脊柱管狭窄(脊椎症を含む)	3	1.5%	25.0日	33.3%
8	070090	筋炎(感染性を含む)	3	1.5%	38.7日	33.3%
10	070341	脊柱管狭窄(脊椎症を含む) 頸部	2	1.0%	23.5日	50.0%
10	070041	軟部の悪性腫瘍(脊椎を除く)	2	1.0%	51.5日	50.0%
10	07040x	股関節骨頭壊死、股関節症(変形性を含む)	2	1.0%	37.5日	0.0%
10	070395	壊死性筋膜炎	2	1.0%	29.0日	50.0%
		その他	2	1.0%		
		合計	197	100.0%	27.2日	60.4%

診療科：外科

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	060160	鼠径ヘルニア	231	10.6%	2.7日	93.9%
2	060335	胆嚢炎等	213	9.8%	6.0日	85.0%
3	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	192	8.8%	11.7日	67.7%
4	090010	乳房の悪性腫瘍	157	7.2%	8.9日	93.6%
5	060040	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍	146	6.7%	24.5日	58.2%
6	060035	結腸(虫垂を含む)の悪性腫瘍	141	6.5%	18.5日	69.5%
7	040040	肺の悪性腫瘍	134	6.2%	12.3日	53.7%
8	060150	虫垂炎	126	5.8%	6.8日	73.8%
9	060020	胃の悪性腫瘍	98	4.5%	16.2日	71.4%
10	060370	腹膜炎、腹腔内膿瘍(女性器臓器を除く)	76	3.5%	26.1日	48.7%
		その他	663	30.5%		
		合計	2,177	100.0%	13.1日	71.9%

診療科：心臓外科

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	050080	弁膜症(連弁弁膜症を含む)	36	37.5%	28.3日	66.7%
2	050161	大動脈解離	25	26.0%	39.6日	44.0%
3	050163	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤	13	13.5%	27.5日	69.2%
4	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	9	9.4%	46.6日	44.4%
5	050030	急性心筋梗塞(続発性合併症を含む)、再発性心筋梗塞	5	5.2%	33.4日	60.0%
6	050090	心内膜炎	2	2.1%	140.5日	0.0%
6	180040	手術・処置等の合併症	2	2.1%	41.0日	100.0%
8	050020	心臓の良性腫瘍	1	1.0%	20.0日	100.0%
8	010060	脳梗塞	1	1.0%	42.0日	0.0%
8	14029x	動脈管開存症、心房中隔欠損症	1	1.0%	18.0日	0.0%
8	050070	頻脈性不整脈	1	1.0%	20.0日	100.0%
		合計	96	100.0%	35.6日	57.3%

診療科：整形外科

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	160800	股関節・大腿近位の骨折	230	28.2%	30.4日	28.7%
2	070230	膝関節症(変形性を含む)	47	5.8%	20.2日	57.4%
3	07040x	股関節骨頭壊死、股関節症(変形性を含む)	43	5.3%	21.8日	51.2%
4	160835	下腿足関節周辺の骨折	41	5.0%	19.6日	46.3%
5	070343	脊柱管狭窄(脊椎症を含む) 腰部骨盤、不安定椎	39	4.8%	20.5日	59.0%
6	160850	足関節・足部の骨折・脱臼	38	4.7%	22.7日	60.5%
7	160740	肘関節周辺の骨折・脱臼	36	4.4%	6.0日	72.2%
8	160820	膝関節周辺の骨折・脱臼	33	4.0%	18.1日	60.6%
9	070341	脊柱管狭窄(脊椎症を含む) 頸部	32	3.9%	21.2日	68.8%
10	160870	頸椎頸髄損傷	30	3.7%	34.3日	40.0%
		その他	248	30.4%		
		合計	817	100.0%	24.2日	49.0%

**診療科：脳神経外科**

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	160100	頭蓋・頭蓋内損傷	234	27.3%	8.4日	82.9%
2	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	194	22.7%	28.3日	46.4%
3	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	82	9.6%	28.9日	79.3%
4	010070	脳血管障害	71	8.3%	10.3日	84.5%
5	010030	未破裂脳動脈瘤	65	7.6%	6.5日	87.7%
6	010060	脳梗塞	60	7.0%	35.5日	45.0%
7	010010	脳腫瘍	53	6.2%	35.5日	54.7%
8	010200	水頭症	34	4.0%	20.8日	76.5%
9	010230	てんかん	20	2.3%	6.6日	70.0%
10	010120	特発性(単)ニューロパチー	7	0.8%	9.9日	85.7%
10	030390	顔面神経障害	7	0.8%	14.0日	85.7%
		その他	29	3.4%		
		合計	856	100.0%	19.7日	68.9%

**診療科：形成外科**

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	070010	骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く)	45	16.7%	5.0日	53.3%
2	020230	眼瞼下垂	32	11.9%	2.3日	93.8%
3	160200	顔面損傷(口腔、咽頭損傷を含む)	30	11.2%	3.7日	86.7%
4	080010	膿皮症	26	9.7%	19.8日	50.0%
5	070071	骨髄炎(上肢以外)	19	7.1%	26.9日	68.4%
6	070395	壊死性筋膜炎	12	4.5%	44.0日	41.7%
6	100100	糖尿病足病変	12	4.5%	46.1日	41.7%
8	160660	皮下軟部損傷・挫滅損傷、開放創	10	3.7%	21.0日	60.0%
8	050170	閉塞性動脈疾患	10	3.7%	61.6日	50.0%
10	180060	その他の新生物	7	2.6%	3.9日	85.7%
		その他	66	24.5%		
		合計	269	100.0%	15.6日	64.7%

**診療科：皮膚科**

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	080006	皮膚の悪性腫瘍(黒色腫以外)	101	37.7%	4.9日	91.1%
2	080010	膿皮症	35	13.1%	14.4日	54.3%
3	080110	水疱症	24	9.0%	48.1日	54.2%
4	161070	薬物中毒(その他の中毒)	20	7.5%	3.6日	60.0%
5	080020	帯状疱疹	18	6.7%	8.3日	88.9%
6	080007	皮膚の良性新生物	10	3.7%	4.3日	80.0%
7	080100	薬疹、中毒疹	9	3.4%	18.1日	22.2%
8	080190	脱毛症	8	3.0%	3.0日	100.0%
9	02001x	角膜・眼及び付属器の悪性腫瘍	4	1.5%	3.0日	100.0%
9	180060	その他の新生物	4	1.5%	3.0日	100.0%
		その他	35	13.1%		
		合計	268	100.0%	12.0日	73.9%

**診療科：耳鼻咽喉科**

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	03001x	頭頸部悪性腫瘍	91	16.8%	31.5日	45.1%
2	030350	慢性副鼻腔炎	79	14.6%	4.5日	97.5%
2	030240	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎	78	14.4%	9.5日	57.7%
4	030230	扁桃、アデノイドの慢性疾患	51	9.4%	7.6日	94.1%
5	030150	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍	44	8.1%	5.2日	97.7%
6	030428	突発性難聴	24	4.4%	6.9日	100.0%
7	030390	顔面神経障害	21	3.9%	7.0日	100.0%
8	030440	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫	15	2.8%	7.6日	93.3%
8	030300	声帯の疾患(その他)	15	2.8%	6.4日	33.3%
10	100020	甲状腺の悪性腫瘍	11	2.0%	13.9日	36.4%
		その他	112	20.7%		
		合計	541	100.0%	11.8日	73.2%

**診療科：泌尿器科・透析科**

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	110080	前立腺の悪性腫瘍	606	27.5%	4.2日	95.0%
2	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	264	12.0%	14.9日	70.1%
3	110070	膀胱腫瘍	259	11.7%	8.3日	78.4%
4	11012x	上部尿路疾患	223	10.1%	3.8日	90.1%
5	110310	腎臓又は尿路の感染症	157	7.1%	15.1日	68.8%
6	110060	腎盂・尿管の悪性腫瘍	113	5.1%	9.4日	71.7%
7	11001x	腎腫瘍	74	3.4%	8.9日	85.1%
8	11013x	下部尿路疾患	64	2.9%	5.3日	85.9%
9	110200	前立腺肥大症等	60	2.7%	6.8日	90.0%
10	110290	急性腎不全	45	2.0%	18.1日	57.8%
		その他	341	15.5%		
		合計	2,206	100.0%	10.4日	81.2%

**診療科：産科**

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	120180	胎児及び胎児付属物の異常	113	35.0%	9.4日	88.5%
2	120260	分娩の異常	86	26.6%	7.6日	82.6%
3	120170	早産、切迫早産	43	13.3%	22.5日	53.5%
4	120160	妊娠高血圧症候群関連疾患	31	9.6%	10.4日	64.5%
5	120165	妊娠合併症等	14	4.3%	13.1日	42.9%
6	120182	前置胎盤及び低置胎盤	12	3.7%	13.7日	91.7%
7	120270	産褥期を中心とするその他の疾患	6	1.9%	7.8日	33.3%
8	120150	妊娠早期の出血	4	1.2%	18.3日	25.0%
9	120185	(常位)胎盤早期剥離	3	0.9%	9.3日	66.7%
9	060380	ウイルス性腸炎	3	0.9%	4.0日	66.7%
		その他	8	2.5%		
		合計	323	100.0%	11.3日	75.2%

診療科：婦人科

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	12002x	子宮頸・体部の悪性腫瘍	270	39.9%	7.4日	85.6%
2	120010	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍	101	14.9%	10.0日	78.2%
3	120060	子宮の良性腫瘍	85	12.6%	7.5日	91.8%
4	120070	卵巣の良性腫瘍	71	10.5%	7.9日	90.1%
5	120090	生殖器脱出症	25	3.7%	7.4日	96.0%
6	130090	貧血(その他)	16	2.4%	4.6日	87.5%
7	120100	子宮内膜症	15	2.2%	9.5日	46.7%
8	120030	外陰の悪性腫瘍	7	1.0%	2.0日	100.0%
8	120230	子宮の非炎症性障害	7	1.0%	7.3日	85.7%
8	120130	異所性妊娠(子宮外妊娠)	7	1.0%	8.0日	85.7%
8	120120	卵巣・卵管・広間膜の非炎症性疾患	7	1.0%	3.1日	85.7%
8	120110	子宮・子宮附属器の炎症性疾患	7	1.0%	11.3日	57.1%
		その他	59	8.7%		
		合計	677	100.0%	8.7日	82.7%

診療科：眼科

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	020110	白内障、水晶体の疾患	397	70.8%	2.2日	81.1%
2	020220	緑内障	56	10.0%	6.2日	57.1%
3	020200	黄斑、後極変性	38	6.8%	8.1日	10.5%
4	020160	網膜剥離	13	2.3%	11.8日	0.0%
5	020180	糖尿病性増殖性網膜症	12	2.1%	7.7日	41.7%
5	020240	硝子体疾患	12	2.1%	6.5日	33.3%
7	020150	斜視(外傷性・癒着性を除く)	7	1.2%	2.6日	100.0%
8	020350	脈絡膜の疾患	6	1.1%	9.2日	16.7%
8	020320	眼瞼、涙器、眼窩の疾患	6	1.1%	3.0日	100.0%
10	020210	網膜血管閉塞症	5	0.9%	13.2日	20.0%
		その他	9	1.6%		
		合計	561	100.0%	3.8日	68.8%

診療科：小児科

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	180030	その他の感染症(真菌を除く)	205	20.6%	6.1日	94.6%
2	040080	肺炎等	72	7.2%	8.9日	50.0%
3	040100	喘息	63	6.3%	6.4日	61.9%
4	040070	インフルエンザ、ウイルス性肺炎	52	5.2%	6.1日	86.5%
5	080270	食物アレルギー	51	5.1%	1.0日	96.1%
6	040090	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他)	36	3.6%	5.4日	66.7%
7	110310	腎臓又は尿路の感染症	35	3.5%	8.0日	82.9%
8	150040	熱性けいれん	34	3.4%	4.4日	58.8%
9	060380	ウイルス性腸炎	32	3.2%	4.5日	75.0%
9	150070	川崎病	32	3.2%	15.3日	6.3%
		その他	385	38.6%		
		合計	997	100.0%	6.5日	74.1%

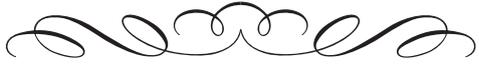
**診療科：新生児科**

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	377	99.2%	11.2日	77.7%
2	14056x	先天性水腎症、先天性上部尿路疾患	1	0.3%	7.0日	0.0%
2	14031x	先天性心疾患(動脈管開存症、心房中隔欠損症を除く)	1	0.3%	3.0日	100.0%
2	140110	鼻の先天異常	1	0.3%	8.0日	0.0%
		合計	380	100.0%	11.2日	77.4%

**診療科：神経精神科**

順位	コード	名称	件数	割合	平均在院日数	Ⅱ以内率
1	170030	統合失調症,統合失調症型障害及び妄想性障害	63	36.0%	103.4日	-
2	170040	気分[感情]障害	54	30.9%	54.4日	-
3	170060	その他の精神及び行動の障害	14	8.0%	64.6日	-
4	170050	神経症性障害,ストレス関連障害及び身体表現性障害	8	4.6%	18.5日	-
4	161070	薬物中毒(その他の中毒)	8	4.6%	53.5日	-
6	170020	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	5	2.9%	65.2日	-
7	01021x	認知症	4	2.3%	82.0日	-
8	100270	間脳下垂体疾患(その他)	3	1.7%	42.7日	-
9	010080	脳脊髄の感染を伴う炎症	2	1.1%	45.0日	-
9	040081	誤嚥性肺炎	2	1.1%	61.0日	-
9	010160	パーキンソン病	2	1.1%	79.5日	-
		その他	10	5.7%		
		合計	175	100.0%	72.0日	-





# クリニカル・パスの統計



## ●クリニカル・パスの使用率（2023年度）

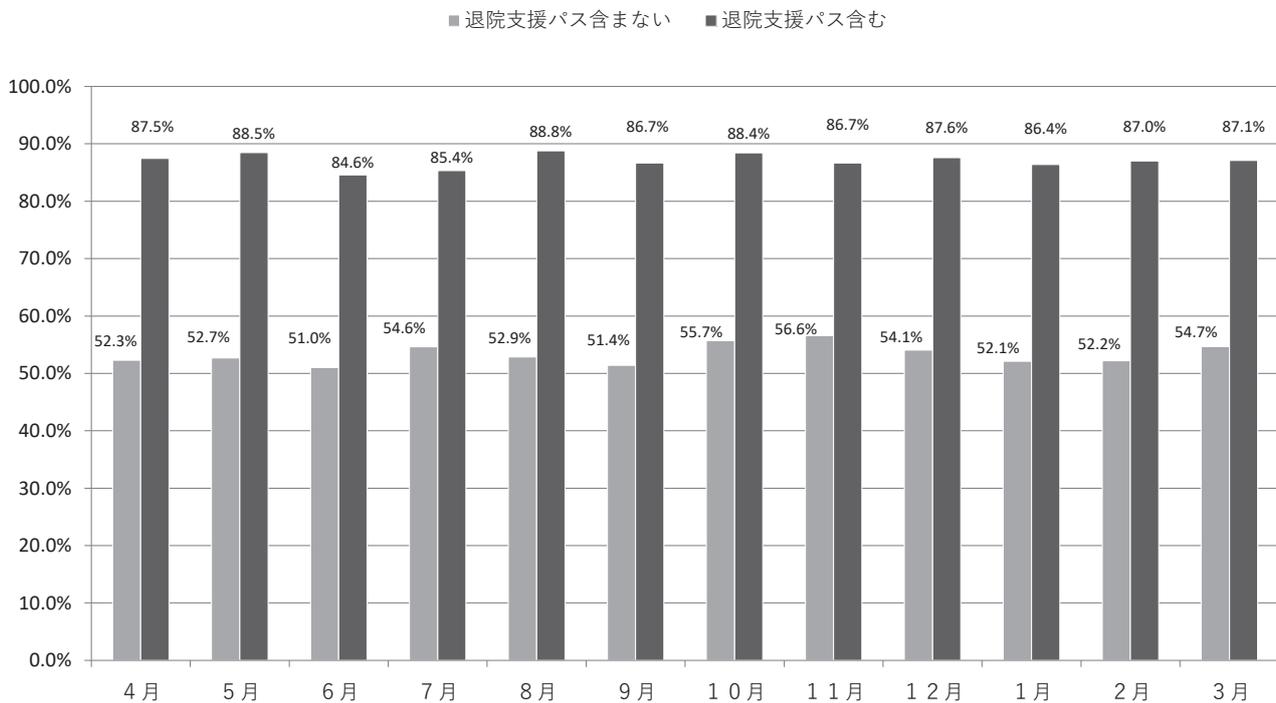


図1 2023年度 クリニカル・パス使用率

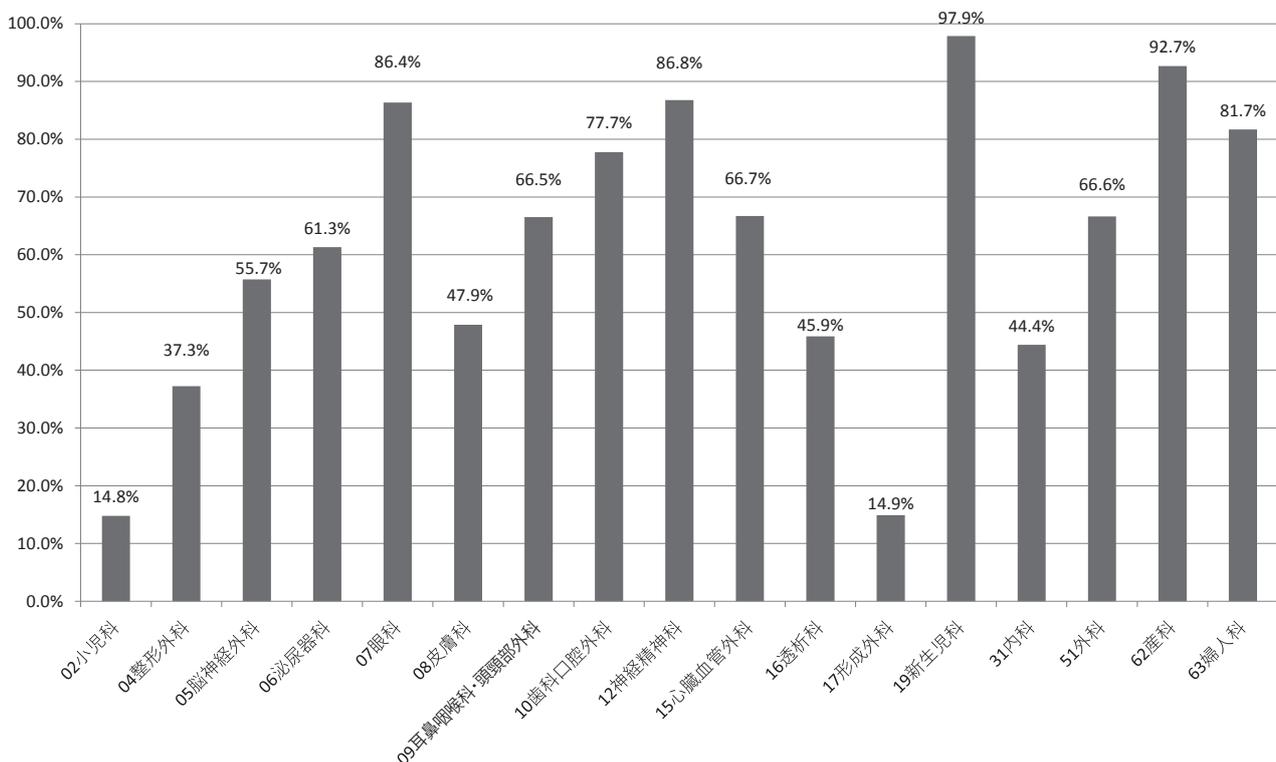
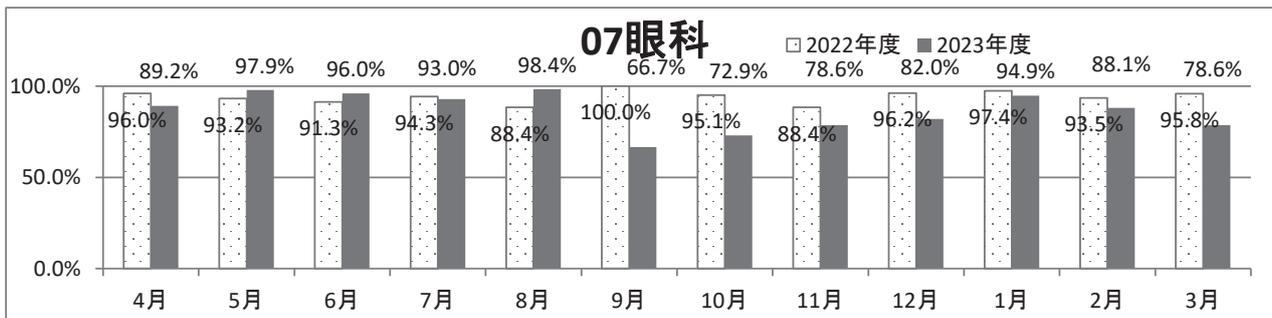
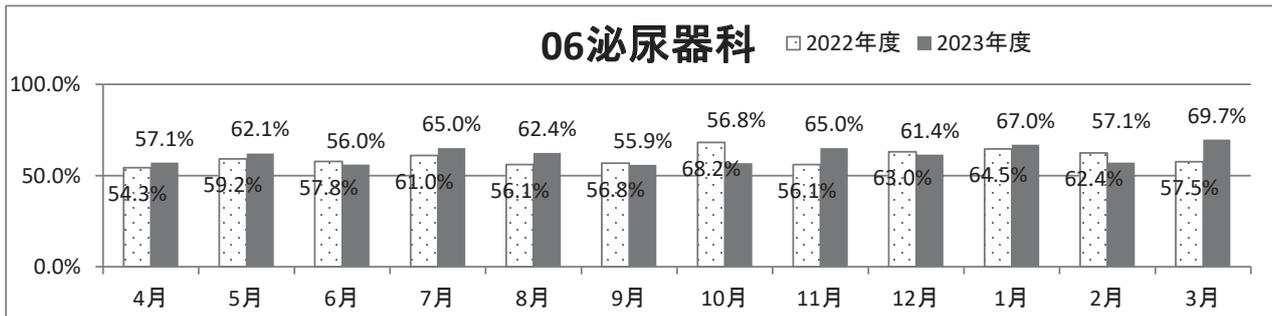
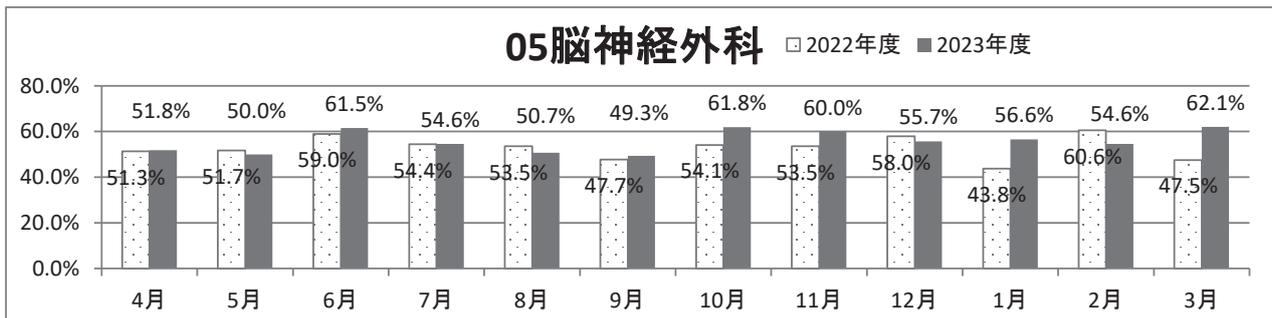
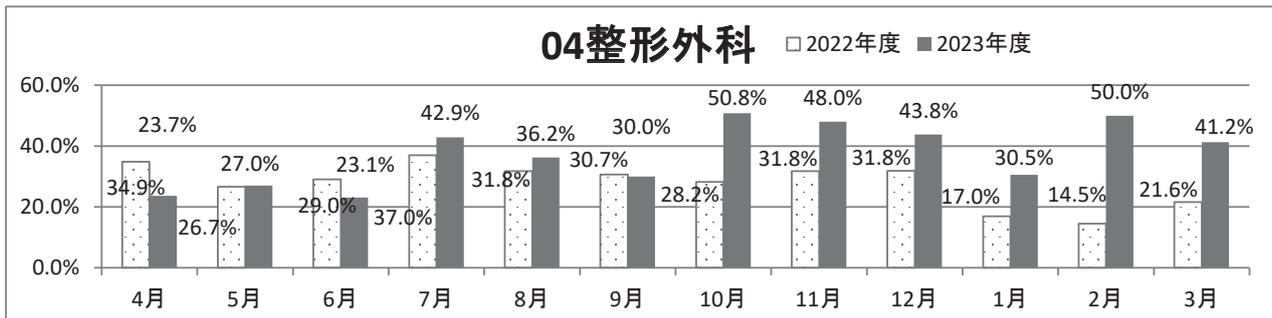
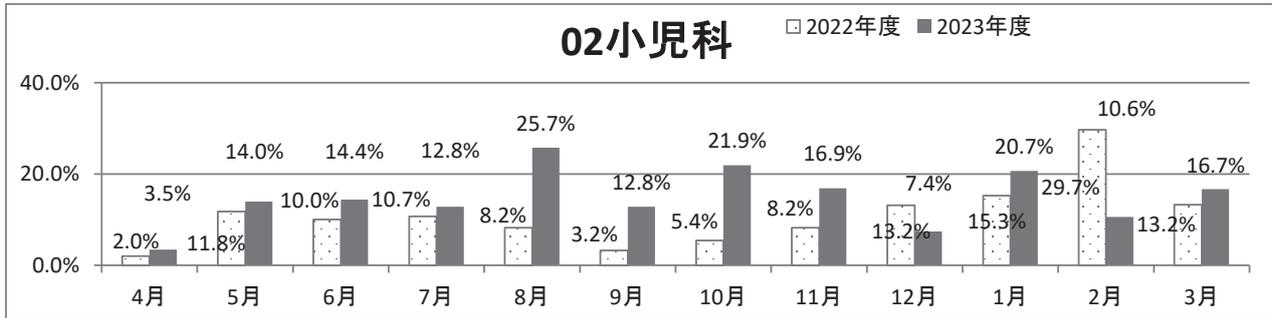


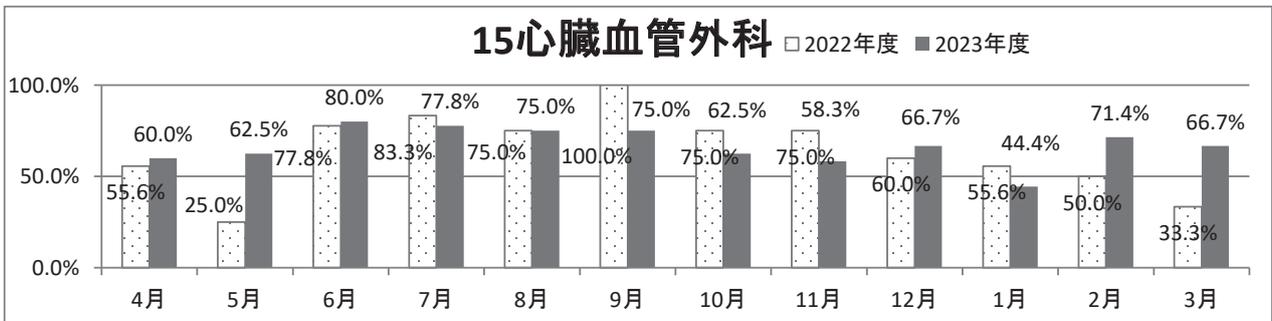
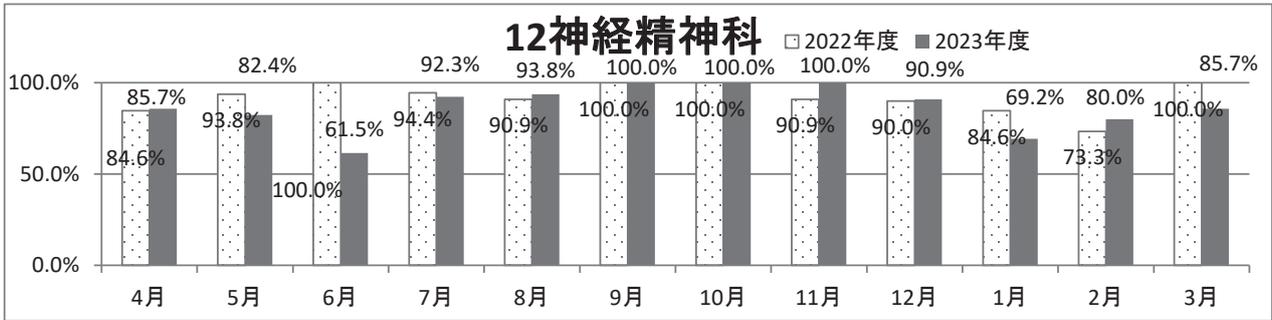
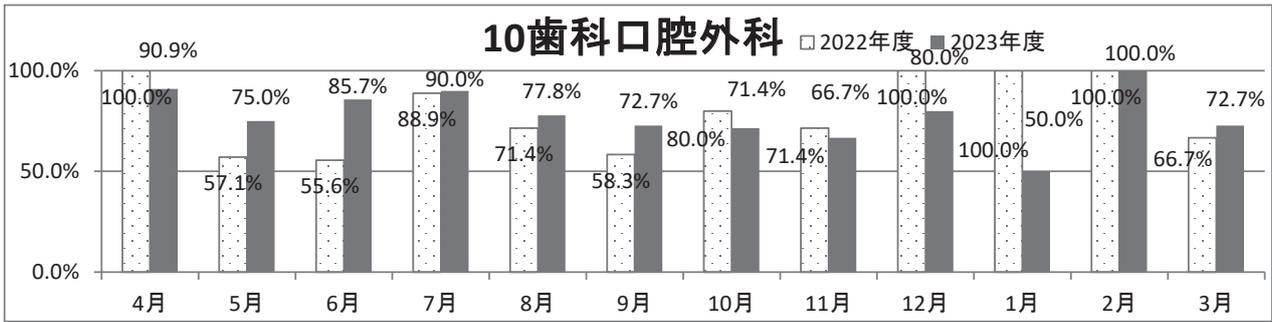
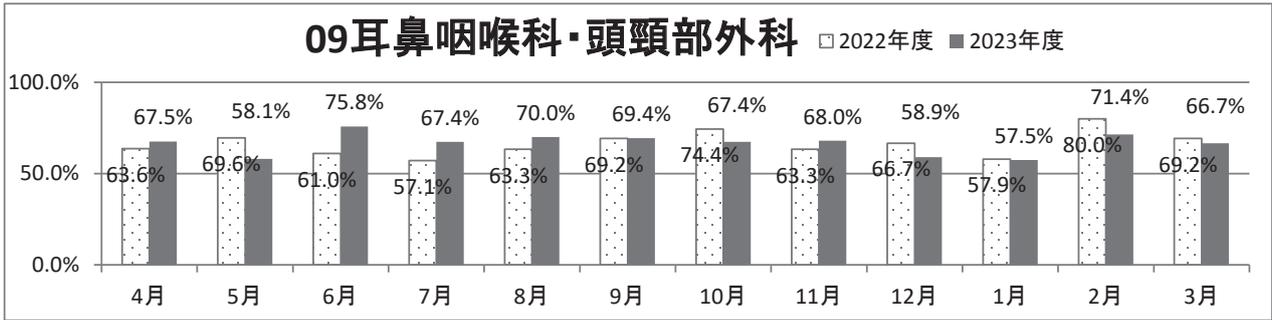
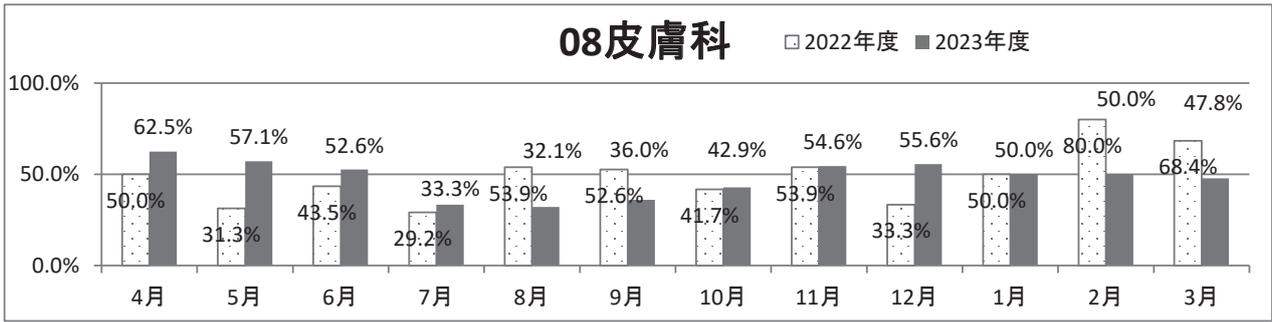
図2 2023年度 診療科別クリニカル・パス年間平均使用率

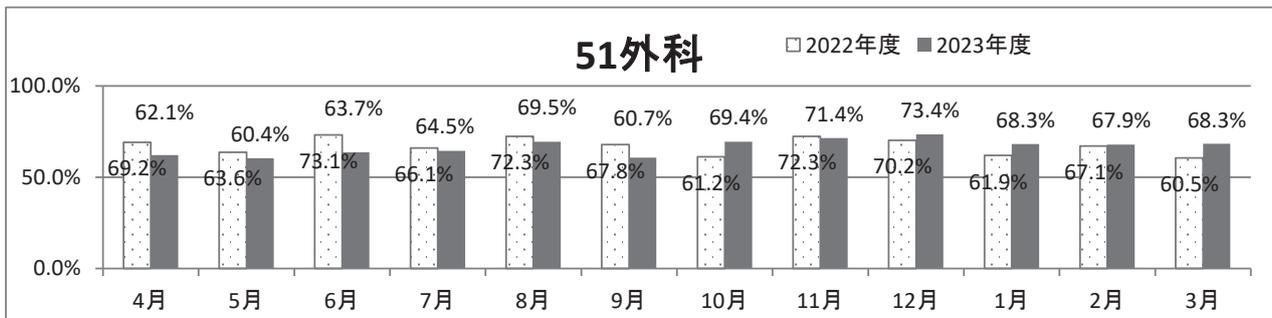
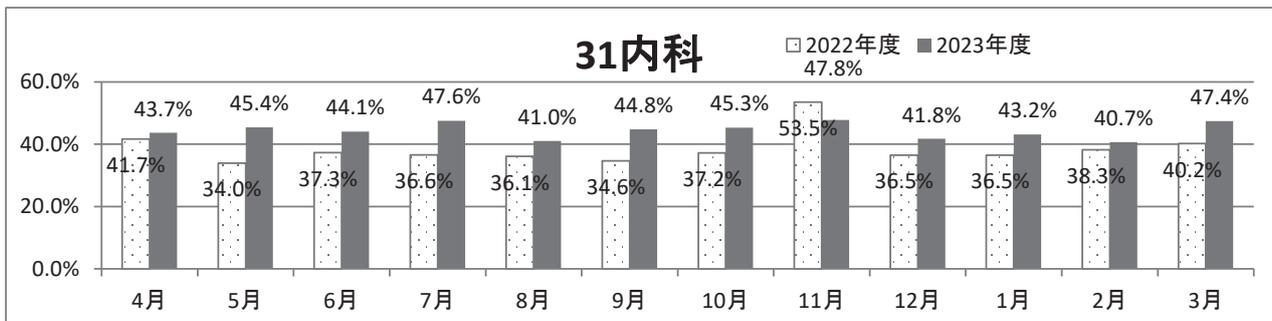
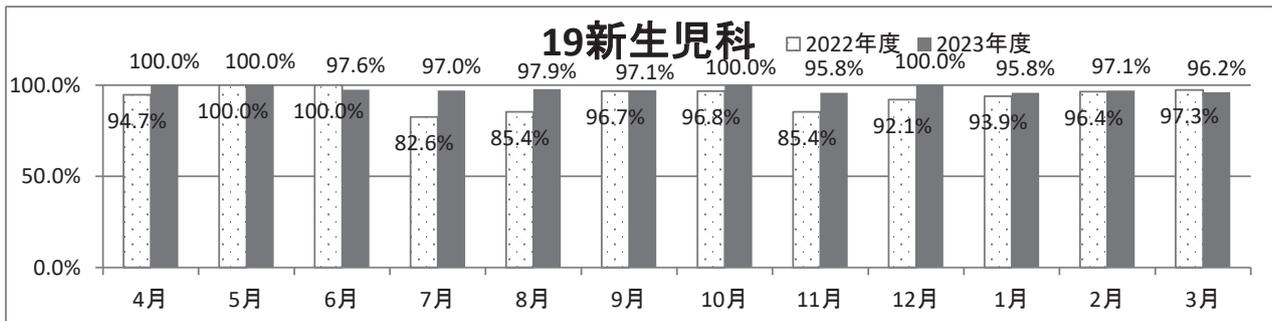
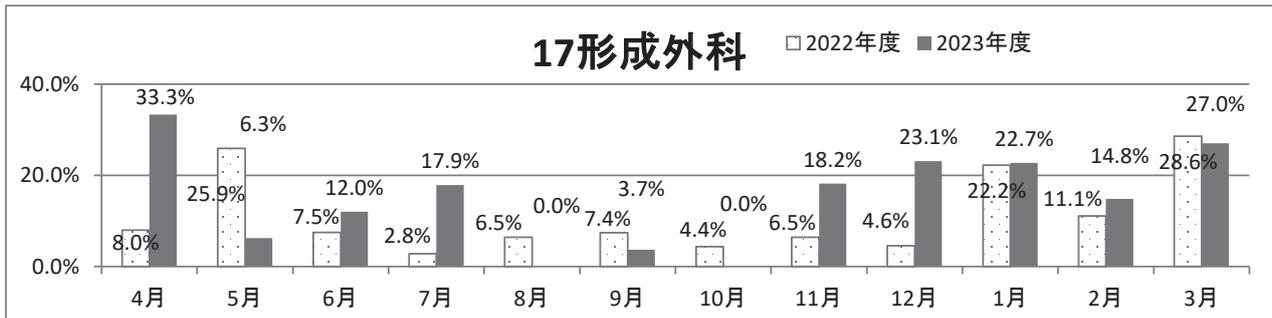
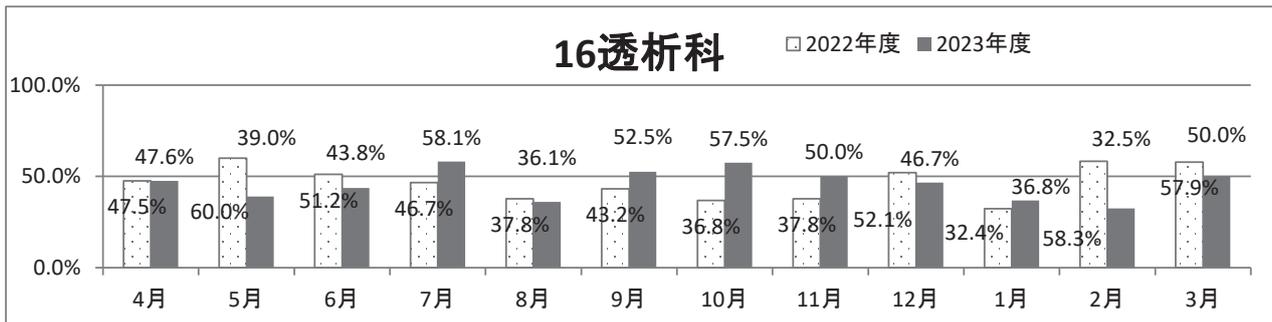
## ●診療科別クリニカル・パスの使用率（2023年度）

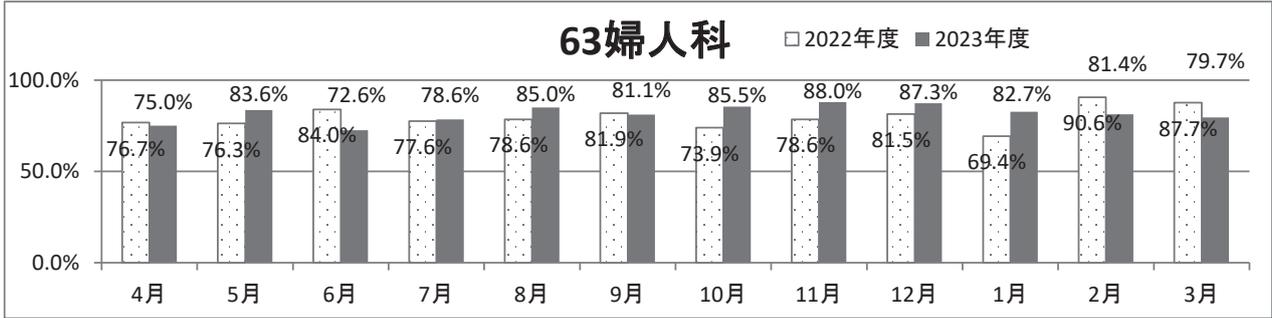
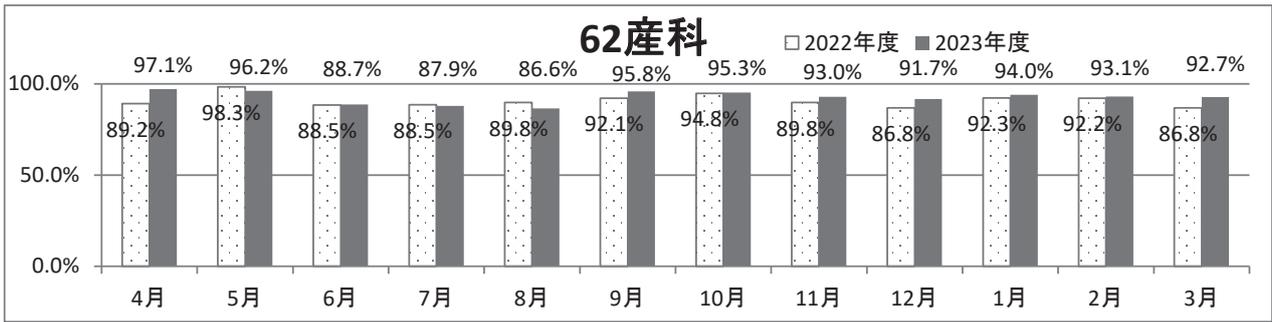
（退院支援パスは除外）

分子：クリニカル・パス適用患者 分母：退院患者









# ●クリニカル・パス使用件数（2023年度）

電子カルテパス、Yahgee パスをカウントした。（紙パスは統計対象外）

診療科/パス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
<b>内科</b>	<b>871</b>	<b>867</b>	<b>932</b>	<b>973</b>	<b>3,643</b>
〈VTEver〉幽門側胃切除術 術後1病日～				1	1
ABL	62	51	70	58	241
AZA静注7日間	5	9	3	5	22
AZA皮下注5日間	10	12	11	14	47
AZA皮下注7日間	3	4	5	7	19
CAG・PCIクリニカルパス		2	5	5	7
CAG上肢(腎機能異常)	2	1	4	4	11
CAG上肢(腎機能正常)	6	8	4	9	27
CAG鼠径(腎機能異常)		1	3	1	5
CAG鼠径(腎機能正常)	2	2	1	1	6
CAPDカテーテル挿入術	1				1
DBd療法(dara皮下)(初回)	1				1
EBUS(超音波気管支鏡検査)一泊	22	26	20	14	82
EPS・ABL	12	19	8	8	47
ERCP	139	148	139	131	557
ESS		3			3
EUS-FNAパス	4	4	9	12	29
EUS-FNAパス(腎機能低下・高齢者用)	7	6	2	7	22
EVT創傷あり(腎機能異常)	16	5	12	14	47
EVT創傷あり(腎機能正常)	17	9	12	13	51
EVT創傷あり(透析患者用)	11	6	7	15	39
EVT創傷なし(腎機能異常)	14	13	14	10	51
EVT創傷なし(腎機能正常)	24	24	17	22	87
EVT創傷なし(透析患者用)	11	7	9	16	43
PCI上肢(腎機能異常)	27	32	23	19	101
PCI上肢(腎機能正常)	44	41	25	42	152
PCI鼠径(腎機能異常)	24	24	22	13	83
PCI鼠径(腎機能正常)	14	10	14	11	49
R-CHOP療法(CHOP先行)		1			1
アテローム血栓性脳梗塞パス	19	19	21	8	67
シャント造設術(維持透析患者)				1	1
シャント造設術(導入期患者)		2	2	2	6
ペースメーカー・ICD植え込み術	21	29	35	29	114
ポート造設術	3	3	8	3	17
ラジオ波凝固療法(RFA):前日入院用	7	3	5	6	21
胃ポリヘク	1	4	3	9	17
胃ポリヘク(腎機能低下または透析 胃カメラ再検後食だし不可)	1			1	2
胃ポリヘク(腎機能低下または透析)			3	1	4
胃内視鏡的粘膜下層剥離術(前日入院・抗血小板あり:腎機能低下)			1	1	2
胃内視鏡的粘膜下層剥離術(前日入院・抗血小板あり)	2	2		1	5
胃内視鏡的粘膜下層剥離術(前日入院・抗血小板なし)	5	2	5	1	13
胃内視鏡的粘膜下層剥離術(前日入院・抗血小板なし:腎機能低下)	2		3	1	6
胃内視鏡的粘膜下層剥離術(当日入院・抗血小板あり)	3	3	4	5	15
胃内視鏡的粘膜下層剥離術(当日入院・抗血小板あり:腎機能低下)	3	6	8		17
胃内視鏡的粘膜下層剥離術(当日入院・抗血小板なし)	10	18	7	30	65
胃内視鏡的粘膜下層剥離術(当日入院・抗血小板なし:腎機能低下)	5	11	10	9	35
医療者用EVTパス		18	86	126	230
医療者用緩和ケア病棟入棟初期パス	34	27	38	21	120
医療者用血液透析パス アクセスなし(初回～3回)	2		1		3
医療者用血液透析導入クリニカルパス シャント造設術後		1			1
医療者用在宅酸素療法導入パス		1	4	2	7
肝生検パス	6	14	3	7	30
肝動脈塞栓術(TAE)	9	8	12	15	44
経皮的内視鏡下胃瘻造設パス	7	8	11	8	34
鼓室形成術(小児)		1			1
口蓋扁桃摘出術(成人)		1			1
喉頭微細手術		1			1
甲状腺部分切除術		1			1
骨髄採取(ドナー用)		2	1		3
十二指腸ESD	3	1	1	1	6
十二指腸ESD(腎機能低下・高齢者ver.)	1	1	3	2	7
除糞術	1				1
上腕動脈表在化造設(維持透析患者)		1			1
食道ESD	4	1	1	2	8
食道ESD(腎機能低下・高齢者ver.)			2	3	5
心原性脳塞栓症パス	4	4	2	2	12
腎生検(e-GFR50以下または透析)	2	3	1	6	12
腎生検(e-GFR50以上)	6	4	7	3	20

診療科/バス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
睡眠時無呼吸症候群 PSG検査	7	7	3	5	22
大腸ESD	20	21	14	20	75
大腸ESD(腎機能低下または高齢者)	19	15	19	17	70
大腸ポリペク	11	20	17	19	67
大腸ポリペク(腎機能低下または透析)	30	16	15	18	79
胆管炎(当日ERCP:セフメタゾール)	3	5	2		10
胆管炎(当日ERCP:セフメタゾール)腎機能低下・高齢者ver	5	3	2		10
胆管炎(当日ERCP:タジビペ)腎機能低下・高齢者ver	1			1	2
胆管炎(翌日ERCP:セフメタゾール)	1	2	1	4	8
胆管炎(翌日ERCP:セフメタゾール)腎機能低下・高齢者ver	2		1	1	4
胆管炎(翌日ERCP:タジビペ)				1	1
当日前立腺生検(P生検)	6				6
当日入院CAG上肢(腎機能正常)		6	10	9	25
当日入院CAG鼠径(腎機能正常)		1	2		3
当日入院EVT創傷あり(腎機能正常)	5	2	7	15	29
当日入院EVT創傷あり(透析患者用)	4	4	5	10	23
当日入院EVT創傷なし(腎機能正常)	22	8	6	14	50
当日入院EVT創傷なし(透析患者用)	14	12	16	16	58
当日入院PCI上肢(腎機能正常)	27	30	21	29	107
当日入院PCI鼠径(腎機能正常)	7	9	16	9	41
入院中CAG上肢(腎機能異常)	5	6	2	2	15
入院中CAG上肢(腎機能正常)	10	3	1	3	17
入院中CAG鼠径(腎機能異常)	1	2	2		5
入院中CAG鼠径(腎機能正常)			1	2	3
入院中PCI上肢(腎機能異常)	8	6	15	9	38
入院中PCI上肢(腎機能正常)	6	4	11	7	28
入院中PCI鼠径(腎機能異常)	8	10	9	3	30
入院中PCI鼠径(腎機能正常)	8	5	7	6	26
末梢血幹細胞採取(ドナー用)	2	2			4
<b>外科</b>	<b>424</b>	<b>381</b>	<b>446</b>	<b>407</b>	<b>1,658</b>
〈VTEver〉胃全摘 術後1病日~	1		3	1	5
〈VTEver〉試験開腹orバイパス術 術後1病日~	1			1	2
〈VTEver〉幽門側胃切除術 術後1病日~	2	2	6	2	12
【共通】胃切除術(手術前日~当日)	27	18	30	23	98
【共通】直腸癌(入院日~手術当日)	16	25	16	10	67
ERCP		1	1		2
EVAR	5	6	6	7	24
EVT創傷なし(腎機能正常)				1	1
Miles術 術後1病日~	1				1
Miles術 術後1病日~ VTEver				2	2
nonVTE: 右側結腸 (前日入院)				6	6
nonVTE: 左側結腸 (2日前入院)				3	3
nonVTE:DG				2	2
nonVTE:TG				2	2
nonVTE:胃非切除				1	1
VTE: APR/Hartmann				3	3
VTE: 右側結腸 (前日入院)				6	6
VTE: 左側結腸パス (2日前入院)				7	7
VTE:DG				7	7
VTE:TG				2	2
VTE:胃非切除後				2	2
イレウス保存治療	20	21	38	23	102
ポート造設術	2	2	5	3	12
胃手術: 入院→当日				13	13
胃全摘 術後1病日~	1		1	2	4
医療者用緩和ケア病棟入棟初期バス	8	10	5	11	34
医療者用血液透析バス アクセスなし(初回~3回)	1				1
右気胸の手術バス				1	1
右側結腸バス(前日入院)	13	5	11	8	37
右側結腸バス(前日入院) VTEver	10	17	13	9	49
右肺切除バス		2	10	3	15
円錐切除バス:手術前日入院		1			1
下肢静脈瘤	3	2			5
開腹AAA	8	14	5	10	37
開腹胆摘	5		1	1	7
肝切除	9	6	12	13	40
甲状腺手術、PHPT手術	9	5	8	3	25
左側結腸バス(2日前入院)	7	3	12	9	31
左側結腸バス(2日前入院) VTEver	12	15	23	14	64
左肺切除バス	2	1	9	4	16
試験開腹orバイパス術 術後1病日~	2	4	1	1	8
小児鼠径ヘルニア	2		2	1	5
上腕動脈表在化瘤切除術	1				1

診療科/パス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
成人ヘルニア 1泊2日	43	51	44	32	170
成人ヘルニア 2泊3日	15	16	14	13	58
前日入院 前立腺生検(P生検)	1				1
虫垂切除術	12	10	3	5	30
直腸癌低位前方切除術 術後1病日~	2	1			3
直腸癌低位前方切除術 術後1病日~ VTEver	1		2		3
直腸癌低位前方切除術+covering stoma 術後1病日~	1	2			3
直腸癌低位前方切除術+covering stoma 術後1病日~ VTEver	1	1	3		5
当日前立腺生検(P生検)				1	1
乳腺手術(術後:ドレーンあり)パス	33	24	30	16	103
乳腺手術(術後:ドレーンなし)パス	9	10	13	13	45
乳腺手術(術前)パス	40	33	41	32	146
入院中PCI上肢(腎機能正常)	1				1
非開腹ASO、末梢動脈瘤	6	3	1	6	16
腹腔鏡下胆嚢摘出術	60	46	48	53	207
腹腔鏡下虫垂切除術	21	15	21	12	69
幽門側胃切除術 術後1病日~		1	3	1	5
肛門疾患パス	10	8	5	6	29
<b>神経精神科</b>	<b>391</b>	<b>454</b>	<b>411</b>	<b>403</b>	<b>1,659</b>
医療者用クロザリル外来運用パス	270	309	277	286	1,142
医療者用神経精神科外来地域生活支援パス	42	38	51	34	165
医療者用神経精神科退院支援・調整パス(回復期・社会復帰期)	26	20	26	14	86
医療者用神経精神科退院支援・調整パス(急性期)	42	43	30	29	144
修正型電気けいれん療法 入院用	11	44	27	40	122
<b>泌尿器科</b>	<b>325</b>	<b>356</b>	<b>328</b>	<b>298</b>	<b>1,307</b>
PNL1回目	3	4	2	6	15
RALP術後5日造影 ロボット支援前立腺摘除術	10	12	7	12	41
RALP術後7日造影 ロボット支援前立腺摘除術	6		2	2	10
RAPN(ロボット支援腎部分切除術)	6	9	9	8	32
TUL	70	66	63	47	246
TURBT	43	56	43	42	184
TURP・TUEB(経尿道的前立腺切除)	13	6	18	20	57
医療者用緩和ケア病棟入棟初期パス	2	6	5	3	16
陰嚢水腫	4	7	3	4	18
鏡視下腎尿管全摘・膀胱部分切除術	4	11	2	4	21
経尿道的膀胱結石砕石術(TUVL)	12	6	9	9	36
高位除嚢術	1	3	1		5
根治的前立腺摘除術	1		1	2	4
除嚢術	6	3	1	4	14
水圧拡張術	3	1	1	3	8
前日入院 前立腺生検(P生検)	3	4	1		8
鼠径ヘルニア	3	6	2	2	13
当日ESWL		1			1
当日前立腺生検(P生検)	103	134	144	107	488
内視尿道切開(尿道狭窄)	3	4	2	3	12
尿管鏡検査	20	6	8	12	46
腹腔鏡下腎摘除術(ラパロ腎摘)	6	9	4	8	27
膀胱全摘回腸導管造設術	3	2			5
<b>透析科</b>	<b>171</b>	<b>208</b>	<b>248</b>	<b>129</b>	<b>756</b>
CAPDカテーテル挿入術	2		1		3
CAPDカテーテル抜去術		2			2
EBUS(超音波気管支鏡検査)一泊			1		1
アテローム血栓性脳梗塞パス		1		1	2
シャントPTA	1	2	3		6
シャント造設術(維持透析患者)	5	3	5	4	17
シャント造設術(導入期患者)	24	22	21	19	86
医療者用EVTパス				1	1
医療者用外来シャント透視下PTAパス(透析あり)		1			1
医療者用血液透析パス アクセスなし(初回~3回)	43	47	76	39	205
医療者用血液透析移行期No.1パス	5	8	10	6	29
医療者用血液透析移行期No.2パス	19	11	12	9	51
医療者用血液透析導入クリニカルパス グラフトシャント造設術後				1	1
医療者用血液透析導入クリニカルパス シャント造設術後	18	39	38	23	118
医療者用血液透析導入クリニカルパス 動脈表在化術後	20	39	44	5	108
医療者用血液透析導入クリニカルパス(シャントあり)	7	10	6	5	28
血液透析導入			2		2
上腕動脈表在化造設(維持透析患者)	4	6	3	1	14
上腕動脈表在化造設(導入期患者)	7	5	7	2	21
心原性脳塞栓症パス			1		1
腎生検(e-GFR50以下または透析)	7	5	6	6	24
腎生検(e-GFR50以上)	4	4	5	5	18
入院中PCI鼠径(腎機能異常)			1		1
入院中PCI鼠径(腎機能正常)			1		1

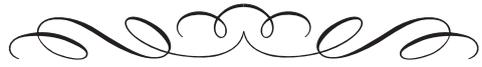
診療科/バス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
外来シャント造影クリニカルバス		1			1
外来シャントエコー下PTA	5	2	5	2	14
<b>産科</b>	<b>187</b>	<b>155</b>	<b>172</b>	<b>146</b>	<b>660</b>
円錐切除バス:手術当日入院:外来から手術室	1				1
緊急帝王切開バス:腰麻	8	16	8	3	35
緊急帝王切開バス:腰麻:児はNICU管理	8	8	5	6	27
緊急帝王切開バス:全麻	1	1			2
緊急帝王切開バス:全麻:児はNICU管理	1	1			2
緊急妊娠時開腹手術バス:腰麻	1				1
緊急婦人科開腹術バス:全麻+硬膜外:ドレーンなし	1				1
頸管縫縮術バス			2		2
後期流産バス(2日間入院)		1	2		3
産褥バス:産褥4日退院:児はNICU管理:会陰縫合あり				1	1
産褥バス:産褥4日退院:児は産科管理:会陰縫合あり		1	3	1	5
産褥バス:産褥4日退院:児は産科管理:会陰縫合なし				2	2
産褥バス:産褥5日退院:児はNICU管理:会陰縫合あり	8	7	7	8	30
産褥バス:産褥5日退院:児はNICU管理:会陰縫合なし		3	2		5
産褥バス:産褥5日退院:児は産科管理:会陰縫合あり	109	88	115	85	397
産褥バス:産褥5日退院:児は産科管理:会陰縫合なし	12	2	7	8	29
子宮脱手術バス	1				1
選択の帝王切開バス:腰麻	26	16	15	18	75
選択の帝王切開バス:腰麻:児はNICU管理	1	8	6	9	24
選択の帝王切開バス:全麻	1				1
選択の帝王切開バス:全麻:児はNICU管理		1			1
中期中絶術バス(2日間入院)	2			1	3
妊娠悪阻バス:入院10日間	2	1		4	7
婦人科開腹術バス:予定手術:ドレーンなし	1				1
羊水検査バス:CTGなし	1	1			2
卵巣腫瘍(悪性疑い)手術バス:術前	2				2
<b>婦人科</b>	<b>138</b>	<b>153</b>	<b>168</b>	<b>145</b>	<b>604</b>
CTガイド下生検バス			2	3	5
イレウス保存治療			1		1
ロボット支援腹腔鏡下子宮全摘出手術バス	1	2	7	8	18
医療者用緩和ケア病棟入棟初期バス	2	5	4	2	13
医療者用在宅酸素療法導入バス			1		1
円錐切除バス:手術前日入院	2			2	4
円錐切除バス:手術当日入院:外来から手術室	9	15	14	4	42
円錐切除バス:手術当日入院:病棟から手術室	1				1
緊急婦人科開腹術バス:全麻:ドレーンなし	1		2		3
緊急婦人科開腹術バス:全麻+硬膜外:ドレーンあり				1	1
緊急婦人科開腹術バス:全麻+硬膜外:ドレーンなし	2		1		3
緊急腹腔鏡下卵巣・卵管手術バス	2	3	4	2	11
経頸管の子宮鏡下手術バス:3日間入院:腰痛麻酔	1	1	1	1	4
頸管縫縮術バス	1	1			2
広汎子宮全摘術バス	1	1	1		3
子宮脱手術バス	4	6	8	5	23
子宮内容除去術バス:前日入院:術後1日退院	2				2
準広汎子宮全摘術バス:ドレーンあり				1	1
選択の帝王切開バス:腰麻	4				4
妊娠悪阻バス:入院10日間	1		2	1	4
婦人科AP療法バス		2	5	7	14
婦人科BEP療法バス			1		1
婦人科BEP療法バス:レジメン開始日に適応開始			2		2
婦人科EP療法バス(放射線併用)		1			1
婦人科TC/TC+アバスチン用バス	29	21	28	40	118
婦人科化学療法バス	15	15	19	19	68
婦人科開腹術バス:予定手術:ドレーンあり			1	2	3
婦人科開腹術バス:予定手術:ドレーンなし	5	9	2	4	20
腹腔鏡下子宮全摘出手術バス	14	10	10	4	38
腹腔鏡下卵巣・卵管手術バス	12	7	18	10	47
腹式単純子宮全摘術:ドレーンあり	3	9	2	2	16
腹式単純子宮全摘術:ドレーンなし	14	17	19	17	67
麻酔別腔式手術バス:3日間入院:腰椎麻酔		1			1
麻酔別腔式手術バス:3日間入院:全身麻酔			2		2
羊水検査バス:CTGなし	1				1
卵巣腫瘍(悪性疑い)手術バス:術後:ドレーンあり	2	9	3	1	15
卵巣腫瘍(悪性疑い)手術バス:術後:ドレーンなし:クレキサンあり	2		2		4
卵巣腫瘍(悪性疑い)手術バス:術後:ドレーンなし:クレキサンなし	2	4		3	9
卵巣腫瘍(悪性疑い)手術バス:術前	5	14	5	4	28
腔式単純子宮全摘術バス			1	2	3
<b>眼科</b>	<b>99</b>	<b>135</b>	<b>108</b>	<b>101</b>	<b>443</b>
医療者用白内障手術(日帰り)バス				1	1
眼瞼下垂 右眼 3日間				1	1

診療科/パス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
眼瞼下垂 左眼 3日間				1	1
白内障 右眼 2日間	42	48	48	46	184
白内障 右眼 3日間	7	10	10	6	33
白内障 左眼 2日間	34	55	33	29	151
白内障 左眼 3日間	6	10	14	10	40
白内障 両眼 全身麻酔 3日間			2		2
緑内障 右眼 7日間	2	3			5
緑内障 左眼 7日間	3		1	1	5
緑内障+白内障 右眼 7日間	4	2		1	7
緑内障+白内障 左眼 7日間	1	3		1	5
睫毛内反 右眼 3日間 全身麻酔		1		3	4
睫毛内反 両眼 3日間 全身麻酔		3		1	4
<b>救命科</b>	<b>349</b>	<b>284</b>	<b>364</b>	<b>315</b>	<b>1,312</b>
ABL	1	1	2	1	5
CAG・PCIクリニカルパス			1	1	2
CAG上肢(腎機能異常)				1	1
EPS・ABL		1			1
ERCP	4		12		16
ESS			3		3
EVT創傷あり(腎機能異常)				1	1
EVT創傷あり(腎機能正常)			1	1	2
EVT創傷あり(透析患者用)				1	1
EVT創傷なし(腎機能異常)	1				1
EVT創傷なし(透析患者用)	1		1		2
PCI上肢(腎機能異常)		2	2	1	5
PCI上肢(腎機能正常)	2	3			5
PCI鼠径(腎機能異常)			1	1	2
RALP術後5日造影 ロボット支援前立腺摘除術				1	1
TUL				1	1
TURBT				1	1
TURP・TUEB(経尿道的前立腺切除)			1		1
アテローム血栓性脳梗塞パス	42	22	44	49	157
イレウス保存治療	1	2	5	4	12
ペースメーカー・ICD植え込み術	1	1	1		3
胃内視鏡の粘膜下層剥離術(当日入院・抗血小板薬なし)				1	1
医療者用EVTパス		3	16	19	38
医療者用在宅酸素療法導入パス				3	3
右大腿骨近位部骨折	2		3	5	10
肝動脈塞栓術(TAE)		1		1	2
甲状腺部分切除術			1		1
左大腿骨近位部骨折		3		10	13
心原性脳塞栓症パス	13	9	7	21	50
腎生検(e-GFR50以上)	1				1
全層植皮術 局所麻酔				2	2
唾液腺手術			1		1
大腸ポリペク		1		1	2
胆管炎(当日ERCP:セフメタゾール)	1				1
胆管炎(翌日ERCP:セフメタゾール)		1			1
虫垂切除術	2		1		3
当日入院CAG上肢(腎機能正常)			2		2
当日入院EVT創傷なし(腎機能正常)		1		2	3
当日入院EVT創傷なし(透析患者用)		1			1
当日入院PCI上肢(腎機能正常)	4	3	1	1	9
当日入院PCI鼠径(腎機能正常)				1	1
突発性難聴(中用量)				1	1
乳腺手術(術前)パス	2				2
入院中PCI上肢(腎機能正常)	1			3	4
腹腔鏡下胆嚢摘出術		1		2	3
腹腔鏡下虫垂切除術	1	1			2
慢性硬膜下血腫 術後入院	1	1			2
慢性硬膜下血腫 前日入院	3		1		4
慢性硬膜下血腫 前日入院(1週間)		1			1
慢性硬膜下血腫 当日入院	10	4	12	9	35
慢性硬膜下血腫 当日入院(1週間)	1	2	1	2	6
痙攣クリニカルパス	7	4	6	3	20
慢性硬膜下血腫クリニカルパス	16	15	19	16	66
発熱クリニカルパス	11	8	3	1	23
脳出血・SAHクリニカルパス	36	26	36	27	125
脳梗塞(医療者用)クリニカルパス	29	37	26	28	120
頭蓋内病変クリニカルパス	48	45	61	45	199
腸閉塞クリニカルパス	4	5	16	3	28
胆道感染・胆管炎クリニカルパス	9	9	3	1	22
大腿骨骨折クリニカルパス	26	28	29	22	105

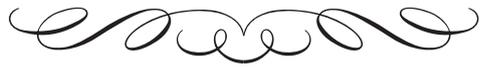
診療科/バス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
消化管出血クリニカルパス	20	17	17	6	60
小児:痙攣クリニカルパス	2	3	5	2	12
呼吸困難クリニカルパス	8	5	8	2	23
胸痛クリニカルパス	10	8	1	3	22
急性薬物中毒クリニカルパス	3	1	4	1	9
急性虫垂炎クリニカルパス	13	8	10	7	38
ACSクリニカルパス	12				12
<b>新生児科</b>	<b>112</b>	<b>109</b>	<b>93</b>	<b>79</b>	<b>393</b>
育児指導クリニカルパス	95	81	76	62	314
帝王切開で出生した児のクリニカルパス	17	28	17	17	79
<b>耳鼻咽喉科・頭頸部外科</b>	<b>69</b>	<b>82</b>	<b>86</b>	<b>88</b>	<b>325</b>
ESS	22	28	37	20	107
アデノイド切除・チュービング(小児)			3	1	4
チュービング(小児)		1			1
デビコンコ	1	3	2	4	10
医療者用EVTバス				1	1
医療者用緩和ケア病棟入棟初期バス	3	2	4	3	12
顔面神経麻痺・Hunt	2	6	1	4	13
顔面神経麻痺・ベル麻痺		1	1	7	9
頸部リンパ節郭清術	1		2	3	6
鼓室形成術(成人)	3	5	1	7	16
口蓋扁桃摘出術(小児)	1	5	1	3	10
口蓋扁桃摘出術(成人)	10	9	7	10	36
口蓋扁桃摘出術・アデノイド切除・チュービング(小児)	1	2	2	1	6
喉頭微細手術	1	1	6	3	11
甲状腺全摘出術	1	1	2	1	5
甲状腺部分切除術	2	2	3	3	10
耳瘻管摘出術		2	1		3
耳瘻管摘出術(小児)		1			1
全麻リンパ節生検		1			1
唾液腺手術	11	8	7	11	37
突発性難聴(中用量)	10	4	5	6	25
突発性難聴(中用量)めまい合併			1		1
<b>整形外科</b>	<b>42</b>	<b>56</b>	<b>95</b>	<b>107</b>	<b>300</b>
右人工股関節置換術バス	1	2	4	2	9
右人工膝関節置換術用バス	5	4	7	9	25
右大腿骨近位部骨折	4	11	29	23	67
金曜日入院:右人工股関節置換術バス		1			1
金曜日入院:右人工膝関節置換術用バス		1			1
金曜日入院:左人工股関節置換術バス	2				2
金曜日入院:左人工膝関節置換術用バス	1	1			2
頸椎症性脊髄症	7	7	9	19	42
腰部脊柱管狭窄症	14	7	18	22	61
左人工股関節置換術バス	1	3	4	2	10
左人工膝関節置換術用バス	1	5	3	3	12
左大腿骨近位部骨折	6	14	21	27	68
<b>脳神経外科</b>	<b>53</b>	<b>66</b>	<b>61</b>	<b>85</b>	<b>265</b>
CAS(頸動脈ステント留置術)	4	8	11	7	30
CAS(頸動脈ステント留置術) 腎機能低下	7	8	4	7	26
V-Pシャント術 金曜日入院～退院まで			1	1	2
V-Pシャント術 前日入院～退院まで	5	6	2	9	22
コイル塞栓術	4	4	2	5	15
ジャネット術(顔面痙攣)バス 3日前入院				1	1
ジャネット術(顔面痙攣)バス 前日入院		3	2	2	7
ジャネット術バス(三叉神経痛) 前日入院	2	2	2		6
医療者用EVTバス				1	1
医療者用緩和ケア病棟入棟初期バス	3		1	2	6
下垂体腫瘍摘出術(週末入院～退院まで)	1				1
血管造影(当日入院)	7	13	9	22	51
心原性脳塞栓症バス		1			1
聴神経鞘腫摘出術		1			1
慢性硬膜下血腫 術後入院	2		1	1	4
慢性硬膜下血腫 前日入院	3		4	3	10
慢性硬膜下血腫 前日入院(1週間)		1			1
慢性硬膜下血腫 当日入院	13	18	21	23	75
慢性硬膜下血腫 当日入院(1週間)	2	1	1	1	5
<b>小児科</b>	<b>31</b>	<b>48</b>	<b>26</b>	<b>38</b>	<b>143</b>
イチゴ状血管腫	2				2
その他アレルギー-負荷試験	2	1	1		4
育児指導クリニカルパス				1	1
牛乳アレルギー-負荷試験	2	4	1	1	8
小児腎生検～前日入院～	1				1
鎮静剤使用検査バス(入院用)	17	16	11	22	66

診療科/バス名	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	総計
低身長精査**アルギニン→クロニジン	1	10	3	1	15
低身長精査～L-DOPAから～		2	1	1	4
低身長精査～アルギニンから～		1		1	2
低身長精査～クロニジンから～		4			4
卵アレルギー-負荷試験	6	10	9	11	36
<b>皮膚科</b>	<b>32</b>	<b>22</b>	<b>34</b>	<b>36</b>	<b>124</b>
医療者用EVTバス				1	1
医療者用緩和ケア病棟入棟初期バス				1	1
円形脱毛症 2泊3日	2	2	1	3	8
全層植皮術 局所麻酔	29	19	32	31	111
全層植皮術 局所麻酔 下肢 7日間	1	1	1		3
<b>歯科・歯科口腔外科</b>	<b>22</b>	<b>22</b>	<b>18</b>	<b>14</b>	<b>76</b>
医療者用緩和ケア病棟入棟初期バス	3		2		5
炎症疾患 手術無し 7日間	1		1		2
顎骨骨折 非観血整復固定術 局所麻酔 7日間Ver.			2		2
顎変形症手術 上下骨切り 14日間		1		1	2
歯槽部関連疾患 全身麻酔 4日間Ver.	12	17	10	10	49
歯槽部関連疾患 全身麻酔 5日間Ver.	3	2	1	2	8
歯槽部関連疾患 全身麻酔 7日間Ver.	1	1	1	1	4
上顎洞関連疾患 局所麻酔 7日間Ver.	1	1			2
上顎洞関連疾患 全身麻酔 7日間Ver.	1		1		2
<b>形成外科</b>			<b>4</b>	<b>12</b>	<b>16</b>
眼瞼下垂			4	12	16
<b>心臓外科</b>	<b>2</b>		<b>2</b>		<b>4</b>
医療者用弁疾患術後クリニカルバス	1		1		2
心臓外科クリニカルバス	1		1		2
<b>放射線科</b>				<b>2</b>	<b>2</b>
医療者用EVTバス				1	1
医療者用神経精神科外来地域生活支援バス				1	1
<b>全体</b>	<b>999</b>	<b>974</b>	<b>1,044</b>	<b>1,209</b>	<b>4,226</b>
医療者用輸血療法バス	999	974	1,044	1,209	4,226
<b>総件数</b>	<b>4,317</b>	<b>4,372</b>	<b>4,640</b>	<b>4,587</b>	<b>17,916</b>



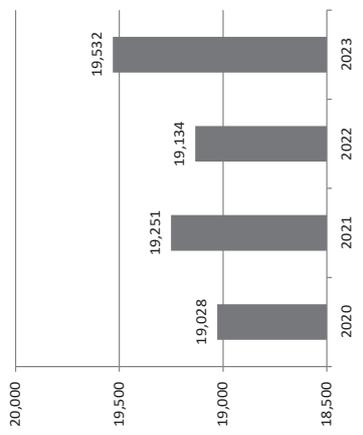


# 臨床指標



● 全体臨床指標

新入院患者数(人)



全体

区分	2020		2021		2022		2023		2023/2022	
	日数	日	日数	日	日数	日	日数	日	2023	2023/2022
基礎指標	入院診療日数	365	365	365	365	365	365	366	100.3	
	外来診療日数	243	242	243	243	243	243	243	100.0	
	医師数	202	205	217	211	211	211	211	97.2	
	入院延患者数	270,676	270,376	271,677	268,718	268,718	268,718	98.9		
	新入院患者数	19,028	19,251	19,134	19,532	19,532	19,532	102.1		
	入院収益 A	20,428,338	20,650,913	21,109,116	21,905,094	21,905,094	21,905,094	103.8		
	外来患者数	561,815	574,809	567,352	543,552	543,552	543,552	95.8		
	初診患者数	25,538	28,257	29,402	27,063	27,063	27,063	92.0		
	外来収益 B	13,500,377	14,747,412	15,457,741	15,434,007	15,434,007	15,434,007	99.8		
	診療収益 A + B	33,928,715	35,398,325	36,566,857	37,339,101	37,339,101	37,339,101	102.1		
分析指標	入院診療単価	円 75,472	円 76,378	円 77,699	円 81,517	円 81,517	円 81,517	104.9		
	新入院患者数/日	人 52.1	人 52.7	人 52.4	人 53.4	人 53.4	人 53.4	101.8		
	平均在院日数	日 13.2	日 13.0	日 13.2	日 12.8	日 12.8	日 12.8	97.0		
	外来診療単価	円 24,030	円 25,656	円 27,245	円 28,395	円 28,395	円 28,395	104.2		
	紹介率	% 65.9	% 65.5	% 63.2	% 68.2	% 68.2	% 68.2	108.0		
	外来平均患者数/日	人 2,312	人 2,375.2	人 2,334.8	人 2,236.8	人 2,236.8	人 2,236.8	95.8		
	初診患者数/日	人 105.1	人 116.8	人 121.0	人 111.4	人 111.4	人 111.4	92.0		
	救急患者数	人 33,966	人 38,154	人 44,365	人 45,584	人 45,584	人 45,584	102.7		
	救急入院患者数	人 6,782	人 7,032	人 6,782	人 6,993	人 6,993	人 6,993	103.1		
	救急入院患者数/新入院患者数	% 35.6	% 36.5	% 35.4	% 35.8	% 35.8	% 35.8	101.0		
生産性指標	紹介数 (紹介患者加算)	人 16,827	人 18,498	人 18,574	人 18,462	人 18,462	人 18,462	99.4		
	逆紹介数 (診療情報提供書)	人 25,164	人 26,224	人 28,058	人 26,579	人 26,579	人 26,579	94.7		
	逆紹介率	% 98.5	% 92.8	% 95.4	% 98.2	% 98.2	% 98.2	102.9		
	手術件数 (手術室利用)	件 8,163	件 8,204	件 8,330	件 7,898	件 7,898	件 7,898	94.8		
	医師1人1日当たり入院収益	円 277,070	円 275,989	円 266,512	円 283,649	円 283,649	円 283,649	106.4		
	医師1人1日当たり外来収益	円 275,035	円 297,267	円 293,143	円 301,016	円 301,016	円 301,016	102.7		
	医師1人1日当たり診療収益	円 552,105	円 573,256	円 559,656	円 584,665	円 584,665	円 584,665	104.5		
	医師1人1日当たり入院患者数	人 3.7	人 3.6	人 3.4	人 3.5	人 3.5	人 3.5	94.8		
	医師1人1日当たり外来患者数	人 11.4	人 11.6	人 10.8	人 10.6	人 10.6	人 10.6	98.5		
	医師1人1日当たり新入院患者数	人 94.2	人 93.9	人 88.2	人 92.6	人 92.6	人 92.6	105.0		
医師1人当たり救急入院患者数	人 168.1	人 186.1	人 204.4	人 216.0	人 216.0	人 216.0	105.7			
医師1人当たり救急入院患者数	人 33.6	人 34.3	人 31.3	人 33.1	人 33.1	人 33.1	106.0			
医師1人当たり紹介数	件 83.3	件 90.2	件 85.6	件 87.5	件 87.5	件 87.5	102.2			
医師1人当たり逆紹介数	件 124.6	件 127.9	件 129.3	件 126.0	件 126.0	件 126.0	97.4			
医師1人当たり手術件数	件 40.4	件 40.0	件 38.4	件 37.4	件 37.4	件 37.4	97.5			

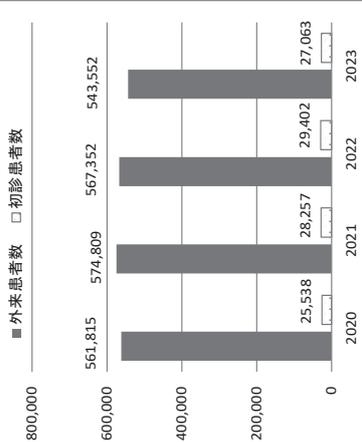
(注) 1 医師数は2023年4月1日現在 (当指標にない診療科の医師、研修医は含まれていない)

2 当指標にない診療科の外来患者は含まれていない。

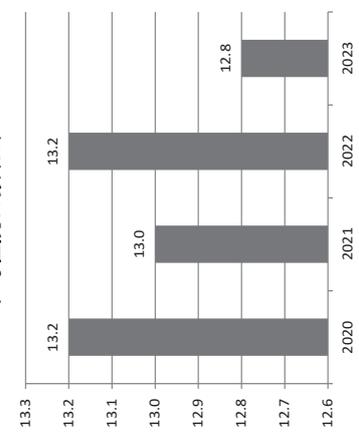
3 入院収益、外来収益はレプト請求額であり返戻、査定は考慮していない (室料差額等は含まれていない)

4 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

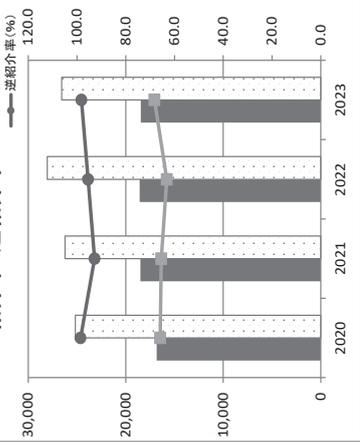
外来・初診患者数(人)



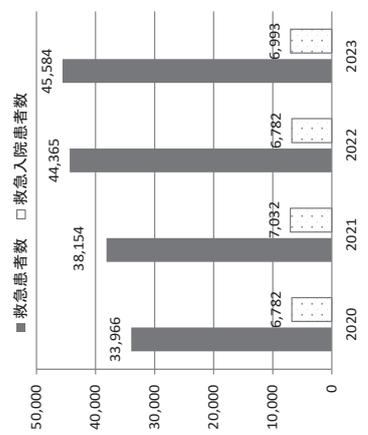
平均在院日数(日)



紹介率・逆紹介率

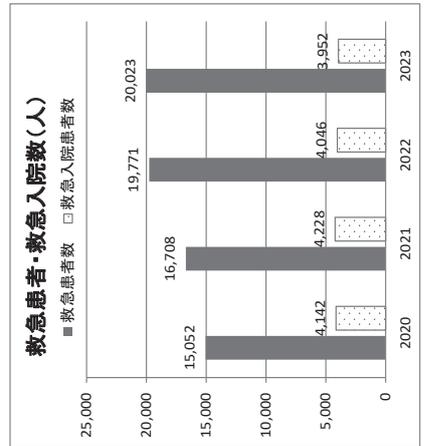
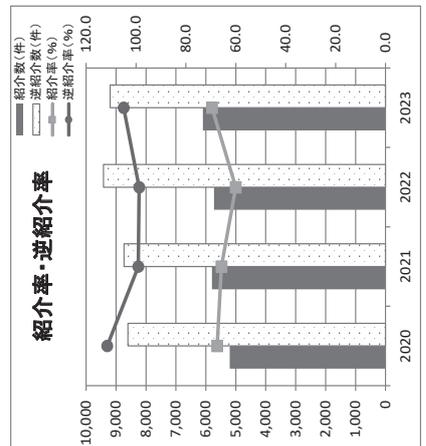
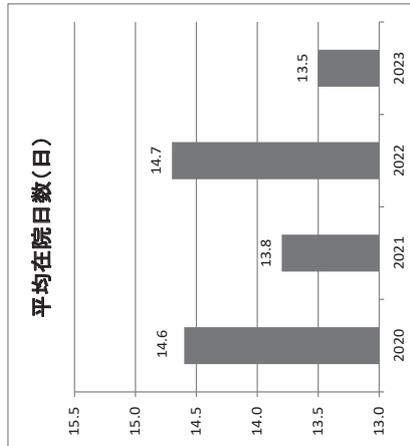
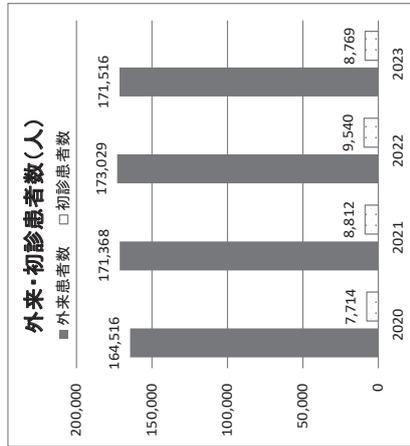
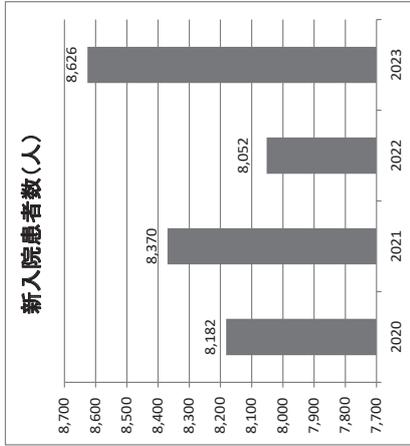


救急患者・救急入院患者数



# ●科別臨床指標

## 内科 臨床指標



## 内科

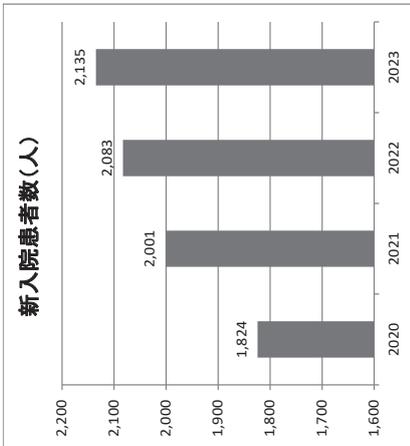
区分	2020		2021		2022		2023		2023/2022	
	日数	日	日数	日	日数	日	日数	日	比率	比率
基礎指標	入院診療日数	365	365	365	365	365	365	365	100.3	100.3
	外来診療日数	243	243	242	243	243	243	243	100.0	100.0
	医師数	68	68	67	69	69	70	70	101.4	101.4
	入院延患者数	126,798	122,640	122,640	125,931	124,527	124,527	98.9	98.9	
指標	入院患者数	8,182	8,370	8,052	8,052	8,626	107.2	107.2		
	入院収益 A	9,574,500	9,645,136	9,645,136	9,955,206	10,674,904	107.2	107.2		
	外来患者数	164,516	171,368	171,368	173,029	171,516	99.1	99.1		
	初診患者数	7,714	8,812	8,812	9,540	8,769	91.9	91.9		
分析指標	外来収益 B	6,741,598	7,642,512	7,642,512	8,080,590	8,262,477	102.3	102.3		
	診療収益 A+B	16,316,098	17,287,648	17,287,648	18,035,796	18,937,381	105.0	105.0		
	入院診療単価	75,510	78,646	78,646	79,053	85,724	108.4	108.4		
	新入院患者数/日	22.4	22.9	22.9	22.1	23.6	106.8	106.8		
生産性指標	平均在院日数	14.6	13.8	13.8	14.7	13.5	91.8	91.8		
	外来診療単価	40,978	44,597	44,597	46,701	48,173	103.2	103.2		
	紹介率	67.5	65.8	65.8	60.0	69.5	115.9	115.9		
	外来平均患者数/日	677.0	708.1	708.1	712.1	705.8	99.1	99.1		
生産性指標	初診患者数/日	31.7	36.4	36.4	39.3	36.1	91.9	91.9		
	救急患者数	15,052	16,708	16,708	19,771	20,023	101.3	101.3		
	救急入院患者数	4,142	4,228	4,228	4,046	3,952	97.7	97.7		
	救急入院患者数/新入院患者数	50.6	50.5	50.5	50.2	45.8	91.2	91.2		
生産性指標	紹介数(紹介患者加算)	5,204	5,798	5,798	5,726	6,098	106.5	106.5		
	逆紹介数(診療情報提供量)	8,605	8,735	8,735	9,421	9,200	97.7	97.7		
	逆紹介率	111.6	99.1	99.1	98.8	104.9	106.2	106.2		
	手術件数(手術室利用)	1	21	21	98	121	123.5	123.5		
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	385,757	394,403	394,403	395,283	416,663	105.4	105.4		
	医師1人1日当たり外来収益	407,988	471,353	471,353	481,934	485,742	100.8	100.8		
	医師1人1日当たり診療収益	793,746	865,756	865,756	877,217	902,405	102.9	102.9		
	医師1人1日当たり入院患者数	5.1	5.1	5.0	5.0	4.9	97.2	97.2		
生産性指標	医師1人1日当たり外来患者数	10.0	10.6	10.6	10.3	10.1	97.7	97.7		
	医師1人1日当たり新入院患者数	120.3	124.9	124.9	116.7	123.2	105.6	105.6		
	医師1人1日当たり救急患者数	221.4	249.4	249.4	286.5	286.0	99.8	99.8		
	医師1人1日当たり救急入院患者数	60.9	63.1	63.1	58.6	56.5	96.3	96.3		
生産性指標	医師1人1日当たり紹介数	76.5	86.5	86.5	83.0	87.1	105.0	105.0		
	医師1人1日当たり逆紹介数	126.5	130.4	130.4	136.5	131.4	96.3	96.3		
生産性指標	医師1人1日当たり手術件数	0.0	0.3	0.3	1.4	1.7	121.7	121.7		

(注) 1 医師数は2023年4月1日現在(研修医は含まれていない)

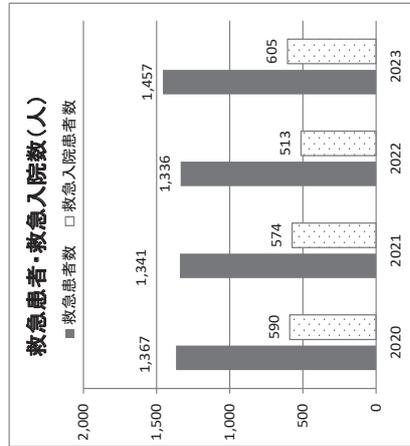
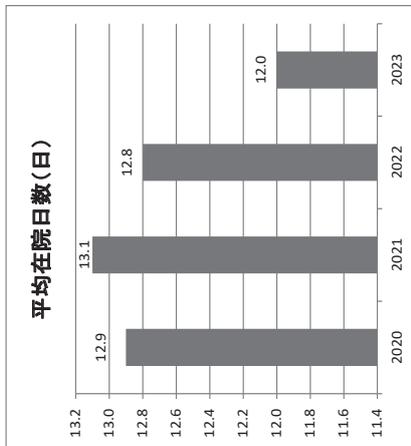
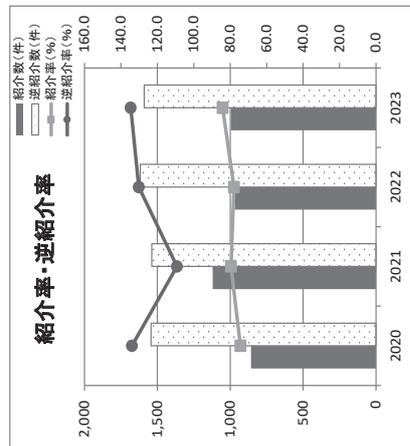
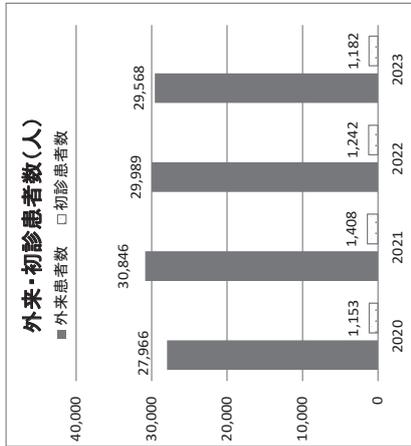
2 入院収益・外来収益はセブテブ請求額であり返戻、査定は考慮していない(室料差額等は含まれていない)

3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

外科



外科  
臨床指標

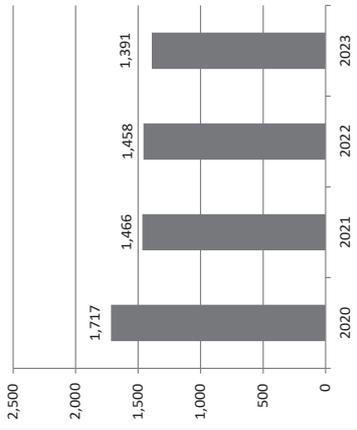


区分	2020		2021		2022		2023		2023/2022	
	日数	日	日数	日	日数	日	日数	日	2023	2023/2022
基礎指標	入院診療日数	365	365	365	365	365	365	366	100.3	
	外来診療日数	243	243	242	243	243	243	243	100.0	
	医師数	24	24	25	24	24	24	24	100.0	
	入院延患者数	26,468	28,668	29,253	28,245	28,245	28,245	28,245	96.6	
	新入院患者数	1,824	2,001	2,083	2,135	2,135	2,135	2,135	102.5	
	入院収益 A	2,314,561	2,424,079	2,555,945	2,630,558	2,630,558	2,630,558	2,630,558	102.9	
	外来患者数	27,966	30,846	29,989	29,568	29,568	29,568	29,568	98.6	
	初診患者数	1,153	1,408	1,242	1,182	1,182	1,182	1,182	95.2	
	外来収益 B	924,873	1,083,929	994,554	1,090,144	1,090,144	1,090,144	1,090,144	109.6	
	診療収益 A+B	3,239,434	3,508,008	3,550,499	3,720,702	3,720,702	3,720,702	3,720,702	104.8	
分析指標	入院診療単価	87,448	84,557	87,374	93,134	93,134	93,134	106.6		
	新入院患者数/日	5.0	5.5	5.7	5.8	5.8	5.8	102.2		
	平均在院日数	12.9	13.1	12.8	12.0	12.0	12.0	93.8		
	外来診療単価	33,071	35,140	33,164	36,869	36,869	36,869	111.2		
	紹介率	74.4	79.5	77.9	84.2	84.2	84.2	108.0		
	外来平均患者数/日	115.1	127.5	123.4	121.7	121.7	121.7	98.6		
	初診患者数/日	4.7	5.8	5.1	4.9	4.9	4.9	95.2		
	救急患者数	1,367	1,341	1,336	1,457	1,457	1,457	109.1		
	救急入院患者数	590	574	513	605	605	605	117.9		
	救急入院患者数/新入院患者数	32.3	28.7	24.6	28.3	28.3	28.3	115.1		
生産性指標	紹介数(紹介患者加算)	858	1,120	968	995	995	995	102.8		
	逆紹介数(診療情報提供書)	1,544	1,538	1,617	1,591	1,591	1,591	98.4		
	逆紹介率	133.9	109.2	130.2	134.6	134.6	134.6	103.4		
	手術件数(手術室利用)	1,702	1,741	1,755	1,835	1,835	1,835	104.6		
	医師1人1日当たり入院収益	264,219	265,652	291,775	299,472	299,472	299,472	102.6		
	医師1人1日当たり外来収益	158,586	179,162	170,534	186,925	186,925	186,925	109.6		
	医師1人1日当たり診療収益	422,805	444,814	462,308	486,396	486,396	486,396	105.2		
	医師1人1日当たり入院患者数	3.0	3.1	3.3	3.2	3.2	3.2	96.3		
	医師1人1日当たり外来患者数	4.8	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	98.6		
	医師1人1日当たり新入院患者数	76.0	80.0	86.8	89.0	89.0	89.0	102.5		
医師1人1日当たり救急入院患者数	57.0	53.6	55.7	60.7	60.7	60.7	109.1			
医師1人1日当たり紹介数	24.6	23.0	21.4	25.2	25.2	25.2	117.9			
医師1人1日当たり逆紹介数	35.8	44.8	40.3	41.5	41.5	41.5	102.8			
医師1人1日当たり逆紹介率	64.3	61.5	67.4	66.3	66.3	66.3	98.4			
医師1人1日当たり手術件数	70.9	69.6	73.1	76.5	76.5	76.5	104.6			

(注) 1 医師数は2023年4月1日現在(研修医は含まれていない)  
 2 入院収益、外来収益はセプト請求額であり戻戻、査定は考慮していない(室料差額等は含まれていない)  
 3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

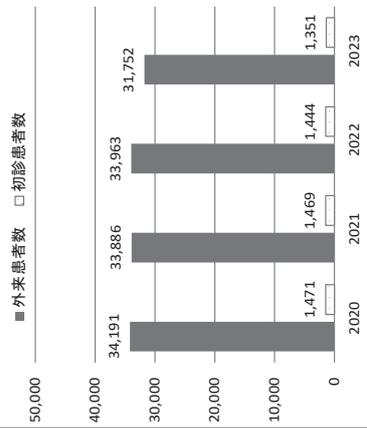
産婦人科

新入院患者数(人)

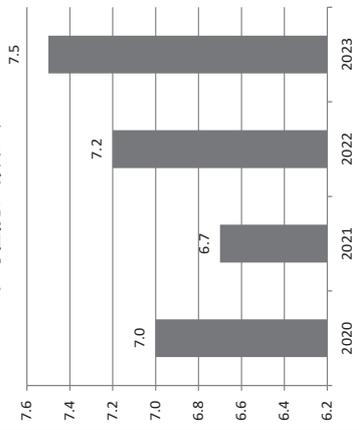


産婦人科  
臨床指標

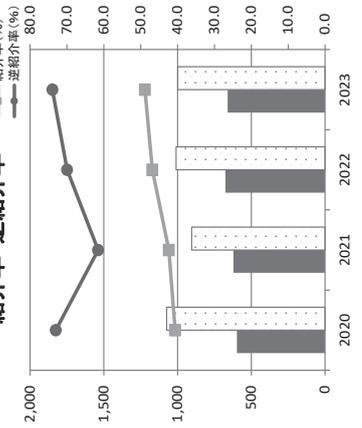
外来・初診患者数(人)



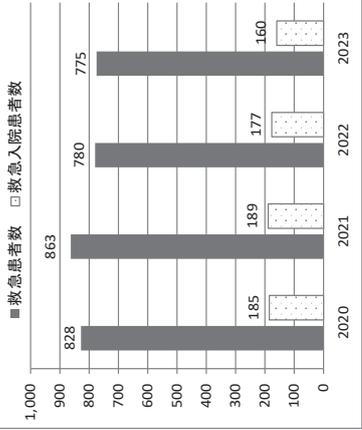
平均在院日数(日)



紹介率・逆紹介率



救急患者・救急入院数(人)



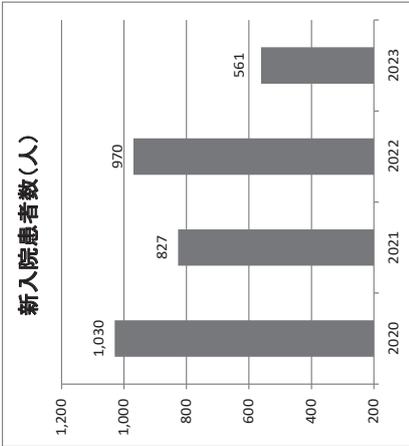
区分	2020				2021				2022				2023			
	日数	入院診療日数	外来診療日数	医師数	日数	入院診療日数	外来診療日数	医師数	日数	入院診療日数	外来診療日数	医師数	日数	入院診療日数	外来診療日数	医師数
基礎指標	入院診療日数	365	243	10	365	242	8	15	365	243	8	15	366	243	11	
	入院延患者数	13,837	11,266	11,982	11,266	11,982	11,856	98.9								
	新入院患者数	1,717	1,466	1,458	1,391	95.8										
	入院収益 A	1,097,030	953,963	1,044,199	1,000,274	93.5										
	外来患者数	34,191	33,886	33,963	31,752	93.6										
分析指標	初診患者数	1,471	1,469	1,444	1,351	101.7										
	外来収益 B	367,370	366,531	369,204	375,537	97.3										
	診療収益 A + B	1,464,400	1,320,494	1,413,403	1,375,812	96.8										
	入院診療単価	79,282	84,676	87,147	84,369	95.1										
	新入院患者数/日	4.7	4.0	4.0	3.8	104.2										
生産性指標	平均在院日数	7.0	6.7	7.2	7.5	108.8										
	外来診療単価	10,745	10,817	10,871	11,827	104.4										
	紹介率	40.7	42.3	46.8	48.9	93.5										
	外来平均患者数/日	140.7	140.0	139.8	130.7	93.6										
	初診患者数/日	6.1	6.1	5.9	5.6	99.4										
	救急患者数	828	863	780	775	90.4										
	救急入院患者数	185	189	177	160	94.7										
	救急入院患者数/新入院患者数	10.8	12.9	12.1	11.5	97.6										
	紹介数(紹介患者加算)	598	622	676	660	98.9										
	逆紹介数(診療情報提供書)	1,074	904	1,010	999	105.7										
生産性指標	逆紹介率	73.0	61.5	69.9	73.9	89.1										
	手術件数(手術室利用)	599	572	631	562	130.3										
	医師1人1日当たり入院収益	300,556	326,700	190,721	248,454	138.7										
	医師1人1日当たり外来収益	151,181	189,324	101,291	140,493	133.2										
	医師1人1日当たり診療収益	451,737	516,024	292,012	388,946	134.6										
	医師1人1日当たり入院患者数	3.8	3.9	2.2	2.9	127.5										
	医師1人1日当たり外来患者数	14.1	17.5	9.3	11.9	130.1										
	医師1人1日当たり新入院患者数	171.7	183.3	97.2	126.5	135.5										
	医師1人1日当たり救急患者数	82.8	107.9	52.0	70.5	123.3										
	医師1人1日当たり救急入院患者数	18.5	23.6	11.8	14.5	133.1										
医師1人1日当たり逆紹介数	59.8	77.8	45.1	60.0	134.9											
医師1人1日当たり手術件数	107.4	113.0	67.3	90.8	121.5											

(注) 1 医師数は2023年4月1日現在(研修医は含まれていない)

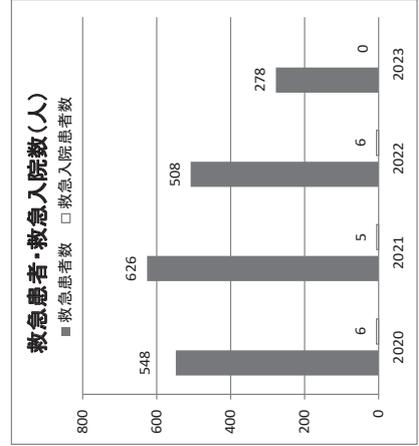
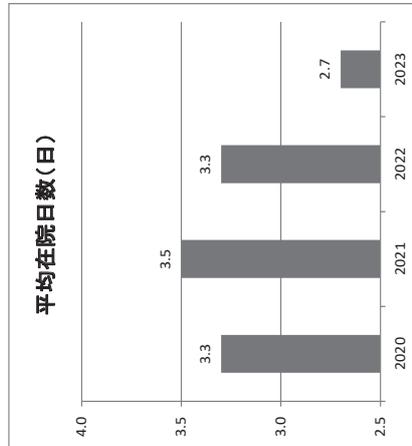
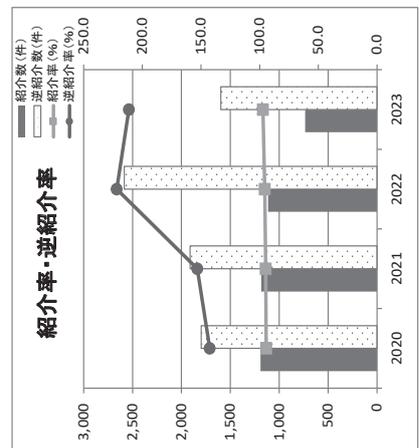
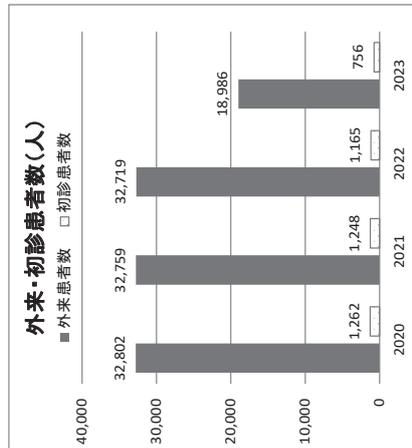
2 入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない(室料差額等は含まれていない)

3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

眼科



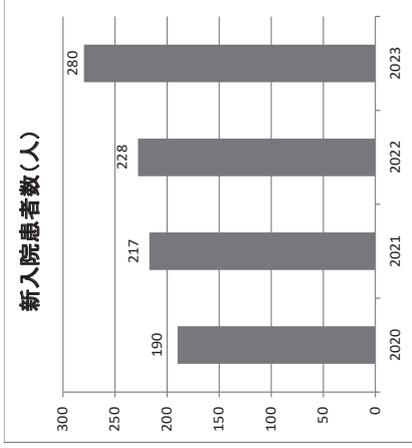
眼科  
臨床指標



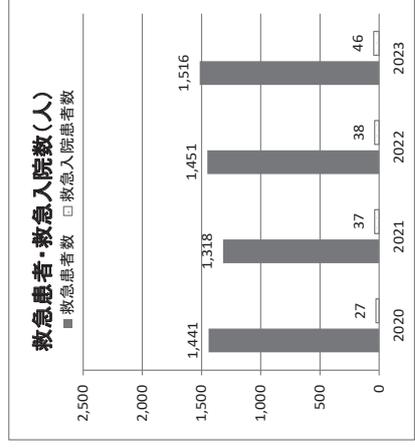
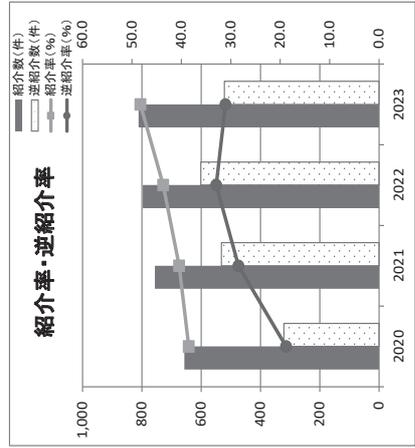
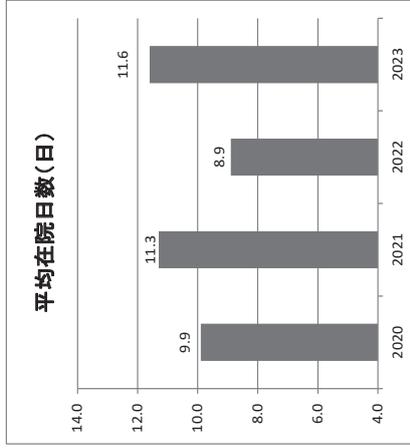
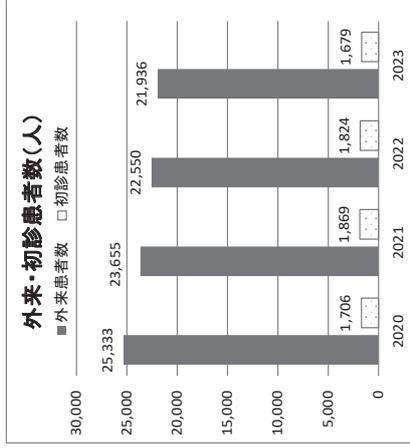
区分	2020		2021		2022		2023	
	日数	日	日数	日	日数	日	日数	日
入院診療日数	365	365	365	365	365	365	366	100.3
外来診療日数	243	243	242	243	243	243	243	100.0
医師数	7	7	7	7	7	7	4	57.1
入院延患者数	4,474	3,698	4,204	2,098	4,204	2,098	49.9	
新入院患者数	1,030	827	970	561	970	561	57.8	
入院収益 A	391,396	338,393	390,759	201,359	390,759	201,359	51.5	
外来患者数	32,802	32,759	32,719	18,986	32,719	18,986	58.0	
初診患者数	1,262	1,248	1,165	756	1,165	756	64.9	
外来収益 B	549,178	536,353	544,637	305,282	544,637	305,282	56.1	
診療収益 A+B	940,574	874,745	935,395	506,641	935,395	506,641	54.2	
入院診療単価	87,482	91,507	92,949	95,977	92,949	95,977	103.3	
新入院患者数/日	2.8	2.3	2.7	1.5	2.7	1.5	57.7	
平均在院日数	3.3	3.5	3.3	2.7	3.3	2.7	81.8	
外来診療単価	16,742	16,373	16,646	16,079	16,646	16,079	96.6	
紹介率	94.5	94.9	95.6	97.2	95.6	97.2	101.7	
外来平均患者数/日	135.0	135.4	134.6	78.1	134.6	78.1	58.0	
初診患者数/日	5.2	5.2	4.8	3.1	4.8	3.1	64.9	
救急入院患者数	548	626	508	278	508	278	54.7	
救急入院患者数	6	5	6	0	6	0	0.0	
救急入院患者数/新入院患者数	0.6	0.6	0.6	0.0	0.6	0.0	0.0	
紹介数(紹介患者加算)	1,192	1,184	1,114	735	1,114	735	66.0	
逆紹介数(診療情報提供書)	1,799	1,911	2,584	1,598	2,584	1,598	61.8	
逆紹介率	142.6	153.1	221.8	211.4	221.8	211.4	95.3	
手術件数(手術室利用)	1,812	1,799	1,850	1,315	1,850	1,315	71.1	
医師1人1日当り入院収益	153,188	132,443	152,939	137,540	152,939	137,540	89.9	
医師1人1日当り外来収益	322,856	316,619	320,186	314,076	320,186	314,076	98.1	
医師1人1日当り診療収益	476,044	449,063	473,125	451,616	473,125	451,616	95.5	
医師1人1日当り入院患者数	1.8	1.4	1.6	1.4	1.6	1.4	87.1	
医師1人1日当り外来患者数	19.3	19.3	19.2	19.5	19.2	19.5	101.5	
医師1人当り新入院患者数	147.1	118.1	138.6	140.3	138.6	140.3	101.2	
医師1人当り救急患者数	78.3	89.4	72.6	69.5	72.6	69.5	95.8	
医師1人当り紹介数	170.3	169.1	159.1	183.8	159.1	183.8	115.5	
医師1人当り逆紹介数	257.0	273.0	369.1	399.5	369.1	399.5	108.2	
医師1人当り手術件数	258.9	257.0	264.3	328.8	264.3	328.8	124.4	

(注) 1 医師数は2023年4月1日現在(研修医は含まれていない)  
 2 入院収益、外来収益はレプト請求額での返戻、査定は考慮していない(室料差額等は含まれていない)  
 3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

皮膚科



皮膚科  
臨床指標



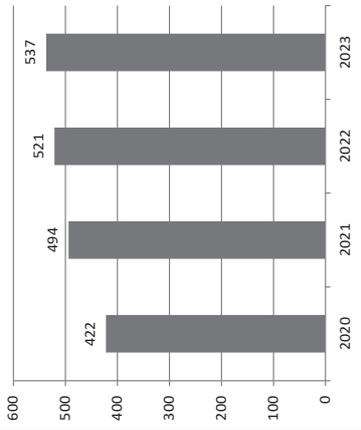
区分	2020				2021				2022				2023			
	日数	入院診療日数	外来診療日数	医師数	日数	入院診療日数	外来診療日数	医師数	日数	入院診療日数	外来診療日数	医師数	日数	入院診療日数	外来診療日数	医師数
基礎指標	入院診療日数	365	365	4	365	365	4	4	365	365	4	4	366	366	4	4
	入院延患者数	2,064	2,671	2,266	2,671	2,266	3,448	152.2								
	新入院患者数	190	217	228	280	122.8										
	入院収益 A	111,965	138,099	121,907	183,594	150.6										
	外来患者数	25,333	23,655	22,550	21,936	97.3										
	初診患者数	1,706	1,869	1,824	1,679	92.1										
分析指標	外来収益 B	228,555	192,579	204,187	260,574	127.6										
	診療収益 A+B	340,520	330,678	326,094	444,168	136.2										
	入院診療単価	54,247	51,703	53,798	53,247	99.0										
	新入院患者数/日	0.5	0.6	0.6	0.8	122.5										
	平均在院日数	9.9	11.3	8.9	11.6	130.3										
	外来診療単価	9,022	8,141	9,055	11,879	131.2										
生産性指標	紹介率	38.5	40.4	43.7	48.3	110.5										
	外来平均患者数/日	104.3	97.7	92.8	90.3	97.3										
	初診患者数/日	7.0	7.7	7.5	6.9	92.1										
	救急患者数	1,441	1,318	1,451	1,516	104.5										
	救急入院患者数	27	37	38	46	121.1										
	救急入院患者数/新入院患者数	14.2	17.1	16.7	16.4	98.6										
	紹介数(紹介患者加算)	657	756	797	811	101.8										
	逆紹介数(診療情報提供書)	321	532	601	522	86.9										
	逆紹介率	18.8	28.5	32.9	31.1	94.4										
	手術件数(手術室利用)	97	105	111	130	117.1										
	医師1人1日当たり入院収益	76,688	94,588	83,498	125,406	150.2										
医師1人1日当たり外来収益	235,139	198,945	210,069	268,080	127.6											
医師1人1日当たり診療収益	311,827	293,534	293,567	393,486	134.0											
医師1人1日当たり入院患者数	1.4	1.8	1.6	2.4	151.7											
医師1人1日当たり外来患者数	26.1	24.4	23.2	22.6	97.3											
医師1人当たり新入院患者数	47.5	54.3	57.0	70.0	122.8											
医師1人当たり救急患者数	360.3	329.5	362.8	379.0	104.5											
医師1人当たり救急入院患者数	6.8	9.3	9.5	11.5	121.1											
医師1人当たり紹介数	164.3	189.0	199.3	202.8	101.8											
医師1人当たり逆紹介数	80.3	133.0	150.3	130.5	86.9											
医師1人当たり手術件数	24.3	26.3	27.8	32.5	117.1											

(注) 1 医師数は2023年4月1日現在(研修医は含まれていない)  
 2 入院収益・外来収益はセプト請求額であり遅戻、査定は考慮していない(室料差額等は含まれていない)  
 3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

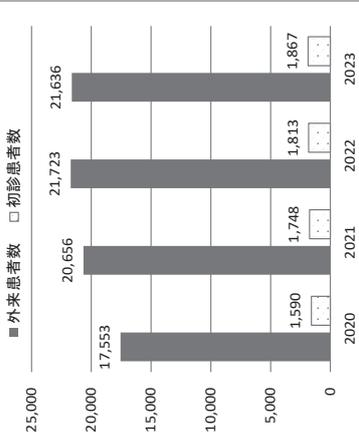
耳鼻咽喉科・頭頸部外科

耳鼻咽喉科・頭頸部外科  
臨床指標

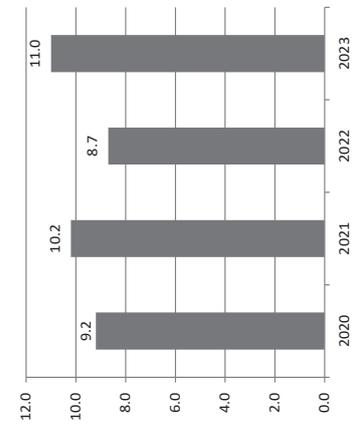
新入院患者数(人)



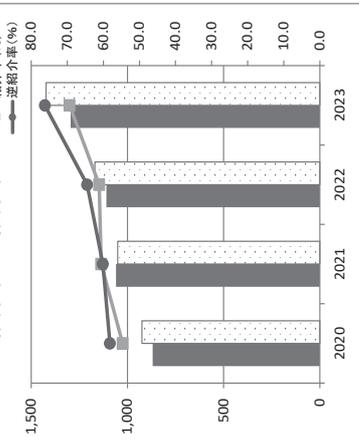
外来・初診患者数(人)



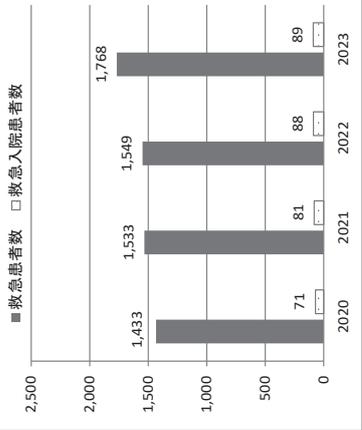
平均在院日数(日)



紹介率・逆紹介率



救急患者・救急入院患者数



区分	2020				2021				2022				2023					
	日数	入院診療日数	外来診療日数	医師数	日数	入院診療日数	外来診療日数	医師数	日数	入院診療日数	外来診療日数	医師数	日数	入院診療日数	外来診療日数	医師数		
基礎指標	入院診療日数	365	365	4	365	365	242	5	365	365	243	5	366	366	243	6		
	外来診療日数	243	243	4	242	242	4	5	243	243	5	5	243	243	6	6		
	医師数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	入院延患者数	4,313	5,501	4,313	5,501	5,012	5,012	5,012	5,012	5,012	5,012	5,012	6,461	6,461	6,461	6,461	128.9	
	新入院患者数	422	494	422	494	422	494	422	494	422	494	422	494	422	494	422	494	103.1
	入院収益 A	297,471	367,791	297,471	367,791	385,124	385,124	385,124	385,124	385,124	385,124	385,124	462,666	462,666	462,666	462,666	120.1	
	外来患者数	17,553	20,656	17,553	20,656	21,723	21,723	21,723	21,723	21,723	21,723	21,723	21,636	21,636	21,636	21,636	99.6	
	初診患者数	1,590	1,748	1,590	1,748	1,813	1,813	1,813	1,813	1,813	1,813	1,813	1,867	1,867	1,867	1,867	103.0	
	外来収益 B	222,226	231,210	222,226	231,210	292,278	292,278	292,278	292,278	292,278	292,278	292,278	356,753	356,753	356,753	356,753	122.1	
	診療収益 A+B	519,697	599,000	519,697	599,000	677,402	677,402	677,402	677,402	677,402	677,402	677,402	819,418	819,418	819,418	819,418	121.0	
分析指標	入院診療単価	円	68,971	円	68,971	円	66,859	円	66,859	円	76,840	円	71,609	円	71,609	円	93.2	
	新入院患者数/日	人	1.2	人	1.2	人	1.4	人	1.4	人	1.4	人	1.5	人	1.5	人	102.8	
	平均在院日数	日	9.2	日	9.2	日	10.2	日	8.7	日	11.0	日	11.0	日	11.0	日	126.4	
	外来診療単価	円	12,660	円	12,660	円	11,193	円	13,455	円	16,489	円	16,489	円	16,489	円	122.6	
	紹介率	%	54.7	%	54.7	%	60.6	%	61.2	%	69.4	%	69.4	%	69.4	%	113.4	
	外来平均患者数/日	人	72.2	人	72.2	人	85.4	人	89.4	人	89.4	人	89.0	人	89.0	人	99.6	
	初診患者数/日	人	6.5	人	6.5	人	7.2	人	7.5	人	7.7	人	7.7	人	7.7	人	103.0	
	救急患者数	人	1,433	人	1,433	人	1,533	人	1,549	人	1,768	人	1,768	人	1,768	人	114.1	
	救急入院患者数	人	71	人	71	人	81	人	88	人	89	人	89	人	89	人	101.1	
	救急入院患者数/新入院患者数	%	16.8	%	16.8	%	16.4	%	16.9	%	16.6	%	16.6	%	16.6	%	16.6	98.1
生産性指標	紹介数 (紹介患者加算)	人	869	人	869	人	1,059	人	1,109	人	1,295	人	1,295	人	1,295	人	116.8	
	逆紹介数 (診療情報提供書)	人	925	人	925	人	1,051	人	1,169	人	1,423	人	1,423	人	1,423	人	121.7	
	逆紹介率	%	58.2	%	58.2	%	60.1	%	64.5	%	76.2	%	76.2	%	76.2	%	118.2	
	手術件数 (手術室利用)	件	252	件	252	件	281	件	320	件	314	件	314	件	314	件	98.1	
	医師1人1日当り入院収益	円	203,747	円	203,747	円	201,529	円	211,027	円	210,686	円	210,686	円	210,686	円	99.8	
	医師1人1日当り外来収益	円	228,628	円	228,628	円	191,083	円	240,558	円	244,687	円	244,687	円	244,687	円	101.7	
	医師1人1日当り診療収益	円	432,375	円	432,375	円	392,612	円	451,585	円	455,372	円	455,372	円	455,372	円	100.8	
	医師1人1日当り入院患者数	人	3.0	人	3.0	人	3.0	人	2.7	人	2.9	人	2.9	人	2.9	人	107.1	
	医師1人1日当り外来患者数	人	18.1	人	18.1	人	17.1	人	17.9	人	14.8	人	14.8	人	14.8	人	83.0	
	医師1人1日当り新入院患者数	人	105.5	人	105.5	人	98.8	人	104.2	人	89.5	人	89.5	人	89.5	人	85.9	
医師1人1日当り救急患者数	人	358.3	人	358.3	人	306.6	人	309.8	人	294.7	人	294.7	人	294.7	人	95.1		
医師1人1日当り救急入院患者数	人	17.8	人	17.8	人	16.2	人	17.6	人	14.8	人	14.8	人	14.8	人	84.3		
医師1人1日当り紹介数	件	217.3	件	217.3	件	211.8	件	221.8	件	215.8	件	215.8	件	215.8	件	97.3		
医師1人1日当り逆紹介数	件	231.3	件	231.3	件	210.2	件	233.8	件	237.2	件	237.2	件	237.2	件	101.4		
医師1人1日当り手術件数	件	63.0	件	63.0	件	56.2	件	64.0	件	52.3	件	52.3	件	52.3	件	81.8		

(注) 1 医師数は2023年4月1日現在 (研修医は含まれていない)  
 2 入院収益、外来収益はセプト請求額であり戻戻、査定は考慮していない (薬料差額等は含まれていない)  
 3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

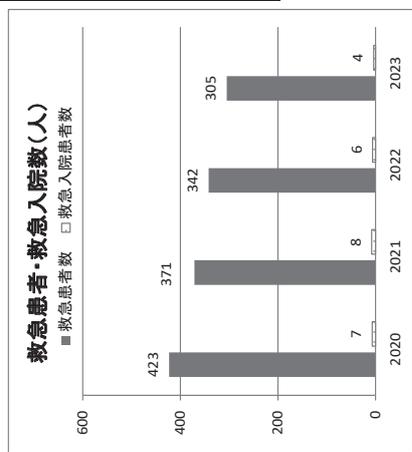
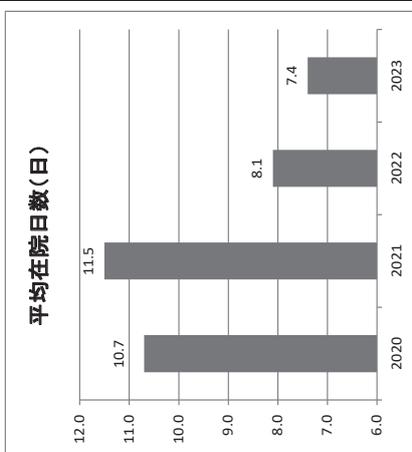
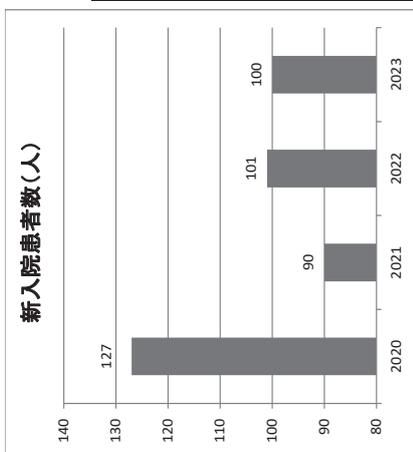
歯科口腔外科

		区分					2020	2021	2022	2023	2023/2022
日数	入院診療日数	日	365	365	365	365	365	365	365	100.3	
	外来診療日数	日	243	242	243	243	243	243	243	100.0	
基礎指標	医師数	人	9	10	9	9	10	9	7	77.8	
	入院患者数	人	1,451	1,176	920	846	920	846	92.0		
	新入院患者数	人	127	90	101	100	100	99.0			
	入院収益 A	千円	90,183	69,795	61,790	64,159	61,790	64,159	103.8		
	外来患者数	人	36,518	34,907	30,899	27,297	30,899	27,297	88.3		
分析指標	初診患者数	人	2,359	2,451	2,363	2,283	2,363	2,283	96.6		
	外来収益 B	千円	264,313	267,852	253,505	242,009	253,505	242,009	95.5		
	診療収益 A + B	千円	354,496	337,647	315,295	306,168	315,295	306,168	97.1		
	入院診療単価	円	62,152	59,349	67,163	75,838	67,163	75,838	112.9		
	新入院患者数/日	人	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	98.7		
生産性指標	平均在院日数	日	10.7	11.5	8.1	7.4	8.1	7.4	91.4		
	外来診療単価	円	7,238	7,673	8,204	8,866	8,204	8,866	108.1		
	紹介率	%	78.8	81.0	85.7	88.5	85.7	88.5	103.2		
	外来平均患者数/日	人	150.3	144.2	127.2	112.3	127.2	112.3	88.3		
	初診患者数/日	人	9.7	10.1	9.7	9.4	9.7	9.4	96.6		
	救急患者数	人	423	371	342	305	342	305	89.2		
	救急入院患者数	人	7	8	6	4	6	4	66.7		
	救急入院患者数/新入院患者数	%	5.5	8.9	5.9	4.0	5.9	4.0	67.3		
	紹介数 (紹介患者加算)	人	1,859	1,986	2,025	2,020	2,025	2,020	99.8		
	逆紹介数 (診療情報提供書)	人	1,497	1,415	1,501	1,417	1,501	1,417	94.4		
生産性指標	逆紹介率	%	63.5	57.7	63.5	62.1	63.5	62.1	97.7		
	手術件数 (手術室利用)	件	116	81	99	92	99	92	92.9		
	医師1人1日当たり入院収益	円	27,453	19,122	18,810	25,043	18,810	25,043	133.1		
	医師1人1日当たり外来収益	円	120,856	110,683	115,914	142,275	115,914	142,275	122.7		
	医師1人1日当たり診療収益	円	148,309	129,805	134,724	167,317	134,724	167,317	124.2		
	医師1人1日当たり入院患者数	人	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	117.9		
	医師1人1日当たり外来患者数	人	16.7	14.4	14.1	16.0	14.1	16.0	113.6		
	医師1人当たり新入院患者数	人	14.1	9.0	11.2	14.3	11.2	14.3	127.3		
	医師1人当たり救急患者数	人	47.0	37.1	38.0	43.6	38.0	43.6	114.7		
	医師1人当たり救急入院患者数	人	0.8	0.8	0.7	0.6	0.7	0.6	85.7		
医師1人当たり紹介数	件	206.6	198.6	225.0	288.6	225.0	288.6	128.3			
医師1人当たり逆紹介数	件	166.3	141.5	166.8	202.4	166.8	202.4	121.4			
医師1人当たり手術件数	件	12.9	8.1	11.0	13.1	11.0	13.1	119.5			

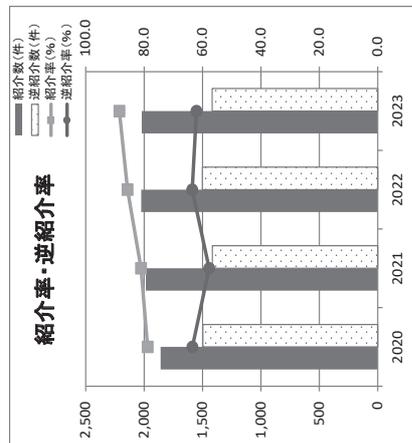
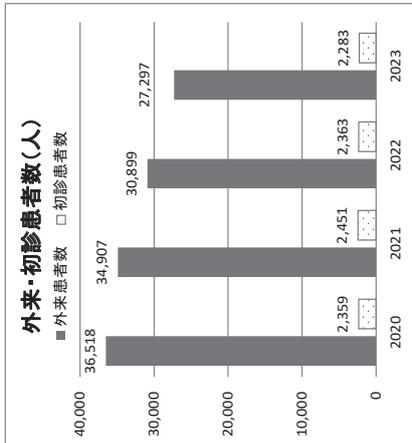
(注) 1 医師数は2023年4月1日現在 (研修医は含まれていない)

2 入院収益、外来収益はレプト請求額であり速戻、査定は考慮していない (差料差額等は含まれていない)

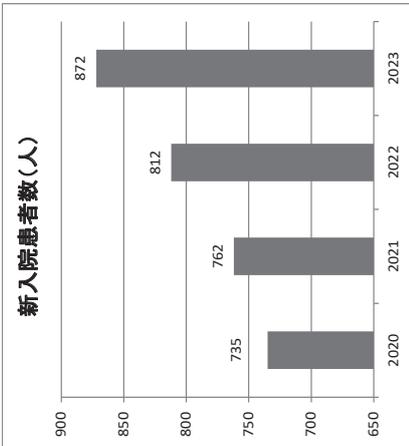
3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している



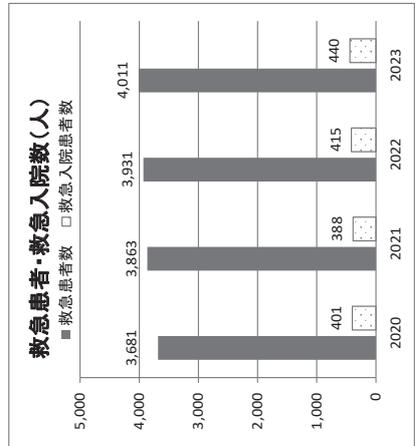
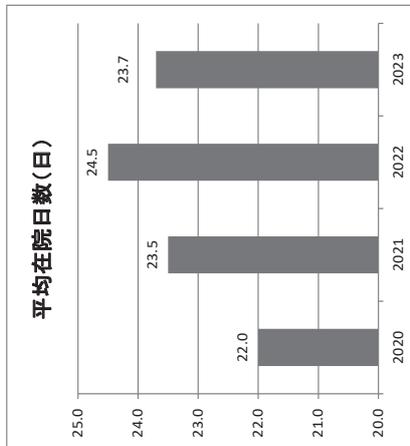
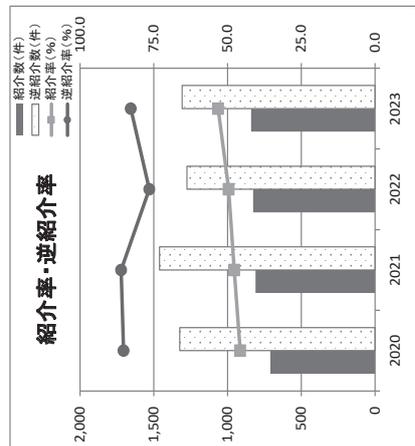
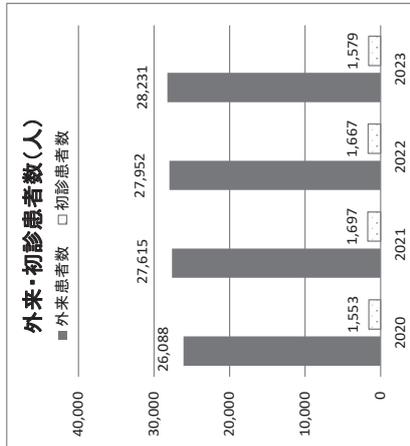
歯科口腔外科  
臨床指標



整形外科



整形外科  
臨床指標



区分		2020	2021	2022	2023	2023/2022
基礎指標	入院診療日数	365	365	365	366	100.3
	外来診療日数	243	242	243	243	100.0
	医師数	5	7	8	9	112.5
	入院延患者数	16,824	18,752	20,651	21,476	104.0
	新入院患者数	735	762	812	872	107.4
分析指標	入院収益 A	1,336,961	1,423,404	1,486,453	1,623,234	109.2
	外来患者数	26,088	27,615	27,952	28,231	101.0
	初診患者数	1,553	1,697	1,667	1,579	94.7
	外来収益 B	314,062	289,241	306,937	315,811	102.9
	診療収益 A+B	1,651,023	1,712,644	1,793,390	1,939,045	108.1
生産性指標	入院診療単価	79,467	75,907	71,980	75,584	105.0
	新入院患者数/日	2.0	2.1	2.2	2.4	107.1
	平均在院日数	22.0	23.5	24.5	23.7	96.7
	外来診療単価	12,039	10,474	10,981	11,187	101.9
	紹介率	45.7	47.7	49.6	53.2	107.2
	外来平均患者数/日	107.4	114.1	115.0	116.2	101.0
	初診患者数/日	6.4	7.0	6.9	6.5	94.7
	救急患者数	3,681	3,863	3,931	4,011	102.0
	救急入院患者数	401	388	415	440	106.0
	救急入院患者数/新入院患者数	54.6	50.9	51.1	50.5	98.7
	紹介数(紹介患者加算)	710	810	827	840	101.6
	逆紹介数(診療情報提供書)	1,324	1,461	1,276	1,308	102.5
	逆紹介率	85.3	86.1	76.5	82.8	108.2
	手術件数(手術室利用)	968	913	976	1,033	105.8
	医師1人1日当たり入院収益	732,581	557,105	509,059	492,785	96.8
医師1人1日当たり外来収益	258,487	170,744	157,889	144,404	91.5	
医師1人1日当たり診療収益	991,069	727,850	666,949	637,189	95.5	
医師1人1日当たり入院患者数	9.2	7.3	7.1	6.5	92.2	
医師1人1日当たり外来患者数	21.5	16.3	14.4	12.9	89.8	
医師1人1日当たり新入院患者数	147.0	108.9	101.5	96.9	95.5	
医師1人当たりの救急患者数	736.2	551.9	491.4	445.7	90.7	
医師1人当たりの救急入院患者数	80.2	55.4	51.9	48.9	94.2	
医師1人当たりの紹介数	142.0	115.7	103.4	93.3	90.3	
医師1人当たりの逆紹介数	264.8	208.7	159.5	145.3	91.1	
医師1人当たりの手術件数	193.6	130.4	122.0	114.8	94.1	

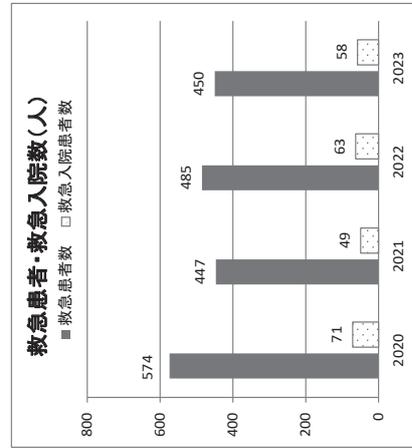
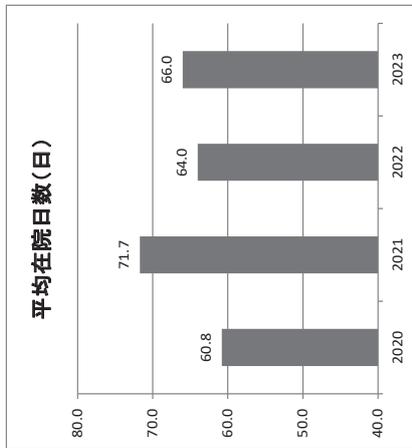
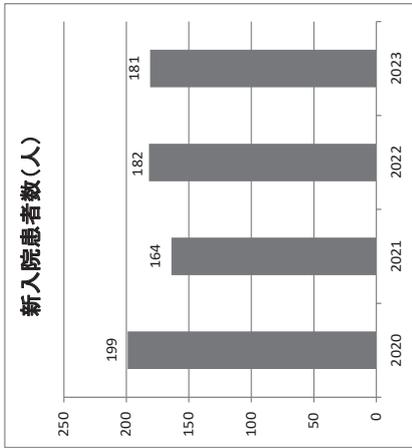
(注) 1 医師数は2023年4月1日現在(研修医は含まれていない)  
 2 入院収益、外来収益はセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない(薬料差額等は含まれていない)  
 3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

区分	2020		2021		2022		2023		2023/2022	
	日数	日	日数	日	日数	日	日数	日	2023	2023/2022
基礎指標	入院診療日数	365	365	365	365	365	365	365	100.3	100.3
	外来診療日数	243	242	243	243	243	243	243	100.0	100.0
	医師数	10	10	10	9	9	11	11	122.2	122.2
生産性指標	入院患者数	12,260	12,114	11,662	12,060	12,060	103.4	103.4	99.5	99.5
	入院延患者数	164	164	182	181	181	99.5	99.5	107.5	107.5
	入院収益 A	349,378	317,744	341,478	367,088	367,088	107.5	107.5	98.4	98.4
	外来患者数	38,039	37,875	35,931	35,374	35,374	93.5	93.5	99.4	99.4
	初診患者数	170	154	138	129	129	93.5	93.5	103.9	103.9
	外来収益 B	304,802	291,032	280,396	278,803	278,803	99.4	99.4	104.0	104.0
	診療収益 A + B	654,180	608,776	621,874	645,891	645,891	103.9	103.9	104.0	104.0
	入院診療単価	28,497	26,229	29,281	30,438	30,438	104.0	104.0	99.2	99.2
	新入院患者数/日	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	99.2	99.2	103.1	103.1
	平均在院日数	60.8	71.7	64.0	66.0	66.0	103.1	103.1	101.0	101.0
分析指標	外来診療単価	8,013	7,684	7,804	7,882	7,882	98.6	98.6	95.6	95.6
	紹介率	81.2	81.8	81.9	78.3	78.3	95.6	95.6	98.4	98.4
	外来平均患者数/日	156.5	156.5	147.9	145.6	145.6	93.5	93.5	92.8	92.8
	初診患者数/日	0.7	0.6	0.6	0.5	0.5	92.8	92.8	92.1	92.1
	救急患者数	574	447	485	450	450	92.1	92.1	92.6	92.6
	救急入院患者数	71	49	63	58	58	89.4	89.4	95.1	95.1
	救急入院患者数/新入院患者数	35.7	29.9	34.6	32.0	32.0	92.6	92.6	101.8	101.8
	紹介数 (紹介患者加算)	138	126	113	101	101	89.4	89.4	193.5	193.5
	逆紹介数 (診療情報提供書)	254	220	205	195	195	84.2	84.2	120	120
	逆紹介率	149.4	142.9	148.6	151.2	151.2	101.8	101.8	193.5	193.5
	手術件数 (手術室利用)	119	117	62	120	120	193.5	193.5	87.7	87.7
	医師1人1日当たり入院収益	95,720	87,053	103,951	91,179	91,179	87.7	87.7	81.4	81.4
	医師1人1日当たり外来収益	125,433	120,261	128,210	104,303	104,303	84.2	84.2	84.2	84.2
	医師1人1日当たり診療収益	221,153	207,314	232,161	195,483	195,483	84.2	84.2	84.4	84.4
	医師1人1日当たり入院患者数	3.4	3.3	3.6	3.0	3.0	84.4	84.4	80.5	80.5
	医師1人1日当たり外来患者数	15.7	15.7	16.4	13.2	13.2	81.4	81.4	75.9	75.9
	医師1人当たり新入院患者数	19.9	16.4	20.2	16.5	16.5	75.9	75.9	75.3	75.3
	医師1人当たり救急患者数	57.4	44.7	53.9	40.9	40.9	73.1	73.1	77.8	77.8
	医師1人当たり救急入院患者数	7.1	4.9	7.0	5.3	5.3	77.8	77.8	158.4	158.4
	医師1人当たり逆紹介数	13.8	12.6	12.6	9.2	9.2	158.4	158.4		
	医師1人当たり手術件数	25.4	22.0	22.8	17.7	17.7				
	医師1人当たり手術件数	11.9	11.7	6.9	10.9	10.9				

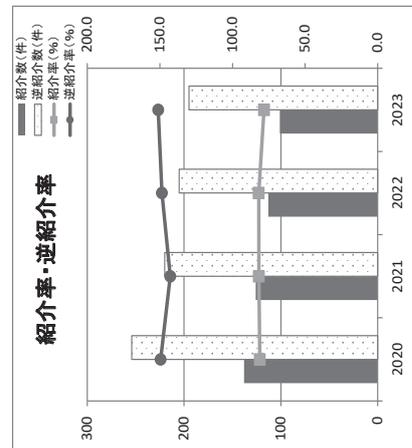
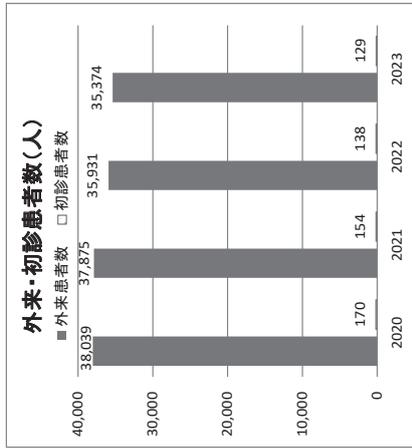
(注) 1 医師数は2023年4月1日現在 (研修医は含まれていない)

2 入院収益、外来収益はセプト請求額での戻戻、査定は考慮していない (室料差額等は含まれていない)

3 紹介率、逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している



神経精神科  
臨床指標

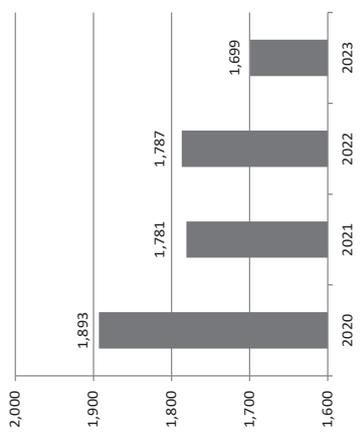


泌尿器科

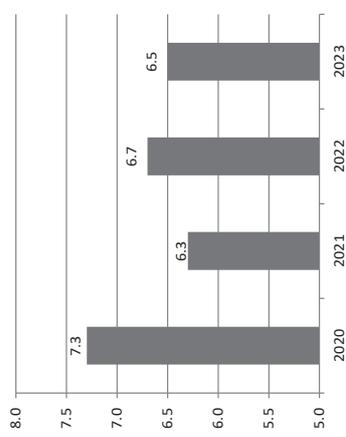
区分	2020		2021		2022		2023		2023/2022	
	日数	人	日数	人	日数	人	日数	人	比率	比率
基礎指標	入院診療日数	365	365	365	365	365	365	366	100.3	100.3
	外来診療日数	243	243	242	243	243	243	243	100.0	100.0
	医師数	9	9	9	8	8	8	7	87.5	87.5
	入院延患者数	15,655	12,884	12,884	13,729	12,846	12,846	93.6	93.6	93.6
	新入院患者数	1,893	1,781	1,781	1,787	1,699	1,699	95.1	95.1	95.1
	入院収益 A	1,087,050	918,044	918,044	1,012,940	957,554	957,554	94.5	94.5	94.5
	外来患者数	24,412	26,007	26,007	26,193	25,593	25,593	97.7	97.7	97.7
	初診患者数	1,315	1,419	1,419	1,471	1,449	1,449	98.5	98.5	98.5
	外来収益 B	1,019,432	1,249,322	1,249,322	1,437,006	1,360,754	1,360,754	94.7	94.7	94.7
	診療収益 A+B	2,106,482	2,167,367	2,167,367	2,449,947	2,318,307	2,318,307	94.6	94.6	94.6
分析指標	入院診療単価	円 69,438	円 71,255	円 71,255	円 73,781	円 74,541	円 74,541	101.0	101.0	101.0
	新入院患者数/日	人 5.2	人 4.9	人 4.9	人 4.9	人 4.6	人 4.6	94.8	94.8	94.8
	平均在院日数	日 7.3	日 6.3	日 6.3	日 6.7	日 6.5	日 6.5	97.0	97.0	97.0
	外来診療単価	円 41,759	円 48,038	円 48,038	円 54,862	円 53,169	円 53,169	96.9	96.9	96.9
	紹介率	% 80.2	% 77.9	% 77.9	% 81.0	% 83.7	% 83.7	103.3	103.3	103.3
	外来平均患者数/日	人 100.5	人 107.5	人 107.5	人 107.8	人 105.3	人 105.3	97.7	97.7	97.7
	初診患者数/日	人 5.4	人 5.9	人 5.9	人 6.1	人 6.0	人 6.0	98.5	98.5	98.5
	救急患者数	人 1,557	人 1,495	人 1,495	人 1,702	人 1,557	人 1,557	91.5	91.5	91.5
	救急入院患者数	人 222	人 200	人 200	人 211	人 190	人 190	90.0	90.0	90.0
	救急入院患者数/新入院患者数	% 11.7	% 11.2	% 11.2	% 11.8	% 11.2	% 11.2	94.7	94.7	94.7
生産性指標	紹介数 (紹介患者加算)	人 1,054	人 1,106	人 1,106	人 1,192	人 1,213	人 1,213	101.8	101.8	101.8
	逆紹介数 (診療情報提供書)	人 1,744	人 1,756	人 1,756	人 1,671	人 1,677	人 1,677	100.4	100.4	100.4
	逆紹介率	% 132.6	% 123.7	% 123.7	% 113.6	% 115.7	% 115.7	101.9	101.9	101.9
	手術件数 (手術室利用)	件 1,674	件 1,621	件 1,621	件 1,591	件 1,476	件 1,476	92.8	92.8	92.8
	医師1人1日当たり入院収益	円 330,913	円 279,465	円 279,465	円 346,897	円 373,753	円 373,753	107.7	107.7	107.7
	医師1人1日当たり外来収益	円 466,133	円 573,610	円 573,610	円 739,201	円 799,973	円 799,973	108.2	108.2	108.2
	医師1人1日当たり診療収益	円 797,046	円 853,075	円 853,075	円 1,086,098	円 1,173,725	円 1,173,725	108.1	108.1	108.1
	医師1人1日当たり入院患者数	人 4.8	人 3.9	人 3.9	人 4.7	人 5.0	人 5.0	106.6	106.6	106.6
	医師1人1日当たり外来患者数	人 11.2	人 11.9	人 11.9	人 13.5	人 15.0	人 15.0	111.7	111.7	111.7
	医師1人1日当たり新入院患者数	人 210.3	人 197.9	人 197.9	人 223.4	人 242.7	人 242.7	108.7	108.7	108.7
医師1人1日当たり救急患者数	人 173.0	人 166.1	人 166.1	人 212.8	人 222.4	人 222.4	104.5	104.5	104.5	
医師1人1日当たり救急入院患者数	人 24.7	人 22.2	人 22.2	人 26.4	人 27.1	人 27.1	102.9	102.9	102.9	
医師1人1日当たり紹介数	件 117.1	件 122.9	件 122.9	件 149.0	件 173.3	件 173.3	116.3	116.3	116.3	
医師1人1日当たり逆紹介数	件 193.8	件 195.1	件 195.1	件 208.9	件 239.6	件 239.6	114.7	114.7	114.7	
医師1人1日当たり手術件数	件 186.0	件 180.1	件 180.1	件 198.9	件 210.9	件 210.9	106.0	106.0	106.0	

(注) 1 医師数は2023年4月1日現在 (研修医は含まれていない)  
 2 入院収益、外来収益はセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない (室料差額等は含まれていない)  
 3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

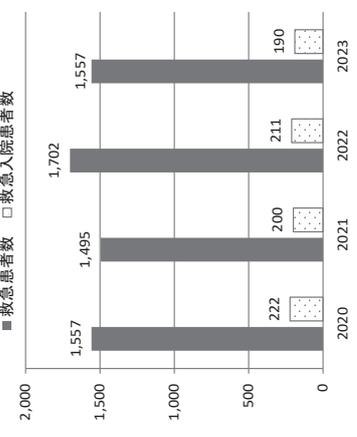
新入院患者数(人)



平均在院日数(日)

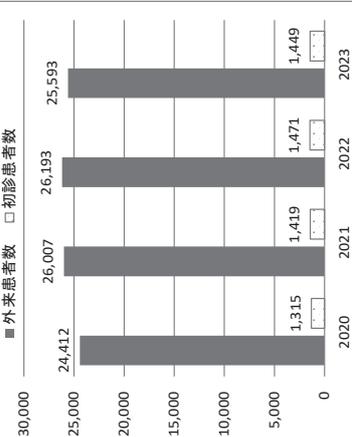


救急患者・救急入院数(人)

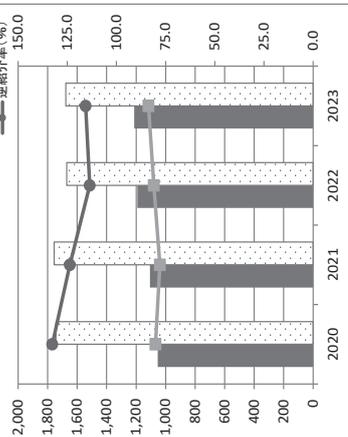


泌尿器科  
臨床指標

外来・初診患者数(人)



紹介率・逆紹介率



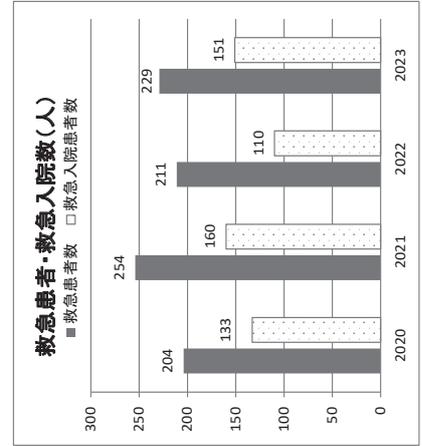
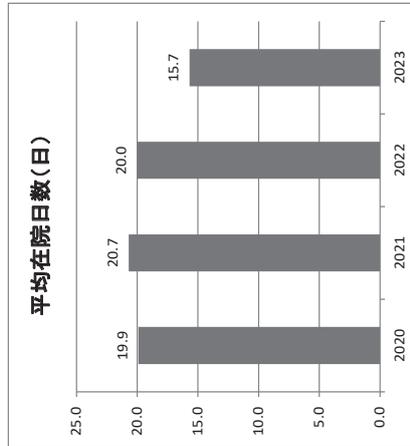
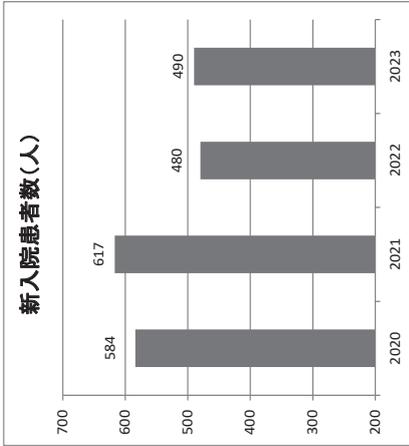
# 透析科

日数	区分				2020	2021	2022	2023	2023/2022
	入院診療日数	外来診療日数	医師数	入院患者数					
基礎	617	480	1	584	365	365	365	366	100.3
指標	617	480	1	584	365	365	365	366	100.3
新入院患者数	584	490	1	584	13,681	10,189	480	8,298	81.4
入院患者数	716,044	541,026	千円	716,044	770,044	562,582	541,026	541,026	96.2
外来患者数	60,681	57,385	人	60,681	59,409	57,385	57,450	100.1	
初診患者数	78	59	人	78	59	59	67	113.6	
外来収益 A	1,620,179	1,631,303	千円	1,620,179	1,631,303	1,622,444	1,589,930	98.0	
外来収益 B	2,336,223	2,401,347	千円	2,336,223	2,401,347	2,185,026	2,130,957	97.5	
診療収益 A + B	57,574	56,286	円	57,574	56,286	55,215	65,200	118.1	
入院診療単価	1.6	1.7	人	1.6	1.7	1.3	1.3	101.8	
新入院患者数/日	19.9	20.7	日	19.9	20.7	20.0	15.7	78.5	
平均在院日数	26,700	27,459	円	26,700	27,459	28,273	27,675	97.9	
外来診療単価	123.1	115.3	%	123.1	115.3	123.7	131.3	106.2	
紹介数	193.9	189.8	人	193.9	189.8	183.9	183.5	99.8	
外来平均患者数/日	0.2	0.2	人	0.2	0.2	0.2	0.2	113.2	
初診患者数/日	204	254	人	204	254	211	229	108.5	
救急患者数	133	160	人	133	160	110	151	137.3	
救急入院患者数	22.8	25.9	%	22.8	25.9	22.9	30.8	134.5	
救急入院患者数/新入院患者数	96	68	人	96	68	73	88	120.5	
紹介数 (紹介患者加算)	381	361	人	381	361	319	309	96.9	
逆紹介数 (診療情報提供書)	488.5	611.9	%	488.5	611.9	540.7	461.2	85.3	
逆紹介率	0	0	件	0	0	0	0	0.0	
手術件数 (手術室利用)	1,961,764	2,109,710	千円	1,961,764	2,109,710	1,541,321	1,478,213	95.9	
医師1人1日当り入院収益	5,176,291	5,211,831	千円	5,176,291	5,211,831	5,200,141	5,079,649	97.7	
医師1人1日当り外来収益	7,138,055	7,321,540	千円	7,138,055	7,321,540	6,741,462	6,557,862	97.3	
医師1人1日当り診療収益	34.1	37.5	人	34.1	37.5	27.9	22.7	81.2	
医師1人1日当り入院患者数	193.9	189.8	人	193.9	189.8	183.9	183.5	99.8	
医師1人1日当り外来患者数	584.0	617.0	人	584.0	617.0	480.0	490.0	102.1	
医師1人当り新入院患者数	204.0	254.0	人	204.0	254.0	211.0	229.0	108.5	
医師1人当り救急患者数	133.0	160.0	人	133.0	160.0	110.0	151.0	137.3	
医師1人当り救急入院患者数	96.0	68.0	件	96.0	68.0	73.0	88.0	120.5	
医師1人当り紹介数	381.0	361.0	件	381.0	361.0	319.0	309.0	96.9	
医師1人当り手術件数	0.0	0.0	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

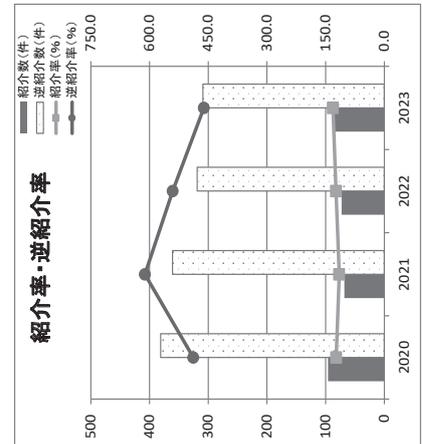
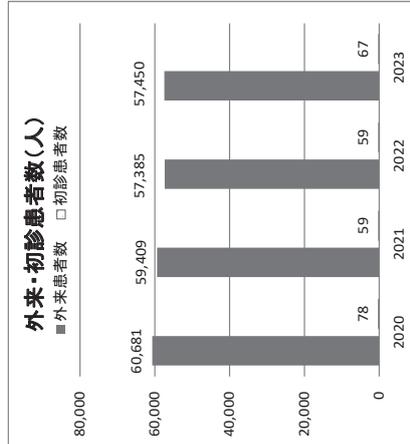
(注) 1 医師数は2023年4月1日現在 (研修医は含まれていない)

2 入院収益、外来収益はセプト請求額であり延戻、査定は考慮していない (室料差額等は含まれていない)

3 紹介率、逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

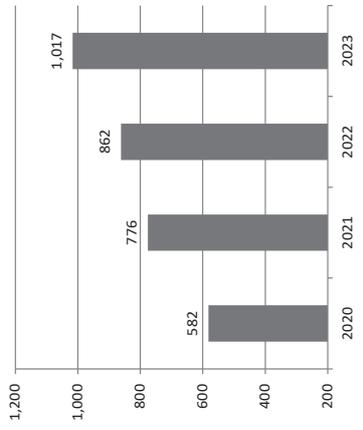


# 透析科 臨床指標



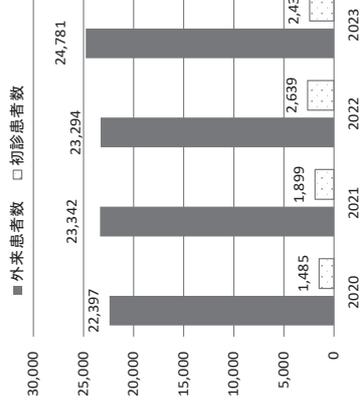
小児科

新入院患者数(人)

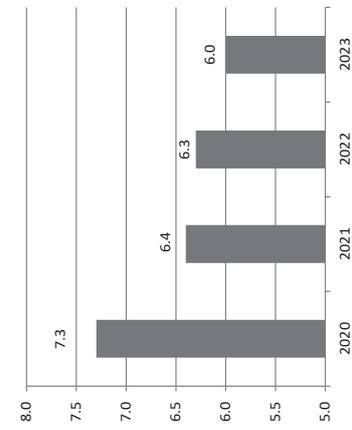


小児科  
臨床指標

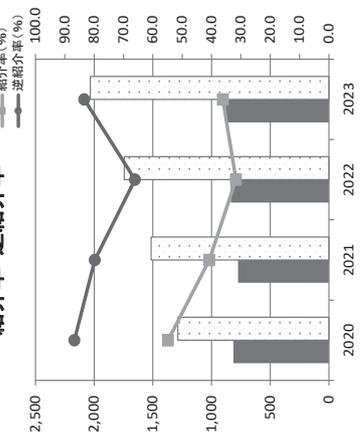
外来・初診患者数(人)



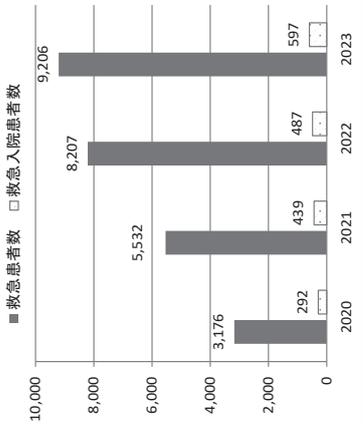
平均在院日数(日)



紹介率・逆紹介率



救急患者・救急入院患者数



区分		2020	2021	2022	2023	2023/2022
日数	入院診療日数	365	365	365	366	100.3
	外来診療日数	243	242	243	243	100.0
基礎指標	医師数	11	13	15	12	80.0
	入院延患者数	4,865	5,725	6,293	7,178	114.1
分析指標	新入院患者数	582	776	862	1,017	118.0
	入院収益 A	317,794	378,592	435,501	496,915	114.1
生産性指標	外来患者数	22,397	23,342	23,294	24,781	106.4
	初診患者数	1,485	1,899	2,639	2,436	92.3
分析指標	外来収益 B	519,228	573,459	663,977	601,752	90.6
	診療収益 A+B	837,022	952,051	1,099,478	1,098,667	99.9
分析指標	入院診療単価	65,323	66,130	69,204	69,228	100.0
	新入院患者数/日	1.6	2.1	2.4	2.8	117.7
分析指標	平均在院日数	7.3	6.4	6.3	6.0	95.2
	外来診療単価	23,183	24,568	28,504	24,283	85.2
分析指標	紹介率	54.8%	40.8%	31.7%	36.1%	114.0
	外来平均患者数/日	92.2	96.5	95.9	102.0	106.4
分析指標	初診患者数/日	6.1	7.8	10.9	10.0	92.3
	救急患者数	3,176	5,532	8,207	9,206	112.2
分析指標	救急入院患者数	292	439	487	597	122.6
	救急入院患者数/新入院患者数	50.2%	56.6%	56.5%	58.7%	103.9
分析指標	紹介数(紹介患者加算)	814	774	836	880	105.3
	逆紹介数(診療情報提供書)	1,288	1,515	1,744	2,032	116.5
分析指標	逆紹介率	86.7%	79.8%	66.1%	83.4%	126.2
	手術件数(手術室利用)	0	0	0	0	0.0
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	79,152	79,788	79,544	113,141	142.2
	医師1人1日当たり外来収益	194,249	182,282	182,161	206,362	113.3
生産性指標	医師1人1日当たり診療収益	273,401	262,070	261,705	319,503	122.1
	医師1人1日当たり入院患者数	1.2	1.2	1.1	1.6	142.2
生産性指標	医師1人1日当たり外来患者数	8.4	7.4	6.4	8.5	133.0
	医師1人1日当たり新入院患者数	52.9	59.7	57.5	84.8	147.5
生産性指標	医師1人1日当たり救急入院患者数	288.7	425.5	547.1	767.2	140.2
	医師1人1日当たり救急入院患者数	26.5	33.8	32.5	49.8	153.2
生産性指標	医師1人1日当たり紹介数	74.0	59.5	55.7	73.3	131.6
	医師1人1日当たり逆紹介数	117.1	116.5	116.3	169.3	145.6
生産性指標	医師1人1日当たり手術件数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 1 医師数は2023年4月1日現在(研修医は含まれていない)  
 2 入院収益、外来収益はセプト請求額での戻戻、査定は考慮していない(薬料差額等は含まれていない)  
 3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

# 脳神経外科

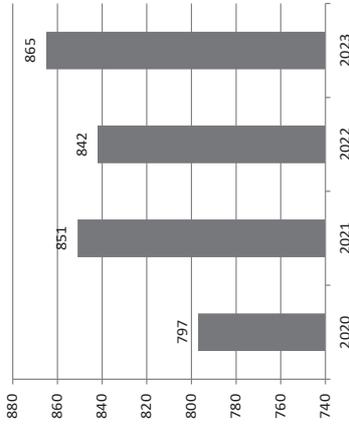
日数	区分		2020		2021		2022		2023		2023/2022	
	入院診療日数	日	365	365	365	365	365	365	365	366	100.3	
外来診療日数	日	243	242	243	243	243	243	243	243	243	100.0	
医師数	人	7	8	7	8	9	9	11	11	11	122.2	
入院患者数	人	15,096	17,113	17,412	17,412	16,476	16,476	16,476	16,476	94.6		
新入院患者数	人	797	851	842	842	865	865	865	865	102.7		
入院収益 A	千円	1,199,066	1,344,009	1,407,241	1,407,241	1,351,700	1,351,700	1,351,700	1,351,700	96.1		
外来患者数	人	9,231	9,897	10,289	10,289	9,163	9,163	9,163	9,163	89.1		
初診患者数	人	837	940	940	940	722	722	722	722	83.5		
外来収益 B	千円	151,033	158,757	171,450	171,450	163,896	163,896	163,896	163,896	95.6		
診療収益 A + B	千円	1,350,099	1,502,766	1,578,692	1,578,692	1,515,596	1,515,596	1,515,596	1,515,596	96.0		
入院診療単価	円	79,429	78,537	80,820	80,820	82,041	82,041	82,041	82,041	101.5		
新入院患者数/日	人	2.2	2.3	2.3	2.3	2.4	2.4	2.4	2.4	102.5		
平均在院日数	日	17.8	19.1	19.6	19.6	18.1	18.1	18.1	18.1	92.3		
外来診療単価	円	16,361	16,041	16,663	16,663	17,887	17,887	17,887	17,887	107.3		
紹介率	%	56.6	56.2	55.3	55.3	57.2	57.2	57.2	57.2	103.5		
外来平均患者数/日	人	38.0	40.9	42.3	42.3	37.7	37.7	37.7	37.7	89.1		
初診患者数/日	人	3.4	3.9	3.6	3.6	3.0	3.0	3.0	3.0	83.5		
救急患者数	人	1,807	1,915	2,079	2,079	1,966	1,966	1,966	1,966	94.6		
救急入院患者数	人	528	550	513	513	567	567	567	567	110.5		
救急入院患者数/新入院患者数	%	66.2	64.6	60.9	60.9	65.5	65.5	65.5	65.5	107.6		
紹介数 (紹介患者加算)	人	474	528	478	478	413	413	413	413	86.4		
逆紹介数 (診療情報提供書)	人	819	925	845	845	810	810	810	810	95.9		
逆紹介率	%	97.8	98.4	97.7	97.7	112.2	112.2	112.2	112.2	114.8		
手術件数 (手術室利用)	件	445	507	550	550	544	544	544	544	98.9		
医師1人1日当たり入院収益	円	469,302	460,277	428,384	428,384	335,743	335,743	335,743	335,743	78.4		
医師1人1日当たり外来収益	円	88,791	82,003	78,395	78,395	61,315	61,315	61,315	61,315	78.2		
医師1人1日当たり診療収益	円	558,092	542,280	506,779	506,779	397,058	397,058	397,058	397,058	78.3		
医師1人1日当たり入院患者数	人	5.9	5.9	5.3	5.3	4.1	4.1	4.1	4.1	77.2		
医師1人1日当たり外来患者数	人	5.4	5.1	4.7	4.7	3.4	3.4	3.4	3.4	72.9		
医師1人1日当たり新入院患者数	人	113.9	106.4	93.6	93.6	78.6	78.6	78.6	78.6	84.1		
医師1人1日当たり救急患者数	人	258.1	239.4	231.0	231.0	178.7	178.7	178.7	178.7	77.4		
医師1人1日当たり救急入院患者数	人	75.4	68.8	57.0	57.0	51.5	51.5	51.5	51.5	90.4		
医師1人1日当たり逆紹介数	件	67.7	66.0	53.1	53.1	37.5	37.5	37.5	37.5	70.7		
医師1人1日当たり手術件数	件	117.0	115.6	93.9	93.9	73.6	73.6	73.6	73.6	78.4		

(注) 1 医師数は2023年4月1日現在 (研修医は含まれていない)

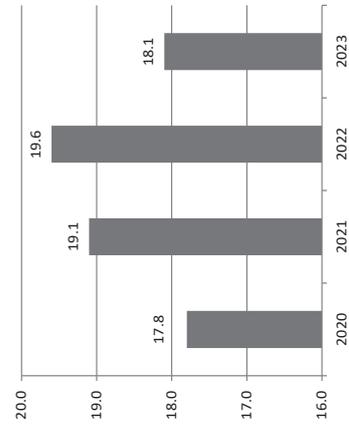
2 入院収益、外来収益はレプト請求額であり返戻、査定は考慮していない (室料差額等は含まれていない)

3 紹介率、逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

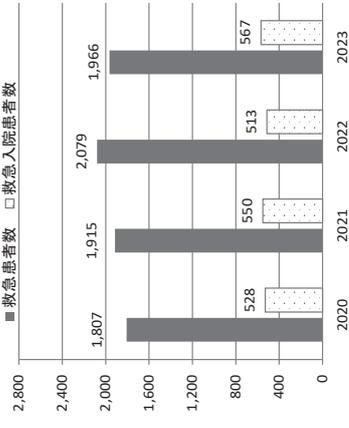
新入院患者数(人)



平均在院日数(日)

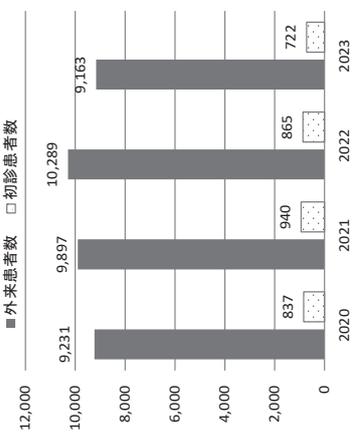


救急患者・救急入院患者数

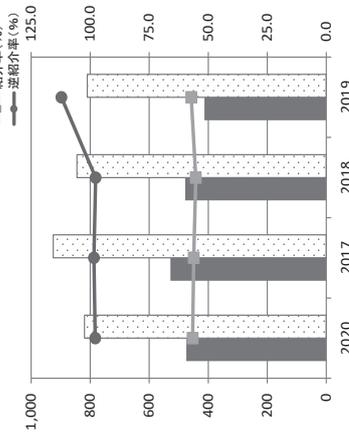


# 脳神経外科 臨床指標

外来・初診患者数

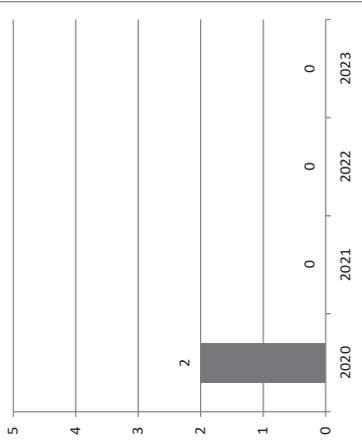


紹介率・逆紹介率



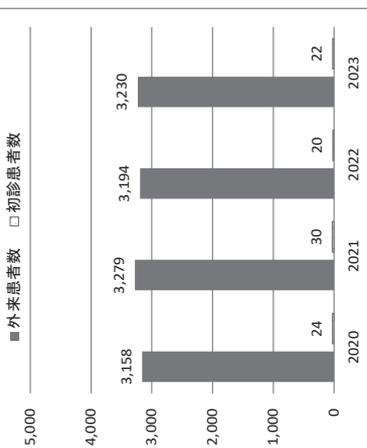
麻酔科

新入院患者数(人)

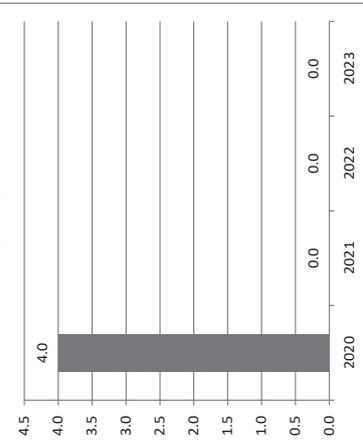


麻酔科  
臨床指標

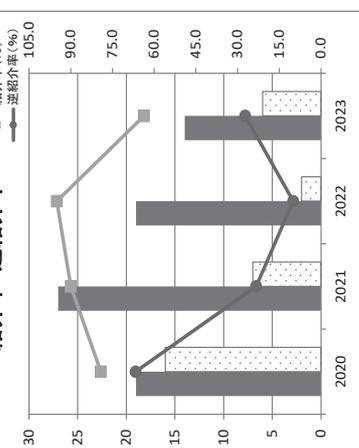
外来・初診患者数(人)



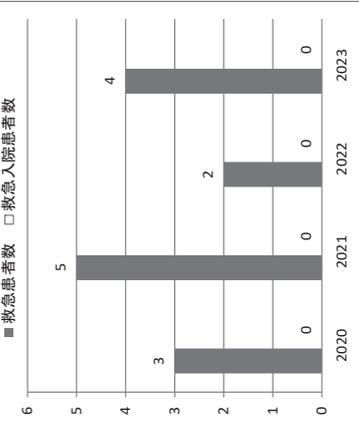
平均在院日数(日)



紹介率・逆紹介率



救急患者・救急入院患者数

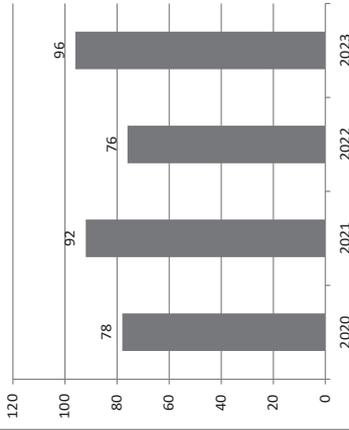


		区分				
		2020	2021	2022	2023	2023/2022
日数	入院診療日数	365	365	365	366	100.3
	外来診療日数	243	242	227	197	86.8
基礎指標	医師数	9	9	11	12	109.1
	入院延患者数	10	0	0	0	0.0
分析指標	新入院患者数	2	0	0	0	0.0
	入院収益 A	3,082	0	0	0	0.0
	外来患者数	3,158	3,279	3,194	3,230	101.1
	初診患者数	24	30	20	22	110.0
	外来収益 B	28,960	14,067	13,702	12,052	88.0
	診療収益 A+B	32,042	14,067	13,702	12,052	88.0
	入院診療単価	308,200	0	0	0	0.0
生産性指標	新入院患者数/日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平均在院日数	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	外来診療単価	9,170	4,290	4,290	3,731	87.0
	紹介率	79.2	90.0	95.0	63.6	67.0
	外来平均患者数/日	13.0	13.5	14.1	16.4	116.5
	初診患者数/日	0.1	0.1	0.1	0.1	126.8
	救急患者数	3	5	2	4	200.0
	救急入院患者数	0	0	0	0	0.0
	救急入院患者数/新入院患者数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	紹介数(紹介患者加算)	19	27	19	14	73.7
	逆紹介数(診療情報提供書)	16	7	2	6	300.0
逆紹介率	66.7	23.3	10.0	27.3	272.7	
手術件数(手術室利用)	6	3	5	2	40.0	
医師1人1日当たり入院収益	938	0	0	0	0.0	
医師1人1日当たり外来収益	13,242	6,459	5,487	5,098	92.9	
医師1人1日当たり診療収益	14,180	6,459	5,487	5,098	92.9	
医師1人1日当たり入院患者数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
医師1人1日当たり外来患者数	1.4	1.5	1.3	1.4	106.8	
医師1人当たり新入院患者数	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
医師1人当たり救急患者数	0.3	0.6	0.2	0.3	183.3	
医師1人当たり紹介数	2.1	3.0	1.7	1.2	67.5	
医師1人当たりの逆紹介数	1.8	0.8	0.2	0.5	275.0	
医師1人当たりの手術件数	0.7	0.3	0.5	0.2	36.7	

(注) 1 医師数は2023年4月1日現在(研修医は含まれていない)  
 2 入院収益、外来収益はレセプト請求額での戻戻、査定は考慮していない(室料差額等は含まれていない)  
 3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

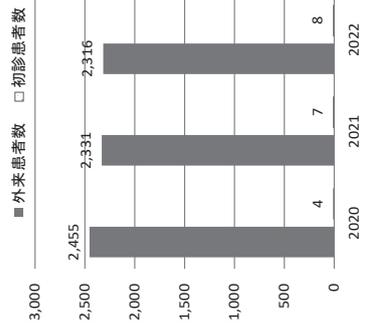
# 心臓外科

### 新入院患者数(人)

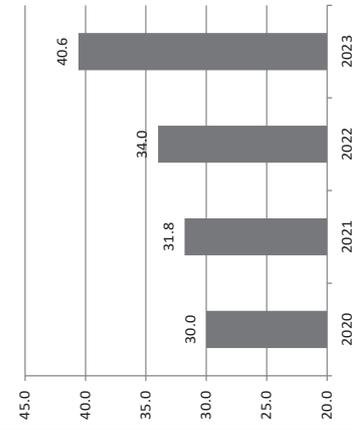


# 心臓外科 臨床指標

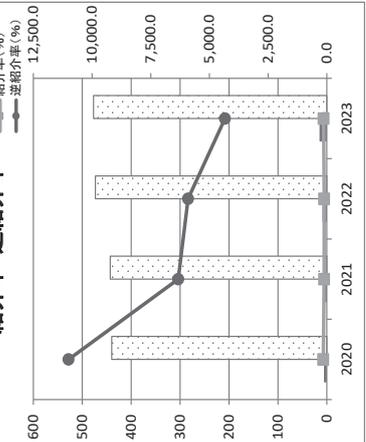
### 外来・初診患者数



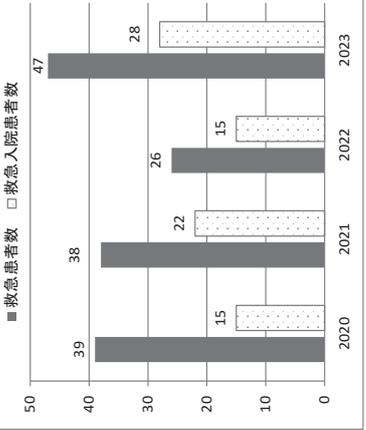
### 平均在院日数(日)



### 紹介率・逆紹介率



### 救急患者・救急入院患者数



区分	2020				2021				2022				2023				
	日数	入院診療日数	外来診療日数	医師数	日数	入院診療日数	外来診療日数	医師数	日数	入院診療日数	外来診療日数	医師数	日数	入院診療日数	外来診療日数	医師数	
基礎指標	入院診療日数	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	
	外来診療日数	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	
	医師数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	入院延患者数	2,803	2,221	3,038	3,221	3,038	3,038	3,975	3,038	3,038	3,038	3,975	3,038	3,038	3,975	3,038	
	新入院患者数	78	92	76	96	76	76	96	76	76	76	96	76	76	96	76	
	入院収益 A	632,338	686,271	617,906	667,530	686,271	617,906	667,530	667,530	617,906	617,906	667,530	667,530	617,906	617,906	667,530	617,906
	外来患者数	2,455	2,331	2,316	2,402	2,331	2,316	2,402	2,402	2,316	2,316	2,402	2,402	2,316	2,316	2,402	2,316
分析指標	初診患者数/日	0.2	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	
	平均在院日数	30.0	31.8	34.0	40.6	31.8	34.0	40.6	34.0	34.0	40.6	34.0	34.0	40.6	34.0	34.0	
	外来診療単価	15,536	16,284	16,321	15,816	16,284	16,321	15,816	15,816	16,321	15,816	15,816	16,321	15,816	15,816	15,816	
	紹介率	150.0	114.3	112.5	136.4	114.3	112.5	136.4	136.4	112.5	112.5	136.4	136.4	112.5	112.5	136.4	
	外来平均患者数/日	23.2	22.0	21.6	20.7	22.0	21.6	20.7	20.7	21.6	21.6	20.7	20.7	21.6	21.6	20.7	
	初診患者数/日	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
	救急患者数	39	38	26	47	38	26	47	47	26	47	47	47	26	47	47	
生産性指標	救急入院患者数	15	22	15	28	22	15	28	28	15	28	28	28	15	28	28	
	救急入院患者数/新入院患者数	19.2	23.9	19.7	29.2	23.9	19.7	29.2	29.2	19.7	29.2	29.2	29.2	19.7	29.2	29.2	
	紹介数(紹介患者加算)	6	8	9	15	8	9	15	15	9	15	15	15	9	15	15	
	逆紹介数(診療情報提供書)	440	443	473	477	443	473	477	477	473	477	477	477	473	477	477	
	逆紹介率	11,000.0	6,328.6	5,912.5	4,336.4	6,328.6	5,912.5	4,336.4	4,336.4	5,912.5	4,336.4	4,336.4	4,336.4	5,912.5	4,336.4	4,336.4	
	手術件数(手術室利用)	153	153	102	105	153	102	105	105	102	105	105	105	102	105	102	
	医師1人1日当たり入院収益	433,108	470,049	423,223	455,963	470,049	423,223	455,963	455,963	423,223	423,223	455,963	455,963	423,223	423,223	455,963	
生産性指標	医師1人1日当たり外来収益	89,955	89,524	88,318	81,877	89,524	88,318	81,877	81,877	88,318	88,318	81,877	81,877	88,318	88,318	81,877	
	医師1人1日当たり診療収益	523,063	559,572	511,541	537,840	559,572	511,541	537,840	537,840	511,541	511,541	537,840	537,840	511,541	511,541		
	医師1人1日当たり入院患者数	1.9	2.2	2.1	2.7	2.2	2.1	2.7	2.7	2.1	2.1	2.7	2.7	2.1	2.1		
	医師1人1日当たり外来患者数	5.8	5.5	5.4	5.2	5.5	5.4	5.2	5.2	5.4	5.4	5.2	5.2	5.4	5.4		
	医師1人当たり新入院患者数	19.5	23.0	19.0	24.0	23.0	19.0	24.0	24.0	19.0	19.0	24.0	24.0	19.0	19.0		
	医師1人当たり救急患者数	9.8	9.5	6.5	11.8	9.5	6.5	11.8	11.8	6.5	6.5	11.8	11.8	6.5	6.5		
	医師1人当たり救急入院患者数	3.8	5.5	3.8	7.0	5.5	3.8	7.0	7.0	3.8	3.8	7.0	7.0	3.8	3.8		
医師1人当たり紹介数	1.5	2.0	2.3	3.8	2.0	2.3	3.8	3.8	2.3	2.3	3.8	3.8	2.3	2.3			
医師1人当たり逆紹介数	110.0	110.8	118.3	119.3	110.8	118.3	119.3	119.3	110.8	110.8	119.3	119.3	110.8	110.8			
医師1人当たり手術件数	38.3	38.3	25.5	26.3	38.3	25.5	26.3	26.3	25.5	25.5	26.3	26.3	25.5	25.5			

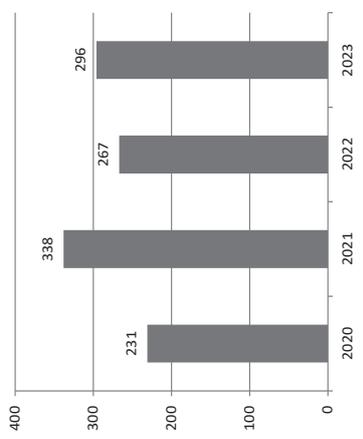
(注) 1 医師数は2023年4月1日現在(研修医は含まれていない)

2 入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない(室料差額等は含まれていない)

3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

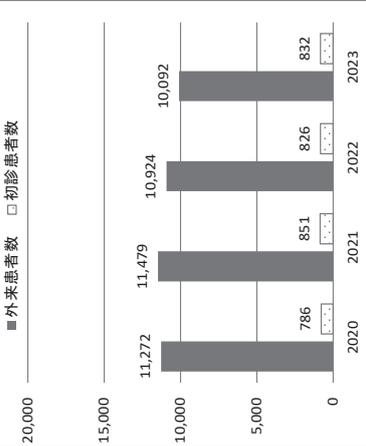
形成外科

新入院患者数(人)

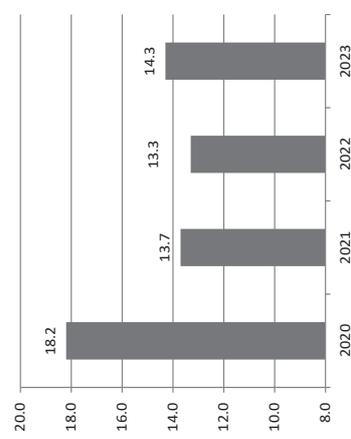


形成外科  
臨床指標

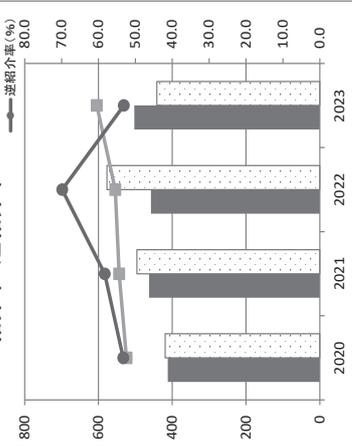
外来・初診患者数(人)



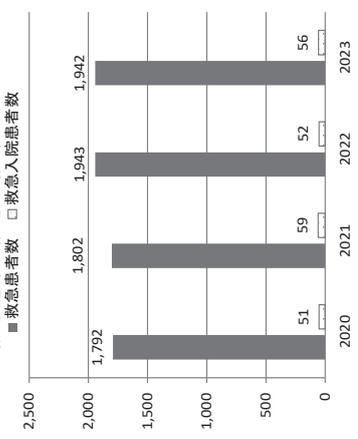
平均在院日数(日)



紹介率・逆紹介率



救急患者・救急入院患者数

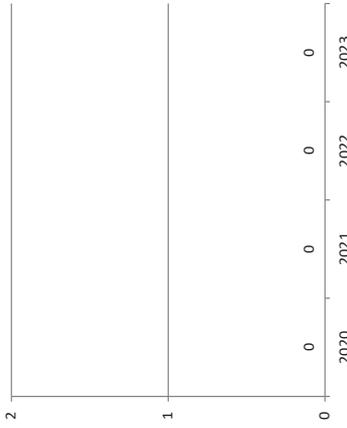


		区分				
日数		2020	2021	2022	2023	2023/2022
基礎指標	入院診療日数	365	365	365	366	100.3
	外来診療日数	243	242	243	243	100.0
	医師数	5	5	5	4	80.0
	入院患者数	4,436	4,958	3,946	4,483	113.6
	新入院患者数	231	338	267	296	110.9
	入院収益 A	280,371	345,847	255,286	273,072	107.0
	外来患者数	11,272	11,479	10,924	10,092	92.4
	初診患者数	786	851	826	832	100.7
	外来収益 B	99,071	93,073	92,292	83,065	90.0
	診療収益 A+B	379,442	438,920	347,579	356,137	102.5
分析指標	入院診療単価	63,204	69,755	64,695	60,913	94.2
	新入院患者数/日	0.6	0.9	0.7	0.8	110.6
	平均在院日数	18.2	13.7	13.3	14.3	107.5
	外来診療単価	8,789	8,108	8,449	8,231	97.4
	紹介率	52.4	54.4	55.4	60.5	109.0
	外来平均患者数/日	46.4	47.4	45.0	41.5	92.4
	初診患者数/日	3.2	3.5	3.4	3.4	100.7
	救急患者数	1,792	1,802	1,943	1,942	99.9
	救急入院患者数	51	59	52	56	107.7
	救急入院患者数/新入院患者数	22.1	17.5	19.5	18.9	97.1
生産性指標	紹介数(紹介患者加算)	412	463	458	503	109.8
	逆紹介数(診療情報提供書)	419	496	577	442	76.6
	逆紹介率	53.3	58.3	69.9	53.1	76.1
	手術件数(手術室利用)	219	290	180	249	138.3
	医師1人1日当たり入院収益	153,628	189,505	139,883	186,525	133.3
	医師1人1日当たり外来収益	81,540	76,920	75,960	85,458	112.5
	医師1人1日当たり診療収益	235,168	266,425	215,843	271,982	126.0
	医師1人1日当たり入院患者数	2.4	2.7	2.2	3.1	141.6
	医師1人1日当たり外来患者数	9.3	9.5	9.0	10.4	115.5
	医師1人1日当たり新入院患者数	46.2	67.6	53.4	74.0	138.6
医師1人1日当たり救急患者数	358.4	360.4	388.6	485.5	124.9	
医師1人1日当たり紹介患者数	10.2	11.8	10.4	14.0	134.6	
医師1人1日当たり逆紹介数	82.4	92.6	91.6	125.8	137.3	
医師1人1日当たり逆紹介率	83.8	99.2	115.4	110.5	95.8	
医師1人1日当たり手術件数	43.8	58.0	36.0	62.3	172.9	

(注) 1 医師数は2023年4月1日現在(研修医は含まれていない)  
 2 入院収益、外来収益はレプト請求額であり返戻、査定は考慮していない(室料差額等は含まれていない)  
 3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

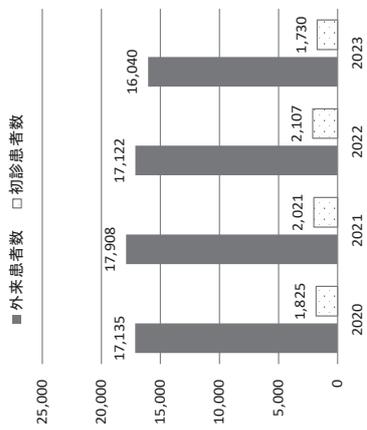
# 放射線科

## 新入院患者数(人)

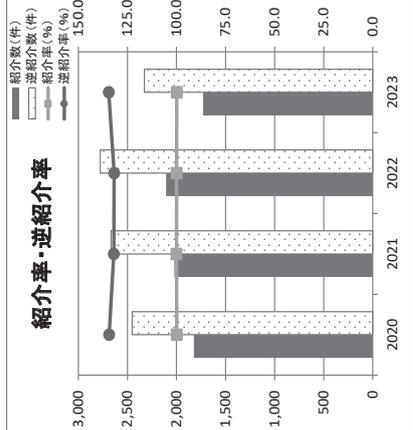


# 放射線科 臨床指標

## 外来・初診患者数(人)



## 紹介率・逆紹介率



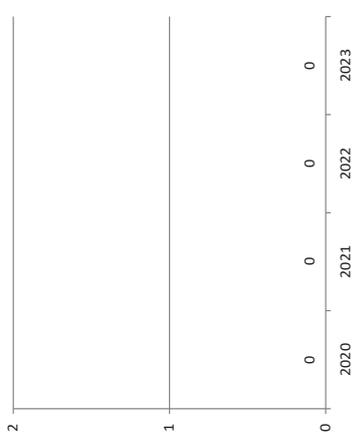
区分	2020				2021				2022				2023	
	日数	入院診療日数	外来診療日数	医師数	日数	入院診療日数	外来診療日数	医師数	日数	入院診療日数	外来診療日数	医師数	2023/2022	2023/2022
基礎指標	入院診療日数	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	100.3	100.3	
	外来診療日数	243	243	243	242	243	243	243	243	243	243	100.0	100.0	
	医師数	11	11	11	9	10	10	10	10	10	10	100.0	100.0	
	入院延患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	
	新入院患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	
	入院収益 A	17,135	17,135	17,122	17,908	17,122	17,122	16,040	16,040	16,040	16,040	93.7	93.7	
分析指標	外来患者数	1,825	1,825	2,021	2,107	1,730	1,730	1,730	1,730	1,730	82.1	82.1		
	初診患者数	343,689	343,689	398,049	398,049	372,043	372,043	372,043	372,043	372,043	96.6	96.6		
	診療収益 A+B	343,689	343,689	398,049	398,049	372,043	372,043	372,043	372,043	372,043	96.6	96.6		
	入院診療単価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0		
	新入院患者数/日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	平均在院日数	20,058	22,227	22,494	23,195	103.1	103.1	103.1	103.1	103.1	103.1	103.1		
生産性指標	紹介率	99.9	100.0	100.0	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9		
	外来平均患者数/日	70.5	74.0	70.5	66.0	66.0	66.0	66.0	66.0	66.0	66.0	93.7		
	初診患者数/日	7.5	8.4	8.7	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	82.1		
	救急患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
	救急入院患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
	救急入院患者数/新入院患者数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
生産性指標	紹介数 (紹介患者加算)	1,823	2,021	2,106	1,728	82.1	82.1	82.1	82.1	82.1	82.1	82.1		
	逆紹介数 (診療情報提供書)	2,452	2,668	2,777	2,328	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8		
	逆紹介率	134.4	132.0	131.8	134.6	102.1	102.1	102.1	102.1	102.1	102.1	102.1		
	手術件数 (手術室利用)	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	医師1人1日当たり入院収益	128,578	182,759	158,495	153,104	96.6	96.6	96.6	96.6	96.6	96.6	96.6		
	医師1人1日当たり外来収益	128,578	182,759	158,495	153,104	96.6	96.6	96.6	96.6	96.6	96.6	96.6		
	医師1人1日当たり診療収益	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	医師1人1日当たり外来患者数	6.4	8.2	7.0	6.6	93.7	93.7	93.7	93.7	93.7	93.7	93.7		
	医師1人当たり新入院患者数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	医師1人当たり救急患者数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	医師1人当たり救急入院患者数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	医師1人当たり紹介数	165.7	224.6	210.6	172.8	82.1	82.1	82.1	82.1	82.1	82.1	82.1		
医師1人当たり逆紹介数	222.9	296.4	277.7	232.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8			
医師1人当たり手術件数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

(注) 1 医師数は2023年4月1日現在 (研修医は含まれていない)

2 入院収益、外来収益はレプト請求額であり返戻、査定は考慮していない (室料差額等は含まれていない)

3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

新入院患者数(人)



リハビリテーション科

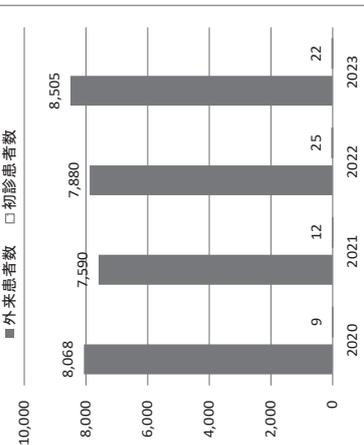
区分		2020	2021	2022	2023	2023/2022
日数	入院診療日数	365	365	365	366	100.3
	外来診療日数	243	242	243	243	100.0
1	医師数	1	1	1	1	100.0
	入院延患者数	0	0	0	0	0.0
基礎指標	新入院患者数	0	0	0	0	0.0
	入院収益 A	0	0	12	0	0.0
指標	外来患者数	8,068	7,590	7,880	8,505	107.9
	初診患者数	9	12	25	22	88.0
分析指標	外来収益 B	107,356	88,235	92,784	97,174	104.7
	診療収益 A+B	107,356	88,235	92,795	97,174	104.7
分析指標	入院診療単価	円	0	0	0	0.0
	新入院患者数/日	人	0.0	0.0	0.0	0.0
分析指標	平均在院日数	日	0.0	0.0	0.0	0.0
	外来診療単価	円	13,306	11,625	11,775	97.0
分析指標	紹介率	%	77.8	83.3	40.0	90.9
	外来平均患者数/日	人	33.2	31.4	32.4	107.9
分析指標	初診患者数/日	人	0.0	0.0	0.1	88.0
	救急患者数	人	0	0	0	0.0
分析指標	救急入院患者数	人	0	0	0	0.0
	救急入院患者数/新入院患者数	%	0.0	0.0	0.0	0.0
分析指標	紹介数(紹介患者加算)	人	7	10	10	80.0
	逆紹介数(診療情報提供書)	人	28	38	20	11
生産性指標	逆紹介率	%	311.1	316.7	80.0	62.5
	手術件数(手術室利用)	件	0	0	0	0.0
生産性指標	医師1人1日当り入院収益	円	0	0	33	0.0
	医師1人1日当り外来収益	円	441,794	364,607	381,827	399,893
生産性指標	医師1人1日当り診療収益	円	441,794	364,607	381,860	399,893
	医師1人1日当り入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0
生産性指標	医師1人1日当り外来患者数	人	33.2	31.4	32.4	35.0
	医師1人1日当り新入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0
生産性指標	医師1人1日当り救急入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人1日当り紹介数	件	7.0	10.0	10.0	8.0
生産性指標	医師1人1日当り逆紹介数	件	28.0	38.0	20.0	11.0
	医師1人1日当り手術件数	件	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 1 医師数は2023年4月1日現在(研修医は含まれていない)

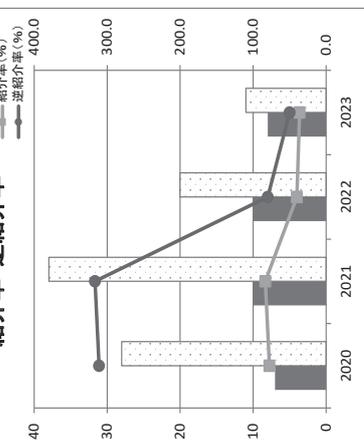
2 入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない(室料差額は含まれていない)

3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

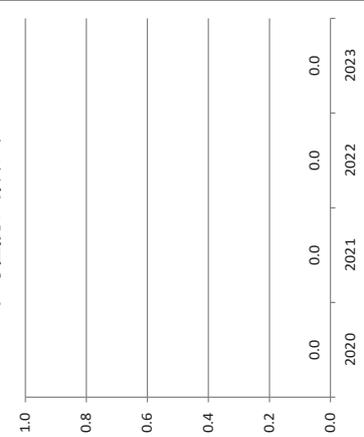
外来・初診患者数(人)



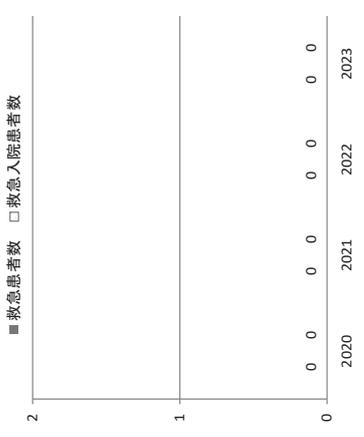
紹介率・逆紹介率



平均在院日数(日)



救急患者・救急入院患者数



リハビリテーション科  
臨床指標

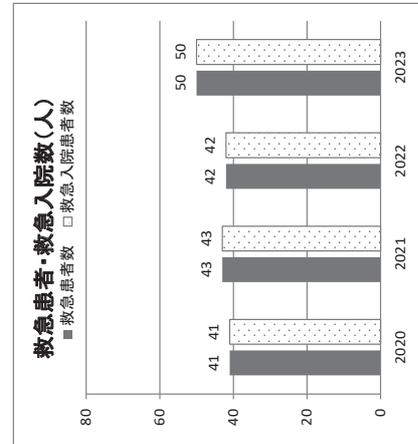
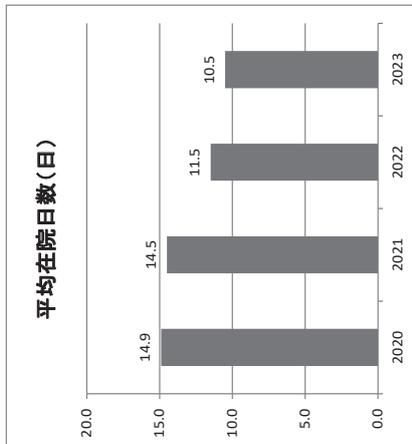
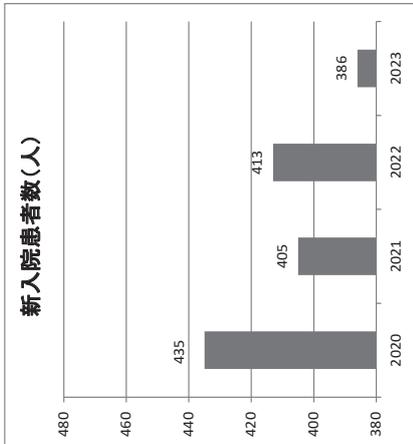
# 新生児科

区分	2020		2021		2022		2023		2023/2022	
	日数	人	日数	人	日数	人	日数	人	比率	比率
入院診療日数	435	6,885	405	6,308	413	5,189	366	4,445	100.3	85.7
外来診療日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
医師数	3	3	3	3	3	3	3	3	100.0	100.0
入院患者数	405	6,308	413	6,308	413	5,189	386	4,445	93.5	85.7
入院延患者数	405	6,308	413	6,308	413	5,189	386	4,445	93.5	85.7
入院収益 A	629,700	6,308	529,700	6,308	474,785	5,189	409,462	409,462	86.2	86.2
外来患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
初診患者数	197	197	163	163	186	186	177	177	95.2	95.2
外来収益 B	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
診療収益 A + B	629,700	6,308	529,700	6,308	474,785	5,189	409,462	409,462	86.2	86.2
入院診療単価	91,380	6,308	83,973	6,308	91,498	5,189	92,117	92,117	100.7	100.7
新入院患者数/日	14.9	6,308	14.5	6,308	11.5	5,189	10.5	10.5	93.2	93.2
平均在院日数	14.9	6,308	14.5	6,308	11.5	5,189	10.5	10.5	93.2	93.2
外来診療単価	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
紹介率	18.8	6,308	19.6	6,308	20.4	5,189	25.4	25.4	124.4	124.4
外来平均患者数/日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
初診患者数/日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
救急患者数	41	41	43	43	42	42	50	50	119.0	119.0
救急入院患者数	41	41	43	43	42	42	50	50	119.0	119.0
救急入院患者数/新入院患者数	9.4	6,308	10.6	6,308	10.2	5,189	13.0	13.0	127.4	127.4
紹介数 (紹介患者加算)	37	37	32	32	38	38	45	45	118.4	118.4
逆紹介数 (診療情報提供書)	234	234	248	248	246	246	234	234	95.1	95.1
逆紹介率	118.8	6,308	152.1	6,308	132.3	5,189	132.2	132.2	100.0	100.0
手術件数 (手術室利用)	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
医師1人1日当たり入院収益	574,564	6,308	483,744	6,308	433,594	5,189	372,916	372,916	86.0	86.0
医師1人1日当たり外来収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
医師1人1日当たり診療収益	574,564	6,308	483,744	6,308	433,594	5,189	372,916	372,916	86.0	86.0
医師1人1日当たり入院患者数	6.3	6,308	5.8	6,308	4.7	5,189	4.0	4.0	85.4	85.4
医師1人1日当たり外来患者数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医師1人当たり新入院患者数	145.0	6,308	135.0	6,308	137.7	5,189	128.7	128.7	93.5	93.5
医師1人当たり救急患者数	13.7	6,308	14.3	6,308	14.0	5,189	16.7	16.7	119.0	119.0
医師1人当たり救急入院患者数	13.7	6,308	14.3	6,308	14.0	5,189	16.7	16.7	119.0	119.0
医師1人当たり紹介数	12.3	6,308	10.7	6,308	12.7	5,189	15.0	15.0	118.4	118.4
医師1人当たり逆紹介数	78.0	6,308	82.7	6,308	82.0	5,189	78.0	78.0	95.1	95.1
医師1人当たり手術件数	0.0	6,308	0.0	6,308	0.0	5,189	0.0	0.0	0.0	0.0

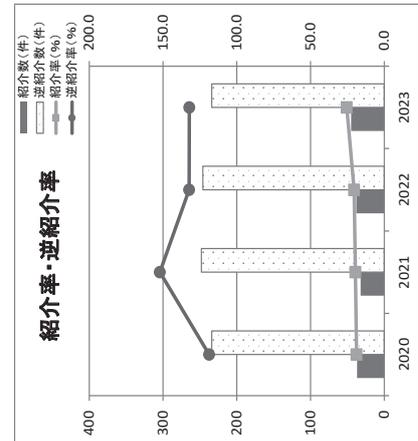
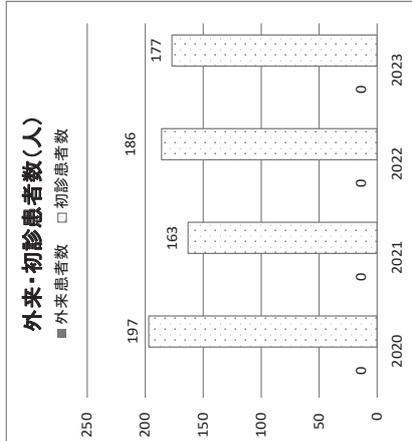
(注) 1 医師数は2023年4月1日現在 (研修医は含まれていない)

2 入院収益、外来収益はレセプト請求額であり延戻、査定は考慮していない (室料差額等は含まれていない)

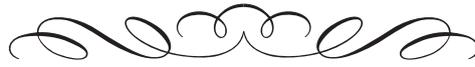
3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している



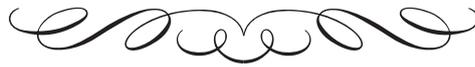
# 新生児科 臨床指標







診 療 局



## ●内科（2023年度）

### 1. 内科医局会の定期的開催

内科の中でも各診療科で専門性が高度に高まる昨今ですが、内科医としての最新の医学知識や知見をアップデートすることは極めて重要となっています。第1、3金曜日の月2回、内科医師、ローテート初期研修医、内科専攻医に出席していただき内科医局会を開催しています。各科のトピックや稀少症例を共有する場となっており、内科外来など共通の取り決め事が必要な事項の議論など、各内科の連携機会としても機能しています。

### 2. 2023年入院、外来の状況

各内科診療科の項で、入院・外来状況を御参照ください。

### 3. 2023年度の人材育成・確保・新専門医制度

当院のオリジナルプログラムの内科専攻医の応募状況ですが、2022年度は計6名（院内初期研修プログラムから5名、院外から1名）、2023年度2名（院内初期研修プログラムから1名、院外から1名）、2024年度4名（院内初期研修プログラムから2名、院外から2名）、2025年度は4名（院内初期研修プログラムから3名、院外から1名）で、院内初期研修プログラムからの専攻医数が少しずつ戻ってきている印象です。地方病院での医師確保という課題はなかなか解消できていませんが、対策として専攻医が、ステップアップできるキャリアプランを具体的に提示していければと考えております。

## ●消化器内科（2023年）

スタッフでは千葉大学から中川が派遣となり、非常勤医にて続けてきた肝臓外来および血管造影・ラジオ波焼灼術などを引き継ぎました。5月にて片桐が退職し、胆膵業務は樋口が引き継ぎました。専門研修医では千葉大学から派遣の伊藤が医局へと戻り、交代として吉埜が派遣となりました。岩本、闍彌、岡は専門研修を終え、自治医大卒の瀬谷（5年次）、東大医局より小林（3年次）が専門研修を開始しました。

感染が続く新型コロナウイルスには消化器内科も内科の一員として対応に当たり、感染拡大に注意しながらの内視鏡検査にも慣れてきました。内視鏡検査・治療件数は不変～軽度減少傾向にありますが、化学療法は新たな治療法を取り入れ増加が続いています。2024年度に導入される働き方改革を見据えて待機態勢を変更しました。非常勤医を増やして夜間・休日の休息時間の確保を模索しましたが、同時に日常業務の見直しと意識の改革が必要です。当院のみの努力では難しく、真の改革はまだまだ長い道のりと思われる。

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
GF	11,464	9,349	10,643	10,360	10,266
CF	5,729	5,079	5,681	5,569	5,296
CF-EMR	1,331	1,340	1,414	1,430	1,270
GF-ESD	160	171	124	153	137
CF-ESD	135	107	119	128	135
ERCP	1,231	1,240	1,126	1,280	1,213
EUS	585	543	522	430	377
EUS-FNA	55	55	79	58	62
TAE	54	67	43	29	53
RFA・MWA	31	47	73	34	20

## ●循環器内科（2023年度）

<スタッフ>（2023年4月1日現在）計20名

主任部長：榎田俊一

部長：宮地浩太郎、早川直樹（兼EVTセンター長）

医長：井ノ口安紀

主任医員：荒川雅崇、平野智士、市原慎也、佐橋秀一、矢島琴音

専攻医：長田遊貴（5年次）、久慈広樹（5年次）、鈴木隆誠（5年次）、外田望（4年次）、速水康成（4年次）、本康宗佳（4年次）、山口雄己（4年次）、三輪宏美（4年次）、石田暉（3年次）、阿部拓斗（3年次）、濱野洋（3年次）

### <人事異動>

- 2023年3月末には当院に38年間勤務し、2008年から循環器内科の主任部長であった神田順二が退職し、焼津市岡本石井病院の院長となった。旭中央病院循環器内科の黎明期から充実期を支え、当院を国内有数のカテーテル治療施設へと導いていただいた。  
また、高梨啓介（榊原記念病院）、山浦貴士（君津中央病院）、永富駿平（埼玉石心会病院）の3名は、3年間の後期研修を修了し、それぞれの新たな勤務地に移動した。
- 2023年4月、榎田俊一が主任部長、早川直樹が部長兼EVTセンター長に就任し、阿部拓斗、石田暉、濱野洋の3名が後期研修医として入職した。  
また、順天堂大学病院から鈴木隆誠が半年間の研修を行い、久慈広樹は2023年10月に千葉大学へ異動した。

### <新規治療の導入>

以下の先進的な治療技術を導入し、診療体制の強化を図った。

- IVLシステム  
石灰化した冠動脈病変に対して血管内破砕術を行うシステムである。これにより、石灰化が進んだ症例への治療が可能となった。
- Impella（インペラ）  
経皮的に左心室補助循環を行うポンプカテーテルである。急性心不全や重篤な心不全の患者に使用しており、迅速かつ効果的な補助循環を提供する。
- PTSMA（経皮的中隔心筋焼灼術）  
肥大型心筋症に対する治療法であり、中隔心筋を焼灼することで症状の改善を目指す。

### <診療実績>

過去5年間の主要治療件数を表に示す。

- PCI、EVT、SHD、アブレーション、デバイス治療の件数は例年通りの水準で推移している。
- TAVI（経カテーテル大動脈弁置換術）に関しては、計画的な治療に加え、麻酔科および手術室との連携により、緊急・準緊急治療も実施可能となっている。これにより、時間を要する症例への対応力が向上した。

治療名	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
PCI（冠動脈インターベンション）	781	735	712	729	690
上記のうち急性冠症候群に対するPCI	280	234	235	266	251
EVT（末梢動脈インターベンション）	315	382	443	486	526
カテーテルアブレーション	173	259	255	276	306
ペースメーカー植込み術	105	163	133	162	144
ICD（植込み型除細動器）植込み術	16	27	24	23	31
CRT（心臓再同期療法）	22	19	27	15	25
TAVI（経カテーテル大動脈弁置換術）	12	42	50	55	57
WATCHMAN（経皮的左心耳閉鎖術）	—	—	12	21	21
MitraClip（経皮的僧帽弁接合不全修復術）	—	—	—	17	21

2023年度は、重要な人事異動と新たな治療技術の導入により、診療体制が強化された。今後も患者に最適な医療を提供することを目指し、引き続き努力を重ねていく。

## ●血液内科（2023年度）

### 診療体制

2023年度の診療体制は、大野沙耶香、桑名由希子が異動となり、代わりに開沼彩香が後期研修医として新たに赴任、当院で内科研修を行っていた喜屋武慶尚と当院で初期研修を行った岡本健人が血液内科後期研修医として加わり、田中宏明（部長）、清水亮（医長）とあわせて5人体制となった。10月からは田中宏明が週1回外来のみの非常勤勤務となり、常勤は4人体制となった。非常勤医師として長年当院に勤務いただいた高木敏之医師が退職されたが、千葉大から派遣された和泉医師、久保寺医師の2名と、当院中央検査科兼輸血部部長の石井昭広医師にもお手伝い頂き、計8コマの血液内科外来診療を昨年同様に続けることができた。また国際医療福祉大学血液内科准教授 大和田千桂子医師に来て頂いて、同種移植症例を中心としたカンファレンスを行っている。毎週木曜日に病棟カンファレンス、木曜日に中央検査科と共同で骨髄カンファレンスを行い、月1回金曜日に同種移植カンファレンスを行っている。

### 2023年度の動向

2023年の入院患者の内訳は下記の通りである。総入院患者数は317名でそのうちおよそ4割を悪性リンパ腫が占めていた。その他に分類されるものの多くは感染症（敗血症、肺炎、発熱性好中球減少症など）である。

	2023	2022
慢性骨髄増殖性腫瘍		
慢性骨髄性白血病	4	2
原発性骨髄線維症		1
慢性骨髄単球性白血病	1	2
骨髄異形成症候群	22	18
急性骨髄性白血病	25	27
うち急性前骨髄球性白血病	3	1
急性リンパ性白血病	7	11
慢性リンパ性白血病		1
悪性リンパ腫	135	138
びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	95	76
濾胞性リンパ腫	11	15
MALTリンパ腫	1	2
マンテル細胞リンパ腫	6	4
リンパ形質細胞性リンパ腫	5	5
末梢性T細胞性リンパ腫・詳細不明	3	10
血管免疫芽球性T細胞性リンパ腫	4	3
成人T細胞白血病リンパ腫	1	3
NK/T細胞リンパ腫	1	
ホジキンリンパ腫	6	5
多発性骨髄腫	36	35
全身性ALアミロイドーシス	2	5
再生不良性貧血	8	4
特発性血小板減少性紫斑病	7	7
自己免疫性溶血性貧血		1
慢性活動性EBV感染症		1
後天性血友病		1
後天性第V因子欠乏症	1	
後天性第XIII因子欠乏症	1	
骨髄移植ドナー	3	2
末梢血幹細胞移植ドナー	4	5
その他	59	44

移植件数に関して、各年 1-12 月までの件数を下記に示した。2021 年 8 月に非血縁者間造血幹細胞移植施設に認定されたこともあり、2022 年以降の移植件数はそれ以前と比較して増加している。ここ数年の移植件数を下記に示した。

	Auto-PBSCT	R-PBSCT	R-BMT	UR-PBSCT	UR-BMT	CBT
2023 年	10 件	3 件			3 件	2 件
2022 年	11 件	6 件		2 件	2 件	2 件
2021 年	9 件					
2020 年	14 件	3 件	2 件			
2019 年	14 件	3 件	1 件			

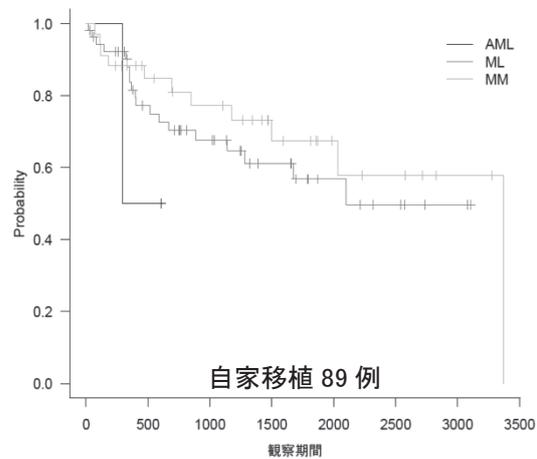
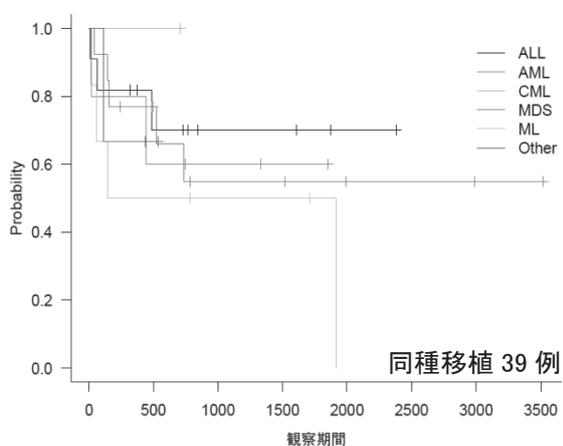
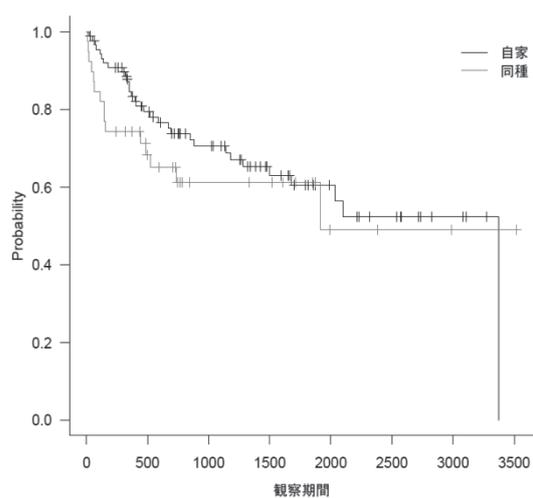
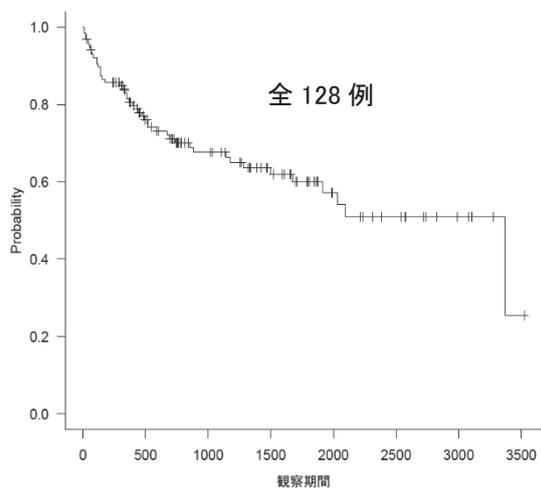
Auto：自家、R：血縁者間、UR：非血縁者間、PBSCT：末梢血幹細胞移植、BMT：骨髄移植、CBT：臍帯血移植

#### <移植後長期フォローアップ外来（LTFU 外来）の開設>

同種移植後症例の長期生存に伴い重要視されるようになった LTFU 外来を 2021 年 12 月から当院でも開設した。退院後の日常生活の状況把握、日常生活における感染予防、皮膚および口腔ケアなどの生活指導、2 次がん予防を目的とした健診およびワクチン接種の啓蒙などを目的とした専門看護師を中心とした外来であり、認定看護師の誕生により、2023 年 3 月からは移植後患者指導管理料として加算もとれるようになっている。

#### <当院における移植治療の成績>

非血縁者間移植認定施設として学会から求められているため、2014 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日まで当院にて移植治療を行った計 128 例を解析した。年齢中央値 59.5 (21-69) 歳。男性 / 女性 77/51 人。急性骨髄性白血病 15 人、骨髄異形成症候群 5 人、急性リンパ性白血病 11 人、悪性リンパ腫 59 人、形質細胞性腫瘍 34 人。その他 4 名。自家移植 89 人、同種移植 39 人。自家移植はすべて末梢血幹細胞移植で、同種移植は、血縁者間末梢血幹細胞移植 25 人、血縁者間骨髄移植 3 人、非血縁者間末梢血幹細胞移植 2 人、非血縁者間骨髄移植 5 人、臍帯血移植 4 人となっている。観察期間中央値 753 (11-3521) 日。観察期間中の死亡 46 人。生存期間中央値 3373 (95%CI: 1675-NA) 日、3 年生存率は 67.7% (95%CI: 58.0-75.5)。同種移植 39 例では、3 年生存率 61.2% (95%CI: 42.9-75.2)。自家移植 89 例では 3 年生存率 70.8% (95%CI: 59.2-79.6)。全生存率を下記に示した。一人でも多くの移植症例の長期生存と QOL 維持を目指して今後も研鑽に励みたい。



多施設共同研究として、日本成人白血病研究グループ（JALSG）の多施設共同研究に引き続き参加し、千葉大学血液内科とも連携していくつかの臨床研究を行っている。

学会発表としては、2023 年度として日本血液学会関東甲信越地方会に 3 題報告した。

## ●腎臓内科（2023年）

### 1. 体制

スタッフは2017年4月より腎透析科常勤3名、非常勤3名となった。しかし2018年4月より常勤1名が増え、常勤4名体制となった。さらに、2019年4月-後期研修医2名が増え、常勤6名非常勤2名の体制となり、2021年も同様の体制であった。2022年は常勤5名非常勤2名、2023年は常勤6名非常勤2名となっている。

看護単位は病棟と透析センターの2つよりなる。

### 2. 病棟部門

病棟は49床であるが、腎臓内科としては腎・透析関係および、一部一般内科の患者を受け入れている。2023年では、腎透析関係515名であった。（表1）

腎生検については79件で当科での最高件数であった。（表2）後期研修医の減員などに伴い、透析関連の入院がそれ以前の20%ほど減員の状態で維持していたが、2019年より年間600名前後と元のレベルに戻った。しかし、コロナ下の2022年は550名、2023年は523名と減少した。なお、入院患者、腎生検患者、年末透析患者、透析導入患者、透析患者の死亡の推移を添付する。（表3-7）

### 3. 外来部門

#### (1) 腎臓内科外来

内科外来の一部として、常勤スタッフ6名と非常勤スタッフ2名にて、合計10コマの外来を担当している。

#### (2) 透析外来

2つの透析センターにて、血液透析および腹膜透析の患者を管理している。また、血漿交換や白血球除去療法などの特殊血液浄化も施行している。なお、2019年6月より夜間透析を第一透析センター（4F）から第二透析センター（6F）に移動させた。また、透析センターの項も参照。

### 4. 診療のトピック

腎臓病については、HIF-PH阻害剤の外来患者への使用、SDLT2阻害剤やアルドステロンブロッカーの腎炎への使用が軌道に乗ったことなどのほかは診療内容としては新しいものはなかった。コロナ下入院患者は減少したが腎生検の件数は増加した。

透析患者の管理については、2020年度にはすべての透析装置の入れ替えが完了し、Online-HDFとIntermittent-HDFが本格的に稼働している。また、COVID-19感染症が5類となった後も透析センターとしては引き続き、検査体制を維持するとともに、陽性者用の透析ベットを確保し、感染症科と連携して入院または外来通院加療のシステムを継続している。

なお2023年には、新規の透析患者さんの治験は1件であった。また腎透析関連の学会発表7件、投稿1件あったが、大学教授などによる講演会はコロナ感染症の蔓延によりWeb開催のみ数件と低調であった。

(表1) 2023/1/1-12/31 腎臓内科 入院患者 内訳

腎・透析科	523
慢性腎不全（合併症の精査加療含む）	77
慢性腎不全（透析導入）	64
腎炎 / ネフローゼ症候群	68
急性腎不全	31
急速進行性糸球体腎炎	9
尿路感染症	5
水 / 電解質異常	22
その他	5
透析患者	230
透析関連合併症	44
CAPD 関連	5
ブラッドアクセス関連	105
併発合併症	76
循環器	12
消化器	8
呼吸器	16
神経	3
感染症	26 (うち COVID-19 関連 6)
その他	11
一般内科	8

(表2) 腎生検 (2023/1/1-12/31)

MGA	13名
FSGS	3名
MN	7名
IgA 腎症	18名
MPGN	2名
その他の糸球体腎炎	0名
Cres GN / 血管炎	11名
紫斑病性腎炎	1名
SLE	7名
DM	4名
動脈硬化	3名
尿細管 / 間質障害	6名
アミロイドーシス / 骨髄腫腎	0名
その他	4名
計	79名

## 〈診療実績〉 2023/1/1 ~ 12/31

## 入院患者 (表3)

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
腎疾患	287	295	281	276	266	333	357	322	322	292	285
透析関連	234	224	255	229	197	207	277	307	345	254	230
その他	62	73	71	62	18	4	0	0	9	10	8
計	583	592	607	567	481	544	634	629	676	556	523

## 腎生検数 (表4)

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
件数	48	49	54	72	49	75	77	55	74	79	79

## 年末透析患者数 (表5)

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
年末 HD	402	423	409	405	390	392	391	404	396	378	386
年末 CAPD	17	16	14	10	10	10	8	6	4	4	5
計	419	439	423	415	400	402	399	410	400	382	391

## 透析導入患者数 (表6)

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
件数	88	130	97	90	107	108	108	128	117	103	108

## 透析患者の死亡 (表7)

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
死亡	61	54	40	63	58	56
当院通院	35	37	23	37	37	20
他院通院	26	17	17	26	21	36

## ●呼吸器内科（2023年度）

### 2023年度の概要

常勤医は4月に交代があり、島村 / 望月 / 本田 / 齊藤の4人となった。非常勤は内田（昭和大学）、川崎（千葉大学）、津島（現東京医大）の応援は変わらず、さらに外来担当として11月より池田、堀内（千葉大学）、南宮（慶応大学）、多田（国際医療福祉大学）の応援を得て外来ならびに気管支鏡体制を維持することができた（敬称略）。

猛威を振るったCOVID-19も5月には5類へ移行し、症例数は75例と明らかに減少した（昨年度204例）。しかし終息したといえる状況ではなく、散発的に発生している。2024年7月現在の状況も第9波と認識されつつある。

新規肺癌例数は345例と昨年度とほぼ同数であった。肺癌の内科的薬物療法は従来の化学療法に加え分子標的薬および免疫療法の3本立てで、これらの組み合わせの妥当性が世界中で検証されつつある。臨床病理科のご協力により昨年9月より院内で遺伝子検査（PCRパネル検査；Amoy）が迅速になされており、昨年1年間では82例に施行されていた。肺炎例は、ほとんどが医療介護関連肺炎であることに変わりはなく、先述のコロナ肺炎例

も多くは細菌性肺炎の合併で入院となる例が多かった。喘息治療では新たな生物学的製剤が、また非結核性抗酸菌症ではアミカシン吸入療法などが導入 / 施行されつつあるが、いずれも高額であり、癌薬物療法とともに今後の医療体制の問題点でもある。最後になるが当科の課題は相変わらず常勤医の確保である。

### 統計

#### <新規症例数>

1 原発性肺癌新規症例数	: 345 例（外科も含む）
2 縦隔腫瘍	: 10 例（外科も含む）
3 悪性胸膜中皮腫	: 3 例
4 肺抗酸菌症	
肺結核症	: 13 例（感染症内科も含む）
非結核性抗酸菌症	: 18 例
5 肺炎（主）	: 330 例（呼吸器内科入院例のみ）
6 COVID-19 肺炎	: 75 例（感染症内科他も含む）
7 間質性肺炎（主）	: 49 例（呼吸器内科入院例）

## ●糖尿病代謝内科（2023年度）

### ① 診療体制：常勤 4 名（2022 年度から 1 名増）

部長：荻野 淳

医長：竹村浩至

医員：南研人（千葉大病院より）、小川薫（千葉大病院より）

非常勤医師：【糖尿病外来】鈴木義史（黄内科）、堀江篤哉（千葉中央メディカルセンター）、大西俊一郎（国際医療福祉大成田病院）、【内分泌外来】高崎敦史（千葉大病院）

糖尿病外来：常勤 3.5 → 4 枠、非常勤 2.5 → 2 枠（2024/1 ~）、内分泌外来：非常勤 1 枠

\*当院常勤・非常勤として長年支えて頂いた大西俊一郎先生が国際医療福祉大病院（栃木県）に異動されたため、外来の常勤・非常勤枠が変更になった。

当院は日本糖尿病学会 認定教育施設Ⅰ、日本内分泌学会 認定教育施設、日本専門医機構 内分泌代謝・糖尿病内科領域 研修施設に認定されている。

### ② 診療実績

当院では、例年 4000 名以上の通院糖尿病患者に対して、内科を中心とする他科医師にもご協力頂き対応している。当院全体の糖尿病通院患者数および当科の通院患者数は 2022 年度とほぼ同等～上回る数となり、当院全体では 5000 名を超えた。2023 年 5 月に COVID-19 が感染症法上の 5 類に移行し、法律に基づく行動制限等が撤廃されたことも一因と考えられる。また、平均 HbA1c は当院全体でも当科全体でも 2022 年度同様 8.0% を下回る改善が得られた。

内分泌疾患では間脳下垂体疾患、甲状腺・副甲状腺疾患、膵内分泌腫瘍、副腎疾患、性腺疾患、二次性高血圧症などの診療を行っている。最近では免疫チェックポイント阻害薬による内分泌障害領域の免疫関連有害事象（irAE）の診療が増えつつあり、他科との連携構築が非常に重要になっている。

### ③ 学術活動

日本糖尿病学会	年次学術集会	2 演題
日本糖尿病学会	関東甲信越地方会	2 演題
日本内分泌学会	臨床内分泌代謝 Update	1 演題
日本内科学会	関東地方会	1 演題
英語論文（予防医学研究センターとの共著）		1 報
		分担執筆
		1 編

### ④ 連携活動

■ CCD (Cities Changing Diabetes) プログラム（糖尿病予防介入プログラム）

旭市、千葉大学医学部附属病院、ノボノルディスクファーマ株式会社による旭市における 2 型糖尿病患者

の発症抑制および重症化予防研究など糖尿病対策に関する包括連携協定は 3 年目を迎えた。当科では橋本尚武医師（予防医学研究センター長）と共に、旭市糖尿病対策連絡会で旭市役所、旭匠瑳医師会、旭市歯科医師会、旭匠瑳薬剤師会、海匠健康福祉センター、千葉大附属病院と定期的に会議を開催し、市内共通の栄養指導資料の作成を行った。

■ 糖尿病腎症予防プログラムへの取り組み

糖尿病透析予防指導（107 件）、糖尿病栄養指導（728 件）の推進

■ 院内多職種の糖尿病サポートチーム（10 職種・約 40 名）との協働にて、

(1) 当院通院中の糖尿病患者の糖尿病改善、(2) 当院医療職への糖尿病教育活動、(3) 当院周辺地域の糖尿病状態の改善

(1) においては COVID-19 感染防止策を講じ、1 型糖尿病患者の会（すずの会）を開催した。また、夏休み公開講座 for Kids や病院まつりでの糖尿病啓発活動、血糖測定などを 4 年ぶりに行うことができた。多職種による糖尿病教室は外来患者に限定し、感染防止策を講じて継続している。

(2) においては看護学校での代謝・内分泌分野の系統講義や各医療職種の日本糖尿病療法指導士（CDE-J）・千葉県糖尿病療養指導士（CDE-Chiba）の資格取得支援継続（有資格者それぞれ 19 名・13 名）、院内向けレクチャーを行った。糖尿病看護認定看護師 1 名は外来、入院で中心的な活動を行っている。

(3) においては世界糖尿病デーへの参画活動となるブルーライトアップ（当院、旭市商工会議所、飯岡刑部岬展望館）を実施した。また旭市産業祭りで糖尿病啓発活動、血糖測定などを 4 年ぶりに行うことができた。当地域周辺で糖尿病に関心を持つコメディカルの会（さくら会）の活動も再開し、道の駅みのりの郷東金で啓発活動を実施した。

引き続き糖尿病サポートチームメンバーはじめ内外の方々と協力して、一つ一つの活動に取り組んでいきたい。

### ⑤ 診療実績

#### 【2023 年度診療概要】

- ・糖尿病専門外来 1,890 例  
内、薬物療法中の糖尿病 1,343 例、平均 HbA1c 7.7%  
(同;当院外来全体 5,099 例、平均 HbA1c 7.0%)
- 内、妊娠糖尿病 78 例  
内、新患 477 例（外来 401 例、入院 176 例）
- ・内分泌外来 228 例
- ・入院患者血糖管理 256 例
- ・外来 1 型糖尿病 256 例 [内、インスリンポンプ 26 例]（当院外来全体）

## ●神経内科(2023年度)

<スタッフ> (2024年4月1日現在) 計4名

主任部長代理：鈴木陽一

部長：小林誠

医長：大谷亮

医員：江川勇太

### <診療体制>

2024年度の診療体制は、後期研修医の吉清水安芸が退職され、新たに大学院卒業後の大谷亮、後期研修医の江川勇太が着任し4人体制の増員となった。外来は非常勤医師として千葉大からの3名の派遣で週5日の勤務体制を継続している。

### <診療の概要>

外来診療ではパーキンソン関連疾患をはじめとする変性疾患（パーキンソン病、進行性核上性麻痺、多系統萎縮症、大脳皮質基底核変性症、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、原発性側索硬化症、家族性痙性対麻痺など）、神経免疫疾患（重症筋無力症、ランバート・イートン症候群、多発性硬化症、視神経脊髄炎、慢性炎症性脱髄性多発神経炎など）、機能性疾患（てんかん、ジストニア、頭痛、本態性振戦など）、認知症（アルツハイマー型認知症、レヴィー小体型認知症、前頭側頭型認知症、血管性認知症など）といった神経難病から日常に支障が出る身近な疾患まで脳神経内科領域の疾患を幅広く診療している。

昨年は多発性硬化症・視神経脊髄炎スペクトラム障害の診療ガイドラインが改訂され、更なる生物学的製剤の使用増加が予想され、現に外来でも使用患者が増えている。標準的治療が当院で確実になされるように当科でも新規薬剤が皆扱えるようになるため情報収集と指導を継続していく必要がある。

### <診療実績>

2023年の入院患者内訳を以下に示す。入院疾患の大多数は虚血性脳血管障害だが、パーキンソン関連疾患による合併症入院や重症筋無力症、多発性硬化症といった神経免疫性疾患なども時々入院した。高齢者が多数を占めており、平均在院日数は21日とやや長かった。ここ数年の剖検は年間2例前後で推移しており、2023年にはCPCも1症例行い症例を振り返ることで今後の診療に活かされることと期待している。

疾患名		件数
脳血管障害	脳梗塞	162
	一過性脳虚血発作（TIA）	10
	その他（PRES等）	2
変性疾患	パーキンソン病関連疾患	15
	筋萎縮性側索硬化症	7
認知症疾患	レヴィー小体型認知症	2
	アルツハイマー型認知症	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1
自己免疫性疾患 および 炎症性疾患	辺縁系脳炎	3
	重症筋無力症	3
	Stiff Person 症候群	3
	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	3
	多発性硬化症	1
	その他	6
感染性疾患	脳炎・髄膜炎等	4
機能性疾患	てんかん	27
	めまい症	8
その他		36
合計		295

## ●総合診療内科（2023年度）

施設認定：日本病院総合診療医学会認定施設

部長：塩尻俊明

医長：宮本翔平

専攻医：榎本雅之 和泉貴生 福永宗一郎

当科は、2010年から入院患者受け入れを開始した比較的新しい診療科であり、入院対象患者は、虚血性脳血管障害、尿路感染症、敗血症・菌血症、肺炎、糖尿病、電解質異常、膿瘍、てんかん、不明熱、皮膚・軟部組織感染症、ウイルス感染症、椎体炎、偽痛風、慢性閉塞性肺疾患、副腎不全、低体温症、リウマチ性多発筋痛症、間質性肺炎など多岐に及んでいる。

救急外来からの患者受け入れ基本コンセプトは、上記疾患群に加えて、いくつかの専門科にまたがる複数の疾患をもつ患者、どこの専門内科に属するのかが不明の患者、主病名が内科以外の他科であるが、内科合併症や全身状態が不良のため内科管理が必要な患者、また、集中治療が必要な重篤疾患を抱えているが、緩和的加療が中心となる超高齢者、内科専門科に属せない複合的問題を抱えている患者や社会的複雑な背景を持った患者など24時間体制で受け入れている。

入院患者は、8階西病棟を中心に50床から60床体制で受け入れている。過去5年間の入院患者数は、2019年度1,056名、2020年度1,012名、2021年度902名、2022年度868名、2023年度788名で、ここ数年はコ

ロナ禍の影響もあるのか減少傾向となっている。入院患者の担当は、2チーム体制で、それぞれスタッフをチームリーダーとし、担当医は初期研修医に任せている。午前はほぼ毎日部長回診を行い、昼にケースカンファレンス、夕方にはチームリーダーによるチャートラウンドが行われている。

外来診療においては、火曜日、木曜日の午前、週2回総合診療内科の初診外来を開設している。

特に、木曜日は新専門医制度の外来研修が必須されていることもあり、シニアレジデントの教育を兼ねた外来としている。シニアレジデントがまず診察した上で、スタッフと議論し方針を決定する屋根瓦方式をとっている。外来では、通常の一般内科の業務に加えて、他の医療機関や院内において診断困難症例の診療を受け入れている。

また、当科は初期研修医の教育的機能も担っている。ベッドサイドを中心に問診、身体所見など基本的診療技能を主に教育項目としている。週2回はケースカンファレンスを研修医向けに開き、臨床推論の方法論についての教育も行っている。また、週1回は、身体診察の勉強会を開催している。対外的には、医学生向けの臨床推論を学ぶためのカンファレンスを毎年定期的に企画している。

# ●アレルギー・膠原病内科(2023年度)

1年間のまとめ(2023年4月～2024年3月)

日本リウマチ学会 膠原病・リウマチ内科領域研修施設(基幹施設)、専門研修認定施設  
日本アレルギー学会専門医教育研修施設  
千葉県アレルギー疾患基幹病院

## ■診療体制

部長:加々美新一郎

部長心得:松浦功

医長:杉山隆広

後期研修医:村松瑤紀、小沢一世、伊藤康彦

## 外来担当

### ・リウマチ膠原病外来

月曜日:加々美、松浦、杉山

火曜日:加々美、松浦、餌取(千葉大)

水曜日:加々美、松浦/小沢

木曜日:加々美、村松、策(国際医療福祉大)

金曜日:瀬戸、廣瀬(国際医療福祉大)

### ・喘息・アレルギー外来

金曜:目黒(千葉大)

### ・関節超音波検査:月曜日、水曜日、金曜日

## ■診療のまとめ

### 入院診療

総退院数はほぼ横ばいで推移しているが、平均在院日数が短縮している。(表1)

これは寛解導入療法の一部を外来で行う方針としたことと症例によっては病診連携の強化により早期に転院先を決定するといった方針の影響と思われる。

疾患としては高齢化が一因と考えられる血管炎症例が目立つようになっている。

### 2021年度～2023年度の入院診療実績

表1

	2021年度	2022年度	2023年度
総退院数	327人	284人	292人
平均在院日数	22.7日	23.8日	21.8日

## 外来診療

いわゆるかかりつけの患者数は緩徐に増加しているが一方で新患者数は減少傾向にある。(表 2, 3) 地域の人口の減少や国際医療福祉大学成田病院の開院の影響と思われる。かかりつけの患者の年齢も高齢化が進んでいると思われ、今後の診療に影響すると思われる。生物学的製剤や JAK 阻害薬など新規の薬剤を積極的に導入している。関節超音波件数は高い件数が維持されている。(表 4)

### 2021 年度～ 2023 年度上期の外来診療実績

表 2

通院患者数	2021 年度	2022 年度	2023 年度
リウマチ膠原病	2,954 人	3,030 人	3,208 人
喘息・アレルギー	644 人	211 人	189 人

表 3

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
新患者数	493 人	465 人	447 人

表 4

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
関節超音波件数	823 件	788 件	804 件

## ■学術的活動

今年度も積極的に学会・研究会での発表および論文発表も行った。

また日本リウマチ学会総会・学術集会、内科学会関東地方会では発表演題が賞を受賞した。

### 学会・研究会

日本リウマチ学会総会・学術集会：4 演題 (秀逸ポスター賞 1 演題)

日本内科学会関東地方会：3 演題 (関東地方会奨励賞 1 演題)

千葉県膠原病セミナー：2 演題

日本リウマチ学会関東支部学術集会：2 演題

### 原著論文

Reduced-dose versus high-dose glucocorticoids added to rituximab on remission induction in ANCA-associated vasculitis: predefined 2-year follow-up study.

Furuta S, Nakagomi D, Kobayashi Y, Hiraguri M, Sugiyama T, Amano K, Umibe T, Kono H, Kurasawa K, Kita Y, Matsumura R, Kaneko Y, Ninagawa K, Hiromura K, Kagami SI, Inaba Y, Hanaoka H, Ikeda K, Nakajima H; LoVAS collaborators. Ann Rheum Dis. 2024 Jan 2;83 (1) :96-102.

Fibroblast growth factor receptor 1 as a potential marker of terminal effector peripheral T helper cells in rheumatoid arthritis patients.

Etori K, Tanaka S, Tamura J, Hattori K, Kagami SI, Nakamura J, Ohtori S, Nakajima H. Rheumatology (Oxford). 2023 Nov 2;62 (11) :3763-3769.

Clinical significance of cytomegalovirus (CMV) pp65 antigenemia in the prediction of CMV infection during immunosuppressive therapy for rheumatic disease.

Suga K, Nishiwaki A, Nakamura T, Kagami SI. Rheumatol Int. 2023 Jun;43 (6) :1093-1099. doi: 10.1007/s00296-022-05196-z. Epub 2022 Aug 30.

TAp63, a methotrexate target in CD4+ T cells, suppresses Foxp3 expression and exacerbates autoimmune arthritis.

Suga K, Suto A, Tanaka S, Sugawara Y, Kageyama T, Ishikawa J, Sanayama Y, Ikeda K, Furuta S, Kagami SI, Iwata A, Hirose K, Suzuki K, Ohara O, Nakajima H. JCI Insight. 2023 May 22;8 (10) :e164778.

#### 治験

国立研究開発法人日本医療研究開発機構難治性疾患実用化研究事業

「本邦のシュニッツラー症候群患者の急性期炎症所見に対するカナキマブを用いた多施設医師主導治験」

#### 企業治験

関節リウマチ 1 件、遺伝性血管浮腫（希少疾患）1 件

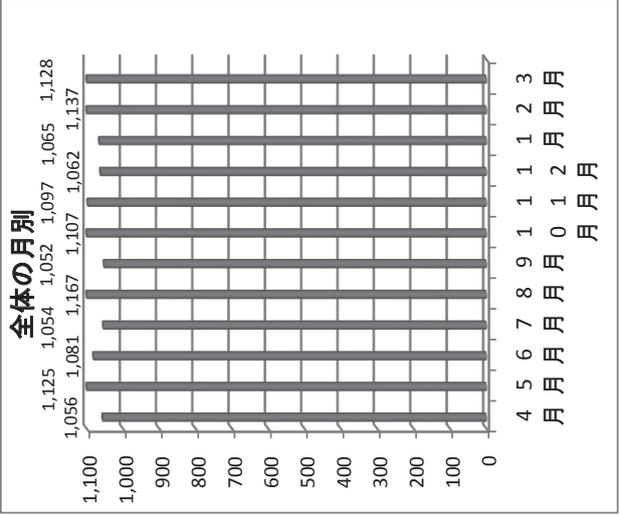
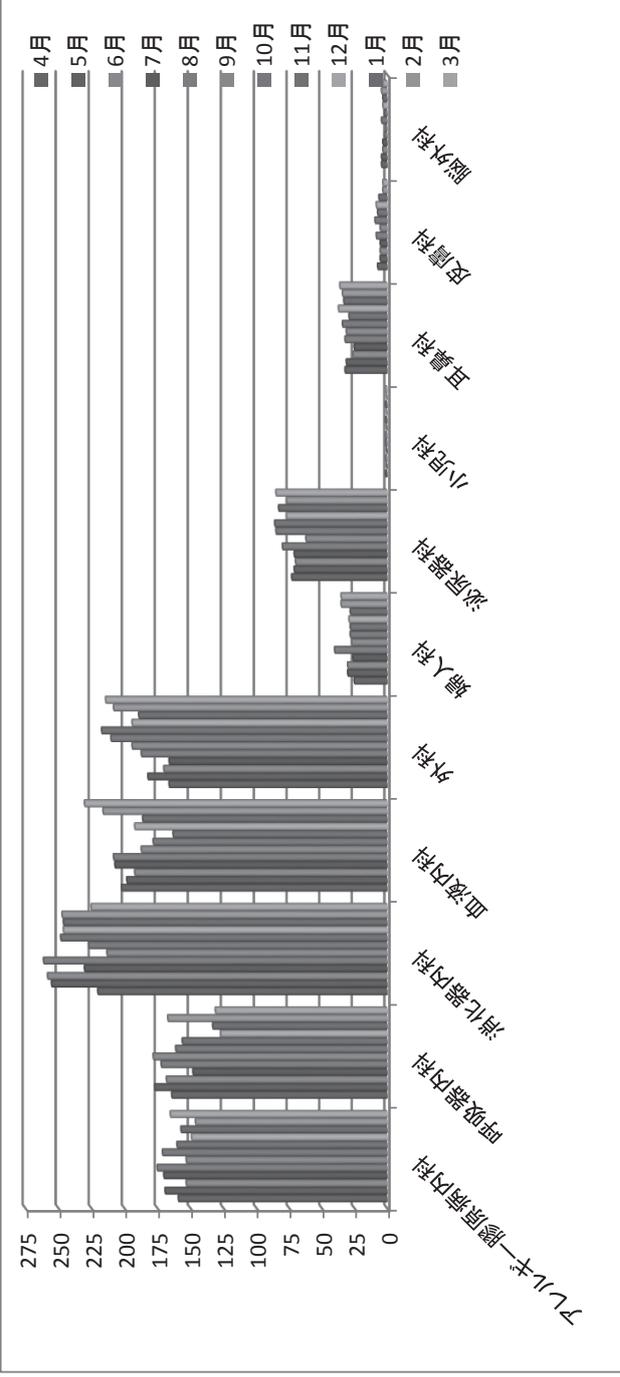
(文責：加々美新一郎)

# ●化学療法センター (2023年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アレルギ-膠原病内科	159	169	153	170	175	153	171	160	149	157	146	165	1,927
呼吸器内科	164	177	168	148	172	178	161	156	127	133	167	131	1,882
消化器内科	220	255	258	230	261	213	227	248	246	246	247	225	2,876
血液内科	202	198	192	207	208	187	178	163	192	186	216	230	2,359
外科	166	182	170	166	187	194	210	217	194	189	208	214	2,297
婦人科	25	30	30	26	40	27	28	28	29	28	35	35	361
泌尿器科	73	71	70	71	80	62	85	86	77	83	77	85	920
小児科	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	7
耳鼻科	32	31	26	25	32	31	34	29	37	33	34	36	380
皮膚科	7	5	5	5	8	5	9	7	8	6	3	3	71
脳外科	4	4	3	3	2	1	4	2	3	3	4	3	36
歯口科	3	3	5	3	1	0	0	0	0	0	0	0	15
2023年の件数・月合計/日平均	1,056/53	1,125/56	1,081/49	1,054/53	1,167/53	1,052/53	1,107/53	1,097/55	1,062/53	1,065/56	1,137/60	1,128/56	13,131
2022年の件数・月合計/日平均	1,073/54	1,014/53	1,081/49	1,003/50	1,106/50	1,086/54	1,089/54	1,129/56	1,117/56	1,083/57	1,051/55	1,194/54	13,026
2021年の件数・月合計/日平均	1,069/51	925/51	1,060/48	999/50	1,042/50	1,059/53	981/47	999/50	1,024/51	1,049/55	998/55	1,234/56	12,439

件

各診療科の月別



## ●透析センター（2023年）

2023年12月末現在の当院における透析患者数は386名（HD 381名、PD 5名（HD併用を含む））であった。2022年末が382名（HD 378名、PD 4名）であったことより、全体で4名の増加（+1.0%）であり、透析療法別にみるとHDは3名の増加（+0.8%）で、PDは1名の増加（+25%）であった。2023年における新規透析導入患者は108名（2022年は103名）で増加しているが（+4.9%）、ここ10年間をみるとそれほど大きな変動はない。死亡者数は56名（2022年は58名）であり、昨年と比較して2名減少している（-3.4%）。

当院では、慢性透析療法（HD、PD）以外に、急性血液浄化療法や特殊治療も行っている。PD単独を除いた慢性・急性血液浄化療法件数は2023年の一年間で53,851件（2022年57,636件）にのぼった。浄化療法別では、2020年の血液浄化機器の新規機器への更新に伴い、血液浄化療法のモダリティが変化したことが挙げられる。2020年を最後に（間欠的）血液透析は施行されなくなりオンラインHDFと間欠補充型血液透析（濾過）（i-HDF）に置き換わった。2023年では、（オンライン）HDFおよびi-HDFの合計が53,158件であり、これらで全体の98.7%を占めていた。その他として、持続血液濾過透析（CHDF）、血漿交換、二重濾過血漿交換、血液吸着、エンドキシン吸着、腹水濾過濃縮再静注法（CART）、末梢幹細胞採取なども行われた。外科的治療や血管内治療に難渋する重症下肢虚血に対するLDL吸着（レオカーナ）は2021年から施行されており、2021年は34件、2022年は58件、2023年は102件に行われている。患者の高齢化などにもない対象患者のさらなる増加が想定される。

慢性血液透析患者では、十分な透析療法を行うために良好な血流を確保できる血管アクセスが必要であり、血管アクセスを確保するためにアクセス造設術あるいは修復術を行う必要がある。2023年における当院での血管アクセス関連手術（長期留置カテーテルを含む）であるが全体で170件（長期留置カテーテル9件）であり、2022年（193件）と比較して23件（-11.9%）減少した。血管アクセス関連手術の内訳は内シャント116件（68.2%）、人工血管内シャント1件（0.6%）、動脈表在化41件（24.1%）、長期留置カテーテル9件（5.3%）、その他（血栓除去術、静脈結紮術等）3件（1.8%）であった。当院の特徴として動脈表在化の割合が高いが、他院よりアクセス造設困難で紹介される症例は血管が荒廃している場合が多く、また、心機能を含め全身状態不良のために紹介される症例も少なくないという理由によるものと思われる。一方、狭窄したアクセスの修復等に関しては、25年ほど前より経皮的血管拡張術（PTA）を行っているが、2023年におけるPTA件数は218件と2022年（172件）と比較して46件増加（+26.7%）している。超音波ガイド下でのPTAは減少（41件→11件）しており、コロナを含む感染症の影響による透析フロアーの使用制限が原因と思われる。透析医療の特殊性から、今後もコロナやインフルエンザなどの影響は少なからず残るものと思われるが、患者の安全を配慮しつつ対応していきたい。また、透析血管アクセス修復に関する他院からの紹介は2022年45件であったが、2023年は69件と増加しており、今後も近隣の施設との連携を密にして対応していきたい。

シャントPTA件数 2023年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
アンギオ室	11	18	13	16	18	19	14	18	17	14	28	21	207
エコーガイド	0	0	0	0	1	3	2	1	1	3	0	0	11
合計	11	18	13	16	19	22	16	19	18	17	28	21	218

他院からの紹介	3	4	5	3	8	9	3	5	5	7	6	11	69
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----

アクセス手術件数 2023年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
内シャント	8	12	10	6	9	13	17	4	9	10	8	10	116
グラフト内シャント	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
動脈表在化	4	2	3	3	3	4	2	2	7	3	5	3	41
長期留置カテーテル	1	0	0	0	0	1	3	0	1	0	0	3	9
その他	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
合計	14	15	13	9	12	19	22	6	18	13	13	16	170

## ●外科（2023年度）

### 1. 人員体制

外科常勤医は22名（スタッフ13名、専攻医9名）、非常勤医1名である。甲状腺外科は、日本医科大学より杉谷巖教授を非常勤医として招聘している。

### 2. 診療

2023年度の手術件数は1,771件（中央手術室集計）で、昨年度と大きな変動はない。

消化器領域でロボット手術件数が増加しているが、12月に2台目が導入され、今後さらなる増加が見込まれている。昨年開設したHCU4床により術後患者をより早期に回復させ、早期退院に向けた術後管理を行っている。

### 3. チーム医療

理学療法士、薬剤師、栄養士、臨床検査技師など多職種によるチーム医療によって、術後合併症の低減と在院日数の短縮が図られている。

### 4. 地域連携

ソーシャルワーカーを中心に診療支援室や連携室の積極的な活動と、地域の医療施設・福祉施設のご協力とご理解により、紹介・逆紹介の件数が増加している。

### I：外科手術件数（2023.1月－2023.12月）

	2023年（内視鏡手術）	2022年（内視鏡手術）
合計	1,739件	1,746件
頸部	32	39
肺	162（87）	130（52）
縦隔	4	6
乳房	148	185
血管	87	84
消化器	1,074（487ロボット131）	1,000（453ロボット48）
食道	9（0）	12（0）
胃	103（46ロボット33）	120（40ロボット31）
十二指腸	7（0）	7（0）
小腸	76（7）	70（14）
虫垂	126（52）	97（37）
結腸	217（78,ロボット5）	198（70）
直腸	93（58ロボット23）	96（59ロボット17）
肛門	38	38
腸閉塞	65	43
肝	45（18ロボット4）	44（9）
胆道	252（212）	244（224）
膵	41（15ロボット7）	28（8）
脾	2（1）	2
ヘルニア	278	228
外傷	14	6
再手術	13	19
その他	71	83

## Ⅱ：予定手術における術後合併症

### 1) 消化器

食道 C-D 分類：Ⅲ a:1 例、Ⅲ b:1 例、Ⅳ a, Ⅳ b, Ⅴ :0

胃 C-D 分類：Ⅲ a:2 例、Ⅲ b:0、Ⅳ a, Ⅳ b:0、Ⅴ :1 例

結腸 C-D 分類：Ⅲ a:4 例、Ⅲ b:0、Ⅳ a0, Ⅳ b, Ⅴ :0

直腸 C-D 分類：Ⅲ a:5 例、Ⅲ b:6 例、Ⅳ a, Ⅳ b:0、Ⅴ :1 例

肝 C-D 分類：Ⅲ a:2、Ⅲ b:1 例、Ⅳ a, Ⅳ b:0、Ⅴ :1 例

胆道 C-D 分類：Ⅲ a:1、Ⅲ b, Ⅳ a, Ⅳ b0、Ⅴ :1 例

膵 C-D 分類：Ⅲ a:6、Ⅲ b:, Ⅳ a, Ⅳ b0、Ⅴ :1 例

#### ・消化器外科全体

手術関連死 5 (0.6%)

術死 2

在院死 3

### 2) 呼吸器

C-D 分類：Ⅲ a:7 例、Ⅲ b, Ⅳ a, Ⅳ b, Ⅴ :0

### 3) 乳腺

C-D 分類Ⅲ a:9 例、C-D 分類Ⅲ b:2 例、C-D 分類Ⅳ a, Ⅳ b, Ⅴ :0

### 4) 血管

腹部大動脈瘤（非破裂）27 例 術死 0

腹部大動脈瘤（破裂）4 例 術死 2 例

EVAR 22 例 術死 0

## Ⅲ：外科全体（予定・緊急）における術死及び手術関連死総数

19 例 (1.1%)

術死 8 (予定 2、緊急 3) 例

在院死 11 (予定 3、緊急 8) 例

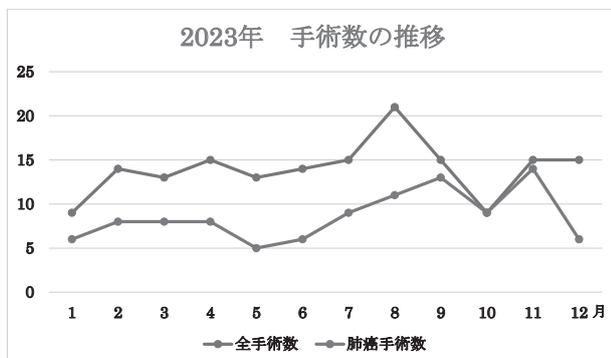
# ●呼吸器外科 (2023年)

## ●診療体制

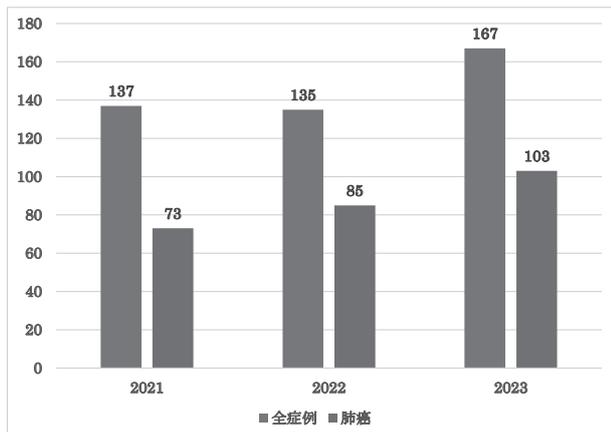
2023年1月から3月 桑野秀規・小林公彦

2023年4月から12月 桑野秀規・伊藤謙太郎

## ●手術数の推移



## ●3年間の手術件数の推移



## ●手術症例数

疾患名	症例数	
	2023年	2022年
原発性肺癌	103	85
嚢胞性肺疾患 (含:気胸)	21	19
転移性肺腫瘍	18	13
縦隔腫瘍	4	6
膿胸	8	5
縦隔炎	0	1
炎症性肺疾患	3	0
良性肺腫瘍	0	0
胸膜・心膜腫瘍	5	2
胸壁腫瘍	0	0
胸部外傷	4	1
その他の疾患	2	3
合計	168	135

## ●合併症

合併症名	2023年	2022年
遷延性肺癰・遅発性肺癰	7	7
肺炎	3	3
肺捻転	1	0
ARDS	0	0
気管支断端瘻	0	1
肺血栓塞栓症	1	1
術後48時間以上の人工呼吸器	0	0
再挿管	0	0
気管切開 (ミニトラック挿入を含む)	0	1
治療を要する上室性不整脈	4	0
治療を要する心室性不整脈	1	0
心筋梗塞	0	0
再手術を要する出血	0	0
尿路感染	1	2
膿胸・縦隔炎	2	1
創感染	5	2
敗血症	0	1
新たな中枢神経障害 (TIA・脳梗塞)	1	0
反回神経麻痺	0	1
その他の神経合併症	0	1
治療を要する腎不全・術前の2倍以上のCr値上昇	0	0
ドレナージ・内科治療を要する乳び胸	0	1
外科治療を要する乳び胸	0	0
せん妄	3	3

## ●手術死亡

	2023年	2022年
定時	0	0
緊急	0	1*
合計	0	1*

※心停止後の縦隔炎

## ●原発性肺癌

### ●術式

	2023年	2022年
肺葉切除	76	67
部分切除	16	15
区域切除	8	0
肺全摘術	0	0
二葉切除	1	1
試験開胸	2	2

●アプローチ

	2023年	2022年
前側方	21	10
後側方	34	48
胸腔鏡	48	27

●合併切除

	2023年	2022年
隣接肺部分切除・区域切除	2	0
壁側胸膜・縦隔胸膜	3	0
肺動脈形成	0	0
胸壁（骨性胸郭）	2	0

●組織型

	2023年	2022年
Adenocarcinoma	77	65
Squamous cell carcinoma	17	15
LCNEC	1	2
Adenosquamous carcinoma	2	2
Small cell carcinoma	3	0
Pleomorphic carcinoma	2	1
Giant cell carcinoma	0	0
Atypical carcinoid	1	0
Typical carcinoid	0	0
Unclassified non-small cell carcinoma	0	0

●転移性肺腫瘍

原発臓器	2023年	2022年
大腸癌	9	7
胆管癌	0	1
膵臓癌	1	1
乳癌	1	1
咽頭癌	1	1
耳下腺癌	1	0
食道癌	0	0
腎細胞癌	3	1
子宮頸癌	2	1

●縦隔腫瘍

	2023年	2022年
胸腺腫	3	3
胸腺癌	0	2
その他	1	1

●その他の疾患・術式

	2023年	2022年
肋骨固定術	2	1
その他の胸部外傷手術	2	0
胸腔内血種除去術	0	1
心膜開窓術 心膜生検	1	0
炎症性肺疾患	3	0
胸膜生検	5	2
乳幼児気管切開	0	1
術後肺癆閉鎖	0	1
肺捻転に対する手術	1	0

## ●乳腺センター（2023年度）

### ○認定施設

日本乳癌学会認定施設

日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定エキスパンダー実施施設

日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定インプラント実施施設

### ○スタッフ

乳腺センター長・乳腺外科部長 平野稔

乳がん看護認定看護師 新井田明美、他看護師 1 名

事務（パート含） 3 名

### ○診療体制

		月	火	水	木	金
午前	初診・再診	平野	平野	手術日	平野	平野
午後	再診	平野	平野		平野	平野

### ○外来患者数

	2023 年度			紹介件数	
	初診	再診	合計	合計	(内、市町村 検診後)
4月	47	508	555	24	2
5月	42	502	544	21	4
6月	101	541	642	75	54
7月	128	536	664	106	81
8月	65	535	600	45	33
9月	69	534	603	44	16
10月	62	578	640	30	10
11月	81	530	611	56	29
12月	45	549	594	31	9
1月	57	545	602	37	2
2月	56	558	614	22	2
3月	38	597	635	23	1
総計	791	6,513	7,304	514	243

### ○手術件数

2023 年度	
4月	19
5月	12
6月	15
7月	17
8月	17
9月	4
10月	18
11月	17
12月	12
1月	17
2月	11
3月	8
総計	167

### ○化学療法センター利用件数

2023 年度	
4月	66
5月	67
6月	71
7月	66
8月	70
9月	74
10月	73
11月	65
12月	66
1月	80
2月	92
3月	83
総計	873

## ●小児科（2023年度）

施設認定：小児科専門医研修基幹施設

### 2023 年度活動状況、トピックス

- ・ 人事異動：東大小児科プログラムで研修中の安藤博貴と野村建斗の 2 名が 4 月の異動で着任した。また、当科プログラムで他施設研修中であった星加史郎、木山 崇が、それぞれ 5 月、8 月に復職した。10 月からは野村建斗と交代で長瀬吏咲が着任した。年度末には、常勤スタッフの荒川真梨子（当院勤務歴 8 年）、当科で小児科専門研修を修了した星加史郎（同 5 年）、木山 崇（同 5 年）、浜崎 亮（同 3 年）、小森和磨（同 2 年）の 4 名と長瀬吏咲（同 6 か月）、計 6 名が新たな研修施設への異動のため退職した。
- ・ 診療体制の概要：外来診療は、循環器、神経専門領域で他施設専門医を招聘しているが、その他の主なサブスペシャリティ領域では、他科診療科の支援も得ながら専攻医を含めた院内常勤医が担当し従来体制を継続している。時間外診療は、平日は病棟当直 1 名+準夜救急 1 名、休日は病棟当直 1 名+救急日直 1 名+準夜救急 1 名の体制を維持することができた。
- ・ 質目標の振り返り：働き方改革の準備として、年度後半は休祭日当直明けの代償休息取得を部分的に開始した。医師記載のインシデントレポートは前年度 4 件から 27 件と大幅に増加した。また、コロナ禍で中止していた病棟の院内学級とプレールーム利用を再開した。入院患者の付き添い家族負担軽減については引き続き検討中である。外来診療報酬請求の見直しと徹底を行ったが効果は限定的であり、再度見直しが必要である。

### 診療実績

過去 10 年間の入院患者数を図 1 に、2023 年（1～12 月）の入院症例疾患概要を表 1 に示す。年間入院患者数は新型コロナウイルス感染症流行後大幅に減少したが、2023 年 5 月の 5 類感染症移行とともに増加傾向にあり、2023 年は延べ 991 名であった。2023 年度の外来受診者数は 24,781 名と前年度（23,294 名）より 6.4% 増加した。

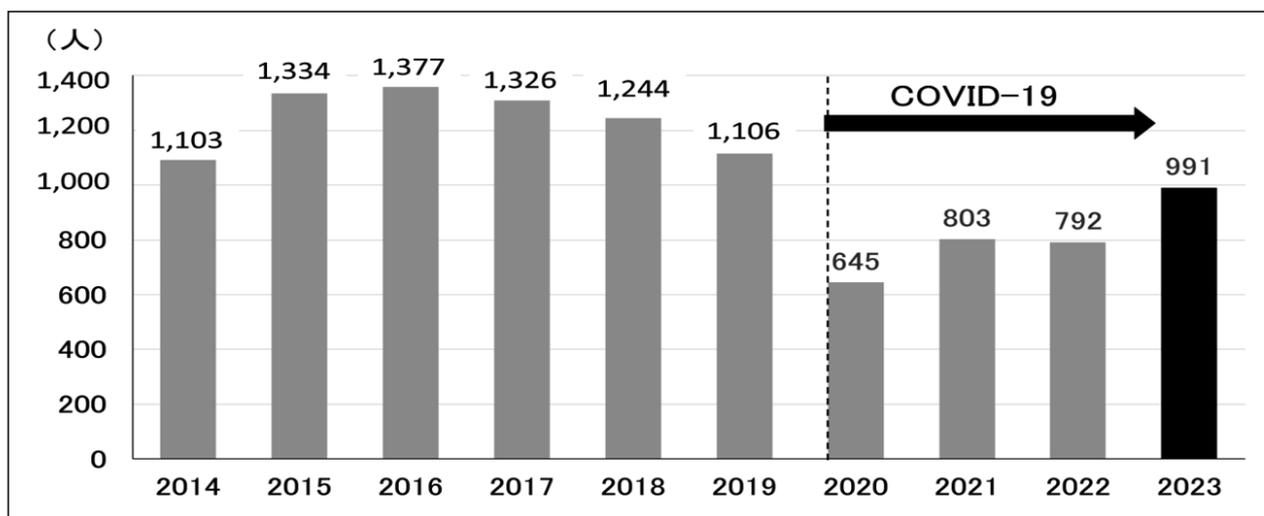


図 1. 過去 10 年間の小児科病棟入院患者数

表 1. 小児科入院患者疾患概要（主要疾患のみ、一部重複あり、2023年1～12月）

概要			
入院総数	991名	死亡	0名
人工呼吸	30名		
転院	14名	重症心身障害児（者）	延べ45名
疾患概要			
■呼吸器疾患		■（急性）神経疾患	
喘息	97	熱性けいれん	85
細気管支炎	68	てんかん	38
肺炎	61	けいれん重積	35
クループ	10	けいれん群発	26
		急性脳症	7
■ウイルス感染症		無菌性髄膜炎	2
RSウイルス感染症	94	硬膜下血腫	2
COVID-19	47	Bell麻痺	0
ヒトメタニューモウイルス	40		
インフルエンザ	36	■精神疾患	
突発性発疹	11	摂食障害	9
ノロウイルス	7	身体表現症	8
■血管炎・アレルギー疾患		■消化器疾患	
食物負荷試験	65	ウイルス性胃腸炎	32
川崎病	24	腸重積	12
アナフィラキシー	12	炎症性腸疾患	7
IgA血管炎	1	細菌性腸炎	6
乳児消化管アレルギー	1	肥厚性幽門狭窄症	0
若年性特発性関節炎	0		
		■腎・尿路疾患	
■重症細菌感染症		ネフローゼ症候群	2
尿路感染症	30	急性腎障害	1
菌血症（市中発症）	3	膀胱尿管逆流症	1
細菌性髄膜炎	1	尿細管間質性腎炎	0
		■血液・腫瘍性疾患	
		脳腫瘍	2
		血小板減少性紫斑病	2
		■循環器疾患	
		先天性心疾患	19
		不整脈	0
		■内分泌疾患	
		低身長（検査）	26
		低血糖症	9
		糖尿病	2
		■その他救急疾患	
		虐待・ネグレクト	11
		動物咬傷	2
		薬物誤飲・中毒	1
		自殺企図	1
		熱傷	0
		その他の外傷	4
		（咽頭刺傷）	2

### 今後の課題と展望

「働き方改革」に伴う勤務時間制限を遵守しながら時間外診療の質を維持していくことが最も困難かつ重要な課題である。地域小児科クリニックが減少しており、自治体の保健サービス業務への支援も基幹施設として重要な責務である。そのためにも十分な医師数確保は不可欠であり、引き続き千葉県内外の大学や他施設にも協力を要請していく予定である。一方、前年度2名に減員になった小児科専属発達支援専門スタッフ（言語聴覚士、公認心理師）の増員が実現したため（4名）、需要が増加している発達相談や思春期患者への相談対応を早急に軌道に乗せていく必要がある。重症心身障害児（者）に対する在宅訪問診療、災害への備え、医療的ケア児への対応を含めた教育機関との連携、入院患児の付き添い負担の軽減なども重要な課題である。

（文責 北澤克彦）

## ●新生児科（2023年）

総入院数	402
内新生児搬送	54
再入院数	11

◆出生体重別	
1,000g未満	1
1,001～1,500g	8
1,501～2,000g	24
2,001～2,500g	78
2,501g以上	291
人工呼吸器	17

## ●心臓外科（2023年度）

### ① 2023年度の方針・概要

2023年も常勤医4名の体制であった。2023年心臓大血管手術数は103件とかわらうじて100件を超えた。2019年4月から開始したTAVI（経カテーテル大動脈弁植込術）手術数が57件で、TAVIを含めた心臓大血管手術数は160件と前年並みであった。手術の内訳としては、虚血性心疾患の手術数は横ばい、昨年度減少した心臓弁膜症手術数がやや回復、大動脈手術数は例年並みであった。右小開胸によるMICS手術数は25件と増加傾向、心房細動に対する左開胸による左心耳閉鎖術を新たに開始した。

2023年度の当科の部署「質」目標として、1.手術成績の安定化、2.入院日数の短縮、3.手術症例数の維持、4.緊急手術への常時対応を上げていた。また、それぞれの方針に対して、1.定時手術死亡ゼロを目指す（目標値5%以下）、2.DPC入院期間I,IIでの退院比率65%以上、3.心大血管手術件数年120件（月10件）、4.緊急手術症例全例受入れを目指す（当院で8割以上の対応目標）ことを目標として設定していた。

2023年手術数に関して、心臓外科手術件数は総数160例、うち心臓大血管手術数103例で、年間120例（心臓大血管手術100例）の目標に到達した。手術死亡8例のうち5例は緊急手術症例、定時手術症例は3例でそのうちTAVI症例が1例であった。TAVIを除く待機手術82例の手術死亡率は2.4%で目標を達成した。2023年度のDPC入院期間I,IIでの退院患者の比率は上半期64.7%、下半期45.2%と、目標に届かず。2023年度1年間の救急外来での緊急手術適応症例は50例で、うち40例（80%）を当院で対応できたが、3例は当科手術中のため、6例は麻酔科対応不可能のため、1例は満床のため当院で治療できず他院へ搬送となった。このほか、電話での要請の段階で7例を満床や手術室受け入れ不可能のため断った。緊急手術適応症例数自体は徐々に増加傾向であり、当科としては今後も可能な限り対応していく方針であるが、さらなる受入れ増加のためには麻酔科の体制強化が必要と思われる。

②手術統計

心臓大血管手術 2023 年	手術件数	手術死亡
弁膜症		
単弁手術 大動脈弁置換術	22	
TAVI	57	1
僧帽弁置換術	2	1
僧帽弁形成術	11	
二弁手術 大動脈弁置換術+僧帽弁形成術	2	
大動脈弁置換術+僧帽弁置換術	2	
大動脈弁置換術+三尖弁形成術	2	
僧帽弁置換術+三尖弁形成術	2	
僧帽弁形成術+三尖弁形成術	4	
三弁手術 二弁置換術+三尖弁形成術	1	
大動脈弁置換術+僧帽弁・三尖弁形成術	1	
虚血性心疾患		
人工心肺使用 単独冠状動脈バイパス術	5	2
人工心肺非使用 単独冠状動脈バイパス	15	
心筋梗塞合併症	1	1
心臓腫瘍	2	
成人先天性心疾患	1	
その他の心臓手術	1	
胸部大動脈疾患		
大動脈解離 急性大動脈解離 上行置換	3	
全弓部置換	10	2
真性大動脈瘤 大動脈基部置換	1	
上行置換	5	1
全弓部置換	6	
TEVAR	3	
破裂性 全弓部置換	1	
不整脈手術 (他の心臓大血管手術と併施)	(10)	
右小開胸手術 (MICS)	(25)	
合計 (TAVI 含む)	160	8

# ●整形外科（2023年度）

## 1. 2023年度のトピックス

### (1) 医師数について

医師数は昨年と同様であったが、千葉大学医局からの派遣医の1名は昨年度後半から勤務していた後期研修1年目が残留、また1名は初期研修医として当院での勤務歴があった。その他に4月1日から7月31日の期間と12月1日から3月31日の期間にそれぞれ1名ずつ1年目の後期研修医の派遣を受けた。

また千葉大学より文部教官、大学院生の外来応援を受けており、股関節、手の外科、スポーツ膝関節、足の外科専門医の外来も前年と同様開設された。

### (2) 手術件数について

総手術件数は1,066件（前年度976件）と前年度より9.2%増加した。

脊椎手術件数は178件（前年度159）、人工関節手術は93件（前年度80）と前年度より増加した。

外傷に関しては大腿骨近位部骨折の手術件数は216件（前年度187）と増加した。手術前待機患者の問題に関して手術室、麻酔科との話し合いの結果受け入れがスムーズになったことが奏功したと思われる。

尚、最大入院患者数は85人（前年度72）となった。

### (3) 地域連携バス運用

大腿骨近位部骨折に対しての地域連携バス運用をイムス佐原リハビリテーション病院と成田リハビリテーション病院に加えてシルバーケアセンターとの間でも始めることになった。入院早期からスムーズな連携を行うことで切れ目のない診療を行い、2次性骨折の予防を行って行きたいと考える。

### (4) 大腿骨近位部骨折の二次性骨折予防管理

昨年度にFLSチームを結成し、大腿骨近位部骨折の二次性骨折予防継続管理を開始した。

## ISO 質目標に基づいた振り返り

### (1) 医師の働き方改革の推進

勤務時間の把握のため必須であるタイムカード打刻率100%を目標とし、ほぼ達成できた。

### (2) 医療安全意識の向上

手術が夜間に及ぶことが多く、病院の主催する安全講習会の受講が困難なことから本年度もSafety plusの受講を奨励した。年2回の医療安全研修会は全員が受講した。

### (3) 医療の質、経営の質の向上

大腿骨骨折地域連携バスと二次性骨折予防管理料の算定に関しては2023年5月22日入院分から算定を開始し、2024年3月31日までに162件の登録と109件

の算定を行った。

## 2. 診療実績

年間整形外科新患者数 3,816人

最大入院患者数 85人

手術症例 1,066件

### 1. 骨折手術

鎖骨	ORIF	9
上腕骨	頸部 ORIF	13
	骨幹部 ORIF	2
頰上	ORIF	11
	経皮鋼線固定術（小児）	6
	頰部	
	外頰（小児）ORIF	6
	内頰（小児）ORIF	3
肘関節脱臼骨折	ORIF 靱帯再建	2
前腕	骨幹部 ORIF 橈骨	4
	尺骨	1
	両骨	7
	モンテジア骨折 ORIF	2
橈骨遠位端	ORIF	71
	一時的創外固定	5
橈骨頭	ORIF	3
	人工骨頭置換	1
肘頭	ORIF	4
手	手指 ORIF	4
	経皮鋼線固定術	8
	創外固定	1
骨盤	寛骨臼骨折 ORIF	1
	骨盤輪骨折 ORIF	2
	創外固定	1
仙骨	ORIF	1
大腿骨		
	転子部 ORIF	116
	頸部 ORIF	17
	人工骨頭置換術	81
	転子下 ORIF	2
	インプラント周囲骨折 ORIF	2
	骨幹部 ORIF	14
	一時的創外固定	3
	頰上 ORIF	2
	頰部 ORIF	2

膝蓋骨	ORIF	18	骨切り 後方矯正固定	2
下腿骨	脛骨近位 ORIF	15	経皮椎体形成	2
	一時的創外固定	2	MILD 法	2
	鏡視下 ORIF	1	顕微鏡下拡大減圧術	1
	脛骨 PCL 付着部 ORIF	1	血腫除去	1
	脛骨骨幹部 ORIF	9	椎間関節切除	1
	一時的創外固定	4	腰椎～腸骨 後方固定	1
	偽関節手術	1		
	脛骨遠位端 ORIF	7	3. 関節手術	
	一時的創外固定	4	人工関節手術	
	経皮鋼線固定術	1	人工股関節	39
足関節	両果 ORIF	11	再置換術	1
	外果 ORIF	11	人工膝関節	51 (うち UKA 22)
	外果+後果 ORIF	2	再置換術	1
	内果 ORIF	2	大腿骨近位骨切り術	1
	一時的創外固定	5	HTO	1
踵骨	ORIF	11	関節鏡視下手術	
リスフラン関節脱臼骨折	ORIF	2	前十字靭帯再建	4
中足骨	ORIF	2	鏡視下半月縫合	4
足趾			鏡視下関節鼠摘出術	1
経皮鋼線固定		1	鏡視下滑膜切除 授動術	1
抜釘		94	膝蓋骨脱臼 靭帯再建	1
2. 脊椎手術			肩鎖関節脱臼手術	1
頸椎	椎弓形成術	21	肘関節脱臼 靭帯縫合	1
	椎弓切除術	1	非観血的脱臼整復術 股関節	3
	前方椎体固定術	12	化膿性膝関節炎 関節内清掃	1
	後方固定術	29	化膿性足関節炎 関節内清掃	1
	前後同時固定	1	4. 手の外科	
	ハローベスト設置	1	腱縫合	10
頸椎～胸椎			腱移植	1
	後方固定術	12	腱移行	1
胸椎	前方固定	1	手関節形成	1
	後方固定術	6	靭帯再建	1
	硬膜内髄外腫瘍切除	2	靭帯縫合	1
	経皮椎体形成	1	腱鞘切開	19
胸腰椎	後方固定	17	滑膜切除	2
胸椎～腸骨	後方固定	1	授動術	1
腰椎	椎弓切除術	5	手根管開放術	35
	椎弓形成術	4	神経移行	16
	髄核摘出術	7	神経縫合	1
	後方固定術	3	手舟状骨骨折 ORIF	4
	後方椎体間固定術	35	デュピュイトラン拘縮手術	5
	前方椎体間固定術	11	母指 CM 関節症 関節固定	2
	前方後方同時固定術	5	中手骨矯正骨切り	1

母指 MP 関節ロッキング 観血的整復	1	6. 腫瘍	
化膿性腱鞘炎 洗浄 デブリドマン	10	腫瘍切除	2
腐骨除去	1		
骨切除	1	7. 切断術 リスフラン関節	1
		指断端形成	1
5. 足の外科		8. その他	
アキレス腱縫合	3	感染症（切開・デブリドマン・持続洗浄など）	10
滑膜生検	1	大腿異物切除	1

## ●リハビリテーション科（2023年度）

2023年度 疾患別新規処方件数

	理学療法		
	入院	外来	小計
脳血管障害	799	22	821
頭部外傷	105	2	107
その他の脳疾患	241	20	261
脊椎・脊髄疾患	218	145	363
神経筋疾患	33	4	37
運動器の疾患・外傷	632	152	784
切断	21	3	24
呼吸器疾患	955	5	960
循環器疾患	1,123	84	1,207
小児疾患	22	33	55
がん	1,536	184	1,720
浮腫	1	22	23
運動器不安定症	18	0	18
廃用症候群	1,624	3	1,627
松葉杖指導	2	158	160
その他の疾患	317	157	474
小計	7,647	994	
合計	8,641		

	作業療法		
	入院	外来	小計
脳血管障害	712	49	761
頭部外傷	77	5	82
その他の脳疾患	130	65	195
脊椎・脊髄疾患	86	35	121
神経筋疾患	26	0	26
運動器の疾患・外傷	273	133	406
切断	1	2	3
呼吸器疾患	17	0	17
循環器疾患	8	1	9
小児疾患	0	10	10
がん	28	0	28
運動器不安定症	10	0	10
廃用症候群	130	0	130
その他の疾患	20	2	22
小計	1,518	302	
合計	1,820		

	言語聴覚療法		
	入院	外来	小計
脳血管障害	645	23	668
頭部外傷	41	2	43
その他の脳疾患	128	1	129
脊椎・脊髄疾患	14	0	14
神経筋疾患	16	0	16
運動器の疾患・外傷	60	0	60
呼吸器疾患	454	0	454
循環器疾患	64	0	64
がん	113	0	113
廃用症候群	304	1	305
その他の疾患	67	2	69
小計	1,906	29	
合計	1,935		

療別業務年報

理学療法 2023 年度

診療行為	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位		
心大血管	外来	71	208	53	158	77	231	72	216	97	290	77	226	67	199	69	207	58	173	47	141	52	156	50	150	790	2,355	
	入院	832	1,145	816	1,183	969	1,227	797	998	853	1,023	723	898	700	951	755	936	807	995	769	915	590	684	677	793	9,288	11,748	
脳血管	外来	151	330	136	291	143	302	139	302	143	311	155	341	150	324	126	279	130	286	104	237	115	262	103	232	1,595	3,497	
	入院	1,249	1,687	1,589	2,083	1,333	1,801	1,232	1,584	1,408	1,738	1,476	1,716	1,289	1,594	1,365	1,611	1,351	1,626	1,397	1,730	1,431	1,687	1,421	1,610	16,541	20,477	
脳血管(減)	外来	1	2	14	28	7	14	7	13					6	12	3	6					1	2			39	77	
脳血管(要介減)	入院	18	20	46	49	38	44	43	43	27	31	21	23	19	23	35	43	33	37	9	9			3	3	292	325	
運動器(1)	外来	143	276	160	312	180	355	171	338	173	344	148	288	179	354	162	319	156	305	124	246	148	303	128	264	1,872	3,704	
運動器(減)	入院	991	1,437	1,016	1,422	965	1,415	791	1,087	807	1,072	741	955	965	1,266	1,211	1,422	1,102	1,392	894	1,106	985	1,178	1,111	1,353	11,579	15,105	
運動器(要介減)	外来	2	4	8	16	9	18	6	12	3	6	4	8	8	8	1	2	8	16	5	10	3	6	1	2	50	100	
呼吸器	入院	5	6	38	41	18	18	20	20	19	20	15	16	8	8	2	2	4	4	4	4	6	2	2	6	10	141	153
廃用(要介減)	外来	2	6	2	6	2	6			5	12	5	11	5	10	3	6	2	4	1	2					7	7	
廃用(減)	入院	596	735	690	899	852	1,145	880	1,222	870	1,114	908	1,119	970	1,268	649	825	678	851	836	1,012	793	920	680	751	9,402	11,861	
廃用(要介減)	外来	2	6	1	3	3	9	1	3	5	12															12	33	
廃用(減)	入院	1,105	1,430	1,066	1,439	1,322	1,684	1,227	1,517	1,200	1,501	1,108	1,306	1,091	1,347	912	1,104	1,082	1,355	1,020	1,183	1,177	1,329	1,061	1,197	13,371	16,392	
がん患者	外来	32	39	54	75	39	42	17	17	45	53	44	52	69	91	43	55	31	33	6	7	31	32	26	26	437	522	
リンパ浮腫(重度)	入院	8	8	12	12	9	9	13	13	11	11	10	12	12	15	3	5					1	1	1	8	87	94	
リンパ浮腫(重度以外)	外来	1,137	1,499	948	1,197	994	1,268	947	1,200	1,123	1,402	1,065	1,236	1,129	1,348	1,063	1,288	1,122	1,355	1,076	1,281	1,094	1,319	1,122	1,334	12,820	15,727	
コストなし	入院	42	42	34	34	42	42	36	36	41	41	42	42	48	48	40	40	50	50	45	45	39	39	52	52	511	511	
早期加算(心大血管)	外来	50	60	37	45	44	51	42	54	39	52	44	56	65	80	53	63	44	50	54	56	43	55	60	74	575	696	
早期加算(心大血管)	入院	88	97	55	58	71	80	83	86	61	67	60	69	55	60	68	76	64	75	51	57	111	120	86	92	853	937	
初期加算(脳血管)	外来	749	1,034	718	1,030	846	1,068	587	745	673	806	568	684	532	714	656	803	633	782	577	672	462	527	558	640	7,559	9,505	
初期加算(脳血管)	入院	573	768	553	774	623	782	439	559	518	634	391	456	413	558	477	587	492	605	476	562	317	353	419	474	5,691	7,112	
初期加算(運動器)	外来	947	1,297	1,116	1,435	808	1,083	886	1,127	1,005	1,222	1,066	1,231	864	1,072	1,018	1,205	957	1,159	1,055	1,304	1,067	1,258	1,028	1,151	11,817	14,544	
初期加算(運動器)	入院	593	778	642	784	513	673	519	652	695	829	620	712	517	624	703	821	557	673	632	763	664	770	624	682	7,279	8,761	
初期加算(呼吸器)	外来	826	1,189	847	1,157	774	1,111	657	904	714	947	590	763	800	1,047	1,037	1,220	904	1,135	676	830	742	878	882	1,058	9,449	12,239	
初期加算(廃用)	入院	544	780	520	724	493	692	457	621	440	574	400	520	541	716	669	801	570	721	425	512	509	604	591	704	6,159	7,969	
在宅訪問	外来	455	567	575	768	706	946	655	888	683	844	771	951	744	953	491	603	560	702	676	820	666	760	552	602	7,534	9,404	
在宅訪問	入院	339	424	414	543	485	623	413	553	505	608	484	579	480	577	314	377	428	537	476	559	495	571	386	417	5,219	6,368	
在宅訪問	外来	785	985	806	1,090	1,051	1,307	965	1,174	989	1,221	878	1,028	890	1,100	782	957	908	1,122	793	907	903	1,019	807	906	10,557	12,816	
在宅訪問	入院	520	634	544	749	697	832	656	795	670	804	601	703	578	724	549	656	616	761	502	584	596	673	545	618	7,074	8,533	
在宅訪問	300 訪問	3	6	4	7	4	7	4	8	5	10	6	12	2	4	2	4	4	8	5	10	5	10	3	6	47	92	
在宅訪問	外来合計	464	934	445	893	507	1,028	474	974	506	1,068	475	972	520	1,027	457	922	448	884	380	737	401	823	395	775	5,472	11,037	
在宅訪問	入院合計	6,063	8,105	6,330	8,458	6,610	8,733	6,050	7,797	6,424	8,032	6,171	7,402	6,321	7,985	6,120	7,381	6,277	7,728	6,075	7,319	6,227	7,284	6,212	7,188	74,880	93,412	

作業療法 2023 年度

診療行為	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計											
	人数	単位数																																		
心大血管	7	7	14	19	26	45	37	68	8	8	8	5	8	4	2	4	1	2	1	1	1	4	5	26	28	8	15									
	外来	入院																																		
	205		14	19	26	45	37	68	8	8	5	8	4	2	4	1	2	1	1	1	4	5	26	28	157	228										
脳血管	63	126	58	119	43	92	51	110	60	141	75	161	80	164	71	151	58	129	67	147	70	147	70	147	52	115	748	1,602								
	外来	入院	外来	入院																																
	1,057	1,533	1,325	1,765	1,102	1,569	1,019	1,498	1,128	1,641	1,176	1,450	1,106	1,529	1,143	1,453	1,158	1,633	1,173	1,542	1,224	1,554	1,244	1,560	1,385	1,855	1,872	5,375								
脳血管(減)			1	1	2	2	1	2	1	2	4	8	8	19	14	36	7	17	7	17	6	15	9	21	58	138										
	外来	入院	外来	入院																																
	11	11	34	36	27	32	20	20	35	53	25	29	20	21	23	26	15	15	6	6	3	3	3	1	1	217	250									
脳血管(要介減)			12	12	12	12	2	2	2	1	1	1	1	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	29	29									
	外来	入院	外来	入院	外来	入院																														
	151	294	170	332	177	353	165	324	173	342	183	360	193	379	201	399	187	370	160	314	191	368	156	298	2,107	4,133										
運動器(1)	339	471	436	528	399	606	295	418	370	514	278	324	312	373	361	430	375	514	312	386	366	406	337	405	4,180	5,375										
	外来	入院	外来	入院	外来	入院																														
運動器(減)																																				
	167																																			
運動器(要介減)																																				
	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院																												
	100																																			
呼吸器																																				
	175																																			
廃用症候群																																				
	180																																			
廃用(減)																																				
	162																																			
廃用(要介減)																																				
	97																																			
がん患者																																				
	205																																			
コストなし																																				
	0																																			
早期加算(心大血管)																																				
	30																																			
初期加算(心大血管)																																				
	45																																			
早期加算(脳血管)																																				
	845																																			
早期加算(脳血管)																																				
	531																																			
早期加算(運動器)																																				
	271																																			
早期加算(運動器)																																				
	188																																			
早期加算(運動器)																																				
	30																																			
早期加算(呼吸器)																																				
	45																																			
早期加算(呼吸器)																																				
	30																																			
早期加算(廃用)																																				
	47																																			
早期加算(廃用)																																				
	20																																			
早期加算(廃用)																																				
	45																																			
在宅訪問																																				
	300																																			
外来合計	215	423	233	459	221	446	219	438	238	489	263	530	289	576	292	594	257	524	245	494	279	550	226	449												

言語聴覚療法 2023 年度

診療行為	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	人数	単位	
脳血管(減)	外来	5	15		2	4						4	8	6	14	2	4	2	4	3	6	1	2	2	4	31	71
	入院			11	11	5	5	7	7	6	6				10	10	8	8		2	2					49	49
脳血管(要介減)	外来	33	95	29	84	23	66	26	75	28	78	35	104	32	95	18	51	15	45	7	21	9	27	7	21	262	762
	入院	659	759	680	774	557	647	490	574	530	654	493	577	552	672	590	689	624	715	607	682	603	691	614	731	6,999	8,165
ST.呼吸器	外来	176	191	155	162	259	299	242	248	242	250	251	261	284	301	128	138	122	140	145	156	140	153	143	146	2,287	2,445
	入院											1	3													1	3
廃用症候群	外来	157	164	173	180	200	216	190	196	222	243	100	103	82	87	109	113	115	120	88	96	55	63	73	91	1,564	1,672
	入院																										
廃用(減)	外来	11	11	19	21	7	7	2	2	4	4	2	2	2	2	3	6	9	9	8	8					67	72
	入院	97						4	5	5	6	4	5	5	5	2	4									20	25
がん患者	外来	20	21	29	29	35	38	3	3	44	50	47	48	91	98	99	109	82	84	48	51	20	21	50	75	568	627
	入院																										
摂食機能	外来	9	9	24	24	40	40	26	26	18	18	15	15	18	18	7	7	26	26	35	35	16	16	19	19	253	253
	入院	0						1	3			1	1			5	5	6	8	33	38	36	36	48	53	1	3
コストなし	外来	0																									
	入院																										
摂食(非算定)	外来	42	42	14	14	6	6	23	23	29	29	44	44	44	44	26	26	30	30	11	11	1	1			244	244
	入院	520	601	497	562	367	422	339	395	366	451	355	420	395	496	446	517	482	549	437	486	458	534	426	517	5,088	5,950
早期加算(脳血管)	外来	325	384	292	334	230	275	206	234	257	320	224	273	208	244	307	341	249	281	262	301	273	319	252	317	3,085	3,623
	入院	30	143	138	145	237	276	198	203	184	190	217	227	216	222	90	95	107	123	141	152	126	139	104	107	1,901	2,037
初期加算(呼吸器)	外来	109	119	109	116	154	175	127	130	142	148	156	163	135	138	60	63	97	110	113	121	90	101	64	67	1,356	1,451
	入院	30	128	133	123	128	139	148	114	117	147	164	86	89	75	79	104	107	93	98	82	90	42	47	61	70	1,194
早期加算(廃用)	外来	57	59	62	65	86	92	74	77	98	113	55	57	56	58	78	81	51	54	50	56	24	26	37	44	728	782
	入院																										
在宅訪問	外来	38	110	29	84	25	70	27	78	28	78	40	115	38	109	24	65	17	49	10	27	10	29	9	25	295	839
	入院	1,074	1,197	1,105	1,215	1,109	1,258	987	1,084	1,100	1,260	959	1,059	1,052	1,201	979	1,107	1,022	1,140	977	1,079	875	986	947	1,115	12,186	13,701

評価・指導・検査・処置 2023 年度

診療行為	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	
総合計画評価1	外来	73	71	83	76	91	77	84	80	89	87	81	68														960
	入院	819	867	884	831	931	851	867	893	873	855	868	850	10,389													10,389
総合計画評価2	外来	2	2	1	1	1	1	1	1	4	4	3	4	24													24
	入院	4	6	5	3	3	4	3	9	2	2	1	2	44													44
退院時指導	外来	2	2	3		1			1	2	4	3															18
	入院																										
退院前訪問指導	外来																										
	入院																										
リンパ浮腫(指導)	外来	6	4	1	6	4	2	4	5	6	5	6	6	49													49
	入院	3	2	2		1	1	5	7	4	1	3	4	33													33
認知・心理検査(容易)簡単	外来																										
	入院																										
認知・心理検査(容易)その他	外来																										
	入院																										
認知・心理検査(極複雑)	外来																										
	入院																										
治療用器具採型法(その他)	外来																										
	入院																										

2023年度訪問リハビリ実績(介護保険)

	利用者数		延件数	訪問リハ料		加 算				減 算		合計単位数				
	実数	新規		実施回数	算定単位数	提供体制	リハマネ	短期集中リハ	移行支援	計画診療未実施	0					
													終了	0	0	0
4月	10	0	2	39	78	23,946	468	9回	4,050	0回	0	36日	612	0回	0	29,076
5月	11	3	1	37	74	22,718	444	7回	3,150	4回	800	35日	595	0回	0	27,707
6月	14	2	1	52	104	31,928	624	11回	4,950	6回	1,200	47日	799	0回	0	39,501
7月	14	2	0	51	102	31,314	612	12回	5,400	8回	1,600	47日	799	0回	0	39,725
8月	14	2	2	55	110	33,770	660	12回	5,400	10回	2,000	51日	867	0回	0	42,697
9月	16	3	2	56	112	34,384	672	13回	5,850	20回	4,000	54日	918	0回	0	45,824
10月	12	0	2	62	124	38,068	744	11回	4,950	24回	4,800	62日	1,054	0回	0	49,616
11月	14	3	2	60	120	36,840	720	14回	6,300	14回	2,800	60日	1,020	0回	0	47,680
12月	18	6	3	73	146	44,822	876	15回	6,750	20回	4,000	73日	1,241	0回	0	57,689
1月	16	1	1	76	152	46,664	912	16回	6,300	16回	3,200	76日	1,292	0回	0	58,368
2月	19	4	1	83	166	50,962	996	18回	8,100	17回	3,400	83日	1,411	0回	0	64,869
3月	22	5	6	92	184	56,488	1,104	21回	9,450	18回	3,600	92日	1,564	12回	-600	71,606
合計	40(延180)	31	23	736	1,472	451,904	8,832	159回	70,650	157回	31,400	716日	12,172	12回	-600	574,358

令和5年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

事業実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
圏域	香取海匝 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	総合病院国保旭中央病院
重点活動項目評価	<p>① 市町村事業への協力 協力件数62件、匝瑳市の通所型サービス実施に関する検討会へ参加</p> <p>② 各研修会の開催形式・内容の再検討 研修目的・内容等に応じ、会場参集・オンライン配信・オンデマンド配信と様々な形式で研修会を開催し、延べ参加者数は前年度を上回った</p>

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
<p>① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p>ア 連絡協議会 ・3月（書面開催） 参集範囲：圏域内地域包括支援センター、健康福祉センター、地域リハ・パートナー 他</p> <p>イ その他の会議 ・香取海匝圏域 地域リハ・パートナー会議 第1回：7月7日 ・生活期リハ活動支援班会議 第1回：9月15日、第2回：3月8日 ・地域ネットワーク支援班会議 第1回：4月5日、第2回：5月10日、第3回：7月5日、第4回：10月4日、 第5回：12月6日、第6回：2月7日</p> <hr/> <p>② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力</p> <p>・旭市 住民主体の通いの場支援 千鳥会：6月22日、9月14日 下永井あじさいクラブ：7月6日、10月5日 琴田ふれあいクラブ：11月21日、2月13日 さざんかクラブ：1月24日 椎名内燦燦会：1月29日 スマイルおうめい：2月16日 足川つくし会：3月12日 旭市介護予防サポーター養成講座：7月28日 第5回あさピー☆きらり体操全体大会：3月22日 地域ケア個別会議への専門職派遣： 4月28日、5月24日、6月30日、7月27日、8月24日、9月28日、10月25日、11月29日、 12月22日、1月25日、2月22日、3月21日 《旭市介護保険運営協議会・旭市地域包括支援センター運営協議会》 第1回：8月17日、第2回：10月26日、第3回：2月8日 《旭市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会》</p>

第1回：6月29日、第2回：8月17日、第3回：12月21日、第4回：2月8日  
旭市介護予防・日常生活支援総合事業に係る介護予防リハビリテーション担当者連絡会

第1回：5月11日、第2回：1月31日

《リハ専門職の同行訪問事業：10件》

《訪問型サービスC（短期集中予防）：12件（利用者：1名）》

・匝瑳市

自立支援のための地域ケア会議に係る意見交換会：3月19日

一般介護予防事業に係る意見交換会：3月12日

介護予防・日常生活支援総合事業研修会への出席：1月11日

通所サービスC実施に関する検討会：1月26日、3月4日、3月13日、3月26日

③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

・講師派遣

《ニチイ学館 介護職員初任者研修講師：4月3日、7月5日、9月11日、10月25日、3月4日》

令和5年度第3回旭市地域ケア実務者会議 講師：6月21日

令和5年度第1回匝瑳市介護保険居宅事業者連絡会居宅部会 講師：7月19日

《令和5年度 難病講演会・講演会（海匝保健所主催）講師：11月15日》

《令和5年度千葉県介護予防事業従事者研修会ファシリテーター：1月22日、1月26日》

④ 研修等の実施を通じた協働促進

・地域リハビリテーション講演会：12月16日～1月14日（オンデマンド配信）、  
参加申込者：102名、視聴回数：163回

テーマ：『在宅要介護者への介護予防～シルバーリハビリ体操の活用～』

・《高次脳機能障害支援研修会》：10月26日、参加者：30名

テーマ：『関係機関との連携と役割分担』

・生活期リハ活動支援班研修会

第1回：9月15日、参加者：70名

テーマ：『福祉用具における生活動作支援』

第2回：3月8日、参加者：71名

テーマ：『家屋調査における注意点～在宅復帰に向けて～』

・地域ケア会議助言者向け情報交換会：2月21日、参加者：14名

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
- ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
- ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
- ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

（ ⑤ ） 内容：

・「障害者交流会 和希楽会」運営

令和5年度和希楽会全体集会：6月11日

会場：匝瑳市立のさか図書館 2Fホール 参加者：60名

内容：講演「障がい者目線で考える地域づくり」、サークル活動紹介

和希楽会ニュース発行：第26号（9月）、第27号（3月）

マッチング活動

サビキ釣り：5月12日、6月18日、7月16日、9月17日、10月15日

へラブナ釣り：4月16日（参加者：8名）、11月5日（参加者：11名）  
公園散歩：4月22日（参加者：19名）、10月28日（参加者：22名）  
3月30日開催予定（参加者：23名）  
グランドゴルフ：5月13日（参加者：11名）、11月4日（参加者：18名）  
イチゴ狩り：2月25日（参加者：23名）  
オンライン交流会：6月24日（参加者：2名）、12月2日（参加者：4名）

（ ⑥ ） 内容：

- ・住民主体の通いの場継続支援「再掲」
- ・第5回病院まつりでの健康講話「介護予防 他」：9月3日
- ・市民健康講座「介護予防」：3月5日
- ・健康づくり出前講座  
認知症予防：7月2日、10月8日、10月25日、11月11日、11月16日、11月22日
- ・地域リハビリテーション出前講座「車椅子体験」：  
1月18日（香取市立香取小学校）、1月19日（銚子市立飯沼小学校）
- ・豆知識講座  
高齢者の自動車運転について：2月1日  
腰痛について：2月15日  
認知症予防：2月20日  
リンパ浮腫について：3月11日

（ ⑦ ） 内容：

- ・広報活動（ホームページ）
- ・相談・問い合わせ対応：14件
- ・各種会議・研修会等出席  
令和5年度第3回千葉県地域リハビリテーション協議会：3月21日  
千葉県地域リハビリテーション広域支援センター担当者連絡会議：3月28日  
広域支援センター・県リハ支援センター定期ミーティング：  
4月17日、6月13日、8月8日、10月23日、12月12日、2月13日  
県支援センター圏域訪問：5月18日  
今後の地域リハビリテーションのあり方検討会：  
第8回：5月19日、第9回：6月27日、第10回：8月30日  
地域リハ事業の広報活動に係るオンラインミーティング：6月2日  
全国地域リハビリテーション合同研修会inちば2023：6月17日～18日  
令和5年度千葉県介護予防事業従事者研修会（成田会場）：1月26日  
令和5年度地域リハ調整者養成研修：2月29日  
旭市地域ケア実務者会議  
第1回：4月19日、第2回：5月17日、第3回：6月21日（再掲）、第7回：11月2日、第8回：  
1月18日、第9回：2月21日  
広域支援センター運営会議：4月5日、4月12日、7月7日、10月23日、1月24日

千葉県高次脳機能障害支援普及事業 実績報告  
(令和5年度集計)

1 相談支援事業

区分	直接相談(当事者家族からの相談)				間接相談(行政・医療・福祉等の相談)				合計
	電話	来院/来所	メール・書簡	その他(訪問等)	電話	来院/来所	メール・書簡	その他(訪問等)	
延べ数	21	386	2	0	20	7	17	0	453

2 普及・啓発事業

区分	実施時期	具体的な実施内容
①	9月	こ〜じのう掲示板第50号への寄稿
①	2月	こ〜じのう掲示板第51号への寄稿

区分: ①広報・啓発 ②情報収集・調査 ③診断評価・リハビリ ④その他

3 研修事業

(1)-A 研修会等の企画

区分	日時	会議等名称	参加団体	参加者数
①	4月25日	令和5年度第1回院内連絡会議	院内関係者	7
④	5月20日	高次脳機能障害当事者・家族・支援者の会	当事者、家族、支援者等	20
④	6月12日	交流会打ち合わせ	東総就業センター	6
③	6月30日	高次脳機能障害者の就労支援に係る意見交換会	医療機関、障害者就業・生活支援センター	12
①	7月18日	令和5年度第2回院内連絡会議	院内関係者	5
②	8月31日	研修会・交流会打ち合わせ	東総就業センター	6
①	10月17日	令和5年度第3回院内連絡会議	院内関係者	6
②	10月26日	高次脳機能障害支援者向け研修会	医療・介護・福祉・就労機関従事者	31
④	12月23日	高次脳機能障害 当事者・家族・支援者の会	当事者、家族、支援者等	16
①	1月11日	研修会打ち合わせ	旭中央病院、東総就業センター	6
①	1月24日	令和5年度第4回院内連絡会議	院内関係者	6

区分: ①連絡会・協議会 ②研修会・講演会 ③勉強会・研究会 ④家族会・交流会

(1)-B ケース会議(委託先内部におけるケース会議)の開催状況

ケース会議開催回数	0	回
ケース会議参加者数(上記会議の合計人数)	0	人

## (2) 研修会等への参加・協力

区分	日時	会議等名称	参加者数
①	6月16日	第6回千葉県脳損傷者運転支援連携会議	5
②	6月23日	千葉障害者職業センター業務説明会	1
①	6月26日	令和5年度高次脳機能障害支援ネットワーク担当者会議	2
①	6月28日	令和5年度第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会	2
①	6月28日	令和5年度第1回支援コーディネーター全国会議	4
②	8月26日	福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会	2
①	9月29日	第7回千葉県脳損傷者運転支援連携会議	3
②	10月6日	令和5年度第2回就業支援者養成セミナー	1
②	10月13日	第19回高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会	2
①	11月29日	令和5年度高次脳機能障害普及支援関東甲信越ブロック・東京ブロック合同会議	3
①	12月18日	令和5年度高次脳機能障害支援ネットワーク連絡協議会	3
①	2月9日	令和5年度千葉県高次脳機能障害支援コーディネーター研修会打ち合わせ	1
①	2月16日	令和5年度第2回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会	1
①	2月16日	令和5年度第2回支援コーディネーター全国会議	2
①	2月17日	第9回千葉県脳損傷者運転支援連携会議	4
②	3月14日	令和5年度千葉県高次脳機能障害支援コーディネーター研修会	4
①	3月28日	関東甲信越・東京ブロック 支援者養成研修について情報交換	1
		<b>延べ参加者数</b>	<b>41</b>

区分：①連絡会・協議会 ②研修会・講演会 ③委託先外ケース会議 ④勉強会・研究会 ⑤家族会・交流会

※脳神経外科・神経精神科・医療連携福祉相談室等での対応も実績数に含む

## ●脳神経外科（2023年）

2023年の所属スタッフは、持田英俊（主任部長）、山本邦厚（部長）、鈴木孝典（部長）、森脇拓也（部長心得）、千葉慶太郎（専攻医：東京医科歯科大学からの派遣）、林克也（専攻医：千葉大学からの派遣）、中村元（当プログラム専攻医）、星俊一郎（当プログラム専攻医）、渡辺三郎（特任医師）、大屋滋（特任医師）の10名でした。

手術はなるべく幅広く脳卒中、頭部外傷、脳腫瘍、機能的手術、血管内手術を実施しました。地域の中核病院として、周辺二次医療機関と連携し、脳外科救急医療の一翼を担いました。また、大学から術者を招聘し、高度な脳神経外科治療に取り組みました。

看護師など病棟スタッフ全員と協力し、患者さんの安全と権利擁護に向けた取り組みも継続しました。リハビリテーションスタッフ、医療相談スタッフと協働し、地域の医療機関、介護・福祉機関との連携に努めました。

2020年9月より稼働したSCU（STROKE CARE UNIT）3床も90%以上の病床利用率を保持しました。脳卒中に対して、予防的治療、血管内治療の割合が増加しました。

教育活動面では日本専門医研修脳神経外科研修プログラムの基幹施設として、4人の専攻医に実践的教育を行いました。

手術件数（2023年1月1日～12月31日）

大分類	小分類	件数
脳腫瘍	脳腫瘍摘出術	48
	生検術	4
	経蝶形骨洞手術	2
	眼窩内腫瘍摘出術（深在性）	2
	頭蓋骨腫瘍摘出術	2
	動脈血栓内膜摘出術（内頸動脈）	1
	脳膿瘍全摘術	1
	定位	0
脳血管障害	動脈瘤クリッピング	26
	バイパス手術	2
	脳動脈瘤被包術	2
	開頭血腫除去	25
	内視鏡下脳内血腫除去術	6
	減圧術	13
外傷	開頭血腫除去	15
	穿頭ドレナージ	143
シャント	VP シャント	29
	VA シャント	0
	LP シャント	0
	内視鏡的第三脳室開放	4
	外誘導術	7
	シャント抜去	3
	入れ替え	1
	再建	1

大分類	小分類	件数
血管内手術	動脈瘤塞栓術	42
	血栓回収術	43
	フローダイバーター	3
	CAS/PTA	62
	腫瘍塞栓術	8
	動静脈奇形塞栓術	5
	その他	神経血管減圧術
頭蓋形成術		10
膿瘍除去 / ドレナージ		1
デブリドマン		3
ITB ポンプ留置		1
気管切開術		9
その他		6

## ●形成外科（2023年）

2023年は、1-3月までは田代、4月以降は東が科長として、これまでに引き続き形成外科疾患を幅広く診療しております。コロナ後の外来患者減少を受け、当科も外来件数、手術件数がともに減少しております。

当院形成外科の特徴として、救急外傷の対応、糖尿病や透析などを基礎とする慢性下肢虚血による下肢壊疽に対する局所陰圧療法や切断術などの創傷治療、悪性腫瘍切除後の再建手術、良性腫瘍の摘出術、眼瞼下垂症など加齢性変性疾患に対する手術、色素性疾患などに対するレーザー治療等、上記のように幅広く診療を行っております。また脳外科、心臓外科、整形外科などの手術後の創部治癒遅延に関しても、コンサルトいただき、合同手術なども行っております。その他にも定期的に小児先天疾患の治療や乳癌に対する再建手術の専門科を招聘し治療を継続しております。

旭中央病院および東総地区の医療に貢献できるよう、今後も精一杯治療を行ってまいります。

### 診療実績（2023年1月～12月）

疾患大分類手技数	入院			外来			計
	全身麻酔	腰麻・ 伝達麻酔	局所麻酔 ・その他	全身麻酔	腰麻・ 伝達麻酔	局所麻酔 ・その他	
外傷	46	6	21			156	229
先天異常	15		2			5	22
腫瘍	40		13			304	357
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	7					15	22
難治性潰瘍	49	14	45		2	21	131
炎症・変性疾患	4		9		1	70	84
美容（手術）						1	1
その他	2		29			30	61
Extraレーザー治療	2					31	33

## ●産婦人科（2023年）

### I. 当院産婦人科の概要

#### 1. 産婦人科常勤医師（2024年11月現在）

主任部長：小林 康祐

部長：大藏 慶憲

主任医長：高橋 健太

医長：古賀 千悠、北村 翔一

医員：小川 美咲、鈴木 拓真、米良 健輝、大木 崇広、藪田 薫理

#### ◎1年間スタッフの人事異動（2023年4月～2024年3月）

- ・2023年4月 鈴木 拓真医師 東京医科歯科大学医局から
- ・2023年9月 市川 瑛美医師 横浜市立みなと赤十字病院から
- ・2024年3月 布施 史織医師 とりで総合医療センターへ  
森脇 隆太医師 多摩総合医療センターへ

### II. 当院産婦人科診療統計

・当院は周産期医療と婦人科腫瘍および婦人科手術の領域で症例数が多いのが特徴です。

#### ●婦人科手術統計（1年間2023年1月～12月）

- ・ダビンチ手術は子宮体癌患者も行えるようになりました。
- ・腹腔鏡は年間100件程度を維持しています。  
※大藏医師が腹腔鏡技術認定を所得しています。
- ・腹腔鏡が増加はしているのですが、その反面で開腹術の件数も確保されています。

#### ●産科統計（1年間2023年1月～12月）

- ・産科は地域周産期母子医療センターの指定を受けております。
- ・NICU9床を有します。
- ・当院が24時間3次救急に対応しており、循環器内科、脳外科、精神科、麻酔科、中央手術室、ICUが常に迅速に対応可能な状態であるため、母体救命のためのマンパワーの確保がスムーズです。
- ・とくに、近年産褥期のメンタルケアが重要視されていますが、当院精神科の全面的なサポートにより、ケアも充実しています。

2023年（令和5）

手術件数		
開腹（良性手術）	腹式単純子宮全摘術	71
	腔式単純子宮全摘術	0
	子宮筋腫核出術	0
	良性卵巣腫瘍手術	33
	異所性妊娠	6
		115
腹腔鏡	全腹腔鏡下子宮全摘術（TLH）	34
	腹腔鏡補助下腔式単純子宮全摘術	0
	卵巣手術	75
	異所性妊娠	6
ロボット支援下腹腔鏡下子宮全摘術		12
子宮鏡下手術		3

子宮頸がん手術		11
子宮体がん手術		34
卵巣がん手術		18
悪性腫瘍のうち	広汎子宮全摘術	6
	準広汎子宮全摘術	1
子宮脱	VTH + 腔壁形成術 + 腔断端挙上術	18
	腹腔鏡補助下腔式単純子宮全摘術	0
	中央腔閉鎖	3
円錐切除術		61
帝王切開		200
	選択的帝王切開術	109
	緊急帝王切開術	91
頸管縫縮手術		4

#### 産科症例

分娩数（母体数）	677
分娩数（出産児数）	699
双胎	20
鉗子・吸引分娩	27
骨盤位経膈分娩	0
早産児数	69

### III. 専攻医への教育

- ・ 当院は初期研修の世界でも有名な研修施設です。  
その特徴は、実践重視と豊富な臨床経験とともに、上級医師による教育・サポート体制にあります。産婦人科専攻医教育もその方針を踏襲しています。
  - ・ 各症例の治療方針などを気軽に上級医師に質問できる雰囲気作り
  - ・ 朝カンファレンス
  - ・ 月曜日夕方の症例カンファレンス 症例検討会
  - ・ CTG モニター検討会（助産師と一緒に検討します）
  - ・ ガイドライン勉強会
  - ・ 各種レクチャー
- ・ スキルセンターの充実：約 1600㎡の広さに、救急トレーニング室、診療科に応じたトレーニング室や研修室等を用意し、医師向け、看護師向け、救急トレーニング用など、60 種類以上の医療シミュレータを装備しました。  
産婦人科もスキルセンターに 2 室を確保し、母体救命のシミュレーションや骨盤位分娩、鉗子分娩のトレーニングを行っています。
- ・ 当院のさらなる特徴は、医師全員（現在約 280 名）が病院の敷地内に居住していることにあります。病院から医師マンションまでは 5 分程度ですので、分娩の緊急対応などの夜間上級医師をはじめとしたマンパワーの確保は迅速で、専攻医たちにとって研修しやすい環境を提供できます。

## ●眼科 (2023年度)

2023年度は東大医局からの派遣医師が大幅に削減され、常勤医は東大医局からの派遣医師3名、東邦大医局からの派遣医師1名の4名体制となった。常勤医が7名から4名へ減少したことで、過去最高の手術件数であった2022年度から一転して、外来件数および手術件数は減少する形となった。

しかし、そのような状況下においても、白内障手術件数は昨年の約1,400件から今年度の約1,100件と減少は緩やかであった。これは医師1人あたりの手術件数の増加を示しており、関連スタッフの努力もあって、手術件数を比較的維持することが可能であった。

非常勤医師として、昨年度から引き続き稲用医師の協力の下、今年度も主に増殖糖尿病網膜症や再発性の裂孔原性網膜剥離、アーモンド緑内障バルブ留置などの難治症例の相談や手術が可能であり、高い医療水準を保つことが可能であった。

また年間を通じて杉本医師や、年度後半からは千葉大教授の馬場医師による手術協力が得られ、常勤医への手術指導や難症例への対応が可能であった。そのため、昨年度ほどではないものの、多分野にわたる眼疾患症例への手術も含めた対応を行うことが可能な体制を維持することができた一年であった。

残念ながら2023年度にて長年続いた東大医局からの眼科医師派遣が終了となり、常勤医も3名へ減少予定であることから、来年度は同レベルの医療を継続することは難しいと思われるが、医療水準を保つ体制が整うことを期待したい。

2023年4月～2024年3月

### ◆ 医師

顧問 稲用和也  
部長 野本洋平  
医員 秋山拓也、三好由希子、竹中亮太  
非常勤医 馬場隆之、杉本宏一郎、戸塚清人

### ◆ 外来

視能訓練士 10名  
外来看護師 3名  
看護補助員 1名  
事務員(外来係)(パート含) 5名  
〃(臨床支援係) 1名  
外来診察室 4診

### ◆ 病棟

病床数 (11東病棟48床のうち28床)

病棟看護師 34名  
看護補助員 7名  
病棟診察室 2診

2023年度 旭中央病院 眼科手術件数

内 眼 手 術	PEA+IOL	1,096
	ECCE+IOL	4
	PPL/ICCE	2
	IOL2次挿入	2
	PPV+IOL 縫着 / 整復	7
	PPV (膜)	64
	PDRope	9
	PVRope	1
	PPV	8
	網膜復位術	2
	lotomy	16
	lectomy	6
	GSL	19
	緑内障 (その他)	13
	眼球内容除去術	0
その他	3	
合計	1,252	
そ の 他	前後転術	7
	斜筋手術	0
	翼状片 (江口法)	32
	涙道	22
	眼瞼その他	15
	その他	17
	合計	93
総合計		1,345

レ ー ザ ー 術	LI	7
	YAG	136
	PRP	506
	cycrophoto	13
	合計	662

中央手術室 【日帰り】 手術件数

年月	白内障	白内障以外	合計
2023年4月	51	2	53
2023年5月	60	5	65
2023年6月	62	7	69
2023年7月	60	4	64
2023年8月	75	5	80
2023年9月	58	4	62
2023年10月	75	4	79
2023年11月	52	4	56
2023年12月	54	4	58
2024年1月	61	7	68
2024年2月	63	0	63
2024年3月	28	1	29
総合計	699	47	746

眼科入院件数

主病名	件数
白内障	398
緑内障	54
裂孔原性網膜剥離、網膜剥離	16
網膜前膜	22
増殖性糖尿病性網膜症	15
黄斑円孔	15
増殖性硝子体網膜症	2
眼内レンズ偏位	8
黄斑下出血	2
眼内炎	2
眼球内異物	1
睫毛内反症	5
斜視	7
原田病	1
網膜分離症	1
硝子体黄斑牽引症候群	4
硝子体混濁	3
外傷性虹彩脱出	1
涙のう炎	1
無水晶体眼	1
霰粒腫	1
涙小管腫瘍	1
総入院件数	561

## ●耳鼻咽喉科・頭頸部外科（2023年度）

【認定施設】日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定 耳鼻咽喉科専門医研修施設

【スタッフ（2023年度末時点）】

常勤医師

部長心得 麻植 章弘：日本耳鼻咽喉科学会専門医、難病指定医

主任医長 小林 麻里：日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医、日本めまい平衡医学会めまい相談医、医学博士

医員 由井 亮輔、福田 伸樹、関口 昌孝

臨時医員 長岡 真人、大村 和弘、森野 常太郎、海老原 央

### 1. 1年間のトピックス

4月から診療科名を「耳鼻咽喉科」から「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」に変更した。

常勤医においては、4月に大戸弘人医師が異動となり麻植 章弘、関口 昌孝医師が赴任した。昨年度と同様に耳鼻咽喉科疾患領域に関して広く診療を行った。新型コロナウイルス感染症は5月から感染症法上の5類に移行したが、東総地域の感染者数によっては手術制限、診療制限下での診療となった。現在も、十分な感染対策を施した上で診療を行っている。

その上で、ここ数年大きく変化している頭頸部領域における抗がん剤治療のさらなる充実を継続した。さらに他施設や他科との連携を強化し、術後抗がん剤治療や緩和抗がん剤治療、さらには低侵襲手術を当院で行えるように整備し、患者さん、患者さんご家族の負担を減らすことに務めた。

今後も近隣の耳鼻咽喉科が少ないことを踏まえ、耳鼻咽喉科疾患領域の診療の継続はもちろん、頭頸部癌領域の標準化を引き続き目指していく。

### 2. 外来担当医表

	月	火	水	木	金
午前	初診：小林	初診：小林	予約：小林	初診：小林	予約：森野
	初診：福田	予約：福田	初診：福田	初診：福田	予約：福田
	予約：長岡	初診：麻植	予約：麻植	予約：麻植	初診：麻植
	予約：麻植	初診：由井	初診：由井	予約：由井	予約：由井
	初診：由井	予約：関口	予約：海老原 / 大村	初診：関口	初診：関口
午後	手術	予約：福田	手術	予約：福田	手術
		予約：麻植		予約：麻植	
		予約：由井		予約：由井	
		予約：関口		予約：関口	

## ●皮膚科（2023年度）

2023年度の常勤医は岡崎大二郎、行木佑美香が異動し、医員の井手智絵、山江美歩が赴任したため、部長の中野倫代、医員の熊田大樹の4人体制で診療を行った。非常勤医師として週に1回千葉大学皮膚科より外川八英に外来診療の協力を仰いだ。

月曜日から金曜日まで午前中は予約外で初診・再診の外来診療を行い、2023年度の1日平均外来患者数は90人であった（表1）。初診の選定療養費が7,700円に上がった影響もあり、2023年度の外來患者数は減少傾向にあった。月別の1日平均入院患者数は8月と2月にピークがあり12人だったが、平均は9人だった（表2）。2022年度と比較し、2023年度は年間を通して入院患者は増加傾向にあった。月、水、木曜日の午後は、外来手術やパッチテスト、プリックテストを中心に外来診療を行った。外来手術は皮膚生検などを中心に718例施行した（表3）。統計には加えていないが、皮膚切開術も外来で複数例行った。その他、悪性黒色腫の免疫チェックポイント阻害薬やBRAF/MEK阻害薬、乾癬やアトピー性皮膚炎の生物学的製剤も複数例施行した。

中央手術室で施行する入院手術は火曜日の午後枠に加えて2023年度から金曜日の午後枠も増設された。皮膚悪性腫瘍の手術を中心に植皮や皮弁などの様々な再建法にも取り組んだ（表4）。

また、診療終了後に毎日、科内でカンファレンスを行い、診断や治療方針について検討し、学会・論文報告も複数行った。

表1 月別外来患者数／日

4月	82
5月	89
6月	89
7月	93
8月	94
9月	91
10月	88
11月	92
12月	91
1月	92
2月	93
3月	89

表2 月別入院患者数／日

4月	6
5月	7
6月	7
7月	11
8月	12
9月	9
10月	10
11月	8
12月	10
1月	11
2月	12
3月	10

表3 外来手術件数

皮膚試験採取	536
皮膚、皮下腫瘍摘出術	147
皮膚悪性腫瘍単純切除術	30
フェノール法	5

表4 入院手術件数

皮膚悪性腫瘍単純切除術	97
全層植皮術	41
皮膚、皮下腫瘍摘出術	23
皮弁作成術	19
デブリードマン	8
分層植皮術	2
創傷処理	2

## ●歯科・歯科口腔外科（2023年度）

### 【2023年度「質」目標】

#### ①働き方改革の推進：

【目標値】 タスク・シフト／シェアの推進

【主な活動】各 Dr. は、院内のチームや委員会の担当／副担当を割り振ることで、担当の負担を軽減するとともに、業務へのやりがいや意欲を感じてもらう。

#### ②手術件数の拡大：

【目標値】 年間 110 件以上

【主な活動】コロナ禍以前の年間 110 件を目標に。各 Dr. は年間 20 件以上の手術執刀か手術患者を担当する。

#### ③在院日数短縮への寄与：

【目標値】 前年度（9.3 日）以上の在院日数の短縮

【主な活動】安定した手術、早期離床や早期経口摂取の再開など、早期退院に向けて、患者さんのことを第一に考えて対応する。

#### ④研修医確保のための対外的なアピール：

【目標値】 学会発表 6 件以上、論文作成 2 編以上

【主な活動】・学会発表、論文により、当科の業績を対外的にアピールする。  
・HP や SNS を利用し、当科の取り組みを発信する。

### 【2023 年度の振り返り】

はじめに、病院全体の基本方針でもある働き方改革の推進として、タスク・シフト／シェアを前提に、既存の仕事を再度見直し、簡略化できる仕事などを調整することで負担軽減につながることができた。

入院手術に関しては、年間 92 件（前年度比 93%）と減少、外来手術であるインプラント手術は、年間 59 件（前年度比 94%）と若干減少した。外来初診者数は、6,408 名（前年度比 102%）とやや増加、80 歳以上が 1,308 名（前年度比 99%）と高齢者の割合もほぼ例年通りであった。次年度は、さらなる件数増加を目標とした。

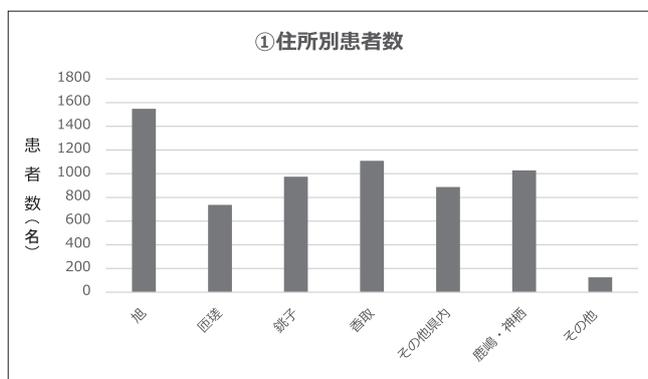
なお、在院日数は 8.2 日と、前年度（9.1 日）より短縮できた。

口腔ケアに関しては、病院全体の手術件数の増加により、1 日平均 51.9 人、1 か月平均 1,078 人と、コロナ禍以前の数値に戻りつつあった。

診療外では、コロナ禍で中断していた歯科科例会を、4 年ぶりに、近隣歯科医師をお招きする会場形式にて開催した。地域連携の階として、今後も継続していきたい。

#### ①住所別患者数

住所	患者数（名）
旭	1,547
匝瑳	737
銚子	975
香取	1,109
その他県内	887
鹿嶋・神栖	1,028
その他（鹿嶋・神栖以外の茨城県の地域と他県、不明を含む）	125
計	6,408



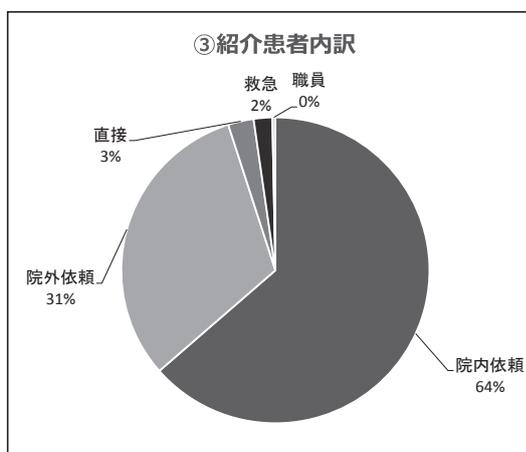
②年齢別患者数

年齢	男性	女性	患者数(名)
10歳未満	68	36	104
10代	87	101	188
20代	178	199	377
30代	186	208	394
40代	235	368	603
50代	305	376	681
60代	563	478	1,041
70代	957	755	1,712
80歳以上	585	723	1,308
計	3,164	3,244	6,408



③紹介患者内訳

総受診者数	6,408
院内依頼	4,074
(外来)	2,560
(入院)	1,514
院外依頼	2,017
(歯科)	1,900
直接	172
救急	125
職員	20



紹介	6,091
直接	317
計	6,408

④有病者別患者数

受診者数	6,408
有病者数	4,783

(有病者率：74.6%)

【参考：合併症（延べ数）】

高血圧症	1,116
糖尿病	474
虚血性心疾患	594
慢性腎不全（透析を含む）	139
脳血管障害	458
睡眠時無呼吸症候群	76
躁鬱症・精神分裂症	166
精神発達遅滞・ダウン症	48
神経・筋疾患	92
自己免疫疾患	246

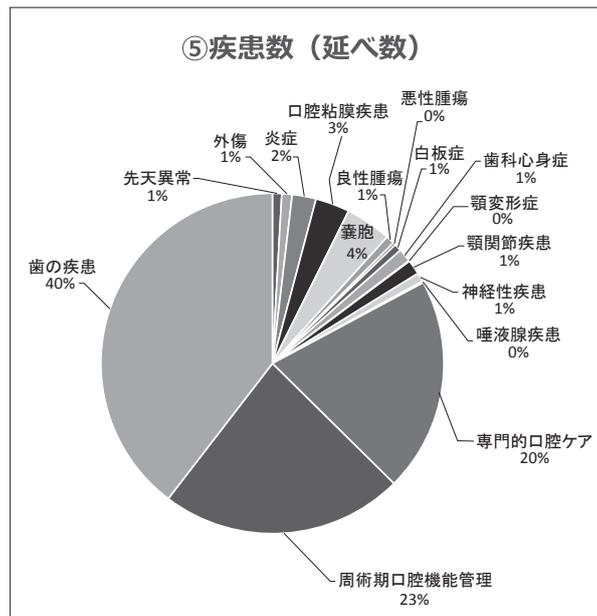
内分泌疾患	51
肝炎以外の肝疾患	65
その他の消化器疾患	520
血液・造血器疾患	112
誤嚥性肺炎	205
敗血症	49
悪性腫瘍	1,502
ターミナル	24
貧血	69
運動器疾患	504

骨粗鬆症	241
感染症	66
アレルギー	75
喘息	129
BP 製剤服薬歴	169
出血傾向	68
ペースメーカー	16
妊娠	5
その他	536

⑤疾患数（延べ数）

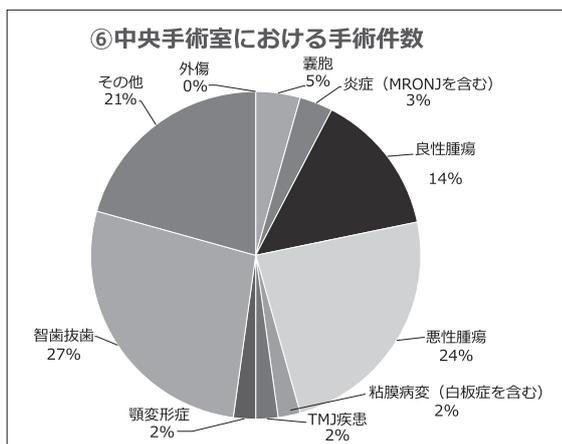
疾患数（延べ数）の内訳

疾患名	計
先天異常	68
外傷	76
炎症	175
口腔粘膜疾患	251
嚢胞	337
良性腫瘍	62
悪性腫瘍	20
白板症	54
歯科心身症	98
顎変形症	5
顎関節疾患	108
神経性疾患	66
唾液腺疾患	11
専門的口腔ケア	1,582
周術期口腔機能管理	1,783
歯の疾患	3,080
合計	7,776



⑥中央手術室における手術件数

手術内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外 傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
嚢 胞	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	4
炎症（MRONJを含む）	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
良 性 腫 瘍	0	0	2	2	0	3	0	1	0	1	3	1	13
悪 性 腫 瘍	2	2	1	0	3	2	3	0	1	2	5	1	22
粘 膜 病 変 （白板症を含む）	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
T M J 疾 患	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
顎 変 形 症	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
智 歯 抜 歯	3	3	1	2	5	2	2	1	3	1	0	2	25
そ の 他	3	1	1	2	2	2	2	1	1	1	0	3	19
計	11	6	6	8	12	9	8	4	6	6	9	7	92



## ●麻酔科・中央手術室（2023年度）

2023年度の常勤麻酔科専従医は前年度と変わらず、平林和也、岡 龍弘、小銭健二、青野光夫、室内健志、長谷川まどかの6名であった。常勤の専攻医は、総合病院国保旭中央病院麻酔科専門研修プログラムの専攻医1名、帝京大学医学部附属病院麻酔科専門研修プログラムの専攻医1名、千葉大学麻酔科専門研修プログラムの専攻医1名、東京医科歯科大学病院麻酔科専門研修プログラムの専攻医1名の計4名が麻酔科に所属し、専門医になるための研修を行った。また、歯科麻酔専門医の資格をもつ常勤歯科医師1名が麻酔科に所属し、歯科麻酔と医科麻酔研修を行った。手術室業務を行う非常勤医師は、1日平均4.3名とほぼ前年同数であった。

麻酔科外来業務については、前年同様にペインクリニック外来を週2日、周術期麻酔科外来を週2日開設した。ペインクリニック外来では、週1日非常勤医師による診療が加わった。

その他の取り組みとして、術後疼痛管理チームの始動にむけた準備活動を前年度から引き続き行った。全メンバーの所定研修受講、疼痛管理プロトコルの作成、業務基準の策定などが完了し、次年度からの活動開始を予定した。また、2024年度から始まる「医師の働き方改革」に向け、就業形態を改変するための下準備として、麻酔科に係る労働時間制度を「定時制」から「変形労働時間制」に、休日制度を「定休制」から「変形休日制」に変更するなどの作業を進めた。

中央手術室所属の職員数は、看護師48名、看護補助員2名、臨床工学技士6名であった。

2023年度の年間手術件数は約7,900件、このうちの約3,900件が麻酔科管理で行われた。前年度と比較すると、手術件数は約430件の減少、麻酔科管理件数は約150件の増加となった。手術件数について科別にみると、眼科、泌尿器科、産婦人科の手術が減少した一方、外科、整形外科、形成外科の手術は増加した。

周術期薬剤管理加算を算定するための体制を整えるため、中央手術室では薬剤局と連携をとり、薬剤師の手術室業務参画にむけた準備活動を開始した。

### 手術件数（2023年度）

	外科	整形 外科	心臓 外科	泌尿器(ESWL)		脳外科(脳血内)		産科	婦人科	耳鼻科	眼科(外来)		歯口科	皮膚科	形成 外科	内科	神経科	麻酔科	小児科	合計(臨時)	
					( )		( )					( )									( )
4月	141	83	16	108	(0)	44	(14)	18	31	23	97	(0)	11	11	13	7	9	1	0	613	(280)
5月	166	76	9	127	(0)	34	(12)	12	33	19	109	(0)	6	12	22	9	0	0	0	634	(278)
6月	172	89	9	142	(0)	40	(8)	19	35	21	120	(0)	6	8	25	9	2	0	0	697	(291)
7月	154	82	9	136	(0)	43	(17)	16	30	24	120	(0)	8	8	21	8	9	1	0	669	(290)
8月	160	79	9	123	(1)	55	(22)	17	40	29	144	(0)	12	9	24	10	17	0	0	728	(268)
9月	139	71	5	134	(0)	44	(12)	18	39	32	119	(0)	9	9	18	8	17	0	0	662	(295)
10月	150	79	12	127	(0)	53	(16)	9	43	31	131	(0)	8	14	22	11	9	0	0	699	(291)
11月	161	104	12	123	(0)	38	(9)	16	28	29	100	(0)	4	11	17	12	5	0	0	660	(298)
12月	162	96	11	126	(0)	52	(13)	10	32	32	102	(0)	6	12	13	11	13	0	0	678	(309)
1月	138	79	4	109	(0)	42	(11)	9	27	26	113	(0)	6	12	25	11	9	0	0	610	(228)
2月	149	78	3	113	(1)	52	(18)	15	28	23	119	(0)	9	13	24	10	21	0	0	657	(267)
3月	143	117	6	108	(0)	47	(9)	12	25	25	41	(0)	7	11	25	15	9	0	0	591	(276)
合計	1,835	1,033	105	1,476	(2)	544	(161)	171	391	314	1,315	(0)	92	130	249	121	120	2	0	7,898	(3,371)

※平成21年4月よりアンギオでの脳血内手術を集計する

## 手術件数・麻酔件数（2023年度）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手術件数合計		613	634	697	669	728	662	699	660	678	610	657	591	7,898
定時手術件数		333	356	406	379	460	367	408	362	369	382	390	315	4,527
臨時手術件数		280	278	291	290	268	295	291	298	309	228	267	276	3,371
臨時手術の内訳	救急からの緊急	23	33	21	30	15	29	30	36	40	35	29	30	351
	時間内開始 時間外終了	192	193	197	190	195	210	206	203	212	154	188	179	2,319
	時間内開始～ 時間外延長	48	47	50	58	48	46	50	47	56	34	44	51	579
	時間外開始	40	38	44	42	25	39	35	48	41	40	35	46	473
定時の時間外延長		77	61	83	77	88	61	55	65	69	56	61	58	811
時間外開始		5	4	4	9	3	4	5	3	5	4	4	2	52
※時間外の合計		165	146	177	177	161	146	140	160	166	130	140	155	1,863
全麻件数		269	276	298	278	306	285	295	306	321	294	300	312	3,540
腰麻件数		145	167	174	168	163	148	162	158	147	116	125	134	1,807
硬麻件数		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
局麻件数		174	177	212	198	215	195	215	181	190	178	190	127	2,252
静麻件数		25	14	13	25	41	34	27	14	20	22	41	18	294
無麻件数		0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	4
感染症		23	35	35	35	28	23	31	25	35	18	30	32	350
稼働日数		20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	20	243
稼働率		48.9%	47.0%	50.5%	51.3%	49.5%	49.1%	48.5%	51.6%	51.0%	49.1%	51.4%	47.9%	49.7%
全麻件数		269	276	298	278	306	285	295	306	321	294	300	312	3,540
全麻＋硬麻		71	68	77	86	82	81	56	63	59	69	66	62	840
硬麻件数		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
腰・局・静麻麻酔科依頼		37	21	30	28	39	37	25	25	20	21	38	27	348
腰麻＋硬麻		2	5	5	5	2	2	5	1	1	2	2	2	34
麻酔科依頼件数合計		306	297	328	306	345	322	320	332	341	315	338	339	3,889
麻酔科依頼の割合		49.9%	46.8%	47.1%	45.7%	47.4%	48.6%	45.8%	50.3%	50.3%	51.6%	51.4%	57.4%	49.2%
救急ストップ		16	6	9	7	10	10	9	10	12	13	15	4	121
24時間以内の再手術件数		2	0	2	1	2	1	1	0	0	0	1	1	11

手術件数(2014～2023年度)

科名	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
外科	1,648	1,848	1,755	1,797	1,775	1,750	1,702	1,741	1,755	1,835
心臓外科	95	103	124	107	117	147	153	153	102	105
整形外科	851	762	882	967	878	1,066	968	913	976	1,033
泌尿器科	1,842	1,818	1,899	1,864	1,791	1,786	1,674	1,621	1,591	1,476
(E S W L)	(119)	(56)	(73)	(48)	(42)	(23)	(21)	(14)	(10)	(2)
脳外科	344	442	446	495	482	417	445	507	550	544
産科	232	206	209	214	217	177	188	190	206	171
婦人科	551	499	479	457	456	488	411	382	425	391
耳鼻科	278	273	245	243	253	280	252	281	320	314
眼科	1,390	1,484	1,641	1,593	1,588	1,684	1,812	1,799	1,850	1,315
歯口科	127	131	119	108	106	113	116	81	99	92
皮膚科	57	42	63	57	109	97	97	105	111	130
形成外科	348	279	268	258	319	243	219	290	180	249
内科	1	0	1	1	4	6	1	21	98	121
麻酔科	4	3	1	4	5	7	6	3	5	2
小児科	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経科	165	256	345	304	317	201	119	117	62	120
合計	7,935	8,146	8,477	8,469	8,417	8,462	8,163	8,204	8,330	7,898
臨時	2,128	2,175	2,287	2,305	2,258	2,870	3,898	3,522	3,435	3,371

麻酔件数(2014～2023年度)

科名	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全身麻酔	3,350	3,600	3,592	3,617	3,453	3,419	3,268	3,368	3,405	3,540
腰椎麻酔	2,115	2,061	2,159	2,158	1,991	2,065	1,833	1,790	1,898	1,807
硬膜外麻酔	0	3	0	0	2	6	2	2	0	1
局所麻酔	2,133	2,178	2,386	2,346	2,414	2,597	2,768	2,723	2,755	2,252
静脈麻酔	214	246	263	299	511	349	268	304	260	294
麻酔なし	123	58	77	49	46	26	24	17	12	4
合計	7,935	8,146	8,477	8,469	8,417	8,462	8,163	8,204	8,330	7,898

麻酔依頼件数(2014～2023年度)

科名	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全身麻酔	3,350	3,600	3,592	3,617	3,453	3,419	3,268	3,368	3,405	3,540
硬膜外麻酔	0	3	0	0	2	6	2	2	0	1
腰麻・局麻 麻酔科依頼	416	432	415	467	628	453	416	400	337	348
合計	3,766	4,035	4,007	4,084	4,083	3,878	3,686	3,770	3,742	3,889
麻酔科依頼の割合	47.5%	49.5%	47.3%	48.2%	48.5%	45.8%	45.2%	46.0%	44.9%	49.2%

表1 手術件数(麻酔別)(2014～2023年度)

科名	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全身麻酔	3,350	3,600	3,592	3,617	3,453	3,419	3,268	3,368	3,405	3,540
全身麻酔以外	4,585	4,546	4,885	4,852	4,964	5,043	4,895	4,836	4,925	4,358
合計	7,935	8,146	8,477	8,469	8,417	8,462	8,163	8,204	8,330	7,898

表2 手術件数(麻酔別)(2014～2023年度)

科名	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全身麻酔	3,350	3,600	3,592	3,617	3,453	3,419	3,268	3,368	3,405	3,540
麻酔科依頼	416	432	415	467	628	453	416	400	337	348
自科麻酔	4,169	4,114	4,470	4,385	4,336	4,590	4,479	4,436	4,588	4,010
合計	7,935	8,146	8,477	8,469	8,417	8,462	8,163	8,204	8,330	7,898

表1 手術件数(麻醉別)

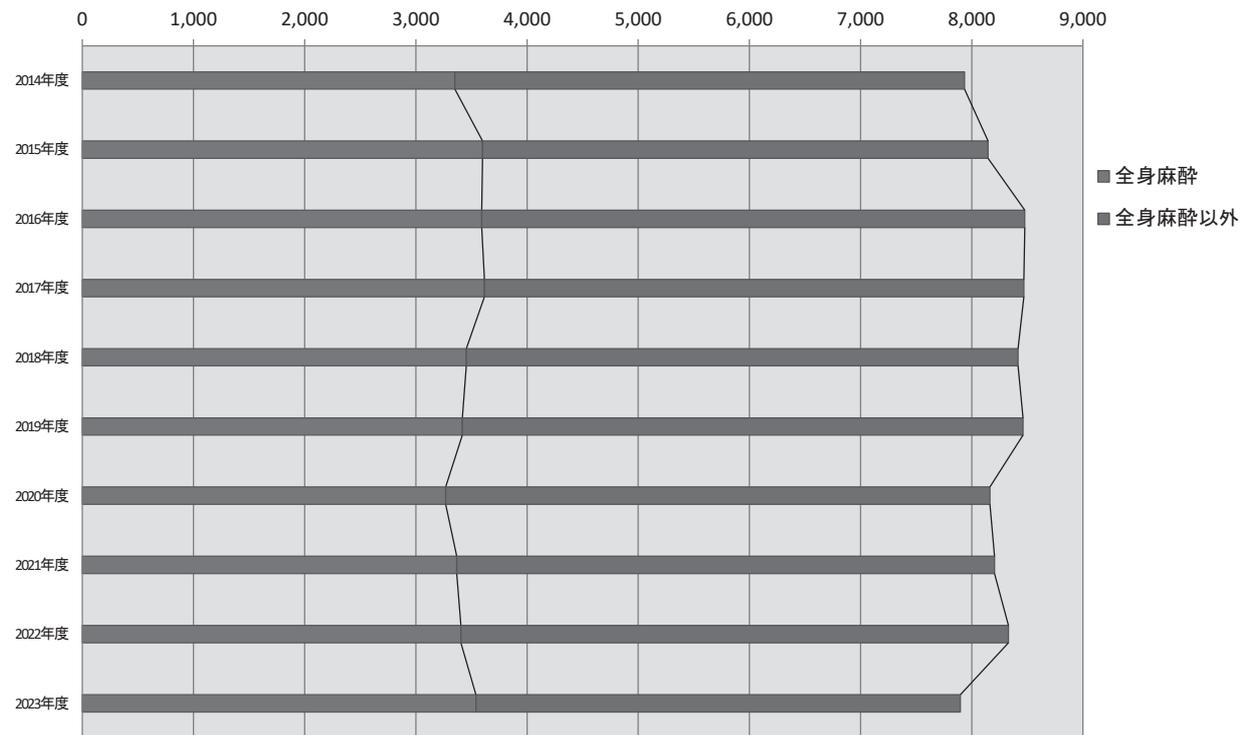
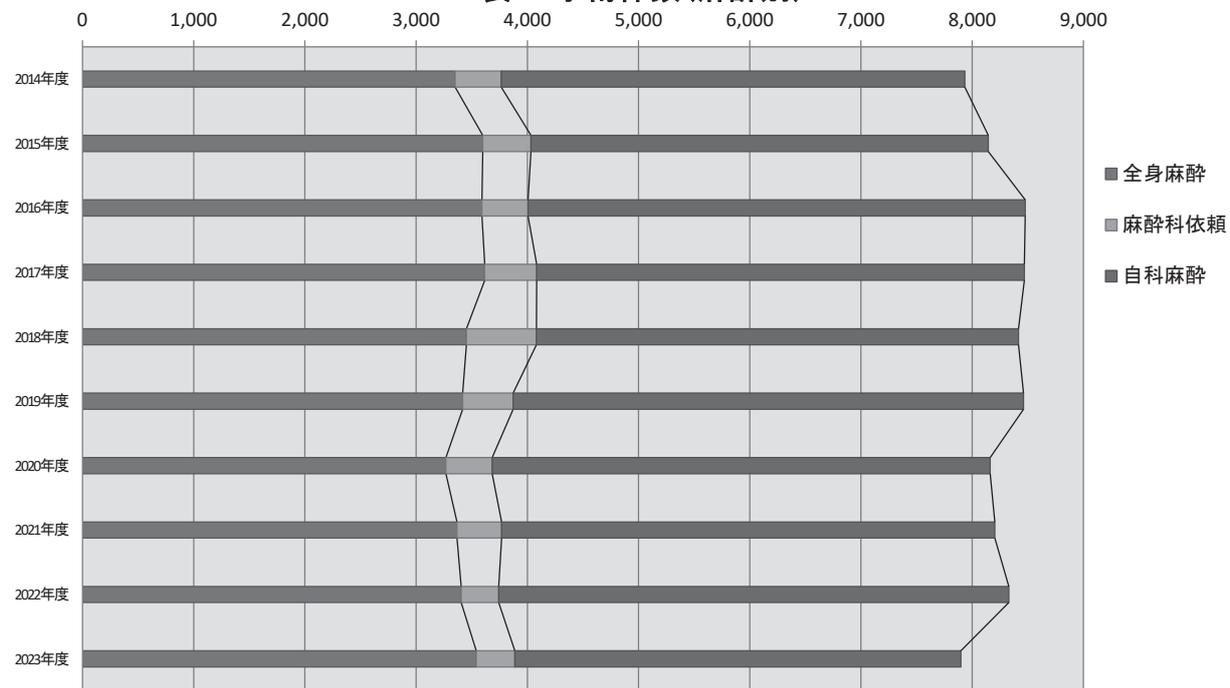


表2 手術件数(麻醉別)



## ●泌尿器科 (2023年)

### 2023年泌尿器科手術件数

術式	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
CAPDカテーテル抜去術							1	1					2
CAPDカテーテル留置術				1		2						1	4
ESWL	1							1					2
f-TUL	14	17	19	13	15	17	13	16	19	11	11	20	185
f-TUL&PNL	1	2	2						1				6
PNL		8	7	3	6	9	3	4	5	5	6	8	64
TUWL	2	2	2	3	7	3	4	4	4	4	7	4	46
ヘルニア手術(鼠径ヘルニア)	1		1	1		2	1	5		1		1	13
陰茎悪性腫瘍手術(陰茎切除)						1				1	1		3
陰茎生検							1						1
陰嚢水腫手術(その他)		1	3	1		2	1	1	3		2	1	15
陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)							2					1	3
陰嚢内腫瘍摘出術		1											1
経尿道的憩室電気凝固術					1			1		1			3
経尿道的水蒸気治療(準K841-6)					2			3					5
経尿道的前立腺核出(TUEB)	8	2	1	4	3	3	2	2	2	7	5	6	45
経尿道的前立腺切除(TURis-P・TURis-V)				1	1	1							3
経尿道的電気凝固止血術		1						1				1	3
経尿道的尿管ステント留置術	2			1	3		1	1	1				9
経尿道的尿管狭窄拡張術					1		2						3
経尿道的膀胱頸部切開術(準K821)							2			1			3
根治的腎摘除術(静脈血栓摘出術含まない)												1	1
根治的腎摘除術(静脈血栓摘出術含む)	1												1
根治的腎尿管摘除術				1									1
根治的腹腔鏡下腎摘出術(ダヴィンチ支援機器使用)					1	1	2	2	1	1	2		10
根治的腹腔鏡下腎摘除術			2	2	2		2		2	2			12
腎部分切除術(ダヴィンチ支援機器使用)	2			2	1	3	2	3	1	1	2	4	21
根治的腹腔鏡下腎尿管摘出術(ダヴィンチ支援機器使用)		2		2		1		1			1		7
根治的腹腔鏡下腎尿管摘除術	2	2	1	1			4	2	3			1	16
腎盂形成手術(ダヴィンチ支援機器使用)										1			1
女子尿道脱手術(カルンクルス含む)										1	1		2
除睾術	1		3	4	2	1	3	1			1		16
精管切断術(両側)						2							2
精索捻転手術(対側精巣固定術を伴う)		1	1						2			1	5
精巣高位摘除術		1	2		1		2			2			8
前立腺生検	50	47	50	31	41	33	34	43	43	47	40	40	499
前立腺生検(フュージョン)	6	9	8	12	3	4	9	8	8	7	10	8	92
根治的前立腺全摘除術	2			1							1		4
前立腺全摘除術(ダヴィンチ支援機器使用)	5	6	7	4	5	7	4	2	6	1	5	3	55
停留精巣固定術						1			1				2
内視尿道切開	1				2			1	1		1		6
尿管鏡検査	3	3	6	3	10	9	4	1	4	5	4	4	56
尿管尿管吻合術	1												1
尿膜管摘出術						1							1
腹腔鏡下副腎摘出術		1											1
経尿道的膀胱腫瘍切除(PDD使用TURis-Bt)	2	3	3	1	6	5	5	1	4	3	4	6	43
経尿道的膀胱腫瘍切除(TURis-Bt)	9	6	7	8	8	12	18	16	6	13	9	8	120

## 2023 年泌尿器科手術件数

術式	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
腹腔鏡下膀胱全摘(回腸導管)ダヴィンチ使用			1		1	1			1	1			5
腹腔鏡下膀胱全摘(尿管皮膚瘻造設術)ダヴィンチ使用				1									1
膀胱全摘(回腸導管)						2							2
包茎手術(環状切除術)		1	2	1	1	2		3	1	1	2	1	15
包茎手術(背面切開術)		1				1							2
膀胱憩室切除術										1			1
膀胱結石摘出術(膀胱高位切開術)							1						1
膀胱水圧拡張術	2			1		2	1					1	7
膀胱生検	1	1	3	2	1	2	3		1			1	15
膀胱破裂閉鎖術			1	1									2
膀胱瘻造設	1												1
総計	118	118	132	106	124	130	127	124	120	118	115	122	1,454

## ●神経精神科（2023年度）

入院（2023年度）

年度	新入院件数	退院件数
1965	91	36
1970	204	195
1975	224	218
1980	212	210
1985	293	278
1990	282	282
1995	313	319
1996	340	335
1997	384	387
1998	358	356
1999	354	343
2000	349	357
2001	376	379
2002	334	330
2003	315	320
2004	323	316
2005	331	336
2006	228	273
2007	206	218
2008	184	201
2009	239	307
2010	247	286
2011	309	290
2012	314	336
2013	272	281
2014	290	288
2015	300	309
2016	284	283
2017	279	273
2018	269	270
2019	233	237
2020	199	198
2021	164	169
2022	182	177
2023	181	179

2023年度 平均在院日数 66.0日

入院形態別 入院状況（2023年度、在院は2023年6月30日現在）

	在院患者数	%	新入院件数	%
任意入院	6	20.0	53	29.3
医療保護入院	23	76.7	117	64.6
応急入院	0	0	2	1.1
措置入院	1	3.3	3	1.7
緊急措置入院	0	0	6	3.3
その他	0	0	0	0
合計	30	100	181	100

疾病分類別 入院状況（2023年度、在院は2023年6月30日現在）

	在院患者数	%	新入院件数	%
F0：症状性・器質性	2	6.7	6	3.3
F1：精神作用物質性	1	3.3	7	3.8
F2：統合失調症	11	36.7	64	35.4
F3：気分（感情）障害	12	40.0	74	40.9
F4：神経症性	2	6.7	8	4.4
F5：生理：身体的要因	1	3.3	5	2.8
F6：人格障害	0	0	0	0
F7：知的障害	0	0	7	3.8
F8：心理的発達障害	0	0	1	0.6
F9：小児・青年期障害	0	0	0	0
G4：てんかん	0	0	1	0.6
その他	1	3.3	8	4.4
合計	30	100	181	100

外来患者数 (2023 年度)

ICD-10	女		女 集計	男		男 集計	総計
	再診	初診		再診	初診		
F0	41	43	84	27	58	85	169
F1	13	6	19	33	13	46	65
F2	349	39	388	372	37	409	797
F3	370	70	440	256	56	312	752
F4	269	120	389	141	52	193	582
F5	36	12	48	23	3	26	74
F6	9	2	11	5	2	7	18
F7	38	15	53	56	23	79	132
F8	62	16	78	184	34	218	296
F9	41	14	55	87	17	104	159
G3	2	4	6	2	6	8	14
G4	113	4	117	134	7	141	258
その他	13	22	35	15	16	31	66
総計	1,356	367	1,723	1,335	324	1,659	3,382

年齢	女		女 集計	男		男 集計	総計
	再診	初診		再診	初診		
0-9	16	15	31	48	25	73	104
10-19	149	59	208	243	51	294	502
20-29	116	39	155	97	27	124	279
30-39	123	42	165	117	25	142	307
40-49	213	36	249	233	38	271	520
50-59	234	45	279	222	32	254	533
60-69	215	39	254	171	36	207	461
70-79	192	48	240	147	51	198	438
80-89	79	35	114	54	34	88	202
90-99	19	8	27	3	5	8	35
>100	0	1	1	0	0	0	1
総計	1,356	367	1,723	1,335	324	1,659	3,382

# ●救命救急センター（2023年度）

## 外来部門

### 【1】受診数等

総受診数 45,584 人

入院 6,993 人

入院率 15.3%

年 度	2023 年度	2022 年度
受 診 数	45,584	44,365
入 院 数	6,993	6,782
紹 介 数	2,895	2,523
救 急 車	9,403	8,904
手 術	329	299
外 来 死 亡	256	249

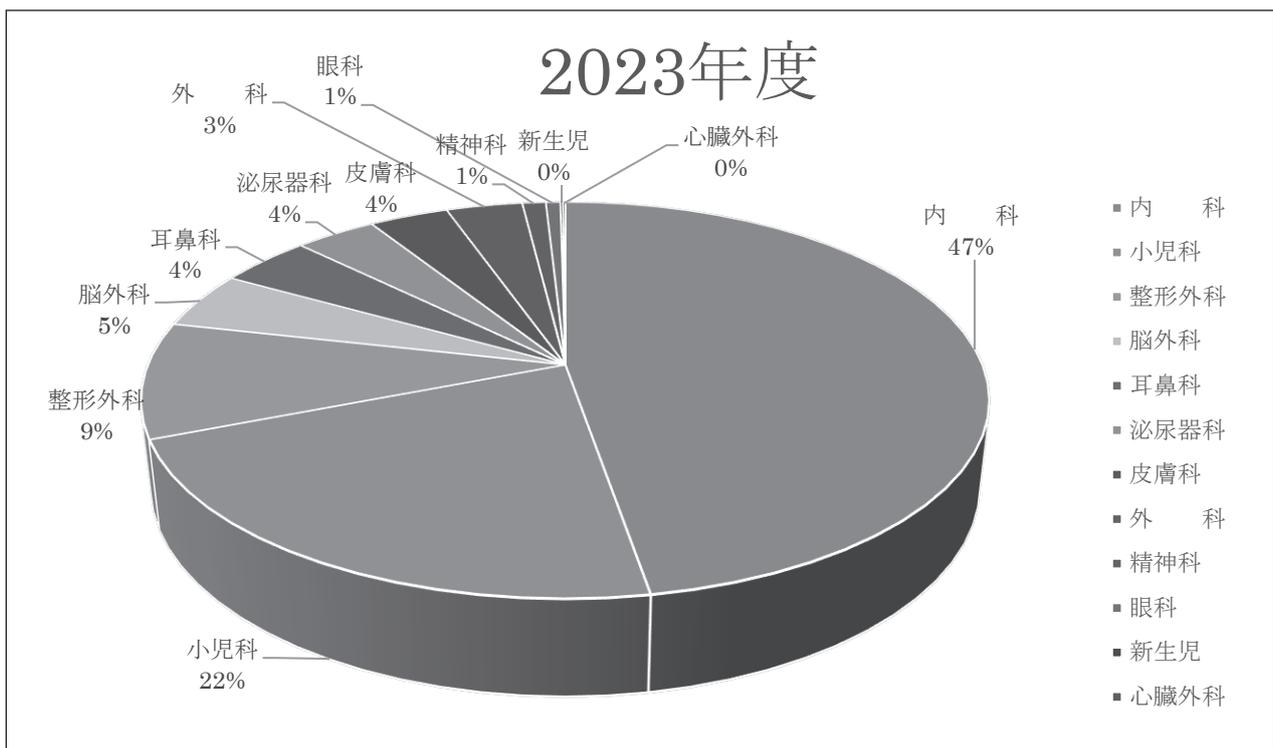
### 【2】診療科別受診数

診療科別の受診数を示す。

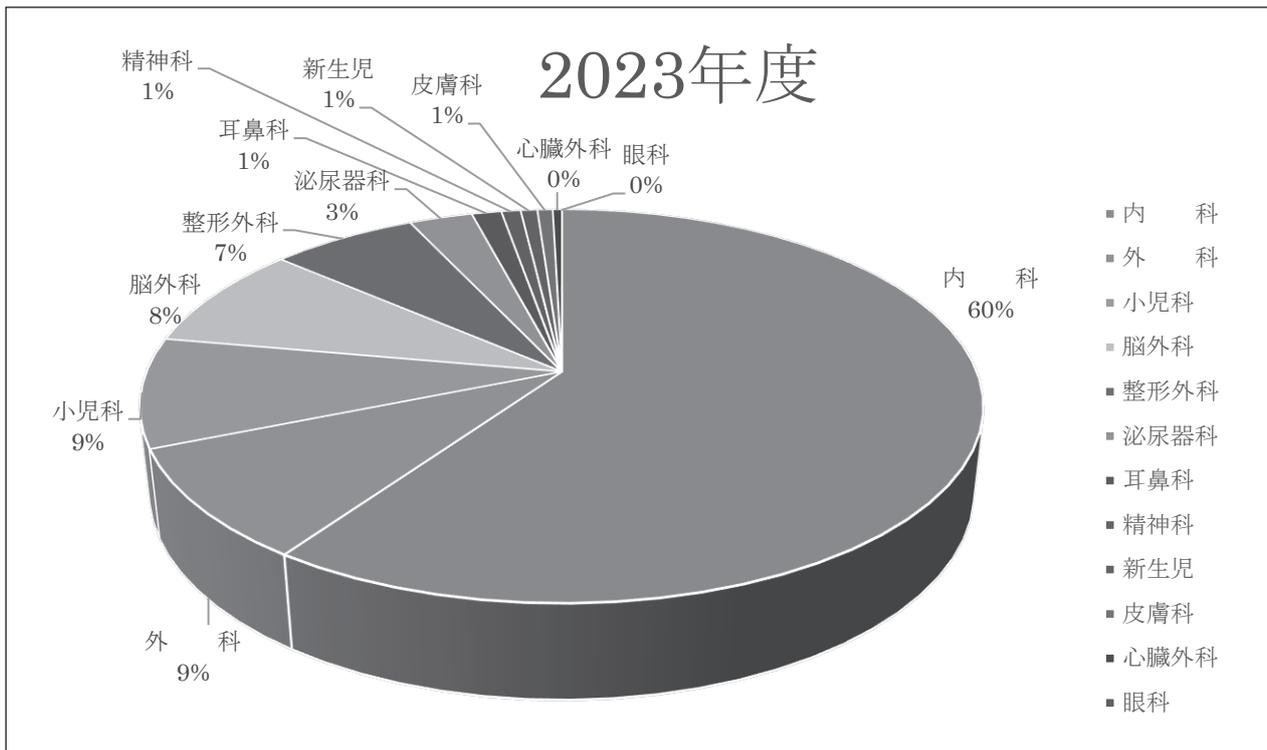
年 度	2023 年度	2022 年度
内 科	20,023	19,755
小 児 科	9,206	8,223
新 生 児	50	42
精 神 科	450	484
皮 膚 科	1,516	1,451
外 科	1,457	1,337
整 形 外 科	4,011	3,931
脳 外 科	1,966	2,079
泌 尿 器 科	1,557	1,702
心 臓 外 科	47	26
眼 科	278	508
耳 鼻 科	1,768	1,549
歯 口 科	305	342
産 婦 人 科	775	780
透 析 科	229	211
麻 酔 科	4	2
形 成 外 科	1,942	1,943

### 【3】外来診療科別比率

外来受診数



入院数



【4】市町村別受診数

市町村名	2023 年度	2022 年度
旭市	16,215	16,015
銚子市	5,432	5,370
匝瑳市	5,140	4,943
東庄町	1,945	1,834
香取市	4,741	4,459
東金市	662	642
九十九里	275	222
大網白里	236	172
鹿嶋・神栖	3,630	3,677

【5】年齢別受診数

	受診者数 (人)	入院数 (人)	入院率 (%)
10 歳未満	9,155	581	6.3%
10 代	3,525	144	4.1%
20 代	2,877	129	4.5%
30 代	2,823	192	6.8%
40 代	3,158	294	9.3%
50 代	3,742	546	14.6%
60 代	4,814	933	19.4%
70 代	7,277	1,711	23.5%
80 代	6,153	1,780	28.9%
90 歳以上	2,060	683	33.2%
年齢不明	0	0	-%

入院部門統計

救命救急センター入院状況

ERW-A 病棟 / 04-I 病棟 入院数 (人)

4 月	66	22
5 月	77	13
6 月	54	22
7 月	62	27
8 月	79	21
9 月	55	15

10 月	50	27
11 月	82	18
12 月	81	24
1 月	63	16
2 月	70	19
3 月	78	20

ERW 病棟 (04-I 含む) 入院数計

2021 年度	1,106 人
2022 年度	1,087 人
2023 年度	1,061 人

メディカル・コントロール (MC) 部門

- 【1】事後検証
- 【2】プロトコル策定
- 【3】症例検討会
- 【4】教育

## ●緩和ケアセンター（2023年度）

緩和ケア科医師不在でしたが、2023年4月に崎元が部長として赴任しました。

地域がん診療連携拠点病院である当院での緩和ケア診療は緩和ケアセンターの下、緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、緩和ケア外来の3つの機能で専門的な緩和ケアを提供しています。

緩和ケア病棟：一般病棟でコントロール困難な患者に対して専門的な緩和ケアを提供すること、終末期の看取り、療養先の調整を主に行う病棟です。2022年度は一般病棟として運営していた1-7病棟は2023年4月より緩和ケア診療加算1を算定する緩和ケア病棟として再出発することとなりました。再開初年度で年間213例の入院となりました（別紙2023年緩和ケア病棟年間報告参照）。

緩和ケアチーム：一般病棟に入院中の患者のがんやその他の疾患による身体的・精神的苦痛を緩和し、患者のQOLを維持・向上させることを目的にしています。緩和ケアチームは従来通り泌尿器科の島敬之医師をリーダーとして、精神担当に新任の小林宏子医師が参加されるなど新しいメンバーが加わり、年間新規依頼件数97件と前年と比べ大幅な増加を認めました（別紙緩和ケアチーム実績年報報告参照）。

緩和ケア外来：外来通院患者のがんやその他の疾患による身体的・精神的苦痛を緩和し、患者のQOLを維持・向上させることを目的にしています。緩和ケア外来は週2回診療を行い2023年度は年間新規11例の診療を行いました。

### 緩和ケアチーム実績年報報告

【2023年4月～2024年3月】

#### 新規件数入院 / 外来

新規	入院	外来
件数	97 (5)	11

#### 回診

延べ回数	年間
件数	528

緩和ケア病棟移行までの日数  
平均日数19日（1日～77日）

#### 転帰

転帰内容	継続 (入院)	継続 (外来)	終了	終了 (転院)	終了 (緩和ケア病棟)	死亡
入院件数	9 (1)	0+3	26+6	7 (1)	27+1	28 (3) +1

#### 依頼科

依頼科	内 (消化器)	内 (呼吸器)	内 (血液)	内 (神経内科)	内 (腎臓)	外 (消化器)	外 (呼吸器)	外 (甲状腺)	外 (循環器)
件数	21	14+1	13	1	1	8+1	1+1	0	1
依頼科	外 (乳腺)	整形外科	脳神経 外科	泌尿器科	産婦人科	皮膚科	耳鼻 咽喉科	歯科口腔 外科	内 (循環器)
件数	4+4	2	2	6+1	18+2	3	1	0	1

#### 初回依頼内容（\*重複あり）

依頼内容	疼痛	その他の 身体症状	精神	家族ケア	スピリチュ アルペイン	倫理	告知意思 決定支援	療養	その他
件数	67+8	42+3	35+4	5+1	2	0	1	3	4

※（ ）内は非がん患者件数となります

※ +数値は外来患者件数となります

1: 依頼科

科別	内科	泌尿器科	婦人科	脳外科	歯口科	外科	耳鼻科	皮膚科	整形外科	眼科	合計
累計	126	13	14	7	5	35	12	1	0	0	213

2: 入棟経路

	他院	自宅	一般病棟	シルバー	施設	合計
累計	0	57	154	0	2	213

3: 居住地

	旭市内	旭市外	県外	合計
累計	57	125	31	213

4: 年齢 性別

年齢	20以下	21～30	31～40	41～50	51～60	61～70	71～80	81以上	合計
男	0	0	0	1	7	36	55	31	130
女	0	0	1	2	5	19	27	29	83

5: 原発部位(多重癌を含む)

病名	呼吸器	上部消化管	下部消化管	肝・胆・膵	婦人生殖器	乳腺	泌尿器	皮膚	頭頸部	脳	血液	原発不明	肉腫	その他	合計
累計	45	28	35	49	14	4	15	1	17	7	1	3	0	0	219

6: 転帰

	死亡	在宅	転棟	転院	施設	合計
累計	191	15	0	6	1	213

7: 剖検率

	剖検者数	剖検率
累計	4	2.1%

8: 緩和ケア病棟外来受診者数(入棟相談外来) 264名

9: 入棟前死亡患者数 39名

月	在院患者延数	入院患者実数	1日平均入院患者数	平均在院日数	退院患者数	死亡退院	解剖数	待機日数
4月	448	20	14.9	23	19	16	2	0.5
5月	519	19	16.7	26.6	20	16	0	2.3
6月	550	18	18.3	32.4	16	14	0	3.9
7月	528	19	17	27.8	19	18	0	0.4
8月	579	17	18.7	36.2	15	14	0	1.9
9月	548	18	18.3	29.6	19	17	0	4.7
10月	582	16	18.8	35.3	17	14	0	4.7
11月	549	20	18.3	26.1	22	20	0	1.5
12月	552	21	17.8	25.7	22	21	0	1.2
1月	501	18	16.2	30.4	15	14	0	0.7
2月	506	13	17.4	34.9	16	15	1	1.9
3月	495	14	16	36.7	13	12	1	0.5
年間	6,357	213	17.4	30.4	213	191	4	2.0

2023/4/1～2024/3/31

病院死亡者総数 1,182名  
 内 癌死亡者数 512名  
 その他死亡者数 670名  
 緩和ケア病棟死亡者数 191名

## ●PET画像診断センター・核医学科（2023年度）

本年のトピックはアミロイドPETの開始である。8月に保険承認された早期アルツハイマー病に対する疾患修飾薬（レケンビ®）の適応判断のため、患者脳へのアミロイドβ沈着を証明するために行う検査である。当院は早々にファントム試験を実施し、審査合格を得られたため、2024年初頭から検査を開始することができた。国内では2社が異なるアミロイドPET製剤を販売しているが、両社とも当院での1例目が千葉県内での1例目とのことである。ここまで迅速な導入を実現できたのは、核医学部門担当の山口技師、認知症疾患医療センター長の持田医師の尽力故である。この場を借りて御礼申し上げたい。

FDG-PET/CTの件数はほぼ横ばいであるが、PET以外の核医学検査は前年比170件ほどの減件となった。特定の検査に偏って減少したという傾向はなく、原因は特定できていない。アミロイドPETと関連して認知症診療における種々の核医学検査の重要性も高まっており、カルナシステムでの近隣医療機関からの検査オーダー拡充を図りたいと考えている。

RI内用療法については、ルタテラ治療の導入準備から対象患者が現れないまま長期間経過してしまったため、新年度に改めて一から立ち上げを行う方針である。千葉大学腫瘍内科を中心として県内の治療ネットワークの構築も模索されており、地域中核病院たる当院も一刻も早く他施設との連携、地域医療への貢献に舵を切りたいところである。

最後に2023年度のPET/CT検査の実施件数（合計1,505件）、シンチおよびSPECT（/CT）検査の実施件数（合計1,550件）の内訳を表1、2に示す。

表1 PET/CT 検査数

	件数
診療	1,301（うち他院紹介227）
ドック	183
アミロイド	13
治験（心筋）	8

表2 シンチおよびSPECT（/CT）検査数

検査名	件数	検査名	件数
骨シンチ	426	脳血流シンチ（ <sup>123</sup> I-IMP）	191
ガリウムシンチ	129	脳DATシンチ	131
肺換気血流シンチ	13	副甲状腺シンチ	12
心筋血流シンチ（ <sup>99m</sup> Tc-MIBI）	306	唾液腺シンチ	12
心筋血流シンチ（ <sup>201</sup> TlCl）	28	センチネルリンパ節シンチ（ <sup>99m</sup> Tc-フィチン酸）	109
心筋MIBGシンチ	81	甲状腺摂取率シンチ	29
心筋ピロリン酸シンチ	38	その他	45

注：年間施行件数が10件以下の検査（消化管出血シンチ、リンパ管シンチ、腎動態シンチ、ソマトスタチン受容体シンチ、副腎シンチなど）については「その他」に集約した

## ●集中治療科（2023年度）

### ① ISO 質目標に基づいた振り返り

「質」目標達成計画として以下の4項目を挙げて取り組んだ。

- ワークライフバランスの向上：出退勤打刻率 100% および有休取得 5 日以上を目標に取り組み、ほぼ達成できた。
- インシデント事例の有効活用：インシデントレポート年 2 件以上提出および医療安全研修 2 回以上受講を目標に取り組み、医療安全研修は 2 回受講できたが、インシデントレポートは 1 件しか提出できなかった。
- 急性期死亡率の改善：標準化死亡比 25% 以下を目標に、VAP 発生率 5% 未満を実現するため、引き続き VAP 予防バンドルの励行および早期リハビリ開始の徹底に取り組んだ。VAP 発生率は 4.1%、人工呼吸器装着 1000 日あたりの VAP 発生症例数は 8.2 症例と、それぞれ 2.2 ポイント、0.7 症例改善した。標準化死亡比は 27% と 1 ポイント悪化した。これは外科症例において死亡率が高かったためと考える。VAP 発生率が 6% を超えている心臓外科症例において特に人工呼吸器からの早期離脱が望まれる。
- 平均在室期間の短縮：在室 14 日を越える症例の 5% 以下への削減に取り組んだ。  
平均在室日数は 5.9 日と 0.8 日短縮、在室 14 日を越える症例は 7.1% と 0.6 ポイント改善、集中治療加算対象外の在留日数は 16% と 2 ポイント改善したが、目標達成のためには引き続き、特に心臓外科症例において心不全・呼吸不全早期離脱による長期滞在症例の削減が必須と考える。

### ②診療実績

診療科	入室数	科別割合 (%)	2023 年度 集中治療科 入退室動向 (2023.4.1 ~ 2024.3.31)																
			予定手術後	院内急変	救外	死亡数	死亡率 (%)	平均滞在日数	>2 週滞在率 (%)	CRRT 施行率 (%)	CRRT 日数	APACHE 2	予測死亡率 (%)	標準化死亡比	人工呼吸例数	平均人呼日数	VAP 発生率 (%)	VAP 1000d	SOFA
心臓外科	106	44	83	8	15	9	8	8.4	11	11	6	20	38	0.22	96	4.8	6.3	13	9
内科	89	37	0	84	5	5	6	3.7	2	9	4	14	23	0.25	20	6.6			5
外科	20	8.3	6	12	2	5	25	5.9	15	10	3	21	40	0.62	15	6.3			8
透析科	2	0.8	0	2	0	1	50	2.5				31	73	0.68	1	3.0			11
脳外科	3	1.3	0	2	1	0	0	1.7				16	28	0	1	1.0			3
整形形科	2	0.8	0	2	0	1	50	10.5				17	28	1.81	1	11.0			9
泌尿器科	0																		
歯口科	9	3.8	9	0	0	0	0	1.9				18	33	0	8	1.9			5
産婦人科	6	2.5	0	6	0	0	0	2.8				16	28	0	2	3.5			5
耳鼻科	1	0.4	0	1	0	0	0	12.0				28	64	0	1	7.0			7
形成外科	2	0.8	0	2	0	0	0	6.0				27	58	0	1	7.0			8
合計	240	100	98	119	23	21	9	5.9	7.1	9	5	18	32	0.27	96	6.0	4.1	8.2	7

( 25% 61% 14% )

CRRT : continuous renal replacement therapy : 持続腎代替 (透析) 療法

APACHE II : acute physiologic and chronic health evaluation II : 重症度評価の指標

標準化死亡比 (SMR : standardized mortality ratio) : ICU 死亡率 / 予測死亡率

VAP : ventilator-associated pneumonia : 人工呼吸器関連肺炎

VAP/1000d : 人工呼吸器装着 1000 日あたりの VAP 発生症例数

SOFA : sequential organ failure assessment score : 臓器障害 / 不全評価の指標

## ●臨床病理科（2023年）

- スタッフは常勤医師 4 名、臨床検査技師 11 名、電子顕微鏡技師 1 名、診療情報管理士 1 名、医療事務 1 名の体制にてスタートした。
- ISO15189 の定期審査にも通り、認定を継続している。
- 院内 AGH アワードの病院の質部門にて CPC 運営委員会が優秀賞を受賞した。
- 個人の資格取得としては、長谷川隼医師が細胞診専門医資格を取得、小川真毅医師が病理専門医資格、細胞診専門医資格を取得、小久保侑美技師が国際細胞検査士資格を取得、小坂桃子技師が認定病理検査技師資格を取得する。
- 遠隔病理診断センターはさんむ医療センター、東京本郷の旭中央病院附属病理診断科診療所共に順調に稼働中である。

検体数（2023年）

	剖検	細胞診	組織	組織至急	迅速	電顕手術例	電顕剖検例	蛍光手術例	蛍光剖検例	免疫手術例	免疫剖検例	特染手術例	特染剖検例	組織ブロック	剖検ブロック	免疫関連遺伝子再構成手術例	Her2 遺伝子手術例
1月	5	903	842		23	7		11		170	10	177	20	4,051	488	2	7
2月	9	958	886		29	10		15		210	6	212	21	4,553	358		8
3月	7	1,111	988	2	32	13		21		222	2	214	18	5,096	478	2	13
4月	5	915	842	1	29	9		19		243	2	242	9	4,448	133	2	6
5月	4	1,018	898		24	9		14		221	6	231	23	4,063	524	1	5
6月	4	1,054	1,001	3	28	15		26		248	7	275	16	4,753	197	4	6
7月	7	974	952	3	26	7		12		224	6	235	15	4,460	295	3	11
8月	6	1,013	1,027	2	26	7		22		224	2	259	8	4,721	245	1	6
9月	3	947	916	3	23	13		26		205	4	215	13	4,524	228	1	12
10月	5	1,229	992	2	26	9		15		255	6	233	15	4,497	409	4	11
11月	5	1,347	970	2	32	10		18		251	6	253	18	4,861	354	3	12
12月	5	1,222	966	3	28	7		13		239	3	235	11	4,769	197	3	10
合計	65	12,691	11,280	21	326	116		212		2,712	60	2,781	187	54,796	3,906	26	107

発行レポート、染色枚数

	仮発行レポート	発行レポート	再発行レポート	手術 (HE)	手術 (特染)	剖検 (HE)	剖検 (特染)	手術 (免疫種類)	手術 (免疫枚数)	剖検 (免疫種類)	剖検 (免疫枚数)	手術 (免疫+コロナ)	剖検 (免疫+コロナ)
1月		785	182	4,272	794	570	389	359	434	21	36	718	42
2月		858	205	4,789	903	511	298	368	454	26	41	736	52
3月	1	960	232	5,423	1,197	580	229	450	536	5	12	900	10
4月	4	812	198	4,783	1,087	212	140	483	581	4	9	966	8
5月	3	853	225	4,372	1,028	574	378	548	628	8	14	1,096	16
6月	7	975	237	5,120	1,302	260	193	579	659	15	22	1,158	30
7月	4	939	206	4,817	1,042	408	253	444	538	11	43	888	22
8月	8	995	220	5,036	1,129	276	258	442	524	10	12	884	20
9月	7	897	202	4,804	993	253	157	416	523	11	16	832	22
10月	5	968	261	4,828	1,053	484	219	549	640	27	60	1,098	54
11月	5	916	219	5,161	1,199	389	274	477	577	9	9	954	18
12月	3	982	243	5,100	1,214	233	203	554	629	4	9	1,108	8
合計	47	10,940	2,630	58,505	12,941	4,750	2,991	5,669	6,723	151	283	11,338	302

剖検

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	健診	職員 健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計	
1月									4					1										5
2月		1				1			7															9
3月									6			1												7
4月									5															5
5月									4															4
6月									2					1				1						4
7月									6			1												7
8月									6													1		6
9月				1		1								1										3
10月									4			1												5
11月									3			2												5
12月									4					1										5
合計		1		1		2			51			5		4				1				1		65

細胞診

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	健診	職員 健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計
1月	3	467		223		25			63		21					6	1		86		8		903
2月	10	521		203		34			58		23					10			91		8		958
3月	4	613		246		46			66		22					10	1		96		7		1,111
4月	6	484		201		25			61		20					4	1		104		9		915
5月	3	547		236		29			68		19			2		8	1		100		5		1,018
6月	5	581		226		29			72		26			1		6			108				1,054
7月	5	532		206		35			60		20	1		2		6			104		3		974
8月	3	548		212		33			61		27	1		1	1	4	1		116		5		1,013
9月	3	503		212		34	2		55		30			1	1	4			98		4		947
10月	4	568		225		32		152	72		19	2		1		8	1		132		13		1,229
11月	4	579		226		45		295	50		24	2		2		7			109		4		1,347
12月	3	602		233		24	1	145	73		14				1	1		1	120		4		1,222
合計	53	6,545		2,649		391	3	592	759		265	6		10	3	74	6	1	1,264		70		12,691

組織診

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	健診	職員 健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計
1月	14	101		89		131		1	274	39	52	9	4	4	39	36		2	17		7		819
2月	18	112		87	1	128			318	42	46	6	3	8	32	31		7	13		5		857
3月	16	124		88	3	128			355	69	62	7	6	10	16	39	1	6	20		6		956
4月	15	104		72	2	126			286	60	56	4	4	5	21	27		11	17		3		813
5月	11	93		80	2	146		2	326	72	42	5	4	4	35	23	2	9	15		3		874
6月	17	123		83	1	148			350	98	43	7	1	6	38	23		9	26				973
7月	22	116		95	1	139		1	318	82	52	6	2	2	25	32		9	21		3		926
8月	19	150		84		153		2	355	76	49	3	3	4	40	32	1	8	19		2	1	1,001
9月	15	111		83		134		3	326	62	58	3	1	6	30	25	2	6	22		6		893
10月	12	131		89		144		1	352	68	57	6		8	36	29		9	17		7		966
11月	14	104		81	1	150			355	66	60	5	2	6	28	37		11	17		1		938
12月	14	123		81		148			359	61	52	7	2	4	24	31	3	9	18	1	1		938
合計	187	1,392		1,012	11	1,675		10	3,974	795	629	68	32	67	364	365	9	96	222	1	44	1	10,954

組織至急検体

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	健診	職員 健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計	
1月																								
2月																								
3月									2															2
4月											1													1
5月																								
6月									2		1													3
7月								1	1		1													3
8月											1				1									2
9月											1				2									3
10月									1		1													2
11月										1				1										2
12月									2		1													3
合計								1	8	1	7			1	3									21

迅速診断

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	健診	職員 健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計	
1月		1				18						4												23
2月		4				23					1	1												29
3月		3		1		25						3												32
4月		3		1		21						3										1		29
5月				1		20						3												24
6月		2		2		23						1												28
7月		5				18						3												26
8月		3				21					1	1												26
9月		4		1		15					1	2												23
10月		2		1		18					1	3		1										26
11月		1				29					1				1									32
12月		1				24						3												28
合計		29		7		255					5	27		1	1							1		326

免疫組織化学

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	健診	職員 健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計	
1月		4		17		56			28	5	12	6	1		1	4						1		135
2月		8		22		66			36	10	9	3		1		2								157
3月		6		21		70			41	10	11	6	2	2										169
4月		13		17		69			41	10	11	4			3	3								171
5月		8		13		63			48	11	7	5	1		2	2								160
6月		8		21		72			54	12	11	3	1	1	2	2								187
7月		13		19		72			42	9	14	3			1	1			1					175
8月		11		14		74			42	8	8	4			2	3			1					167
9月		8		20		64			44	8	11	3	1		1	2								162
10月		10		12		77			53	12	12	4				2						1		183
11月		9		14		91			42	6	16	2			4	1								185
12月		8		15		72			50	12	11	8			1	4	1		1					183
合計		106		205		846			521	113	133	51	6	4	17	26	1		3		2			2,034

蛍光抗体法

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	健診	職員 健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計	
1月									3	5				3										11
2月									1	7				7										15
3月									2	11				8										21
4月									2	11				5		1								19
5月									1	9				4										14
6月					1				3	18				4										26
7月									1	10				1										12
8月									4	16				2										22
9月									2	18				6										26
10月									2	8				5										15
11月										12				5		1								18
12月									3	6				3		1								13
合計					1				24	131				53		3								212

電顕顕微鏡検査

	産	婦	産婦	泌尿	小児	外	健診	職員 健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計	
1月									4					1										5
2月		1				1			7															9
3月									6			1												7
4月									5															5
5月									4															4
6月									2					1				1						4
7月									6			1												7
8月									6															6
9月				1		1								1										3
10月									4			1												5
11月									3			2												5
12月									4					1										5
合計		1		1		2			51			5		4				1						65

遺伝子検査

	RAS	大腸 BRAF	EGFR	ALK	ALK	ALK	遺伝子 再構成	HER2	CDK N2A	1p/ 19q	MYC	PD-L1	ROS1	皮膚 BRAF	MSI	MYD 88	オンコ マイ ン Dx	ア モ イ	その他		計	
	Q-PCR	Q-PCR	Q-PCR	RT-PCR	iAEP	FISH	E-PCR	FISH	FISH	FISH	FISH	IHC	RT-PCR	皮膚	PCR	PCR						
1月	5	5	2	0	0	0	3	8	0	0	0	20	0	0	11	0	1	6	0		61	
2月	5	5	1	0	0	0	0	10	0	0	0	9	0	0	12	0	0	6	0		48	
3月	18	18	1	0	0	0	4	10	0	0	0	8	0	0	19	1	0	5	0		84	
4月	7	7	2	0	0	0	3	11	0	0	0	9	1	0	15	0	1	2	0		58	
5月	8	8	0	0	0	0	1	10	0	0	0	23	0	0	17	0	0	8	0		75	
6月	7	7	0	0	0	0	2	8	0	0	0	18	0	0	10	1	0	8	0		61	
7月	7	7	0	0	0	0	3	7	0	0	0	17	0	0	13	0	1	7	F1CDx 1		63	
8月	9	9	0	0	0	0	2	10	0	0	0	17	0	1	17	0	0	11	F1CDx 2		78	
9月	6	6	0	0	0	0	0	8	0	0	0	13	0	0	10	0	0	7	0		52	
10月	12	12	1	0	0	0	4	10	0	0	0	23	0	0	21	0	1	10	F1CDx 4		98	
11月	8	8	0	0	0	0	4	15	0	0	0	19	0	0	17	0	0	5	F1CDx 4 MMR 1		82	
12月	3	3	0	0	0	0	4	12	0	0	0	21	0	0	14	0	0	7	F1CDx 3		67	
合計	95	95	7	0	0	0	30	119	0	0	0	197	1	1	176	2	4	82			15	827

## ●遠隔病理診断センター（2023年度）

インターネット回線を介した遠隔デジタル病理診断システムを用いて、旭中央病院の病理診断の充実を図るとともに、地域の拠点病院として地域の病理診断を支援している。

旭中央病院の病理診断支援実績に関しては病理診断科診療所の項目で報告する。ここではさんむ医療センター（山武市）との間で行っている遠隔病理診断実績について報告する。なお、旭中央病院は地域がん連携拠点病院であり、地域がん診療病院であるさんむ医療センターとグループ指定を受けており、遠隔病理診断はがん診療連携の一環でもある。

遠隔デジタル病理診断システムによる組織診断、細胞診断に加え、Skypeを用いてさんむ医療センター検査課臨床検査技師と協力して手術標本の切り出しも行っている。複雑な症例の癌の広がり の把握に有用である。また迅速診断の際にも、インターネット経由で標本作製の進行状況を把握しながら診断を行うことができている。また、診療以外の活動として、さんむ医療センターで年4回開催されているがんカンサ ーボードに、毎回、症例の病理診断、組織所見の解説を音声付きパワーポイントとして提供した。

以下に各診断件数、および免疫染色件数を示す。

	組織診	迅速 組織診断	細胞診	迅速 細胞診	免疫染色
2023年4月	68	1	107	2	28
5月	53	1	100	1	2
6月	75	1	136	2	12
7月	56	1	92	0	17
8月	76	2	117	1	12
9月	60	3	153	1	11
10月	71	0	138	0	16
11月	75	2	119	2	7
12月	60	0	124	0	0
2024年1月	53	0	124	0	5
2月	60	2	90	0	17
3月	52	4	86	1	21
計	759	17	1,386	10	148

なお、新たに東総・北総地域の連携として、柏市にある病院との間で遠隔病理診断を開始するべく、準備を進めている。

## ●遺伝子診療科（2023年度）

### 1 年間のトピックス

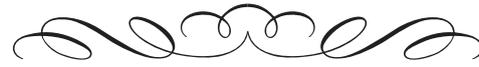
2023年6月1日付で千葉県がんセンターを拠点病院とするがんゲノム医療連携拠点病院としての承認が得られ、がん遺伝子パネル検査の提出が可能となった。院内では医局会、院内メール、各診療科への説明会を行いがん遺伝子パネル検査についての情報提供を行った。各診療科からの協力もあり、2023年度中だけで41件のがん遺伝子パネル検査を提出するに至った。

それ以外の遺伝学的検査としては2022年度に引き続き、乳腺センター、泌尿器科、婦人科からBRCA1/2遺伝子検査の依頼を受け、さらに膵臓癌に対するBRCA1/2遺伝子検査も適応となったことで消化器内科からも検査依頼をいただけることとなった。結果として、2022年度よりも多くのBRCA1/2遺伝子検査提出件数となっている。その他の遺伝性腫瘍に関わる遺伝学的検査や、遺伝性の内科疾患に関わる遺伝学的検査についても少数ではあるが提出しており、少しずつ診療の範囲を広げることができている。

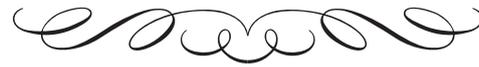
2024年度はがん遺伝子パネル検査の結果に基づいて処方できる新規分子標的薬の承認が決まっており、がん遺伝子パネル検査の依頼件数が増えることが見込まれる。一方で、がん診療に関わる近隣施設においてもがん遺伝子パネル検査のニーズが高まることが予測されるため、2024年度中には近隣施設からのがん遺伝子パネル検査目的での紹介をいただけるような体制づくりを進めている。また、それ以外の遺伝学的検査についても、院内の他診療科と協力をしながら遺伝カウンセリング、検査提出の対応ができるようにし、さらに診療実績を充実させられるように努めていく所存である。

### 診療実績 2023年度（2023年4月～2024年3月）

遺伝カウンセリング件数	67件
遺伝学的検査提出件数	29件（BRCA1/2遺伝子検査26件 その他3件）
がん遺伝子パネル検査提出件数	41件



看 護 局



## ●看護局（2023年度）

### < COVID-19 の対応 >

2020年春から世界的に広がった新型コロナウイルス感染症は、4年に渡り猛威を振るい私たちの生活に大きな影響を及ぼしたが、2023年5月8日から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられた。

コロナ感染床患者の受け入れは、感染症病棟以外でも始まり、受け入れに備えICNを中心に準備を整えた。又、夜間帯の入院に備え、一般床の確保を行った。

感染力は5類移行前と変わらず、2023年1年間で512名を受け入れ、26名がお亡くなりになった。4年間での総入院患者は1,598名となった。第9波及び第10波共に院内クラスターが発生したが、迅速な対応により大きなクラスター発生には至らなかった。

	期間	入院数	死亡数	ECMO	人工呼吸器	NHF	NPPV
	4/1～6/30	25	0	0	1	1	0
第9波	7/1～10/30	251	17	0	3	6	3
	11/1～1/31	7	0	0	0	1	0
第10波	12/1～3/31	229	9	0	2	5	4
合計		512	26	0	6	13	7

### 地域別入院患者状況

地域	期間	4/1～6/30	7/1～10/30 第9波	11/1～1/31	12/1～3/31 第10波	合計
香取海匝		21	205	5	177	408
山武長生夷隅		3	30	2	30	65
印旛		1	0	0	1	2
千葉		0	0	0	0	0
東葛南部		0	0	0	1	1
東葛北部		0	0	0	0	0
君津		0	0	0	0	0
県外		0	16	0	20	36
国外		0	0	0	0	0
合計		25	251	7	229	512

### < 看護局ナーシングインディケータ（NI）の作成 >

医療の質を評価する指標として、様々な施設がQI（Quality Indicator）を設定されている。看護の質も同様に指標を設定し、継続的にデータ収集、分析、評価、改善することで、質の向上を目指したいという考えでNI（Nursing Indicator）を設定している施設もある。

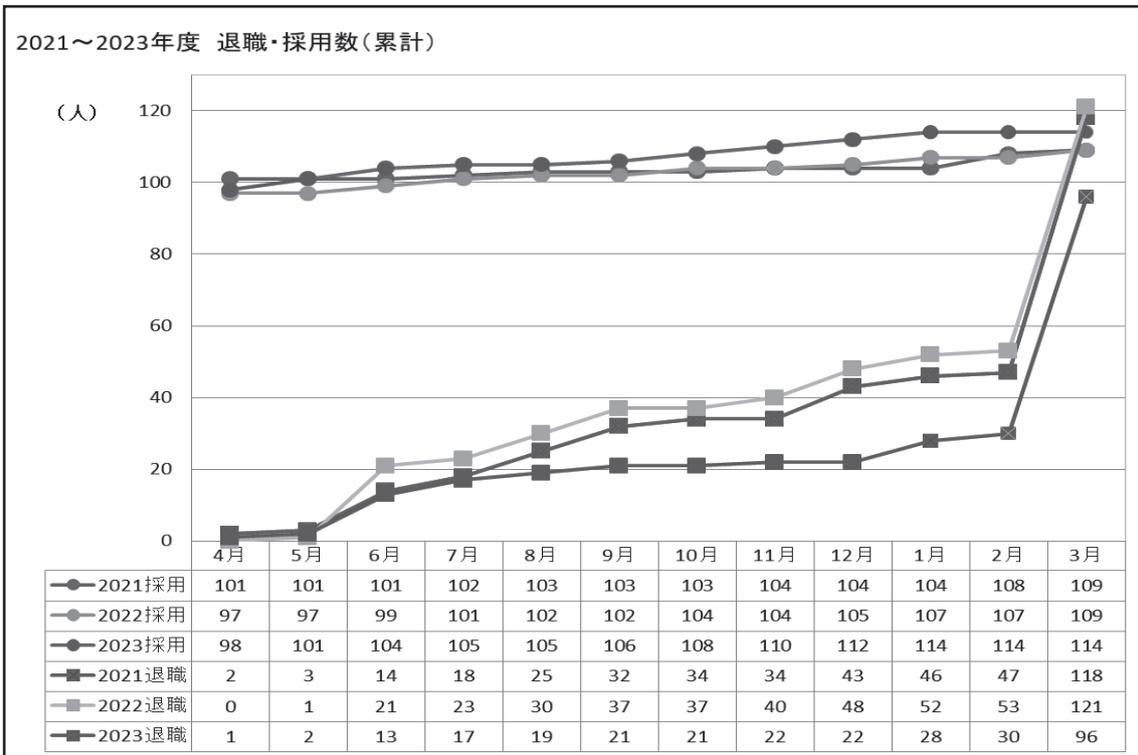
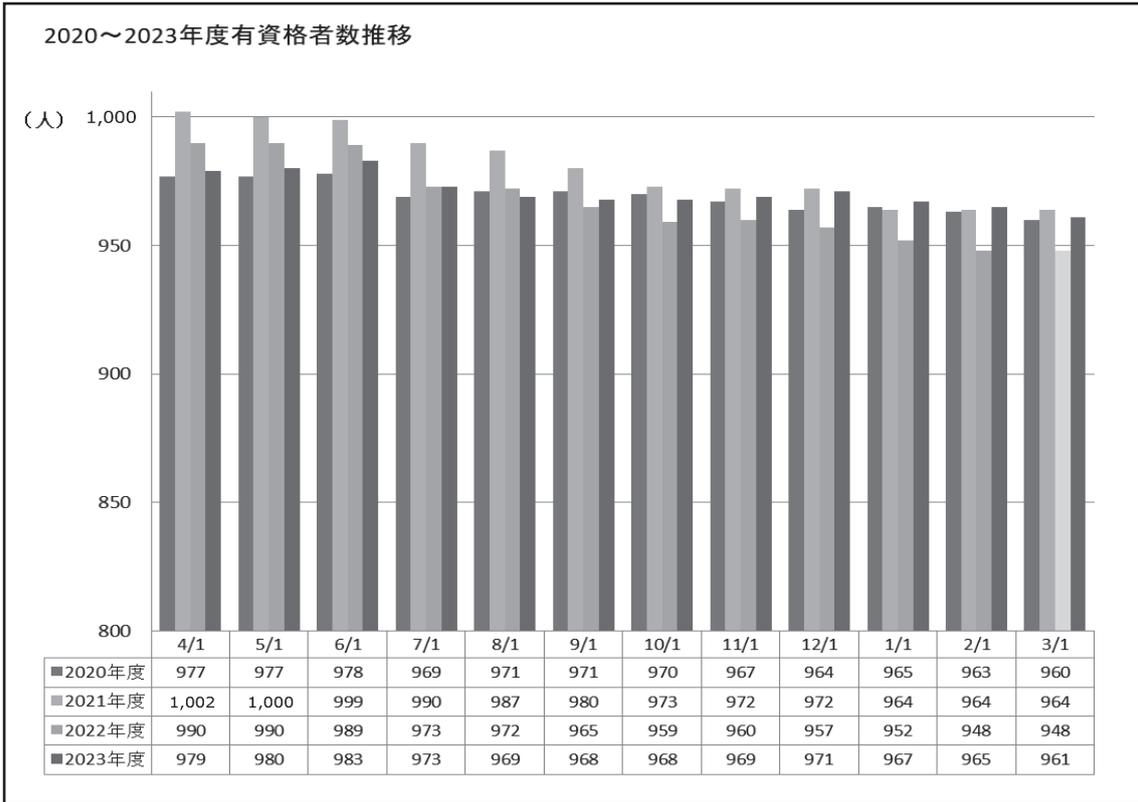
2022年に看護局の約束事としての「教育の充実」「地域貢献」「チーム医療」といった側面から、医療の質評価枠組みである「構造」「過程」「結果」の視点で指標を作成した。必要な資源を活用し日々の看護介入により患者や家族にどのようなアウトカムをもたらしているかを評価した。

評価指標および目標値と結果の一部を以下に掲載する。目標値は日本看護協会のデータベース事業（DiNQL）の病院機能および入院基本料が同じ病院でベンチマークした結果を参考に設定している。

今年度は、看護局の目標にNIを入れ、各部署が共通の目標のもと、四半期毎に評価し師長会で共有を図った。グループワークにて他部署の取り組みを知る機会を意図的に作り、全部署が目標達成に向け取り組んだ。スキンケアでは、IADの発生要因であるオムツの蒸れに着眼し、看護師や看護補助員へ向け、オムツの正しい装着方法についての研修を実施し効果が得られた。

指標	目標値	2022年度結果	2023年度結果
①多職種での退院ケアカンファレンスの実施割合	9.00%	5.84%	11.30%
②入院後2週間以内の治療方針合意形成率	80.00%	61.90%	87.60%
③身体的拘束実施割合	10.00%	11.40%	9.70%
④身体拘束解除取り組んだ患者割合	10.00%	7.40%	19.10%
⑤スキントラブル（IAD；失禁関連皮膚炎）発生率	8.00%	4.41%	5.50%
⑥スキンケア発生率	3.00%	2.87%	2.19%

<看護師有資格者数>



2023 年は、看護師確保に苦慮した。

採用試験を11月まで月2回実施し、幸い、退職者が例年と比べ少なかった事が功を奏し、2024年4月時点での有資格者は997名を確保することができた。附属看護専門学校の入学者も定員を大幅に割っており、18歳人口の減少と都会志向から益々看護師確保が難しくなってくる事が予測される。

在職年数別離職数及び離職率（有資格者）

在職年数		～1年	～3年	～5年	～10年	～20年	～30年	～40年以上
離職数（人）	2023年度	6	14	26	15	10	5	4
	2022年度	4	28	31	27	11	5	7
離職率	2023年度	5.9%	13.7%	25.5%	14.7%	10.8%	4.9%	3.9%
	2022年度	3.9%	27.5%	30.4%	26.5%	10.8%	4.9%	6.9%

看護師基礎教育背景の構成割合（正規職員）

	大学	短期大学	専門学校	進学コース
人数（人）	160	18	704	43
構成割合（%）	0.173	0.0194	0.761	0.0464

<EPA>

EPAとは経済連携協定に基づき、ベトナム政府の協力のもと、日本の看護師国家資格の取得を目指して日本で働く看護師候補生を受け入れる制度で、5年目となった。

2024年3月末現在、10人を受け入れ7人が日本の看護師国家資格を取得した。

現在、4名が中央手術室・救命救急センター・血管撮影室で勤務している。今年度は、ベトナム看護師及び候補生の存在を病院全体に紹介する目的で、9月に「日越医療交流会」を企画し、他職種の参加が得られた。ベトナムの医療や観光、出身地や趣味などをスライドにまとめ、一生懸命発表する姿に感動した。終了後のアンケートでは励ましの言葉をいただき、ベトナム看護師を認知してもらえる良い機会となった。今後も日越の交流を図り、一人でも長く日本の看護師として働けるよう支援していきたい。

入職年度	氏名	国家試験合格状況					就業状況
		2019	2020	2021	2022	2023	
2019	A	○					2020年7月退職
	B	×	×	×			2021年3月退職
2020	C			○			2022年4月～中央手術室
	D			○			2022年4月～救命救急センター
2021	E			×	○		2023年4月～中央手術室
	F			×	○		2023年4月～血管撮影室 2024.3月退職
2022	G				×	○	2024年4月～救命救急センター
	H				×	○	2024年4月～中央手術室
2023	I					×	看護補助員として勤務
	J					×	看護補助員として勤務

<看護局災害対策委員会発足>

昨今、全国各地で記録的な大雨が観測され、台風や大雨、洪水、土砂災害などの被害が多く発生している。千葉県でも台風による甚大な被害は毎年報告されている。

今年度4月より、災害拠点病院としての役割を果たすべく新たに看護局災害対策委員会を発足した。

「災害についての意識を高め、災害に強い組織を作る」ことを目標に委員会活動を通じて、各部署のアクションカードの見直し・避難経路の作成・東西合同の災害訓練を実施し、災害発生時に職員の安全を確保しながら、患者の避難誘導への意識の高まりを感じた。

2024年2月17日に行われた総合防災訓練では、リンクナースが避難誘導係としての役割を担った。

又、師長会でも2回に渡り、日当直師長の役割をシュミレーションし、災害が起こった場合の本部立ち上げまでに必要な手順の確認と記録用紙一式を作成した。

2024年1月1日に能登半島地震が発生し、DMAT派遣看護師4名及び災害支援ナース1名の派遣を行った。

「災害は忘れた頃にやってくる」ということわざを常に心に刻み、日常業務の中に災害訓練を位置づけ、災害時に迅速に対応できる組織作りを目指していきたい。

リーダー別研修			
研修日	研修名	講師(代表者)	受講者数
6月1日	実地指導者 研修	教育委員会	55
6月12日	リーダーシップ1 研修(業務リーダー)	教育委員会	32
7月6日	メンバーシップ研修	教育委員会	81
7月19日	2022年度のリーダーII 中間進捗状況 確認検討会	教育委員会 常任	19
7月24日	2年目対象 看護倫理の基本	教育委員会	40
8月22日	2023-24年度リーダーII①	教育委員会 常任	12
10月13日	実地指導者 中間研修	教育委員会	54
10月16日	2023-24年度リーダーII②	教育委員会 常任	12
10月18日	リーダー1(業務リーダー) 中間研修	教育委員会	32
11月20日	2年目対象 看護倫理の基本	教育委員会	39
12月14日	3年目看護師事例介入研修発表会	教育委員会	34
12月20日	3年目看護師事例介入研究発表会	教育委員会	35
	2023-24年度リーダーII③	教育委員会 常任	12
12月18日	2022-23年度 リーダーII研修・実践成果発表会	教育委員会 常任	発表17 聴講31 参加者計48
1月23日	リーダー1まとめの研修	教育委員会	30
2月1日	実地指導者 まとめ研修	教育委員会	54
2月5日	令和6年度の 3年目事例介入研究説明会	教育専従 穴澤加代子	84
2月9日	2023-24年度 リーダーII④	教育委員会 常任	12
3月8日	2023-24年度リーダーII⑤	教育委員会 常任	12
3月13日	2024年度 新たに実地指導者になる方 対象 動機付け研修	教育専従 穴澤加代子	68
3月14日	2022-23年度 リーダーII研修・実践成果発表会 (2023.12月欠席者発表)	教育委員会 常任	1

研究発表会			
研修日	研修名	講師(代表者)	研究者+参加 ビデオ視聴
7月13日	2023年度 院内看護研究発表会	教育委員会研究グループ	97
11月2日	2023年度 院内看護研究発表会	教育委員会研究グループ	114

実践研修			
がん看護シリーズ(ビデオオンデマンド 1か月配信)			
研修日	研修名	講師(代表者)	受講者数
5月1日～ 5月31日	がん看護実践研修 がん薬物療法使用時の当院での注意	がん化学療法看護認定看護師 金芳佳子	85
6月1日～ 6月30日	がん看護実践研修 生活のしやすさに関する質問票が 教えてくれるがん患者のつらさ	がん性疼痛看護認定看護師 石毛明子	106
8月1日～ 8月31日	がん看護実践研修 緩和ケアの基礎を学ぼう 全人的苦痛について	緩和ケア認定看護師 信太千恵子	63
9月1日～ 9月29日	がん看護実践研修 がん看護のもやもやを考える がん性疼痛マネジメント	がん性疼痛看護認定看護師 石毛明子	45
10月2日～ 10月27日	がん看護実践研修 がん薬物療法での支持療法 アピラランスケア	がん化学療法看護認定看護師 金芳佳子	42
11月1日～ 11月30日	がん看護実践研修 ICに同席する看護師へ 悪い知らせを告げられた患者のコミュニケー ション方法を理解する	乳がん看護認定看護師 新井田明美	67
12月1日～ 12月28日	がん看護実践研修 放射線治療の基礎を学ぶ	がん放射線療法看護認定看護師 鵜澤友美	52
高齢者・慢性期疾患シリーズ			
8月16日	高齢者・慢性期看護 栄養管理関連 NST研修	摂食嚥下障害看護特定認定看護師 掛巢孝則	他職種含 23

11月15日	高齢者・慢性期看護 栄養管理関連 NST研修	臨床検査技師 藤本真奈 薬剤師 増田有紀子 歯科衛生士 飯島由希子	他職種含 20
1月17日	高齢者・慢性期看護 糖尿病	糖尿病看護認定看護師 岩瀬仁美 管理栄養士 山下恵理奈 薬剤師 石田佳子 医師 荻野 淳	他職種含 30
クリティカルケアシリーズ			
9月12日	RRTを学びなおそう	集中ケア認定看護師 伊藤滋子	30
11月22日	血液ガス分析の基礎知識	集中ケア認定看護師 向後房江	41
12月11日	病棟での急変対応を学ぼう	救命科医師 坂本 壮	97
3月13日	アナフィラキシー 初療で困らないために必要ないくつかのこと	救命科医師 坂本 壮	98
文献検索研修			
7月10日	便利システムを活用した文献検索	図書室司書 長谷川亜紀	12
9月4日	便利システムを活用した文献検索	図書室司書 長谷川亜紀	11
11月20日	便利システムを活用した文献検索	図書室司書 長谷川亜紀	33
2月5日	便利システムを活用した文献検索	図書室司書 長谷川亜紀	16
臨床指導者講習会伝達			
2月19日	千葉県実習指導者講習会受講者による伝達 講習	7西 才賀理恵 10西 白石弥生	学校教員含 37
嘔吐処理			
9月25日	実践研修 嘔吐処理セットの使い方と感染 予防	感染管理特定認定看護師 佐々木優子	2
9月26日	実践研修 嘔吐処理セットの使い方と感染 予防	感染管理特定認定看護師 佐々木優子	4
感染症クラスター			
6月～11月	実践研修 感染症クラスター対策研修	感染管理特定認定看護師 佐々木優子	139
手洗いマスター研修			
9月～12月	リンクナース手洗い確認 各部署スタッフの手洗い確認	感染管理認定看護師 宮本頼子	969
DST委員会			
2月7日	認知症患者の看護 パーソン・センタード・ケアを取り入れた実践	精神科認定看護師 鈴木 恵 認知症看護認定看護師 眞名田喜代美	57
排尿チーム			
11月1日	排尿ケアチーム活動の実際 活動を紹介します	泌尿器科医師 網谷兆康 6西看護師 押田佳奈子 作業療法士 宮内史織	他職種含 54
フットケアチーム研修			
11月21日	フットケア研修 下肢創傷管理 フットケアチームの活動	循環器医師 早川直樹 形成外科医師 東 修智	84
2月21日	フットケア研修「爪切り」	9西看護師 越川敏行	14
院内認定/技能認定研修			
CVポート穿刺技能認定(ビデオオンデマンド)			
研修日	研修名	講師(代表者)	受講者数
5月1日～ 11月30日	CVポート院内技能認定研修会 第Ⅵ期 (動画視聴・模型穿刺・患者穿刺・試験)	化学療法看護認定看護師 金芳佳子	21
12月1日～ 12月15日	CVポート 第Ⅰ～Ⅴ期フォローアップ研修 (動画視聴・事例提示)	化学療法看護認定看護師 金芳佳子	108

PICC技能認定(ビデオオンデマンド)			
7月1日～ 8月31日	PICC/CV概論	感染管理特定認定看護師 佐々木優子	35
7月1日～ 8月31日	PICCの包交手順	感染管理特定認定看護師 佐々木優子	
7月1日～ 8月31日	PICCの採血手順	感染管理特定認定看護師 佐々木優子	
7月1日～ 8月31日	PICC/CVの抜去時介助手順	感染管理特定認定看護師 佐々木優子	
7月1日～ 2月14日	中心静脈カテーテル院内技能認定看護師 育成研修	感染管理特定認定看護師 佐々木優子	
1月14日～ 2月18日	中心静脈カテーテル院内技能認定看護師 フォローアップ研修	感染管理特定認定看護師 佐々木優子	71
9月～12月 6回	中心静脈カテーテル院内技能認定看護師 対象 技術確認研修	感染管理特定認定看護師 佐々木優子	33
スキンケア基礎ゼミ			
	2023年度は開催なし		0
スキンケアステップアップゼミ(対面講義)			
6月7日	薬剤・被覆材の特徴と選択	皮膚・排泄ケア認定看護師 越川綾子	99
7月12日	スキン-ケアのケア	皮膚・排泄ケア認定看護師 越川綾子	103
8月9日	レポートの書き方	教育専従 穴澤加代子	23
9月13日	IADのケア	皮膚・排泄ケア認定看護師 越川綾子	91
10月17日	褥瘡治療	形成外科医師	90
11月8日	考査		21
感染基礎ゼミ(ビデオオンデマンド+見学)			
5月3日～ 5月31日	1.感染症法 2.感染対策の基本	感染管理認定看護師 宮本頼子	65
6月1日～ 6月30日	1.職業感染防止 2.針刺対応 3.ワクチン接種	感染管理認定看護師 宮本頼子	65
7月1日～ 7月31日	1.汚染機材の再生処理の実際を見学し理解 を深める (見学)	中央洗浄滅菌室 阿天坊一隆	32
8月1日～ 8月31日	医療関連感染Part1 1.CAUTI 2.CLABSI	1.泌尿器科部長 中津裕臣 2.感染管理特定認定看護師 佐々木優子	30
9月12日～ 10月6日	医療関連感染Part2 1.誤嚥性肺炎病態 2.ST療法 3.歯科衛生士	1.感染症センター長 古川恵一 2.ST療法士 福田直輝 3.歯科衛生士 網中克恵	65
11月7日	最終考査(筆記)		42
11月27日	最終考査(実技)		16
感染ステップアップゼミ(ビデオオンデマンド+見学)			
5月3日～ 5月31日	レポートの書き方 レポートの内容	教育専従 穴澤加代子	5
6月1日～ 6月30日	細菌検査について 臨床でよく見る微生物 他	細菌検査室ICT 太田祐加	6
7月1日～ 7月31日	培養結果と薬剤感受性、選定について	薬剤局ICT 鈴木裕人	5
8月1日～ 8月31日	デバイス調査とサーベイランス	感染管理特定認定看護師 佐々木優子	5
9月1日～ 9月30日	感染症の種類、感染症の発生機序、治療	感染管理特定認定看護師 佐々木優子	5
11月17日	最終考査(筆記)		1
1月17日	課題レポートメ切		1

補助員研修			
研修日	研修名	講師(代表者)	受講者数
5月17日	清潔を保持する技術 寝たままで行う洗髪	教育専従 穴澤加代子	8
6月15日	リーダーシップ研修 仕事を楽しくするリーダーシップ	教育専従 穴澤加代子	9
7月26日	褥瘡予防のためのマットレス選択と背抜き	皮膚・排泄ケア認定看護師 越川綾子	10
8月21日	マイスターフォローアップ 看護の質を表す指標(NI)としてのIAD(失禁 関連皮膚炎)発症を予防するオムツ使用技術	皮膚・排泄ケア特定認定看護師 加瀬昌子 株式会社 光洋 梅田さつき	18
8月28日	技術確認(洗髪)	教育専従 穴澤加代子 教育専従 大橋佐知子	5
9月8日 15日、27日	技術確認(除圧)	教育専従 穴澤加代子 教育専従 大橋佐知子	9
10月25日	高齢者・認知症患者の接し方	教育専従 大橋佐知子	13
11月13日	診療材料、消耗品、衛生材料の管理	SPD/川又滋彦 ERW 戸村功子	14
12月21日	医療安全技術 みんなで取り組もう 危険予知トレーニング	医療安全管理推進室 大島 誠 看護局リスク委員会 常任	16
1月5日	感染防止技術 標準予防策・感染経路別予防策・手指衛生	感染管理認定看護師 宮本頼子	17
1月26日	感染防止策 技術確認	教育専従 穴澤加代子 教育専従 大橋佐知子	4
1月30日	マイスター筆記試験	教育専従 穴澤加代子	3
2月15日	マイスター実技試験	教育専従 穴澤加代子 教育専従 大橋佐知子	3
2月29日	マイスター実技再試験	教育専従 穴澤加代子 教育専従 大橋佐知子	2

新人看護師研修(必修)			
研修日	研修名	講師(代表者)	受講者数
4月 3、5、6、7、10日	新採用職員に対する総務人事課 オリエンテーション	総務人事課	88 既卒+EPA含
4月4日	医療安全 チームステップス	BeeAct	88 既卒+EPA含
4月4、5、7日	感染管理 基礎講習	感染管理認定看護師 五十嵐礼子	88 既卒+EPA含
4月 4、5、6、7日	電子カルテ基本操作講習(基本①) 電子カルテ講習(看護②)	医療情報室 年光康雄	37 外部校卒・既卒
4月11日	安全管理 基礎講習	医療安全管理推進室 大島 誠	87 既卒+EPA含
4月15日	A看護局オリエンテーション 看護局について 図書利用方法 教育プログラム eラーニング説明	看護管理室 伊藤由紀恵 図書司書 長谷川亜紀 教育専従 大橋佐知子 教育専従 穴澤加代子	86 既卒+EPA含
	B交流会 / 看護師確保チーム	看護師確保チーム	81
4月17日	看護連盟説明・看護協会入会書類作成	看護管理室 日下喜久江 看護管理室事務 安井和美	84 既卒+EPA含
4月 18、19、20日	与薬の援助技術 安全管理 輸液ポンプ・シリンジポンプの準備と管理	教育専従 大橋佐知子	83 既卒+EPA含
	与薬の援助技術 点滴静脈内注射 採血	教育委員	83 既卒+EPA含
4月21日	情報管理 看護記録 概論	医療情報室 年光康雄	85
4月24日	重症度、医療・看護必要度① 概論編	医療情報室 年光康雄	86 既卒含
4月25日	与薬の援助技術 インスリンを正しく行うための基礎知識と管理	糖尿病看護認定 宮原孝子 他	83

4月 26、27、28日	呼吸・循環を整える技術 酸素吸入・吸引	教育専従 穴澤加代子	84 既卒+EPA含
	排泄援助技術 導尿・尿道留置カテーテル	教育専従 大橋佐知子	84 既卒+EPA含
5月10日	新人ナースと初心者のための クリニカルパス基礎講座	パス委員会医師 小林康祐 年光康雄	83 既卒含
5月12日	重症度、医療・看護必要度② 実践編	医療情報室 年光康雄	84 既卒含
5月23、24日	創傷管理技術 ① 褥瘡の概念 体圧分散 (演習) 体圧測定/除圧	皮膚・排泄ケア認定看護師 越川綾子	84 既卒含
5月30日 6月9日	死亡時のケアに関する技術 死後のケア (演習) エンゼルメイク	緩和ケア認定看護師 1-7 信太千恵子 新生児集中ケア認定看護師 5北 飯高絵里子 1-7病棟 桶谷弓恵 森 恵理	86 既卒+EPA含
6月2日	アウトカム管理型看護 看護計画 看護計画立案・看護記録について	医療情報室 年光康雄	84 既卒含
6月14日	環境調整技術 療養環境・人的環境	新生児集中ケア認定看護師 5北 飯高絵里子	83 既卒含
6月16日	新人看護師 リフレッシュ研修	看護師確保・定着チーム	81
6月21日	感染管理 感染フィールドチェック	感染管理認定看護師 宮本頼子	81
6月27、28日	創傷管理技術 ② スキンテア IAD (失禁関連皮膚炎) (演習) テープの貼り方 はがし方 陰部清拭	皮膚・排泄ケア特定認定看護師 加瀬昌子	83 既卒 EPA含
7月10日	看護の気づき、自分を振り返ろう	教育専従 大橋佐知子	80 既卒含
7月18、21日	食事援助技術 栄養評価・食事介助	摂食嚥下障害看護特定認定看護師 掛巢 孝則	78
7月末	放射線検査時の看護 (ビデオ/レポート提出)	放射線科外来 高木 恵	ビデオ学習変更 81
7月25日 8月15日	排泄援助技術 漏れのないおむつの当て方	株式会社 光洋 城 亘 梅田さつき	81 既卒 EPA含
8月7日	与薬の技術 輸血製剤の基礎知識 ①	輸血認定検査技師技師長 岩井利恵	80 既卒 EPA含
8月8日	創傷管理技術 ③ 褥瘡対策に関する診療計画書 高機能マットレス	皮膚・排泄ケア認定看護師 越川綾子	79 既卒含
8月23、29日	救命処置技術 ① BLS ② 気管挿管の物品理解と介助	BLSインストラクター看護師 教育委員	84 既卒含
9月4日	与薬の技術 輸血製剤の副作用	輸血認定検査技師技師長 岩井利恵	77 既卒含
9月20日	創傷管理技術 ④ DESIGN-R 2020評価 ③ 褥瘡発生報告書	皮膚・排泄ケア特定認定看護師 加瀬昌子	74 既卒含
10月30日 11月8日	知識・技術の統合 多重課題シミュレーション	教育委員会 新人担当グループ	78 タスクと部署用資料 25
11月21日	DST主催 安全/倫理 身体拘束と倫理	精神看護認定看護師 鈴木 恵	81 既卒含
1月17日	新人看護師に知っておいてほしい退院支援意 思決定支援 あなたは支援者になっていますか?	退院支援・訪問看護室 相澤彩乃 退院支援委員	77 既卒含
1月24、29日	パス委員会 主催 クリニカルパスと看護過程	パス委員会 年光康雄 パス委員数名	80 既卒含
2月19日	1年の振り返り研修 研修修了証授与	教育委員会 新人担当グループ	75

## ●スキンケア相談室（2023年度）

### 1. 褥瘡ハイリスク計画立案状況

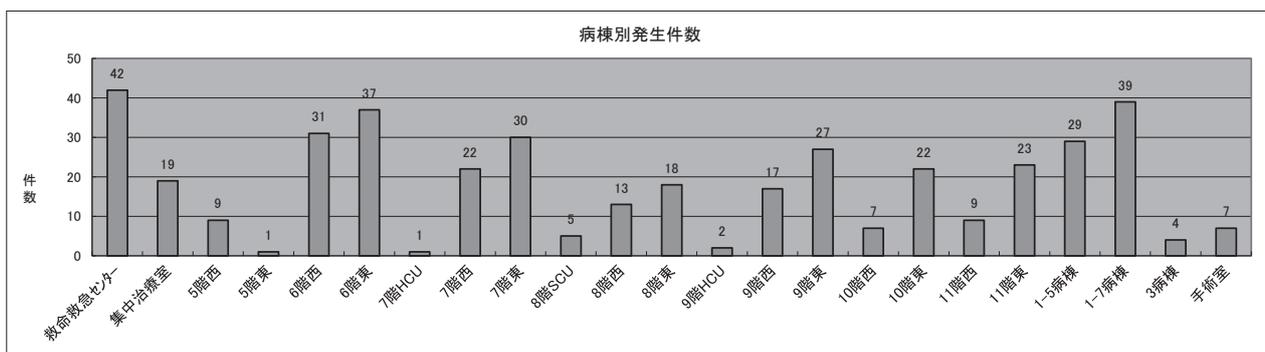
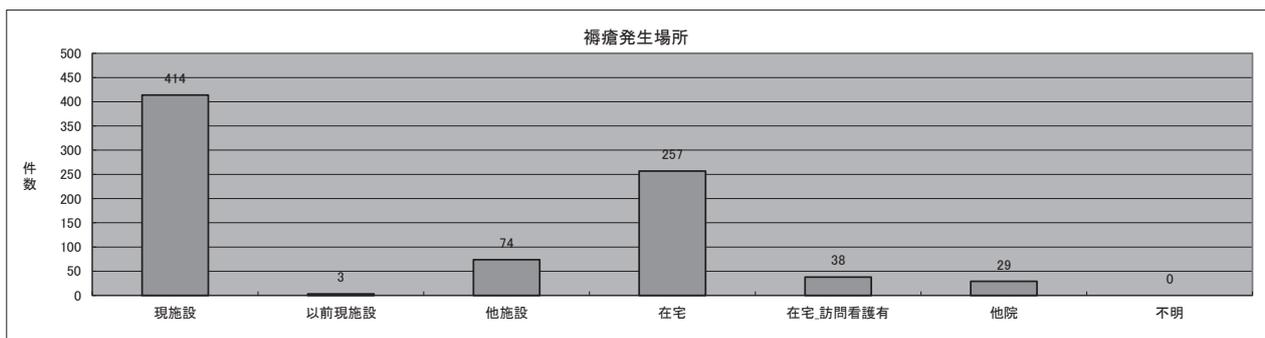
2,826 件× 500 点 = 14,130,000 円（診療報酬）

### 2. 褥瘡発生状況

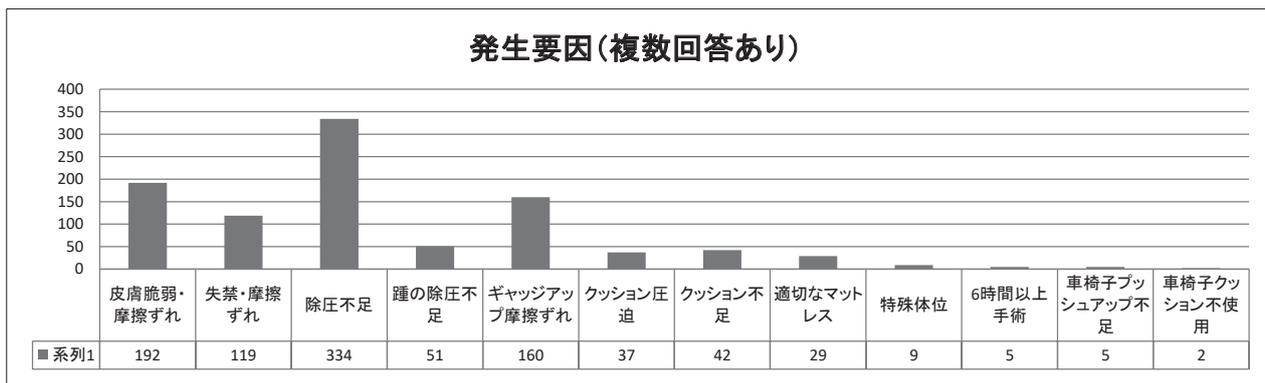
褥瘡発生件数 812 件（院内発生 414 件 50.9% 自宅（訪問含）295 件 36.3%）

院内発生率 = 1.85% 院内発生：昨年度に比べて 3 件増

院外発生率 = 1.97%



### 2023 年度 褥瘡発生要因（複数回答あり）



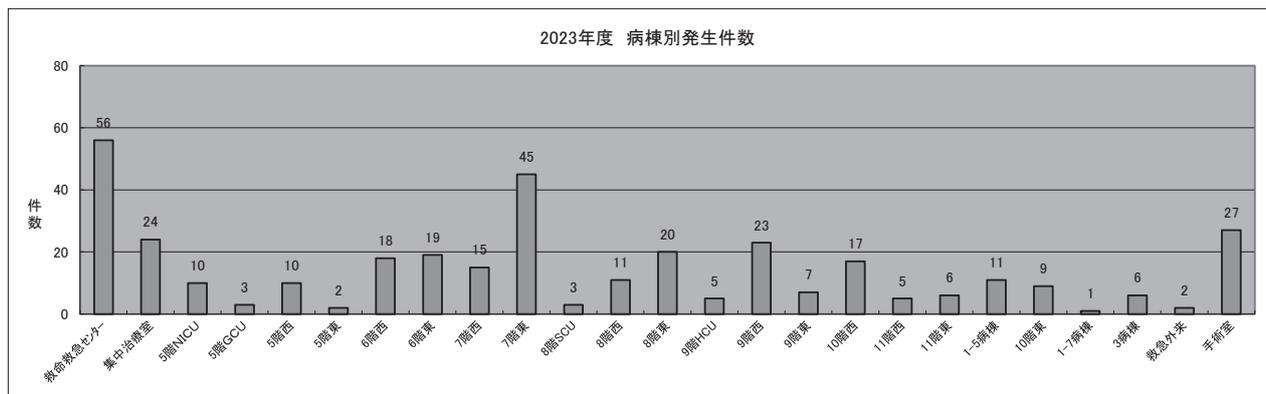
褥瘡発生の主要因である圧迫、摩擦・ずれについて、除圧不足の発生は全体の 8 割に及んでいる。除圧不足には体位変換不足だけでなく、背抜き不足も含まれていることが推測される。そのため、マットレス選択基準で自立度に合ったマットレスの使用と背抜きを推奨していく。

皮膚脆弱や失禁による組織耐久性低下での発生については、洗浄、保湿、保護のスキンケアを継続する。また、おむつの重ねづけは、圧迫に直結するため正しい装着方法で重ねづけをしない取り組みを行っている。

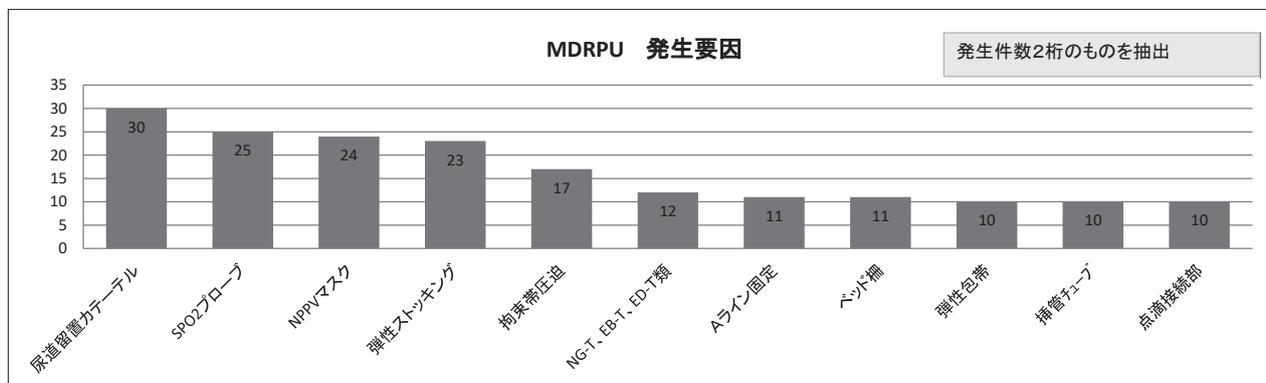
### 3. MDRPU 発生状況

MDRPU 発生件数 379 件（当院 355 件） 院内発生：昨年度に比べて 3 件減少

院内発生率= 1.58%



### MDRPU 発生要因



発生の要因となった機器は、尿道留置カテーテル、SpO2 プローブ、NPPV マスクが上位であった。

尿道留置カテーテルの発生部位は尿道口、鼠径部、下腹部とばらつきがあるため、基本的な固定方法の周知を継続する。SpO2 プローブ発生部位別では額 8 件、指 8 件、耳 7 件、他 2 件であった。額や指は、固定ベルトや非固着テープの圧迫が関与している。

NPPV マスクは鼻根部の発生が 19 件で、2023 年にマスクがゲル剤なしに変更となったことが影響（昨年度比+9 件）している。

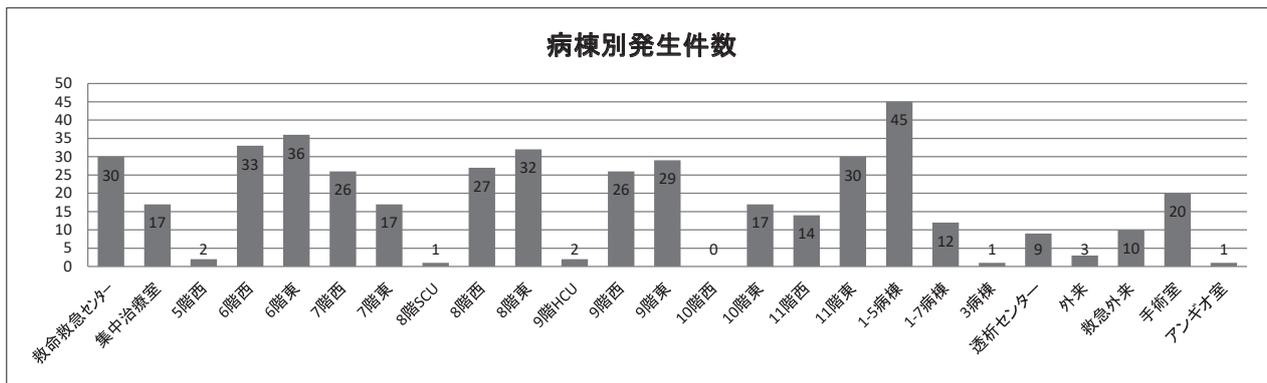
部署別では、救命救急センター、7 東、手術室が上位であった。

救命救急センターはクリティカル領域ならではの挿管チューブ、A ライン固定によるものが多い。7 東病棟は弾性ストッキング、弾性包帯の発生が 21 件あった。手術室では開創器と各科の特殊性がある。

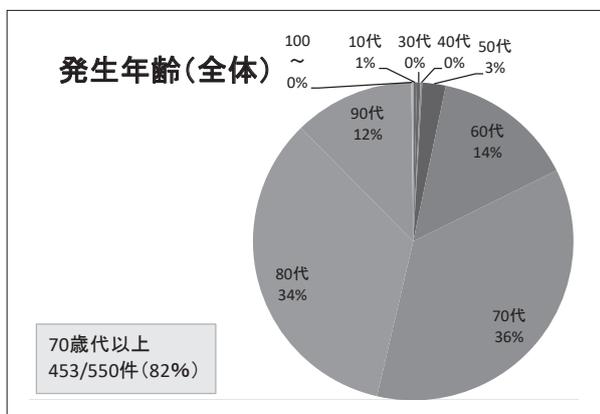
#### 4. スキン - テア発生状況

スキン - テア発生件数 550 件（院内 440 件、院外 111 件） 院内発生：昨年度に比べて 133 件減少

院内発生率 = 2.18%



#### 発生年齢と治療薬



治療歴	現在	過去	計	使用率
ステロイド内服	72	23	95	17%
ステロイド外用	13	10	23	4%
凝固剤使用歴	85	30	115	21%
抗血小板薬使用歴	75	11	86	16%
抗がん剤・分子標的薬使用歴	9	55	64	12%
人工透析療法歴	60	9	69	13%
放射線療法歴	4	1	5	1%

#### 発生要因

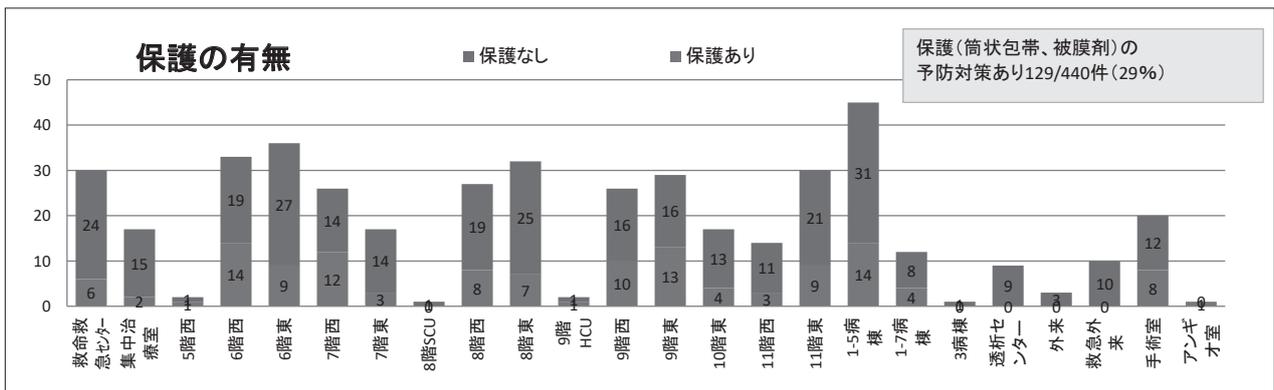
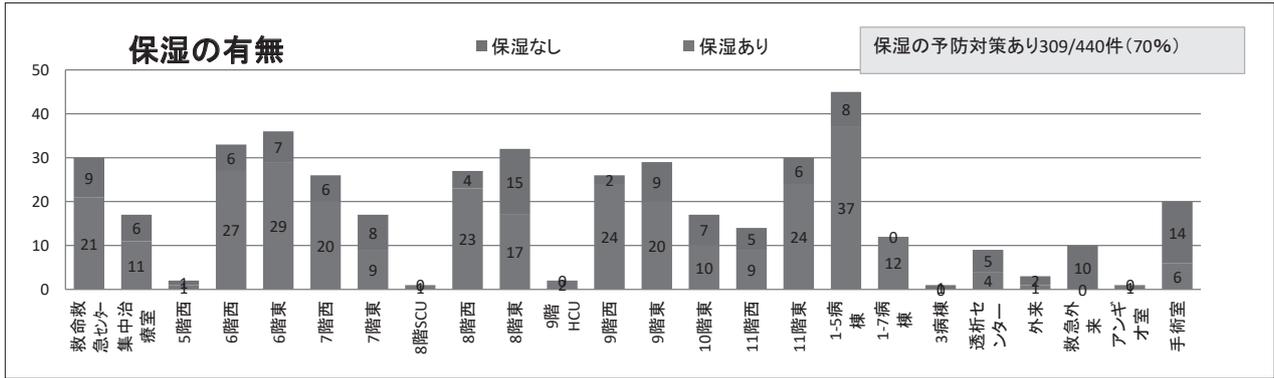
患者の行動面	件数
ベッド柵にぶつめた	74
車椅子にぶつめた	8
トイレにぶつめた	6
ストレッチャーにぶつめた	4
転倒した	46
転落した	7
治療やケア等に抵抗	17
せん妄状態	19
自己抜去によるもの	5
掻爬	24
その他	17

管理場面	件数
移動介助時の摩擦・ずれ	23
更衣時の摩擦・ずれ	15
入浴・清拭等の清潔ケア時の摩擦・ずれ	8
リハビリ時の摩擦・ずれ	1
ネームバンドによる摩擦・ずれ	6
駆血帯使用時の摩擦・ずれ	6
テープ剥離時	124
抑制帯による摩擦・ずれ	14
管理その他	35

テープ剥離時 要因のテープ	件数
ポリウレタンフィルム	37
伸縮包帯系	27
サージカルテープ	26

発生に関与した職員	名
看護師	341
医師	61

予防対策 ※ 2回/日以上保湿でスキン-テア減少の報告あり



スキン-テア発生者の年齢層は約8割が70歳以上であった。スキン-テアのリスク因子とされる抗凝固薬、抗血小板薬使用歴のある方が約4割を占めている。

テープ剥離時、ベッド柵にぶつけての発生が多く、皮膚の露出があることで発生していることから保護されていないことがわかる。保湿の実施率は70%で昨年度比36%から上昇している。一方で皮膚の保護実施率が29%と低く、保護の現状をより分析する必要がある。

部署別発生は1-5病棟が最多であり、人工透析療法歴のある患者が多い部署の特殊性がある。

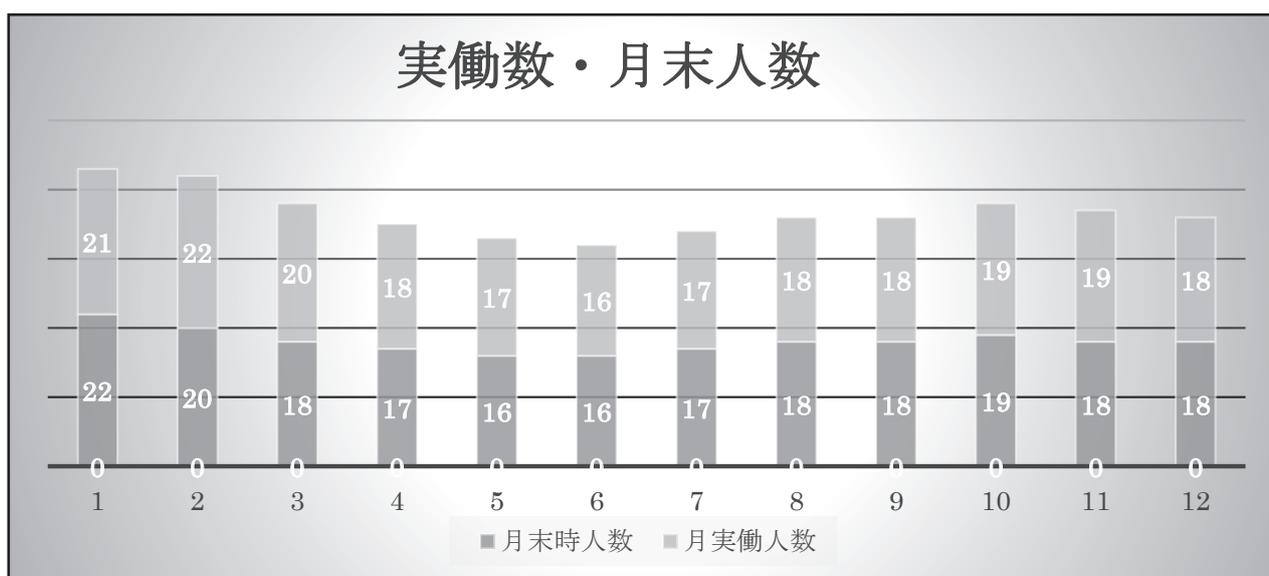
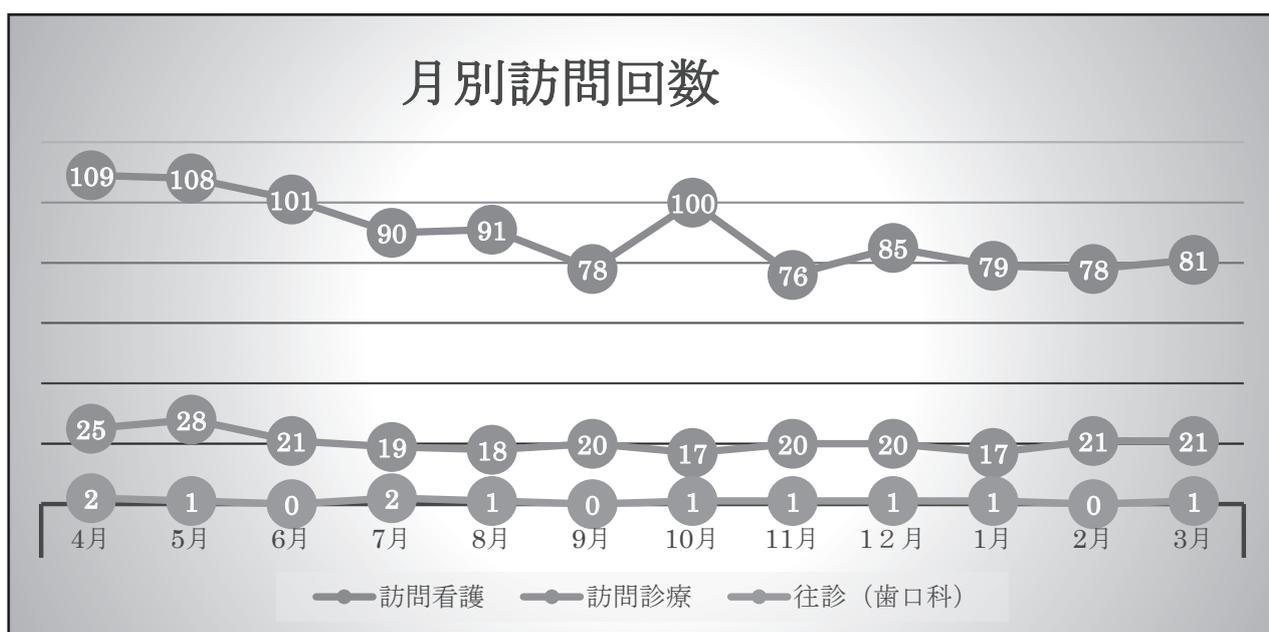
## ●訪問看護室（2023年度）

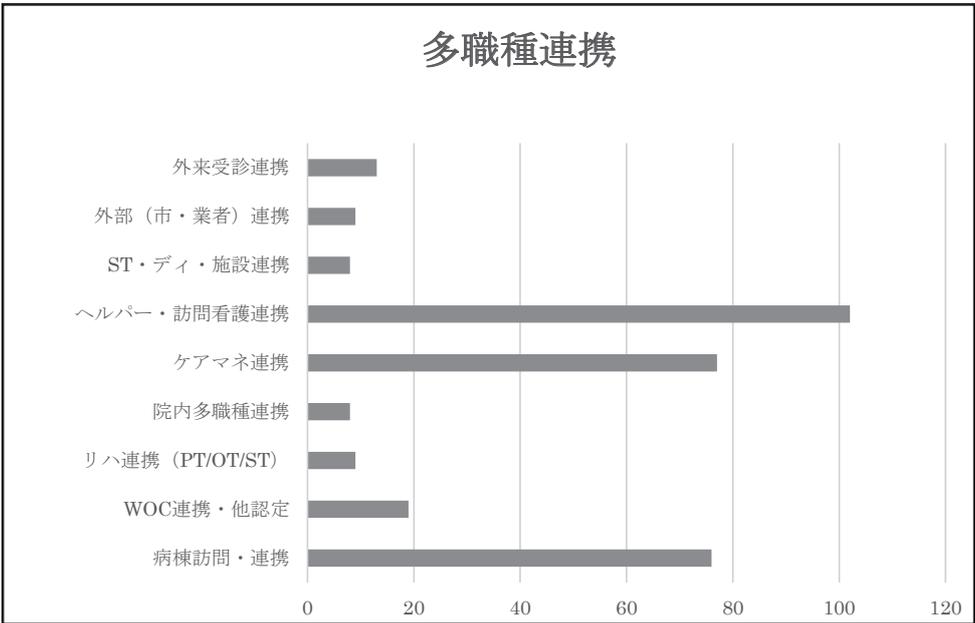
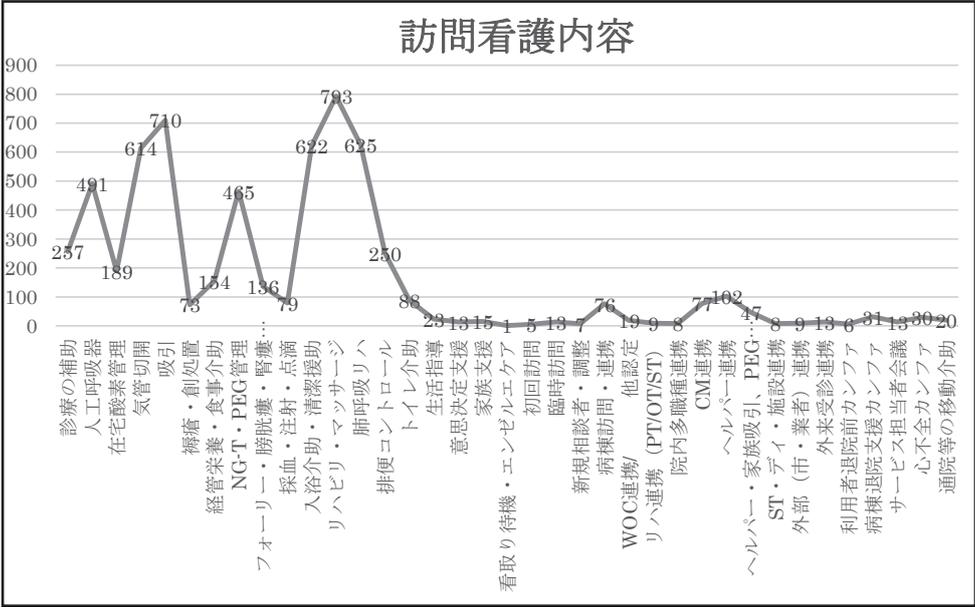
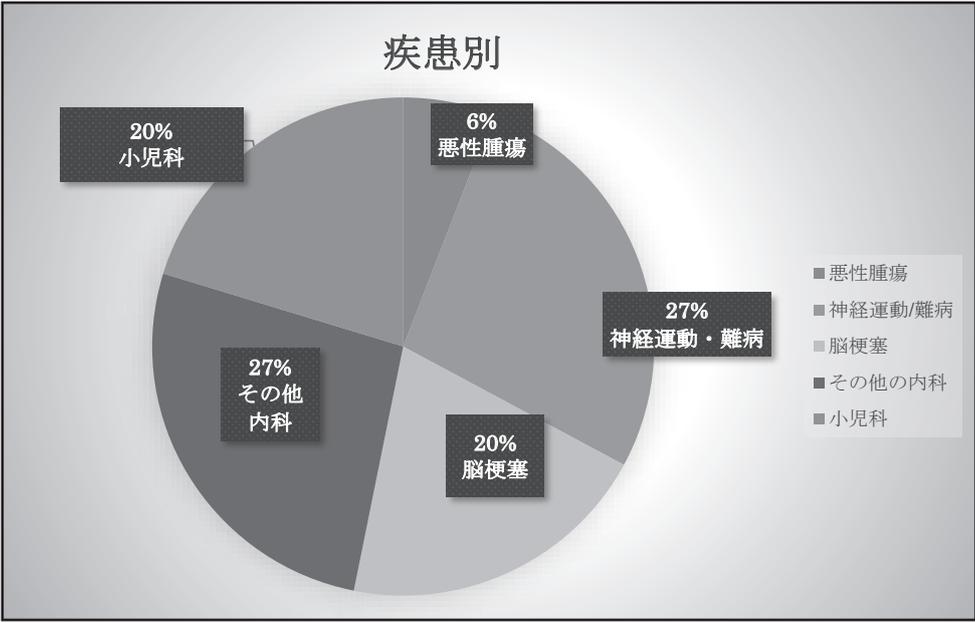
### 1年間のトピックス

新型コロナウイルスが5類へと移行したが、引き続き感染対策を行いながら看護提供を行った。訪問看護業務に限らず、病棟看護師に退院された患者さんが自宅でどのように生活されているのか、イメージ化ができるように病棟の退院支援カンファレンスに参加を行った。

### 診療実績

実働数は増えてはいないが、去年に引き続き難病や医療依存度が高い方が多い。そのため、当院の訪問だけでなく地域の訪問看護ステーションや医療的ケアが行える訪問介護（ヘルパーさん）との連携が多くなってきている。





## ●中央洗浄滅菌室（2023年度）

スタッフ 看護師 3名 看護補助員 17名（派遣含）

資格保持者 第2種滅菌技師 6名 特定化学物質作業主任 4名

1級2級ボイラー技士 4名 第1種圧力容器取扱主任 3名

トピックス ・OPE ダヴィンチ増加に伴い、ウォッシャーディスインフェクター 1台増設

・ファイバー洗浄機1台交換

・11西病棟ファイバー洗浄受け入れ

・回収コンテナへの危険物混入防止チェック用紙導入

・洗浄評価シート導入

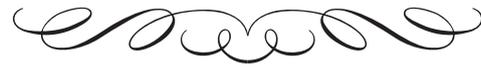
中央洗浄滅菌室 作業実績

2023.4.1 ~ 2024.3.31

滅菌			滅菌 OPE		消毒																						
汎用	セット	縫合セット 胸腔ドレナージ 気管切開 歯科3点	9,465	外科	7,727	汎用	セット	22,916																			
				心臓外科	963		単品	49,194																			
				整形外科	2,116		チューブ作製	13,211																			
	再滅菌	11	婦人科	932	部署	病棟セット	11,623	外来セット	6,910																		
										病棟単品	67,935																
												外来単品	98,716														
														透析センター鉗子	23,541												
																学校検診器材	3,839										
消毒セット計	41,449																										
消毒単品計	256,436																										
単品	68,782	歯口科	250	機器使用回数	AC滅菌機 No.1	1,249																					
					再滅菌	22	耳鼻科	604	AC滅菌機 No.2	1,122																	
部署	セット	病棟セット	1,590	形成外科					515	AC滅菌機 No.3	1,079																
					再滅菌	1	眼科	4,806		AC滅菌機 No.4	1,164																
										外来セット	8,131	脳外科	1,093	EOG滅菌機No.1	203												
														再滅菌	14	泌尿器科	2,674	EOG滅菌機No.2	407								
																		病棟単品	4,903	その他	2,249	低温プラズマ滅菌機 No.1	1,096				
																						再滅菌	167	再滅菌セット	132	低温プラズマ滅菌機 No.2	972
																										外来単品	45,064
再滅菌	548	単品・ディスポ	20,421	単層式洗浄機 No.2					2,931																		
				減菌セット	49,020	再滅菌単品	358	単層式洗浄機 No.3	2,611																		
								減菌単品	140,265	再滅菌セット	132	二層式洗浄機 No.4	4,501														
												セット	90,469	再滅菌単品	358	真空式洗浄機	1,603										
																単品	396,701	再滅菌単品	358	ソニックイリゲーター	408						
																				総合計	セット	90,469	再滅菌単品	358	オリンパス OER-3 回		
																									単品	396,701	再滅菌単品
再滅菌	548	再滅菌セット	132																								
				再滅菌	548	再滅菌セット	132																				
								再滅菌	548	再滅菌セット	132																
												再滅菌	548	再滅菌セット	132												
																再滅菌	548	再滅菌セット	132								
																				再滅菌	548	再滅菌セット	132	眼科硬性鏡 本			
																								再滅菌	548	再滅菌セット	132



藥 劑 局



## ●薬剤局（2023年度）

### ① 2023 年度のトピックス（ISO 質目標に基づいた振り返り）

薬剤部門の 2023 年度 ISO 質目標は、1) タスクシフト / シェアに向けた業務検討と推進、2) 持参薬鑑別業務手順書の改訂、3) 院内フォーミュラリの推進と地域フォーミュラリの検討、4) 病棟業務活動の充実、以上の 4 テーマを掲げた。

各テーマに沿って担当チームを作り、計画的に検討会議を開催し、目標達成に努めた。

#### 1) タスクシフト / シェアに向けた業務検討と推進；

2022 年 3 月から開始した「疑義照会簡素化プロトコール」の実践により、医師・外来事務への処方内容の問い合わせの減少、保険薬局での負担軽減と患者待ち時間の減少に繋がっている。また、薬剤師外来に先駆けて、医師の業務負担軽減のため、血液内科医師と協議のもと、嚴重な適正使用管理が求められる薬剤を服用中の患者に対して診察前面談を開始し、順調な成果を実感している。

#### 2) 持参薬鑑別業務手順書の改訂；

入院前の持参薬鑑別業務について、PFM センター・各科外来スタッフと協議を重ね、ルールの一統化を図り、手順書の改訂を行なった。運用しつつ今後も問題点については改善を検討していくこととした。

#### 3) 院内フォーミュラリの推進と地域フォーミュラリの検討；

院内フォーミュラリについては、毎月の定期モニタリング及び既存フォーミュラリの改訂を行ないアップデートを実施した。地域フォーミュラリに関する啓蒙活動としては、地域医療者懇談会で地域フォーミュラリについて紹介の場をいただき、また、地域の薬剤師対象に研修会を開催した。今後も地域に理解を深める活動を継続する。

#### 4) 病棟業務活動の充実；

積極的な病棟活動の実践により入院指導算定件数は目標値 80 件 / 日を毎月達成し、前年度比 103.2%、病棟業務における診療報酬合計額は 4 年連続増加傾向となっている。

### ② 2023 年度 業務実績

- |               |               |                 |
|---------------|---------------|-----------------|
| 1) 薬品使用額実績    | 5) 外来患者指導業務実績 | 9) 製剤業務実績       |
| 2) 処方せん発行実績   | 6) 入院患者指導業務実績 | 10) 医薬品情報関連業務実績 |
| 3) 注射調剤業務実績   | 7) 病棟薬剤業務実績   | 11) TDM 業務実績    |
| 4) 抗がん剤調製業務実績 | 8) 外来薬鑑別業務実績  | 12) PET 業務実績    |

#### 1) 2023 年度 薬品使用額実績（薬効分類別薬価額）

薬効分類	使用額（千円）	比率（%）
中枢神経系用薬	139,882	1.51
末梢神経系用薬	89,494	0.96
感覚器官用薬	55,849	0.60
循環器官用薬	135,861	1.46
呼吸器官用薬	113,498	1.22
消化器官用薬	134,833	1.45
ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む）	297,459	3.20
泌尿生殖器官及び肛門用薬	6,972	0.08
外皮用薬	17,913	0.19
ビタミン剤	6,793	0.07
滋養強壯薬	43,549	0.47
血液・体液用薬	332,261	3.58
人工透析用薬	67,969	0.73
その他の代謝性医薬品	813,698	8.76
細胞賦活用薬	237	0.00
腫瘍用薬	5,218,292	56.16
アレルギー用薬	77,195	0.83
再生医療等製品	21,234	0.23
漢方製剤	3,856	0.04
抗生物質製剤	246,523	2.65
化学療法剤	556,599	5.99
生物学的製剤	710,607	7.65
寄生動物用薬	5,621	0.06
調剤用薬	12,358	0.13
診断用薬	138,279	1.49
治療を目的としない医薬品	8,597	0.09
アルカロイド系麻薬	12,806	0.14
非アルカロイド系麻薬	23,249	0.25
合計	9,291,484	100.00

## 2) 2023 年度 処方せん発行実績 (処方せん発行件数)

処方区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来 院外処方	20,086	20,587	21,674	21,368	22,805	20,781	21,937	20,481	21,995	21,406	20,286	20,360	253,766
院内処方	1,678	1,765	1,658	1,767	1,851	1,722	1,820	1,799	1,754	1,855	1,746	1,743	21,158
院外率%	92.3	92.1	92.9	92.4	92.5	92.3	92.3	91.9	92.6	92.0	92.1	92.1	92.3
入院処方	9,334	9,408	10,667	10,271	10,668	9,871	9,852	10,607	10,201	9,710	9,995	10,225	120,809

## 3) 2023 年度 注射調剤業務実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
処方枚数	9,386	9,716	11,036	10,526	10,409	10,660	10,668	10,015	10,081	12,306	10,199	11,578	126,580
件数	22,912	24,573	26,979	24,961	25,481	25,717	26,176	24,836	24,933	30,475	24,375	28,126	309,544
剤数	63,908	66,114	74,096	68,411	71,419	73,189	72,757	67,239	70,142	87,541	68,693	79,211	862,720

## 4) 2023 年度 抗がん剤調製業務実績 (処方せん枚数)

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
04I													0
05 西	14	16	16	12	15	15	33	17	17	24	28	15	222
05 東				1			1	1	1	1	3	2	10
06 西	19	13	19	27	20	22	21	13	15	17	12	19	217
06 東	23	19	20	41	23	4	18	15	31	21	25	11	251
07 西・7 HCU						1							1
07 東										3			3
08 西	1	3	2	1	2	3		2	7	7	1		29
08 東・8 SCU					1		3		1				5
09 西・9 HCU		1	1		2	1	1	1	2	1	1	1	12
09 東	21	17	7	6	7	2	20	12	17	14	8	7	138
10 西	1		1			1	2	1	3	1			10
10 東	49	42	38	31	30	28	36	41	52	33	48	39	467
11 西	116	190	167	215	186	206	194	211	203	218	251	193	2,350
11 東		2			1	1		2	4	10	5	4	29
1-5	7	4				1	4	6	6	1		5	34
1-7													0
3 病													0
ERW			2		2			2		3	2	2	13
ドック													0
外科	167	182	168	163	180	195	202	185	194	187	209	156	2,188
眼科							1						1
救急科													0
歯口科	3	3	4	3	1								14
耳鼻科	32	31	26	25	31	31	32	28	37	33	34	28	368
小児科	1		1		1	1		1		1		1	7
内科	742	796	745	752	754	725	707	634	712	684	770	561	8,582
脳外科	4	4	3	3	2	1	3	1	2	2	4	2	31
泌尿器科	78	73	72	74	84	64	82	82	78	84	80	66	917
皮膚科	7	5	5	5	8	5	8	7	8	6	3	2	69
婦人科	25	30	28	26	36	26	26	25	29	27	35	27	340
合計	1,310	1,431	1,325	1,385	1,386	1,333	1,394	1,287	1,419	1,378	1,519	1,141	16,308

## 5) 2023 年度 外来患者指導業務実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般	464	475	525	563	585	538	631	490	572	540	499	516	6,398
化学療法	98	112	108	90	113	117	115	140	115	143	145	147	1,443

## 6) 2023 年度 入院患者指導業務実績

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
薬剤管理指導 指導患者数	1,276	1,420	1,478	1,415	1,477	1,371	1,427	1,352	1,346	1,259	1,345	1,507	16,673
指導回数	1,862	2,094	2,153	1,981	2,088	1,899	1,995	1,881	1,916	1,776	1,838	2,120	23,603
医事請求数	1,643	1,848	1,913	1,787	1,838	1,721	1,819	1,726	1,756	1,624	1,678	1,915	21,268
退院時薬剤指導	379	451	484	483	453	426	443	395	436	390	411	452	5,203
麻薬管理指導	52	51	62	50	49	39	27	44	37	41	39	45	536

## 7) 2023 年度 病棟薬剤業務実績

業務内容 *1	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医薬品の投薬・注射状況の把握	2,023	2,088	2,298	2,082	2,273	2,117	2,154	2,112	2,106	1,997	1,901	2,195	25,346
医薬品安全性情報等の提供(医療者からの相談)	109	151	136	104	121	116	105	97	110	95	100	117	1,361
持参薬の確認及び服薬計画の提案	569	632	606	606	643	600	666	616	600	678	578	550	7,344
薬剤投与前の相互作用の確認	11	6	4	8	4	11	6	1	7	2	4	6	70
ハイリスク薬等に係る投与前の詳細な説明	29	23	35	34	41	39	33	21	30	42	36	20	383
薬剤投与前の流量又は投与量の計算等の実施	97	76	77	74	52	69	87	65	65	76	74	95	907
その他 *2	1,107	1,160	1,280	1,141	1,284	1,198	1,255	1,195	1,223	1,162	1,084	1,251	14,340
合計	3,945	4,136	4,436	4,049	4,418	4,150	4,306	4,107	4,141	4,052	3,777	4,234	49,751

\*1 業務内容は、厚生労働省通知区分による。

\*2 その他に含まれる業務は、TDM情報等による処方提案、抗がん剤レジメン確認による副作用低減の処方提案、抗がん剤の無菌調製、TDM・検査オーダー依頼、退院先の施設等との連携、カンファレンス参加などがある。

## 8) 2023 年度 外来薬剤鑑別業務実績

診療科	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院手術 サポート センター	患者数	48	38	46	53	47	45	51	52	52	46	50	55	583
	他院薬品数	97	75	62	95	82	79	106	110	108	99	75	89	1,077
	当院薬品数	41	59	60	69	32	44	21	64	63	54	32	55	594
	合計薬品数	138	134	122	164	114	123	127	174	171	153	107	144	1,671
外科 (乳腺センター を含む)	患者数	91	120	107	116	84	96	98	101	111	96	99	97	1,216
	他院薬品数	336	486	505	497	272	407	428	470	513	365	386	337	5,002
	当院薬品数	270	292	164	278	196	177	172	178	261	249	197	165	2,599
	合計薬品数	153	778	669	775	468	584	600	648	774	614	583	502	7,148
泌尿器科	患者数	95	113	103	88	112	70	110	103	107	83	95	92	1,171
	他院薬品数	493	546	534	432	515	359	521	458	501	331	505	513	5,708
	当院薬品数	96	175	117	111	122	96	117	161	152	148	148	34	1,477
	合計薬品数	589	721	651	543	637	455	638	619	653	479	653	547	7,185
整形外科	患者数	30	33	36	35	42	29	48	47	43	35	47	31	456
	他院薬品数	87	155	214	164	267	139	251	265	269	223	215	152	2,401
	当院薬品数	101	83	106	107	101	111	152	94	142	116	170	132	1,415
	合計薬品数	188	238	320	271	368	250	403	359	411	339	385	284	3,816
婦人科	患者数	29	16	28	26	29	24	26	22	30	18	24	22	294
	他院薬品数	90	45	100	72	94	77	88	69	111	78	93	69	986
	当院薬品数	35	35	44	35	45	55	33	17	36	31	26	35	427
	合計薬品数	125	80	144	107	139	132	121	86	147	109	119	104	1,413
心臓外科	患者数	3	7	12	5	4	10	4	4	3	1	2	6	61
	他院薬品数	8	27	27	0	14	20	7	9	0	3	1	4	120
	当院薬品数	13	38	68	33	22	91	26	16	23	1	7	41	379
	合計薬品数	21	65	95	33	36	111	33	25	23	4	8	45	499
耳鼻科	患者数	18	22	28	27	27	22	27	34	13	23	26	28	295
	他院薬品数	58	76	69	88	90	49	85	123	60	100	54	97	949
	当院薬品数	22	69	55	71	77	59	39	105	18	30	34	45	624
	合計薬品数	80	145	124	159	167	108	124	228	78	130	88	142	1,573
皮膚科	患者数	12	9	10	12	9	7	12	14	9	21	10	11	136
	他院薬品数	72	53	55	66	58	18	87	75	57	89	58	69	757
	当院薬品数	27	17	25	15	35	10	6	30	12	87	13	61	338
	合計薬品数	99	70	80	81	93	28	93	105	69	176	71	130	1,095

診療科	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
歯口科	患者数	4	4	5	3	9	3	3	4	0	4	5	5	49
	他院薬品数	29	20	21	2	15	16	11	31	0	31	15	24	215
	当院薬品数	5	0	8	1	34	0	1	1	0	3	1	4	58
	合計薬品数	34	20	29	3	49	16	12	32	0	34	16	28	273
形成外科	患者数	2	7	6	8	14	12	9	6	11	21	20	7	123
	他院薬品数	5	42	25	27	62	46	32	50	50	128	71	46	584
	当院薬品数	0	14	45	11	32	39	42	1	14	57	69	0	324
	合計薬品数	5	56	70	38	94	85	74	51	64	185	140	46	908
内科	患者数	214	167	203	152	175	181	155	158	149	177	174	160	2,065
	他院薬品数	927	800	799	681	738	669	645	704	657	758	601	805	8,784
	当院薬品数	860	788	911	698	767	912	610	749	713	744	900	646	9,298
	合計薬品数	1,787	1,588	1,710	1,379	1,505	1,581	1,255	1,453	1,370	1,502	1,501	1,451	18,082
脳外科	患者数	16	8	14	11	17	10	11	10	14	6	15	11	143
	他院薬品数	78	29	70	20	63	46	32	21	51	44	55	65	574
	当院薬品数	45	48	46	38	29	30	33	24	51	15	18	34	411
	合計薬品数	123	77	116	58	92	76	65	45	102	59	73	99	985
眼科	患者数	10	10	13	14	13	10	2	5	10	6	7	0	100
	他院薬品数	43	60	69	71	89	47	11	20	56	39	18	0	523
	当院薬品数	27	49	42	59	33	49	4	17	25	3	23	0	331
	合計薬品数	70	109	111	130	122	96	15	37	81	42	41	0	854
小児科	患者数	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	3
	他院薬品数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
	当院薬品数	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3
	合計薬品数	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	1	5
神経精神科	患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他院薬品数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	当院薬品数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計薬品数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
透析科	患者数	2	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	6
	他院薬品数	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	12
	当院薬品数	32	0	0	9	1	17	0	4	0	0	0	0	63
	合計薬品数	32	0	0	9	1	17	0	16	0	0	0	0	75
産科	患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他院薬品数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	当院薬品数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計薬品数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急外来	患者数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	4
	他院薬品数	0	0	0	0	0	0	4	0	5	0	0	15	24
	当院薬品数	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	4
	合計薬品数	0	0	0	0	0	0	6	0	5	2	0	15	28
合計	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	患者数	574	554	611	551	584	521	557	561	553	538	574	527	6,705
	他院薬品数	2,323	2,414	2,550	2,215	2,360	1,972	2,308	2,417	2,438	2,288	2,147	2,286	27,718
	当院薬品数	1,574	1,667	1,691	1,535	1,528	1,691	1,258	1,461	1,510	1,540	1,638	1,252	18,345
	合計薬品数	3,897	4,081	4,241	3,750	3,888	3,663	3,566	3,878	3,948	3,828	3,785	3,538	46,063

9) 2023 年度 製剤業務実績

製剤名	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アズノール・リドカイン軟膏	g	450	540	360	540		360	180	540	180	180		180	3,510
アズノール G 添加口腔ケア用含嗽液	L	2	2	1	2	1	2	1	1	2	1	1	1	15
アズノール N 口腔ケア用含嗽液	L	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7
2千倍アドレナリン液	ml	820	820	1,020	1,320	1,320	1,120	1,220	1,220	1,220	820	1,300	1,140	13,340
0.01%アトリン+2%キシロカイン	ml	40	40	40	40	20	40	40	60	40	40	20	40	460
アドレナリン 0.02%+キシロカイン 0.5%	ml	500	400	500	200	300	500	300	400	200	400	400	300	4,400
5千倍アドレナリン	ml	1,950	1,800	1,750	1,550	1,750	2,050	1,700	1,400	2,000	1,800	1,850	2,400	22,000
0.02%アドレナリン+2%キシロカイン	ml					20						170		190
20 万倍ボスミン液	ml	800	900	600	500	1,350	700	750	600	600	500	850	400	8,550
アトロピン点眼液 0.5%	本						2	2						4
20%塩化アルミニウム液	ml					500								500
イソジンシュガー軟膏	g											8,000	4,000	12,000
AZ 含嗽液	ml	500	1,000	1,000	500	500	1,000	500	1,000		500	500	1,000	8,000
HSE (ボスミン加高張食塩水注)	ml	120	80	120	80	60	100	80	80	160	80	40	80	1,080
Mohs ペースト	g		150	400		600	600		400		140			2,290
オキシドール2倍希釈液	L	5	4	5	3	5	5	6	5	4	6	5	5	56
オリブ油 (滅菌)	ml	20	40	20	20	20	60		40	20	60	20	40	360
カプトドロップ	本	8	8	12	8	8	8	10	8	6	6	10	6	98
カルバマセピン坐薬 (200mg)	個			31						30	60			121
4%キシロカイン点眼液	本	16	22	16	32	32	34	28	12	38	34	24	28	316
0.025%逆性石ケン液	L	5	4	5	5	5	5	4	3	5	5	6	4	56
クエチアピン坐剤 25mg	個						30	20		30				80
グリセリン (滅菌)	L	21	15	23	18	21	46	16	19	21	14	20	17	252
ゲルタルアルデヒド溶液	ml			500			500			500			500	2,000
KOH 20%+DMSO 15%	ml	10	30		10	20	10	20		10			20	130
ゲンダシンガーゼ	缶	3		3	3	5		3	2	3	5		5	32
鼓膜麻酔液	ml		10			10		10		10			10	50
酢酸3%	ml		500	500	500	500	500	500	500	1,000	500	500	500	6,000
サンピロ点眼液 0.125%	本	1												1
20%自己血清点眼液	本	12	18	38	40		55	20			32		50	265
2%重ソウ水	L	5	4	4	5	8	5	4	5	5	6	6	6	62
硝酸銀液 10%	ml						10		10	10			10	40
小児用ベネトリン吸入液 0.075%	ml	400	600	1,100	700	700	700	300	300	500	300	300	400	6,300
2%スクアレン酸ジブチルエステルアセトン液	ml			16		16			16			20		68
0.2%スクアレン酸ジブチルエステルアセトン液	ml			34		36			36			40		146
0.02%スクアレン酸ジブチルエステルアセトン液	ml			58		38			38			40		174
0.002%スクアレン酸ジブチルエステルアセトン液	ml			18		18			18			40		94
0.0002%スクアレン酸ジブチルエステルアセトン液	ml			18		18			18			20		74
0.00002%スクアレン酸ジブチルエステルアセトン液	ml			18		36			18			20		92
0.000002%スクアレン酸ジブチルエステルアセトン液	ml			18		18			18			20		74
0.0000002%スクアレン酸ジブチルエステルアセトン液	ml			18		20			18			20		76
スコボラミン軟膏	g			40	20	20		20	20	40				160
生食点鼻液	本	32		25		65	50	52	80	142	31			477
セタジニウム点眼液 2%	本					2	3							5
0.5%デノシン点眼液	本	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	2	26
トルイジンブルー	ml									50	70			120
ニフレック洗腸液	本	160	160	170	150	190	160	170	130	150	150	160	150	1,900
パッチテスト	伴		1	1									1	3
バルプロ酸坐剤 200mg	個	60			30	30		40	30	60				250
バルプロ酸坐剤 600mg	個							15	30	60	30	30	30	195
バンコマイシン点眼2%	本					2	3							5
ピオクタニン1%	ml	560	180	30	590	75	75	695		90		400	105	2,800
ピュラックス3倍希釈液	ml	1,350	450	1,350	900	900	900	1,350	450	1,350	450	1,350	900	11,700
1%ブイフェンド点眼液	本	1	1	1	1									4
液状フェノール	ml			40		20	20	20	40			20		160
フェノール水溶液 (5%) [注射]	個						10							10
アリナミン点鼻液	本			25										25
アリナミン点鼻液	本	20				20		20			20			80
0.1%アトリン点眼液	本	16	8	8	4	4	8	12	12	16	16	8	4	116
【滅菌済眼軟膏】プロベト 5g	個		44		65			48	46		79	43		325
ハクロタジン胃溶カプセル	個	147	205	212	181	99	298	189	162				98	1,591
ハクロタジン腸溶性カプセル	個	46	69	160	154	98	202	232	179	146	97	49		1,432
墨汁注	個		30			30		40			50	30		180
16倍希釈ボビラール液	L	13	13	14	13	17	15	14	10	11	12	13	6	151
0.1%ボビラール液	L				1									1
メチレンブルー2%	ml	235		40									20	295
0.8%メトニダゾール液キシロカイン入り	ml	300												300
0.8%メトニダゾール液キシロカイン+ヒトカス入り	ml	500	500	1,000	500			50					200	2,750
メトニダゾール・ゲル (0.8%)	ml			500	500			500	500				2,500	4,500
10%リドカインクリーム	g	500	1,000	1,000		1,000					1,000			4,500
ルゴール液 (シラートテスト用)	ml	300	600	400	200	600	500	300	500	500	100	200		4,200
ルゴール液	ml	270	200	200	250	420	100	300	200	100	340	150	300	2,830

10) 2023 年度 医薬品情報管理科業務実績

院内副作用報告件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	6

新規採用品目数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
15	0	14	3	0	11	8	0	7	0	10	6	74

削除品目数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
9	6	2	4	0	6	4	3	5	2	8	3	52

欠品・品薄

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
12	16	20	13	17	22	24	22	27	28	27	26	254

回収

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	0	2	0	0	0	1	1	1	0	3	1	10

治験調剤件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6	11	11	8	8	12	16	19	7	5	10	6	119

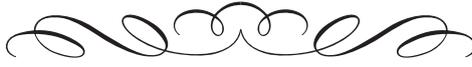
11) 2023 年度 TDM 業務実績 (薬物血中濃度解析件数)

薬物	入院/外来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
テオフィリン	外	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	入	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	3
バルプロ酸	外	13	11	12	10	27	6	13	11	7	8	6	11	135
	入	1	1	0	4	1	0	1	1	1	0	1	0	11
カルバマゼピン	外	7	6	3	11	12	6	3	5	3	2	2	4	64
	入	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
フェニトイン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	入	2	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6
フェノバルビタール	外	0	0	0	0	2	0	1	1	1	0	1	0	6
	入	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
エトスクシミド	外	0	2	2	0	1	1	1	2	0	0	0	0	9
	入	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
プリミドン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゾニサミド	外	1	0	1	1	2	2	0	0	0	2	1	0	10
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クロナゼパム	外	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レベチラセタム	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ラモトリギン	外	1	1	3	5	2	1	2	1	0	3	0	3	22
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クロバザム	外	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	4
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

薬物	入院/外来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ガバベンチン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リチウム	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ジゴキシソ	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	1	2	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	7
ジソピラミド	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リドカイン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シベンゾリン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メキシレチン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アミオダロン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アミカシン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	4	0	0	0	0	0	3	3	0	1	1	1	13
ゲンタマイシン	外	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	入	0	0	2	8	0	4	3	0	3	1	1	0	22
トブラマイシン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
テイコプラニン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	2	9	6	0	2	1	2	0	0	0	0	0	22
バンコマイシン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	入	76	108	95	81	81	92	81	71	66	47	72	74	944
ポリコナゾール	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	入	1	0	1	5	1	1	1	0	1	0	0	0	11
シクロスポリン	外	1	2	0	1	2	1	2	3	2	2	3	0	19
	入	2	10	5	2	4	1	2	7	1	13	8	3	58
タクロリムス	外	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	5
	入	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計 (外来 + 入院)		113	159	135	132	138	118	119	107	86	86	97	98	1,388

12) 2023 年度 PET 業務実績 (FDG 合成実績)

積算サイクロトロン照射時間 (hr)	185.1
積算照射電流 ( $\mu$ A h)	5,552.5
合成回数 (回)	219
総 F- 合成量 (GBq)	7,605.0
総 FDG 合成量 (GBq)	5,604.1
合成収率 (%)	73.7%



診療技術局



## ●中央検査科（2023年度）

2023年度品質方針に「精密、正確、迅速なる検査実施を通じ、利用者に対して信頼できる医療サービスの提供を目指す」を掲げ、ISO15189の維持・継続に向けた取り組みを行い、2023年10月31日第3回サーベイランスを受審し、ISO15189認定継続を認められました。また、2024年2月には日本臨床衛生検査技師会品質保証施設認証を受審し認定されました。

2023年6月には、自動血球分析装置が更新され測定時間短縮と血算での新規検査項目（NRBC,IPF）が報告可能となりました。

検査件数は全体としては対前年度比101.6%であり、内訳は検体検査の一般検査105.0%、血液検査101.1%、生化学検査101.4%、細菌検査100.6%、免疫血清検査94.1%、輸血検査103.6%、夜間休日検査103.7%でした。生理検査は心電図検査97.5%、呼吸機能検査100.8%、超音波検査98.5%、脳波検査99.5%、聴力検査96.1%でした。検体検査では微増したものの、生理検査は減少傾向でした。しかし医療連携強化施策の一環として導入された生理検査機器共同利用件数は576件で対前年比114.9%と増加が見られました。

今後は、昨年に引き続き職員の満足度向上と収支改善に向けた職場環境への取り組みを進め、臨床検査サービスの質向上としてISO15189（2012）からISO15189（2022）の移行審査へ挑み認定継続を目指し活動していきます。

### 2023年度 中央検査科業務件数

部署	検査件数
一般検査	115,669
血液検査	593,007
生化学検査	4,463,838
細菌検査	160,364
免疫血清検査	34,016
輸血検査	35,568
心電図検査	40,065
呼吸機能検査	18,292
超音波検査	19,866
脳波検査	2,655
無散瞳眼底検査	3,107
聴力検査	7,060
夜間休日検査	781,095
総合計	6,274,602
外部委託検査	97,979
中央採血室採血患者数	146,094

### I. 中央採血室 2023年度

診療科	採血患者数
内科	101,618
外科	13,257
心臓外科	1,891
整形外科	1,547
泌尿器科	10,372
神経科	2,250
脳外科	717
耳鼻科	2,412
皮膚科	2,458
歯口科	319
眼科	1,108
形成外科	602
麻酔科	321
産科	1,525
婦人科	5,477
リハビリ科	2
放射線科	
透析	66
小児科	
救急科	
職員検診	152
外来患者合計	146,094
月平均患者数	12,175

### II. 検体検査部門

#### 1. 一般検査 2023年度

検査項目	外来	入院	合計
尿定性	47,133	5,478	52,611
尿沈渣	36,484	4,888	41,372
妊娠反応	67	6	73
便潜血	7,053	539	7,592
寄生虫検査	13	38	51
髄液検査	105	135	240
穿刺液検査	179	167	346
精液検査	27	0	27
便中ロタ・アデノウイルス	27	15	42
RSウイルス	462	44	506
A群β溶連菌	528	21	549
アデノウイルス	825	50	875
尿レジオネラ	562	239	801
肺炎球菌	551	242	793
ヒトメタニューモウイルス	519	44	563
糞便塗抹顕微鏡検査	46	171	217
SARS迅速	4,174	353	4,527
インフルエンザ	3,726	607	4,333
マイコ抗原	44	7	51
総件数	102,525	13,044	115,569

#### 2. 血液検査 2023年度

検査項目	外来	入院	合計
血算	156,077	53,801	209,878
血液像	136,889	51,634	188,523
血液像目視	9,808	7,572	17,380
網状赤血球数	5,235	3,108	8,343
出血時間	1,477	60	1,537
PT	32,979	20,269	53,248
APTT	26,647	19,410	46,057
Fib	7,394	10,370	17,764
FDP	2,338	3,768	6,106
Dダイマー	11,992	12,372	24,364
ATⅢ	306	734	1,040
第ⅩⅢ因子	38	38	76
SFMC	1,291	652	1,943
ループス	0	0	0
混合試験	8	9	17
骨髄像	229	184	413
血沈	15,214	864	16,078
凝集能 ADP・コラーゲン	0	0	0
PRU(C)	41	19	60
PRU(P)	9	4	13
ARU	47	21	68
その他 BAL・HPC	17	81	98
マラリア	1	0	1
総件数	408,037	184,970	593,007

### 3. 生化学検査 2023 年度

依頼項目	項目数	外来	入院	合計
蛋白(血清、他)	22	307,797	101,751	409,548
アミノ酸窒素化合物	12	474,001	155,192	629,193
酵素	23	886,965	303,907	1,190,872
鉄代謝	3	51,981	11,826	63,807
心筋マーカー	5	43,763	12,070	55,833
ビリルビン	5	149,184	50,581	199,765
脂質	15	296,664	16,744	313,408
電解質・金属	17	717,472	254,334	971,806
糖代謝	24	175,571	15,480	191,051
内分泌・下垂体	32	17,955	2,295	20,250
内分泌・甲状腺	10	34,429	4,769	39,198
内分泌・性腺	2	216	48	264
感染症・炎症マーカー	13	185,956	64,986	250,942
腫瘍マーカー	13	50,795	1,747	52,542
補体・免疫グロブリン	6	40,497	5,812	46,309
自己免疫関連	3	14,554	843	15,397
薬物	17	4,097	2,937	7,034
透析液	5	6,603	0	6,603
その他	2	1	15	16
i CGM(リブレ)				0
SMBG				0
総件数	229	3,458,501	1,005,337	4,463,838

### 4. 免疫・血清検査 2023 年度

依頼項目	外来	入院	合計
寒冷凝集反応	8	6	14
IgE	1,114	177	1,291
クオクアロブリン	216	79	295
血液粘稠度	2	1	3
抗DNA	2,196	184	2,380
リンパ球サブセット	543	25	568
造血腫瘍	0	23	23
HIV PCR 定量	509	18	527
高感度PNH(WB・RB)	0	0	0
RNA抽出	0	0	0
HCV RNA 定量	830	99	929
アレルギー(特異IgE)	6,077	902	6,979
研究アディ	99	1	100
研究Treg	0	0	0
CoV抗原	16,028	4,879	20,907
総件数	27,622	6,394	34,016

### 5. 細菌検査 2023 年度

検査項目	外来	入院	合計
塗抹	11,578	7,646	19,224
培養			
血液	9,491	6,681	16,172
髄液	115	175	290
尿	6,338	2,704	9,042
泌尿器	25	9	34
婦人科	923	301	1,224
眼	183	20	203
耳	137	399	536
咽頭	319	1,165	1,484
鼻腔	294	319	613
喀痰	2,543	2,123	4,666
便	382	1,599	1,981
胆汁	29	172	201
胃液	0	259	259
開放性膿	937	727	1,664
非開放性膿	403	552	955
穿刺液	189	322	511
嫌気培養	13,616	10,058	23,674
感受性			
1菌種	3,237	2,147	5,384
2菌種	1,548	1,149	2,697
3菌種以上	771	565	1,336
同定菌数	28,110	18,135	46,245
迅速項目			
大腸菌検査	272	206	478
ペロ毒素	5	1	6
CDトキシン	70	910	980
耐性菌検出	2,754	1,869	4,623
質量分析	7,132	4,889	12,021
抗酸菌			
塗抹	1,049	662	1,711
培養	1,065	687	1,752
同定(DDH/LAMP)	136	133	269
同定(質量分析)	60	18	78
ジェノスカラー	0	0	0
耐性	34	17	51
総件数	93,745	66,619	160,364

### 6. 輸血検査 2023 年度

検査項目	外来	病棟	合計
ABO血液型	8,496	1,509	10,005
Rh(D)式血液型	8,496	1,509	10,005
不規則抗体スクリーニング	7,467	1,219	8,686
D陰性確認試験	50	9	59
直接ケムス	63	43	106
間接ケムス	1,490	68	1,558
抗体価	8	0	8
解離試験	16	14	30
Rh他因子	27	24	51
交差適合試験	1,442	3,136	4,578
T&S	6	360	366
抗体同定	18	6	24
輸血副作用	5	2	7
自己血	81	4	85
総件数	27,665	7,903	35,568

### 7. 外部委託検査 2023 年度

検査項目	外来	入院	合計
SRL	23,279	74,386	97,665
LSI	228	80	308
BML	3	3	6
総件数	23,510	74,469	97,979

### Ⅲ. 生理検査部門 2023年度

#### 1. 心電図検査

検査項目	外来	入院	合計
心電図	24,862	3,955	28,817
R-R 間隔	198	59	257
心臓超音波	6,539	1,537	8,076
トレッドミル負荷心電図	93	1	94
24 時間ホルター心電図	764	33	797
24 時間自動血圧	5	0	5
ABI・PWV	106	66	172
Late potential	27	17	44
血管超音波検査	713	198	911
携帯型発作時心電図	60	0	60
心音図	0	0	0
心臓超音波経食道法	228	274	502
心筋スベクト	312	18	330
総件数	33,907	6,158	40,065

#### 2. 呼吸機能検査

検査項目	外来	入院	合計
スクリーニング	14,674	1,149	15,823
呼吸機能精密検査	898	83	981
呼吸抵抗検査	2	0	2
呼気 NO	1,041	60	1,101
心肺運動負荷試験	157	3	160
連続呼気ガス分析	157	3	160
可逆性テスト	0	1	1
喘息運動負荷試験	0	0	0
酸素消費量測定	0	1	1
鼻腔通気度	27	1	28
時間内歩行試験	35	0	35
総件数	16,991	1,301	18,292

#### 3. 超音波検査

検査項目	外来	入院	合計
腹部超音波	12,887	1,179	14,066
血管超音波	1,218	659	1,877
表在超音波	3,364	108	3,472
乳房超音波	322	11	333
造影超音波	65	4	69
穿刺超音波	0	49	49
総件数	17,856	2,010	19,866

#### 4. 脳波検査

検査項目	外来	入院	合計
脳波	923	480	1,403
筋電図	725	188	913
誘発電位	36	122	158
平衡機能	22	0	22
自律神経	9	5	14
睡眠ポリグラフ	102	43	145
術中モニタリング	0	36	36
総件数	1,817	874	2,691

#### 5. 眼底検査

検査項目	外来	入院	合計
眼底撮影	3,107	0	3,107
総件数	3,107	0	3,107

#### 6. 聴力検査

検査項目	外来	入院	合計
標準純音聴力	1,956	68	2,024
気導純音聴力	443	11	454
チンパノメトリー	729	23	752
耳小骨筋反射	82	3	85
標準語音聴力	30	0	30
内耳機能	1	0	1
中耳機能	7	0	7
耳管機能	88	0	88
耳音響放射	72	1	73
耳鳴検査	0	0	0
簡易聴力	3,546	0	3,546
新生児聴力	0	480	480
総件数	6,954	586	7,540

#### Ⅳ. 夜間休日検査 2023年度

項目名	項目数	外来	入院	合計
血算	1	12,191	18,671	30,862
血液像	1	11,484	17,825	29,309
PT	1	8,341	9,613	17,954
APTT	1	8,205	9,927	18,132
Fib	1	5,599	6,758	12,357
FDP	1	1,212	2,402	3,614
D 二聚体	1	6,516	5,406	11,922
AT Ⅲ	1	126	670	796
SFMC	1	167	433	600
血沈	1	112	125	237
蛋白	17	24,607	33,275	57,882
酵素	21	77,913	105,860	183,773
ビリルビン	6	11,377	17,414	28,791
CRP	1	11,145	16,062	27,207
α ガルクトニン	1	320	377	697
脂質	13	13,102	4,018	17,120
アミノ酸	8	37,109	51,061	88,170
電解質・金属	13	63,274	85,791	149,065
糖・糖代謝	12	6,411	2,603	9,014
心筋マーカー	4	10,764	7,215	17,979
薬物	4	19	31	50
尿薬物スクリーニング	1	47	10	57
エタノール	1	44	5	49
パラコート	1	11	0	11
梅毒検査	1	2,181	829	3,010
HBs 抗原 (CLIA)	1	2,250	839	3,089
HCV 抗体 (CLIA)	1	2,270	840	3,110
HBs 抗体 (CLIA)	1	832	223	1,055
HIV 抗体 (CLIA)	1	2,152	805	2,957
透析液	5	2,175	0	2,175
血ガス	2	86	650	736
尿定性	1	3,656	2,352	6,008
尿沈渣	1	3,708	2,651	6,359
妊娠反応	1	211	1	212
髄液細胞数	1	82	86	168
穿刺液細胞数	6	106	79	185
インフルエンザ	2	8,746	633	9,379
尿レジオネラ	1	902	239	1,141
肺炎球菌	1	890	247	1,137
その他感染症	10	3,872	167	4,039
SARS 迅速	1	9,775	681	10,456
CoV 抗原	1	5,946	1,753	7,699
血液型	1	1,339	503	1,842
直接ケムス	1	9	11	20
間接ケムス	1	9	29	38
不規則抗体スクリーニング	1	1,339	356	1,695
Rh 他因子	1	1	2	3
交差試験 R	1	392	754	1,146
交差試験 F	1	141	278	419
交差試験 P	1	23	219	242
細菌培養	5	3,887	3,240	7,127
総件数		367,076	414,019	781,095

## ●放射線科（2023年度）

### 人員について

4月より診療放射線技師3名（正規職員）をご採用頂き、技師41名（嘱託・再雇用職員3名を含む）、医学物理士1名、補助員2名の44名の体制となった。

### 年度目標について

「放射線検査に関する注意事項の見直し」について検討した。問題点の洗い出しを行い、修正・訂正は次年度に持ち越しとなった。CT造影剤について先発品・後発品の使い分けなど使用状況・問題点について現状把握を行った。

### 装置更新について

2024年1月にIVR-CT装置をご承認を得て更新された。低被ばくで良質な画像が得られるほか、救急外来近傍のためHybrid ER的な応用が期待できる。2024年3月には脳血管撮影装置をご承認を賜り更新された。検査

効率の向上が得られ、高画質化、低被ばくの撮影が可能となった。

### 他職種との連携について

血管撮影室運営会議において榊田先生（循内）を議長に各職種より活発な意見交換が得られている。2023年度より放射線被ばく線量について報告し、スタッフの健康管理に寄与している。

### 七條先生について

当院初代放射線科部長であった七條祐治先生が2023年5月に逝去された。当院における経カテーテル動脈塞栓術（TAE）の礎を築かれ、糸林先生はじめ沢山の血管手術を行う医師や私ども診療放射線技師をご指導頂いた。感謝を申し上げますと共にご冥福をお祈り申し上げます。

（診療放射線技師長 宮崎孝）

### 2023年度 放射線科業務年報（人数）

	一般撮影		CT				MRI			治療			血管						RI		PET	合計
		歯科CT	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	治療棟	本館	腔内	AG2腹部	AG3心カテ	AG4心カテ	AG5頭頸部	IVRCT	ope15	第1	第2		
2023年4月	8,526	22	1,019	491	903	1,448	381	414	428	588	307	7	63	62	126	30	0	12	43	99	119	15,088
2023年5月	9,137	32	1,089	584	932	1,480	413	445	449	585	330	5	62	72	125	27	0	11	41	100	114	16,033
2023年6月	9,576	29	1,102	547	1,023	1,570	446	503	489	781	356	14	69	76	125	26	0	17	41	101	130	17,021
2023年7月	9,068	28	990	444	904	1,649	415	445	450	718	283	8	49	76	112	40	0	12	44	99	135	15,969
2023年8月	9,393	30	1,092	538	993	1,625	445	474	476	604	307	2	53	72	120	36	0	15	40	89	143	16,547
2023年9月	8,842	26	1,057	576	937	1,549	444	471	459	533	292	3	54	62	114	36	0	12	34	69	124	15,694
2023年10月	9,390	28	1,046	611	910	1,673	453	473	466	848	333	4	56	62	107	32	0	15	39	78	154	16,778
2023年11月	9,546	25	1,108	558	968	1,692	440	458	441	647	298	3	74	73	126	29	0	19	56	74	100	16,735
2023年12月	9,381	27	997	553	1,004	1,691	411	482	411	603	330	2	70	60	108	33	0	16	42	90	138	16,449
2024年1月	8,948	24	1,003	491	975	1,785	377	435	393	588	284	3	33	56	111	33	40	20	39	81	122	15,841
2024年2月	8,583	20	1,006	533	928	1,610	409	432	400	684	328	0	0	74	126	46	113	20	45	81	108	15,546
2024年3月	9,071	24	978	532	928	1,627	431	497	442	749	329	1	10	63	126	43	119	19	47	79	119	16,234
合計	109,461	315	12,487	6,458	11,405	19,399	5,065	5,529	5,304	7,928	3,777	52	593	808	1,426	411	272	188	511	1,040		
	109,776		49,749				15,898			11,757			3,426						1,551		1,506	193,935
月平均	9,122	26	1,041	538	950	1,617	422	461	442	661	315	4	49	67	119	34		16	43	87		
	9,148		4,146				1,325			980			286						129		126	16,161
前年度比			95%	97%	86%	123%	100%	96%	93%	91%	100%	75%	96%	109%	98%	101%		114%	88%	89%		
	102%		102%				96%			94%			101%						89%		101%	101%

## ●臨床工学室（2023年度）

### 2023年度の方針・概要

2023年度ISO「質」目標として、①働き方改革の推進、DX展開等の検討、②診療材料の見直し、各種加算の算定実施、③各部署連携による迅速な対応、将来的な業務構想と安全強化の実施を目標としました。①医療機器中央管理と医療安全相互チェックを兼ねて2施設と他1施設へ視察を行い、次年度に向けて検討しています。DX展開については、新年度の上半期に12年以上使用している透析液供給装置および透析液溶解装置の申請をしています。連携により透析液が約70万円/年の節約が可能となります。②7月より経皮的中隔心筋拘約術、11月から補助循環装置インペラを開始しました。12月はダヴィンチ2台目が稼働し症例数増となっています。ボタンホール穿刺透析患者約100名にプラスチック針にて痂皮除去を1,000本/月以上使用しています。変更により半値以下となりました。③臨床工学技士は4月の時点で38名在籍しています。将来を見据え、臨床工学技士による部署研修を開始しました。各部署ではスキルアップのため各々認定士を取得しています。受験資格取得には各部署とも数年の経験が必要となります。部署異動等を含め今後について検討しています。インシデント報告は昨年度より増加し、ヒヤリハットも9件と微増となりました。今後も各部署ともに安全強化に取り組んでいます。

（臨床工学室 岩井 昇）

### 臨床工学室 業務（治療）実績

#### 臨床工学室 人工透析センター

2023.04.01 ~ 2024.03.31 (件)

血液浄化療法名	症例数		施行件数	
	他病棟症例数	総症例数	他病棟施行数	総施行数
血液透析 (HD)	99	374	347	3,744
血液透析 + (CAPD 併用)	0	1	0	13
オンライン血液透析濾過 (CAPD 併用)	0	2	0	55
血液透析+リクセル	0	2	0	138
オンライン血液透析濾過 (OHDF)	0	384	0	47,512
間歇補充型血液透析濾過 (IHDF)	0	201	0	5,159
限外濾過 (ECUM)	0	0	0	0
持続緩除式血液透析濾過 (CHDF)	96	96	403	403
持続緩除式血液透析 (CHD)	2	2	3	3
持続緩除式血液濾過 (CHF)	0	0	0	0
血漿交換 (PE)	1	6	0	37
二重膜濾過血漿交換 (DFPP)	0	2	0	12
選択的血漿成分吸着 (PA)	0	3	0	25
エンドキシン吸着 (PMX-DHP)	1	1	1	1
活性炭吸着療法 (DHP)	0	0	0	0
顆粒球除去療法 (G-CAP)	0	0	0	0
腹水濾過濃縮再静注法 (CART)	0	2	0	3
自家末梢血幹細胞採取 (AU-PBSCH)	0	12	0	17
同種末梢血幹細胞採取 (AL-PBSCH)	0	4	0	5
リンパ球細胞輸注 (DLI)	0	0	0	0
吸着式潰瘍治療法 (HA_Rheocarna)	0	6	0	56
骨髄濃縮 (BMP)	0	0	0	0
総 数	199	1,098	754	57,183

### 人工透析センター保守業務実績

(件)

	始業点検	使用中点検	終業点検	合 計
水処理装置 (個人用RO含む)	854	1,832	—	2,686
透析液溶解・供給装置	630	1,740	628	2,998
透析装置 (個人機含む)	1,052	—	423	1,475
血液浄化装置	558	—	—	558
合 計	3,094	3,572	1,051	7,717

### 機器調整・修理件数 (件)

水処理装置	4
透析液溶解・供給装置	8
透析装置 (個人機含む)	150
血液浄化装置	2
計	164

### 透析液環境検査 (検体)

ET 検査	311
細菌検査	311
計	622

臨床工学室 ME機器管理室実績

2023.04.01 ~ 2024.03.31 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
血管撮影室業務 (心臓カテーテル検査、心臓内電気 生理検査、ペースメーカー関連業務)	225	221	230	209	230	209	204	235	202	205	229	228	2,627	
構造的な心疾患治療	7	9	9	8	8	7	9	12	9	8	9	15	110	
IABP	導入件数	5	4	3	2	6	5	1	4	3	4	0	3	40
	使用中点検	5	3	5	5	6	4	1	4	5	5	0	9	52
ECOM (PCPS)	導入件数	0	2	1	0	2	1	1	4	2	1	1	2	17
	導入件数								4	0	1	1	0	6
レスピレーター	使用後点検	111	166	167	132	121	103	133	178	145	125	107	124	1,612
	使用中点検	18	13	20	50	20	9	14	10	16	13	46	91	320
高気圧酸素治療件数	0	0	0	0	1	0	5	19	0	0	0	3	28	
ペースメーカー 関連業務	病棟点検	52	55	68	51	68	48	50	47	46	39	44	63	631
	外来点検	182	156	180	184	161	166	167	179	174	177	169	153	2,048
	遠隔モニタリング	45	52	52	41	45	88	60	63	65	52	65	62	690
各種 ME 機器	点検	19	18	36	27	41	18	17	16	50	15	41	19	317
	修理	11	10	4	20	15	16	21	21	15	18	17	10	178
ラジオ波焼灼療法	2	3	2	2	0	1	1	0	0	2	2	2	17	
合計	682	712	777	731	724	675	684	796	732	665	731	784	8,693	

臨床工学室 中央手術室実績

2023.04.01 ~ 2024.03.31 (件)

各科依頼	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心臓外科	17	10	12	12	10	7	13	14	15	5	6	7	128
泌尿器科	30	38	46	31	41	46	27	33	40	28	42	24	426
婦人科	8	8	7	3	9	7	8	13	9	12	5	8	97
耳鼻咽喉科	3	3	4	5	6	7	6	2	5	13	9	13	76
歯口科	4	1	1	3	5	2	1	0	0	1	0	4	22
整形外科	2	1	6	3	9	4	3	4	8	8	5	7	60
外科	20	19	20	21	28	29	26	27	32	32	37	36	327
脳外科	0	1	4	3	5	7	2	2	3	2	3	4	36
眼科	1	0	5	0	0	2	4	1	1	4	1	0	19
形成外科	0	2	4	0	4	5	6	4	3	8	3	6	45
腎内科	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	4
循環器内科	8	11	9	8	11	7	11	16	11	12	10	17	131
皮膚科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	3
麻酔科	9	13	13	13	10	11	12	8	12	9	10	18	138
救命救急科	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4
精神神経科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
合計	103	107	132	102	139	134	122	124	139	140	132	144	1,518

機器修理

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
院内修理	13	11	17	14	22	17	24	25	15	24	12	13	207

定期点検

(件)

電気メス	21
除細動器	8
人工心肺一式	57
生体情報モニタ	178
麻酔器	54
IABP	4
シリンジポンプ	130
輸液ポンプ	4

(件)

天吊機器	108
フロン使用機器	25
その他点検	112
毎月点検	1,584
納品・返却時点検	84

点検合計 2,369 (件)  
 保守業務 (修理 + 点検) 2,576 (件)  
 総計 (依頼業務 + 保守業務) 4,094 (件)

# ● 神経精神科 (2023年度)

## 神経精神科 臨床心理

神経精神科 公認心理師業務年報 2023年度

	面接				心理査定				心理療法		予診	集団療法	個別支援	合計	(22年度)	(21年度)	(20年度)
	本人	家族	関係者	電話相談	知能査定	性格査定	その他	査定処理	本人	家族							
外来	16	14	0	1	74	72	128	772	386	27	46	3	1	1,540	(1,665)	(1,840)	(1,461)
入院	4	4	0	1	5	5	2	20	43	37	—	50	14	185	(313)	(209)	(327)
ケア	50	0	0	2	—	—	—	—	—	—	—	229	5	286	(285)	(281)	(332)
合計	70	18	0	4	79	77	130	792	429	64	46	282	20	2,011	(2,263)	(2,330)	(2,120)
(22年度)	(67)	(13)	(0)	(5)	(97)	(82)	(135)	(954)	(437)	(27)	(61)	(278)	(107)	(2,263)			
(21年度)	(77)	(7)	(2)	(11)	(118)	(73)	(131)	(951)	(604)	(16)	(37)	(274)	(29)	(2,330)			
(20年度)	(190)	(14)	(3)	(26)	93	(87)	(182)	(628)	(582)	(26)	(32)	(209)	(48)	(2,120)			

	リエゾン				緩和ケア		地域支援	会議	カンファレンス	情報処理	教育・研修	職員メンタルヘルス			合計
	心理面接	カンファレンス	コンサルテーション	ラウンド延べ人数	心理面接	カンファレンス						本人	関係者	その他	
合計	20	166	0	132	0	15	16	267	760	1,334	86	231	94	1,252	4,373
(22年度)	(44)	(189)	(0)	(225)	(1)	(9)	(3)	(277)	(628)	(1,257)	(41)	(0)	(0)	(436)	(3,110)
(21年度)	(20)	(135)	(2)	(405)	(0)	(4)	(0)	(349)	(883)	(1,497)	(208)	(0)	(0)	(335)	(3,838)
(20年度)	(44)	(45)	(3)	(575)	(0)	(5)	(2)	(362)	(996)	(1,695)	(42)	(0)	(0)	(488)	(4,257)

## 精神保険福祉士 (PSW)

ケースワーク 2023年度

(総員7名)

月	合計	実施方法					紹介経路				援助手段				
		新規	継続	入院	外来	その他	職員	本人	家族	その他	面接	訪問	電話	文書	カンファ
4月	525	65	460	171	347	7	342	111	27	45	131	146	182	38	28
5月	532	72	460	160	352	20	353	90	22	67	102	177	192	36	25
6月	517	74	443	142	364	11	337	99	21	60	91	186	174	42	24
7月	525	101	424	132	357	36	323	95	29	78	109	167	184	31	34
8月	559	87	472	133	402	24	357	115	22	65	126	158	201	47	28
9月	524	75	449	141	360	23	337	91	24	72	115	160	184	29	36
10月	576	99	477	138	399	39	349	112	27	88	125	167	233	31	20
11月	532	85	447	123	377	32	332	99	26	75	117	168	190	30	27
12月	521	69	452	104	399	18	355	107	28	31	129	170	173	23	26
1月	476	72	404	108	341	27	309	80	34	53	102	147	175	25	27
2月	447	78	369	126	301	20	308	85	23	31	114	143	145	23	22
3月	479	74	405	121	340	18	323	94	19	43	102	143	178	34	22
合計	6,213	951	5,262	1,599	4,339	275	4,025	1,178	302	708	1,363	1,932	2,211	389	319

月	援助内容												
	受診	入院	退院	療養	経済	就労	教育	住宅	家族	生活	心理	人権	その他
4月	60	12	67	77	27	10	2	17	26	186	21	4	16
5月	83	17	50	81	42	3	6	11	20	186	20	7	6
6月	64	17	35	87	26	6	4	9	22	201	19	6	21
7月	75	31	34	84	25	7	11	6	29	191	13	9	10
8月	59	33	46	93	40	9	5	10	22	212	15	4	11
9月	55	24	41	101	30	7	3	14	29	190	18	4	8
10月	75	29	42	107	30	6	2	12	25	203	29	2	14
11月	74	27	27	90	29	13	5	7	22	202	23	9	4
12月	62	15	21	68	31	15	3	5	22	247	19	4	9
1月	62	25	35	58	20	6	1	2	26	206	15	3	17
2月	48	20	37	69	25	13	1	1	17	188	15	8	7
3月	50	17	35	77	22	12	10	4	16	201	23	3	9
合計	767	267	470	992	347	107	53	98	276	2,413	230	63	132

関連業務

分類	業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
情報処理														
C1	記録（カルテ、ケース記録、DC個人記録など）	647	665	694	681	722	679	735	661	670	606	626	645	8,031
C2	各種文書（届出書類等）	16	7	9	22	9	12	5	11	6	11	13	7	128
C3	資料作成・整理	16	18	17	19	26	20	12	15	18	13	8	8	190
C4	統計	39	37	45	40	34	38	36	36	36	37	35	24	437
C5	その他（患者等の情報交換含む）	157	162	150	172	193	192	185	176	147	132	142	155	1,963
院内関係業務														
C6	ケースカンファレンス	163	150	144	152	143	154	139	150	161	131	148	154	1,789
C7	各種会議	43	37	43	36	32	37	30	46	29	33	33	40	439
C8	各種行事	0	0	1	1	4	2	1	2	1	2	0	3	17
C9	院内教育・実習指導	3	1	1	0	0	6	0	1	0	0	1	0	13
C10	院内研修・研究	4	3	11	10	3	9	7	5	3	2	2	2	61
C11	管理	25	30	32	26	35	36	26	31	26	42	30	31	370
C12	その他（関連業務の情報交換含む）	94	84	94	95	120	80	108	100	74	86	99	86	1,120
地域関係業務（準備・片付け含む）														
C13	関係機関連絡調整	166	161	176	190	194	170	212	196	155	145	169	165	2,099
C14	関係機関主催会議	5	8	6	7	7	5	6	7	7	6	6	8	78
C15	関係機関主催行事	0	0	0	0	0	3	2	2	0	0	0	2	9
C16	教育・実習指導	1	0	0	0	5	16	1	0	0	0	0	0	23
C17	研修・研究・学会	0	0	2	6	1	1	2	5	8	8	3	2	38
C18	社会資源開拓（職場開拓含む）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C19	ボランティア養成・支援	4	2	2	1	5	5	5	3	3	2	4	2	38
C20	精神保健福祉士協会（全国・県など）	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3
C21	その他（関係業務などの情報交換含む）	5	2	3	1	1	5	0	0	0	0	5	1	23
総計		1,388	1,367	1,431	1,459	1,535	1,470	1,512	1,447	1,344	1,256	1,325	1,335	16,869

グループワーク

	実施回数	参加者数
4月	35	307
5月	40	390
6月	36	294
7月	43	360
8月	43	443
9月	34	310
10月	42	345
11月	40	344
12月	36	294
1月	40	363
2月	37	283
3月	31	224
合計	457	3,957

デイケアセンター

2023年度デイケア在籍者統計（2023年4月1日～2024年3月31日）

男女比

男性	72
女性	82
合計	154

年齢	男性	女性	合計	%
10代	2	11	13	8.4%
20代	9	13	22	14.3%
30代	10	8	18	11.7%
40代	18	21	39	25.3%
50代	16	16	32	20.8%
60代	14	6	20	13.0%
70代	3	7	10	6.5%
80代	0	0	0	0.0%
合計	72	82	154	100.0%
平均退所時年齢	47.0	42.6	46.9	

通所期間	男性	女性	合計	%
6ヶ月以内	3	3	6	3.9%
1年以内	2	5	7	4.5%
1年	13	13	26	16.9%
2年	8	13	21	13.6%
3～5年	10	13	23	14.9%
5～10年	23	14	37	24.0%
10年以上	13	21	34	22.1%
合計	72	82	154	100%
平均通所期間	6年 0ヶ月	5年 7ヶ月	5年 9ヶ月	

診断名	(ICD10)	男性	女性	合計	%
器質性健忘症候群	F04	1	0	1	0.6%
器質性精神障害	F06	0	0	0	0.0%
統合失調症	F20	40	38	78	50.6%
統合失調感情障害	F25	0	2	2	1.3%
躁病	F30	0	0	0	0.0%
躁うつ病	F31	11	12	23	14.9%
うつ病	F32	4	4	8	5.2%
不安障害	F40・F41	1	3	4	2.6%
強迫性障害	F42	0	0	0	0.0%
PTSD	F43.1	0	0	0	0.0%
適応障害	F43.2	0	6	6	3.9%
身体表現性障害	F45	1	0	1	0.6%
摂食障害	F50	0	2	2	1.3%
パーソナリティ障害	F60	0	2	2	1.3%
知的障害	F70・F71	1	3	4	2.6%
広汎性発達障害	F84	5	6	11	7.1%
多動性障害	F90	0	1	1	0.6%
その他		7	4	11	7.1%
合計		71	83	154	100%

住所地

海匝郡市	旭市	58
	銚子市	28
	匝瑳市	14
	小計	100
香取郡市	香取市	17
	香取郡	14
	小計	31
山武郡市	東金市	0
	山武市	5
	山武郡	9
	小計	14
その他の千葉県		3
茨城県	鹿嶋市	0
	神栖市	4
	その他の茨城県	2
	小計	6
その他の都道府県		0
合計		154

2023年度デイケア退所者統計（2023年4月1日～2024年3月31日）

男女比

男性	10
女性	6
合計	16

年齢	男性	女性	合計	%
10代	0	0	0	0.0%
20代	0	0	0	0.0%
30代	1	2	3	18.8%
40代	2	1	3	18.8%
50代	4	1	5	31.3%
60代	3	1	4	25.0%
70代	0	1	1	6.3%
80代	0	0	0	0.0%
合計	10	6	16	100.0%
平均退所時年齢	53.5	49.7	52.1	

通所期間	男性	女性	合計	%
6ヶ月以内	3	2	5	31.3%
1年以内	2	0	2	12.5%
1年	1	1	2	12.5%
2年	0	0	0	0.0%
3～5年	1	1	2	12.5%
5～10年	2	1	3	18.8%
10年以上	1	1	2	12.5%
合計	10	6	16	100%
平均通所期間	5年 3ヶ月	6年 5ヶ月	5年 9ヶ月	

診断名	(ICD10)	男性	女性	合計	%
器質性健忘症候群	F04	0	0	0	0.0%
器質性精神障害	F06	0	0	0	0.0%
統合失調症	F20	7	4	11	68.8%
統合失調感情障害	F25	1	0	1	6.3%
躁病	F30	0	1	1	6.3%
躁うつ病	F31	0	1	1	6.3%
うつ病	F32	0	0	0	0.0%
不安障害	F40・F41	0	0	0	0.0%
強迫性障害	F42	0	0	0	0.0%
PTSD	F43.1	0	0	0	0.0%
適応障害	F43.2	0	0	0	0.0%
身体表現性障害	F45	0	0	0	0.0%
摂食障害	F50	0	0	0	0.0%
パーソナリティ障害	F60	0	0	0	0.0%
知的障害	F70・F71	0	0	0	0.0%
広汎性発達障害	F84	1	0	1	6.3%
多動性障害	F90	0	0	0	0.0%
その他		1	0	1	6.3%
合計		10	6	16	100%

住所地

海匝郡市	旭市	6
	銚子市	4
	匝瑳市	1
	小計	11
香取郡市	香取市	2
	香取郡	2
	小計	4
山武郡市	東金市	0
	山武市	0
	山武郡	0
	小計	0
その他の千葉県		0
茨城県	鹿嶋市	0
	神栖市	1
	その他の茨城県	0
	小計	1
その他の都道府県		0
合計		16

退所転機

終了	7
中断	9
合計	16

退所理由

就労	0
就学	0
社会資源利用	1
社会内適応	0
終了その他	0
精神科入院	10
他科入院	1
症状再燃	0
参加意欲低下	0
対人関係問題	0
問題退所	1
死亡	3
中断その他	0
合計	16

神経精神科 OT センター

神経精神科 OT センター 利用者統計 (2023 年度)

利用者

	入院	外来	合計
男性	66	20	86
女性	73	18	91
合計	139	38	177

年齢

	入院	外来	合計
～10代	14	3	17
20代	6	5	11
30代	11	5	16
40代	23	11	34
50代	31	8	39
60代	34	5	39
70代	15	1	16
80代	5	0	5
合計	139	38	177

疾患分類別

ICD-10		入院	外来	合計	
F0	症状性を含む器質性精神障害	6	0	6	(3.4%)
F1	精神作用物質による精神および行動の障害	5	4	9	(5.1%)
F2	統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	67	25	92	(52.0%)
F3	気分障害	48	7	55	(31.1%)
F4	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	5	0	5	(2.8%)
F5	生理的傷害および身体的要因に関連した行動症候群	3	0	3	(1.7%)
F6	成人の人格および行動の障害	0	0	0	(0.0%)
F7	精神遅滞	1	0	1	(0.6%)
F8	心理発達の障害	3	2	5	(2.8%)
F9	小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	1	0	1	(0.6%)
合計		139	38	177	(100.0%)

## ●臨床栄養科（2023年度）

◆基本方針：食の安全性・満足度の向上・栄養管理業務の充実

◆質目標

1. 安全な病院食の提供
  - ・インシデント発生状況の共有、対策の検討。
  - ・要因の追求と改善策の周知。
  - ・重大インシデントであるアレルギー食への意識向上。
2. 人員減少後の栄養指導件数維持  
業務内容の効率化を進め、栄養指導枠確保を絶えず行っていく。
3. 給食業務全面委託に向けて円滑な業務移行
  - ・移行スケジュール作成と共有。
  - ・問題点の洗い出しと解決。

### 給食管理

食数については、601,365食となり、対前年度比-1.1%となった。給食収益は、逆に対前年度比+2.6%となった。特別食加算の食種の比率が昨年度より高かったことが影響している。食材費は、新型コロナやウクライナ情勢の影響もあって食材の値上がりがずっと続いた。その為、今年度は、181,249,000円となり、対前年度比+10.5%となった。1日当たりの食材費も約10円の上昇となった。在庫調整も含めよりの確な食材管理が求められる。

給食業務委託については、2024年度からの全面委託開始に向けて1年間の準備期間となった。献立・発注・調理等、給食に関するすべての業務について準備スタッフが入って円滑な業務が行えるよう作業を行っている。病院側との定例会議も行って情報共有を行っている。

なお、特別養護老人ホーム（東総園）は、7月をもって業務終了となった。

### 栄養管理

今年度の栄養指導件数は、2,991件となり対前年度比-6.7%となった。指導料収入は-8.4%となった。

外来患者数、入院患者数共に昨年度から減少していることも一つの要因と考えられる。

「早期栄養介入管理加算」「周術期栄養管理実施加算」を2022年7月から算定している。今年度は、早期栄養介入管理加算が4,195件、周術期栄養管理実施加算が1,843件算定した。金額で16,691,000円となった。限られた人員ではあるが、業務の効率化をして少しでも増収につながるよう努めていきたい。

### チーム医療・地域医療連携

NST、褥瘡、糖尿病といった「チーム医療」に栄養科はかかわっている。NST（栄養サポートチーム）は、医師・看護師・管理栄養士・検査技師・薬剤師・歯科衛生士で構成され、低栄養の患者さんに対して適切な栄養管理を行っている。昨年度今年度共に年間約480件の介入を行った。

糖尿病サポートチームは、周辺地域住民の血糖コントロール改善が主な活動目標であり、地域のイベントに参加してきた。新型コロナの影響で昨年度から様々なイベントが中止になって十分な活動はできなかった。今後、徐々に再開できれば以前のように積極的に参加していきたい。

地域との連携も、オンライン会議になったり研修会が中止になったりして交流が十分にできなかった。

入院患者食数

	一般食																		特別治療食										検査食	合計	その他			
																			加算					非加算							特養	シルバーケア	ケアハウス	デイケア
	普通食	全粥食	7分粥食	5分粥食	3分粥食	流動食	嚥下食	離乳食	調乳	糖尿病食	心疾患食	肺炎食	腎臓病食	透析食	腎臓病食 蛋白制限	濃厚流動食 経管	計	比率 (%)	濃厚流動食 経管	濃厚流動食 経口	薬血注食													
2023年4月	11,860	4,053	2,246	8,313	228	409	2,710	46	485	4,308	3,518	504			3,013	11,343	24.1%	3,791	659	730	244	47,117	790	8,660	3,005	436								
5月	12,455	4,485	1,845	9,257	244	453	3,758	61	632	4,436	3,512	669			2,215	10,832	22.1%	3,408	831	582	218	49,061	534	8,721	3,129	406								
6月	11,988	4,614	1,490	9,647	277	528	2,746	60	745	5,053	3,902	652			2,556	12,163	24.9%	3,081	624	643	309	48,915	199	8,142	2,991	433								
7月	13,307	5,043	1,767	10,771	133	297	3,955	78	919	4,997	3,469	1,204			2,062	11,732	22.4%	2,814	672	561	317	52,366	10	8,444	3,057	396								
8月	13,046	5,086	2,560	11,204	318	290	3,351	73	754	4,277	3,317	1,143			1,914	10,651	20.3%	3,128	706	897	285	52,349		8,088	2,914	436								
9月	12,334	4,701	2,255	9,971	155	377	4,026	60	306	3,934	2,655	1,200			2,169	9,958	20.0%	3,227	1,167	1,048	310	49,895		8,426	2,899	390								
10月	12,579	4,038	2,058	9,971	217	375	3,442	103	476	4,470	3,050	1,324			2,893	11,737	23.4%	3,228	782	884	265	50,155		8,842	2,900	418								
11月	12,164	3,765	2,286	9,586	252	361	2,919	174	365	4,818	3,735	1,133			2,520	12,206	24.8%	2,989	762	1,034	314	49,177		8,586	2,678	390								
12月	12,238	4,955	1,719	10,366	260	393	2,824	43	537	4,298	3,561	1,011			2,274	11,144	22.2%	3,227	918	1,353	228	50,205		8,640	2,728	367								
2024年1月	10,883	5,150	2,223	9,918	233	395	4,126	55	557	4,624	3,402	1,316			1,227	10,569	21.2%	3,297	890	1,336	203	49,835		8,531	2,790	365								
2月	11,212	4,974	2,200	10,051	394	456	3,261	81	636	5,058	3,050	1,049			2,079	11,236	22.4%	3,265	895	1,237	244	50,142		8,401	2,699	368								
3月	12,451	4,641	2,372	10,249	239	389	3,543	144	230	5,536	3,682	874			2,270	12,362	23.7%	3,428	1,099	753	248	52,148		8,883	3,071	374								
小計	146,517	55,505	25,021	119,304	2,950	4,723	40,661	978	6,642	55,809	40,853	12,079			27,192	135,933	22.6%	38,883	10,005	11,058	3,185	601,365	1,533	102,364	34,861	4,779								
合計	601,365																				143,537													

栄養指導件数（個別）

	糖尿病		高血圧 心疾患		脂質異常症		肥満		腎臓病・透析		肝臓病・肺炎		大腸がん		クローン病 潰瘍性大腸炎		マーゲンESD		嚥下食		周術その他	
	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来
2023年4月	19	54	1	3	0	2	0	9	10	66	2	2	9	1	1	0	5	2	0	0	2	49
5月	10	57	3	6	0	1	0	6	7	71	0	1	14	0	0	0	7	1	3	0	2	54
6月	24	55	3	4	1	1	2	7	5	74	1	1	9	1	0	1	7	0	1	0	2	76
7月	14	59	2	4	0	3	1	3	8	68	0	1	10	0	0	0	4	0	3	0	2	72
8月	17	59	0	5	0	3	1	6	6	69	0	1	22	3	0	0	4	0	1	0	3	68
9月	9	54	2	4	0	3	1	2	7	63	0	3	13	0	1	0	6	1	0	0	4	56
10月	12	48	1	8	0	2	0	2	7	73	0	4	6	1	0	0	6	2	0	0	4	65
11月	14	39	0	5	0	3	1	2	11	71	0	4	17	3	2	0	6	1	1	1	2	69
12月	9	37	2	5	0	2	0	2	7	61	0	1	11	3	2	0	8	1	0	0	7	62
2024年1月	12	31	0	5	1	5	0	3	4	38	0	1	12	1	0	0	9	0	1	0	6	58
2月	9	37	1	4	1	1	0	4	7	34	0	4	10	1	0	0	6	1	0	0	3	54
3月	9	1	2	1	0	1	1	7	7	54	1	7	8	2	2	0	2	3	1	1	4	45
小計	158	531	17	54	3	27	7	53	86	742	4	30	141	16	8	1	70	12	11	2	41	728
合計	2,742																					

栄養指導件数（集団）

	外来			
	糖尿病外来教室		ドック指導	
	回数	患者数	回数	患者数
2023年4月	1	2	16	37
5月	2	4	15	50
6月	1	5	17	64
7月	2	7	16	65
8月	2	4	18	78
9月	2	5	14	77
10月	1	4	17	79
11月	1	6	15	75
12月	2	2	15	69
2024年1月	1	3	15	50
2月	0	0	14	47
3月	1	2	13	45
小計	16	44	185	736
合計	16回 44人			

※ドック指導は指導料なし

栄養管理加算

	早期栄養介入管理加算	周術期栄養管理実施加算
	件数	件数
2023年4月	340	128
5月	298	129
6月	377	165
7月	368	142
8月	384	159
9月	331	162
10月	329	153
11月	395	155
12月	374	162
2024年1月	336	169
2月	307	157
3月	356	162
合計	4,195	1,843

## ●医療連携福祉相談室（2023年度）

相談係 2023年度年報（2023年4月1日～2024年3月31日）

### 1. 主な業務について

医療連携福祉相談室 相談係では、地域の医療機関・関係機関との連携強化のため、以下の取り組みを推進した。

DX 展開による退院調整業務の効率化のため、入退院支援クラウド CAREBOOK の導入を行った。7/5、7/6、7/13 の3日間で、CAREBOOK 導入に向けた近隣医療機関への zoom 説明会を開催し、33 の医療機関にご参加いただいた。8/1 よりシステムを稼働し、2023 年度末までの8ヶ月間で案件数 855 件、打診数 1,273 件、チャット回数 7,054 回、転院確定件数 606 件と順調にシステム利用が行えている。CAREBOOK を利用すれば複数の医療機関へ転院相談を行う際に、初回打診を一括で行うことが可能となる。細かなやりとりをチャット機能で行うことによって、お互いの担当者の都合の良いタイミングで内容を確認でき業務の効率化につながった。また、FAX 送信が不要となるため、誤送信による個人情報漏洩リスクも減少でき、後方支援病院側も転院調整に必要なデータを鮮明な画像で確認できるメリットがある。

近隣医療機関との更なる連携強化に向けた話し合いを行っている。リハビリ転院が必要な銚子市在住の脳卒中患者さんが年間約 40 名いるが、銚子市内の医療機関へリハビリ目的での転院が出来ていなかった。4 月に銚子市立病院と話し合いをさせていただき、回復期リハビリテーション病棟での転院受入れを強化していただいた。2022 年度は 29 名であった銚子市立病院への転院患者さんが、2023 年度は 65 名となった。また、11 月に飯倉医院とも連携強化に向けた話し合いをさせていただいた。今まで転院対象では無かった看取りやレスパイト目的の患者さんなどの受入れもご対応いただくことで、4～10 月までは 0 名だった飯倉医院への転院患者さんが、11 月から 2024 年 3 月までに 10 名お受け入れいただいた。

1/12 に「転院調整の現状と課題について本音で話し合う」をテーマにした地域医療連携懇談会を開催し、近隣医療機関で転院調整業務を担当されている 72 名（25 医療機関）の方々にご参加いただいた。当院の転院調整の現状と課題を情報共有した後に、忌憚のない意見交換を 6 グループに分かれグループワーク形式で行うことができた。

香取海匝難病相談支援センター事業の一環として、10/3～4 に第三号喀痰吸引等研修を開催し、近隣施設の介護職員 10 名にご参加いただいた。また、10/24 に難病患者さん向けの講演会としては 4 年ぶりに、「パーキンソン病の症状と治療」というテーマで難病患者支援者講演会を開催した。患者さんやご家族 64 名、介護支援者 23 名の計 87 名の方々にご参加いただいた。

香取海匝地域認知症疾患医療センター事業の一環として、12/22 に「香取海匝地域認知症疾患医療連携協議会」を開催した。今回は認知症フレンドリー市民上映会を行い、若年性認知症を題材にした「オレンジ・ランプ」を上映した。地域の介護事業所や当院スタッフ、認知症当事者と家族など 78 名の方々にご参加いただいた。

### 2. 入院・外来ケース件数

	入院	外来	合計
新規	2,596	600	3,196
再来	60	37	97
継続	1,617	468	2,085
実件数	4,273	1,105	5,378
延件数	19,961	2,172	22,133

### 3. 紹介経路（新規・再来、実件数のみ）

	本人	家族	知人	医師	看護師	院内職員	関係機関	その他	合計
新規	80	129	0	1,322	1,401	72	166	26	3,196
再来	6	10	0	34	26	5	15	1	97
合計	86	139	0	1,356	1,427	77	181	27	3,293

4. 診療科別実件数（新規・再来、継続件数）

内科	2,492	皮膚科	38
脳神経外科	625	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	33
整形外科	569	救急救命科	27
小児科	418	神経精神科	17
透析科	317	心臓外科	9
産科	268	眼科	6
外科	176	歯科・歯科口腔外科	4
泌尿器科	149	麻酔科ペインクリニック	1
新生児科	100	その他	18
形成外科	60	合計	5,378
婦人科	51		

5. MSW 行動別業務集計（新規・再来、継続件数）

	面接	電話	文書	訪問	行動別延件数	実件数
受診援助	134	349	6	0	489	53
入院援助	5	17	0	0	22	5
退院援助	10,015	30,234	82	1	40,332	3,616
療養上の問題調整	956	1,928	80	6	2,970	669
経済問題調整	869	1,435	0	0	2,304	302
就労問題調整	59	127	0	0	186	17
家族問題調整	699	3,159	0	0	3,858	716
合計	12,737	37,249	168	7	50,161	5,378

6. 関連業務集計

関連業務		総件数
クライアント 処遇会議	病棟ケースカンファレンス（ERW、1-5、1-7、NICU、5東、5西、6東、6西、7東、7西、8東、8西、9東、9西、10東、10西、11東、11西）、心不全チームカンファレンス、HIVカンファレンス、緩和ケアチームカンファレンス、FAST（家族支援チーム）、化学療法センター合同カンファレンス、安全・患者サポートカンファレンス、AYA世代がん患者支援チームカンファレンス、認知症サポートチームカンファレンス、移植前カンファレンス、アルコール依存症カンファレンス	1,093
各種会議	千葉県東部地域救急医療ネットワーク会議、千葉県総合難病相談支援センター会議、香取広域医療的ケア児童支援会議、旭市救急医療ネットワーク会議、香取市救急医療ネットワーク会議、匝瑳市救急医療ネットワーク会議、銚子市救急医療ネットワーク会議、旭市認知症初期集中支援チーム委員会会議、大腿骨近位部骨折WEB会議、HIV拠点病院会議、心不全地域連携パス会議、診療技術局代表者会議、診療技術局部署長会議、診療技術局全体会議、患者相談中央会議、患者相談支援連絡会議、総合患者支援センター会議、新型コロナウイルス感染対策本部会議、在院日数短縮プロジェクト会議、母子保健連絡会議、入院・手術サポートセンター（PFMセンター）運営会議、高次脳機能障害連絡会議、診療技術局教育委員会、診療技術局安全委員会、がん診療あさひ編集委員会、がん診療運営委員会、クリニカルパス委員会、健康づくり支援委員会、退院支援委員会、病床管理委員会、衛生委員会、救命救急センター集中治療部運営委員会、虐待防止委員会、厚生委員会、緩和ケア病棟入棟審査会、千葉県循環器病対策推進協議会、旭市要保護児童対策地域協議会、旭市犯罪被害者支援連絡協議会、海匠地域認知症疾患連絡協議会、千葉県がん診療連携協議会相談支援専門部会、旭市自立支援協議会こども部会、全国自治体病院協議会千葉県支部総会	556
研修・研究・学会	喀痰吸引研修、千葉県子ども虐待対策研究会、地域連携懇談会、日本小児救急医療学会 等	71
教育・実習指導	旭中央病院附属看護学校講義、千葉科学大学実習生対応 等	132
情報処理	日報、月報、年報、がん相談、難病相談業務集計 等	4,340
その他関連業務	がん患者サロン 等	1,209
合計		7,401

## 7. がん相談について

①相談件数〔入院〕 実件数 581 件、総件数 2,832 件〔外来〕 実件数 287 件、総件数 505 件

### ②相談支援内容別件数

相談支援分類	件数
がん患者の療養上の相談	2,477
その他相談支援に関すること	395
診療時間・待ち時間・専門分野・経歴等地域の医療機関・医療従事者の情報提供	252
地域の医療機関・医療従事者における連携協力体制の事例に関する情報提供	206
アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談	5
セカンドオピニオンが提示可能な医師の紹介	2
合計	3,337

### ③相談を受けた患者の疾患

口腔・咽頭がん、食道がん、胃がん、小腸がん、大腸がん、肝臓がん、胆のう・胆管がん、膵臓がん、喉頭がん、肺がん、皮膚がん、乳房がん、子宮がん、子宮頸部がん、子宮体部がん、卵巣がん、前立腺がん、膀胱がん、腎・尿路がん、脳・中枢神経系がん、甲状腺がん、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病、原発不明がん、GIST

### ④がん患者サロン

4月～3月までの参加者数は合計46名であり、1回の参加者数は、平均4名であった。自身の治療体験やコロナ禍での生活や悩みなどを語り合われていた。

2024年度は、ピア・サポーターズサロンやミニレクチャーの開催を検討している。

## 8. 難病相談について

①相談件数〔入院〕 実件数 136 件、総件数 827 件〔外来〕 実件数 34 件、総件数 89 件

### ②相談を受けた患者の疾患

筋萎縮性側索硬化症、進行性核上性麻痺、パーキンソン病、大脳皮質基底核変性症、多発性硬化症／視神経脊髄炎、慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く）、もやもや病、プリオン病、天疱瘡、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、悪性関節リウマチ、原発性抗リン脂質抗体症候群、全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎／多発性筋炎、全身性強皮症、シェーグレン症候群、発作性夜間ヘモグロビン尿症、特発性血小板減少性紫斑病、IgA 腎症、後縦靭帯骨化症、サルコイドーシス、特発性間質性肺炎、肺動脈性肺高血圧症、網膜色素変性症、潰瘍性大腸炎、類天疱瘡、急速進行性糸球体腎炎、一次性ネフローゼ症候群、一次性膜性増殖性糸球体腎炎

### ③難病に関する講演・研修会の開催事業

演題等	対象者	参加者数	内容
喀痰吸引等研修(第3号)	香取・海匠地域の患者を担当するヘルパー等	10名	2023年10月3日(火)～4日(水)に喀痰吸引等研修(第3号)の基本研修を行った。
『パーキンソン病の病状と治療』	香取・海匠地域のパーキンソン病患者・家族、介護職員など支援者	患者・家族65名、支援者23名	当院神経内科 鈴木陽一医師より、パーキンソン病の病態や治療について講演を行っていただいた。

9. 認知症相談について ※外来での対応件数のみ

①専門医療相談件数（月別）（電話による相談及び面接による相談、それぞれの件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	2	0	5	4	4	5	0	4	0	10	4	1	39
面接	8	6	20	11	26	24	9	19	3	32	19	0	177
合計	10	6	25	15	30	29	9	23	3	42	23	1	216

②専門医療相談のための地域包括支援センターとの連絡調整件数（月別）及びその他機関との情報収集・提供件数（月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地域包括支援センターとの連絡調整件数	3	1	4	0	2	7	5	4	0	7	4	6	43
その他機関との情報収集・提供件数	0	5	8	8	15	7	1	10	1	10	7	2	74
合計	3	6	12	8	17	14	6	14	1	17	11	8	117

2023 年度認知症疾患医療センター会議関連

開催日	参加人数
2023 年 12 月 21 日	2023 年度 第 1 回 認知症疾患医療連携協議会 73 名

10. 家族問題調整（FAST ケース）について

新規相談件数

年度	身体的虐待	ネグレクト	心理的虐待	性的虐待	DV	特定妊婦	高齢者虐待	障害者虐待	計
2019 年	40	74	14	20	7	56	18	1	230
2020 年	28	183	16	23	11	66	18	3	348
2021 年	23	128	15	40	14	50	9	4	283
2022 年	15	124	25	44	16	59	11	4	298
2023 年	18	159	4	33	10	55	16	2	297

対応実件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実件数	51	50	64	55	57	79	56	69	74	61	49	51	716

対応延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	264	214	237	254	332	250	244	344	316	264	221	219	699
面接	48	26	57	37	77	62	58	121	75	48	27	63	3,858
合計	312	240	294	291	409	312	302	465	391	312	248	282	4,557

被虐待児の性別

男	95
女	119
計	214

発見時の被虐待児の年齢

新生児（出生後 28 日未満）	46
乳児（1 歳未満）	27
幼児（1 歳から 6 歳）	55
小学生（7 歳から 12 歳）	58
中学生（13 歳から 15 歳）	24
高校生（16 歳から 18 歳）	4
合計	214

児童相談所通告ケースの種別

身体的虐待	5
ネグレクト	10
心理的虐待	0
性的虐待	2
特定妊婦	2
合計	19

被虐待児の発達障害の有無

有り	46
無し	152
不明	16
計	214

児童虐待ケースの保護者の問題

経済的問題	50
精神疾患	39
DV	25
知的障害	8

児童虐待ケースの対応内容

児童相談所 通告	17
児童相談所 連携	57
市町村 通告	16
市町村 連絡	124
合計	214

勉強会開催

開催日	テーマ	参加人数
2023年12月15日 金曜日	旭中央病院における性虐待被害児に対する被害確認診察について	60名
2024年2月19日 月曜日	見逃している性被害	66名

11. 退院調整業務について

①退院者数 2,317名

②年齢別

	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代～	合計
在宅	1	6	11	12	29	78	120	104	30	391
施設	0	1	2	8	11	11	47	124	75	279
転院	10	1	8	28	64	145	411	527	239	1,433
死亡	1	0	0	1	3	31	49	89	40	214
合計	12	8	21	49	107	265	627	844	384	2,317

※退院後の療養先について

自宅への退院は「在宅」、介護老人保健施設や介護老人福祉施設などへの入所は「施設」、他の医療機関への転院は「転院」、退院調整中に死亡した場合は「死亡」としている

③依頼元診療科

診療科	件数	診療科	件数
内科	1,229	皮膚科	17
整形外科	386	救命救急科	13
脳神経外科	314	心臓外科	11
透析科	117	小児科	9
外科	113	婦人科	9
泌尿器科	71	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	8
形成外科	19	歯科・歯科口腔外科	1
		総計	2,317

④地域連携バス使用件数

千葉県脳卒中地域連携バス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年	13	13	17	16	21	20	14	24	17	16	7	13	191
2022年	15	12	13	9	7	12	9	12	15	13	12	13	142
2023年	8	17	13	9	11	6	16	13	23	15	8	14	153

大腿骨近位部骨折地域連携バス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年	—	—	0	4	2	7	3	1	5	3	0	3	28
2022年	1	2	2	5	3	5	6	3	11	14	3	7	62
2023年	9	6	7	7	6	8	6	3	5	4	6	9	76

⑤調整先

(1) 医療機関 1,433 件

病院	住所	件数
イムス佐原リハビリテーション病院	香取市	221
九十九里ホーム病院	匝瑳市	156
たむら記念病院	銚子市	99
成田リハビリテーション病院	成田市	66
銚子市立病院	銚子市	65
匝瑳市民病院	匝瑳市	59
栗源病院	香取市	55
香取おみがわ医療センター	香取市	47
本多病院	香取市	47
多古中央病院	多古町	44
東庄病院	東庄町	43
島田総合病院	銚子市	40
東陽病院	横芝光町	38
渡辺病院	神栖市	37
田辺病院	旭市	31
兒玉病院	銚子市	26
長谷川病院	八街市	23
宮本病院	稲敷市	22
京友会病院	旭市	21
さんむ医療センター	山武市	21
県立佐原病院	香取市	18
九十九里病院	九十九里町	18
神栖済生会病院	神栖市	17
白十字総合病院	神栖市	16
鹿島病院	鹿嶋市	15
内田病院	銚子市	12
海上療養所	旭市	11
飯倉医院	旭市	10
浅井病院	東金市	8
千葉しすい病院	酒々井町	8
藤田病院	匝瑳市	7
大栄病院	成田市	7
東千葉メディカルセンター	東金市	7
前田病院	鹿嶋市	6
千葉県こども病院	千葉市	6
小山記念病院	鹿嶋市	6
鹿島神宮前病院	鹿嶋市	6
新八街総合病院	八街市	5
大網病院	大網白里市	5
国際医療福祉大学成田病院	成田市	5
山野病院	香取市	4
季美の森リハビリテーション病院	大網白里市	4
千葉リハビリテーションセンター	千葉市	4
三橋明生病院	千葉市	4
千葉大学医学部附属病院	千葉市	4
高根病院	芝山町	3
成田病院	成田市	3
成田富里徳洲会病院	富里市	2

病院	住所	件数
日本医科大学千葉北総病院	印西市	2
菅原病院	茂原市	2
令和リハビリテーション病院	千葉市	2
千葉・柏リハビリテーション病院	柏市	2
成田赤十字病院	成田市	1
佐倉厚生園病院	佐倉市	1
山之内病院	茂原市	1
茂原中央病院	茂原市	1
千葉みなとりリハビリテーション病院	千葉市	1
千葉県がんセンター	千葉市	1
海浜病院	千葉市	1
幸有会記念病院	千葉市	1
三愛記念病院	千葉市	1
新八千代病院	八千代市	1
谷津保健病院	習志野市	1
船橋市立リハビリテーション病院	船橋市	1
行徳総合病院	市川市	1
柏厚生総合病院	柏市	1
松戸リハビリテーション病院	松戸市	1
浦安中央病院	浦安市	1
亀田リハビリテーション病院	鴨川市	1
清仁会病院	神栖市	1
筑波大学付属病院	つくば市	1
筑波病院	つくば市	1
町田市民病院	東京都	1
帝京大学医学部附属病院	東京都	1
東京医科歯科大学病院	東京都	1
東京大学医学部付属病院	東京都	1
赤羽リハビリテーション病院	東京都	1
順天堂東京江東高齢者医療センター	東京都	1
春山記念病院	東京都	1
国立がん研究センター中央病院	東京都	1
武蔵野陽和会病院	東京都	1
新中川病院	神奈川県	1
横浜鶴見リハビリテーション病院	神奈川県	1
横浜田園都市病院	神奈川県	1
関東労災病院	神奈川県	1
馬嶋病院	神奈川県	1
淵野辺総合病院	神奈川県	1
TMG あさか医療センター	埼玉県	1
埼玉医科大学病院	埼玉県	1
川越リハビリテーション病院	埼玉県	1
川口きゅうばら病院	埼玉県	1
白岡中央総合病院	埼玉県	1
南部厚生病院	埼玉県	1
あづま脳神経外科病院	福島県	1
岡山ひだまりの里病院	岡山県	1
合計		1,433

(2) 施設 279 件

病院	住所	件数
介護老人保健施設シルバークアセンター	旭市	82
サービス付高齢者住宅ふるさとホーム千葉旭	旭市	8
特別養護老人ホーム東風荘	旭市	7
障害者支援施設聖マリア園	旭市	7
地域密着型介護老人福祉施設やすらぎ園きらめき	旭市	6
特別養護老人ホームやすらぎ園	旭市	5
特別養護老人ホーム松籟の丘	銚子市	5
介護老人保健施設深深	東庄町	5
グループホームナザレの家あさひ(共同生活援助事業)	旭市	4
特別養護老人ホーム第二やすらぎ園	旭市	4
介護老人保健施設そさぬくもりの郷	匝瑳市	4
グループホーム銀河	銚子市	4
特別養護老人ホーム水都苑	香取市	4
特別養護老人ホーム三愛	横芝光町	4
恵天堂特別養護老人ホーム	旭市	3
介護老人保健施設すこやかリハビリケアセンター	旭市	3
障害者支援施設聖家族園	旭市	3
グループホーム天鼓	匝瑳市	3
特別養護老人ホーム花園	匝瑳市	3
特別養護老人ホーム太陽の家	匝瑳市	3
九十九里ホーム飯倉駅前特別養護老人ホームシオン	匝瑳市	3
介護老人保健施設とよさと	銚子市	3
特別養護老人ホームささがわ	東庄町	3
多古特別養護老人ホーム	多古町	3
九十九里ホーム山田特別養護老人ホーム	香取市	3
特別養護老人ホーム横芝光	横芝光町	3
養護老人ホーム光楽園	横芝光町	3
特別養護老人ホーム芝山苑	芝山町	3
介護老人保健施設日向の里	山武市	3
特別養護老人ホーム松里館	旭市	2
医療型障害児入所施設聖母療育園	旭市	2
障害者支援施設聖マゲレットホーム	匝瑳市	2
障害者支援施設のさか学園	匝瑳市	2
特別養護老人ホーム松丘園	銚子市	2
サービス付高齢者住宅ハートケアホームなごやか	銚子市	2
住宅型有料老人ホーム神代の森	東庄町	2
介護老人保健施設夢プラスワン	香取市	2
グループホームおみがわ憩	香取市	2
有料老人ホームエクセルシオール佐原	香取市	2
有料老人ホームエクセルシオール山武	山武市	2
特別養護老人ホーム成島苑	山武市	2
住宅型有料老人ホームグループリビングあや	山武市	2
救護施設房総平和園	大網白里市	2
介護老人保健施設葵の園・佐倉	佐倉市	2
介護老人保健施設葵の園・神栖	神栖市	2
特別養護老人ホームマリソピア神栖	神栖市	2
救護施設鹿島更生園援護寮	鹿嶋市	2
NPO 法人ふくろう	旭市	1

病院	住所	件数
ケアハウスやすらぎ園	旭市	1
ケアビジョンホーム旭	旭市	1
特別養護老人ホーム白寿園	旭市	1
グループホーム第2希望の里	匝瑳市	1
ケアハウス希望の里	匝瑳市	1
障害者支援施設しおさいホーム	匝瑳市	1
特別養護老人ホーム瑞穂園	匝瑳市	1
養護老人ホーム瑞穂園	匝瑳市	1
特別養護老人ホームシオン銚子	銚子市	1
ケアハウス第2かすが苑	銚子市	1
サービス付き高齢者向け住宅マークガーデン犬吠埼	銚子市	1
グループホームやわら	銚子市	1
小規模多機能施設やわら	銚子市	1
介護老人保健施設なごさ	銚子市	1
特別養護老人ホーム靄靄	東庄町	1
グループホーム日下部ホーム	香取市	1
グループホームメイプル	香取市	1
サービス付高齢者住宅いぶきの郷	香取市	1
特別養護老人ホームかどりの郷福楽園	香取市	1
特別養護老人ホームじょうもんの郷	香取市	1
介護老人保健施設おおくすの郷	香取市	1
障害者支援施設大根旭出福祉園	香取市	1
救護施設風の郷厚生園	香取市	1
住宅型有料老人ホームシニアハウス光和	横芝光町	1
特別養護老人ホーム吉祥苑	横芝光町	1
特別養護老人ホーム第二松丘園	横芝光町	1
グループホームえんじゅホーム八田	山武市	1
介護老人保健施設松尾リハビリ苑	山武市	1
グループホームゆうなぎ九十九里	九十九里町	1
介護老人保健施設エスポワール成田	成田市	1
住宅型有料老人ホームグリーンアップル	東金市	1
住宅型有料老人ホームボブハウス	東金市	1
特別養護老人ホーム芙蓉荘	東金市	1
特別養護老人ホーム福福の里	大網白里市	1
老人保健施設つくも苑	茂原市	1
介護老人保健施設フェルマータ船橋	船橋市	1
介護付有料老人ホームプリズイン野田	野田市	1
有料老人ホームアンダンテ神栖	神栖市	1
介護老人保健施設シオン	神栖市	1
ケアハウスシャロン	神栖市	1
障害者支援施設神栖啓愛園	神栖市	1
特別養護老人ホームしおさい苑	神栖市	1
ケアハウス鹿島の杜	鹿嶋市	1
介護老人保健施設いなしきの郷	稲敷市	1
特別養護老人ホーム福楽園	潮来市	1
ナーシングホームみなみしのざき	東京都	1
介護付きホームアズハイム東浦和	埼玉県	1
住宅型有料老人ホームみつばメゾン川口領家東棟	埼玉県	1
合計		279

⑥ CAREBOOK の利用状況 (2023 年 8 ~ 2024 年 3 月)

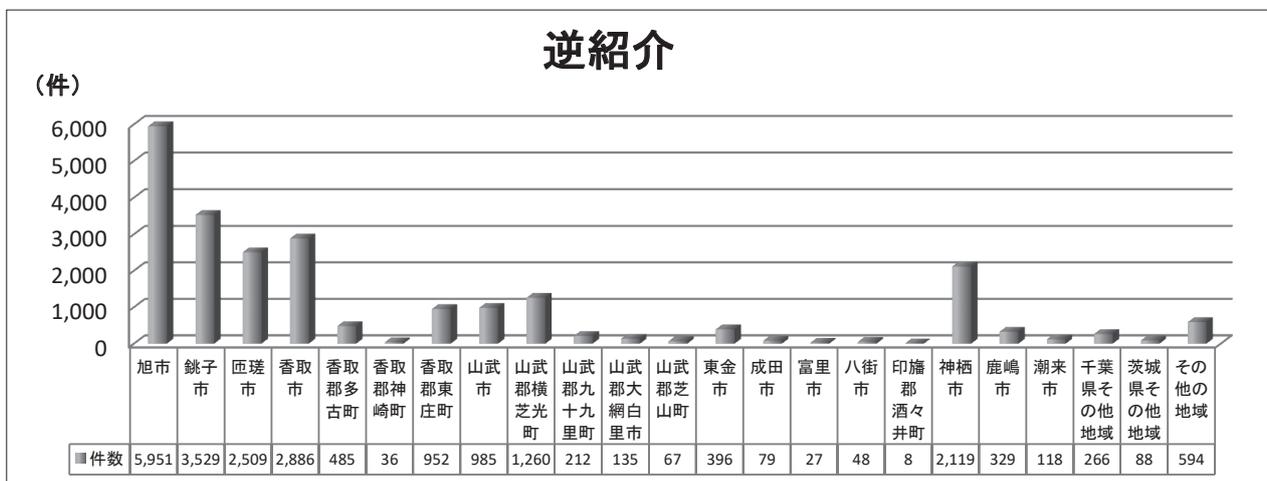
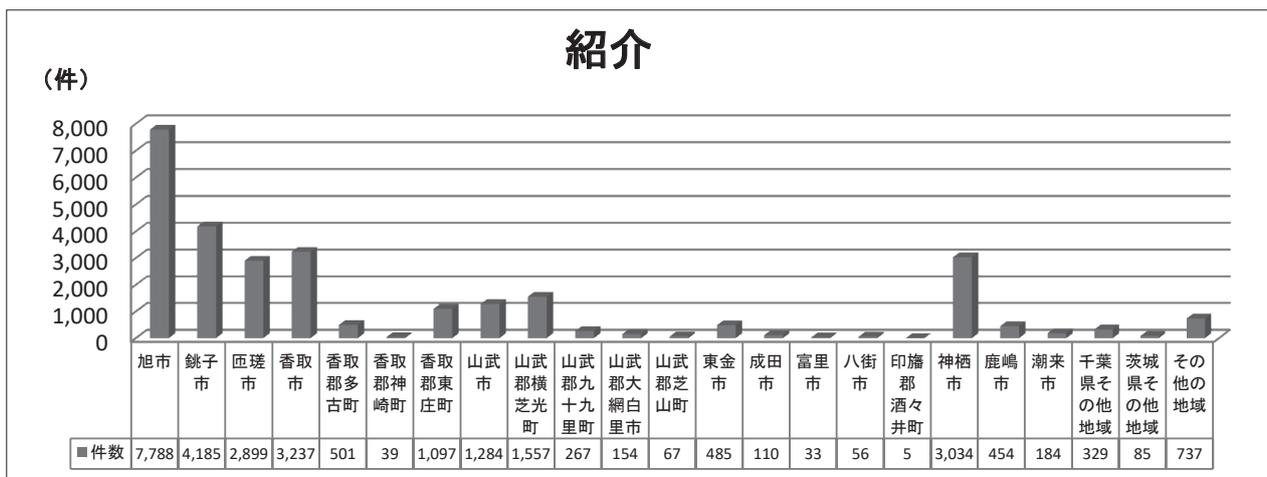
	案件数	打診数	チャット回数	転院確定件数
2023 年 8 月	94	146	531	26
2023 年 9 月	94	143	687	60
2023 年 10 月	107	177	899	92
2023 年 11 月	105	136	789	74
2023 年 12 月	105	144	834	86
2024 年 1 月	107	137	867	85
2024 年 2 月	104	172	1,077	76
2024 年 3 月	139	218	1,370	107
合計	855	1,273	7,054	606

## 連携係

連携係は地域医療機関との窓口を担い、紹介患者様の受診案内や転院受診調整等を行っています。また登録医制度や検査機器共同利用システムの活用により、地域の「かかりつけ医」の先生方と紹介・逆紹介の循環を円滑に推進し、地域完結型医療の構築に資するよう訪問活動を行っております。紹介情報管理においては紹介患者情報を集約して、当院にご紹介頂いた患者様の診療経過を速やかに報告し、当院受診後も患者様の円滑な受診に繋がるよう管理を行っております。

地域医療者（医師）懇談会については、4年ぶりに集合開催で実施し、当年度1回目は2023年7月25日（火）にハイブリッド開催、2回目は意見交換会もあわせて2024年2月22日（木）にそれぞれ開催し、当地域のみならず、成田、山武、鹿行方面の医師ほか多職種の方々にご参加頂きました。

2023年度 紹介・逆紹介患者数 居住地別件数



2023年度 紹介・逆紹介患者数 居住地別件数と比率

		都道府県	市町村	紹介 件数	全体に占 める比率	逆紹介 件数	全体に占 める比率	
診 療 圏	二 次 保 健 医 療 圏	千葉県	旭市	7,788	27.2%	5,951	25.8%	
		千葉県	銚子市	4,185	14.6%	3,529	15.3%	
		千葉県	匝瑳市	2,899	10.1%	2,509	10.9%	
		千葉県	香取市	3,237	11.3%	2,886	12.5%	
		千葉県	香取郡多古町	501	1.8%	485	2.1%	
		千葉県	香取郡神崎町	39	0.1%	36	0.2%	
		千葉県	香取郡東庄町	1,097	3.8%	952	4.1%	
	香取海匠二次保健医療圏 小計			19,746	69.0%	16,348	70.9%	
	山 武 地 区	千葉県	山武市	1,284	4.5%	985	4.3%	
		千葉県	山武郡横芝光町	1,557	5.4%	1,260	5.5%	
		千葉県	山武郡九十九里町	267	0.9%	212	0.9%	
		千葉県	山武郡大網白里市	154	0.5%	135	0.6%	
		千葉県	山武郡芝山町	67	0.2%	67	0.3%	
		千葉県	東金市	485	1.7%	396	1.7%	
		山武地区 小計			3,814	13.3%	3,055	13.2%
		千葉県	成田市	110	0.4%	79	0.3%	
		千葉県	富里市	33	0.1%	27	0.1%	
		千葉県	八街市	56	0.2%	48	0.2%	
		千葉県	印旛郡酒々井町	5	0.0%	8	0.0%	
		茨城県	神栖市	3,034	10.6%	2,119	9.2%	
		茨城県	鹿嶋市	454	1.6%	329	1.4%	
	茨城県	潮来市	184	0.6%	118	0.5%		
	千葉県 その他 地域				329	1.2%	266	1.2%
茨城県 その他 地域				85	0.3%	88	0.4%	
その他の地域				737	2.6%	594	2.6%	
合 計				28,587	100%	23,079	100%	

2023年度 登録医・カルナコネク 加入医療機関数 市町村別一覧表

市町村	医科		歯科		合計	
	登録医	カルナ	登録医	カルナ	登録医	カルナ
旭市	27	24	26	23	53	47
匝瑳市	18	18	8	7	26	25
銚子市	24	19	24	17	48	36
香取市	35	30	11	8	46	38
東庄町	2	2	1	1	3	3
多古町	2	2	0	0	2	2
神崎町	0	0	0	0	0	0
山武市	8	4	1	1	9	5
横芝光町	5	5	1	1	6	6
九十九里町	1	1	0	0	1	1
成田市	1	1	0	0	1	1
東金市	4	3	0	0	4	3
大網白里市	1	1	0	0	1	1
四街道市	1	0	0	0	1	0
神栖市	19	18	5	5	24	23
鹿嶋市	4	2	2	2	6	4
銚田市	1	1	0	0	1	1
合計	153	131	79	65	232	196

(2024年3月31日現在)

2023年度 訪問件数一覧表

訪問年月	件数
2023年4月	12
5月	14
6月	46
7月	4
8月	17
9月	6
10月	9
11月	23
12月	21
2024年1月	13
2月	20
3月	6
合計	191

(単位:件)

2023年度 共同利用実績

検査項目	件数
単純CT	696
造影CT	97
CT-CAG	23
歯科CT	7
単純MRI	1,200
造影MRI	43
一般撮影	12
マンモグラフィ	5
核医学	32
骨密度	26
腹部超音波	316
心臓超音波	156
甲状腺超音波	71
頸動脈超音波	17
ABI・PWV	2
ホルター心電図	14
合計	2,717

紹介患者係

2017年3月より「地域医療支援病院」となり二人主治医制のさらなる推進のため、かかりつけ医の紹介相談、大学病院への受診案内や予約手続き、セカンドオピニオンの相談等、他医療機関への紹介に関しての窓口として業務を行った。

また2019年度より、満床等により入院出来ない患者さんの他医療機関への調整業務も担当している。他医療機関のご協力により、前年度件数と同程度の調整を行った。かかりつけ医相談等の対応件数はほぼ横ばいで推移している。

その他、共同利用受付窓口や看護師対応による総合相談窓口としての役割や紹介状の確認、発送業務も行っており、発送件数は27,477件となった。

2023年度紹介患者センター来室件数 (単位: 件)

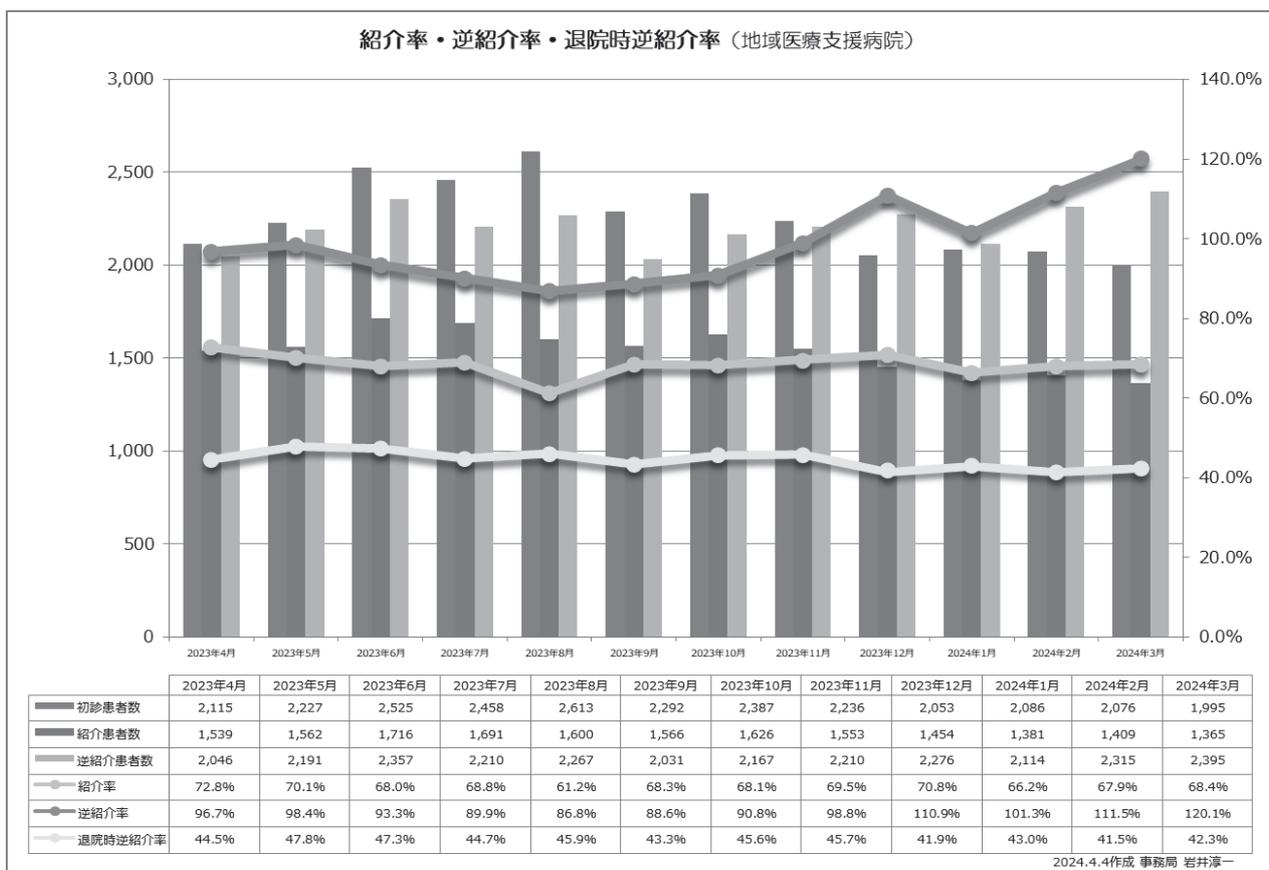
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
183	175	170	182	177	154	184	203	173	191	232	177	2,201

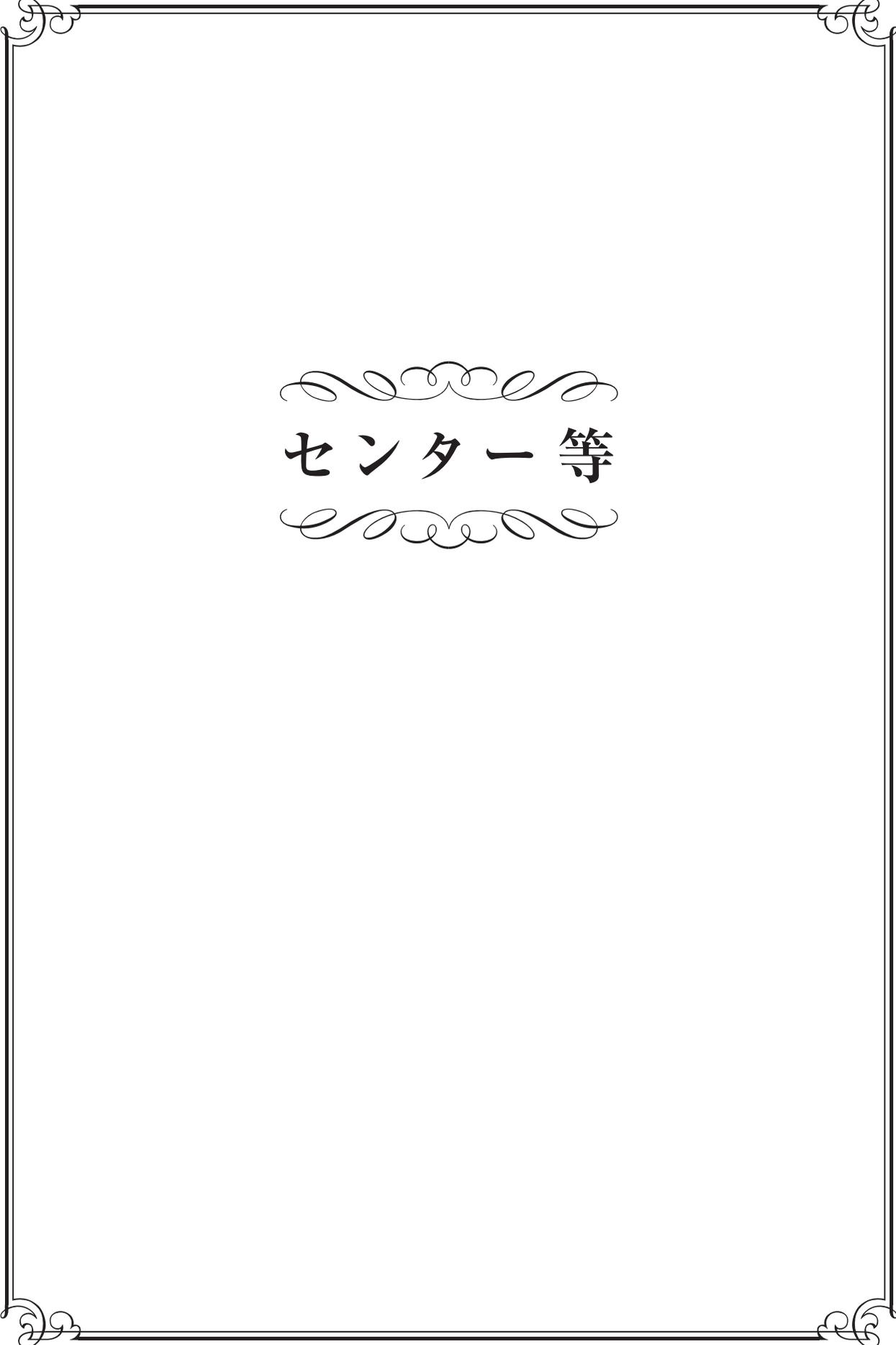
うち、2023年度かかりつけ医相談・受診予約等件数 (単位: 件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
71	69	68	85	79	71	79	86	79	89	118	80	974

2023年度紹介状発送件数 (単位: 件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2,290	2,241	2,330	2,297	2,295	2,268	2,320	2,195	2,402	2,066	2,345	2,428	27,477





センター等

## ●予防医学研究センター（2023年度）

### トピックス

#### 1. 利用者の推移

コロナ感染症の5類移行後、全国での受診控えは回復しつつある。当院では 一日ドックに関してはほぼコロナ前に戻ってきているが、二日ドックは人数的に低下している。二日ドックの魅力を高めるため、2023年度から【のうKNOW】を導入し早期の認知機能スクリーニング検査を実施した。これにより、年間146名の希望者があり検査をうけた。2022年途中からオプション検査として取り入れた Small dense LDL 検査、ビタミンD検査、それぞれ2023年度は509件、400件であった。それぞれ異常に対して介入方法を報告し受診者の疾患予防に還元できていると思われる。

#### 2. 人間ドックに対する社会のニーズ

人間ドック学会は、2024年4月から日本人間ドック・予防医療学会と改名し、疾患予防という観点を重要視することになった。すなわち悪性腫瘍などを早期に発見することはもとより、心疾患や腎疾患の診断だけではなく、生活習慣に対する保健指導により発症を予防するということの重要性が認識されるようになってきている。さらにこれらの予防には、近年様々な疾患の遺伝子診断が可能になってきて、家族での未病者への対応も必要になってきている。当院でも保健指導のさらなる充実へ向けての対応が必要である。

#### 3. 今後の課題

二日ドックの魅力を提供するために、社会情勢に合わせた遺伝子を含めた検査項目の検討、さらに受診者へ還元できる項目の提唱が重要である。さらに豊富なデータを解析し、それを地域のみならず日本や世界に発信するサイエンスの研究発表をさらに積み上げる必要がある。

人間ドック 月別受診者数

コース種別	性別	月												合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1日ドック	男性	88	87	115	104	121	95	102	108	102	97	97	110	1,226
	女性	82	97	93	79	84	79	86	80	88	79	71	73	991
	小計	170	184	208	183	205	174	188	188	190	176	168	183	2,217
2日ドック	男性	26	41	53	41	56	62	52	46	47	44	49	38	555
	女性	17	18	25	35	30	29	43	35	30	31	20	23	336
	小計	43	59	78	76	86	91	95	81	77	75	69	61	891
合計	男性	114	128	168	145	177	157	154	154	149	141	146	148	1,781
	女性	99	115	118	114	114	108	129	115	118	110	91	96	1,327
	合計	213	243	286	259	291	265	283	269	267	251	237	244	3,108

年代別受診者数

年代	1日ドック		2日ドック		計
	男性	女性	男性	女性	
40歳未満	30	41	8	6	85
40～49歳	139	96	50	14	299
50～59歳	211	218	78	47	554
60～69歳	404	352	164	128	1,048
70～79歳	395	257	208	121	981
80歳以上	47	27	47	20	141
小計	1,226	991	555	336	3,108
総計	2,217		891		3,108

契約団体数

自治体 国保・高齢者医療	25
共済組合	5
健保連契約・健保直接契約	27
企業・事業所	15
健診代行機関	8

脳ドックコース別受診者数

コース	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
オプションコース	21	33	42	42	39	51	41	25	38	39	35	38	444
単独脳ドックコース	26	16	26	25	32	21	18	14	14	11	17	15	235
計	47	49	68	67	71	72	59	39	52	50	52	53	679

定期健康診断受診者

受託企業数 22社

	男性	女性	計
受診者	88	85	173

人間ドックオプション検査件数

検査項目	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
HCV 抗体	21	24	32	35	27	25	19	16	18	31	14	17	279
HIV 抗体	2	8	12	8	8	3	4	10	2	9	7	7	80
子宮頸癌	5	6	8	8	18	14	9	12	31	31	11	13	166
子宮体癌	13	10	13	17	15	14	16	11	16	25	10	14	174
脳検診	21	33	42	42	39	51	41	25	38	39	35	38	444
肺癌検診	7	18	9	15	11	15	12	13	11	8	18	19	156
乳癌検診	14	9	16	19	20	18	24	16	22	22	16	16	212
腫瘍マーカー	127	108	155	157	156	139	133	108	118	145	117	140	1,603
甲状腺機能検査	24	23	36	28	27	27	28	23	13	26	25	34	314
骨密度検査	11	10	14	12	18	17	19	11	14	16	12	19	173
麻酔（内視鏡）	14	14	22	15	11	18	15	15	15	18	9	10	176
血液型	10	11	13	22	10	14	15	11	18	11	10	0	145
RF	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CRP	3	7	1	3	3	5	6	4	4	10	8	6	60
歯科検診	1	3	1	2	1	1	3	2	2	2	7	4	29
PET	22	12	19	22	19	17	13	5	9	22	8	16	184
内臓脂肪面積測定	21	27	38	27	31	27	30	31	25	26	25	38	346
ヘリコバクター・ピロリ IgG 抗体	38	39	33	28	37	34	24	32	32	36	36	32	401
血圧脈波検査	10	14	12	10	20	14	21	15	20	13	17	13	179
sdLDL-C	44	38	57	42	50	36	39	41	41	38	41	42	509
25(OH)VitaD	32	32	50	22	46	28	29	29	35	34	30	33	400
のう KNOW *	3	11	18	14	12	21	13	19	18	12	6	8	155
合計	443	457	601	548	579	538	513	449	502	574	462	519	6,185

\* 【のう KNOW】 は 4 月より開始

人間ドックで発見された癌症例

病名	症例数	男性	女性
胃癌	13	10	3
食道癌	1	1	0
膵臓癌	2	1	1
甲状腺癌	1	0	1
肺癌	1	1	0
膀胱癌	1	1	0
前立腺癌	10	10	0
肝臓癌	2	2	0
胆嚢癌	1	0	1
子宮体癌	2	0	2
乳癌	1	0	1
骨髄腫	1	1	0
悪性リンパ腫	2	2	0
合計	38	29	9

令和5年度（2023）人間ドック成績一覧

A；異常なし B；所見あるも心配なし C；軽度異常あり生活習慣改善を要す  
D1；要医療（E；現在治療中を含む） D2；要精密検査

ドック全受診者成績

項目	40歳未満					40～49歳					50～59歳					60～69歳				
	85					299					554					1,048				
判定	A+B	C	D1	D2	合計	A+B	C	D1	D2	合計	A+B	C	D1	D2	合計	A+B	C	D1	D2	合計
肥満	67	5	5	8	85	258	15	12	14	299	466	49	20	19	554	942	64	10	32	1,048
呼吸器疾患	79	0	1	5	85	281	0	2	16	299	500	0	6	48	554	913	0	19	114	1,046
高血圧	66	11	7	1	85	227	33	38	1	299	324	74	154	2	554	437	136	469	6	1,048
高コレステロール	79	4	0	2	85	281	15	0	3	299	499	47	0	8	554	968	66	0	14	1,048
高中性脂肪	83	2	0	0	85	285	11	0	3	299	542	9	0	3	554	1,030	15	0	3	1,048
高尿酸	72	5	0	8	85	265	24	0	10	299	477	48	0	29	554	911	83	0	54	1,048
心電図異常	70	6	0	4	80	261	18	1	14	294	463	44	2	28	537	845	108	7	63	1,023
食道疾患	74	7	0	0	81	268	23	0	4	295	503	37	2	2	544	911	116	6	8	1,041
胃疾患	63	17	0	2	82	210	81	0	10	301	342	196	1	32	571	432	586	4	89	1,111
十二指腸疾患	77	3	1	2	83	280	12	0	0	292	528	12	1	2	543	979	51	0	6	1,036
胆石・胆のうポリープ	55	24	0	2	81	179	105	0	2	286	309	214	1	3	527	553	440	0	11	1,004
肝機能異常（脂肪肝含）	43	31	0	9	83	150	129	0	12	291	261	248	0	30	539	526	460	0	39	1,025
糖尿病	65	15	2	3	85	168	112	11	8	299	257	211	56	30	554	347	427	166	108	1,048
血液疾患	80	3	0	2	85	266	15	10	8	299	507	28	9	10	554	949	71	7	21	1,048
便潜血	75	0	0	9	84	274	0	2	21	297	503	0	4	43	550	952	0	10	81	1,043
前立腺疾患	13	0	0	0	13	77	0	0	0	77	203	0	0	3	206	399	0	0	23	422
婦人科	28	3	6	2	39	55	18	10	10	93	130	46	24	16	216	310	66	13	16	405
乳房疾患	4	0	0	2	6	13	1	0	0	14	47	0	1	2	50	125	5	1	2	133
眼科	62	0	0	22	84	218	0	2	77	297	394	4	4	147	549	643	11	7	378	1,039

項目	70～79歳					80歳以上					総計				
	981					141					3,108				
判定	A+B	C	D1	D2	合計	A+B	C	D1	D2	合計	A+B	C	D1	D2	合計
肥満	932	33	5	11	981	134	3	2	2	141	2,799	169	54	86	3,108
呼吸器疾患	758	1	36	185	980	93	0	10	38	141	2,624	1	74	406	3,105
高血圧	321	136	521	3	981	40	18	82	1	141	1,415	408	1,271	14	3,108
高コレステロール	924	50	0	7	981	137	3	0	1	141	2,888	185	0	35	3,108
高中性脂肪	974	7	0	0	981	140	1	0	0	141	3,054	45	0	9	3,108
高尿酸	867	69	0	45	981	123	15	0	3	141	2,715	244	0	149	3,108
心電図異常	719	137	28	81	965	85	30	3	22	140	2,443	343	41	212	3,039
食道疾患	848	110	3	19	980	130	8	1	1	140	2,734	301	12	34	3,081
胃疾患	250	692	6	96	1,044	26	112	0	13	151	1,323	1,684	11	242	3,260
十二指腸疾患	910	47	0	7	964	132	6	0	1	139	2,906	131	2	18	3,057
胆石・胆のうポリープ	514	419	1	8	942	69	65	0	2	136	1,679	1,267	2	28	2,976
肝機能異常（脂肪肝含）	574	374	0	22	970	101	33	0	5	139	1,655	1,275	0	117	3,047
糖尿病	254	416	202	109	981	21	78	26	16	141	1,112	1,259	463	274	3,108
血液疾患	879	78	2	22	981	122	10	0	9	141	2,803	205	28	72	3,108
便潜血	872	0	10	91	973	125	0	2	13	140	2,801	0	28	258	3,087
前立腺疾患	369	0	0	37	406	49	0	0	10	59	1,110	0	0	73	1,183
婦人科	264	44	6	5	319	25	4	0	1	30	812	181	59	50	1,102
乳房疾患	116	0	0	6	122	20	0	0	0	20	325	6	2	12	345
眼科	465	16	21	467	969	28	0	2	109	139	1,810	31	36	1,200	3,077

ドック男性（2日ドック）成績

年齢別	40歳未満				40～49歳				50～59歳				60～69歳				
受診者数	8				50				78				164				
項目	判定	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2
肥満		5	0	1	2	40	3	3	4	59	11	3	5	140	15	0	9
呼吸器疾患		7	0	0	1	48	0	0	2	69	0	0	9	136	0	4	23
高血圧		7	0	1	0	35	7	7	1	30	10	38	0	53	26	83	2
高コレステロール		8	0	0	0	47	3	0	0	72	5	0	1	153	8	0	3
高中性脂肪		8	0	0	0	44	4	0	2	76	1	0	1	161	3	0	0
高尿酸		7	1	0	0	43	5	0	2	73	3	0	2	155	8	0	1
心電図異常		6	1	0	1	40	5	1	4	65	9	0	4	120	30	2	11
食道疾患		8	0	0	0	47	2	0	1	66	9	1	1	142	20	0	0
胃疾患		5	2	0	1	33	17	0	4	55	22	0	6	58	100	1	18
十二指腸疾患		8	0	0	0	44	6	0	0	75	1	1	0	151	10	0	3
胆石・胆のうポリープ		3	5	0	0	19	29	0	0	33	40	0	1	70	87	0	2
肝機能異常（脂肪肝含）		2	5	0	1	17	29	0	4	27	45	0	6	70	91	0	3
糖尿病		3	4	1	0	14	30	2	4	18	42	12	6	20	86	48	10
血液疾患		8	0	0	0	45	2	2	1	69	7	0	2	143	11	2	8
便潜血		7	0	0	0	44	0	0	6	70	0	1	7	144	0	3	17
前立腺疾患		2	0	0	0	22	0	0	0	68	0	0	1	127	0	0	9
婦人科																	
乳房疾患																	
眼科		8	0	0	0	39	0	0	11	59	1	0	18	93	2	1	65

年齢別	70～79歳				80歳以上				総計				
受診者数	208				47				555				
項目	判定	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2
肥満		195	9	3	1	46	1	0	0	485	39	10	21
呼吸器疾患		153	1	8	46	32	0	4	11	445	1	16	92
高血圧		53	30	123	2	13	3	31	0	191	76	283	5
高コレステロール		201	7	0	0	46	1	0	0	527	24	0	4
高中性脂肪		204	4	0	0	46	1	0	0	539	13	0	3
高尿酸		194	13	0	1	43	4	0	0	515	34	0	6
心電図異常		148	32	10	18	26	11	1	9	405	88	14	47
食道疾患		183	23	1	6	45	2	0	0	491	56	2	8
胃疾患		34	171	1	19	7	39	0	8	192	351	2	56
十二指腸疾患		196	11	0	1	46	1	0	0	520	29	1	4
胆石・胆のうポリープ		105	93	0	1	18	28	0	1	248	282	0	5
肝機能異常（脂肪肝含）		117	84	0	6	32	13	0	2	265	267	0	22
糖尿病		16	105	69	18	2	26	18	1	73	293	150	39
血液疾患		180	20	0	8	39	2	0	6	484	42	4	25
便潜血		186	0	1	19	43	0	1	2	494	0	6	51
前立腺疾患		152	0	0	13	31	0	0	3	402	0	0	26
婦人科													
乳房疾患													
眼科		91	1	6	107	12	0	1	34	302	4	8	235

ドック男性（1日ドック）成績

年齢別	40歳未満				40～49歳				50～59歳				60～69歳				
受診者数	30				139				211				404				
項目	判定	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2
肥満		23	3	2	2	118	8	7	6	172	23	10	6	366	25	5	8
呼吸器疾患		28	0	0	2	128	0	1	10	189	0	3	19	343	0	10	51
高血圧		21	4	5	0	101	11	27	0	102	36	72	1	133	52	217	2
高コレステロール		26	3	0	1	128	10	0	1	201	9	0	1	385	16	0	3
高中性脂肪		29	1	0	0	134	5	0	0	207	4	0	0	394	9	0	1
高尿酸		27	0	0	3	126	9	0	4	198	12	0	1	386	17	0	1
心電図異常		23	1	0	3	119	8	0	9	165	21	2	14	314	41	5	30
食道疾患		29	1	0	0	116	20	0	2	190	18	1	1	340	56	4	4
胃疾患		26	4	0	0	102	33	0	1	130	79	0	11	157	235	2	41
十二指腸疾患		27	3	0	1	131	5	0	0	201	8	0	1	372	26	0	3
胆石・胆のうポリープ		16	12	0	2	72	57	0	1	102	97	0	1	180	197	0	4
肝機能異常（脂肪肝含）		12	14	0	4	63	68	0	2	86	105	0	14	187	195	0	11
糖尿病		24	5	0	1	72	57	7	3	86	83	26	16	138	146	65	55
血液疾患		30	0	0	0	136	2	1	0	198	11	1	1	360	35	4	5
便潜血		26	0	0	4	129	0	1	9	190	0	1	20	371	0	2	27
前立腺疾患		11	0	0	0	55	0	0	0	135	0	0	2	272	0	0	14
婦人科																	
乳房疾患																	
眼科		25	0	0	5	99	0	1	39	137	2	2	68	245	4	4	149

年齢別	70～79歳				80歳以上				総計				
受診者数	395				47				1,226				
項目	判定	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2
肥満		381	9	2	3	45	0	0	2	1,105	68	26	27
呼吸器疾患		278	0	16	100	24	0	3	20	990	0	33	202
高血圧		123	51	221	0	13	6	27	1	493	160	569	4
高コレステロール		379	15	0	1	45	1	0	1	1,164	54	0	8
高中性脂肪		393	2	0	0	47	0	0	0	1,204	21	0	1
高尿酸		383	12	0	0	43	4	0	0	1,163	54	0	9
心電図異常		278	60	14	32	26	11	2	7	925	142	23	95
食道疾患		340	46	0	6	42	4	1	1	1,057	145	6	14
胃疾患		94	279	5	41	7	40	0	2	516	670	7	96
十二指腸疾患		356	28	0	5	42	4	0	0	1,129	74	0	10
胆石・胆のうポリープ		175	195	0	2	20	23	0	0	565	581	0	10
肝機能異常（脂肪肝含）		220	163	0	7	34	10	0	1	602	555	0	39
糖尿病		116	153	80	46	11	23	5	8	447	467	183	129
血液疾患		334	48	1	12	37	7	0	3	1,095	103	7	21
便潜血		347	0	6	37	41	0	0	6	1,104	0	10	103
前立腺疾患		217	0	0	24	18	0	0	7	708	0	0	47
婦人科													
乳房疾患													
眼科		188	4	10	187	10	0	0	35	704	10	17	483

ドック女性（2日ドック）成績

年齢別	40歳未満				40～49歳				50～59歳				60～69歳				
受診者数	6				14				47				128				
項目	判定	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2
肥満		4	1	0	1	13	0	0	1	41	3	2	1	115	6	2	5
呼吸器疾患		6	0	0	0	14	0	0	0	36	0	1	10	112	0	4	12
高血圧		5	1	0	0	11	3	0	0	29	6	12	0	60	18	49	1
高コレステロール		4	1	0	1	12	1	0	1	43	4	0	0	114	11	0	3
高中性脂肪		6	0	0	0	13	1	0	0	45	1	0	1	126	1	0	1
高尿酸		4	1	0	1	12	1	0	1	32	9	0	6	96	20	0	12
心電図異常		6	0	0	0	14	0	0	0	41	5	0	1	109	12	0	7
食道疾患		6	0	0	0	14	0	0	0	46	1	0	0	112	11	2	1
胃疾患		6	0	0	0	9	5	0	3	25	20	0	4	57	69	0	8
十二指腸疾患		6	0	0	0	14	0	0	0	45	2	0	0	122	2	0	0
胆石・胆のうポリープ		3	2	0	0	10	4	0	0	30	14	0	1	76	48	0	2
肝機能異常（脂肪肝含）		1	3	0	2	11	3	0	0	21	25	0	1	77	46	0	5
糖尿病		2	2	1	1	6	7	0	1	11	29	7	0	17	70	29	12
血液疾患		5	0	0	1	7	4	1	2	42	1	1	3	113	10	0	5
便潜血		6	0	0	0	12	0	1	1	44	0	0	3	114	0	2	12
前立腺疾患																	
婦人科		3	0	1	1	6	1	2	4	26	6	5	1	88	20	2	6
乳房疾患		4	0	0	2	13	1	0	0	43	0	1	2	120	5	1	2
眼科		3	0	0	2	11	0	0	3	35	0	0	11	86	2	0	40

年齢別	70～79歳				80歳以上				総計				
受診者数	121				20				336				
項目	判定	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2
肥満		112	7	0	2	19	1	0	0	304	18	4	10
呼吸器疾患		105	0	7	9	17	0	1	2	290	0	13	33
高血圧		51	16	54	0	6	1	13	0	162	45	128	1
高コレステロール		111	8	0	2	20	0	0	0	304	25	0	7
高中性脂肪		121	0	0	0	20	0	0	0	331	3	0	2
高尿酸		94	12	0	15	13	4	0	3	251	47	0	38
心電図異常		94	15	1	11	15	3	0	2	279	35	1	21
食道疾患		104	13	1	3	18	1	0	0	300	26	3	4
胃疾患		42	76	0	10	5	14	0	2	144	184	0	27
十二指腸疾患		116	2	0	0	18	1	0	1	321	7	0	1
胆石・胆のうポリープ		79	41	0	0	14	5	0	1	212	114	0	4
肝機能異常（脂肪肝含）		71	48	0	2	17	3	0	0	198	128	0	10
糖尿病		13	68	32	8	3	13	1	3	52	189	70	25
血液疾患		118	1	0	2	19	1	0	0	304	17	2	13
便潜血		109	0	0	12	17	0	0	3	302	0	3	31
前立腺疾患													
婦人科		77	23	2	2	10	2	0	1	210	52	12	15
乳房疾患		113	0	0	5	20	0	0	0	313	6	2	11
眼科		67	2	0	52	2	0	1	17	204	4	1	125

ドック女性（1日ドック）成績

年齢別	40歳未満				40～49歳				50～59歳				60～69歳				
受診者数	41				96				218				352				
項目	判定	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2
肥満		35	1	2	3	87	4	2	3	194	12	5	7	321	18	3	10
呼吸器疾患		38	0	1	2	91	0	1	4	206	0	2	10	322	0	1	28
高血圧		33	6	1	1	80	12	4	0	163	22	32	1	191	40	120	1
高コレステロール		41	0	0	0	94	1	0	1	183	29	0	6	316	31	0	5
高中性脂肪		40	1	0	0	94	1	0	1	214	3	0	1	349	2	0	1
高尿酸		34	3	0	4	84	9	0	3	174	24	0	20	274	38	0	40
心電図異常		35	4	0	0	88	5	0	1	192	9	0	9	302	25	0	15
食道疾患		31	6	0	0	91	1	0	1	201	9	0	0	317	29	0	3
胃疾患		26	11	0	1	66	26	0	2	132	75	1	11	160	182	1	22
十二指腸疾患		36	0	1	1	91	1	0	0	207	1	0	1	334	13	0	0
胆石・胆のうポリープ		33	5	0	0	78	15	0	1	144	63	1	0	227	108	0	3
肝機能異常（脂肪肝含）		28	9	0	2	59	29	0	6	127	73	0	9	192	128	0	20
糖尿病		36	4	0	1	76	18	2	0	142	57	11	8	172	125	24	31
血液疾患		37	3	0	1	78	7	6	5	198	9	7	4	333	15	1	3
便潜血		36	0	0	5	89	0	0	5	199	0	2	13	323	0	3	25
前立腺疾患																	
婦人科		25	3	5	1	49	17	8	6	104	40	19	15	222	46	11	10
乳房疾患		0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	5	0	0	0
眼科		26	0	0	15	69	0	1	24	163	1	2	50	219	3	2	124

年齢別	70～79歳				80歳以上				総計				
受診者数	257				27				991				
項目	判定	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2	A+B	C	D1(E)	D2
肥満		244	8	0	5	24	1	2	0	905	44	14	28
呼吸器疾患		222	0	5	30	20	0	2	5	899	0	12	79
高血圧		94	39	123	1	8	8	11	0	569	127	291	4
高コレステロール		233	20	0	4	26	1	0	0	893	82	0	16
高中性脂肪		256	1	0	0	27	0	0	0	980	8	0	3
高尿酸		196	32	0	29	24	3	0	0	786	109	0	96
心電図異常		199	30	3	20	18	5	0	4	834	78	3	49
食道疾患		221	28	1	4	25	1	0	0	886	74	1	8
胃疾患		80	166	0	26	7	19	0	1	471	479	2	63
十二指腸疾患		242	6	0	1	26	0	0	0	936	21	1	3
胆石・胆のうポリープ		155	90	1	5	17	9	0	0	654	290	2	9
肝機能異常（脂肪肝含）		166	79	0	7	18	7	0	2	590	325	0	46
糖尿病		109	90	21	37	5	16	2	4	540	310	60	81
血液疾患		247	9	1	0	27	0	0	0	920	43	15	13
便潜血		230	0	3	23	24	0	1	2	901	0	9	73
前立腺疾患													
婦人科		187	21	4	3	15	2	0	0	602	129	47	35
乳房疾患		3	0	0	1	0	0	0	0	12	0	0	1
眼科		119	9	5	121	4	0	0	23	600	13	10	357

全受診者の各項目における精検・治療指示の年代別比較

(人)

	39歳以下	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	全体
全受診者	85	299	554	1,048	981	141	3,108
肥満	13	26	39	42	16	4	140
高血圧	8	39	156	475	524	83	1,285
脂質異常	2	6	11	17	7	1	44
糖尿病	5	19	86	284	311	42	747
心電図異常	4	15	30	70	109	25	253
便潜血	9	23	46	91	101	15	285
内視鏡検査	5	14	40	115	132	16	322
超音波検査	11	14	34	50	31	7	147

男性受診者の各項目における精検・治療指示の年代別比較

(人)

	39歳以下	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	全体
男性受診者	38	189	289	568	603	94	1,781
肥満	7	20	24	22	9	2	84
高血圧	6	35	111	304	346	59	861
脂質異常	1	3	3	7	1	1	16
糖尿病	2	16	60	188	213	32	511
心電図異常	4	14	20	48	74	19	179
便潜血	4	16	29	49	63	9	170
内視鏡検査	2	8	23	77	87	12	209
超音波検査	7	7	22	20	16	4	76
前立腺 (PSA)	0	0	3	23	37	10	73

女性受診者の各項目における精検・治療指示の年代別比較

(人)

	39歳以下	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	全体
女性受診者	47	110	265	480	378	47	1,327
肥満	6	6	15	20	7	2	56
高血圧	2	4	45	171	178	24	424
脂質異常	1	3	8	10	6	0	28
糖尿病	3	3	26	96	98	10	236
心電図異常	0	1	10	22	35	6	74
便潜血	5	6	18	42	38	6	115
内視鏡検査	3	6	17	38	45	4	113
超音波検査	4	7	12	30	15	3	71
婦人科	8	20	40	29	11	1	109
乳房疾患	2	0	3	3	6	0	14

## ●入院・手術サポートセンター（2023年度）

2023年度のトピックス

QC活動に取り組みました。

テーマは「入院書類説明介入率の向上」です

### 【入退院部門】

今年度、PFMセンターでは予定入院患者さんのセンター介入率向上を目的に、QC活動に取り組みました。まず、外来に関わる医師、看護師、事務の方々にアンケート調査をさせていただき、現状把握を行いました。入院が決定した患者さんに入院書類説明の予約を入れていますか?の問いに、43%がいいえでした。予約方法を知っていますか?の問いには36%がいいえでした。このことから、まずは入院前ケアの重要性と予約方法を知ってもらおうと、看護師の外来会議と医事課事務の会議で診療報酬加算について、業務内容と予約方法について説明をさせていただきました。そして、10月から予約枠を増やし、多くの患者さんに対応できるよう体制を整えてきました。しかし、介入率は上がり、目標達成には至りませんでした。国が求めている入院前ケアの充実という観点からも今後、より多くの患者さんにPFMセンターを経由していただき、安心安全な治療、入院生活、そしてスムーズな退院に向け関わっていきたいと考えております。

また、QCの効果検証として、予約方法を知っているが62%から87%へと上昇したことは活動の成果と考え、今後介入率が上昇することを期待しています。

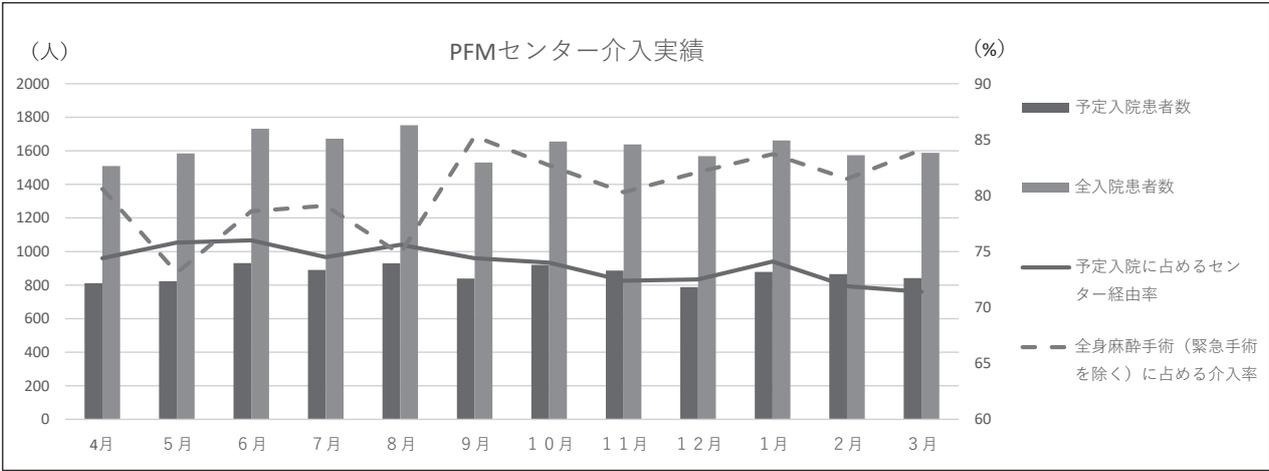
### 【周術期部門】

予定全身麻酔手術の患者さんに関しては介入率80%目標とし、平均80.5%と目標達成することができました。10月より予約枠を増やすため9月から準備期間とし、下半期は80%以上の患者さんに対応することができました。術前の患者さんと疾患パスを使用し時間をかけて説明することで、患者さんの安心感につながっていると感じています。

今後も、「すべては入院される患者さんのために」をモットーに患者さんに寄り添った入院前ケアの充実をはかっていきたいと思っています。

文責 茂木 鈴枝

# KPI







診療支援・企画情報局



## ●経営企画室（2023年度）

### 1. 第三期中期計画（2024年度～2027年度）および2024年度計画の策定

当院は地方独立行政法人病院であるため、地方独立行政法人法に基づき、当法人の設置者である旭市長の定める中期目標を達成するための計画を策定し、目標達成に向け取組むことが義務づけられている。2023年度は第二期中期計画最終年度となることから、2024年度から2027年度までの第三期中期目標を達成するための第三期中期計画を策定することが当室の最も重要な業務となった。

当計画は、旭市が設置する外部有識者で構成される評価委員会の意見を聴き、市長の認可を得た上で市議会の承認（議決）が必要であること、また、当院が4年間で実施する重要な事業や取組等を確実に計画に盛り込む必要があるため、計画策定は慎重に行う必要がある。なお、総務省から示された「公立病院経営強化ガイドライン」に沿った「公立病院経営強化プラン」も策定する必要があり、当該中期計画に併せて盛り込む方針とした。

計画の策定の具体的作業としては、はじめに医療業界や行政、大学関係者等の外部有識者から意見聴取するとともに、病院幹部および各科・各部署からも意見を募り、それらを整理したうえで骨子、素案を策定。これをベースとして病院幹部等で構成する中期計画策定会議において議論を重ね、計画案を策定した。この作業と並行して2023年11月から2024年2月の間に3回開催された評価委員会での意見を反映して計画をとりまとめ、最終的に3月の市議会での承認を得るに至ったものである。

今般策定した第三期中期計画は、2023年度に開院以来初の赤字決算を経験するという極めて厳しい経営状況の下での計画であり、経営基盤の立て直しを図り、持続可能な医療提供体制を確保するための計画としている。このため、従来の計画と同様、救急医療をはじめとした地域に必要な医療の確実な実施や高度医療、医療安全の推進等、基本的事項に加え、①広域基幹型高度急性期病院としての機能を最大限発揮できるよう、地域との連携・機能分化を促進すること、②Covid-19の影響による患者数の減少に加え人口減少も重なり、医療需要や疾病構造も変化していくことが見込まれているため、これらの外部環境の変化に適合する病院の機能・規模・体制等について検討、整備していく必要性があること、③労働人口の減、人材不足が深刻化しつつある中で人材確保と育成および「働き方改革」に確実に対応していくこと、④経常収支の黒字化を図ること等、今後4年間における重要課題を盛り込んで策定した。

なお、第三期中期計画に基づき、初年度の2024年度計画についても策定し、双方を併せて病院ホームページで公開している。

### 2. 2022年度業務実績の評価

2023年度の第一四半期では、前年度の業務実績のとりまとめを行っている。2022年度業務実績の評価については、2022年度計画の各目標に対して進捗状況と自己評価を取りまとめた。新型コロナウイルスによる患者数の減少が続き病院運営は厳しい状況が続いたが、年度計画の各項目の取組状況は概ね順調に進捗し、自己評価については、いずれも計画通りに進捗した「B」と評価され、高度医療や感染症医療等の項目においては「A」評価となった。

この内容について理事会、評価委員会等に説明を行ない2022年度実績の総合評価はB評価で旭市長に承認された。

### 3. 2023年度アクションプランに基づいたプロジェクトの推進と実施結果

2023年度のアクションプランは以下の7項目で構成されている。

- 1-1 働き方改革への対応
- 2-1 医療安全の推進
- 2-2 医療DXの推進による医療および経営の質向上
- 3-1 平均在院日数の短縮
- 3-2 病棟機能再編の検討
- 4-1 中長期的経営戦略の検討（第三期中期計画の策定）
- 4-2 地域医療構想に基づく機能分化・連携の更なる推進

以上のアクションプランの中で、当室が主体的に対応した取組および検討メンバーとして対応した取組は、「平均在院日数の短縮」、「病棟機能再編の検討」、「中長期的経営戦略の検討（第三期中期計画の策定）」、「地域医療構想に基づく機能分化・連携の更なる推進」の4点である。

「病棟機能再編の検討」では、産科病棟の利用方法の検討やHCUの新設等について看護局と協働で対応した。また「地域医療構想に基づく機能分化・連携の更なる推進」においては、匝瑳市民病院の移転新築計画策定に伴う病院機能・規模の見直しと当院との連携体制に関する検討について、千葉県、旭市、匝瑳市および匝瑳市民病院と当院を交えた協議会が設置され、1年間協議を重ねた。その結果、匝瑳市民病院は、今後の移転新築計画において一般病床の一部を地域包括ケア病床に転換することで当院からの回復期の転院患者の受入促進を目指すこととなった。

# ●医療情報室（2023年度）

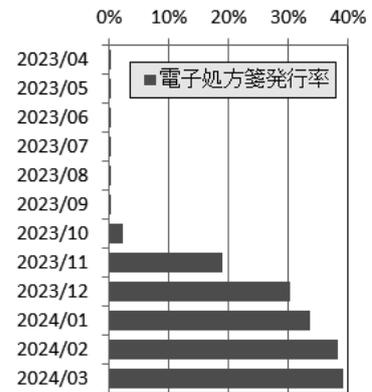
## 総評

2022年10月から始まった電子処方箋対応事業については、下期になって補填機能が順次稼働を迎えた事により、発行率が急上昇したことに加え、日本初案件としてのプレスリリースもあり、各省庁を含めた視察対応や講演が急激に増えた。当院ほどの規模で電子処方箋事業に本腰を入れている施設は無く、一時期全国の3枚のうちの1枚は旭中央病院の電子処方箋という状態に至り、存在感を示した。

もう一つ大きな対応として約10億円を投入してのインフラ基盤更新を2024年1月に実施したが、想定外のトラブルに見舞われ、診療側に多大な迷惑をおかけした。機器によっては従来の10倍以上の性能を発揮する物も含まれ、電子カルテなどの速度上昇の期待もあったが、装置ごとのバランス調整が難しい部分が露呈したこと、諸外国の製品に（日本製は殆ど存在しない）多くのバグがあり、且つ瑕疵を認めない傾向にあることから、粘り強い交渉と機能改善を繰り返し続けている状況にある。

今後の展開としては、院内のシステムは現状維持をキープしつつ、国が推し進める「カルテ共有化」「PHR事業」「クラウドデータ管理」といった対外的な取り組みへの参加が中心になることが見込まれ、より専門的な知識を持つ者と、そうでない者との間で業務可能範囲の差が拡がらないよう、コントロールしていきたいと考える。

日付	A		B	B÷A	C	B÷C	電子処方箋対応数	
	外来院内処方	外来院外処方	うち電子処方	電子処方箋発行率	全国電子処方	全国占有率	医療機関	調剤薬局
2023/04	2,072	20,897	7	0.03%				
2023/05	2,166	21,429	9	0.04%				
2023/06	2,046	22,526	8	0.04%				
2023/07	2,197	22,216	10	0.05%				
2023/08	2,297	23,751	12	0.05%	8,499	0.14%	559	5,729
2023/09	2,128	21,607	24	0.11%	8,675	0.28%	615	6,513
2023/10	2,296	22,820	522	2.29%	10,053	5.19%	685	7,466
2023/11	2,195	21,311	4,061	19.06%	14,348	28.30%	743	9,433
2023/12	2,129	23,215	7,021	30.24%	18,564	37.82%	833	10,435
2024/01	2,173	22,297	7,471	33.51%	19,585	38.15%	944	11,547
2024/02	2,146	21,234	8,144	38.35%	22,146	36.77%	1,067	13,294
2024/03	2,140	21,287	8,351	39.23%	26,244	31.82%	1,930	17,494



2023年12月5日

報道関係各位

株式会社アルメックス

**日本初\*再来受付機とオンライン資格確認対応顔認証付きカードリーダーが連携  
国保旭中央病院にて運用**

株式会社USEN-NEXT HOLDINGS（本社：東京都品川区、代表取締役社長 CEO：宇野 康秀）のグループ会社である株式会社アルメックス（本社：東京都品川区、代表取締役社長：坪井 将之、以下、当社）は、次世代型多機能受付機『Sma-pa TERMINAL（スマパターミナル）』とオンライン資格確認対応顔認証付きカードリーダー『マイナタッチ』の連携を、本日2023年12月5日（火）より全国の病院へ本格的に提供を開始します。

地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院（所在地：千葉県旭市）には本連携を先行導入し、運用を行っております。患者様の利便性向上および窓口スタッフ様の業務負担軽減に貢献し、病院DXの推進を支援してまいります。

\*自社調べ





地方独立行政法人  
**総合病院 国保旭中央病院**



Sma-pa  
**マイナタッチ**

<主な対応イベント>

- 2023.05 病理システム : 千葉がんセンター視察訪問
- 2023.05 病理システム : 名古屋大学医学部附属病院視察訪問
- 2023.05 経理課支援 : 総務人事経理 EXPO 参加
- 2023.06 経理課 : インボイス対応システム稼働開始 (Free)
- 2023.06 Interop/DSJ Toyko 参加
- 2023.06 電子処方箋・DX: CIS ユーザ会参加施設視察対応
- 2023.06 看護師向け iPhone 配布・運用開始
- 2023.07 本館 9 階ナースコール⇔ iPhone 間連携本稼働
- 2023.07 しおさいホールプロジェクタ設備更新 (天吊化)
- 2023.07 医療相談室 : CareBook 本稼働開始
- 2023.07 就業システム : 慈恵医科大学病院視察訪問
- 2023.07 ホスピタルショウ 参加
- 2023.08 HPKI カードによる電子カルテログイン対応開始
- 2023.09 オンライン資格確認機と自動受付機の連携開始 (日本初)
- 2023.10 電子処方箋確認管理機能・自動発行機能実装
- 2023.10 病院 70 周年式典 AV 担当
- 2023.11 マイナンバー受付: 総務省視察対応
- 2023.11 電子処方箋: 厚生労働省視察対応
- 2023.11 VMWareExplore2023 参加
- 2023.11 マイナンバー受付: デジタル庁視察対応
- 2023.11 湯島事務所: ネットワーク回線変更
- 2023.12 ALMEX 社: オンライン資格確認機と自動受付機の連携機能を一般向け販売開始を機に共同開発プレスリリース
- 2024.01 電子処方箋: 全自病モデル事業調査対応
- 2024.01 ネットワーク基盤/セキュリティ基盤/仮想基盤更新
- 2024.02 厚生労働省机上災害訓練に医療機関代表として参加
- 2024.02 採血準備システム: リプレース稼働開始
- 2024.03 電子処方箋: 岩手県視察対応
- 2024.03 電子処方箋: 厚生労働省視察対応
- 2024.03 1000 年カルテ事業参画要件定義実施

<個別案件>

- 2023.07 電子処方箋: 日本医療経営実践協会講演 (崎山)
- 2023.09 東京医科歯科大学: 遠隔画像診断学講義 (崎山)
- 2023.09 院内: 情報セキュリティ研修講演 (金谷)
- 2023.12 おみがわ医療センター: 個人情報保護講演 (崎山)
- 2024.01 土浦協同病院: 情報システムコンサル対応開始 (崎山)
- 2024.03 Youtube: 厚生労働省電子処方箋説明会出演 (崎山)
- 2024.03 東京都立病院機構: 電子カルテ導入技術審査 (崎山)

<スタッフ (2024.3. 現在) >

- 職員: 15 名 (医師 1 名、看護師 3 名、事務 11 名)
- 協力会社: 2 名 (インフラ監視・保守 ネットワンシステムズ)
- 4 名 (ヘルプデスク対応 エヌデー)
- 7 名 (24 時間常駐現場対応 日鉄テックスエンジ)

## ●診療支援室（2023年度）

### 【2023年度部署目標】

1. 働き方改革の推進（全員が有給休暇取得10日以上）
2. 働き方改革への支援（現状支援体制の維持）
3. 医療の質の維持向上（2週間以内サマリ完成率95%以上、診断書90%以上）
4. DX推進への協力（保険給付デジタル化の推進）

### 【目標に対する取り組み及び実績】

1. 定期的に有給休暇取得状況をモニタリングし、取得を促した。平均取得日数は17.7日であったが、10日以上の取得率は92%で目標達成できなかった。
2. 年度内に正規5名・嘱託1名が退職。業務体制の見直しや昨年度構築したチーム制による業務分担が機能し、業務に支障のないように対応したが、人財の確保が急務である。
3. サマリ96.7%、診断書94.5%で目標を達成した。
4. 保険給付デジタル化については、IBMのプロトタイプ作成が遅延したため、今年度の進捗なし。

### 【業務実績まとめ】

#### <退院サマリ>

- ・2週間以内完成率96.7%・サマリ作成補助率49.0%（9,725件）

#### <診断書等>

- ・2週間以内完成率94.3%・作成補助件数22,550件
- ・退院時逆紹介作成補助件数4,839件

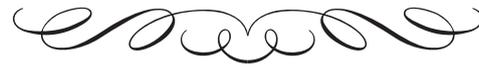
#### <内科外来患者数（内科外来診療支援）>

- ・171,516人





事 務 局



## ●総務人事課（2023年度）

### 【働き方改革】

2023年度の医師のICカード打刻率は、年度平均80.8%となり、昨年度より0.3%の微減となった。

2024年度から医師の勤怠管理システムの運用が開始され、打刻実績は重要な記録となるため、あらためて打刻意識の定着を図る。

医師の労働時間短縮計画について、医療機関勤務環境評価センターの評価に基づき、千葉県へ特例水準対象医療機関の指定申請をし、16の診療科でB水準、8の研修プログラムでC-1水準の指定を受けた。

次回指定申請までの3年間において、今回の評価の際の指摘事項である健康診断受診率の向上や、長時間の時間外労働時の面接指導、勤務間インターバルが確保できなかった際の代償休息の付与などの追加的健康確保措置に、重点的に取り組む。

### 【監査】

監事監査は決算監査及び業務監査（定例監査、特別監査）、会計監査人による監査は期末決算監査、期中監査が行われ、何れも適正な業務の遂行及びコンプライアンス遵守について指摘はなかった。

### 【公用車管理】

#### ・救急車運用

転院搬送 201 件、NICU 搬送 57 件（迎え 48 件、

転院 9 件）、ドクターカー出動 106 件、Dr ヘリ対応 28 件

#### ・車両購入

老朽化が進んだ車両 2 台の更新を行った。中古車両ではあるが高年式で程度の良い車両を購入した。今後も経年劣化の車両について、順次更新を図っていく。

#### ・公用車運用

公用車に関しては物損事故が 5 件ほどあった。いずれも軽度ではあったが、ちょっとした気のゆるみで起きてしまった事故と考える。その他については良好な運用が図れた。

### 【図書管理】

- ① 購入資料：単行書 /210 冊、学術雑誌 /74 誌、電子ジャーナル契約数 /6,523 誌
- ② 契約データベース：Clinical Key、Cochrane Library、DynaMed、医学中央雑誌、医書.jp、メディカルオンライン +eBooks、Medline Complete
- ③ 相互貸借：院外外注（院内所蔵分含む）/1,022 件、当院受け /779 件
- ④ 図書室利用実習：図書室資料の使い方・図書室の使い方 /4 回、医学中央雑誌検索講習 /2 回（個人講習を含まない）
- ⑤ COVID ジャーナル全 10 誌を中止、代わって RapidILL を導入

## ●経理課（2023年度）

### 1. 「人材の育成・強化」

慢性的な人員不足に加え、ベテラン職員の退職が控える中、当年度も「中長期的な視点に立った人材の育成」、「体制の強化」に重点を置き、若手職員（主任、主事クラス）の育成・強化に取り組んだ。課題の抽出、意識づけ、日々の指導、習得状況のヒアリング等を行い、当年度の目標としていたレベルに到達することができた。

### 2. 「業務の効率化」

少ない人員の中でもスムーズに業務運営を行うことができるよう、業務の効率化と明確化に注力。課内にとどまらず、他課との協議、調整も交えながら推進した。「インボイス制度」、「改正電子帳簿保存法」にも遅滞なく対応し、年間で 14 項目にわたる業務の効率化と明確化を実現した。

## ●医事課（2023年度）

### 【2023年度部署目標】

1. 持続可能な課内体制の構築及び勤務環境改善に向けた取り組みへの着手（適正な人員の確保）
2. 保留・返戻の年度末残高の縮減（年度末残高4億円以下）
3. 2024年度診療報酬改定への対応（情報収集及び適切な施設基準の取得）

### 【目標に対する取り組み及び実績】

1. 今まで管理されていなかった未消化代休を可視化する仕組みを構築。これにより個人毎の状況をリアルタイムで把握することが可能となった。休日出勤のルール化・日直免除等の対策を実施したが、削減には至っていない。

2. 保留・返戻レセプトの管理を徹底し残高削減に取り組んだ結果、年度末残高は3.6億で目標を達成した。
3. 6月の改定に向けてセミナー等に参加し、要件によって減算対象となる救急医療管理加算等に関して事前に対策を実施した。

### 【2023年度診療報酬請求額合計】

38,103,107千円（前年比102.09%）

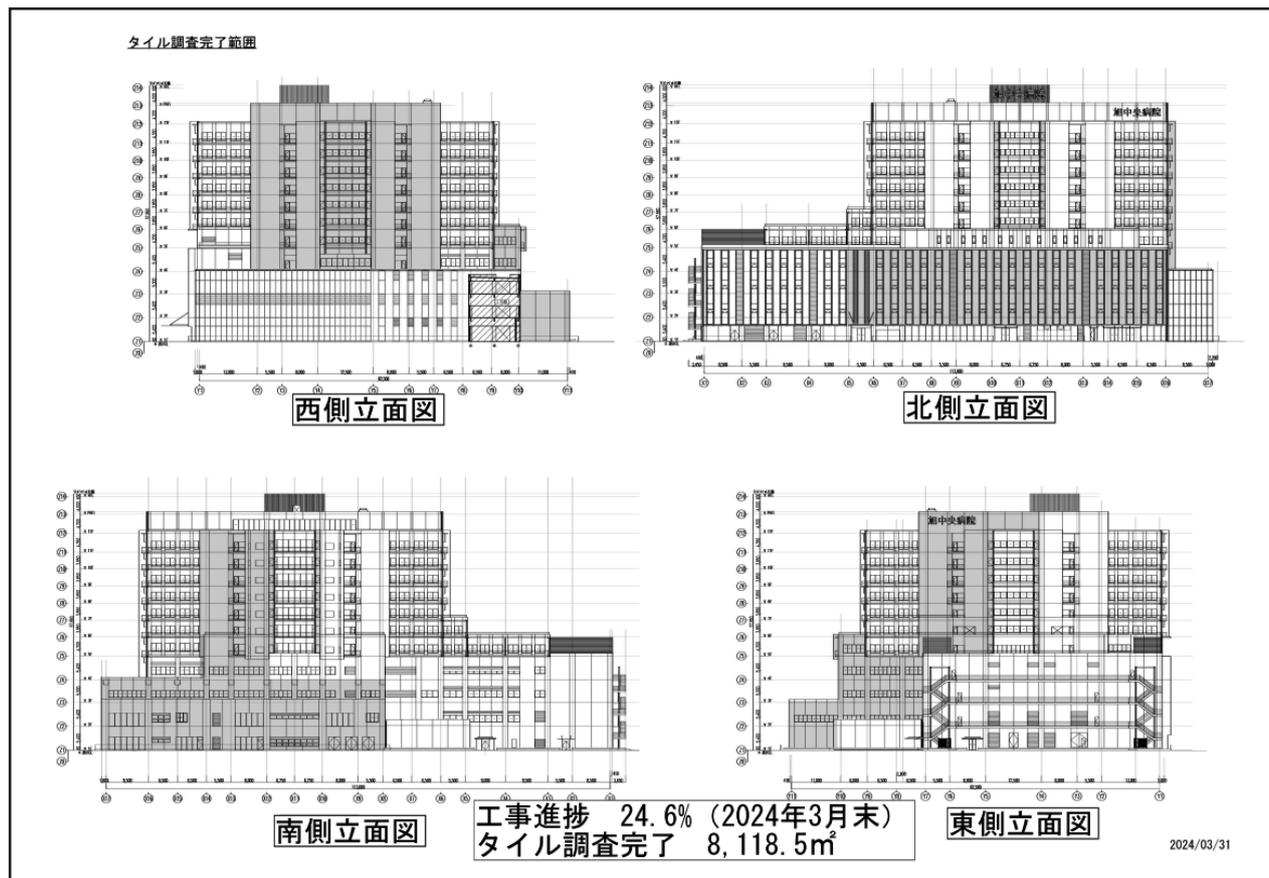
※詳細は「科別請求額前年比（2023年度）」参照

## ●施設課（2023年度）

【本館外壁修繕工事】（2026年3月工事完了予定）



タイル調査完了範囲（ピンク塗り部分 2023年3月末現在）



【2023年度・廃棄物処理量】

一般廃棄物	感染性廃棄物	廃プラスチック	廃油	廃酸	汚泥	その他	合計
615.49t	396.15t	27.36t	2.40t	12.10t	21.77t	3.10t	1,078.37t

ゴミの削減にご協力をお願いいたします。

【電気・重油・ガス使用量削減】

エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）において、エネルギー管理指定工場などは、「エネルギー消費原単位年平均1パーセント改善目標」とされています。

当院全体のエネルギーの使用に係わる原単位変化は、2013年度原油換算 9,011kl に対して 2023年度原油換算 7,365kl (-1,646kl) となっており、対 2013年度比 81.7%です。

空調・照明等を中心に、省エネルギー対策を実施した結果、大幅な削減を達成することが出来ました。

これは、当課のみならず病院職員の省エネへの意識が高まり、皆様のご協力の下達成出来たものと考えます。

今後も、節電等省エネにご協力をいただけますようお願いいたします。

内 訳	2013年度	2023年度	2013年度差
電 気	28,722 千 kwh	25,122 千 kwh	- 3,600 千 kwh
重 油	475kl	334kl	- 141kl
ガ ス	1,244 千 m <sup>3</sup>	706 千 m <sup>3</sup>	- 538 千 m <sup>3</sup>

※ 対象施設（エネルギー管理指定工場）

本館、1・2・3・4号館、PET棟、放射線治療棟、研修棟、食堂棟、老人保健施設、看護専門学校、飯岡診療所、污水处理場、東体育館

## ●契約課（2023年度）

### 1. 2023 年度の方針

2023 年度部署方針は、価格交渉の強化による病院運営への貢献と業務の効率化とし、材料費・経費等の削減の取り組みを継続することとした。

### 2. 価格交渉強化の取り組み

上記、部署方針を実現するため目標値を設定し、下記内容で削減に取り組んだ結果、一定の成果を出すことができた。

#### (1) 器具備品費・開発費の削減

見積もりを精査し必要性の有無、競合品の検討および実績を参考に交渉を行う。

特に重要（高額）案件について価格交渉の強化を図る。

#### (2) 委託費の削減

必要性の有無、複数年契約の活用など契約方法の見直しおよび実績を参考に交渉を行う。

#### (3) 診療材料費の削減

ベンチマークデータの活用、製品切り替えおよび高額医療材料（循環器・整形等領域）の価格交渉の強化を図り、購入額の削減を行う。

### 3. その他

世界情勢や為替の影響、エネルギー価格や物価の上昇などにより、医療機器、診療材料の価格高騰が生じている。また、人件費の高騰による委託費の上昇が発生している。このような状況下でも病院機能を低下させることがないように資材の調達や委託業務の円滑な契約を進めることとした。値上がりを続ける医療機器、診療材料などの価格を抑えるため価格交渉の強化に努めた。

## ●広報患者相談課（2023年度）

○スタッフ数 12 名

○ 2023 年度の方針と評価

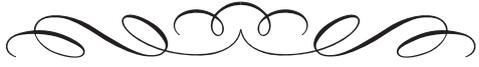
〈部署方針〉

- ① 開院 70 周年記念行事：開院 70 周年記念行事関連事業の成功に運営事務局として貢献する。
- ② 働き方改革の推進：時間外労働を事前申告と承認により徹底する。年次有給休暇取得予定表に準ずる。
- ③ 未収金の抑制：未収金発生から弁護士委託まで迅速に督促し、早期に回収する。入院：退院から 5 ヶ月後の徴収率 80%以上。外来：発生から 9 ヶ月後の徴収率 90%以上。
- ④ 中・長期的な視点に立った取り組みの推進：次期中期計画を踏まえて、病院運営に貢献できるよう業務に取り組む。

〈評価〉

- ① 記念式典は 574 名がお越しになり収容率 82.2%と盛況であり、滞りなく開催できた。
- ② 超勤 45 時間は超えず、また有給も 5 日以上取得している。
- ③ 徴収率の平均は入院 89.6%・外来 93.1%で目標を達成している。
- ④ 電子処方箋やマイナ保険証などの医療 DX の推進に積極的な情報発信を行った。また視察受け入れを調整している。





醫療安全管理推進室



## ●医療安全管理推進室（2023年度）

### □部門目標

2023年度の当室の目標は、「1.RRSシステム本稼働（①対象を病院全体に拡大②活動評価の視覚化）」「2.危機対応能力の向上（①事故対応に関連した研修の開催②事故発生時のシミュレーション開催）」「3.転倒転落対策の強化（①発生件数とレベルの推移を院内で共有②WGでの現状分析）」「4.適正な報告件数の維持及び Good Job! 報告の維持（①病床数×5.5以上（4,600件/年）②報告件数の20%以上（900件/年）」とした。

### □活動実績

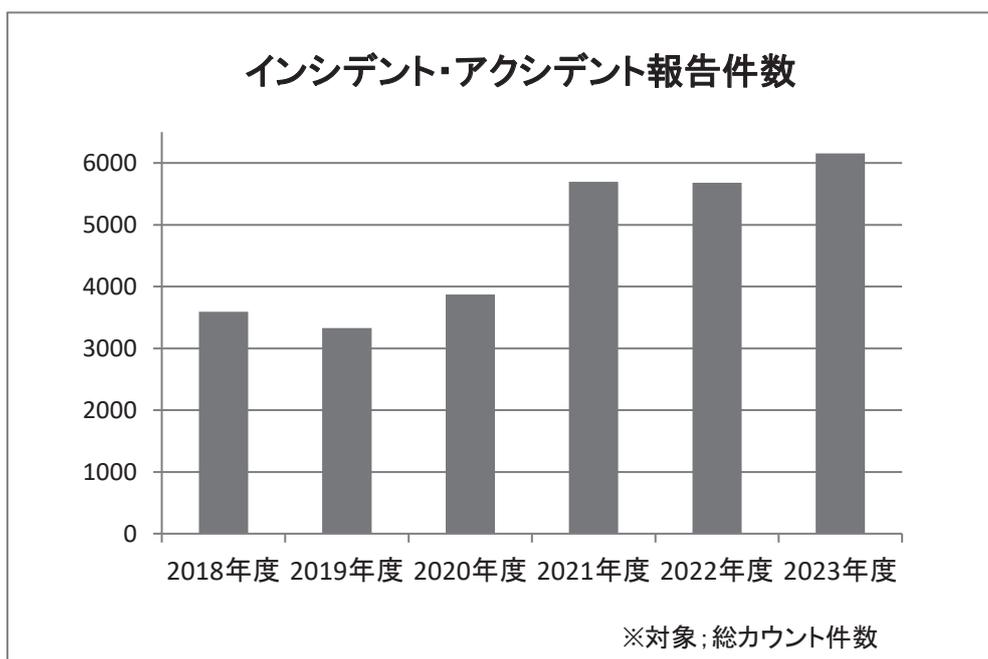
1. RRSシステム本稼働…対象病棟は緩和ケア / 小児 / 周産期を除く全ての病棟と透析センターへと拡大し体制の確立へ向けることができた。  
又、ICLS研修活動を推進し人材育成に努めている  
他、院内急変対応向上委員会を発足し、RRTの活動状況や体制、事例の振り返り等を行っている。
2. 危機対応能力の向上…千葉県東部地区地域連携医療安全担当者連絡会議で、医療事故発生時のメディア対応について検討会を開催し、外部講師による講義と参加者による意見交換を行った。

3. 転倒転落対策の強化…「転倒転落対策検討ワーキング」を発足した。メンバーは看護師・理学療法士で構成されており、ハイリスクな転倒・転落に限らずに全体として転倒転落の発生率をできるだけ低減させることを目標とし取り組んでいる。転倒転落の発生状況（件数・レベル推移）については医療安全研修会等を通じて院内で共有している。

4. ①適正な報告件数の維持…インシデント報告総数は6,154件で目標値（4,600件）を大きく上回り過去最高となった。診療局（131件）、看護局（5,312件）、薬剤局（187件）、診療技術局（449件）、診療支援・企画情報局（29件）、事務局（36件）、他（10件）で看護局が全体の86%を占めている。

② Good Job! 報告の維持については、「Good Job! ポイント制度」を継続し Good Job! 報告は1,691件（目標900件/年）で、積極的に報告をいただいている。その他、インシデントレポートから、個人やチームの気付きや行動により未然防止に繋がった良い事例を取り上げ、院内で共有し、報告をいただいた職員への感謝とともに医療安全優秀賞の表彰を行っている。

次年度も引き続き、医療安全の推進に向けて努力していきたい。



■医療安全研修会< 2023 年度>

[院内]

開催日	対象者	研修名	研修内容	参加者数
<主催;教育委員会、医療安全・事故防止対策会議、他>				
4月4日(火)	新採用職員	チーム医療による医療安全「Team STEPPS研修会」	「チームワークの重要性の理解(チームの鎖)」、他 講師:チームSTEPPS推進PJチーム(Bee Act)臨床工学室 佐藤 昭生、薬剤局 向後 徹生 リハビリテーション科 岡野 寛、医事課 菱木 睦実 他、Bee Actメンバー	159名
4月6日(木)	新採用職員	新採用者オリエンテーション	「医療安全管理」 講師:医療安全管理推進室長 糸林 詠	117名
10月31日(火)~開始	全職員	2023年度医療安全研修会(※e-ラーニングツールSafety Plus等による研修)	「当院の医療安全の現状と今後の取り組み」 講師:医療安全管理推進室看護師長 医療安全管理者 大島 誠	2,256名
11月16日(木)(※12月5日(木)~開始)	病院職員	2023 医薬品・医療機器・医療放射線安全研修会(※e-ラーニングツールSafety Plus 動画掲載)	①医薬品安全管理 「特定生物由来製品の概要と当院での運用方法について」 講師:薬剤局 薬剤師 鈴木 聡子 ②医療機器安全管理 「手術室で医療機器を安心して使用するための工夫」 講師:臨床工学室 臨床工学技士 太田 貴幸 ③医療放射線安全管理 「放射線診療従事者の被ばく管理」 講師:放射線科 診療放射線技師 長須 康一郎	947名(計)
2月29日(木)(※3月4日(月)~開始) <DVD上映会> 3月12日(火) 3月18日(月)	全職員	2023年度リスクマネジメント講演会(※e-ラーニングツールSafety Plus 動画掲載)	「医療安全から前向きに改善する組織をつくろう」 講師:豊見城中央病院附属健康管理センターセンター長 鈴木 真先生	2,075名(計)
<主催;診療局>				
4月7日(金)	新研修医	2023年度新研修医オリエンテーション	「医療安全について」 講師:医療安全管理推進室 医療安全管理者 白土 てる子 「Safe Master インシデント管理システム操作説明」、他 講師:医療安全管理推進室補佐 診療情報管理士 梅原 馨	34名
6月22日(木)	1年次研修医	研修医対象中心静脈穿刺実技研修会	「中心静脈穿刺について」(講義)(実技演習) 講師:外科 西村 隆則 指導医:救急救命科 吉池 安隆 外科 綿貫 義久、二宮 慎太郎 循環器内科 濱野 洋、石田 暉、山口 雄己 血液内科 清水 亮	19名
8月24日(木)	2年次研修医	研修医対象PICC実技研修会	「末梢挿入型中心静脈カテーテル挿入について」(講義)(実技演習) 講師:循環器内科 平野 智士 指導医:脳神経外科 千葉 慶太郎 循環器内科 三輪 宏美、本康 宗佳 血液内科 岡本 健人	9名

開催日	対象者	研修名	研修内容	参加者数
<主催；看護局>				
4月13日(木)	新人看護師	新人看護師安全研修会	「安全管理 基礎講習会」 指導者：医療安全管理推進室師長 医療安全管理者 大島 誠 看護局リスク常任	87名
5月12日(金)	看護局リスク委員	看護局安全研修会	「インシデントレポートとは ・インシデントレポートの書き方」 指導者：医療安全管理推進室師長 医療安全管理者 大島 誠 看護局リスク常任	29名
6月2日(金)	看護局リスク委員	看護局安全研修会	「KYT 危険予知トレーニングについて」 指導者：医療安全管理推進室師長 医療安全管理者 大島 誠 看護局リスク常任	30名
7月7日(金)	看護局リスク委員	看護局安全研修会	「KYT 危険予知トレーニングについて」 指導者：医療安全管理推進室師長 医療安全管理者 大島 誠 看護局リスク常任	30名
8月4日(金)	看護局リスク委員	看護局安全研修会	「KYT 危険予知トレーニングについて」 指導者：医療安全管理推進室師長 医療安全管理者 大島 誠 看護局リスク常任	30名
12月21日(木)	看護補助員	看護局補助員安全研修会	「みんなで取り組もう！危険予知トレーニング」 指導者：医療安全管理推進室師長 医療安全管理者 大島 誠 看護局リスク常任	16名
12月21日(木)	看護局リスク委員	看護局安全研修会	「BLSトレーニング」 指導者：医療安全管理推進室師長 医療安全管理者 大島 誠 看護局リスク常任	30名
<主催；薬剤局>				
9月14日(木)	薬剤局職員	薬剤局安全研修会	「チームステップス研修会」 指導者：薬剤局安全部会	21名
11月30日(木)	薬剤局職員	薬剤局安全研修会	「病態と治療（川崎病）」 指導者：小児科病棟担当薬剤師	22名
1月18日(木)	薬剤局職員	薬剤局安全研修会	「チームステップス研修会」 指導者：薬剤局安全部会	20名
5月25日(木) 7月27日(木) 9月14日(木) 11月30日(木) 1月18日(木) 3月21日(木)	薬剤局職員	薬剤局安全研修会	インシデント（未然も含む）事例検討会 指導者：薬剤局安全部会	121名 (計)

開催日	対象者	研修名	研修内容	参加者数
<b>&lt;主催：診療技術局&gt;</b>				
11月14日(火)	診療技術局職員	診療技術局安全研修会 ※事務局と合同	「カスタマーハラスメントへの対応について」 講師：広報患者相談課 安藤 洋和	36名
3月5日(火) 3月7日(木)	診療技術局職員	診療技術局安全研修会	「安全に配慮した基本動作と移乗介助方法」 講師：リハビリテーション科 理学療法士 (PT) 椎名 直 理学療法士 (PT) 井上 将人	18名 (計)
<b>&lt;主催：事務局&gt;</b>				
11月14日(火)	事務局職員	事務局安全研修会 ※診療技術局と合同	「カスタマーハラスメントへの対応について」 講師：広報患者相談課 安藤 洋和	52名
<b>&lt;主催：診療支援・企画情報局&gt;</b>				
11月～12月	診療支援・企画情報局職員	診療支援・企画情報局研修会 (※e-ラーニング セーフティプラス 視聴)	「労務環境の管理」 「医療ガス管理委員会講習」、他	107名 (計)
<b>&lt;その他&gt;</b>				
1月16日(火)	医療安全室職員	2023年度セーフ マスター インシデント管理 システム ユーザー会 (WEBによる)	講演「報告から始まる事故対応」 講師：東京医科大学病院 浦松 雅史先生、他 「グループディスカッション」、等	7名

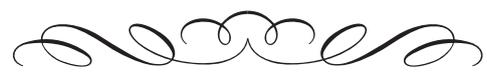
[院外]

開催日	対象者	研修名	研修内容	参加者数
6月16日(金) 6月17日(土)	薬剤師 看護師	医療安全管理者 養成講習会 (第1クール)	医療安全の意義と院内の体制作り 「医療安全管理の全体像」 講師：名古屋大学医学部附属病院 副院長 患者安全推進部 教授 長尾 能雅 先生、他	3名
7月29日(土)	看護師	令和5年度 医療安全担当者 中央交流会	「心理的安全性の高め方」 講師：医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 副院長 長谷川 剛 先生 主催：千葉県看護協会	1名
8月5日(土) 8月6日(日)	薬剤師	医療安全管理者 養成講習会 (第2クール： A日程)	「チーム医療とは何ですか。何ができるとよいですか。 -エビデンスに基づいたチーム医療(チームSTEPPS)(前編)」 講師：国立保健医療科学院 上席主任研究官 種田 憲一郎 先生、他	2名
8月26日(土) 8月27日(日)	看護師	医療安全管理者 養成講習会 (第2クール： B日程)	「チーム医療とは何ですか。何ができるとよいですか。 -エビデンスに基づいたチーム医療(チームSTEPPS)(前編)」 講師：国立保健医療科学院 上席主任研究官 種田 憲一郎 先生、他	1名

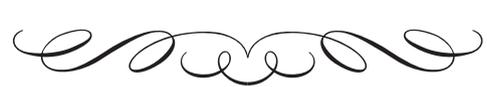
開催日	対象者	研修名	研修内容	参加者数
9月18日 (月・祝)	看護師	【世界患者安全の日企画】 Zoom ミーティング 医療者と患者さんが一緒に話し合っ て治療方針を決めること。	「IC (Informed Consent) と SDM(Shared Decision Making)」 講師；京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 健康情報学分野 京都大学医学部附属病院 倫理支援部 中山 健夫 先生  「SDM 促進に向けての病院の取り組み事例」 講師；京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 医療安全管理室・臨床倫理相談室 松村 由美 先生、他	1名
10月24日(火)	看護師	医療安全 全国共同行動 オンラインセミナー	「ある転落事案の Safety- IIの考察と、 Safety-1.5 (あるいは Safety-3.0=1.5×2) の提案 講師；医療安全全国共同行動 企画委員 国立大学法人 東京農工大学 保健管理センター 教授 / 医師 原田 賢治 先生	1名
10月28日(土)	看護師	千葉県 HFNC セミナー	「～他の施設はどう使ってる？ HFNC の上手な使い方～」	4名
11月7日(火)	医療従事者	2023年度 第2回 検査・処置・ 手術安全セミナー (オンライン セミナー形式 による)	「どうする？転倒・転落予防～会員病院における 工夫と実践～」 主催：(公財)日本医療機能評価機構 認定病院患者安全推進協議会	数名
11月29日(水)	医療従事者	東総地区不眠症 診療 WEB セミナー	「当院における医療安全管理室の活動報告からの考察 ～身体拘束活動データを踏まえて～」、他 演者：医療安全管理推進室師長 医療安全管理者 大島 誠 主催：エーザイ株式会社	11名 (集合)  その他、 WEB 参加者 有り

[その他] 学会発表・出張研修等

開催日	対象者	研修名	研修内容	参加者数
10月17日(火)	県立 佐原病院 職員 (医師、 看護師、他)	チーム医療による 医療安全 「Team STEPPS 研修会」	「チームワークの重要性の理解 (チームの鎖)」、他 講師：チーム STEPPS 推進 PJ チーム (Bee Act) 薬剤局 薬剤師 向後 徹生、ファシリテーター (4名)	講師、 他5名
11月25日(土) 11月26日(日)	医療従事者	第18回 医療の質・安全 学会学術集会	テーマ「世界はチームでできているー多様性の森へようこそー」 演題「当院リハビリテーション科におけるチーム STEPPS 研修会の有効性」 発表者：リハビリテーション科 理学療法士 岡野 寛  演題「インシデントレポート報告件数増加に向けた取り組み」 発表者：リハビリテーション科 理学療法士 岩瀬 浩一	数名
11月28日(火)	千葉県立 こども病院 職員 (医師、 看護師、他)	チーム医療による 医療安全「Team STEPPS 研修会」	「チームワークの重要性の理解 (チームの鎖)」、他 講師：チーム STEPPS 推進 PJ チーム (Bee Act) 循環器内科 櫛田 俊一、ファシリテーター (5名)	講師、 他6名
3月20日 (水・祝)	医療従事者	ちば医療安全 セミナー	「当院のチームステップス導入における経緯・活動内容と その効果」 講師：リハビリテーション科 理学療法士 岡野 寛 主催：テルモ株式会社	1名



TQM センター



## ●TQMセンター（2023年度）

### 2023年度の方針・概要

TQMセンター運営の基本理念は、2010年開設以来一貫して「医療の質を高める組織作り」と「内部コミュニケーションの充実」である。これに基づき、(1)医療の質指標（Quality Indicator,QI）の分析、(2)QC活動、(3)院内横断活動部門の支援、(4)病院評価への参画の4つを活動の柱としている。

2023年度は、3項目について以下の点を目標・方針とした。

- (1)（各部署）平均在院日数の短縮を促進・協力；平均在院日数の短縮を3部署以上目標達成すること。
- (2) QC活動の推進；QC活動4サークル以上、目標達成率50%以上。
- (3) 患者満足度調査実施；6月患者満足度調査の実施と各部署へのフィードバック

### 2023年度の活動

- (1) QI分析（図1-1～1-3；2023年度日本病院会QIプロジェクトから抜粋）  
他施設との比較
  - a. 日本病院会QIプロジェクト
  - b. 京都大学QIP
  - c. がん登録QI研究
  - d. 全国自治体病院協議会 医療の質の評価・公表等推進事業
  - e. 日本医療機能評価機構 医療の質可視化プロジェクト

### (2) QC活動

2023年度のQC活動は、8サークルの参加があった(表1)。5月のキックオフミーティングから2月の発表大会まで、アドバイザーの協力のもとサークル活動を継続し、全サークルがQC工程を終了した。2024年2月15日の発表大会は、感染症への対応により無観客で発表を撮影し、動画・抄録による採点とした。動画はバリテスに掲載し、院内公開した。最優秀賞「choco 楽（ラック）」(薬剤局)、優秀賞「新しい救命病棟のリーダーズ」(救急救命センター病棟、リハビリテーション科)が受賞した(表2)。また、過去優秀事例の歯止め報告を要旨集に掲載した。(表3)。

### (3) 横断活動支援

#### A. 横断活動ジャーナル

2011年度から院内横断活動の紹介として、13グループ(院内感染対策委員会、褥瘡対策委員会、NST委員会、クリニカルパス委員会、緩和ケアチーム、家族支援チーム、薬剤局、リハビリテーション科、糖尿病サポートチーム、病院まつり実行部会、排尿ケアチーム、PICC/CVチーム、AYA世代がん患者サポートチーム)の活動を横断活動ジャーナルにて発行している。2023年度は、4回発行した。

#### B. まめ知識講座

2015年2月から、患者さんの健康維持・病気の予防と対応に関する知識の普及、院内滞在時間の有効活用を目的として「まめ知識講座」を開催している。2020年から新型コロナウイルス感染症への対応により、休講としていたが2024年1月より再開した。

#### (4) 病院評価

##### A. 患者満足度調査

患者満足度調査(外来(表4)入院(表5))を、6月に実施した。2020年度より新型コロナウイルス感染症への対応により入院調査のみ実施していたが、今年度は4年振りに外来調査も行った。外来調査では待ち時間についての満足度が低かった。病院全体の評価については、外来調査は前回よりも向上しており、入院調査は若干下がった。

##### B. 外来患者待ち時間調査

外来患者待ち時間調査(表6)では、予約外診察待ち時間平均68.1分、予約診察待ち時間平均33.2分であった。患者が外来に到着してから薬引換までの院内滞在時間平均126.8分であり、昨年度は128.8分とほぼ同様であった。

2023年度も調査結果を各部署にフィードバックし、課題となった項目の対策・実施計画を検討していただき、検討結果をあわせて患者満足度調査の冊子を発行した。

##### C. ISO外部審査

2023年12月5日(火)～7日(木)の3日間において、ISO外部審査を受審した。今回の審査は3年に1回行われる更新審査となり全27審査枠において55部署および委員会が対象となった。審査の結果は、「高く評価できる事項・・・50項目」、「観察事項・・・56項目」、「軽微な不適合ならびに重大な不適合・・・0項目」となった。不適合がなかった事から、是正処置を行なうことなく審査員から承認された。

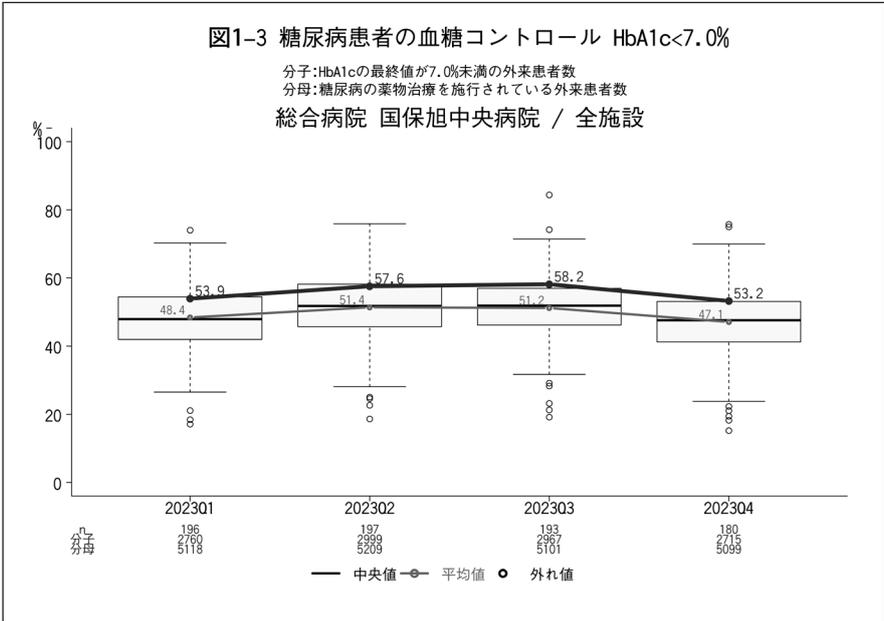
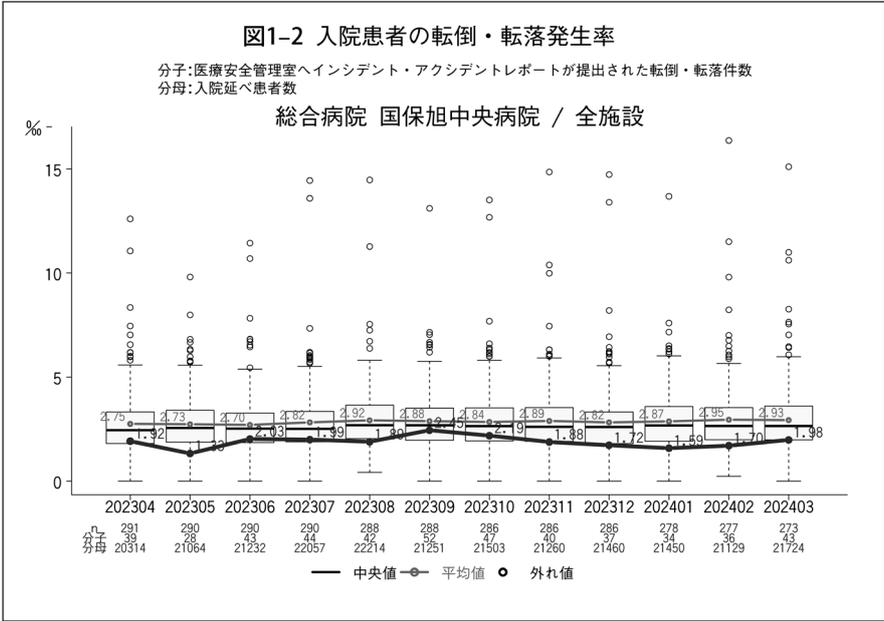
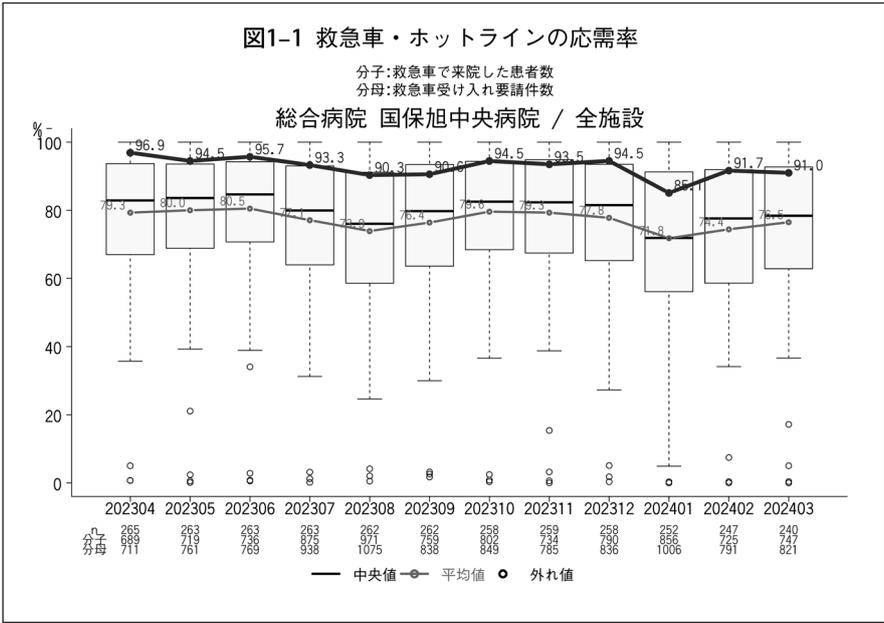


表1. 2023年度QC活動参加サークル一覧

No.	参加部署	サークル名	テーマ
1	薬剤局	Choco 楽(ラック)	高カロリー輸液の無菌調製
2	PFMセンター・中央手術室・リハビリテーション科・訪問看護室	(P)パワフル(F)フルーツ☆(M)もぎもぎ Nice Guts(なかつ)センター	PFMセンターの業務を院内に周知したい。もっと入院前療養計画書を活用してほしい。
3	診療局・看護局・リハビリテーション科・臨床栄養科	アレ(体重)測った？	入院患者において、1週間以内に体重測定が行われていないケースが散見される
4	救急救命センター病棟・リハビリテーション科	新しい救命病棟のリーダーズ	看護師と理学療法士のタイミングが合わず、リハビリが休訓となる件数を減らす。
5	リハビリテーション科	床北高校離床部 一介助はそえるだけ	7東病棟における動作自立の標準化
6	5階北病棟	ふぁみりい・ぼんど	ファミリールームの有効な使用方法について
7	救急救命科・救急外来	Misson in ER	救急外来における患者誤認に関するインシデントの減少
8	7階西病棟	療養環境 つるびか隊	療養環境の整理整頓

表2. 2023年度QC活動発表大会(ビデオ審査) 表彰サークル

授賞	参加部署・サークル名
最優秀賞	薬剤局・choco 楽(ラック)
優秀賞	救急救命センター病棟、リハビリテーション科・新しい救命病棟のリーダーズ

表3. 過去優秀事例歯止め報告(要旨集に活動報告を掲載)

No.	参加部署	サークル名	テーマ
1	薬剤局	勤務面子の刃～午前集中土日の至急～	土日祝日における勤務回数の縮減

表4. 2023年6月実施 外来患者満足度調査点数グラフ 全外来

◆医師の診察について◆				時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (2019年度)
1 診察時間	今年度	1,447	95.6%					5.11			0.49	5.69(5.17)
	2019年度	2,058	93.9%					4.62				
2 診療・治療内容などについての説明	今年度	1,400	92.5%					6.26			0.54	
	2019年度	1,986	90.6%					5.72				
◆職員の言葉づかい、態度、身だしなみについて◆				時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (2019年度)
1 医師	今年度	1,477	97.5%					7.42			0.38	6.38(5.69)
	2019年度	2,133	97.3%					7.04				
2 看護職員	今年度	1,456	96.2%					7.45			0.26	
	2019年度	2,111	96.3%					7.19				
3 インフォメーション、総合受付、会計職員	今年度	1,426	94.2%					6.94			0.24	
	2019年度	2,094	95.5%					6.70				
4 外来事務職員	今年度	1,361	89.9%					6.84			0.25	
	2019年度	2,002	91.3%					6.59				
5 薬局職員（院内）	今年度	1,128	74.5%					6.48			0.30	
	2019年度	1,792	81.8%					6.18				
6 薬局職員（院外）	今年度	1,186	78.3%					6.05			-0.05	
	2019年度	1,861	84.9%					6.10				
7 検査室（採血・心電図・超音波・内視鏡など）職員	今年度	1,260	83.2%					6.63			0.19	
	2019年度	1,975	90.1%					6.44				
8 放射線（レントゲン・CT・MRI・PETなど）職員	今年度	1,225	80.9%					6.64			0.12	
	2019年度	1,908	87%					6.52				
9 リハビリテーション（理学・作業療法など）職員	今年度	1,016	67.1%					6.13			0.01	
	2019年度	1,616	73.7%					6.12				
10 売店職員	今年度	1,140	75.3%					5.17			0.51	
	2019年度	1,881	85.8%					4.66				
11 警備員（ガードマン）	今年度	1,223	80.8%					5.42			0.48	
	2019年度	1,869	85.2%					4.94				
12 電話交換職員（病院への電話に最初に対応する）の応対	今年度	1,131	74.7%					5.65			0.19	
	2019年度	1,762	80.4%					5.46				
13 清掃職員	今年度	1,221	80.6%					6.06			0.32	
	2019年度	1,876	85.6%					5.74				
◆待ち時間について◆				時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (2019年度)
1 受付から診察まで	今年度	1,448	95.6%					-1.32			1.17	0.37(0.16)
	2019年度	2,102	95.9%					-2.49				
2 診察終了から会計まで	今年度	1,426	94.2%					0.70			0.57	
	2019年度	2,037	92.9%					0.13				
3 お薬を受け取るまで（院内）	今年度	1,003	66.3%					0.13			0.39	
	2019年度	1,654	75.5%					-0.26				
4 お薬を受け取るまで（院外）	今年度	1,191	78.7%					-0.70			-0.34	
	2019年度	1,823	83.1%					-0.36				
5 検査室（採血・心電図・超音波・内視鏡など）	今年度	1,225	80.9%					0.69			-0.53	
	2019年度	1,893	86.4%					1.22				
6 放射線（レントゲン・CT・MRI・PETなど）	今年度	1,168	77.2%					2.74			0.03	
	2019年度	1,803	82.3%					2.71				
◆駐車場について◆				時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (2019年度)
1 駐車場送迎車の運転手の対応	今年度	654	43.3%					6.25			New	5.09(0)
	2019年度	0	%					0.00				
2 駐車場送迎車の運行時間(8:30~14:00)	今年度	626	41.5%					3.92			New	
	2019年度	0	%					0.00				

◆施設、設備・診察順番の呼び出しについて◆				時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (2019年度)
1 院内の案内表示	今年度	1,144	75.6%					5.18			0.18	5.86(5.7)
	2019年度	1,857	85.2%					5.00				
2 院内の清潔さ	今年度	1,172	77.4%					6.54			0.14	5.83(5.56)
	2019年度	1,854	85%					6.40				
3 呼び出し方法 (受付番号+姓)	今年度	1,159	76.6%					6.18			0.19	5.83(5.56)
	2019年度	1,852	84.9%					5.99				
4 呼び出し放送の音量	今年度	1,162	76.8%					5.48			0.36	5.83(5.56)
	2019年度	1,855	85.1%					5.12				
◆相談・支援体制について◆				時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (2019年度)
1 相談したい部署の案内表示はわかりやすいですか？	今年度	1,010	66.7%					4.21			0.27	4.62(4.33)
	2019年度	1,706	78.2%					3.94				
2 相談された部署の対応は役立ちましたか？	今年度	974	64.3%					5.02			0.31	4.62(4.33)
	2019年度	1,612	73.9%					4.71				
◆全体的なことについて◆				時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (2019年度)
1 病院の公式ホームページ	今年度	997	65.9%					3.35			0.08	5.79(4.91)
	2019年度	1,556	71.4%					3.27				
2 二人主治医制や紹介状の持参の推進	今年度	944	62.4%					3.76			0.14	5.79(4.91)
	2019年度	1,575	72.2%					3.62				
3 今後も当院を利用したい	今年度	1,196	79.1%					8.00			0.25	5.79(4.91)
	2019年度	1,846	84.7%					7.75				
4 当院を家族・知人に紹介したい	今年度	1,148	75.9%					5.88			0.07	5.79(4.91)
	2019年度	1,768	81.1%					5.81				
5 病院は感染対策が出来ていると思うか	今年度	1,172	77.5%					6.33			New	5.79(4.91)
	2019年度	0	%					0.00				
6 患者さん誤認防止のための本人確認	今年度	1,145	75.7%					7.05			0.11	5.79(4.91)
	2019年度	1,800	82.5%					6.94				
7 プライバシーへの配慮	今年度	1,150	76.1%					5.82			-0.17	5.79(4.91)
	昨年度	1,783	81.8%					5.99				
8 この病院についての総合的な評価	今年度	1,163	76.9%					6.16			0.29	5.79(4.91)
	2019年度	1,804	82.8%					5.87				

表5. 2023年6月実施 入院患者満足度調査点数グラフ 全病棟

		時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
<b>◆医師について◆</b>										
1 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	792	98.7%			8.11			0.06	7.37(7.43)
	昨年度	702	99.5%			8.05				
2 入院中の診察、治療方針、経過、検査、手術などの説明	今年度	788	98.2%			7.52			0.11	
	昨年度	703	99.6%			7.41				
3 担当医に対する信頼感	今年度	792	98.7%			7.73			0.01	
	昨年度	702	99.5%			7.72				
4 悩みや相談に対する適切な応対	今年度	785	97.8%			7.17			-0.01	
	昨年度	696	98.6%			7.18				
5 看護師・事務職員などへの連絡	今年度	784	97.7%			7.24			-0.14	
	昨年度	688	97.5%			7.38				
6 プライバシーへの配慮	今年度	778	96.9%			7.70			-0.01	
	昨年度	690	97.8%			7.71				
7 退院後の注意事項などに関する説明	今年度	769	95.8%			7.17			-0.11	
	昨年度	683	96.8%			7.28				
8 地域の医療機関への紹介に関する説明	今年度	729	90.8%			6.35			-0.34	
	昨年度	645	91.4%			6.69				

		時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
<b>◆看護職員について◆</b>										
1 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	792	98.7%			7.90			0.00	7.2(7.35)
	昨年度	704	99.8%			7.90				
2 相談しやすい雰囲気	今年度	789	98.3%			7.50			-0.12	
	昨年度	703	99.6%			7.62				
3 ナースコールを押してから訪室までの時間	今年度	776	96.7%			6.69			-0.33	
	昨年度	674	95.7%			7.02				
4 患者さんが頼んだことに対しての確実な対応	今年度	781	97.3%			7.16			-0.26	
	昨年度	692	98.1%			7.42				
5 入院中のスケジュール、検査、手術などの説明	今年度	794	98.9%			7.32			0.01	
	昨年度	699	99.1%			7.31				
6 悩みや相談に対する適切な応対	今年度	776	96.7%			7.03			-0.18	
	昨年度	683	96.8%			7.21				
7 看護職員同士の連絡	今年度	771	96.1%			6.52			-0.12	
	昨年度	683	96.8%			6.64				
8 医師・事務職員などへの連絡	今年度	774	96.4%			6.94			-0.28	
	昨年度	677	95.9%			7.22				
9 プライバシーへの配慮	今年度	775	96.6%			7.43			-0.13	
	昨年度	680	96.4%			7.56				
10 退院手続きの説明	今年度	762	94.9%			7.27			-0.28	
	昨年度	687	97.4%			7.55				
11 退院後の注意事項などに関する説明	今年度	756	94.2%			7.12			-0.08	
	昨年度	681	96.5%			7.20				
12 看護に対しての全体的な満足度	今年度	781	97.3%			7.46			-0.10	
	昨年度	697	98.8%			7.56				

		時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
<b>◆その他職員について◆</b>										
1【放射線職員（レントゲン・CT・MRI・アイソトープ・PETなど）】										
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	694	87.9%			7.32			-0.16	7.23(7.35)
	昨年度	633	89.8%			7.48				
b 対応や説明	今年度	687	87%			7.09			-0.06	
	昨年度	630	89.3%			7.15				
c プライバシーへの配慮	今年度	679	86%			7.28			-0.15	
	昨年度	615	87.2%			7.43				
2【検査室職員（心電図・超音波・内視鏡検査など）】										
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	671	85%			7.33			-0.16	7.28(7.42)
	昨年度	622	88.2%			7.49				
b 対応や説明	今年度	662	83.8%			7.22			-0.06	
	昨年度	617	87.4%			7.28				
c プライバシーへの配慮	今年度	657	83.2%			7.30			-0.19	
	昨年度	603	85.5%			7.49				

3【リハビリテーション職員（理学・作業療法など）】				時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)	
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	553	68.9%			7.21					-0.63	6.79(7.38)	
	昨年度	505	71.6%			7.84							
b 対応や説明	今年度	545	67.9%			7.10					-0.50		
	昨年度	499	70.7%			7.60							
c プライバシーへの配慮	今年度	540	67.3%			7.05					-0.53		
	昨年度	494	70%			7.58							
d リハビリの量(回数・時間など)	今年度	538	67%			6.31					-0.56		
	昨年度	496	70.3%			6.87							
e リハビリの質(内容)	今年度	536	66.8%			6.29					-0.73		
	昨年度	493	69.9%			7.02							
4【医療連携福祉相談室職員】				時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)	
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	538	67%			7.18					-0.42	7.16(7.48)	
	昨年度	480	68%			7.60							
b 対応や説明	今年度	530	66.1%			7.19					-0.17		
	昨年度	475	67.3%			7.36							
c プライバシーへの配慮	今年度	527	65.7%			7.10					-0.38		
	昨年度	476	67.5%			7.48							
5【栄養士】				時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)	
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	530	67.1%			7.09					-0.40	7.01(7.41)	
	昨年度	491	69.6%			7.49							
b 対応や説明	今年度	521	66%			6.92					-0.42		
	昨年度	485	68.7%			7.34							
c プライバシーへの配慮	今年度	518	65.6%			7.01					-0.39		
	昨年度	478	67.8%			7.40							
6【薬剤師】				時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)	
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	641	79.9%			7.79					-0.17	7.72(7.85)	
	昨年度	592	83.9%			7.96							
b 対応や説明	今年度	633	78.9%			7.67					-0.12		
	昨年度	584	82.8%			7.79							
c プライバシーへの配慮	今年度	621	77.4%			7.71					-0.09		
	昨年度	565	80.1%			7.80							
7【電話交換職員（病院への電話に最初に対応する）】				時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)	
a 言葉づかい、応対	今年度	579	72.2%			6.79					-0.27	6.9(7.15)	
	昨年度	534	75.7%			7.06							
b プライバシーへの配慮	今年度	566	70.5%			7.01					-0.22		
	昨年度	516	73.1%			7.23							
8【病棟清掃担当者】				時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差		カテゴリー平均 (昨年度)
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	683	86.5%			7.46					0.17		7.37(7.23)
	昨年度	631	89.4%			7.29							
b プライバシーへの配慮	今年度	668	84.6%			7.28					0.11		
	昨年度	604	85.6%			7.17							
9【シーツ交換担当者】				時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)	
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	649	82.2%			7.34					0.00	7.31(7.29)	
	昨年度	589	83.5%			7.34							
b プライバシーへの配慮	今年度	641	81.2%			7.27					0.04		
	昨年度	574	81.4%			7.23							
◆病院食について◆				時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差		カテゴリー平均 (昨年度)
提供時間	今年度	716	90.7%			6.18					-0.37		5.43(5.76)
	昨年度	645	91.4%			6.55							
温度	今年度	712	90.2%			6.17					-0.35		
	昨年度	643	91.1%			6.52							
食事内容	今年度	713	90.3%			3.95					-0.26		
	昨年度	642	91.1%			4.21							

◆施設設備について◆		時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
1 院内の案内表示	今年度	692	86.2%			6.22			0.10	6.34(6.31)
	昨年度	610	86.5%			6.12				
2 院内の飲食スペース・施設 a 本館1階売店	今年度	683	85.1%			6.24			0.41	
	昨年度	590	83.6%			5.83				
b 本館12階売店	今年度	640	79.8%			5.50			-0.36	
	昨年度	559	79.2%			5.86				
c 本館1階コーヒーショップ	今年度	630	78.5%			6.38			0.14	
	昨年度	555	78.7%			6.24				
d 展望ラウンジ	今年度	629	78.4%			6.33			-0.19	
	昨年度	553	78.6%			6.52				
3 院内放送の音量	今年度	653	81.4%			6.19			0.15	
	昨年度	579	82.1%			6.04				
4 病棟、病室の静けさ	今年度	730	91%			5.61			-0.05	
	昨年度	644	91.3%			5.66				
5 病棟、病室のにおい	今年度	730	91%			6.17			-0.20	
	昨年度	646	91.6%			6.37				
6 病棟、病室の温度設定	今年度	731	91.1%			5.85			0.09	
	昨年度	648	91.8%			5.76				
7 病棟、病室の清潔さ	今年度	736	91.7%			7.18			0.07	
	昨年度	648	91.8%			7.11				
8 トイレ、洗面所、入浴シャワー室の清潔さ	今年度	725	90.3%			7.13			0.04	
	昨年度	641	90.8%			7.09				
9 シーツ交換は丁寧で行き届いていたか	今年度	714	89%			7.26			0.16	
	昨年度	633	89.8%			7.10				
◆相談・支援体制について◆		時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
相談したい部署の案内表示はわかりやすいか	今年度	608	75.8%			5.85			-0.32	6.05(6.43)
	昨年度	541	76.7%			6.17				
相談された部署の対応は役立ったか	今年度	591	73.6%			6.24			-0.44	
	昨年度	534	75.7%			6.68				
◆入院・手術サポートセンターについて◆		時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
1 [入院のご案内]の冊子	今年度	731	91.1%			7.13			-0.13	7.63(7.61)
	昨年度	648	91.8%			7.26				
2 入院手続きの説明 a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	762	94.9%			7.68			-0.04	
	昨年度	671	95.1%			7.72				
b 対応や説明	今年度	759	94.6%			7.58			0.02	
	昨年度	665	94.2%			7.56				
c プライバシーへの配慮	今年度	744	92.7%			7.62			0.00	
	昨年度	648	91.8%			7.62				
3 入院・手術について看護師の説明a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	760	94.7%			7.93			0.10	
	昨年度	671	95.1%			7.83				
b 対応や説明	今年度	756	94.2%			7.67			-0.02	
	昨年度	668	94.7%			7.69				
c プライバシーへの配慮	今年度	748	93.2%			7.75			0.05	
	昨年度	648	91.8%			7.70				
d 説明を受けたことで安心して入院する事ができた	今年度	752	93.7%			7.68			0.20	
	昨年度	662	93.8%			7.48				
◆全体的なことについて◆		時期	回答数	回答率	-5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均 (昨年度)
1 病院の公式ホームページから目的の情報を見つけることができた	今年度	625	77.9%			4.98			-0.15	6.87(7.03)
	昨年度	537	76.1%			5.13				
2 入院中に必要な情報が、充分入手できた	今年度	666	83%			5.39			-0.16	
	昨年度	579	82.1%			5.55				
3 安心して入院生活を送れた	今年度	745	92.8%			7.33			-0.15	
	昨年度	665	94.2%			7.48				
4 今後も当院を利用したい	今年度	754	93.9%			7.80			-0.16	
	昨年度	671	95.1%			7.96				
5 当院を家族・知人に紹介したい	今年度	740	92.2%			6.79			-0.33	
	昨年度	653	92.5%			7.12				
6 病院は感染対策が来ていると思うか	今年度	751	93.6%			7.12			-0.19	
	昨年度	665	94.2%			7.31				
7 患者さん誤認防止のための本人確認	今年度	755	94.1%			8.15			-0.01	
	昨年度	667	94.5%			8.16				
8 この病院についての総合的な評価	今年度	762	94.9%			7.43			-0.08	
	昨年度	676	95.8%			7.51				

表6. 2023年6月 患者待ち時間調査 実績

調査実施期間 ; 2023年6月 外来診療日(22日間)  
 調査対象延べ患者数 ; 38,608名 (「旭中央病院診療実績」の外来患者数 51,491名)  
 測定内容 ; 以下の7箇所の調査時刻に該当した患者数と待ち時間

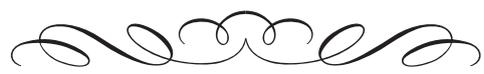
- 1.「婦人科」は、日付のみの予約で時間指定はない。従って、全ての受診患者は「外来到着から診察開始」までを診察待ち時間とする。
- 2.「指標1」に於いて、予約時刻に遅れて到着した場合は「予約時刻」からではなく「外来到着時刻」から測定する。
- 3.「指標1」に於いて、予約時刻より早く診察が開始された場合の待ち時間は「0分」とする。
- 4.各指標に於いて、最短時間と最長時間の科を次の色で示す。
 

最長科	最短科
-----	-----
5. 1 時間毎の推移の各指標に於いて、最長の時間帯を次の色で示す。
 

最長の時間帯
--------

指標No.	診察待ち時間				会計待ち時間				くすり待ち時間		院内滞在時間			
	1		2		3		4		5		6-1		6-2	
指標名	予約時刻から診察開始		外来到着から診察開始		診察終了から計算可能		計算可能から会計可能		診察終了から薬引換		外来到着から会計可能		外来到着から薬引換	
	調査対象患者数	平均(分)	調査対象患者数	平均(分)	調査対象患者数	平均(分)	調査対象患者数	平均(分)	調査対象患者数	平均(分)	調査対象患者数	平均(分)	調査対象患者数	平均(分)
	17,216	33.2	6,001	68.1	33,417	20.4	35,806	3.9	1,517	36.6	35,468	108.0	1,642	126.8
内科	7,318	39.9	1,026	102.7	13,379	19.0	13,507	6.4	702	38.4	13,483	127.1	749	147.6
小児科	506	34.9	288	104.9	1,455	11.0	1,909	2.0	82	30.6	1,898	102.4	125	76.5
外科	750	30.6	119	92.8	1,501	33.6	1,775	4.4	62	34.2	1,745	118.0	65	121.3
乳腺センター	470	17.1	102	43.7	565	18.2	554	1.7	51	39.6	555	72.4	52	112.2
整形外科	637	22.4	219	94.4	2,248	26.7	2,152	2.0	36	45.4	2,148	111.5	36	123.6
脳外科	107	29.3	471	47.1	809	25.6	783	2.6	14	55.9	755	84.1	14	123.6
泌尿器科	1,306	38.8	363	41.5	2,095	26.9	2,027	2.5	265	25.7	2,029	120.8	273	128.1
眼科	1,448	59.5	120	72.9	1,349	16.1	1,600	1.9	21	50.8	1,571	138.7	25	138.8
皮膚科	87	7.0	824	47.9	1,659	28.3	1,693	2.4	61	33.0	1,697	90.6	63	90.1
耳鼻科	1,025	24.2	548	52.1	1,722	20.5	1,687	2.2	26	36.3	1,688	87.3	26	114.3
歯口科	789	8.4	135	73.6	1,201	13.4	1,748	1.7	58	27.4	1,605	74.4	68	81.3
産科	466	22.8	26	30.9	493	19.6	534	2.4			501	69.9		
婦人科			1,653	63.9	1,850	18.7	2,072	2.1	14	27.3	2,059	93.6	15	128.6
神経科	1,332	11.1	35	41.5	1,769	17.4	1,820	1.6	114	55.8	1,817	61.9	119	107.4
麻酔科	232	8.7	2	5.0	261	10.3	249	3.4	9	29.9	249	54.1	9	56.7
心臓外科	131	27.2	2	74.5	189	12.7	220	5.6			214	102.5	1	121.0
形成外科	612	20.9	68	65.8	848	15.7	831	3.4	2	26.5	824	77.4	2	143.0
リハビリ					24	8.7	645	1.8			630	80.1		

1時間毎の推移	調査対象患者数	待ち時間(分)												
8時以前			576	80.8									138	141.4
8時台	1,688	26.1	1,732	68.3	2,093	21.7	1,440	2.4	77	38.0	11,352	116.0	382	122.2
9時台	4,104	30.9	1,630	71.1	6,444	24.0	5,692	3.1	254	38.5	8,220	112.2	337	127.3
10時台	3,695	37.7	1,567	67.3	6,810	23.5	6,813	3.1	315	37.7	6,484	111.0	292	138.0
11時台	2,470	41.5	496	44.8	5,716	21.6	6,378	4.3	233	38.6	2,694	109.8	160	138.5
12時台	676	45.3			3,852	20.5	4,588	4.6	179	39.5	1,893	98.8	101	125.3
13時台	1,486	28.4			2,993	17.1	3,642	5.1	175	34.0	2,240	89.8	122	116.0
14時台	1,748	30.8			2,444	13.8	2,969	4.5	120	34.8	1,567	79.3	73	98.8
15時台	1,009	24.8			1,810	11.9	2,338	3.8	105	31.2	811	63.2	31	74.1
16時台	338	18.7			950	10.2	1,407	3.2	45	27.2	204	55.4	6	62.7
17時以降	2	0.0			305	7.7	539	3.4	14	19.8	3	35.7		



内部監査室



## ●内部監査室（2023年度）

当年度の取組（2023年4月～2024年3月）

内部監査室は2020年10月1日に開設以降、全職員がTQMセンターと兼務して業務を遂行している。当室が行なう業務は、主に「法人としての内部監査」、「監事特別監査への立ち会い」、「会計監査人の年度末棚卸確認及び現金実査への立ち会い」である。

法人としての内部監査では、今年度の監査テーマを「院内感染対策ルールの確認」とし、内部監査実施計画書に基づき、2023年11月1日から12月13日までの期間において院内8部署と各病棟の現場（下表参照）を対象に監査を実施した。監査の視点は感染防止に関連する院内の取組みについて被監査部署を選定し、診療報酬の施設基準や感染制御に関連するガイドライン等で求められている事項が遵守されているか、各部署の取組み体制や実施状況について、約3ヶ月前に点検表（監査項目）を被監査部署に配布し、事前に自己評価を行なったうえで対面での監査を実施した。監査の結果としては、改善を要する事項5件、推奨事項18件を確認し、各々改善要求を該当部署に通知した。

監事特別監査は2023年10月18日、シルバーケアセンターと看護学校に対して行なわれ、当室も同席し、総評を確認した。両部署の業務は適正に行なわれているとの評価であった。

会計監査人による年度末棚卸確認が2024年3月29日、現金実差が同年4月1日に実施され、両日への立ち会いを行なった。両日とも、現場において問題なく運営されていることを確認した。

### 2023年度 内部監査の対象部署と対象業務

No.	被監査部署	監査対象業務
1	感染対策室	入院基本料等の施設基準に関する業務
2	内視鏡室	消化器内視鏡の洗浄消毒に関する業務
3	透析センター	透析センターの感染予防に関する業務
4	耳鼻咽喉科・頭頸部外科（外来）	耳鼻咽喉科内視鏡の洗浄消毒に関する業務
5	耳鼻咽喉科・頭頸部外科（11西病棟）	耳鼻咽喉科内視鏡の洗浄消毒に関する業務
6	看護局中央洗浄滅菌室	医療機器の洗浄消毒滅菌に関する業務
7	看護局リネンセンター	リネンの取扱いに関する業務
8	事務局施設課	感染性廃棄物の処理と院内清掃
9	看護局各病棟（現場確認）	医療廃棄物の分別とリネンの取扱い



地域医療支援センター



## ●地域医療支援センター（2023年度）

千葉県策定の「香取海匠保健医療圏地域医療再生計画」を背景に、医療提供体制の強化や地域医療の質の向上を図ることを目的に、2012年3月より支援業務を展開しています。

現在、地域医療支援センターは「教育ユニット」「臨床研究支援ユニット」の2つの機能を担っています。教育ユニットである「スキルセンター」では、トレーニング室や模擬病室などの施設、および医療用シミュレータや検査・診断用機器等を活用し、院内スタッフ及び地域の医療従事者への教育訓練支援を継続しています。

また、臨床研究支援ユニットである「臨床研究支援センター」では、倫理審査委員会事務局支援（院内臨床倫理問題や臨床研究に関する審議支援）、多職種から構成される院内CRCやデータマネージャーによる臨床研究実施支援、並びに治験施設支援機関（SMO）による治験業務支援を継続しています。

〔トピックス〕

<スキルセンター>

- ・ 高校生が参加する病院の仕事を知ろうASAHI看護局やふれあい看護体験、中学生の職業体験学習が4年ぶりに実施されました。
- ・ 感染症対策の一環として導入されたインターネットを介して受講するオンライン研修は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も定着して、従来の対面での集合型研修に加えて活用されています。

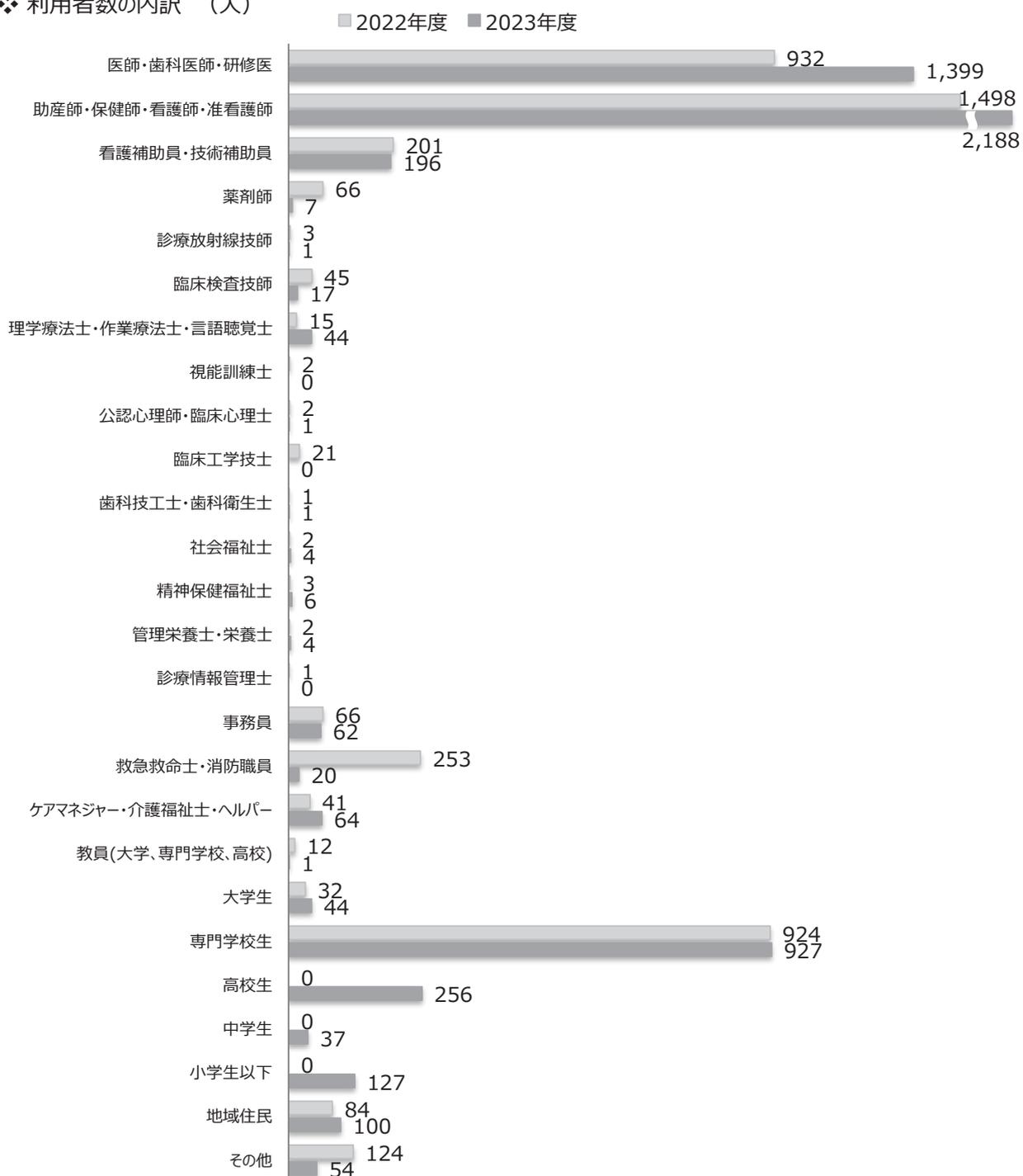
<臨床研究支援センター>

- ・ 2023年2月から当院初の医師主導治験を開始し、治験責任医師・治験分担医師・院内CRCの連携により、適正実施を継続しています。
- ・ 2023年度も初期研修医卒業研究への支援を実施し、2024年2月、院内で卒業研究発表会が開催されました（2年次初期研修医29名）。卒業研究は当院初期研修プログラムの特徴の一つです。

＜スキルセンター 施設およびシミュレータ機器等の利用状況（2023年度）＞

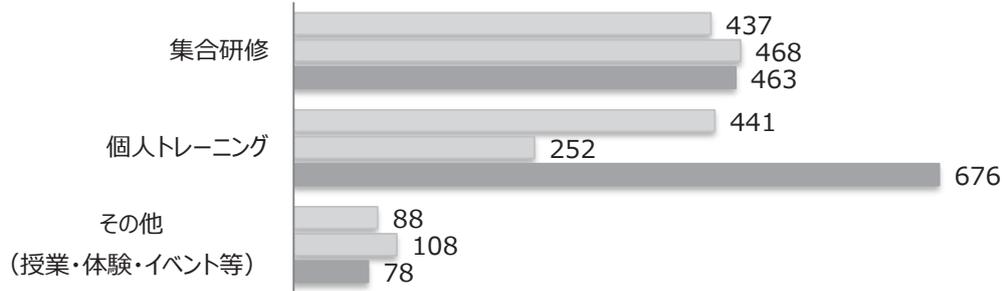
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	138	142	135	128	108	89	99	103	74	100	62	39	1,217
利用者数 (講師・指導者を除く)	752	417	623	647	576	473	476	372	302	355	405	162	5,560
利用日数	29	30	28	29	29	22	26	28	27	30	22	22	322
利用者数のうち 院外からの利用者数	30	9	8	176	223	50	73	38	48	31	2	31	719
利用件数のうち センター外への機器等持出数	9	11	21	23	16	28	29	25	13	21	18	9	223

❖ 利用者数の内訳（人）



❖ 目的別の利用件数 (件)

■ 2021年度 ■ 2022年度 ■ 2023年度

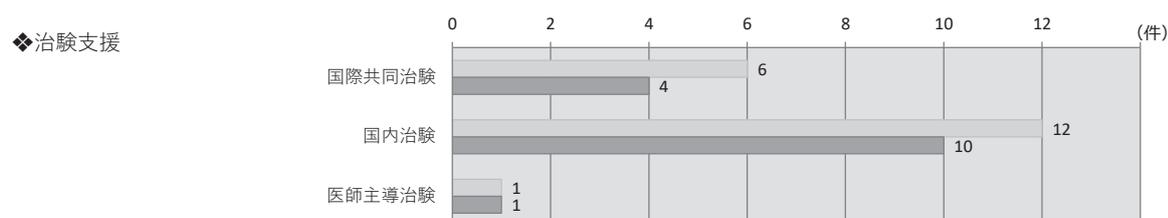
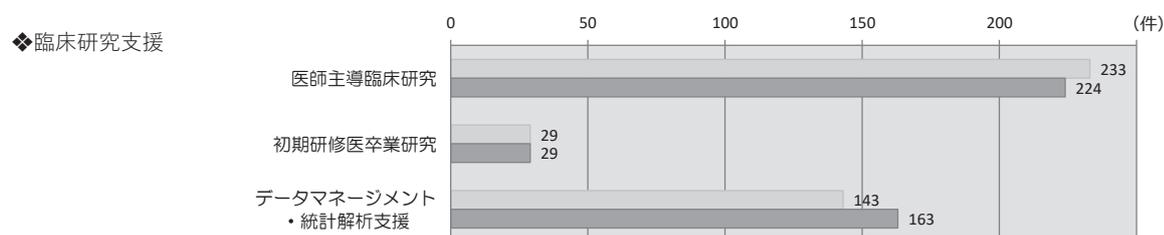
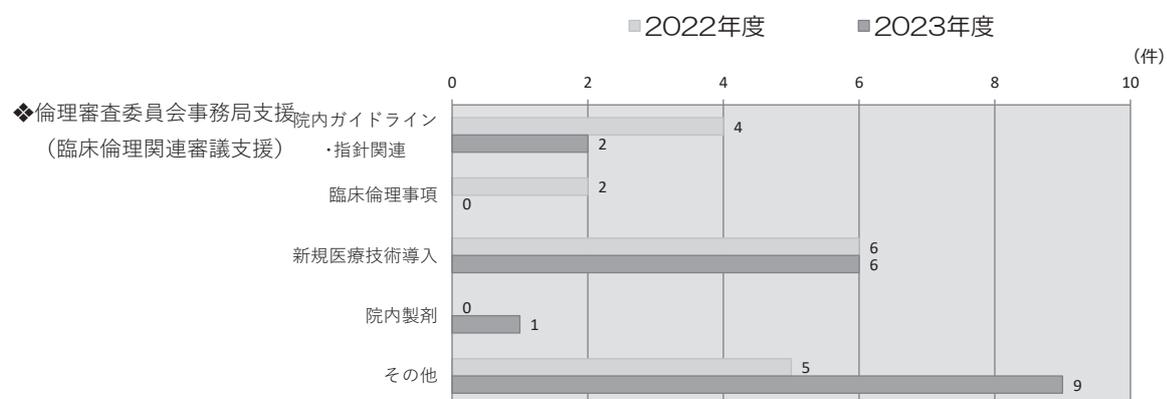


❖ 利用者の利用内容

利用者	利用内容 (教育、訓練、授業、イベントなど)
医師 歯科医師 研修医	気道管理, 縫合手技, 血管吻合, 内視鏡手術, 電子加圧操作, 感染対策, 超音波診断, 小児静脈確保, 臨床研究コンサルテーション, 気管挿管, 腹部超音波検査, 内頸静脈アポロカニスル, ICPセンサーカニスル, ストーマ造設カニスル, 心臓超音波検査, 静脈採血, 中心静脈穿刺挿入, PICC穿刺挿入, 日本ACLS協会BLS, 日本救急医学会ICLS, DPAT研修, 呼吸器外科カニスル, JMECC(日本内科学会 内科救急・ICLS), 旭刈カニセミナー, ドクターカー出動シミュレーション, ISLS(神経救急蘇生), PALS(小児二次救命処置法), 生命・医療倫理セミナー
助産師 保健師 看護師 准看護師	感染管理, 輸液ポンプ・シリンジポンプの準備と管理, 点滴静脈内注射・採血, インスリン治療を正しく行うための基礎知識と技術, 酸素吸入・吸引, 導尿・尿道留置カテーテル, 圧迫・摩擦・ずれ・体圧分散, 日本救急医学会ICLS, 死後のケア, スキンケア, JPTEC(病院前外傷教育), DPAT研修, 栄養評価・安全な食事介助をするための患者機能評価, おむつの適正使用・あて方, 一次救命処置, 気管内挿管の介助, 日本救急医学会ICLS, 人工呼吸管理SpO <sub>2</sub> 低下時の対応, 私着着用体験, 嘔吐処理セットの正しい使い方と感染予防, 中心静脈カテーテル実技, 生命・医療倫理セミナー, 日本ACLS協会BLS, 多重課題シミュレーション, ドクターカー出動シミュレーション, 多重課題シミュレーション, PALS(小児二次救命処置法), 副主任会グループワーク, 日本救急看護学会JNTEC, クリニカルスト看護過程, 静脈採血, 爪切り演習 千葉県看護協会オンライン研修「フレッシュセミナー(春・秋)」「アングーマネジメントの習得を知ってストレス対策」「アドバンス・ケア・プランニングを学ぼう」「よりよい人間関係を築くためのアサーション」「2年目看護師として自己の成長をみつめて」「小児虐待の芽をつむ多職種連携」「看護実践における看護倫理」「医療事故事例を法律から見てみる・看護記録」「急性期から回復期へつなぐ皮膚排泄ケアの基本」「臨床現場で遭遇するアレルギー疾患の基礎知識」「認定看護管理者教育課程ファーストレベル」「リダーシップ研修」国際医療福祉大学オンライン研修「保健師助産師看護師実習指導者講習会」 日本造血・免疫細胞療法学会オンライン講習「同種造血細胞移植後フォローアップのための看護師研修」「HCTC認定講習」
看護補助員 技術補助員	看護補助業務, 医療安全, 接遇, 感染基礎, 基礎看護技術, 寝たままおこなう安楽な洗髪, リダーシップ, おむつの特性・あて方, 褥瘡予防のためのマットレスの選択と背抜き, 看護の質を表す指標NIとしてのIAD(失禁関連皮膚炎)発症を予防する私着使用技術, 高齢者・認知症患者への対応, 診療材料・消耗品・衛生材料管理研修, みんなで取組もう!危険予知トレーニング, 感染防止技術, 一次救命処置
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	喀痰吸引, 日本ACLS協会BLS, 生命・医療倫理セミナー, 一次救命処置
社会福祉士・精神保健福祉士	DPAT研修, 一次救命処置
事務員	車椅子移乗, ストレッチャー移乗, DPAT研修, 一次救命処置, ドクターカー出動シミュレーション
救急救命士・消防職員	JPTEC(病院前外傷教育), ビデオ硬性喉頭鏡講習
ケアマネジャー・介護福祉士・ヘルパー	喀痰吸引等基本研修, 主任介護支援専門員更新研修オンラインコース, 一次救命処置
大学生	採血実習, 旭刈カニセミナー, 看護学生インターンシップ
専門学校生	附属看護専門学校授業「衛生的な手洗い」「一次救命処置」「高齢者疑似体験」「経鼻経管栄養法」「導尿」「フィジカルアセスメント」「喀痰吸引」「輸液ポンプの使用法」「静脈採血」 看護学生インターンシップ, 日本ACLS協会BLS
高校生	車椅子移動研修, 病院の仕事を知ろうASAHI看護局, ふれあい看護体験, 神栖市笑輪祭「心肺蘇生・手洗い講座」
中学生	職業体験学習, 神栖市笑輪祭「心肺蘇生・手洗い講座」
小学生以下	病院まつり夏休み公開講座 for Kids
地域住民	健康づくり出前講座「心肺蘇生法」, 病院まつり, 神栖市笑輪祭「心肺蘇生・手洗い講座」

## <臨床研究支援センター 業務支援状況概略（2023年度）>

倫理審査委員会事務局支援	院内ガイドライン・指針関連に関する審議支援(2件)
	臨床倫理関連に関する審議支援(16件) (内訳) 新規医療技術導入(保険未承認:1件、保険適応外:3件、保険適応内:2件) 院内製剤(1件)、その他(9件)
	新規臨床研究に関する審議支援(81件)
	第7回 生命・医療倫理セミナー(受講者:122名、同DVD上映会:65名)
臨床研究支援	医師主導臨床研究(224件)、初期研修医卒業研究(29件)
	データマネジメント・統計解析支援(163件)
	研究デザイン・統計コンサルテーション[外部講師招聘](計20回開催、延べ受講者:143名)
治験支援	国際共同治験(4件)、国内治験(10件)、医師主導治験(1件)



① 2023 年度 臨床研究実施状況（医師主導臨床研究）

(2024/3/31 時点)

部署	研究種別	人を対象とする医学系研究に関する倫理指針		臨床研究法	
		(前向き)	(後向き)	(特定臨床研究)	
診療局	アレルギー・膠原病内科	当院単独	2	6	
		多施設共同	5	5	2
	血液内科	当院単独		1	
		多施設共同	10	5	10
	呼吸器内科	当院単独			
		多施設共同	3	9	6
	循環器内科	当院単独	1	4	
		多施設共同	19	16	2
	消化器内科	当院単独		8	
		多施設共同	14	15	3
	腎臓内科	当院単独			
		多施設共同		1	
	総合診療内科	当院単独			
		多施設共同		1	
	糖尿病代謝内科	当院単独		3	
		多施設共同	5	2	
	神経内科	当院単独		1	
		多施設共同			
	感染症科	当院単独		1	
		多施設共同		2	
	外科	当院単独		7	
		多施設共同	1	3	1
	整形外科	当院単独		3	
		多施設共同	3	1	
	脳神経外科	当院単独		1	
		多施設共同		2	1
	泌尿器科	当院単独		1	
		多施設共同		3	
	産科・婦人科	当院単独		4	
		多施設共同	1		1
	神経精神科	当院単独	1		
		多施設共同		4	
	小児科	当院単独		1	
		多施設共同	1		
	救急救命科	当院単独		1	
		多施設共同	1	1	
	心臓外科	当院単独		1	
		多施設共同			
	形成外科	当院単独			
		多施設共同		1	
	麻酔科	当院単独	2	1	
		多施設共同			
皮膚科	当院単独				
	多施設共同	1			
臨床病理科	当院単独				
	多施設共同	1	3		
遠隔病理診断センター	当院単独		1		
	多施設共同				
PET画像診断センター	当院単独		1		
	多施設共同		1		
放射線科	当院単独				
	多施設共同		1		
予防医学研究センター	当院単独		5		
	多施設共同				
(小計)		当院単独	6	51	
		多施設共同	65	76	26
(合計)					224

② 2023 年度 臨床研究セミナー等の開催状況

	講師	演題	区分	開催日	受講者数
第7回 生命・医療倫理セミナー (日本専門医機構認定共通講習)	生命倫理政策研究会・共同代表 礒島 次郎 先生	人生の最終段階への医療者の 関わり方を考える	倫理領域	2023/10/4	122名 同DVD上映会:65名

③ 2023 年度 治験実施状況一覧 (2023 年 4 月～ 2024 年 3 月)

(2024/3/31時点)

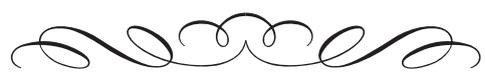
	診療科	対象疾患	Phase	デザイン	実施症例 / 契約症例	Global	備考
1	アレルギー ・膠原病内科	関節リウマチ(継続試験)	III	OT	4/4		2023/5/22治験終了
2		関節リウマチ	III	DBT	1/4		
3		シュニッツラー症候群	II	OT	1/1		医師主導治験
4	循環器内科	高リポ蛋白血症	III	DBT	8/8	○	
5		高リポ蛋白血症	III	DBT	4/4	○	
6		末梢動脈疾患	医療機器	/	13/15		
7		末梢動脈疾患	医療機器	/	3/5		2024/1/12治験終了
8		心筋梗塞再発予防	III	DBT	5/10		2024/2/21治験終了
9		EVT止血デバイス	医療機器	/	18/20		2023/11/27治験終了
10	腎臓内科	高リン血症	III	DBT	6/6		2023/12/26治験終了
11	外科	直腸癌患者	医療機器	/	1/4		2023/7/6治験終了
12	泌尿器科	膀胱癌	II	OT	1/4	○	2023/11/27治験終了
13		前立腺癌	III	DBT	4/5	○	2023/5/25治験終了
14		前立腺癌	IV	OT	1/1		
15	PET画像 診断センター	冠動脈造影検査	III	DBT	8/10		2024/2/27治験終了
(計) 6診療科、15治験							

OT: 非盲検試験

DBT: 二重盲検比較試験

SA: シングルアーム試験





附属施設・併設施設



## ●旭中央病院附属飯岡診療所（2023年度）

火曜日 金曜日の週 2日午前からのみの診療を継続している。2023年度 総受診者数は3,454人 初診者数は82人 1日の平均受診者数は約32人であった。昨年と大きな変化はないが、受診者の高齢化が目立ち施設入所や在宅診療に移行する患者さんも増加している。

## ●旭中央病院附属病理診断科診療所（2023年度）

旭中央病院附属病理診断科診療所は2021年6月に常勤病理専門医一名体制でスタートしたが、現在、週一日は本院からも常勤病理専門医一名、更に非常勤病理専門医が（週二日一名、週半日一名、月一日一名）加わり、遠隔病理診断に携わっている。

インターネットVPN回線を用いた遠隔デジタル病理診断システムは万全のセキュリティのもと順調に稼働しており、当診療所は地方独立行政法人が開設した病理診断科診療所第一号として引き続き日本全国に活動を発信している。

また、本年度も病理診断科と共に放射線科の先生方とも診療所の共同利用を進めており、今後も協力体制を進めていく。

表1. 月別病理診断件数

2023年	4月	115
	5月	150
	6月	183
	7月	159
	8月	173
	9月	166
	10月	173
	11月	169
	12月	197
2024年	1月	169
	2月	181
	3月	191

表2. 病理診断臓器別割合

胃	17.5%
十二指腸	2.2%
小腸	1.5%
大腸	59.9%
頭頸部	0.3%
食道	2.0%
婦人科	13.3%
泌尿器	1.7%
肝胆膵	1.3%
皮膚	0.2%
その他臓器	0.1%

## ●旭中央病院附属看護専門学校（2023年度）

旭市は現在、小中学校は合わせて20校ありますが10年後には統合されて10校になる構想が立てられているほど出生数は減少しています。開校以来、定員充足率100%で運営してきた当校も、2021年度からは55名前後、2024年度入学者選抜試験では更に少ない46名の入学者数となりました。母体病院の看護師確保にいかに関与できるかが大きな課題となっている中、2023年度は看護師国家試験合格率97.9%、卒業生48名が旭中央病院に就職しました。

2023年度から新型コロナウイルスの5類化に伴いオープンキャンパスの対面開催を再開しました。また、入試の一般選考（一次）を1月実施から12月の年内実施（年内合格発表）に変更し、志願者確保に努めています。

学生募集の課題だけでなく、全国の看護学校で専任教員の不足が問題となっています。当校も例外ではありません。教員が自己成長と組織貢献感をもてることで充実した学生指導に繋がると考え、看護教員ラダーを活用した年間成長目標の設定をはじめました。

医療と生活の双方を看ることができる看護師の育成に向けて努力しています。

I 年間行事

月	全体行事	月	全体行事
4	7日(金)入学前オリエンテーション 11日(火)始業 12日(水)入学式 13日(木)入学後オリエンテーション 14日(金)入学後オリエンテーション 20日(木)21日(金) 3年生ケースレポート発表会	10	21日(土)推薦・社会人入試
5	5月8日(月)～7月14日(金) 臨地実習(3年生)	11	1日(水)継灯式～看護の道を照らす会～ 6日(月)～14日(火) 看護過程の展開実習(2年生) 15日(水)～27日(月) 健康の回復に向けた日常生活支援実習(1年生) 17日(金)千葉県看護学生研究発表会 Web開催 28日(火)～12月12日(火)統合実習(3年生)
6	8日(木)学校運営会議 21日(水)高校教員対象学校説明会 24日(土)ホームカミングデイ	12	20日(水)終業 22日(金)23日(土)一次入試
7	18日(火)～21日(金)看護を知る実習 22日(土)オープンキャンパス 25日(火)終業	1	9日(火)始業 11日(木)～2月15日(木)臨地実習(2年生) 12日(金)13日(土)二次入試 15日(月)17日(水)職員採用試験
8	24日(木)始業 26日(土)オープンキャンパス 29日(火)全校避難訓練 8月31日(木)～10月26日(木) 臨地実習(3年生)	2	4日(日)准看護師試験 11日(日)第113回看護師国家試験 会場:東京 21日(水)22日(木)就職電子カルテ講習会
9	3日(日)第5回 病院まつりPART2 学校ブース参加 16日(土)オープンキャンパス ※Web開催	3	5日(火)卒業式 15日(金)修了式 22日(金)第113回看護師国家試験 合格発表 25日(月)就職オリエンテーション

II 2023年度実施 (2024年 入学者選抜試験)

46名入学

	社会人選考	指定校推薦	公募制推薦	一般一次	一般二次
試験日	10月21日 筆記・面接	10月21日 筆記・面接		12月22日 筆記 23日 面接	1月12日 筆記 13日 面接
志願者数	10	25	13	39	6
受験者数	10	25	13	37	6
合格者数	4	19	9	19	3
入学者数	2	19	9	13	3

III 2023年度 学生在籍状況

4月在籍 164名 → 3月末在籍 153名

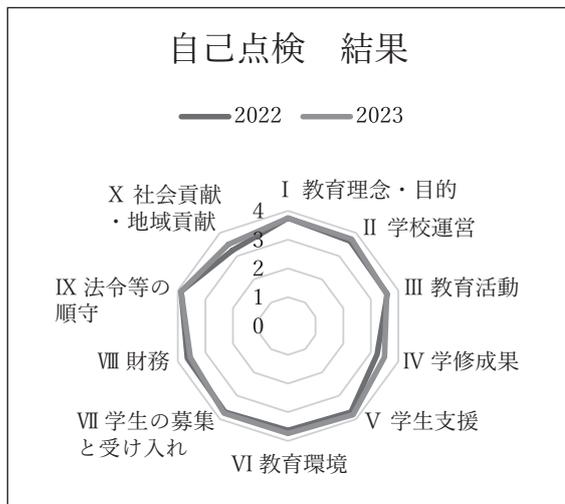
	在籍数 4月	在籍数 3月末	2023年度退学数
1年生	58	52	6
2年生	55	52	3
3年生	51	49	2

#### IV 学校自己点検・評価結果（2023年度）

評価は4段階とし、4 適切、3 ほぼ適切、2 やや不適切、1 不適切の評価となります。

2023年度評価結果 3.5以下太字

評価	大項目	2022	2023
I	教育理念・目的	3.75	3.75
II	学校運営	3.64	3.73
III	教育活動	3.60	3.58 ↓
IV	学修成果	<b>3.23</b>	<b>3.50</b>
V	学生支援	3.70	3.81
VI	教育環境	3.63	3.74
VII	学生の募集と受け入れ	3.70	3.75
VIII	財務	3.65	3.55 ↓
IX	法令等の順守	3.88	3.88
X	社会貢献・地域貢献	<b>3.25</b>	<b>3.50</b>



#### V 学校関係者評価（2023年度）

1. 日時 2024年3月26日（火） 14:00～15:20

2. 場所 旭中央病院附属看護専門学校 会議室

3. 出席者

1) 評価委員：5名

① 関連業界等関係者

葛見 浩 : 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 総務人事課長

伊藤由紀恵 : 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 看護局長

② 卒業生

林 恭子 : 旭中央病院附属看護専門学校 同窓会長

③ 教育に関し知見を有する者

鈴木 志敏 : 旭中央病院附属看護専門学校 教育学講師

④ 在学生

佐藤 在 : 旭中央病院附属看護専門学校 自治会代表

4. 2023年度 学校関係者評価結果

※評価は4段階（適切、ほぼ適切、やや不適切、不適）

#### 1. 教育理念・目的

I 教育理念・目的	評価項目	全体評価結果
I 教育理念・目的	1 教育理念・目的・育成人材像は、定められているか	適切：2 ほぼ適切：7
	2 学校における看護教育の特色は明確であるか	
	3 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	
	4 学校の理念・目的・育成人材像・特色などが、学生・保護者・に周知されているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母体病院の教育理念につながる学習、実習のあり方を共に考えていきたい。</li> <li>・教育理念・目的の部分では十分な努力が見られる。</li> <li>・母体病院の将来構想との連動が重要課題となる。18才人口の経時的推移に関心を向け、変化させていかなければならない。</li> <li>・理念は適宜見直しして下さい。</li> <li>・医療機関を取り巻く環境が大きく変化していることから、母体病院においても将来像の検討が行われることになっており、これを踏まえて、学校としても将来構想を検討する必要がある。</li> <li>・教育理念等に定められている人材の育成はできていると思われまます。母体病院の人材確保のため、今後ともよろしくをお願いします。</li> <li>・3.については、今後の病院の方針に沿って、検討が必要。</li> </ul>	

## 2. 学校運営

	評価項目	全体評価結果
II 学校運営	5 目的等に沿った運営方針が策定されているか	適切：5 ほぼ適切：4
	6 理念等を達成するための事業計画が策定されているか	
	7 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか、有効に機能しているか	
	8 人事、給与に関する規定等は整備されているか	
	9 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	
	10 教育活動等に関する情報公開が適正にされているか	
	11 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11. 持ち帰り残業の把握が必要。</li> <li>・ 電子教科書の有効活用をお願いします。</li> <li>・ 電子教科書使用後の教員及び学生からみた評価を知りたい。</li> <li>・ 11. 他校の状況も研究して下さい。</li> <li>・ 問題なくできていると感じる。</li> </ul>	

## 3. 教育活動

	評価項目	全体評価結果
III 教育活動	12 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	適切：2 ほぼ適切：7
	13 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	
	14 カリキュラムは体系的に編成されているか	
	15 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	
	16 授業評価の実施・評価体制はあるか	
	17 成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	
	18 目標とする資格・免許取得の指導体制はあるか	
	19 資格・要件を備えた教員を確保しているか	
	20 関係分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取り組みがおこなわれているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 20. 教員の資質能力向上への取組みが可視化されているのか明確でないように見受けられる。</li> <li>・ 人事交流制度を利用しているが互いのメリットはあるものの、評価が難しい。</li> <li>・ 学生の学習に対する課題を把握し、適切に対応しようとしている点は評価できます。</li> <li>・ 19. 人事交流で派遣した教員が定着しない。定着しない要因を分析し、改善していかないと、いつまでたっても解決しない。教員になりたいと思う人材がない。(イメージがよくない)</li> <li>・ 教員の人数、入れ替わりにより 15. 19. 20. には課題が残る。個人の能力開発に向けて積極的に実施していく計画が立てられるとよい。</li> <li>・ 課題となっている専任教員の確保及び定着は重要である。</li> </ul>	

#### 4. 学修成果

	評価項目	全体評価結果
IV 学修成果	21 就職率の向上が図られているか	適切：4 ほぼ適切：4 やや不適切：1
	22 資格取得率の向上が図られているか	
	23 退学率の低減が図られているか	
	24 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 23. 努力しているが結果上結びつくのは一般に難しい面がある。</li> <li>・ 24. 必要ではあるが把握は困難を伴う。</li> <li>・ 21. 100%就職に疑問がある。現場にでてきて苦勞するケースが散見する。急性期の病院への就職が可能か、学校での見極めが必要。採用試験も、1月では遅い。</li> <li>・ 退学率が低減する努力は教員には十分に感じられる。</li> <li>・ 学生の変化もあり、学校だけで対応できるものではないが、取り組みは重要かつ必要であると思われます。</li> <li>・ 学生一人一人の能力に差があり、その差にうまく対応できていない。病院でも同じ傾向にある。</li> <li>・ 再履修者の減少に尽力してください。</li> <li>・ 就職率100%ではあるが、母体病院の将来構想により人材確保数の変動は否めない。学習への個別支援の強化は継続する必要がある。</li> </ul>	

#### 5. 学生支援

	評価項目	全体評価結果
V 学生支援	25 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	適切：5 ほぼ適切：4
	26 学生相談に関する体制は整備されているか	
	27 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	
	28 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	
	29 学生住宅の設置など生活環境の支援は行われているか	
	30 保護者と適切に連携しているか	
	31 卒業生への支援体制はあるか	
	32 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	
	33 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハラスメントの種類は沢山あるが、いずれも学習の妨げにならない環境整備は必要である。</li> <li>・ 33. 卒後のキャリアパスの方向を示すことも必要。</li> <li>・ 学生支援はされていると思うが、学生にはあまり伝わっていないところがある?どのような支援を望むか学生の意見をうまく反映できたらよいのか。</li> <li>・ 適切に対応されていると思われます。</li> </ul>	

## 6. 教育環境

VI		評価項目	全体評価結果
教育環境	34	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	適切：5 ほぼ適切：4
	35	学外の実習施設、研修等について十分な教育体制を整備しているか	
	36	防災に対する体制は整備されているか	
意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化はあるものの、環境整備はされている。学生に過ごしにくい状況があるか確認してみてもよい。(学校内)</li> <li>・34. 学生の体位向上に合わせた机・椅子が現状でよいのか他校の状況の研究が必要。</li> <li>・教員の方々の思いや努力を感じます。今後も病院との連携、協力体制が必要。</li> <li>・教育に影響がないよう適切に対応されています。</li> </ul>	

## 7. 学生の募集と受け入れ

VII		評価項目	全体評価結果
学生募集と受け入れ	37	学生募集活動は、適正に行われているか	適切：6 ほぼ適切：3
	38	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	
	39	入学選考基準も明確化し、適正に運用しているか	
	40	学納金は妥当なものとなっているか	
意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化に伴い、学生の確保が厳しくなっていくことが予想されるが、今後とも、いろいろな機会を活用して積極的な募集活動をお願いします。</li> <li>・18才人口減少に伴い、専門学校生き残り計画を本格的に進めていくことが課題である。</li> <li>・学生の傾向変化がありニーズをふまえて対策を行っているが難しい点がある。魅力あるメリットをいかした学校づくりをひき続き行う。</li> <li>・40. かなり低額に抑えられているのでその点をもっとアピールされてよいと思う。</li> </ul>	

## 8. 財務

VIII		評価項目	全体評価結果
財務	41	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	適切：5 ほぼ適切：4
	42	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	
	43	財務について適正に執行管理が行われているか	
	44	財務情報公開の体制整備はできているか	
意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・母体病院も厳しい状況にありますので、経費節減に向け努力してください。</li> <li>・母体病院の経営に応じて決定されるため、必要・不必要の考えをもち、学校運営に携わる必要がある。</li> </ul>	

9. 法令等の順守

	評価項目	全体評価結果
IX 法令等の順守	45 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営がなされているか	適切：7 ほぼ適切：2
	46 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	
	47 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	
	48 自己評価結果を公表しているか	
	49 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	
	50 学校関係者評価結果を公表しているか	
意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成績管理だけでなく、個別介入が多いほど情報管理の徹底が重要になると考える。</li> <li>・ 個人情報保護の対策は十分にとられている。</li> <li>・ 教員の方々の働き方、教える側のゆとりもほしいですね。</li> <li>・ 個人情報の管理には、十分注意してください。</li> </ul>	

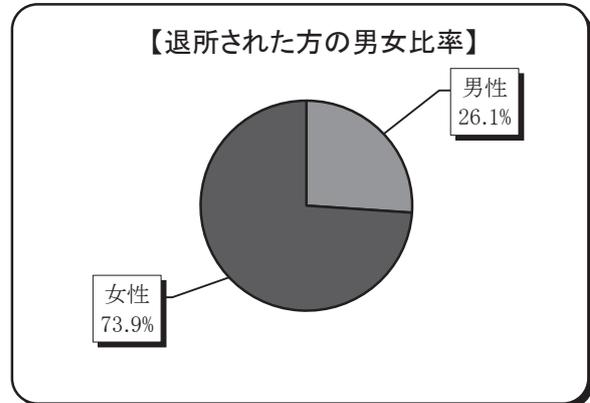
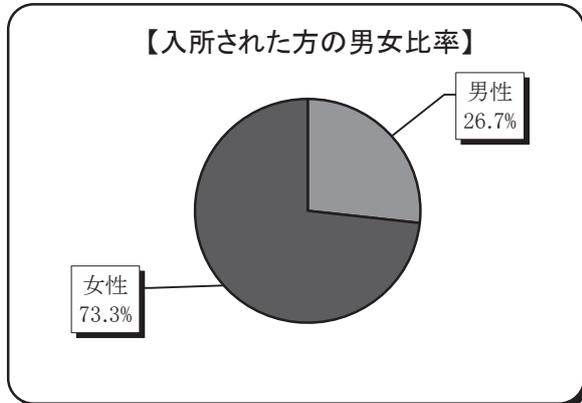
10. 社会貢献・地域貢献

	評価項目	全体評価結果
X 社会貢献・ 地域貢献	51 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	適切：2
	52 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	ほぼ適切：7
意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適切に対応されています。</li> <li>・ 自治会活動による地域貢献も期待できる。</li> <li>・ 新型コロナもあったが、継続した取り組みが必要と思われまます。</li> </ul>	

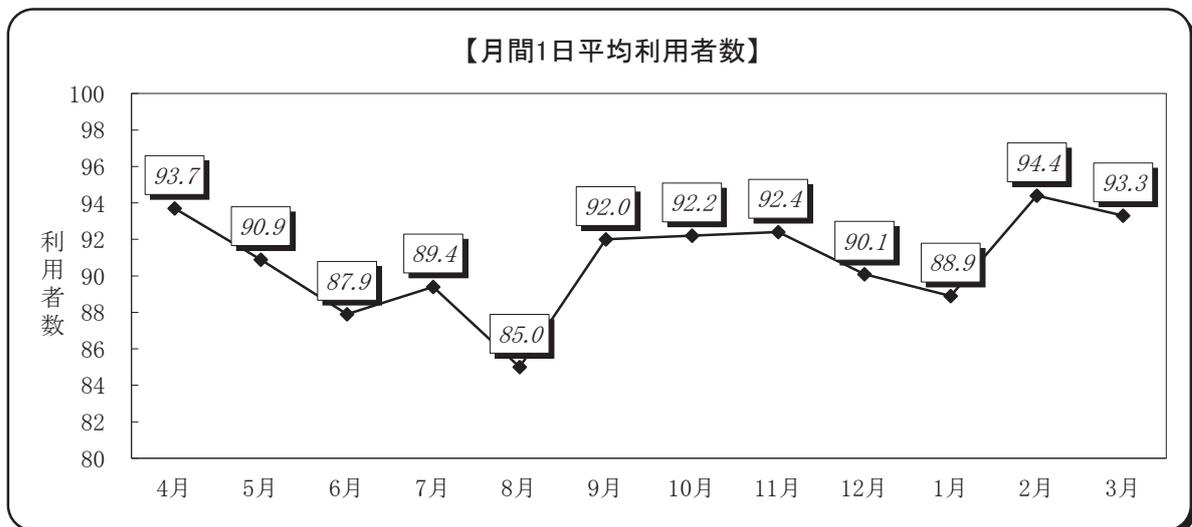
# ●介護老人保健施設シルバーケアセンター（2023年度）

## 1.『介護老人保健施設』『短期入所療養介護』の利用状況

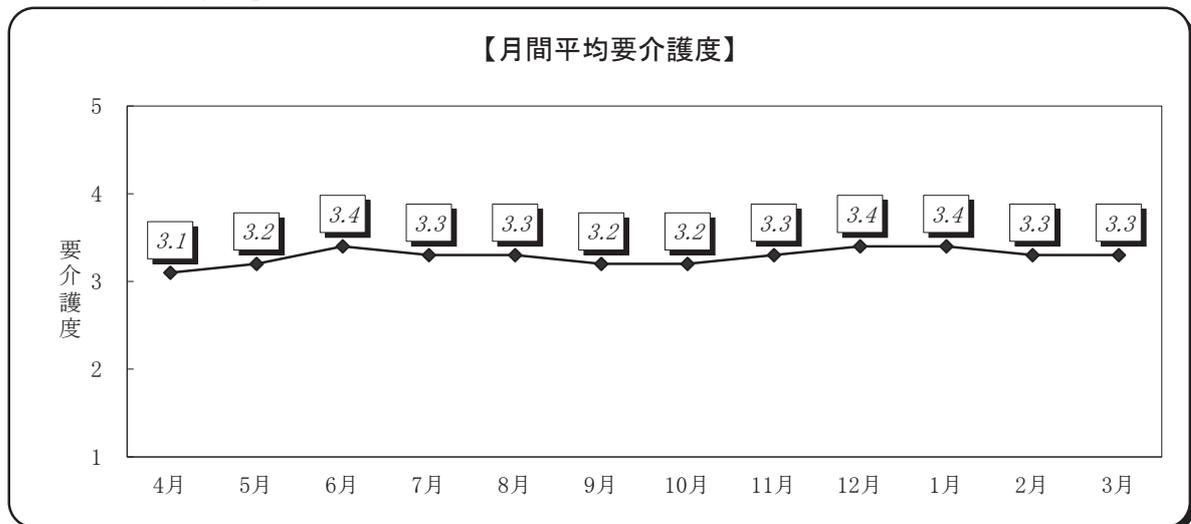
【入所された人数】男性92名 女性252名 合計344名 【退所された人数】男性92名 女性261名 合計353名



【年度内1日平均在所者数】90.9名

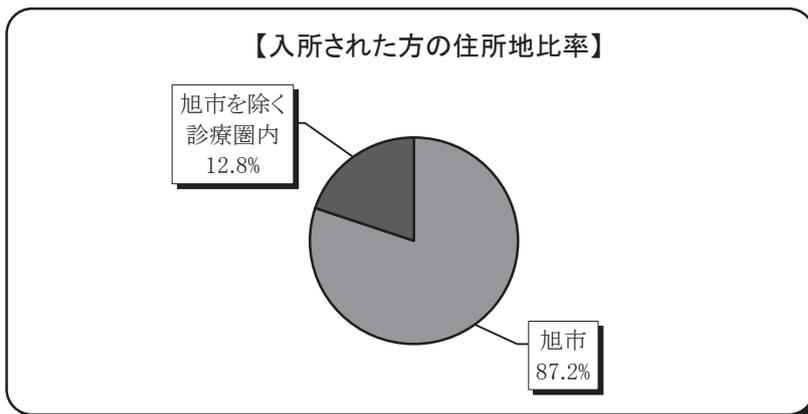


【老健年度内平均要介護度】3.28



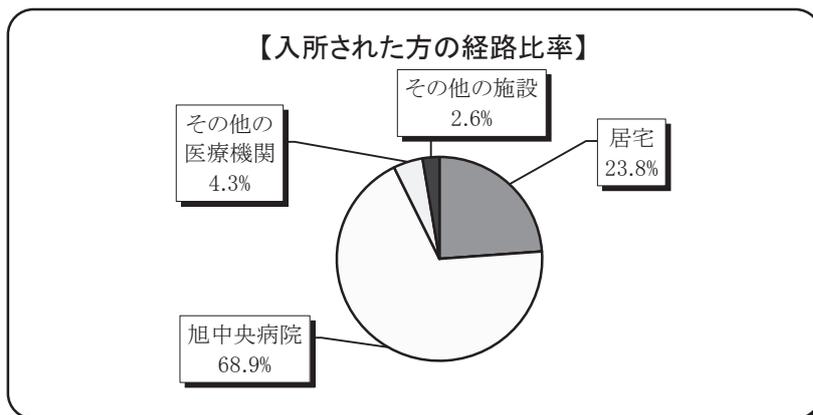
【老健入所された方の住所地】

旭市 121名  
旭市を除く診療圏内 30名  
診療圏外 0名



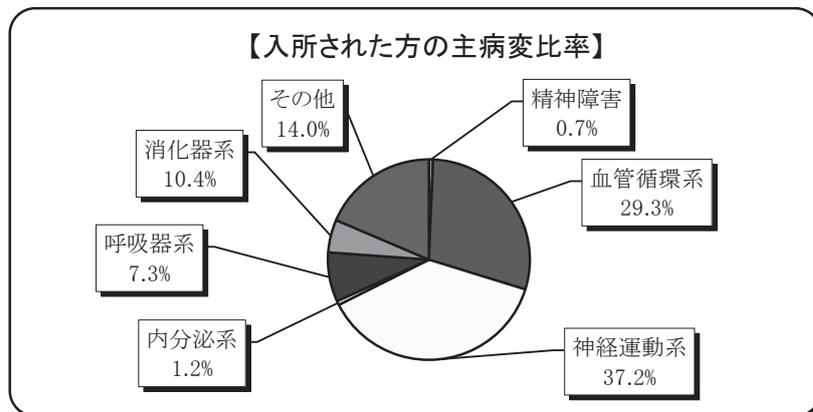
【老健入所された方の経路】

家庭 36名  
介護保険施設 0名  
旭中央病院 104名  
その他の医療機関 7名  
その他の施設 4名



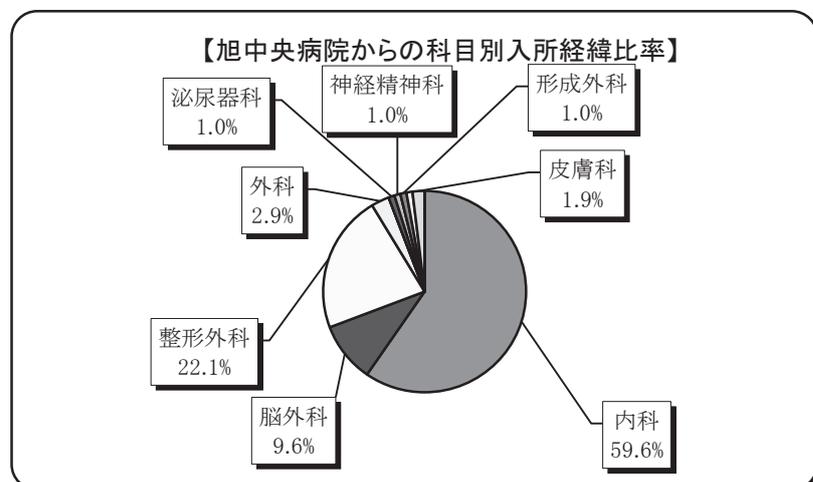
【老健入所された方の主病変】

精神障害系 1名  
血管循環系 44名  
神経運動系 57名  
内分泌系 1名  
呼吸器系 12名  
消化器系 8名  
その他 28名  
上記の内特定疾病(2号被保険者) 2名  
【2号被保険者=40歳以上65歳未満の利用者】



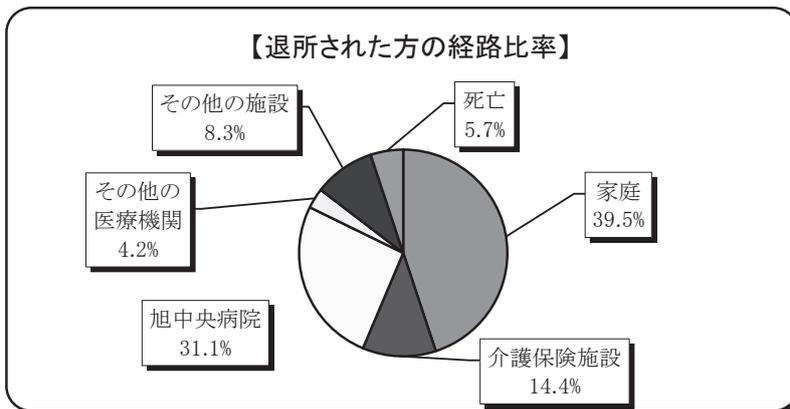
【旭中央病院からの科目別老健入所経緯】

内科 62名  
脳外科 10名  
整形外科 23名  
外科 3名  
眼科 0名  
耳鼻科 0名  
泌尿器科 1名  
精神科 1名  
心臓外科 0名  
形成外科 1名  
麻酔科 1名  
皮膚科 2名  
婦人科 0名

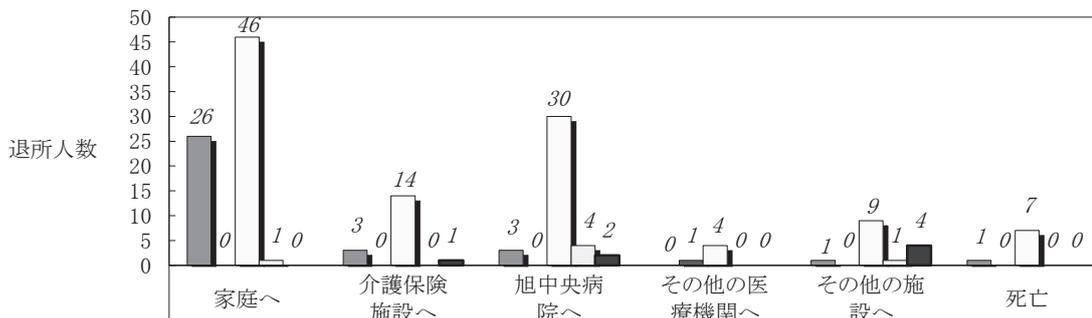


【老健から退所された方の経路】

家庭 71名  
 介護保険施設 18名  
 旭中央病医院 41名  
 その他の医療機関 5名  
 その他の施設 15名  
 死亡 8名

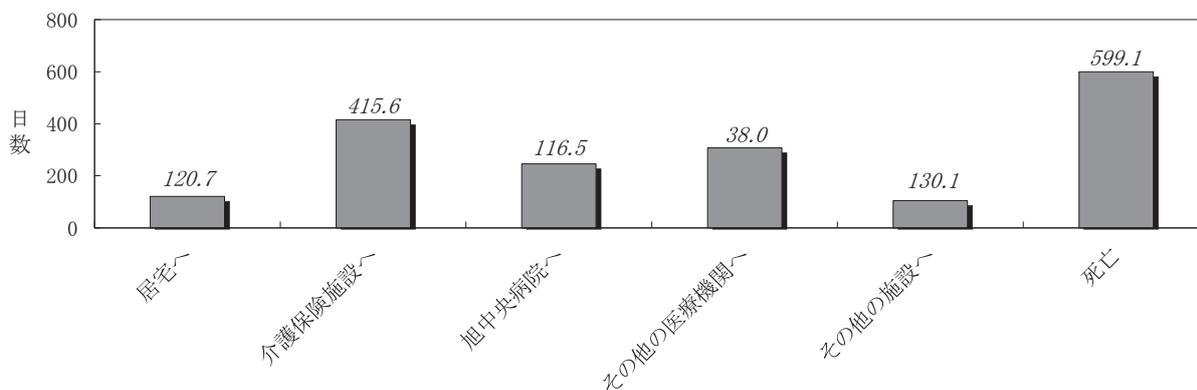


【老健から退所された方の入所経緯別人数】



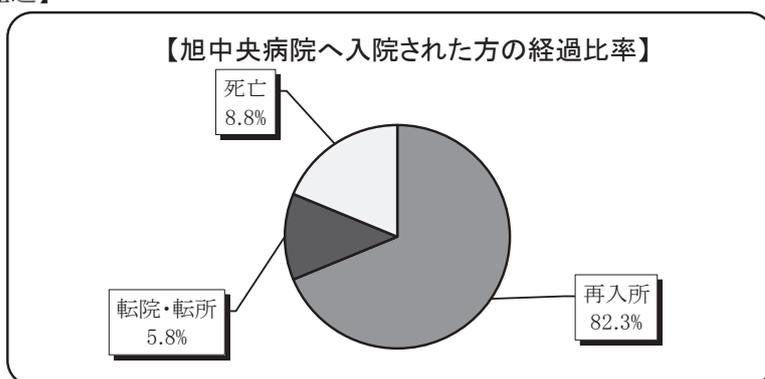
	家庭へ	介護保険施設へ	旭中央病医院へ	その他の医療機関へ	その他の施設へ	死亡
■家庭から	26	3	3	0	1	1
■介護保険施設から	0	0	0	1	0	0
□旭中央病医院から	46	14	30	4	9	7
□その他の医療機関から	1	0	4	0	1	0
■その他の施設から	0	1	2	0	4	0

【退所経緯別平均在所日数】 全退所者平均在所日数213.9日(7.1ヶ月)



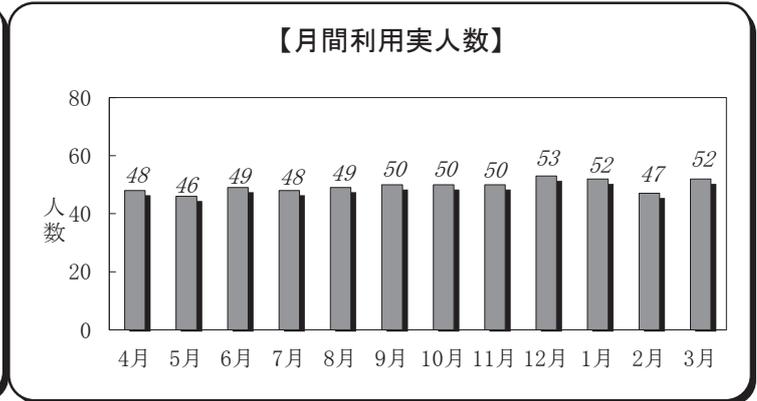
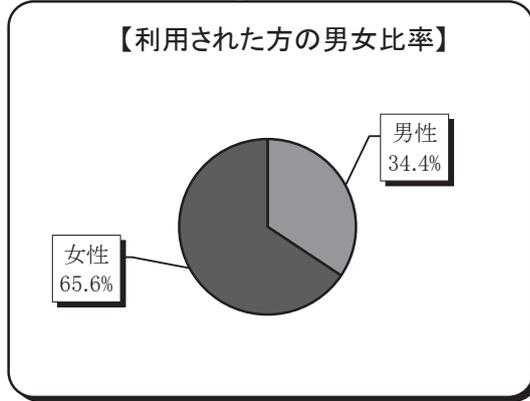
【老健から旭中央病医院へ入院された方の経過】

当施設へ再入所 22名  
 他の医療機関・施設へ転院・転所 4名  
 自宅へ退院 0名  
 死亡 6名

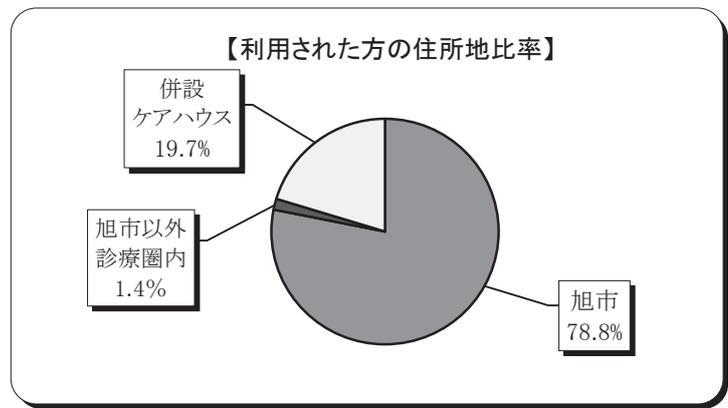


## 2.『通所リハビリテーション』の利用状況

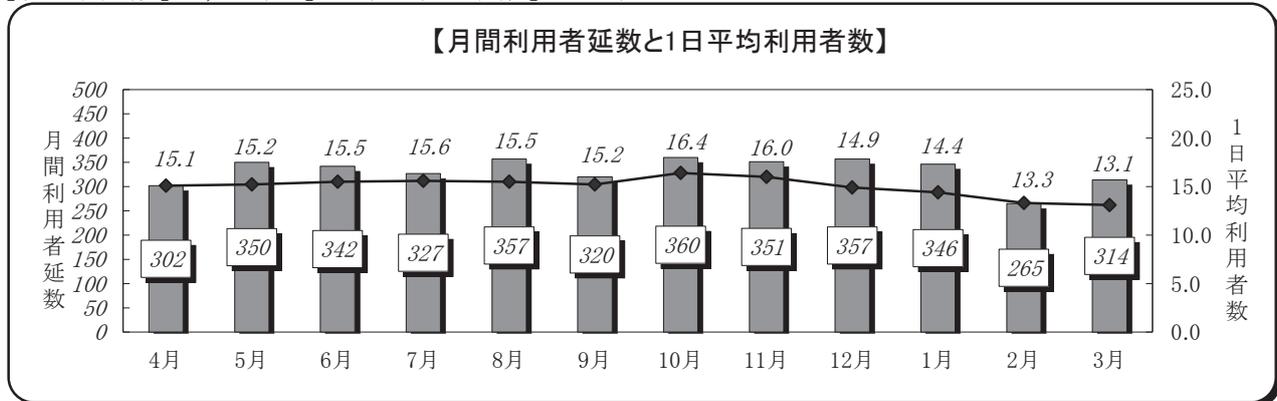
【利用された実人数】男性 22名 女性 42名 合計 64名



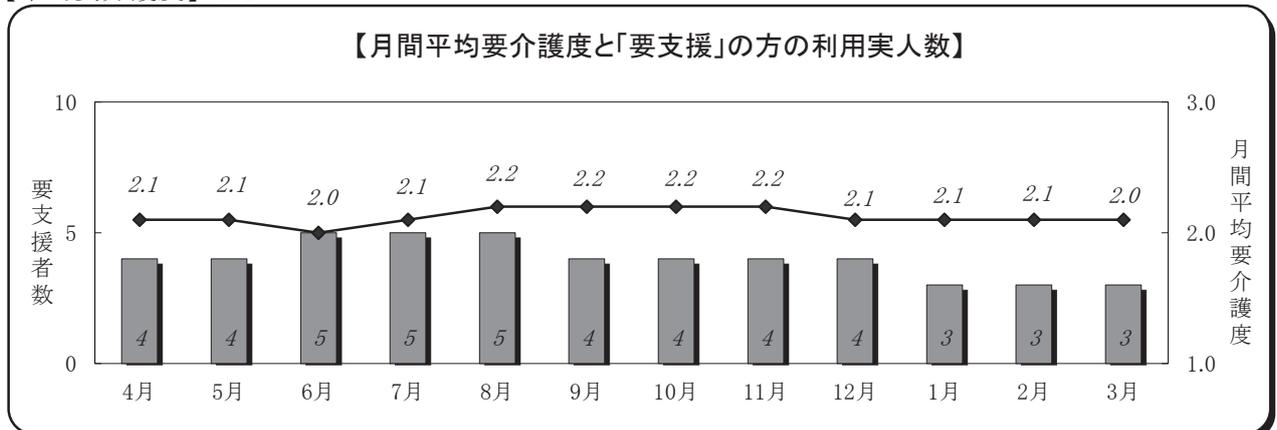
【利用された方の住所地】  
 旭市 50名  
 旭市を除く診療圏内 1名  
 診療圏外 0名  
 併設ケアハウス 13名



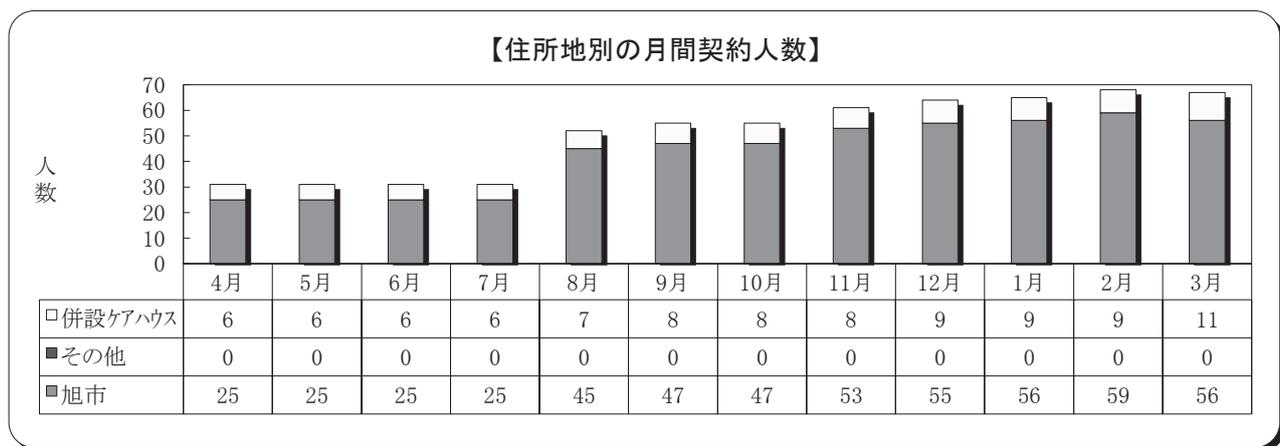
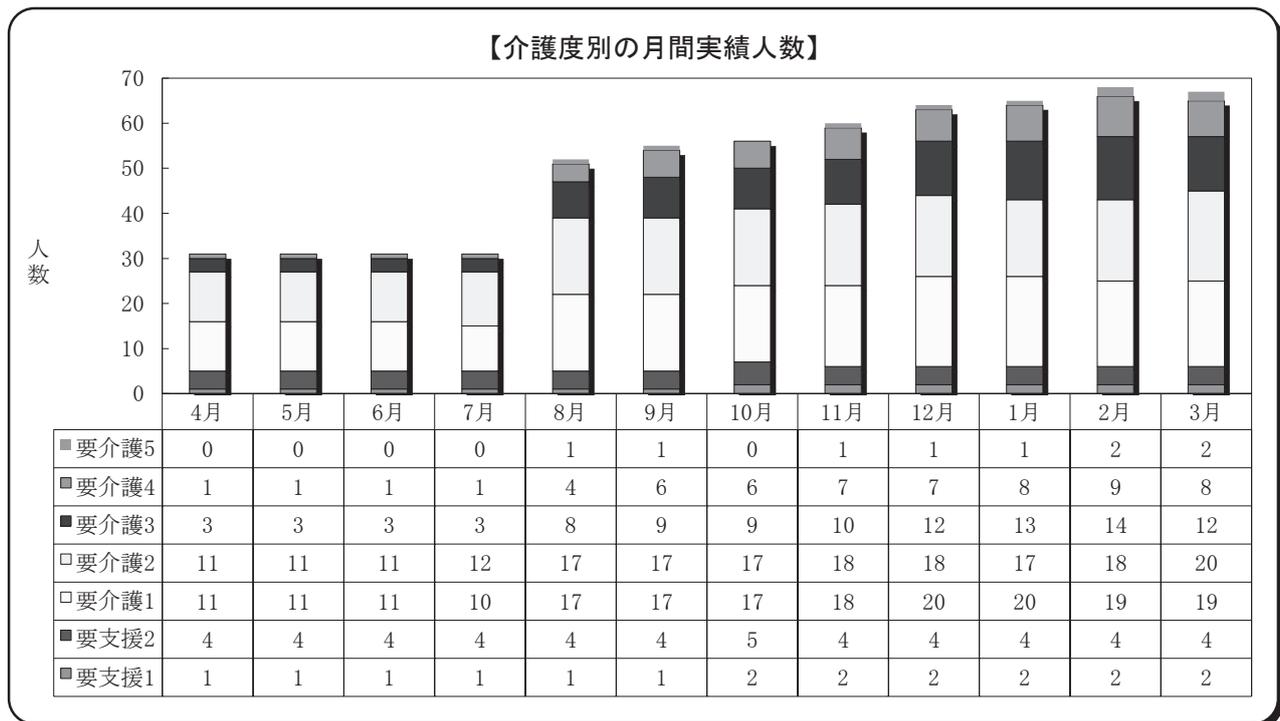
【利用者延数】 3,991名 【1日平均利用者数】 15.0名



【平均要介護度】 2.1



### 3.『居宅介護支援』の利用状況



〈集計注釈〉

- ①『介護老人保健施設』と『短期入所療養介護』における「利用人数」については、1人の方が複数回利用された場合はその回数で集計した。
- ②『通所リハビリテーション』における「利用された方の住所地」については、ケアハウスが併設であるため、その特殊性からケアハウスからの利用については単独で集計した。その他、実際の住所地と現在生活している場所の住所地が異なる方は、現在生活している住所地より集計した。
- ③『介護予防短期入所療養介護』と『介護予防通所リハビリテーション』の実績についてはそれぞれ『短期入所療養介護』と『通所リハビリテーション』へ包括した。
- ④「要介護度」については各月末時点での要介護度で集計した。
- ⑤『居宅介護支援』は東総園からの異動により1名→2名体制となったため件数が大きく増加している。

## ●ケアハウス東総園（2023年度）

### 1. 入退居状況（2023年4月1日～2024年3月31日）

	退 居		退居後	入 居		入居前（居住地）
2023年 5月	1名	男：91歳 (死去)	入院先にて死去	1名	男：60歳	シルバーケアセンター（東庄町）
9月	1名	女：79歳	シルバーケアセンターへ入所	1名	男：79歳	自宅（旭市）
9月	1名	男：87歳	シルバーケアセンターへ入所	1名	女：88歳	シルバーケアセンター（旭市）
11月	1名	女：76歳 (死去)	入院先にて死去	1名	男：93歳	シルバーケアセンター（旭市）
12月	1名	女：92歳	他施設へ入所	1名	女：88歳	シルバーケアセンター（旭市）
12月	1名	女：81歳	シルバーケアセンターに入所			
2024年 1月	1名	男：91歳 (死去)	入院先にて死去	1名	男：76歳	自宅（銚子市）
1月				1名	男：82歳	自宅（旭市）
3月	1名	男：93歳	自宅	1名	女：93歳	自宅（旭市）
3月	1名	男：83歳 (死去)	入院先にて死去	1名	女：86歳	自宅（旭市）
計	9名 (男5名・女4名)			9名 (男5名・女4名)		

### 2. 入院・入所状況 延べ 21名（2023年4月1日～2024年3月31日）

	病名	入院・入所先
男性	下肢動脈閉塞症	シルバーケアセンター
女性	心原性脳塞栓症	シルバーケアセンター
女性	転倒によるADL低下	シルバーケアセンター
女性	右肋骨骨折	シルバーケアセンター
男性	右腎梗塞	救急救命センター
男性	左頸部内頸動脈狭窄症	8階東病棟
女性	誤嚥性肺炎 多発性血管炎	6階東病棟
男性	癒着性腸閉塞	9階西病棟
女性	転倒（外傷）によるADL低下	シルバーケアセンター
女性	心原性脳梗塞	9階西病棟
女性	認知症	サービス付き高齢者住宅
女性	蜂窩織炎	11階東病棟
男性	狭心症	7階西病棟
女性	転倒によるADL低下	シルバーケアセンター
女性	転倒によるADL低下	シルバーケアセンター
男性	肺炎	1－5病棟
女性	感染性心内膜炎	救命救急センター
女性	肺がん	1－7病棟
男性	中心性頸髄損傷	7階東病棟
男性	線種性ポリープ切除	10東病棟
男性	胃がん	9階東病棟

### 3. 介護度別要介護認定者（2024年3月31日現在・総入居者数40名）

要支援1	1名
要支援2	2名
要介護1	12名
要介護2	5名
要介護3	4名
要介護4	1名
要介護5	0名
合 計	25名

4. 市町村別入居状況（2024年3月31日現在）

市町村名等	入居者数
旭市	26名
匝瑳市	1名
銚子市	3名
その他（県内）	5名
その他（県外）	3名
合計	40名

5. 年齢別・男女別入居者数（2024年3月31日現在）

	55～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	計
男	1	1	0	2	4	3	3	14
女	0	0	0	1	3	8	14	26
計	1	1	0	3	7	11	17	40

	男	女	全体
平均年齢	82.5	89.5	87.1

6. 令和5年度実施行事

2023年4月	午後のお茶会（東大寺）	卯月のごはん	午後のお茶会（姫路城）
5月	行楽弁当の日（食事会）	午後のお茶会（日光の社寺）	皐月のごはん
6月	午後のお茶会（富岡製糸場）	水無月のごはん	午後のお茶会（白神山地）
	ピクニックの日（食事会）		
7月	文月のごはん（七夕）	午後のお茶会（奄美大島）	トウモロコシの日
			午後のお茶会（屋久島）
8月	葉月のごはん（納涼会）	緑日ゲーム大会	午後のお茶会（花火）
9月	午後のお茶会（小笠原諸島）	長月のごはん（敬老会）	開園記念の会（食事会）
10月	午後のお茶会（平泉中尊寺）	ふかし芋の会	神無月のごはん
	健康チェック（1回目）		午後のお茶会（ハロウィン）
11月	健康チェック（1回目）	秋の行楽弁当の日（食事会）	運動会
			霜月のごはん（食事会）
12月	午後のお茶会（白川郷）	忘年会（食事会）	クリスマス会
	年越しそばの日（食事会）		避難訓練（火災想定）
2024年1月	新年会（食事会）	睦月のごはん	避難訓練（地震想定）
2月	如月のごはん（食事会）	午後のお茶会（知床）	おでんの日（食事会）
3月	健康チェック（2回目）	弥生のごはん（ひな祭り）	非常食の日
	ありがとう&パワーアップの日（食事会）	避難訓練（夜間想定）	午後のお茶会（琉球）

7. クラブ活動（2024年3月現在）

ラジオ体操

ピアダンス（ボランティア講師の都合により年度の途中より休止中）

編み物（ボランティア講師）

フットバス&看護相談の日

8. その他

入居者の高齢化が進み、入居者の平均年齢は87.1歳（2024年3月末現在）であり、要介護認定者が全体の6割を占めています。デイサービス・デイケアの利用、ヘルパーによる掃除や洗濯などの支援を必要とする方も入居者もあり、ケアマネジャー・地域の介護サービス事業者等とのつながりを大切にしながら支援しています。

外出制限や面会制限の緩和により、入居者がご家族や友人との交流ができるようになり、入居者も気分転換が図れるようになりました。一方で、一人では外出困難な入居者もいるため、園内のレク行事やお茶会・食事会などを通して、楽しみの機会を提供してきました。

日々の健康観察や新型コロナウイルス感染症への予防に取り組んできましたが、感染症により療養を要する入居者もいました。入居者・職員が基本的な感染対策をしっかり確認し、取り組んでいます。

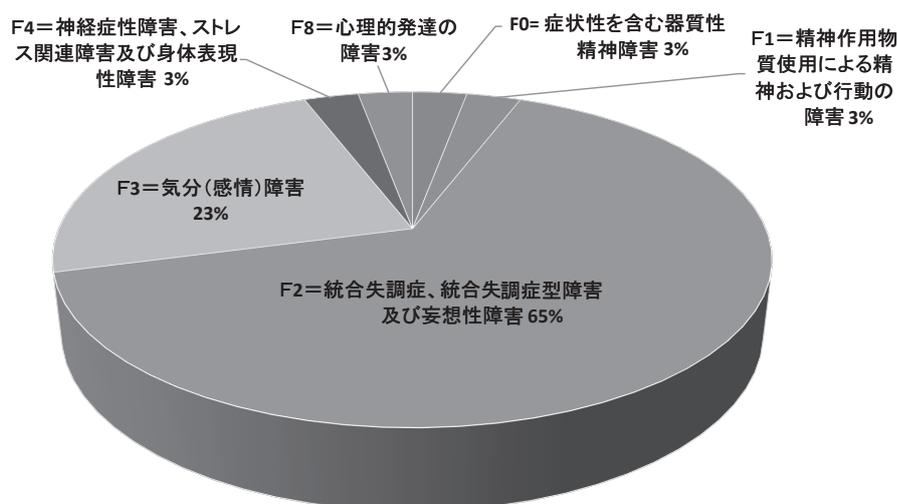
併設のシルバーケアセンターと緊密な連携をはかり、入居者が安心して楽しい日々を過ごせる環境づくりに努めていきたいと思っております。

# ●訪問看護ステーション 旭こころとくらしのケアセンター(AKK) (2023年度)

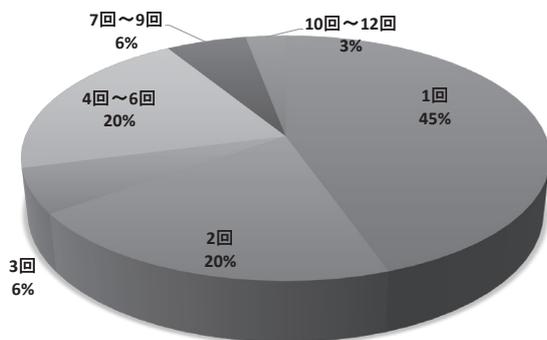
## 1. 年度別実績

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
登録者数(平均)	132.2	127	117.8	117.4	112.8
看護師数(常勤換算)	5.5	5	3.5	5.1	5.5
訪問者数	1,452	1,324	1,204	1,190	1,185
新規受け入れ	8	8	4	12	11
終了	19	14	8	13	17
訪問件数(コストなし含む)	4,733	4,062	3,285	3,786	4,061
精神科基本療養費算定件数	4,362	3,741	2,997	3,012	3,065
複数名訪問加算算定件数	79	88	125	538	636
24時間対応体制算定数	1,452	1,324	1,113	1,190	1,185
夜間休日電話対応件数	1,164	1,164	1,084	1,536	1,125

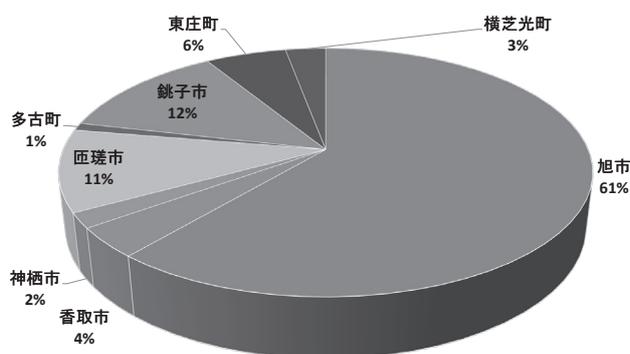
## 2. 精神疾患別分類 (2023年7月)



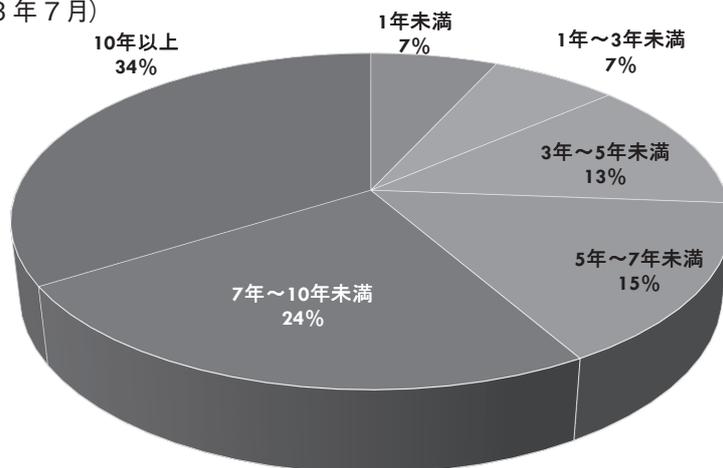
## 3. 月の訪問頻度 (2023年7月)



## 4. サービスエリア (2023年7月)



## 5. 訪問利用期間（2023年7月）



### 考察

#### 登録者数と訪問者数の減少

2019年度から2023年度にかけて、登録者数および訪問者数は減少傾向にあります。これは、高齢化社会の進行による需要の変化や、訪問看護ステーションのサービス内容や質の変動が影響している可能性があります。また、他の医療機関や介護サービスとの競合が増えたことも考えられます。

#### 看護師数の変動

2021年度には看護師数が大きく減少しましたが、2022年度以降は回復しています。これにより、サービスの安定供給が可能となり、訪問件数も増加しています。看護師の確保と育成が今後の重要課題となります。

#### 新規受け入れと終了のバランス

新規受け入れ数は増加傾向にある一方で、終了数も増加しています。特に2023年度は終了数が新規受け入れ数を上回っており、利用者の定着率向上が求められます。利用者満足度の向上や、関連機関との連携の強化が必要です。

#### 訪問頻度とサービスエリア

訪問頻度で最も多いのは月1回（45%）となっています。その次に多いのが月2回（20%）で、これに続いて4回～6回の訪問が20%を占めています。この頻度の分布から利用者の多くが、比較的安定した状態にあると考えられます。また、サービスエリアの大部分が旭市に集中しており、他地域への展開も課題となります。

#### 精神疾患別分類

精神疾患別では、統合失調症や気分障害の利用者が多いです。これにより、専門的な知識や対応が求められるため、看護師の研修やスキル向上が必要です。

#### 利用期間

10年以上の利用者が34%と多く、長期的な関係構築が成功していることが分かります。しかし、新規利用者の確保とバランスを保つことも重要です。

### 結論

2023年度の訪問看護ステーションの実績からは、登録者数と訪問者数の減少、新規受け入れと終了のバランス、地域サービスの偏り、精神疾患の多様性、そして利用期間の長期化などが見取れます。これらを基に、今後の戦略としては、看護師の確保と育成、利用者満足度の向上、精神疾患への専門的対応が挙げられます。訪問看護ステーションの持続的な発展に向けて、これらの課題に対する具体的な対策を検討していきます。

文責：訪問看護ステーション旭こころとくらしのケアセンター  
施設長看護師 河口 成富

---

# 旭中央病院年報 2023

第23号

2024年12月20日 発行

発行所 地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院

千葉県旭市1 1326番地

<https://www.hospital.asahi.chiba.jp/>

発行者 吉田 象二

印刷所 株式会社 博愛社

---



